

平成15-17年度 国立教育政策研究所 政策研究課題リサーチ経費研究

生涯にわたるキャリア発達の形成過程に関する
総合的研究報告書 (Ⅲ)

—成人のキャリア発達に関する質問紙調査・インタビュー調査—

平成18年3月

研究代表者 山田 兼尚

(国立教育政策研究所生涯学習政策研究部長)

はじめに

「1億総中流」と呼ばれた横並びの画一的な人生設計から、現在、個人が自己責任のもとに、多様なライフスタイルを自由に選択しうる時代へと変化しつつある。

人生への自由度が高まる一方で、少子高齢化社会の進展や産業・経済の構造的変化に伴う雇用形態の多様化・流動化等の近年の社会状況は、将来に対する不透明感を増大させている。そのような中で、自己を確立できず、自分の意志を明確に示すことができない社会的に未成熟な若者が増加し、晩婚化・未婚化、フリーターや早期離職などの一要因となっていることが指摘されている。自分で人生をデザインすることが求められる中で、これからの子どもたちは、どのように自分を規定し、また、どのような情報に基づき自分の人生設計を行うのか。子どもたちに学校教育を通じて育成できる能力とは何であるのか。教育関係者のみならず、保護者、産業界からも、このような多くの問いが喚起されよう。

子どもたちの職業観、勤労観を醸成するために、文部科学省は平成14年11月に「キャリア教育の推進に関する総合的研究協力者会議」を設置し、平成16年1月に報告書「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために」を作成した。報告書では、「キャリア」とは「個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積」と捉え、この「キャリア」の概念に基づいて、「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度をそだてる教育」一すなわち「キャリア教育」を推進していくための基本的な方向について提言を行っている。

本研究は、このような社会的状況・背景のもと、当研究所の政策研究課題リサーチ経費（平成15～17年度）により、子どもから成人までを対象とし、「キャリア」概念の発達過程を追いつながりながら、その発達を「社会」と「個人」の相互作用の視点で捉え、最終的には、社会から個人への支援して、何が求められているのかを明らかにしようとしたものである。

併せて、キャリア発達という現代的な教育課題を中心に据えながら、従来、児童・生徒（学校教育）と社会人を別個に対象として調査・研究されてきた領域を縦断的に扱い、職業のみならず家庭生活設計や人生観など個人のライフコースを視野に入れて生涯学習体系化の意義を探ろうとしている。

上記の目的を遂行するために次の三つの調査研究を行うことを企画した。

- (1) 児童・生徒のキャリア発達に関する質問紙調査
- (2) 成人（高卒以降）のキャリア発達過程に関するインターネットを介した質問紙調査
- (3) キャリア形成に関するインタビュー調査
(30代後半から高齢期にわたる人々で継続的な仕事を持ち様々な領域で元気に活躍している人々を対象にインタビュー調査)

本報告書は、上記(2)のうちの、成人を対象とした調査研究と上記(3)をまとめたものである。この研究による調査結果、及び知見が今後の「キャリア教育」の基礎的な資料となれば幸いである。

平成18年3月

国立教育政策研究所長

矢野 重典

研究組織

研究代表者

山田 兼尚 (国立教育政策研究所生涯学習政策研究部長)

研究分担者

田浦 宏己 (国立教育政策研究所研究企画開発部長 *平成16年4月~平成17年6月)

白間竜一郎 (国立教育政策研究所研究企画開発部長 *平成17年9月~)

宮下 和己 (国立教育政策研究所生徒指導研究センター総括研究官
・文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導調査官)

笹井 宏益 (国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官)

立田 慶裕 (国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官)

岩崎久美子 (国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官) **事務局

森本 愛 (国立教育政策研究所・研究協力者)

豊 浩子 (国立教育政策研究所・研究協力者)

小川 待子 (東京経営短期大学教授)

加藤かおり (国立大学法人新潟大学・大学教育開発研究センター助教授)

澤野由紀子 (聖心女子大学文学部教育学科助教授)

椎名久美子 (独立行政法人大学入試センター・研究開発部助教授)

下村 英雄 (独立行政法人労働政策研究・研修機構職務・キャリア分析部門副主任研究員)

中野 洋恵 (国立女性教育会館研究国際室長・主任研究官)

藤田 博康 (帝塚山学院大学大学院人間科学研究科助教授)

別府 明子 (近畿大学九州短期大学講師・品川介護福祉専門学校講師)

客員研究員

桐村晋次 (法政大学キャリアデザイン学部教授)

事務スタッフ

齋藤 文子

目 次

I. 調査の概要

- 1 調査実施の概要 1
- 2 調査結果の概要
山田兼尚・岩崎久美子 5

II. 質問紙調査分析結果

- 1 社会人の職業意識と進学時の重視事項
椎名久美子 47
- 2 人生に必要な資質と能力の形成
立田 慶裕 66
- 3 満足感の背景
山田 兼尚 76

III. インタビュー調査分析結果

- 1 高齢者のライフ・ヒストリーからみる仕事：働く動機としての生活危機と生きがい
別府 明子 87
- 2 女性の中年期における再就職を規定する要因
岩崎久美子 97
- 3 転職経験を肯定的にとらえている男性に共通する要因
藤田 博康 113

IV. 座談会：生き生きと活躍している職業人のインタビュー調査を振り返って

藤田博康・別府明子・中野洋恵・小川待子

岩崎久美子（司会・編集） 129

資 料

- 1 質問紙調査クロス集計表
- 2 質問紙調査自由記述
- 3 質問紙調査票

I. 調査の概要

I-1 調査実施の概要

1. 社会人対象質問紙調査

(1) 目的

生涯にわたるキャリア発達の過程を明らかにする研究の一環として、平成15年度の小学5年生、中学2年生、高校2年生、平成16年度の大学4年生を対象にした質問紙調査に引き続き、平成17年度に成人を対象とした質問紙調査を実施した。

この成人調査は、成人の職業観、生活満足度、離転職の経験、生涯学習の希望や子どもがいる対象者については、保護者の立場から、子どもの職業や将来のライフコースに対する期待などを明らかにすることを目的とした。具体的な調査項目については、章末の調査票「職業意識に関するアンケート」を参照されたい。

(2) 調査対象者

30～40歳代の社会人男女2000名

(3) 調査の実施

平成17年3月20日から約1週間、インターネットによる質問紙調査を実施した。

回収数が所定の数になったところで打ち切り。

2. インタビュー調査

(1) 目的：

- ・男性と比べて、結婚、子育て、介護など他者との関係性にに基づき発達すると言われる女性のキャリア発達の特異性に主眼をおく。
- ・ライフ・ヒストリーを聴取する中で、女性の人生における職業の位置づけを明らかにする。
- ・女性のキャリア・コースに影響を与える社会・経済的背景などの社会的要因と成育歴や学歴・学習歴などの個人的要因を特定する。
- ・質問紙に関連する項目を過去の「ふりかえり」により聴取することで、小学校、中学校、高等学校などの質問紙調査の妥当性を検証する。

(2) 対象者：

- ・40歳以上の女性で現在職業に従事している者（高齢者の場合過去に職歴のある者）
- ・主観的に元気で「いきいきしている」と判断される者
- ・34名(女性29名、男性5名)

(3) 聴取内容：

1) 属性

- ・生年月日
- ・最終学歴
- ・職歴
- ・結婚歴
- ・出産年齢
- ・既往歴
- ・社会活動

2) 現在の家族

- ・配偶者の最終学歴
- ・配偶者の職歴
- ・配偶者の既往歴
- ・子供の既往歴
- ・子どもの進路

3) 成育家族

- ・出身地・地域の特色
- ・家族構成
- ・生活程度
- ・父母の職業
- ・家族を離れた時期
- ・父母の病気・引退・死亡
- ・きょうだいの進路
- ・引越し経験

4) 学校体験

- ・教育に対する親の考え方
- ・子どもの頃の夢
- ・子どもの頃の性格
- ・小学校から最終学校卒業までの休学・留年・浪人・退学などの有無
- ・先生に関して印象に残っているエピソード
- ・友人関係で印象に残っているエピソード
- ・クラブ活動・アルバイト・ボランティアで印象に残っているエピソード
- ・遊びや趣味

5) 自立の状況

- ・自立の時期における自分の生き方や人生観
- ・自立時に夢見た生活設計

6) 仕事

- ・人生に仕事が占める重み
- ・子どもの頃の夢の達成度
- ・職業選択・継続で影響を受けた人
- ・職業に役立った学習経験や資格
- ・結婚したことによる仕事への影響
- ・子どもを持っていることでの仕事への影響と対応
- ・仕事をしているのを一番喜んでくれている人
- ・仕事をする上で子どもの頃から教えておいたほうがよいと思われること
- ・職業を持ちたい学生がやっておくべきこと

7) ライフコース

- ・自分が心理的に安定したと思った時期とその要因
- ・生きる上で大きな影響を受けた人
- ・一番うれしかったこと
- ・一番つらかったこと
- ・危機を乗り越えられた理由
- ・危機の生活への影響
- ・心のよりどころ
- ・今後の自分の生き方
- ・死についてのとらえ方

8) その他

- ・社会貢献の意識
- ・30代・40代・50代・60代前後の頃の自分の気持
- ・今までの経験の中で大事なもの

表 I-1 インタビュー者属性一覧

【男 性】

	職 業	年 齢	学 歴	その他
1	外資インターネット広告関係会社員	28	高校	未婚、後に短大、大学卒
2	測量会社勤務測量士補	34	高校	未婚
3	法人不正調査関係会社役員	38	大学	後に大学院 MBA 取得
4	私立大学福祉学科教員	54	大学	後に大学院カウンセリング修士取得
5	食品関係会社取締役副社長	57	大学院修士課程修了	

【女 性】

	職 業	年 齢	学 歴	その他
1	看護師	40	専門学校	
2	厚労省系財団職員	42	大学	
3	起業（子育て支援）	42	高校	保母
4	一般企業勤務	45	高校	
5	女性センター所長	48	大学	
6	会社経営	48	短大	
7	社会保険労務士、行政書士、 ファイナンシャル・プランナー	49	大学	社会保険労務士、行政書士、 ファイナンシャル・プランナー
8	事務所経営	49	大学院	
9	料理教室主宰	50	大学	
10	NPO 主宰	51	高校	
11	洋菓子関係出版社、喫茶店経営	54	大学	
12	教育委員会嘱託員	54	大学	社会教育主事
13	女性センター・生涯学習センター 副館長	55	大学	薬剤師免許
14	厚労省系財団課長	55	大学	

15	建築事務所主宰	58	専門学校	一級建築士
16	初等音楽教育家	60	短大	
17	ジェリーデザイナー	60	専門学校	
18	看護婦	65	看護学校	
19	会社部長	68	大学	
20	教員	70	大学	
21	会社社長	74	高等女学校	
22	図書館司書	74	大学	司書、保母
23	法人役員	75	高等女学校	
24	製薬会社	75	大学	司書補
25	教員	77	高等女学校	
26	自営業	77	高等女学校	
27	会社社長	75	高等女学校	
28	会社常務	75	大学	
29	教員	82	大学	

注：年齢はインタビュー当時

I - 2 調査結果の概要

国立教育政策研究所生涯学習政策研究部部長
山田 兼 尚
国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官
岩 崎 久美子

性別、年齢区分と各調査項目とのクロス集計（三重クロス）に基づいて調査結果を検討し、その概要を紹介する。

1. 調査対象者の属性

先ず、性別と調査対象者の属性（年齢区分、学歴、在住地域分類）とのクロス集計結果を示す。

(1) 年齢区分

性別による年齢区分を表1に示した。調査実施計画時に、調査対象者数を男女各1000名、各年齢区分250名と設定した。インターネットによる調査であるので、目標に達した時点で調査は終了させているので、ほぼ計画とおりの対象者数が得られている。

表1 性別×年齢区分

年齢区分		性別		合計
		男性	女性	
30歳～34歳	度数	254	252	506
	%	25.1	25.0	25.0
35歳～39歳	度数	253	252	505
	%	25.0	25.0	25.0
40歳～44歳	度数	253	252	505
	%	25.0	25.0	25.0
45歳～49歳	度数	253	252	505
	%	25.0	25.0	25.0
合計	度数	1013	1008	2021
	%	100.0	100.0	100.0

(2) 学歴区分

性別による学歴区分を表2に示した。男性は「大学」が54%、「高校」が22%、女性は「大学」が31%、「短期大学」25%、「高校」が27%である。

表2 性別×学歴区分

学歴区分		性別		合計
		男性	女性	
大学院	度数	92	15	107
	%	9.1	1.5	5.3
大学	度数	545	312	857
	%	53.8	31.0	42.4
短期大学	度数	27	255	282
	%	2.7	25.3	14.0
高等専門学校	度数	78	98	176
	%	7.7	9.7	8.7
高校	度数	225	269	494
	%	22.2	26.7	24.4
中学	度数	15	15	30
	%	1.5	1.5	1.5
その他	度数	19	26	45
	%	1.9	2.6	2.2
無回答	度数	12	18	30
	%	1.2	1.8	1.5
合計	度数	1013	1008	2021
	%	100.0	100.0	100.0

(3) 居住地域区分

調査対象者の居住地域区分を表3に示した。「東京」(16.7%)、「神奈川」(10.9%)を中心とする「関東」地域が最も多く45%、次いで「大阪」(8.4%)、「兵庫」(6.1%)を中心とする「近畿」地域が20%である。居住地域区分による性別による偏りはほとんどないと言ってよかろう。

表3 性別×居住地域区分

居住地域区分		性別		合計
		男性	女性	
北海道	度数	51	59	110
	%	5.0	5.9	5.4
東北	度数	46	47	93
	%	4.5	4.7	4.6
関東	度数	454	446	900
	%	44.8	44.2	44.5
北陸	度数	33	20	53
	%	3.3	2.0	2.6
中部	度数	102	112	214
	%	10.1	11.1	10.6
近畿	度数	210	195	405
	%	20.7	19.3	20.0
中国	度数	43	51	94
	%	4.2	5.1	4.7
四国	度数	23	14	37
	%	2.3	1.4	1.8
九州	度数	51	64	115
	%	5.0	6.3	5.7
合計	度数	1013	1008	2021
	%	100.0	100.0	100.0

2. 調査項目の回答結果

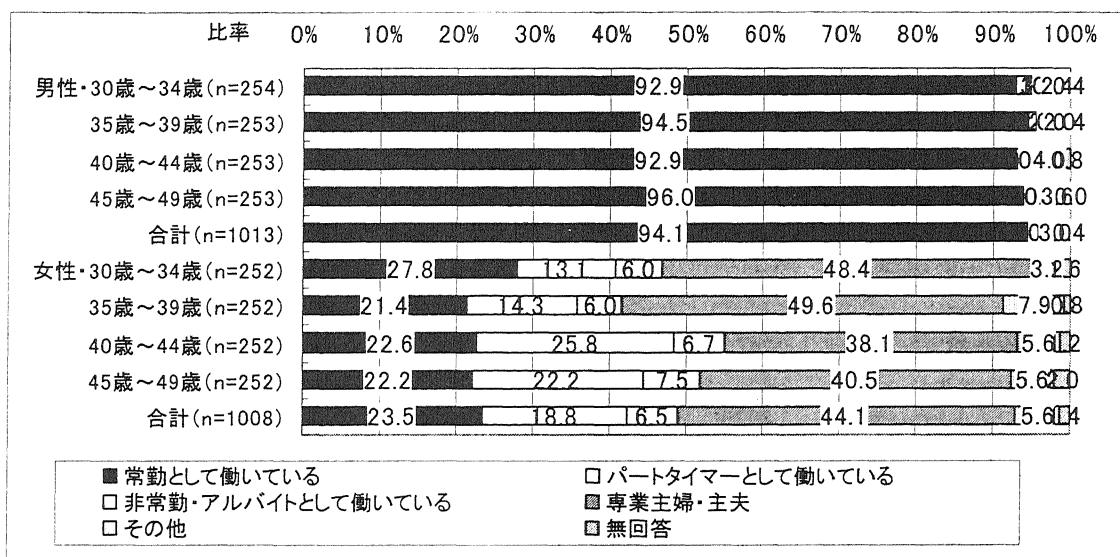
調査票の順に従って、各調査項目と性別と年齢区分による三重クロスによる集計結果を検討していく。以下において、年齢区分30歳～34歳は「30歳」、35歳～39歳は「35歳」、40歳～44歳は「40歳」、45歳～49歳は「45歳」と表記する。

(1) 現在の状況 (Q3 図1)

現在の状況について、「常勤として働いている」、「パートタイマーとして働いている」、「非常勤・アルバイトとして働いている」、「専業主婦・主夫」、「その他」の5選択肢で回答を求め、結果を図1に示した。

男性のほとんどは(93～96%)が「常勤として働いている」。女性の「常勤として働いている」は、「30歳」が28%で最も多く、そのほかの年齢区分では、22%程度である。また、女性の最頻値カテゴリである「専業主婦」は、「30歳」、「35歳」が50%近いが、「40歳」、「45歳」では、40%前後である。一方、「パートタイマー」は、「30歳」、「35歳」が10%強であるのに対して、「40歳」、「45歳」は20%強である。「専業主婦」「パートタイマー」は、相補的な関係のあることが推察される。

図1 現在の状況



(2) 現在の仕事の内容 (Q3-1 図2-1-1, 2)

「常勤として働いている」人の仕事(職業)の内容について、九つの職業分類を用意して回答を求め、その結果を図2-1-1(男性)、2(女性)に示した。

図2-1-1 現在の仕事(職業)男性

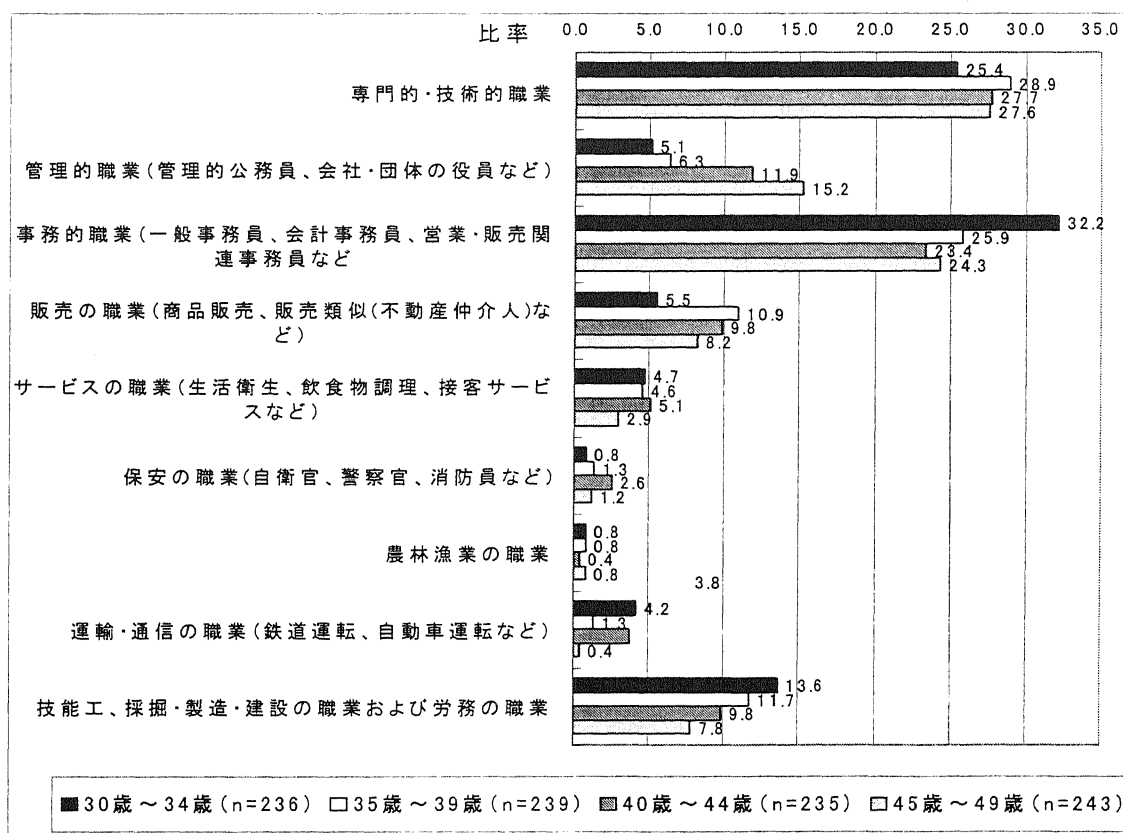
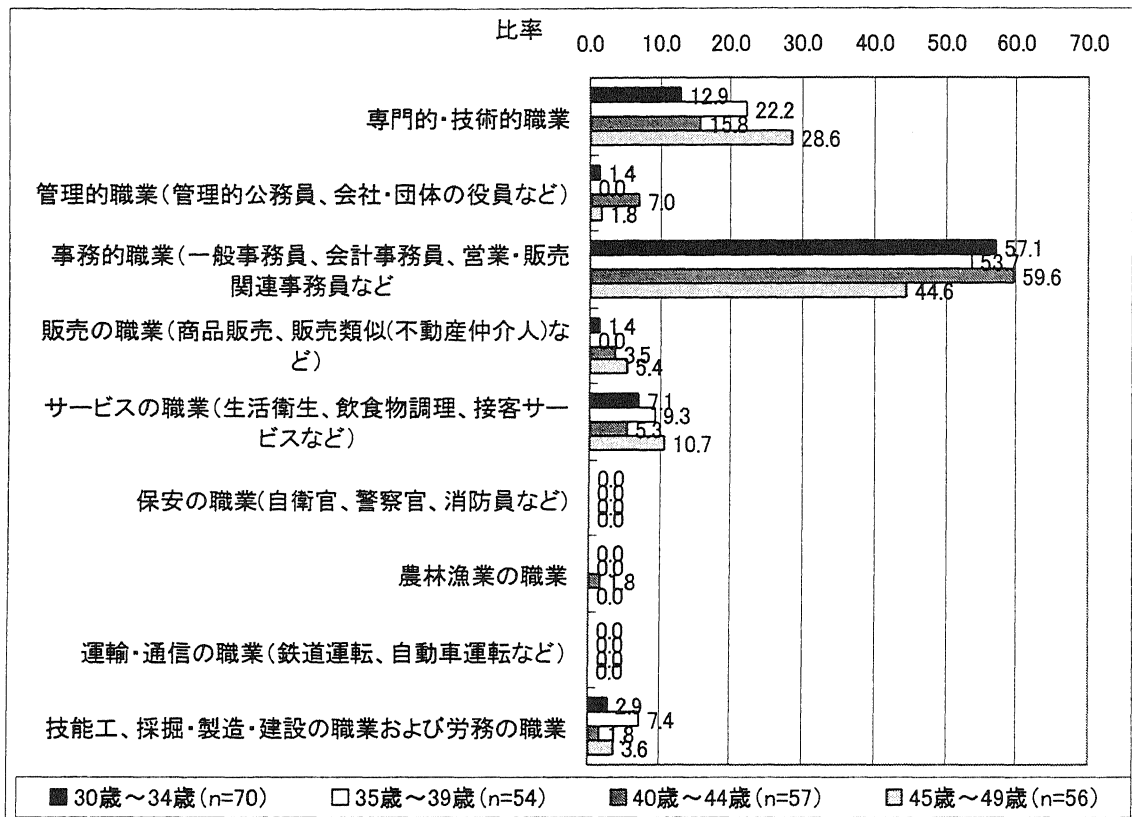


図 2-1-2 現在の仕事（職業）女性



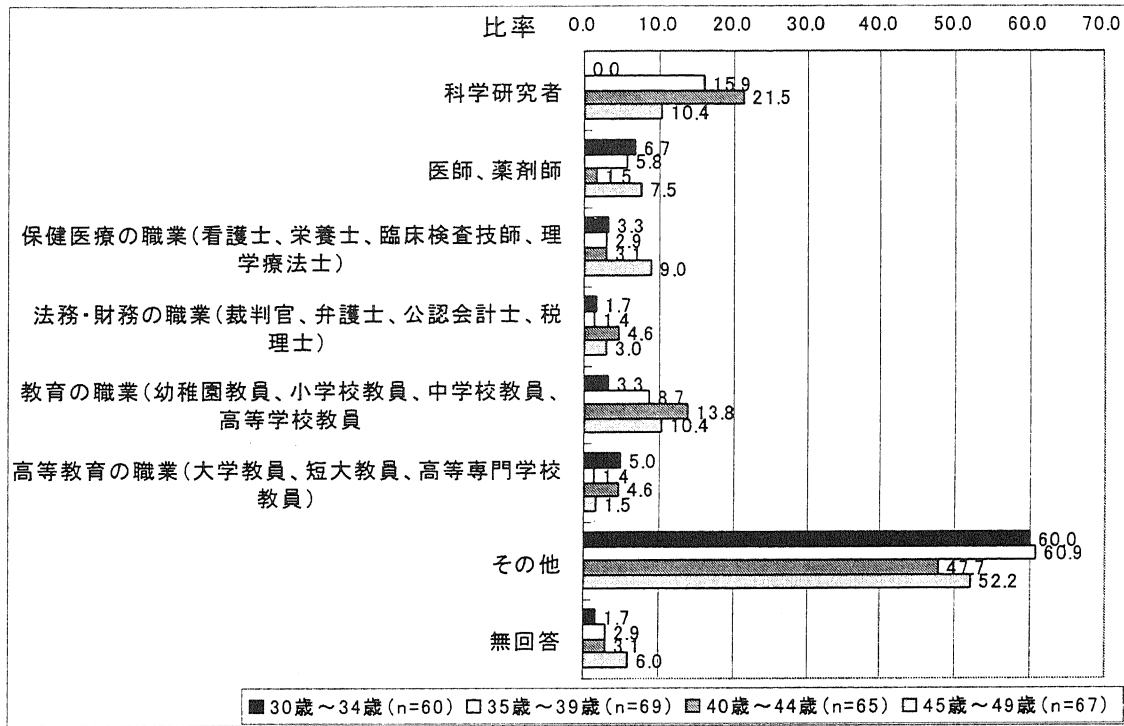
男性では、「専門的・技術的職業」が26～29%、「事務的職業」が23～32%の範囲にあり、上位を占めている。「事務的職業」の年齢区分で、「30歳」の32%が目立っている。「管理的職業」は5～15%の範囲で、当然のことながら年齢の進行に伴って、その割合が増加している。反対に「技能工等および労務の職業」は8～14%の範囲で、年齢の進行に伴って、その割合が減少している。

女性では、「事務的職業」の割合が最も多く、45～60%、次いで「専門的・技術的職業」が13～29%、「サービスの職業」は5～11%の範囲にある。

次に、「専門的・技術的職業」の下位分類について、7つ職業分類により回答を求めた(Q3-1SQ 図2-2-1 (男性)) 結果をに示した(女性については、年齢区分に含まれる対象者が少ないので図は割愛した)。

男性では「科学研究者」が0～22%、「教育の職業」が3～14%の範囲である。「その他」が48～61%で各年齢区分で最も多くなっているが、ここに「技術的職業」が分類されていると推察される。

図2-2-1 専門的・技術的職業の下位分類（男性のみ）

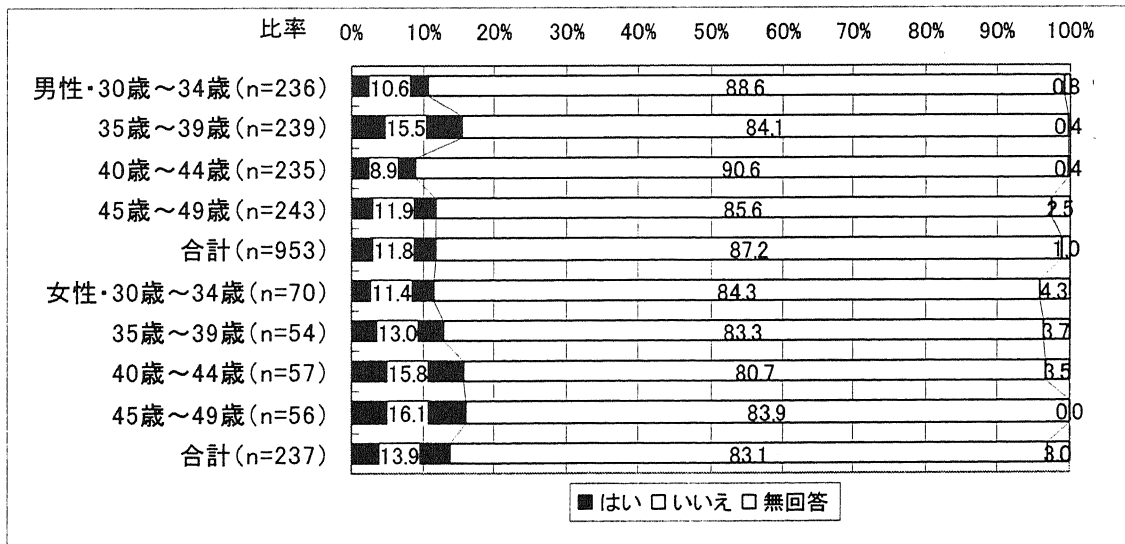


(3) 両親等の仕事との関連 (Q3-3 図3)

現在ついている仕事(職業)が、身近な人(両親、親戚など)の職業との関連の有無についてみたのが図3である。

両親等の仕事と関連があるという回答は、男性は9～16%、女性は11～16%の範囲にある。女性において、年齢の進行に伴って、関連があると回答が増加する傾向が若干みられている。

図3 両親等の仕事との関連

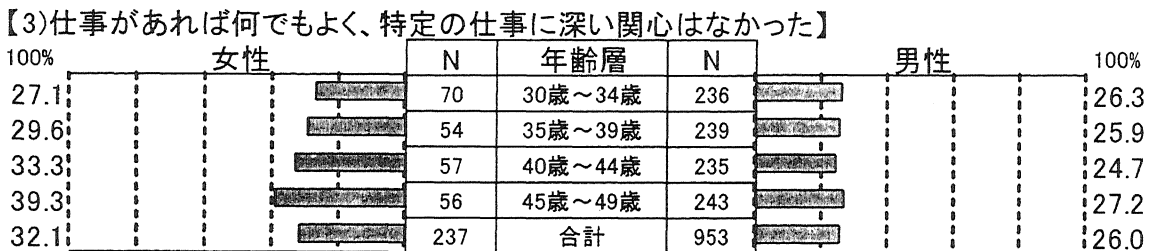
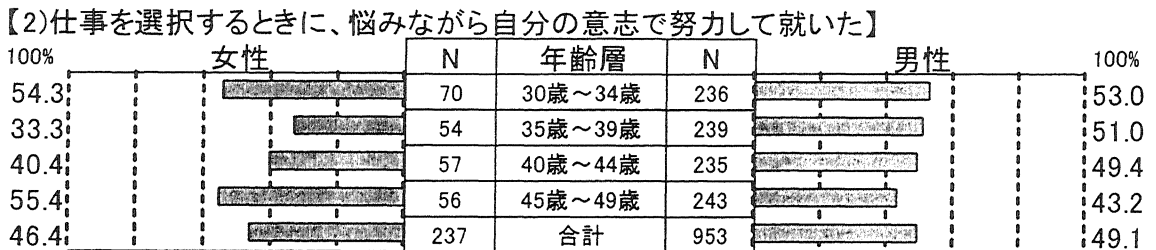
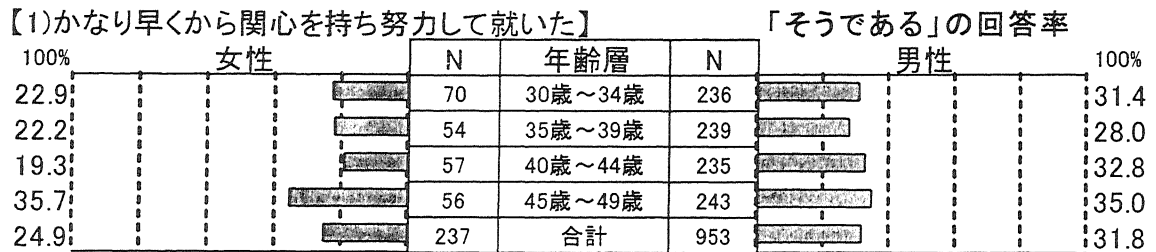


(4) 現在の仕事に就いた経緯 (Q3-4 図4)

現在の職業に就いた経緯について、5つの項目を用意し、「そうである」、「そうでない」の2選択肢で回答を求め、その結果を図4に示した(「そうである」の回答率)。

② 仕事を選択するときに、悩みながら自分の意志で努力して就いた」の「そうである」の回答率は、男性が43～53%(平均値49%以下、平均値の記述は省略)、女性が33～55%(46%)

図4 現在の仕事に就いた経緯



の範囲で、5つの項目の中でその割合が最も高い。次いで「1) かなり早くから関心を持ち努力して就いた」が、男性が28～35% (32%)、女性が19～36% (25%) の範囲である。これら2項目は、仕事に就く際になんかなり積極的な姿勢がうかがわれる項目である。反対に消極的な姿勢である、「3) 仕事があれば何でもよく、特定の仕事に深い関心はなかった」は、男性が25～27% (26%)、女性が27～39% (32%) の範囲、また、「4) 就きたい仕事が見つからなかったのでとりあえず就いた」は、男性21～29% (26%)、女性が18～29% (25%) の範囲である。

「5) 就きたい仕事に就けなかったのであきらめて就いた」とする回答は、5項目の中で最も少なく、男性が10～18% (13%)、女性が2～15% (8%) の範囲である。

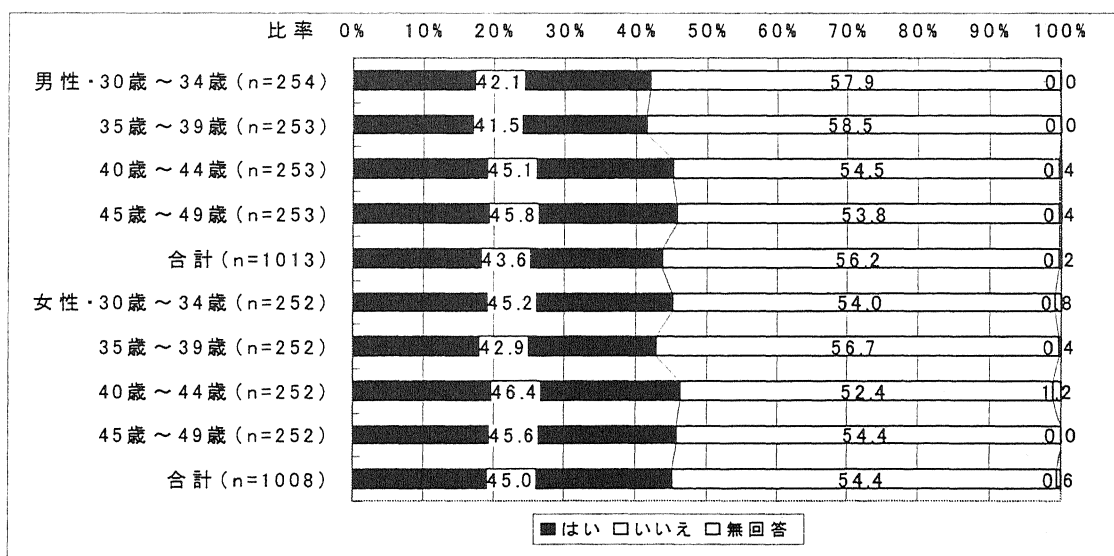
いずれの項目においても、年齢区分による回答率の差は女性の方が大きい傾向にある。

(5) 現在の仕事は理想の仕事か (Q4 図5)

現在の仕事(パートタイム、アルバイト、専業主婦・主夫を含む)が理想とするものか否かについての結果を図5に示した。

理想の仕事であるとする回答率は、男性が42～46%、女性43～46%の範囲である。男性・女性共にほぼ同様の回答率で45%前後が理想の仕事であると回答していることになる。年齢区分による差異も少ないとあって良からう。

図5 現在の仕事は理想とするものか

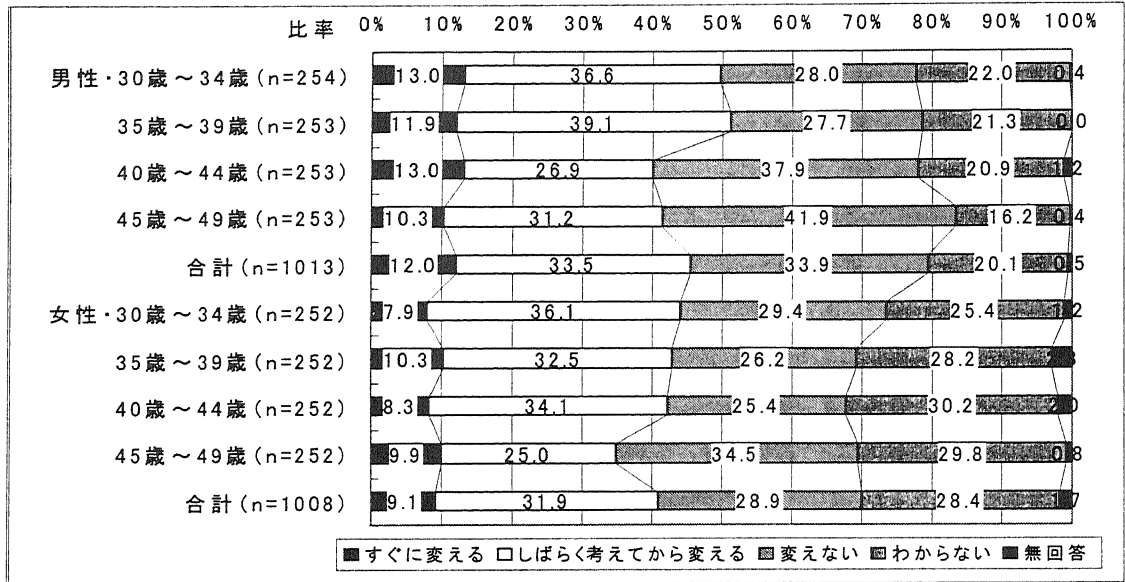


(6) 転職の可能性 (Q5 図6)

現在の仕事を「もし変えることができるとしたらどうするか」という質問により、4選択肢で転職の可能性を捉え、結果を図6に示した。

「すぐ変える」と「しばらく考えてから変える」の合計の回答率に注目すると、男性が40～51%、女性が35～44%の範囲である。半数近くの調査対象者が転職の可能性を指摘していることになる。

図6 転職の可能性



「変えない」とする回答率は、男性が28～42%、女性が25～35%の範囲で、年齢進行に伴って、増加する傾向がみられる。また、「わからない」の回答もかなりみられ、男性が16～22%、女性が25～30%の範囲である。

次に、「すぐ変える」／「しばらく考えてから変える」と転職の可能性があると回答した調査対象者にその理由(Q5-1)について、14項目を用意し、「よくあてはまる」、「あてはまる」、「あまりあてはまらない」、「全くあてはまらない」の4選択肢で回答を求め結果を図6-1に示した(「よくあてはまる」と「あてはまる」の合計の回答率)。

転職の可能性の理由として、「よくあてはまる」と「あてはまる」の合計の回答率が最も高いのは、「8)将来が不安定である」で、男性が59～76% (70%)、女性が57～68% (62%)の範囲である。次いで、「1)賃金がよくない」で、男性が51～72% (64%)、女性が56～59% (57%)の範囲で、「2)働く時間や休暇に不満がある」は、男性が53～73% (61%)、女性が52～61% (57%)の範囲である。さらに、平均値が50%を超えている理由に注目すれば、「13)やりがいを感じられない」が男性が46～62% (53%)、女性が43～56% (50%)の範囲である。これら4つの理由は、いずれもネガティブなものであるが、ポジティブな理由では、「12)幅広い経験をするため」は、男性が40～63% (55%)、女性が50～66% (57%)の範囲、「11)キャリアアップのため」は、男性が33～61% (50%)、女性が39～54% (48%)の範囲である。

上記の6つ理由では、男性と女性の回答率の平均値にそれほど大きな差(10ポイント以下)はみられていない。年齢区分間の差については、女性では少ないが、男性では、「11)キャリアアップのため」、「12)幅広い経験をするため」の2つの理由は年齢の進行に伴って、この回答率が減少、「2)働く時間や休暇に不満がある」では増加している傾向にある。

6-1 転職の可能性の理由

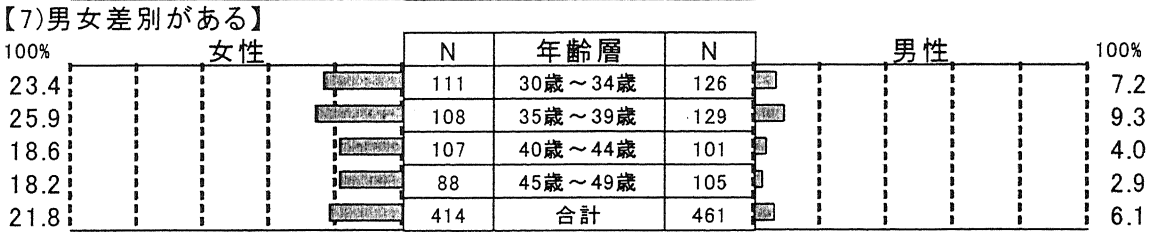
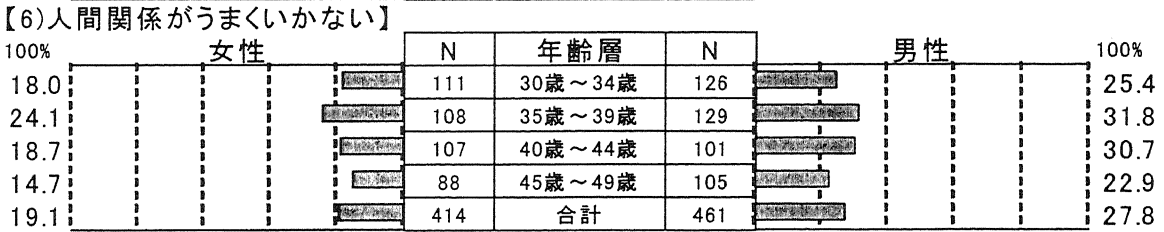
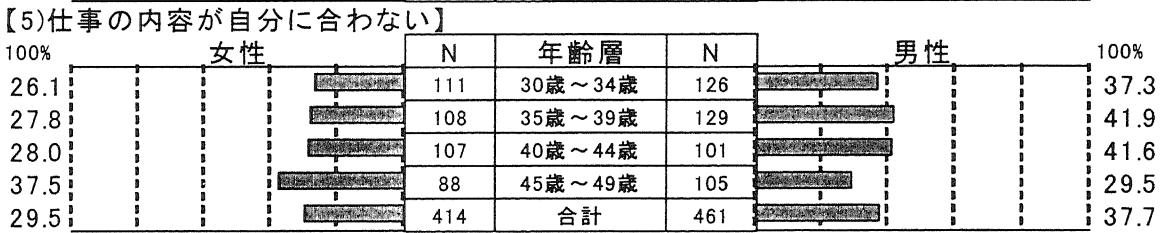
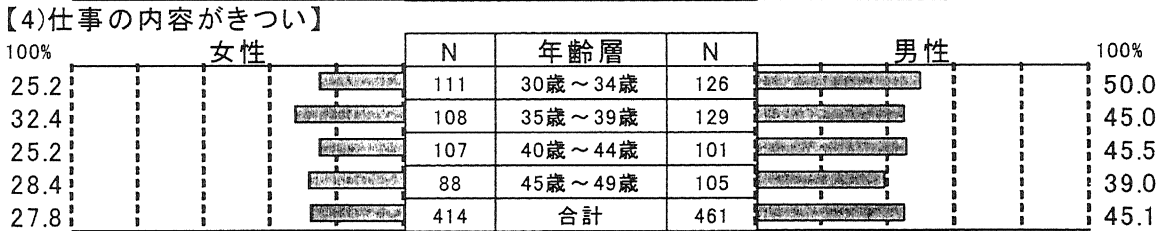
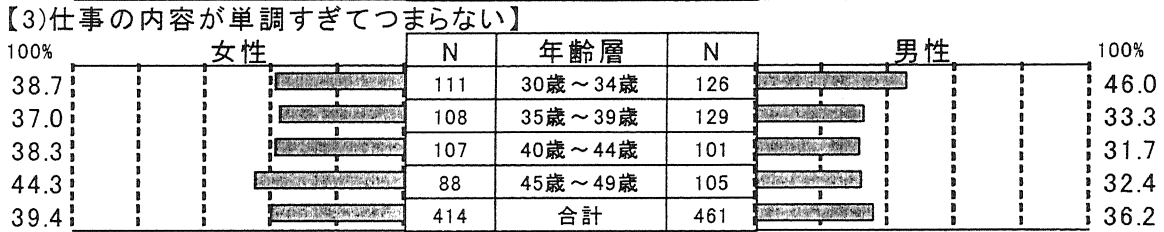
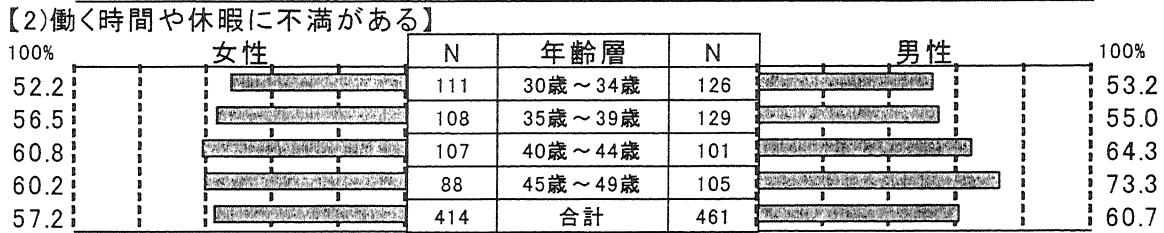
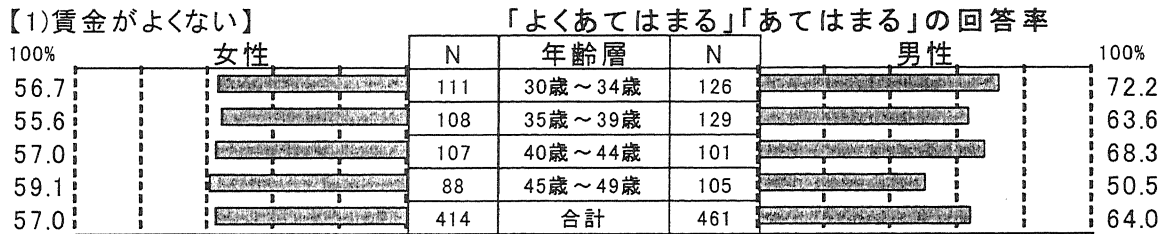
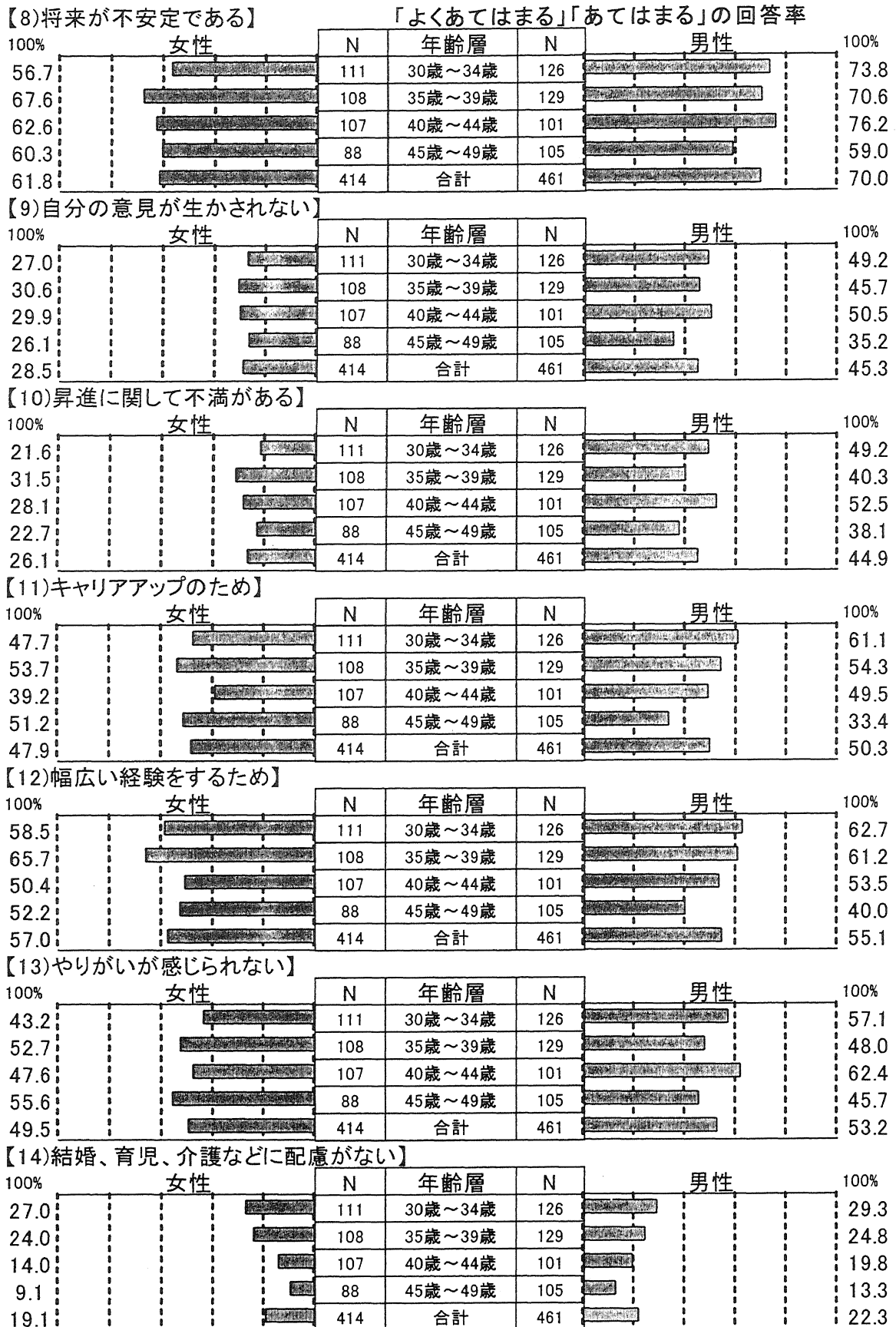


表 6-1 転職の可能性の理由 (続き)



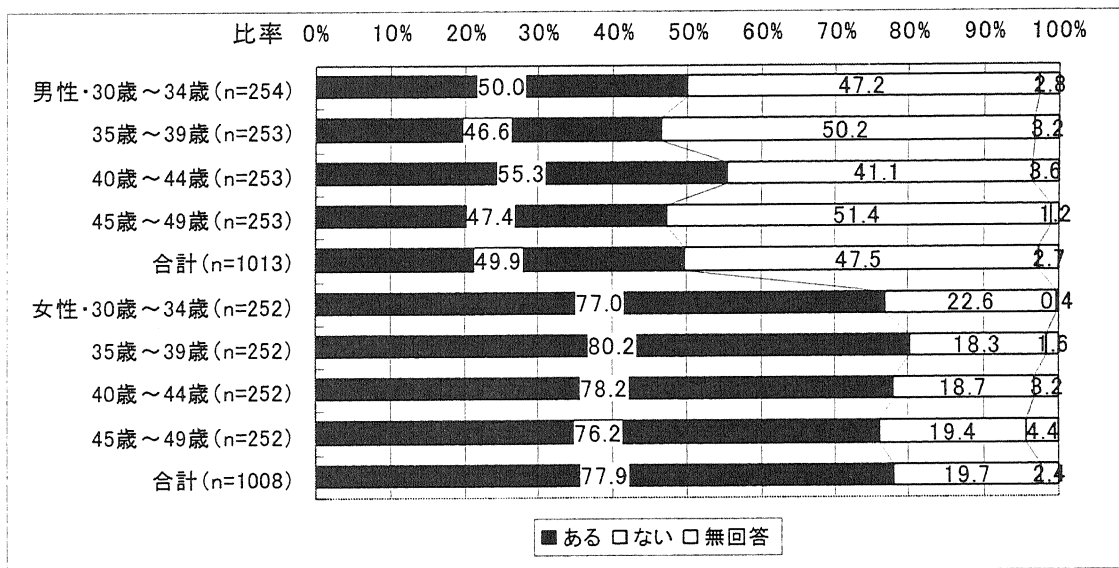
平均値で男性と女性の回答率の平均値の差が大きい（10ポイント以上）のは、「10」昇進に関して不満がある」（男性 45%/女性 26%）、「4」仕事の内容がきつい」（男性 45%/女性 28%）、「9」自分の意見が活かされない」（男性 45%/29%）、「7」男女差別がある」（男性 6%/女性 22%）の4つの理由である。

（7）離職・転職の経験の有無（Q6 図7）

今までの離職・転職の経験の有無の結果を図7に示した。

離職・転職の経験者は、男性が47～55%（50%）、女性が76～80%（78%）の範囲にあり、女性の方が平均値で28ポイント多い。男性、女性共に、年齢区分による差は少ない。

図7 離職・転職の経験



また、表4に離職・転職の経験者にその回数をたずねた結果を示した。1～3回の割合が男性は85%、女性は約80%を占めている。「30歳」の男性、女性共に1回が最も多いが、年齢の進行に伴い、2回、3回と離職・転職の割合が増加していくことが推察される。

表4 離職・転職の回数

性別	年齢区分	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上
男性	30歳～34歳 (n=127)	47.2	26.8	11.0	6.3	3.1	5.6
	35歳～39歳 (n=118)	31.4	30.5	23.7	6.8	3.4	4.2
	40歳～44歳 (n=140)	36.4	24.3	23.6	3.6	7.1	5.0
	45歳～49歳 (n=120)	40.8	28.3	16.7	5.0	6.7	2.5
	合計 (n=505)	39.0	27.3	18.8	5.3	5.1	4.5
女性	30歳～34歳 (n=194)	36.6	26.8	20.6	7.7	6.7	1.5
	35歳～39歳 (n=202)	31.2	23.8	24.3	6.4	9.4	5.0
	40歳～44歳 (n=197)	24.4	25.9	25.9	11.2	8.6	4.0
	45歳～49歳 (n=192)	25.5	27.1	23.4	10.4	3.6	10.0
	合計 (n=785)	29.4	25.9	23.6	8.9	7.1	4.9

(8) 必要な資質・能力 (Q7 表5-1、2)

人が生きていくうえで、必要であると思われる18の資質や能力を取り上げ、それらがどの程度必要であるかを、「とても必要である」「まあ必要である」「あまり必要でない」「全然必要ではない」の4選択肢により評定を求めた。

年齢差は、それほど大きくないと判断されるので、「とても必要である」の回答率について、男性・女性別と性別による差異について検討する。

表5-1に男性、表5-2に女性の結果を示した(「とても必要である」の回答率が50%以上は、太字で示してある)。

「マナーや時間を守るなどの一般常識」、「他者への配慮や思いやり」、「多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力」は男性、女性とも50%以上の回答率、さらに女性では、「道徳心や公共心などの社会性」も60%の回答率である。人間関係を円滑に保つための資質・能力が必要であるという指摘がなされていると言えようか。

表5-1 必要な資質・能力 (男性)

「とても必要である」の回答率

資質・能力	男性
【3】他者への配慮や思いやり	53.9
【12】マナーや時間を守るなどの一般常識	53.6
【4】多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力	51.5
【1】読解力や計算などの基礎的知識や学力	47.9
【17】状況の変化に柔軟に対応する能力	47.4
【5】情報を収集、選択、活用する能力	46.9
【8】計画をたて実行する能力	45.2
【2】自分を理解する能力	44.2
【13】道徳心や公共心などの社会性	42.1
【16】アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力	41.1
【18】常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする能力	41.0
【11】基礎的体力	40.9
【15】論理的なものを考える能力	40.8
【9】選択肢の中から主体的に判断する能力	39.6
【10】課題を設定し解決する能力	37.6
【14】交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力	37.5
【6】社会や職業について学ぶ能力	24.5
【7】多様な役割を知りそれを担う能力	23.9

表5-2 必要な資質・能力 (女性)

「とても必要である」の回答率

資質・能力	女性
【12】マナーや時間を守るなどの一般常識	75.9
【3】他者への配慮や思いやり	71.2
【13】道徳心や公共心などの社会性	59.8
【4】多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力	57.0
【1】読解力や計算などの基礎的知識や学力	47.9
【17】状況の変化に柔軟に対応する能力	46.7
【11】基礎的体力	45.7
【2】自分を理解する能力	44.8
【5】情報を収集、選択、活用する能力	36.8
【18】常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする能力	36.0
【8】計画をたて実行する能力	32.8
【9】選択肢の中から主体的に判断する能力	31.7
【10】課題を設定し解決する能力	26.6
【6】社会や職業について学ぶ能力	26.5
【15】論理的なものを考える能力	26.5
【14】交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力	25.5
【16】アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力	24.7
【7】多様な役割を知りそれを担う能力	23.2

表6 必要な資質・能力（性別による差異）

また、性別による差異をみたのが、表6である（性別による「とても必要である」の回答率の差が10ポイント以上は、太字で示してある）。

前記の「マナーや時間を守るなどの一般常識」、「他者への配慮や思いやり」、「道徳心や公共心などの社会性」の3つの資質・能力は女性の回答率が高い。

一方、「アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力」、「論理的にものごとを考える能力」、「計画をたて実行する能力」、「交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力」、「課題を設定し解決する能力」、「情報を収集、選択、活用する能力」の5つの資質・能力は男性の回答率が高い傾向にある。

どちらかと言えば、女性は情意的側面の、男性は認知的側面の資質・能力の必要性を指摘している傾向にあると言えよう。

次に、このような資質・能力を、どのような「場」－「家庭」「学校」「職場」「地域社会」－で身に就けるべきか（Q7-1 表7）を複数選択可として回答を求め（「はい」「いいえ」の2選択肢）、その結果を表7に示した（「はい」の回答率が60%以上を太字で示している）。

60%以上の男性・女性が、指摘しているそれぞれの資質・能力を習得する「場」は、ほぼ共通していると言ってよからう。「はい」回答率が60%以上の資質・能力に注目していくと次のような結果である。

①「自分を理解する能力」、「他者への配慮や思いやり」、「基礎的体力マナーや時間を守るなどの一般常識」、「道徳心や公共心などの社会性」の5つの資質・能力は、「家庭」を身に就ける「場」として、男性・女性共に60%以上が指摘している。

②「読解力や計算などの基礎的知識や学力」、「多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力」、「課題を設定し解決する能力」、「基礎的体力」、「マナーや時間を守るなどの一般常識」、「道徳心や公共心などの社会性」、「論理的にものごとを考える能力」、「常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする能力」の8つの資質・能力は、「学校」を身に就ける「場」として、男性・女性共に60%以上が指摘している。また、「アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力」は、男性の60%以上が「職場」を指摘している。

資質・能力	男性	女性	差
【16】アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力	41.1	24.7	16.4
【15】論理的にものごとを考える能力	40.8	26.5	14.3
【8】計画をたて実行する能力	45.2	32.8	12.4
【14】交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力	37.5	25.5	12.0
【10】課題を設定し解決する能力	37.6	26.6	11.0
【5】情報を収集、選択、活用する能力	46.9	36.8	10.1
【9】選択肢の中から主体的に判断する能力	39.6	31.7	7.9
【18】常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする能力	41.0	36.0	5.0
【7】多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力	23.9	23.2	0.7
【17】状況の変化に柔軟に対応する能力	47.4	46.7	0.7
【1】読解力や計算などの基礎的知識や学力	47.9	47.9	0.0
【2】自分を理解する能力	44.2	44.8	-0.6
【6】社会や職業ごとに学ぶ能力	24.5	26.5	-2.0
【11】基礎的体力	40.9	45.7	-4.8
【4】多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力	51.5	57.0	-5.5
【3】他者への配慮や思いやり	53.9	71.2	-17.3
【13】道徳心や公共心などの社会性	42.1	59.8	-17.7
【12】マナーや時間を守るなどの一般常識	53.6	75.9	-22.3

表7 必要な資質・能力を習得する場

資質・能力	家庭		学校		職場		地域社会	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
【1】読解力や計算などの基礎的知識や学力】	32.1	32.8	88.3	93.7	12.8	7.9	4.1	4.2
【2】自分を理解する能力】	69.7	79.8	36.9	42.8	37.0	31.1	33.4	35.3
【3】他者への配慮や思いやり】	73.8	79.2	52.7	61.8	40.5	45.6	55.5	61.6
【4】多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力】	25.5	27.8	68.0	77.2	66.6	67.2	54.3	64.2
【5】情報を収集、選択、活用する能力】	27.3	35.6	43.9	55.7	74.1	70.0	28.8	36.8
【6】社会や職業について学ぶ能力】	25.4	26.0	46.1	51.2	65.9	70.4	44.1	47.0
【7】多様な役割を知りそれを担う能力】	27.9	40.2	46.0	55.1	71.3	70.8	40.1	48.8
【8】計画をたて実行する能力】	37.3	53.1	58.2	69.8	67.3	57.3	14.5	19.6
【9】選択肢の中から主体的に判断する能力】	37.3	47.5	51.4	60.9	66.9	60.1	19.2	25.3
【10】課題を設定し解決する能力】	28.4	34.9	60.2	72.7	69.6	59.2	15.1	16.8
【11】基礎的体力】	69.5	78.2	66.4	66.0	12.0	11.9	19.2	15.9
【12】マナーや時間を守るなどの一般常識】	79.8	89.0	59.7	60.9	36.8	37.1	47.8	45.7
【13】道徳心や公共心などの社会性】	73.9	82.6	60.9	62.3	30.1	35.2	55.1	57.7
【14】交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力】	28.5	33.7	50.9	58.6	74.1	72.8	27.5	29.7
【15】論理的にものごとを考える能力】	33.9	38.2	72.6	72.6	53.1	52.8	13.7	17.3
【16】アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力】	44.1	48.6	55.9	63.2	63.2	61.8	24.1	25.7
【17】状況の変化に柔軟に対応する能力】	42.2	54.3	49.6	59.0	69.8	67.7	37.5	43.2
【18】常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする能力】	48.3	54.8	70.6	80.1	58.9	58.5	23.8	28.4

(「はい」の回答率)

③「多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力」、「情報を収集、選択、活用する能力」、「社会や職業について学ぶ能力」、「多様な役割を知りそれを担う能力」、「選択肢の中から主体的に判断する能力」、「交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力」、「アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力」、「状況の変化に柔軟に対応する能力」の8つの資質・能力は、「職場」を身に就ける「場」として、男性・女性共に60%以上が指摘している。

また、「計画をたて実行する能力」、「課題を設定し解決する能力」の2つの資質・能力は、男性の60%以上が「職場」を指摘している。

④「他者への配慮や思いやり」、「多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力」の2つの資質・能力は、女性の60%以上が「地域社会」を身に就ける「場」として指摘している。

⑤「基礎的体力」、「マナーや時間を守るなどの一般常識」、「道徳心や公共心などの社会性」の3つの資質・能力は、「家庭」と「学校」の2つ「場」を、「多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力」は「学校」と「職場」の2つの「場」を男性、女性共に60%以上が指摘している。

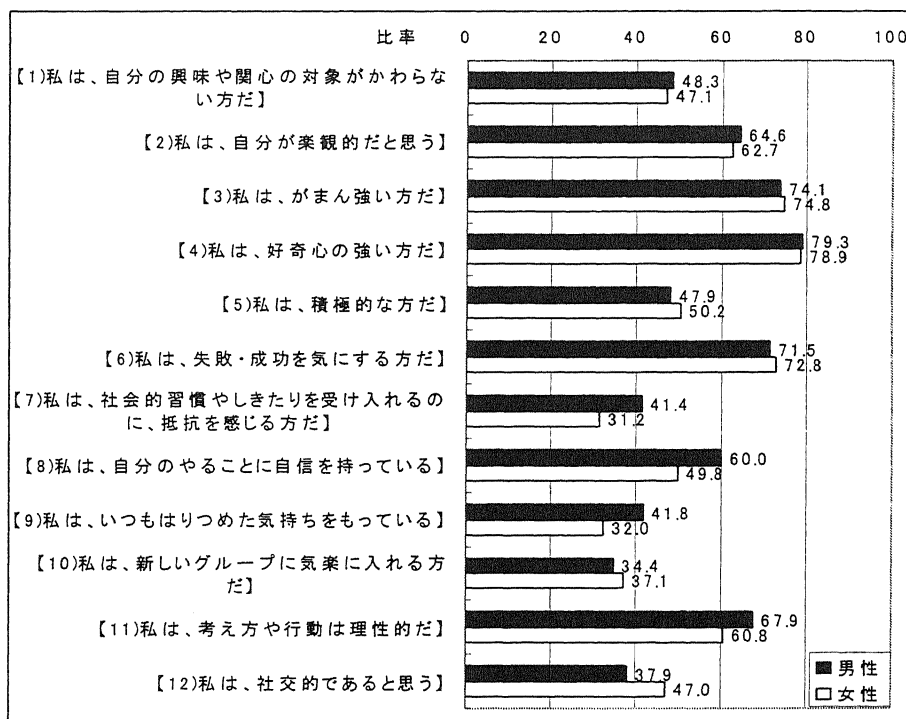
⑥それぞれの「場」の持っている特性に対応した資質・能力の習得が、概して指摘されていると言えよう。すなわち、「家庭」では情意的側面、「学校」では認知的側面、「職場」では技能・応用的側面の資質・能力を身に就ける「場」であると指摘されていると言えようか。

(9) 性格的な特徴 (Q8 図8)

職業選択に関連があると推察される性格的な特徴を捉えるために、12の性格傾向を記述した項目を用意し、「とてもそうである」「まあそうである」「あまりそうでない」「全然そうでない」の4選択肢で評定を求めた。男性、女性共に、年齢による回答率の差は少ないと思われるので、性別の結果を図8に示した(「とてもそうである」と「まあそうである」の合計の回答率)。

性別による回答率の差異の大きい(10ポイント前後)性格特徴としては、「7)私は、社会的習慣やしきたりを受け入れるのに、抵抗を感じる方だ」、「8)私は、自分のやることに自信を持っている」、「9)私は、いつもはりつめた気持ちをもっている」の3項目があげられ、これらの項目では、男性の方が10ポイント高い。また、「12)私は、社会的であると思う」は、女性の方が9ポイント高いという結果である。

図8 性格的な特徴



(「とてもそうである」と「まあそうである」の合計の回答率)

(10) 生涯学習の希望状況 (Q9 図9、図10)

生涯学習の観点から、条件が整えば、学習したいこと(現在やっていることを含む)の希望状況を、「ぜひやりたいことがある」、「できればやりたいことがある」、「決まっていないが、何かやりたい」、「やりたいことは、特にない」の4選択肢で回答を求め、結果を図9に示した。

「ぜひやりたいことがある」の回答率は、男性は18~31% (26%)、女性は21~33% (26%)の範囲で、年齢の進行に伴い減少傾向にある。

何らかの学習したいと希望している、「ぜひやりたいことがある」、「できればやりたいことがある」、「決まっていないが、何かやりたい」の3選択肢の合計の回答率の年齢差は、ほとんどなく男性、女性共に約85%である。

次に学習したいことの内容(Q9-1)について、11の項目を用意し、「ぜひしたい」、「できればしたい」、「あまりしたくない」、「全然したくない」の4選択肢で回答を求め結果を図10に示した(「ぜひしたい」の回答率)。

性別による比較では、次のような点を指摘することができる。

①「ぜひしたい」の回答率の高い学習内容は、男性、女性共に、「9)コンピュータに関する知識や技能」(男性39%、女性35%)と「10)英会話やその他の外国語」(男性29%、女性30%)である。本調査がインターネットを介した調査であるので、「9)コンピュータに関する知識や技能」の回答率が高くなっていることに影響を与えているかもしれない。

②「11)職業上の知識や技能」(男性34%、女性25%)、「4)体育・スポーツ・レクリエーション」(男性28%、女性25%)、「5)健康管理や病気の予防」(男性21%、女性26%)の3つの学習内容も「ぜひしたい」の回答率が高い。

図9 生涯学習の希望状況

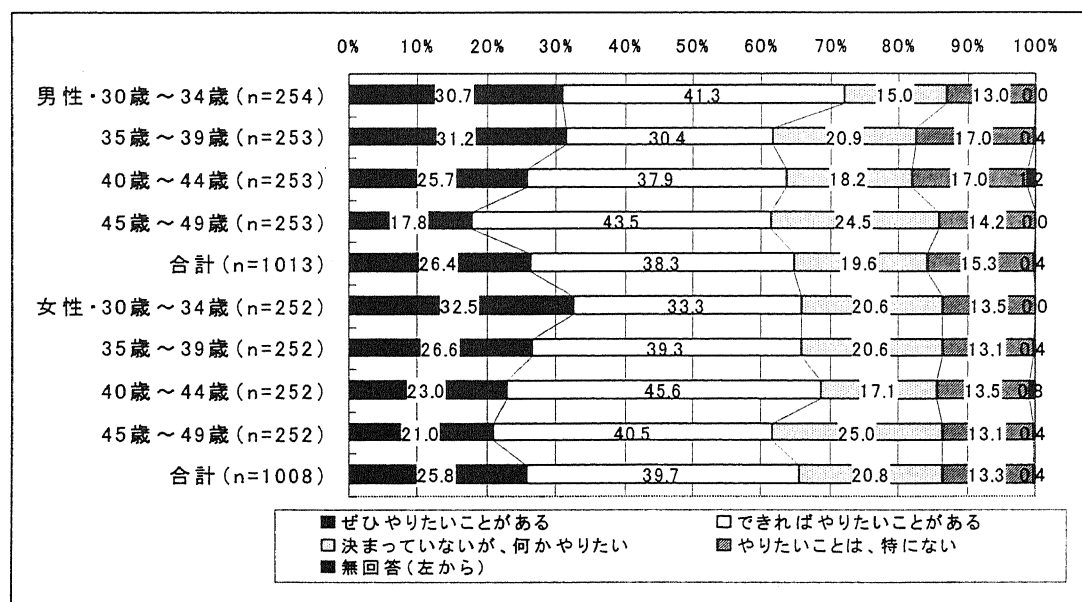


図 10 学習したい内容

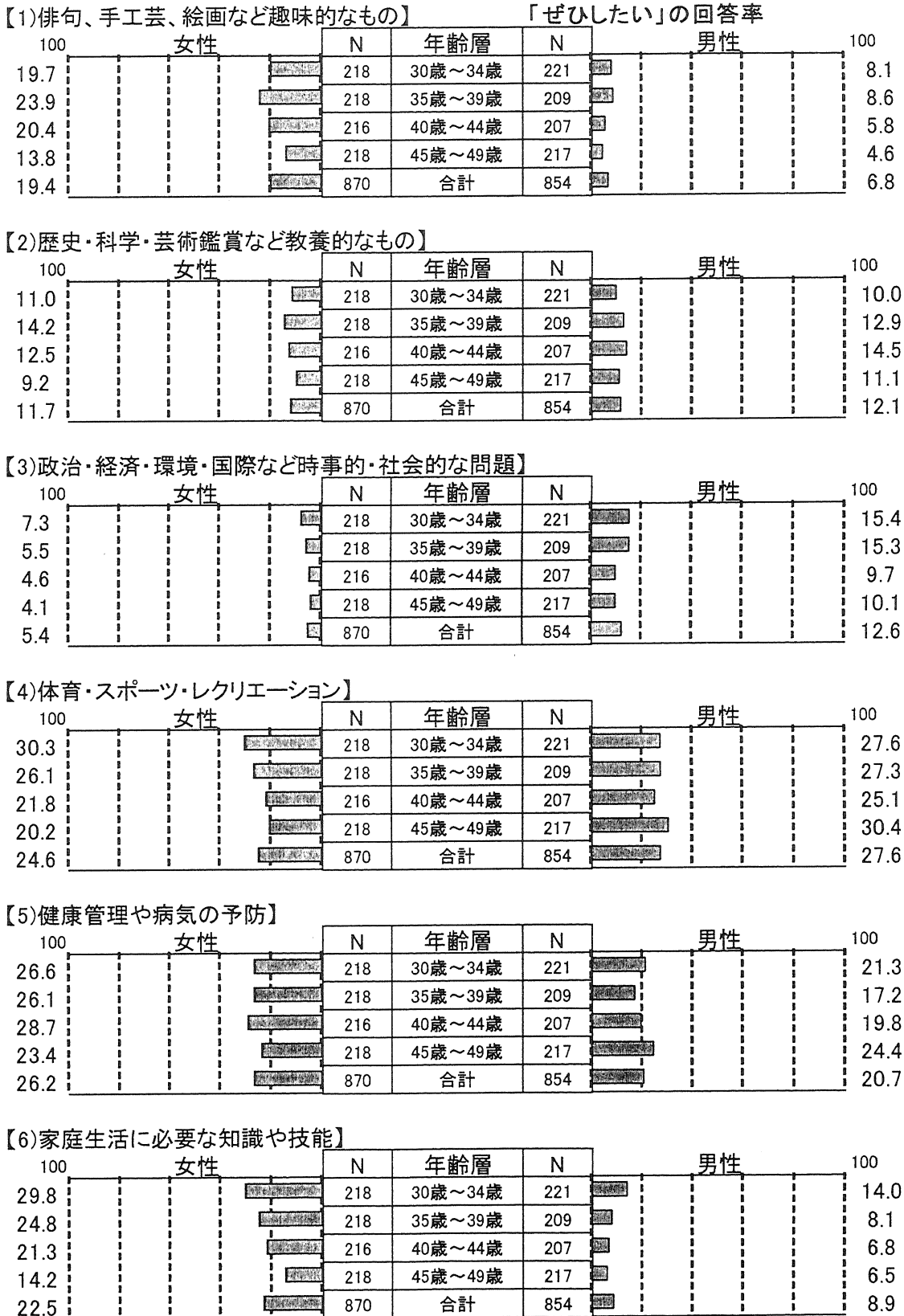
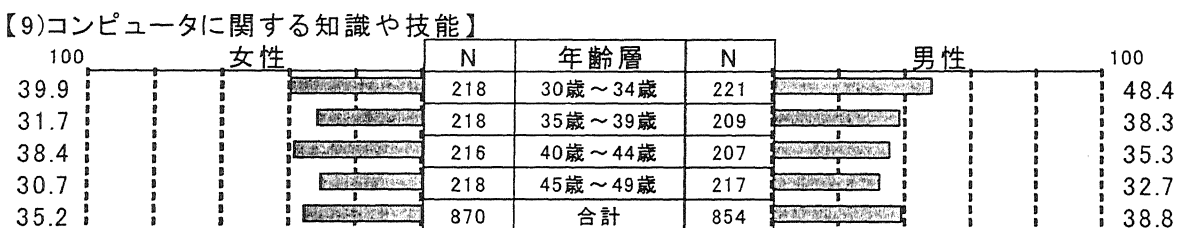


図 10 学習したい内容 (続き)



③性別による差異が大きい学習内容は、「1」俳句、手工芸、絵画など趣味的なもの」と「6」家庭生活に必要な知識や技能」の2つで、女性の方が10ポイント以上回答率が高い。

年齢による回答率の差が大きい（「30歳」と「45歳」間で10ポイント以上）学習内容については、以下のとおりである。

①男性、女性共に、年齢進行に伴って、「ぜひしたい」の回答率は減少する傾向にある学習内容は、「11」職業上の知識や技能（男性25～46%、女性20～30%）、「7」子どもの教育や育児（男性7～18%、女性10～30%）である。

②男性では、「9」コンピュータに関する知識や技能（33～48%）、「10」英会話やその他の外国

語」(22~34%)の2つの学習内容である。

③女性では、「6)家庭生活に必要な知識や技能」(14~30%)、「4)体育・スポーツ・レクリエーション」(20~30%)の2つの学習内容である。

(11) 満足感 (Q10 図 11)

現在の生活にどの程度、満足しているかを捉えるために12の項目(側面)をあげ、「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」の4選択肢で評定を求めた。図11に、性別の「満足」と「やや満足」の合計の回答率を示した(項目は、男性、女性合計のこの回答率の高い順に並べ替えてある)。

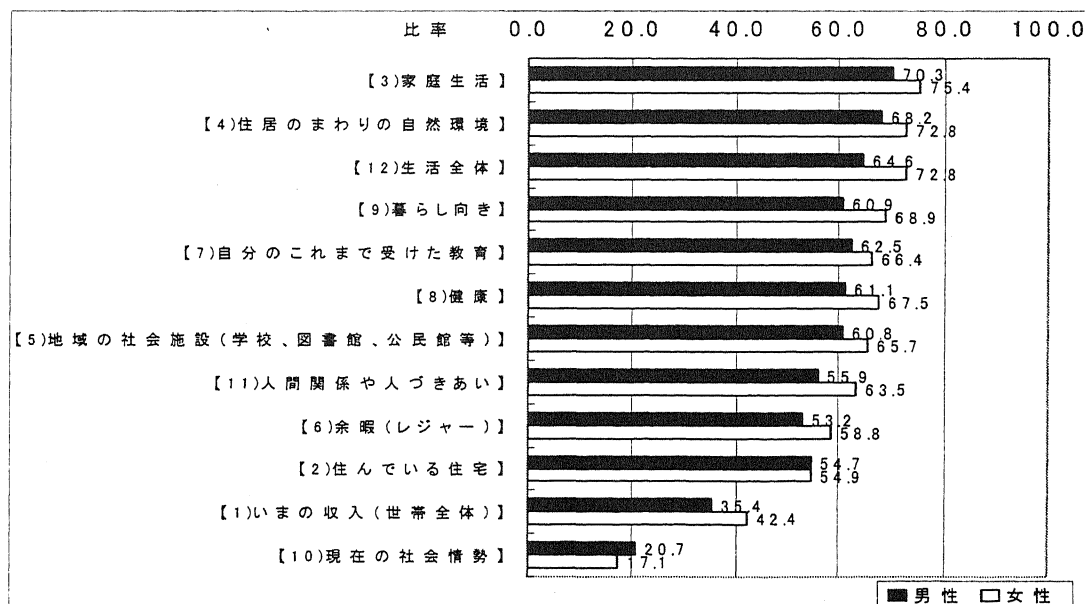
男性、女性共に60%以上が満足(「満足」/「やや満足」)している項目は、「3)家庭生活」、「4)住居のまわりの自然環境」、「12)生活全体」、「9)暮らし向き」、「7)自分のこれまで受けた教育」、「8)健康」、「5)地域の社会施設(学校、図書館、公民館等)」の7つの項目である。その他の項目でも「1)いまの収入(世帯全体)」、「10)現在の社会情勢」の2項目を除いて50%以上が満足しており、12項目のうち10項目において、50%以上が満足していることになる。

いずれの項目においても、女性の方が満足(「満足」/「やや満足」)している傾向にあり、最も差の大きいのは「12)生活全体」、「9)暮らし向き」で、女性の方が8ポイント高い。その中において、「10)現在の社会情勢」のみ男性の方が4ポイント高いという結果である。

χ^2 検定の結果、性別による各項目の4選択肢の回答率の偏りは、「2)住んでいる住宅」、「10)現在の社会情勢」の2項目を除いた、その他の項目において認められた。一方、年齢差については、男性では偏りの認められた項目はなく、女性において、「3)家庭生活」、「9)暮らし向き」の2項目においてのみ偏りが認められた。

従って、満足感については、年齢差はほとんどなく、性差があると判断できようか。

図 11 満足感



(「非常に満足」と「やや満足」の回答率)

(12) 仕事観 (Q11 図 12)

仕事観を聞く項目を 14 項目あげ、「とてもそう思う」「そう思う」「あまりそう思わない」「全然そう思わない」の 4 選択肢で評定を求めた。「とてもそう思う」「そう思う」を併せた回答率の合計した結果を図 12 で示してある。回答率の合計 (平均値) により、40%、60%、80%、それ以上、で項目を分類してある。なお、回答率に著しい男女差がある場合、低い方の合計 (平均値) 回答率にあわせて分類してある。

①14 項目中、回答率が低い (回答率が男女ともに 40%以下) 項目は、「8) 業績をあげるためにはチームワークよりも個人プレーが必要である」(男性 24%、女性 15%) である。ついで少ないのは、「12) 家庭のことよりも、自分の生き方を優先する」(男性 31%、女性 22%) となっている。個人主義的な考え方は、2-3 割にとどまっている。

図 12 仕事に関する意識

《回答率<40%》 「とてもそう思う」と「そう思う」の回答率
【8) 業績をあげるためにはチームワークよりも個人プレーが必要である】

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
15.5		252	30歳~34歳	254		25.6
12.7		252	35歳~39歳	253		29.3
14.3		252	40歳~44歳	253		24.9
16.7		252	45歳~49歳	253		16.6
14.8		1008	合計	1013		24.1

【12) 家庭のことよりも、自分の生き方を優先する】

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
19.1		252	30歳~34歳	254		33.5
23.4		252	35歳~39歳	253		38.0
26.2		252	40歳~44歳	253		29.3
17.5		252	45歳~49歳	253		24.5
21.5		1008	合計	1013		31.3

《40%≤回答率<60%》

【4) 就職は有力なコネで決まる】

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
45.3		252	30歳~34歳	254		46.4
38.4		252	35歳~39歳	253		40.7
50.0		252	40歳~44歳	253		45.0
47.7		252	45歳~49歳	253		39.1
45.4		1008	合計	1013		42.9

【1) 仕事は人生における生きがいである】

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
48.8		252	30歳~34歳	254		46.4
45.6		252	35歳~39歳	253		39.2
52.7		252	40歳~44歳	253		44.3
56.3		252	45歳~49歳	253		51.8
50.9		1008	合計	1013		45.4

【6）仕事のやりがいよりも職場が安定している方が大事である】

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
52.0		252	30歳～34歳	254		47.3
48.8		252	35歳～39歳	253		46.6
48.4		252	40歳～44歳	253		44.3
53.2		252	45歳～49歳	253		47.4
50.6		1008	合計	1013		46.4

《60%≦回答率<80%》

【2）たとえ、望む仕事につけなかったとしてもがまんして働くべきである】

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
60.0		252	30歳～34歳	254		57.1
58.4		252	35歳～39歳	253		56.5
63.1		252	40歳～44歳	253		66.8
61.1		252	45歳～49歳	253		64.8
60.6		1008	合計	1013		61.3

【10）仕事に役立つのは基礎的な学力である】

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
63.9		252	30歳～34歳	254		63.0
65.9		252	35歳～39歳	253		66.4
71.0		252	40歳～44歳	253		63.2
70.2		252	45歳～49歳	253		62.4
67.7		1008	合計	1013		63.7

【5）キャリアアップのための転職は当然である】

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
74.6		252	30歳～34歳	254		73.2
75.4		252	35歳～39歳	253		66.1
72.2		252	40歳～44歳	253		68.0
73.0		252	45歳～49歳	253		57.3
73.8		1008	合計	1013		66.1

【14）地域や社会のために役立つことをしたい】

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
70.2		252	30歳～34歳	254		70.5
71.4		252	35歳～39歳	253		69.2
71.8		252	40歳～44歳	253		73.1
77.4		252	45歳～49歳	253		72.3
72.7		1008	合計	1013		71.2

【3）経済的に困らなければ、わざわざ望まない仕事に就く必要はない】

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
70.7		252	30歳～34歳	254		68.9
73.8		252	35歳～39歳	253		75.1
68.7		252	40歳～44歳	253		76.3
71.8		252	45歳～49歳	253		74.3
71.3		1008	合計	1013		73.6

【9）自分が就きたい職業を早く知ることが大事である】

女性		N	年齢層	N	男性	
76.2		252	30歳～34歳	254		79.1
78.5		252	35歳～39歳	253		73.6
78.2		252	40歳～44歳	253		79.0
85.3		252	45歳～49歳	253		77.9
79.5		1008	合計	1013		77.4

《80%≦回答率》

【13）仕事は自分の能力を活かすよい機会である】

女性		N	年齢層	N	男性	
85.3		252	30歳～34歳	254		83.9
88.1		252	35歳～39歳	253		81.9
87.3		252	40歳～44歳	253		77.5
86.9		252	45歳～49歳	253		79.9
87.0		1008	合計	1013		80.7

【7）会社のブランドよりも仕事の内容が重要である】

女性		N	年齢層	N	男性	
87.7		252	30歳～34歳	254		85.8
88.9		252	35歳～39歳	253		87.8
88.9		252	40歳～44歳	253		85.4
93.3		252	45歳～49歳	253		84.2
89.6		1008	合計	1013		85.8

【11）いろいろな人との関係やつながりが大切である】

女性		N	年齢層	N	男性	
96.9		252	30歳～34歳	254		94.5
98.4		252	35歳～39歳	253		94.8
98.0		252	40歳～44歳	253		93.7
98.5		252	45歳～49歳	253		94.8
97.9		1008	合計	1013		94.5

②ほぼ意識が半分にわかれた項目（40%より多く60%以下）は、「1）仕事は人生における生きがいである」（男性45%、女性51%）、「6）仕事のやりがいよりも職場が安定している方が大事である」（男性46%、女性51%）、「4）就職は有力なコネで決まる」（男性43%、女性45%）となっている。

③回答率が6割より多く8割以下のものは、「2）たとえ、望む仕事につけなかったとしてもがまんして働くべきである」（男性61%、女性61%）、「10）仕事に役立つのは基礎的な学力である」（男性64%、女性68%）、「5）キャリアアップのための転職は当然である」（男性66%、女性74%）である。また、回答率70%前後では、「14）地域や社会のために役立つことをしたい」（男性71%、女性73%）、「3）経済的に困らなければ、わざわざ望まない仕事に就く必要はない」（男性74%、女性71%）、「9）自分が就きたい職業を早く知ることが大事である」（男性77%、女性80%）が続く。

④合計の回答率が80%以上の高い項目は、「11）いろいろな人との関係やつながりが大切である」（男性95%、女性98%）といった人間関係を重視する項目は、ほぼ全員に近い回答率となって

いる。次いで、「7）会社のブランドよりも仕事の内容が重要である」（男性 86%、女性 90%）、
 「13）仕事は自分の能力を活かすよい機会である」（男性 81%、女性 87%）となっている。仕事の内容を重視し自分の能力を活かすことを望む者が多いことがわかる。

(13) 「場」の機能 (Q13 表 8-1、2)

「生活のはりあい・活力」「心の安らぎ・気晴らし」「生き方・価値観への影響」「人々の交流やふれあい」「人間性の豊かさ」「自分の可能性・達成感」「効用感・評価」「今後のつきあいの場」の8つの機能がどこ（どの場）で担われているかを聞いた項目である。場所としては、「家庭」「友人とのつきあいの場」「職場」「学習サークル（研究会・趣味の団体など）」「地域社会」「インターネット上のソサエティ」「その他」「どこにもない」の8つから回答させた。表 8-1、表 8-2 は、回答率のうち上位 3 位までを表記した。男女で順位が異なるものはゴシックで表記した。

- ①各項目の第一位を見ていると、男女を問わず、家庭は、「生活のはりあい・活力」（男性 48%、女性 46%）、
 「心の安らぎ・気晴らし」（男性 66%、女性 67%）などの精神の安定・充足の場としての機能がある。
- ②「友人とのつきあいの場」が「人々との交流・ふれあい」（男性 36%、女性 52%）、
 「人間性の豊かさ」（男性 32%、女性 36%）、
 「今後のつきあいの場」（男性 31%、女性 45%）の項目で男女ともに第一位となっており、
 精神の豊かさを保つうえでの友人の存在が大きいものであることがわかる。
- ③職場は、「自分の可能性・達成感」（男性 66%、女性 45%）や「効用感・評価」（男性 64%、
 女性 43%）の場と考えるものが男女ともに多い。職場は能力、達成感、他者からの評価の場として考えられている。
- ④男女で異なった結果となったのは、「生き方・価値観への影響」の場である。男性では「職場」（30%）が第一位であるのに対し、
 女性は「友人とのつきあいの場」（31%）の回答率が高い。女性の場合、
 回答者の多くがパートタイマー、非常勤・アルバイト、専業主婦（常勤者は 24%）であるため、
 「職場」をあげる項目・回答に影響があると推察される。

表 8-1 場の機能・男性

	1 位	2 位	3 位
1. 生活のはりあい・活力	家 庭 (48.2%)	友人とのつきあいの場 (19.5%)	職 場 (16.3%)
2. 心の安らぎ・気晴らし	家 庭 (66.2%)	友人とのつきあいの場 (16.0%)	その他 (5.2%)
3. 生き方・価値観への影響	職 場 (30.1%)	友人とのつきあいの場 (24.5%)	家 庭 (18.0%)
4. 人々の交流・ふれあい	友人とのつきあいの場 (36.3%)	職 場 (24.5%)	地域社会 (15.7%)
5. 人間性の豊かさ	友人とのつきあいの場 (31.9%)	職 場 (16.8%)	家 庭 (16.0%)
6. 自分の可能性・達成感	職 場 (65.9%)	どこにもない (8.1%)	学習サークル (6.0%)
7. 効用感・評価	職 場 (64.0%)	家 庭 (9.5%)	どこにもない (7.5%)
8. 今後のつきあいの場	友人とのつきあいの場 (31.0%)	地域社会 (24.5%)	学習サークル (12.1%)

表 8-2 場の機能・女性

	1 位	2 位	3 位
1. 生活のはりあい・活力	家庭 (46.4%)	友人とのつきあいの場 (27.2%)	職場 (12.1%)
2. 心の安らぎ・気晴らし	家庭 (66.8%)	友人とのつきあいの場 (23.3%)	インターネット上の ソサエティ (3.0%)
3. 生き方・価値観への影響	友人とのつきあいの場 (31.3%)	家庭 (22.1%)	職場 (17.1%)
4. 人々の交流・ふれあい	友人とのつきあいの場 (51.6%)	職場 (13.9%)	学習サークル (10.9%)
5. 人間性の豊かさ	友人とのつきあいの場 (36.1%)	家庭 (17.9%)	学習サークル (14.0%)
6. 自分の可能性・達成感	職場 (45.0%)	学習サークル (13.1%)	家庭 (12.4%)
7. 効用感・評価	職場 (42.8%)	家庭 (26.8%)	どこにもない (8.0%)
8. 今後のつきあいの場	友人とのつきあいの場 (45.1%)	学習サークル (16.4%)	地域社会 (15.5%)

(14) 人生設計 (Q13 図 13-1~図 13-4)

「仕事」「家庭生活」「老後の生活」「人生全般」の4つの観点での人生設計を、「現在ほとんど設計ができています」「ある程度設計ができています」「現在考えているところである」「気にはしているがあまり考えていない」「まったく考えていない」の5選択肢で回答を求め、仕事(図 13-1)、家庭生活(図 13-2)、老後の生活(図 13-3)、人生一般(図 13-4)のそれぞれについて男女別・世代別に示した。

図 13-1 人生設計 (仕事)

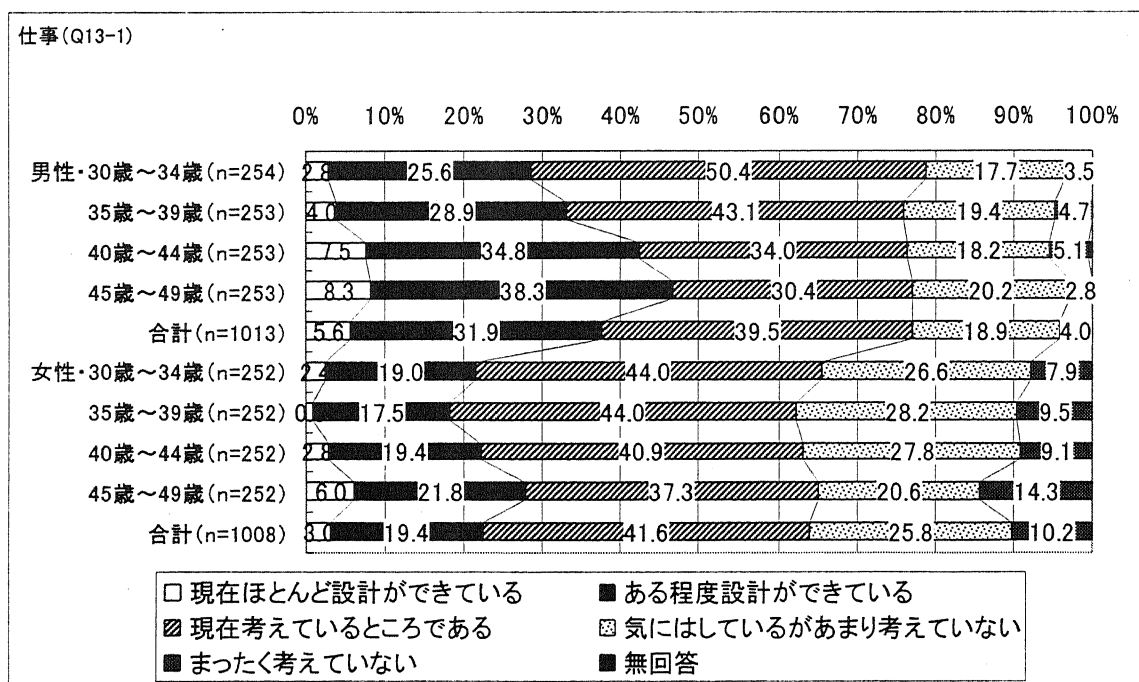
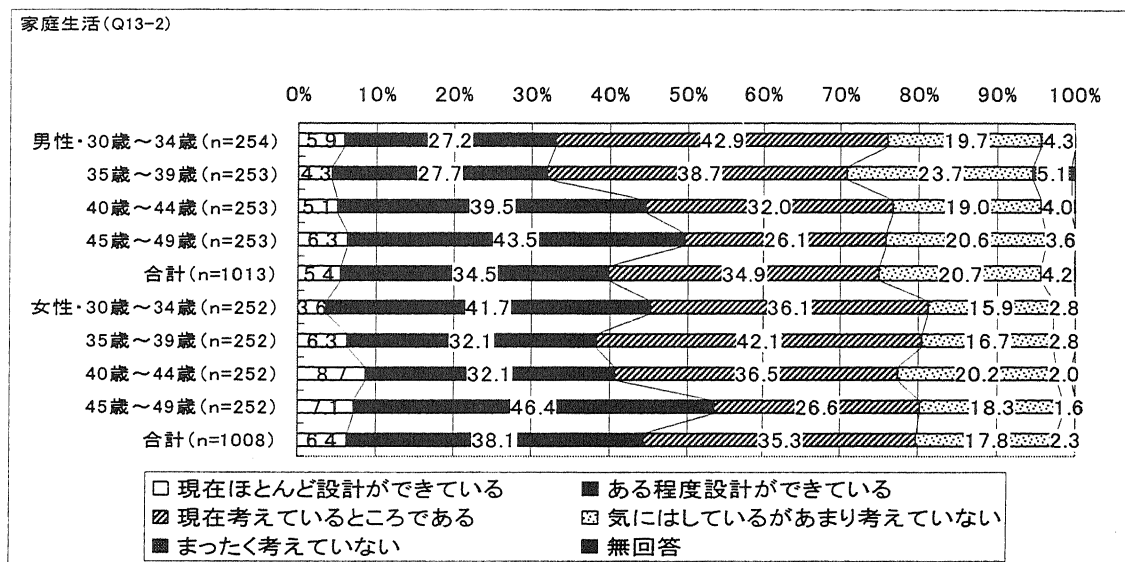


図 13-2 人生設計（家庭生活）



①仕事について設計ができているとの回答（「現在ほとんど設計ができています」と「ある程度設計ができている」）をみると、男性は38%、女性は22%である。男性は年齢があがるにつれて、設計がされていくが、女性は、35-39歳の時期にいったん下がって再度上昇する。

②家庭生活では、男性は40%、女性は45%で、約半数近くが家庭生活上の設計ができていると回答している。男女ともに30-34歳にいったん下がりその後高くなる。子育ての時期が重なるからであろうか。

③老後の生活では、男性の14%、女性の14%が老後の設計ができていると回答している。いずれも2割以下となっている。

④人生全般で人生設計ができているとの回答は、男性18%、女18%で、いずれも2割以下となっている。

図 13-3 人生設計（老後の生活）

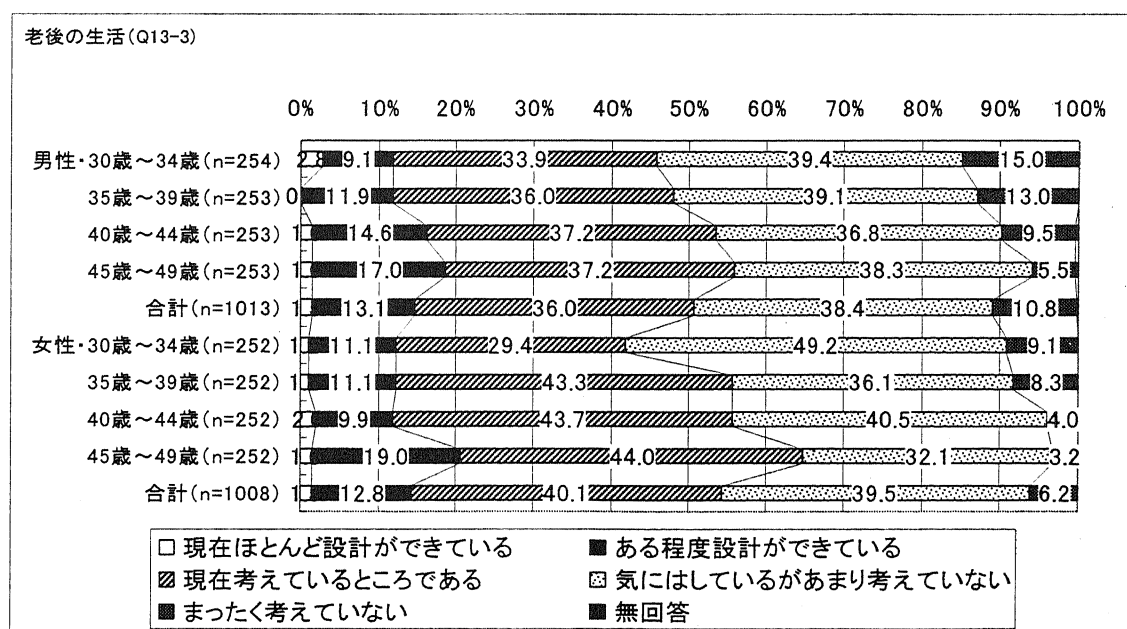
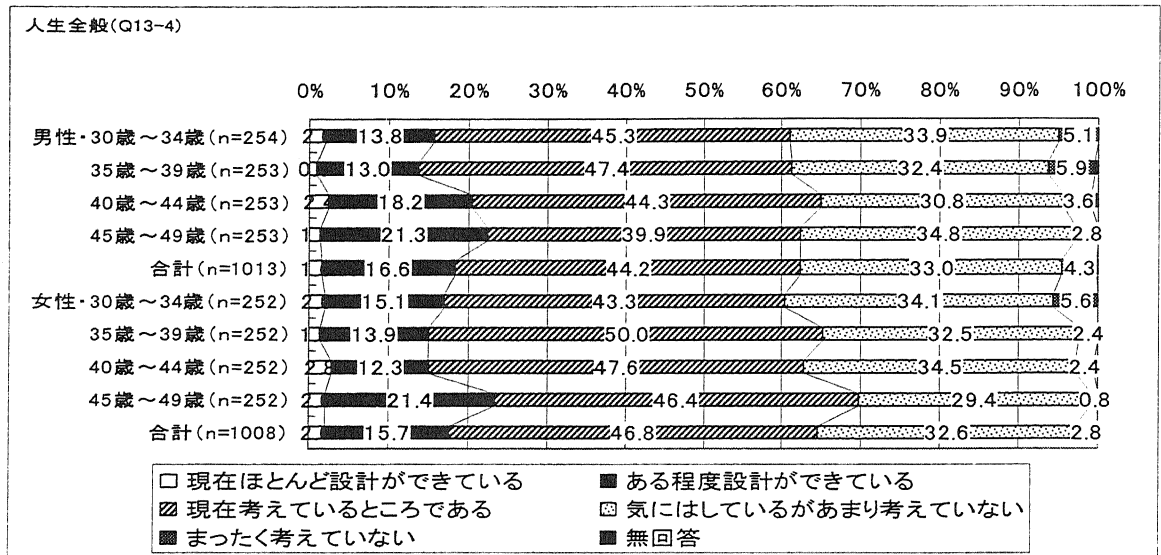


図 13-4 人生設計 (人生全般)



(15) 進学先の決定要因 (Q15 図 14)

最終学歴を聞いた問 14 での回答では、男性は回答率の高い順では大学 54%、高校が 22%、女性は大学が 31%、高校 27%、短大 25%となっている。それぞれの最終学歴に進学する際の決定要因について 8 項目で「重視した」「どちらともいえない」「重視しなかった」の 3 選択肢で回答を求めた。

図 14 進学先の決定要因

《関心・学力など個人的要因》

「重視した」の回答率

【2）自分の興味・関心があった】

女性	N	年齢層	N	男性
66.3	252	30歳～34歳	254	58.7
59.9	252	35歳～39歳	253	62.1
61.1	252	40歳～44歳	253	59.7
59.9	252	45歳～49歳	253	49.8
61.8	1008	合計	1013	57.6

【1）自分の学力にあっている】

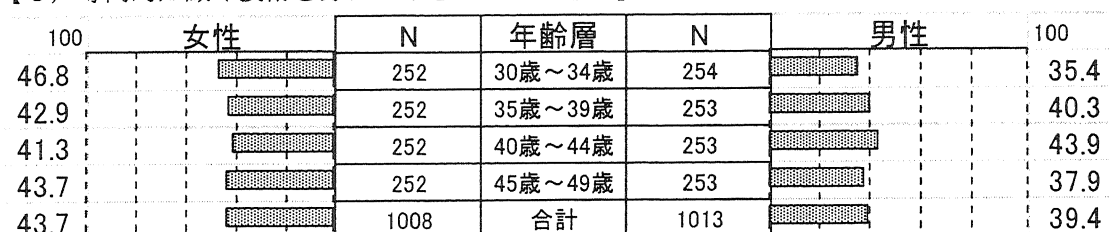
女性	N	年齢層	N	男性
61.5	252	30歳～34歳	254	52.0
58.7	252	35歳～39歳	253	53.8
54.8	252	40歳～44歳	253	56.1
61.5	252	45歳～49歳	253	58.1
59.1	1008	合計	1013	55.0

【3）自分の得意教科・科目を生かせる】

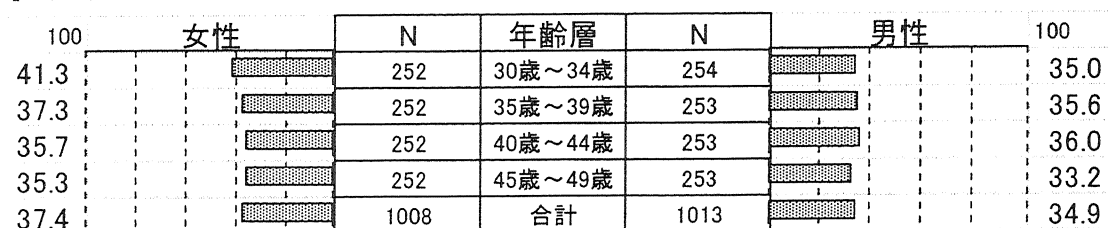
女性	N	年齢層	N	男性
48.8	252	30歳～34歳	254	46.5
49.2	252	35歳～39歳	253	46.6
52.8	252	40歳～44歳	253	51.0
51.6	252	45歳～49歳	253	45.1
50.6	1008	合計	1013	47.3

《資格・技能・職業要因》

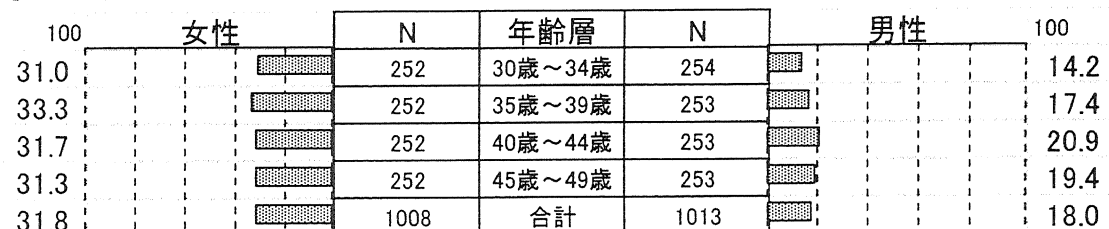
【8】専門的知識や技術を身につけることができる】



【4】希望する職業に結びつくことができる】

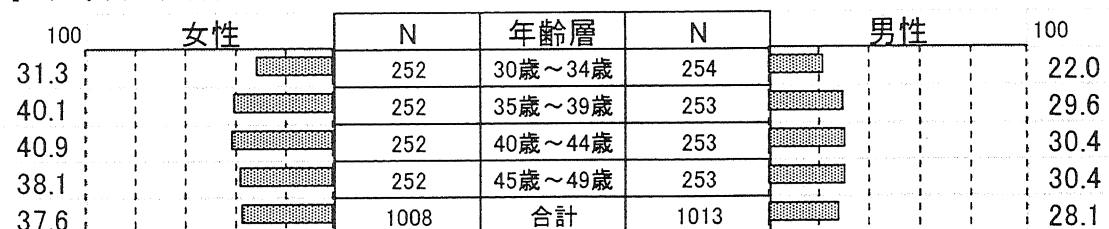


【7】自分が必要とする資格をとれる】

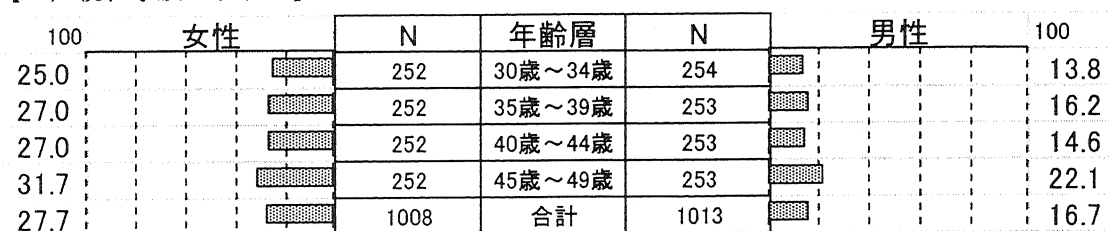


《他者のすすめ・経済状況など外的要因》

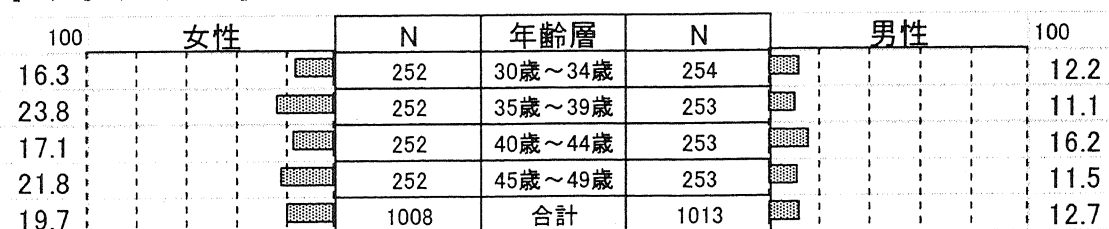
【9】家庭の経済状況にあっている】



【5】親、家族のすすめ】



【6】教師のすすめ】



- ①関心・学力などの個人的要因：「2）自分の興味・関心があった」（男性 58%、女性 62%）、「1）自分の学力にあっている」（男性 55%、女性 59%）、「3）自分の得意教科・科目を生かせる」（男性 47%、女性 51%）といった自分に帰属する内容や決定に関わる項目がほぼ半数を占める。
- ②資格・技能・職業要因：「8）専門的知識や技術を身につけることができる」（男性 39%、女性 44%）、「4）希望する職業に結びつくことができる」（男性 35%、女性 37%）、「7）自分が必要とする資格をとれる」（男性 18%、女性 32%）などの資格や職業、技能などに関する項目は 50% 以下になっている。
- ③他者のすすめ・経済状況など外的要因：少ないのは、個人に帰属しない外的要因である。項目としては、「9）家庭の経済状況にあっている」（男性 28%、女性 38%）、「5）親、家族のすすめ」（男性 17%、女性 28%）、「6）教師のすすめ」（男性 13%、女性 20%）である。

(16) 女性・家庭・社会に関する意識 (Q16 図 14-1、図 14-2)

女性観・家庭観、及び社会に関する意識を聞いた項目である。

性別による差異をみたのが、表 9 である（性別による「とてもそう思う」＋「まあそう思う」の回答率の差が 10 ポイント以上は、太字で示してある）。10 ポイント以上は、「1）女性は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい」（男性 69.2%、女性 86.6%）、「3）女性は、もっと積極的に社会に進出すべきだ」（男性 68.4%、女性 82.2%）であり、いずれも女性は 8 割以上が肯定的に評価しているが、男性で肯定的な回答率は、いずれも 7 割弱にとどまっている。

(1) 女性観・家庭観に関する項目

- ①女性が職業を持つことに対する意識を聞いた項目を肯定した回答率の平均値は、男性が 70%、女性が 87%となっている。
- ②男性の家事・育児への従事に関する「男性も、女性と同じように、家事や育児をするのは当然だ」の項目での回答率は、男性が 79%、女性が 88%である。

表 9 男女別女性観・家庭観・社会観

女性観・家庭観・社会観に関する項目	男 性	女 性	差
1) 女性は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい	69.2	86.6	-17.4
2) 男性も、女性と同じように、家事や育児をするのは当然だ	78.8	88.1	-9.3
3) 女性は、もっと積極的に社会に進出すべきだ	68.4	82.2	-13.8
4) 結婚して子どもを育てることだけが幸せな人生ではない	77.8	86.6	-8.8
5) 今の社会は、高齢者に対する配慮が足りない	70.3	77.1	-6.8
6) 今の社会は、貧富の差が大きい	73.5	75.1	-1.6
7) 定職につかない人が増えると日本社会の将来はあぶない	87.3	89.9	-2.6
8) 社会保障制度は自分の将来の生活のために必要だ	83.5	89.4	-5.9

図 14-1 女性観・家庭観

「とてもそう思う」「そう思う」の回答率

【1】女性は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい】

女性	N	年齢層	N	男性	100
83.3	252	30歳～34歳	254	66.5	
84.5	252	35歳～39歳	253	70.3	
89.7	252	40歳～44歳	253	70.7	
88.8	252	45歳～49歳	253	69.6	
86.6	1008	合計	1013	69.2	

【2】男性も、女性と同じように、家事や育児をするのは当然だ】

女性	N	年齢層	N	男性	100
84.1	252	30歳～34歳	254	84.6	
87.7	252	35歳～39歳	253	79.1	
89.7	252	40歳～44歳	253	77.5	
90.8	252	45歳～49歳	253	73.9	
88.1	1008	合計	1013	78.8	

【3】女性は、もっと積極的に社会に進出すべきだ】

女性	N	年齢層	N	男性	100
77.8	252	30歳～34歳	254	67.7	
80.9	252	35歳～39歳	253	69.2	
83.7	252	40歳～44歳	253	68.4	
86.5	252	45歳～49歳	253	68.0	
82.2	1008	合計	1013	68.4	

【4】結婚して子どもを育てることだけが幸せな人生ではない】

女性	N	年齢層	N	男性	100
87.3	252	30歳～34歳	254	76.7	
85.3	252	35歳～39歳	253	81.4	
86.5	252	40歳～44歳	253	79.0	
86.9	252	45歳～49歳	253	73.9	
86.6	1008	合計	1013	77.8	

男性の家事・育児への従事についての肯定率を世代別に見てみると、30歳～34歳の85%が肯定的回答をしているが、35歳～39歳では79%、40歳～44歳で78%、45歳～49歳で74%と世代があがるにつれて平均値が下がる。反対に女性は、30歳～34歳で肯定的な回答率は84%であるが、35歳～39歳で88%、40歳～44歳で90%、45歳～49歳で91%と上がる傾向がある。

③女性の社会進出については、男性が68%～69%（68%）の範囲で世代間の差はあまりない。女性は78%～87%（82%）で、世代があがるほど肯定する回答率が上がっている。

④「結婚して子どもを育てることだけが幸せな人生ではない」という項目については、肯定する回答率は、男性は78%、女性87%であり、女性の方がいずれの世代でも高い回答率になっている。

(2) 社会観

- ①「高齢者への配慮が足りない」との回答率は、男性は70%、女性は77%である。
- ②「今の社会は、貧富の差が大きい」との回答率は、男性74%、女性75%である。
- ③「定職につかない人が増えると日本社会の将来はあぶない」という項目では、男性87%、女性90%であり、ほとんど多くが「とてもそう思う」「そう思う」と回答している。
- ④「社会保障制度は自分の将来の生活のために必要だ」との回答は、男性84%、女性89%での回答率となっている。

図 14-2 社会観

「とてもそう思う」「そう思う」の回答率

【5）今の社会は、高齢者に対する配慮が足りない】

女性	N	年齢層	N	男性	100
70.2	252	30歳～34歳	254	66.5	
78.6	252	35歳～39歳	253	69.9	
79.8	252	40歳～44歳	253	73.1	
79.8	252	45歳～49歳	253	71.5	
77.1	1008	合計	1013	70.3	

【6）今の社会は、貧富の差が大きい】

女性	N	年齢層	N	男性	100
77.8	252	30歳～34歳	254	72.8	
71.4	252	35歳～39歳	253	72.8	
71.9	252	40歳～44歳	253	75.9	
79.4	252	45歳～49歳	253	72.7	
75.1	1008	合計	1013	73.5	

【7）定職につかない人が増えると日本社会の将来はあぶない】

女性	N	年齢層	N	男性	100
84.9	252	30歳～34歳	254	86.2	
89.3	252	35歳～39歳	253	81.8	
91.6	252	40歳～44歳	253	89.0	
94.1	252	45歳～49歳	253	92.1	
89.9	1008	合計	1013	87.3	

【8）社会保障制度は自分の将来の生活のために必要だ】

女性	N	年齢層	N	男性	100
87.3	252	30歳～34歳	254	83.1	
86.1	252	35歳～39歳	253	83.4	
91.7	252	40歳～44歳	253	80.6	
92.4	252	45歳～49歳	253	86.9	
89.4	1008	合計	1013	83.5	

(17) 自分のライフコース (Q17 表 10-1～10-2, 図 15-1-1～15-3)

1) 婚姻・子どもの有無

男性の71%、女性の82%が結婚をしており、男性の58%と女性の66%に子どもがいる。

表 10-1 性別×年齢区分×婚姻の有無

年齢区分		性別		合計
		男性	女性	
30歳～34歳	度数	143	198	341
	%	56.3	78.6	67.4
35歳～39歳	度数	158	197	355
	%	62.5	78.2	70.3
40歳～44歳	度数	194	203	397
	%	76.7	80.6	78.6
45歳～49歳	度数	219	226	445
	%	86.6	89.7	88.1
合計	度数	714	824	1,538
	%	70.5	81.7	76.1

表 10-2 性別×年齢区分×子どもの有無

年齢区分		性別		合計
		男性	女性	
30歳～34歳	度数	100	142	242
	%	39.4	56.3	47.8
35歳～39歳	度数	122	157	279
	%	48.2	62.3	55.2
40歳～44歳	度数	169	164	333
	%	66.8	65.1	65.9
45歳～49歳	度数	193	206	399
	%	76.3	81.7	79.0
合計	度数	584	669	1,253
	%	57.7	66.4	62.0

2) 希望する仕事形態

男性で、30歳～34歳で「現在の仕事の継続」を希望する者は43%、「可能なら転職」と回答する者も43%でありほぼ同数となっている。世代があがるにつれて、「現在の仕事の継続」希望者の比率は高くなり、45歳～49歳では66%、「可能なら転職」との回答率は28%である。

女性全体では、「現在の仕事の継続」は25%、「可能なら転職」は19%、「子どもが一定年齢で再就職」は20%、「経済的安定なら専業主婦」は25%である。特に選択可能性が高いと推定される若い世代の30歳～34歳では、「現在の仕事の継続」を希望する者は18%、「可能なら転職」は17%、「子どもが一定年齢で再就職」との回答率は34%、「経済的安定なら専業主婦」との回答率は20%である。

3) 70歳以降の生活設計

男性全体で多い回答は、「趣味を深めたい」42%、「家族と静かに過ごしたい」20%、「できれば仕事をしたい」18%である。女性全体でも、同じく「趣味を深めたい」44%、「家族と静かに過ごしたい」26%、「できれば仕事をしたい」10%となっている。

4) 介護を必要とする老後

介護を必要とする老後については、男性女性ともに、「子どもの世話になりたい」との回答率は全体で男性6%、女性5%と低い。男性では、「誰からも世話を受けたくない」が22%と高く、

図 15-1-1 希望する仕事形態・男性

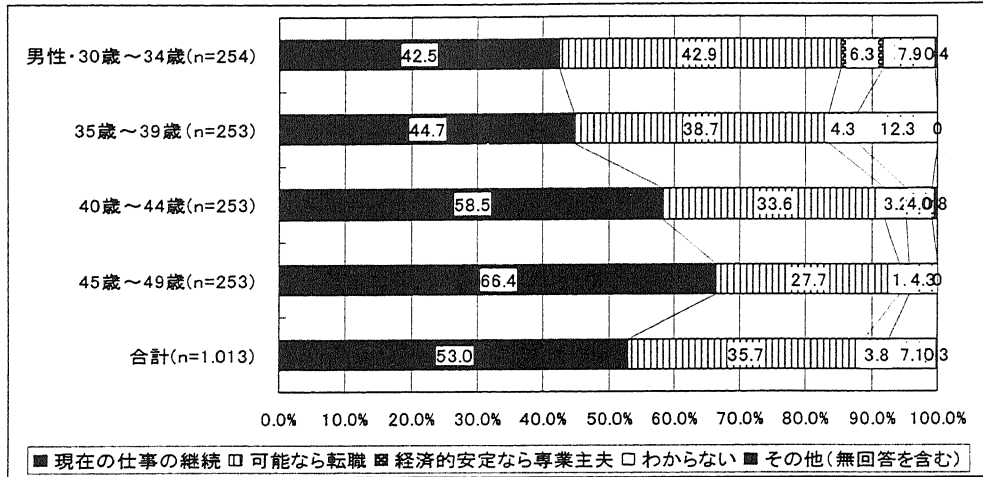


図 15-1-2 希望する仕事形態・女性

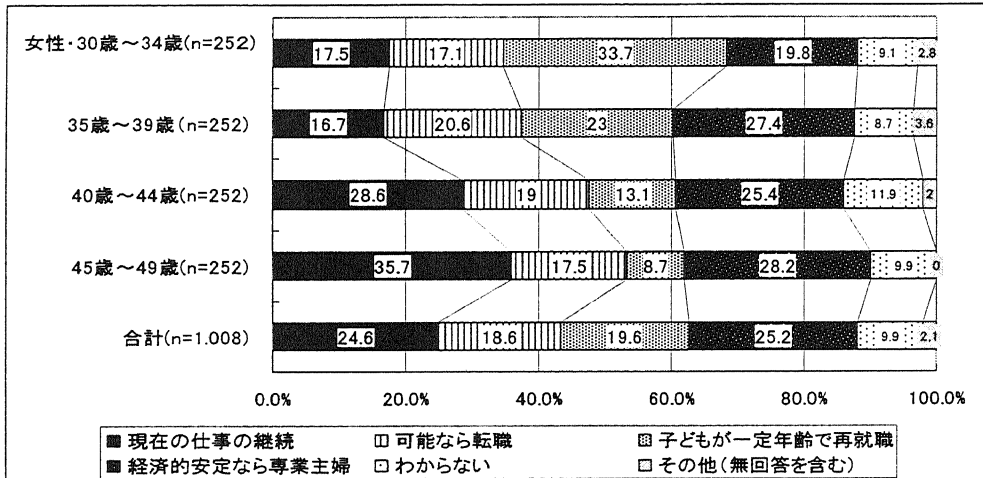
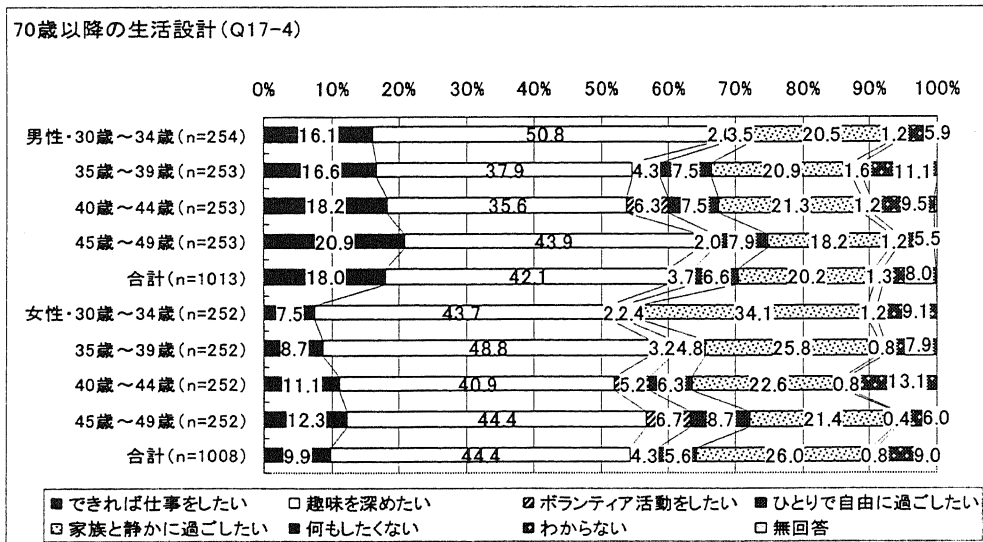
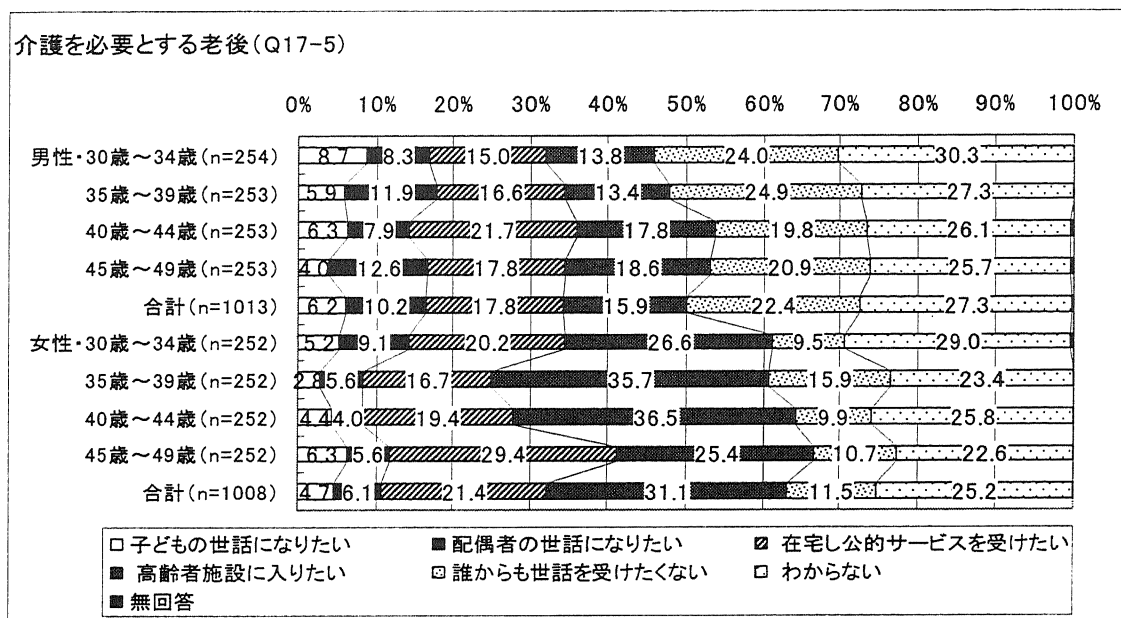


図 15-2 70歳以降の生活設計



次いで、「在宅し公的サービスを受けたい」が18%、「高齢者施設に入りたい」が16%の順になっている。女性では、「高齢者施設に入りたい」と回答した者が全体の31%、「在宅し公的サービスを受けたいが」21%、「誰からも世話を受けたくない」が12%となっている。

図 15-3 介護を必要とする老後



(18) 子どもの希望する職業の認知 (Q21 表 11, 図 16)

「子ども（第一子）がどんな仕事に就きたいか（就いている場合も含む）を知っているか」との項目では、男性は全体で26%、女性は40%であり、どの世代でも女性の方が「知っている」との回答率が男性よりも高い。

表 11 性別×年齢区分×子どもの希望する職業の認知

年齢区分	性別		男女差
	男性	女性	
30歳～34歳	8.3	17.3	-9.0
35歳～39歳	22.7	40.0	-17.3
40歳～44歳	26.5	40.0	-13.5
45歳～49歳	38.2	55.2	-17.0
合計	26.4	39.9	-13.5

図 16 子どもの希望する職業の認知

「知っている」の回答率

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
17.3		139	30歳～34歳	96		8.3
40.0		155	35歳～39歳	119		22.7
40.0		165	40歳～44歳	170		26.5
55.2		203	45歳～49歳	186		38.2
39.9		662	合計	571		26.4

(19)期待する子どもの職業観 (Q22 図 17)

子どもが何のために働いてほしいと考えているかを聞いた項目である。

- ①「立身出世のため」(男性 22%、女性 22%)「社会的評価を得るため」(男性 41%、女性 43%)といった社会的評価の獲得といった項目の値は低い。
- ②経済的な内容を聞いた4項目についての回答率は、男女別では「経済的に豊かになるため」は男性 77%、女性 83%、「人生を楽しむ金銭的余裕が必要なため」では男性 77%、女性 87%、「生活を維持するため」では、男性 81%、女性 93%、「経済的に困窮しないため」は男性 84%、女性 90%の回答率になっている。いずれも女性の方が高い。
- ③基本的勤労観を聞いた「働くのは当然だから」については、男性は 67%、女性は 82%であり、女性の方が 15ポイントほど高くなっている。

図 17 期待する子どもの職業観

《社会的評価要因》

「とてもそう思う」と「そう思う」の回答率

【1】立身出世のため

女性	N	年齢層	N	男性
28.7	139	30歳～34歳	96	33.4
23.2	155	35歳～39歳	119	25.2
18.2	165	40歳～44歳	170	18.3
19.7	203	45歳～49歳	186	16.2
22.0	662	合計	571	21.6

【2】社会的評価を得るため

女性	N	年齢層	N	男性
41.0	139	30歳～34歳	96	46.8
39.4	155	35歳～39歳	119	51.3
38.7	165	40歳～44歳	170	36.5
51.2	203	45歳～49歳	186	36.6
43.2	662	合計	571	41.3

《経済的要因》

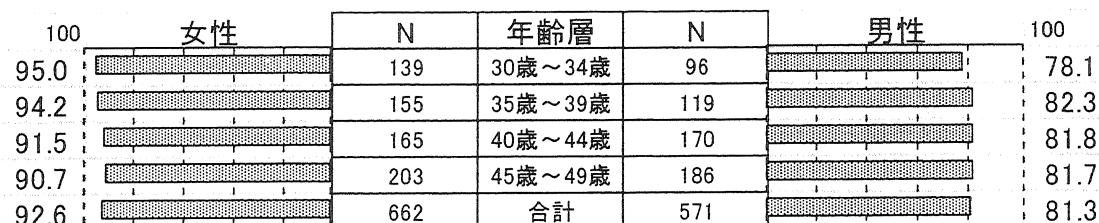
【3】経済的に豊かになるため

女性	N	年齢層	N	男性
79.8	139	30歳～34歳	96	73.9
82.6	155	35歳～39歳	119	75.7
83.6	165	40歳～44歳	170	74.7
85.2	203	45歳～49歳	186	80.1
83.1	662	合計	571	76.6

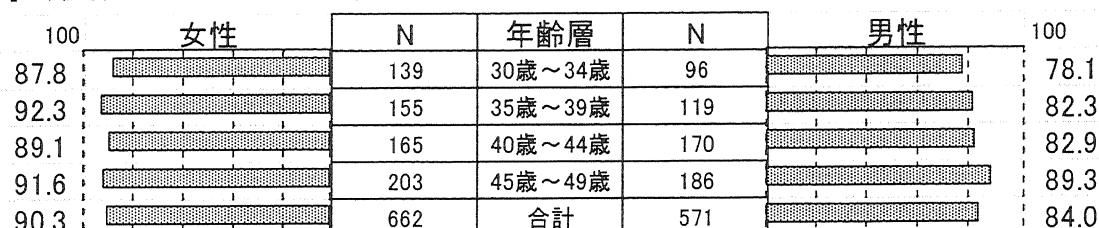
【6】人生を楽しむ金銭的余裕が必要なため

女性	N	年齢層	N	男性
86.4	139	30歳～34歳	96	76.1
87.1	155	35歳～39歳	119	78.1
86.7	165	40歳～44歳	170	73.5
87.7	203	45歳～49歳	186	79.0
87.1	662	合計	571	76.7

【7】生活を維持するため】

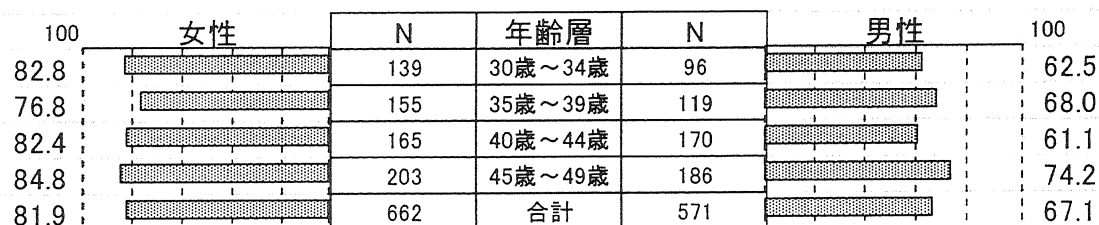


【11】経済的に困窮しないため】



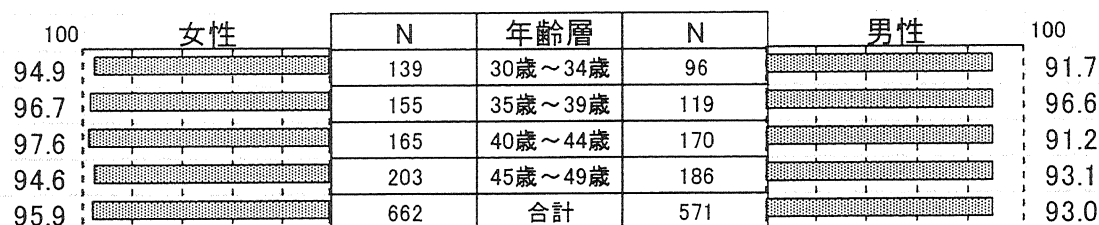
《基本的勤労感》

【10】働くのは当然だから】

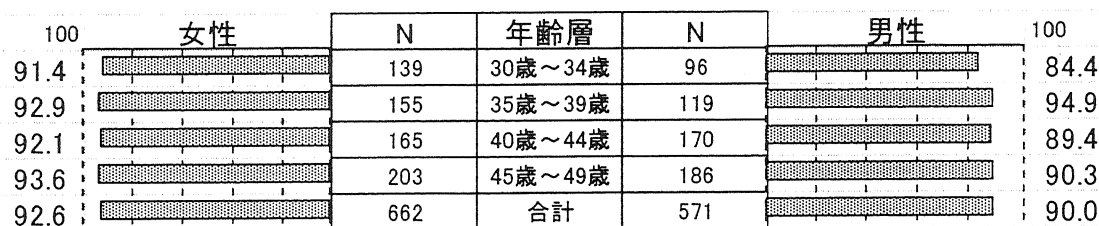


《自己実現要因》

【4】自分の得意なことを生かすため】



【5】自己実現のため】



④子どもにとって「得意なことを生かすため」（男性 93%、女性 96%）、「自己実現のため」（男性 90%、女性 93%）の2項目はいずれも90%を超えており高い回答率となっている。

⑤「社会との協調のため」の回答率は男性80%、女性88%、「社会への貢献のため」との回答率は、男性72%、女性76%である。

《社会的要因》

【8】社会と協調して生きるため

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
84.2		139	30歳～34歳	96		84.4
89.7		155	35歳～39歳	119		81.5
89.7		165	40歳～44歳	170		79.4
88.6		203	45歳～49歳	186		77.9
88.2		662	合計	571		80.2

【9】社会に貢献するため

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
73.4		139	30歳～34歳	96		68.7
79.3		155	35歳～39歳	119		76.4
73.4		165	40歳～44歳	170		68.8
78.3		203	45歳～49歳	186		72.6
76.3		662	合計	571		71.6

(20)子どもの進路・就職 (Q23 図18)

子ども(第一子)の進路・就職について9項目で意識を聞いた。

①合計の回答率の低いもの(20%以下)を見てみると「親の希望する職業に就いてほしい」(男性16%、女性17%)、「アルバイトやフリーターでよいから、とにかく働いてほしい」(男性18%、女性19%)である。

②回答率が20%より多く50%以下では、「一流企業に勤めてほしい」(男性26%、女性25%)、「公務員になってほしい」(男性31%、女性33%)、「有名大学に進学させたい」(男性38%、女性40%)であり、安定志向を反映した回答となっている。

図18 子どもの進路・就職に関する意識

「とてもそうである」と「まあそうである」の回答率

《回答率≤20%》

【6】親の希望する職業に就いてほしい

100	女性	N	年齢層	N	男性	100
21.6		139	30歳～34歳	96		17.7
17.4		155	35歳～39歳	119		16.0
15.7		165	40歳～44歳	170		18.2
15.8		203	45歳～49歳	186		12.4
17.4		662	合計	571		15.8

【4】アルバイトやフリーターでよいから、とにかく働いてほしい

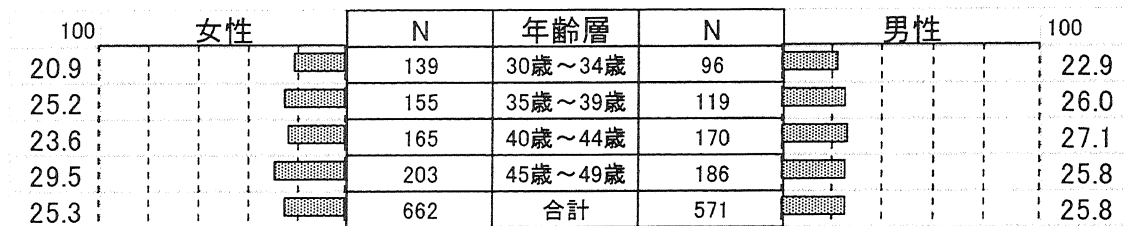
100	女性	N	年齢層	N	男性	100
20.9		139	30歳～34歳	96		26.1
15.5		155	35歳～39歳	119		18.5
15.7		165	40歳～44歳	170		18.2
23.1		203	45歳～49歳	186		14.0
19.0		662	合計	571		18.2

③回答率が50%以上のものは、「収入は少なくとも好きな仕事に就いてほしい」(男性69%、女性65%)、「専門職に就いてほしい」(男性61%、女性70%)、「職業資格に結びつく勉強をしてほしい」(男性82%、女性88%)、「手に職をつけてほしい」(男性84%、女性90%)である。好きな仕事、専門職、職業資格、手に職といった、子ども個人に帰属する資質の尊重や資格・技能の取得を希望していることがわかる。

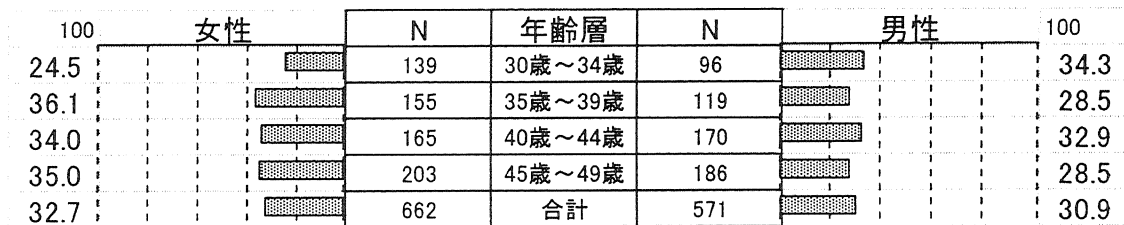
図18 子どもの進路・就職に関する意識(続き)

《20%<回答率≤50%》

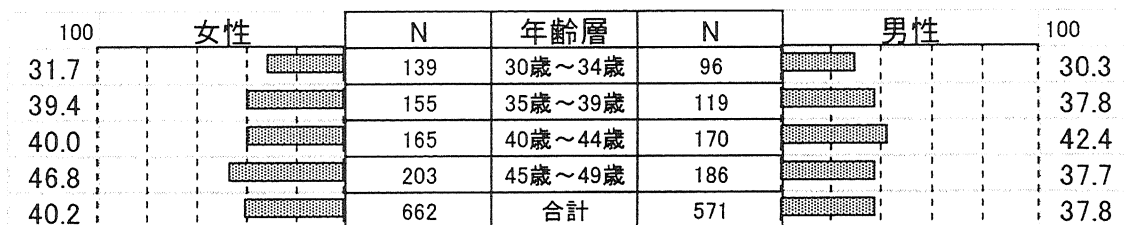
【7】一流企業に勤めてほしい



【8】公務員になってほしい

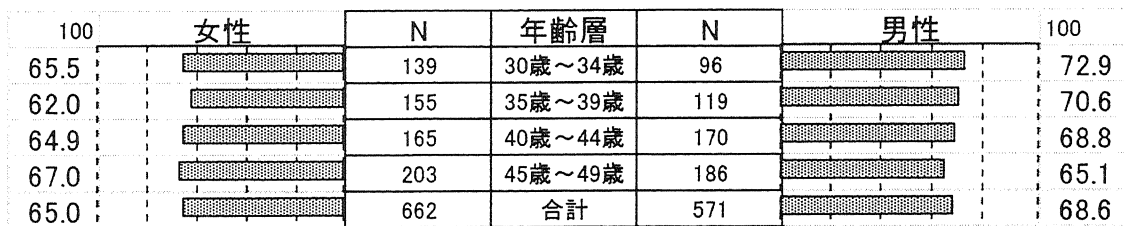


【2】有名大学に進学させたい

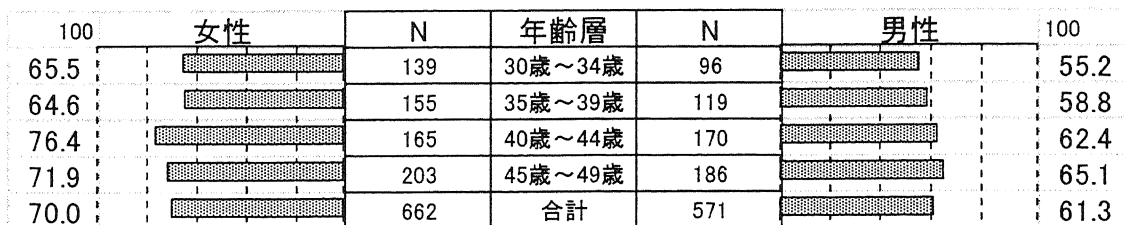


《50%<回答率》

【3】収入は少なくとも好きな仕事に就いてほしい



【9】専門職に就いてほしい



【1】職業資格に結びつく勉強をしてほしい】

女性		N	年齢層	N	男性	
87.8		139	30歳～34歳	96		85.4
89.7		155	35歳～39歳	119		74.8
86.7		165	40歳～44歳	170		81.2
89.2		203	45歳～49歳	186		84.4
88.4		662	合計	571		81.6

【5】手に職をつけてほしい】

女性		N	年齢層	N	男性	
92.1		139	30歳～34歳	96		82.3
92.3		155	35歳～39歳	119		84.0
89.1		165	40歳～44歳	170		84.7
86.2		203	45歳～49歳	186		82.8
89.6		662	合計	571		83.5

(20)子どもとの会話 (Q24 図19-1,19-2)

子どもと話す会話の内容について6つの内容について聞いている。男性の場合、友人のことが58%、勉学や進学が53%が多い。将来の仕事・就職は39%となっている。女性の場合、友人のことが77%、勉学や進学が68%、将来の仕事・就職が61%となっている。

図19-1 子どもとの会話の内容・男性

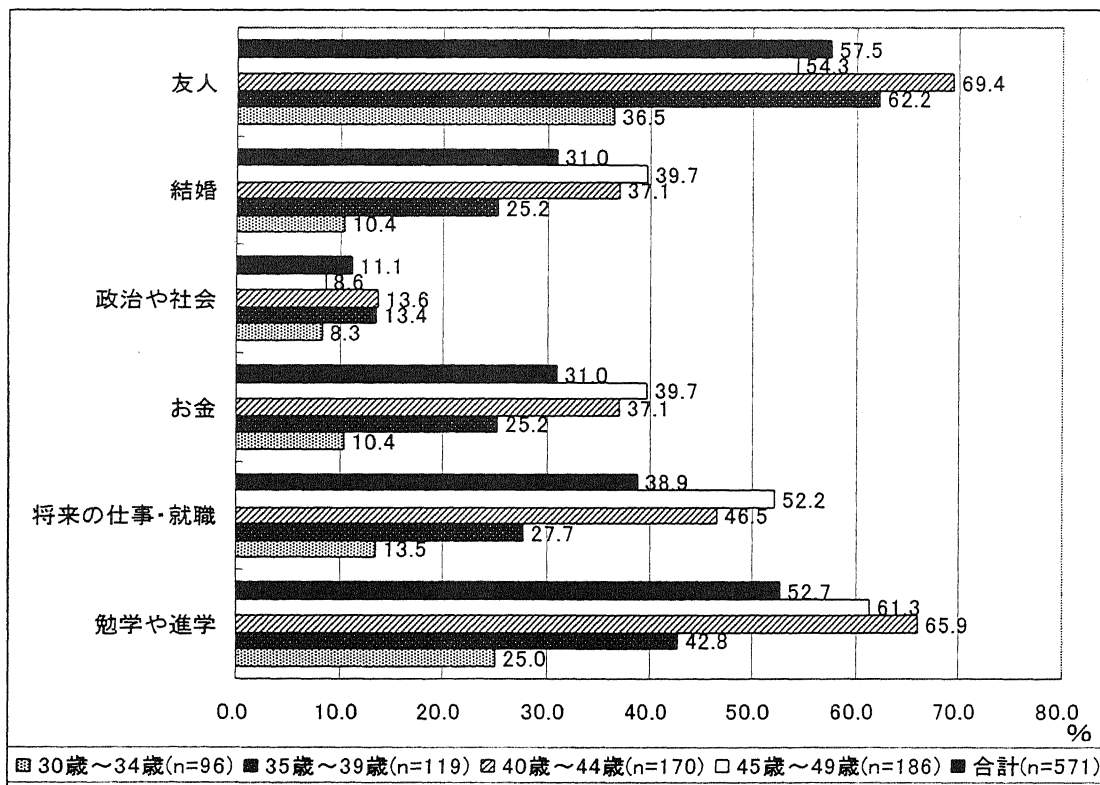
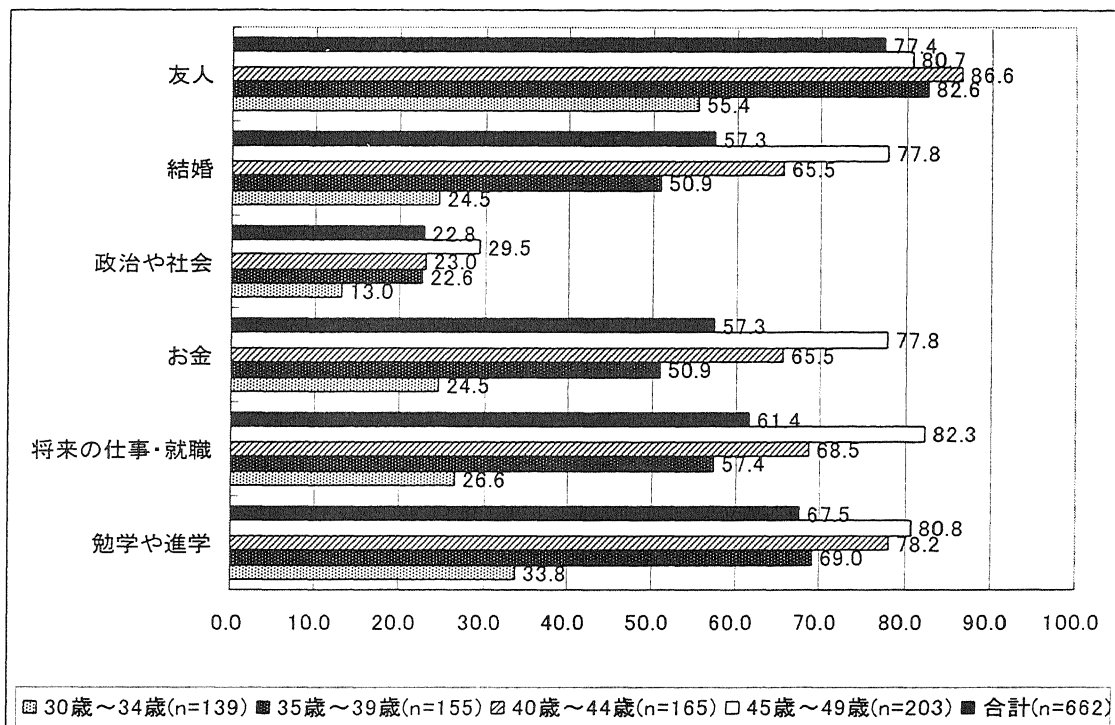


図 19-2 子どもの会話の内容・女性



(20)子どもへの期待や希望 (Q26 図 20-1-1～図 20-3-2)

子ども（第一子）への期待や希望を、「仕事」「結婚」「子ども」の3つの観点から聞いている。子どもの性別が影響を与えると推測されるが、回答者の性別と世代別による結果を表記する。

図 20-1-1 希望する子どもの仕事形態・男性

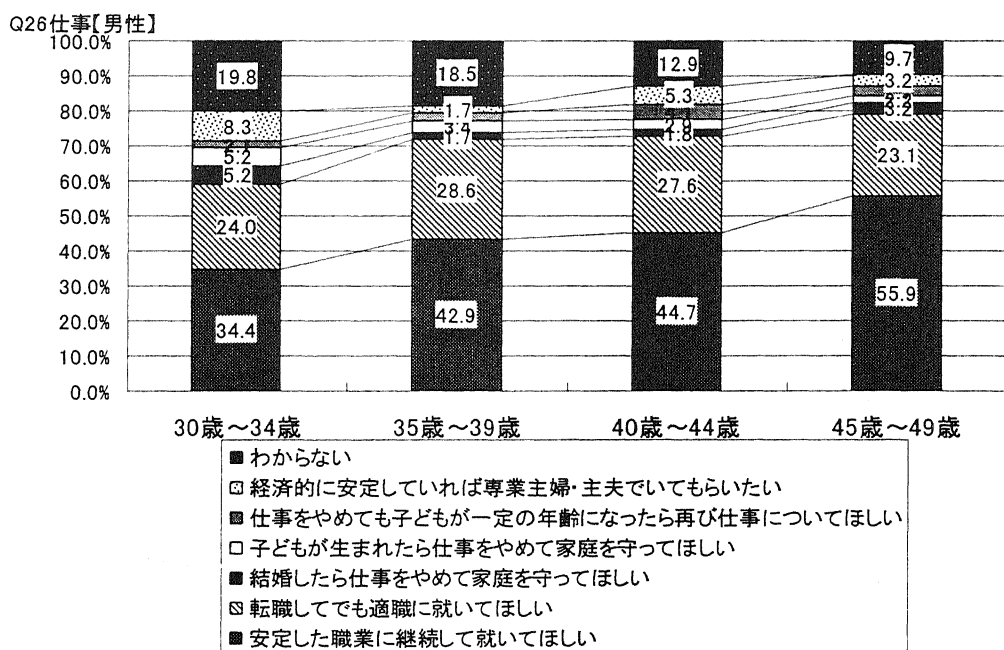
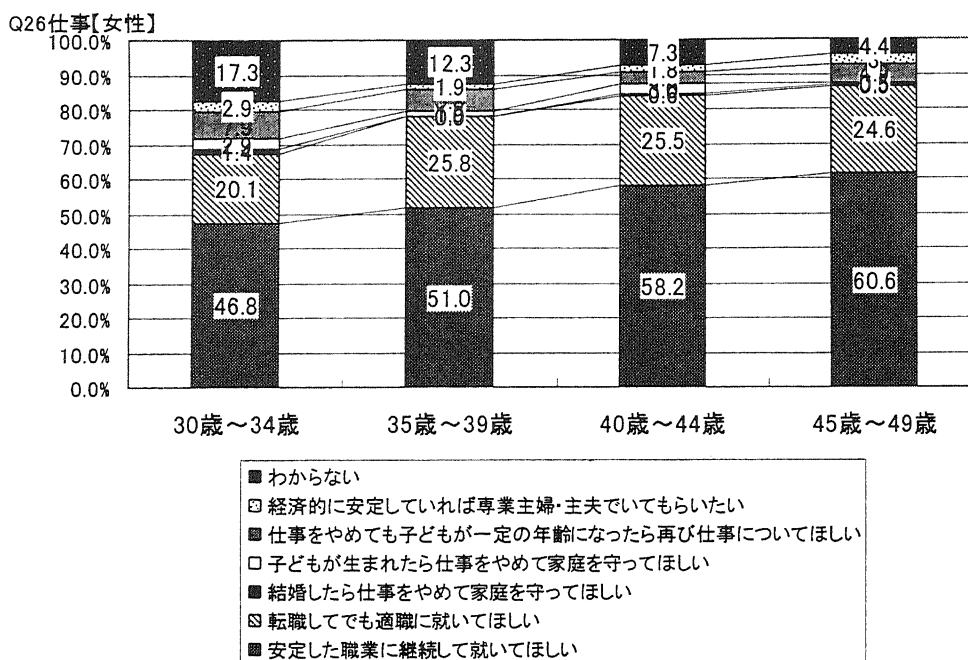


図 20-1-2 希望する子どもの仕事形態・女性



①仕事については、男性の場合、「安定した職業での継続雇用」を希望する者が 34%～56% (46%) の範囲にあり、「転職しても適職」は 23%～29% (26%) である。女性の場合、「安定した職業での継続雇用」が 47%～61% (55%)、「転職しても適職」は 20%～26% (24%) の範囲である。

②子どもの結婚への希望では、男性の 55%～64% (59%) が子どもに「結婚してほしい」と考え、「本人次第」が 25%～39% (36%) と回答している。女性では、49%～63% (54%) が「結婚してほしい」、30%～46% (38%) が「本人次第」と回答している。

図 20-2-1 希望する子どもの結婚形態・男性

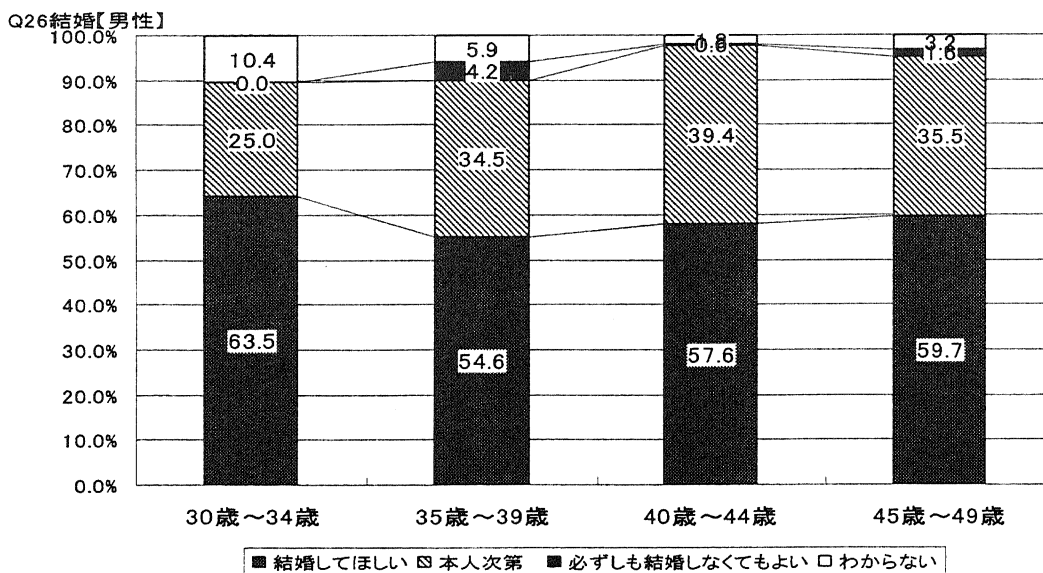
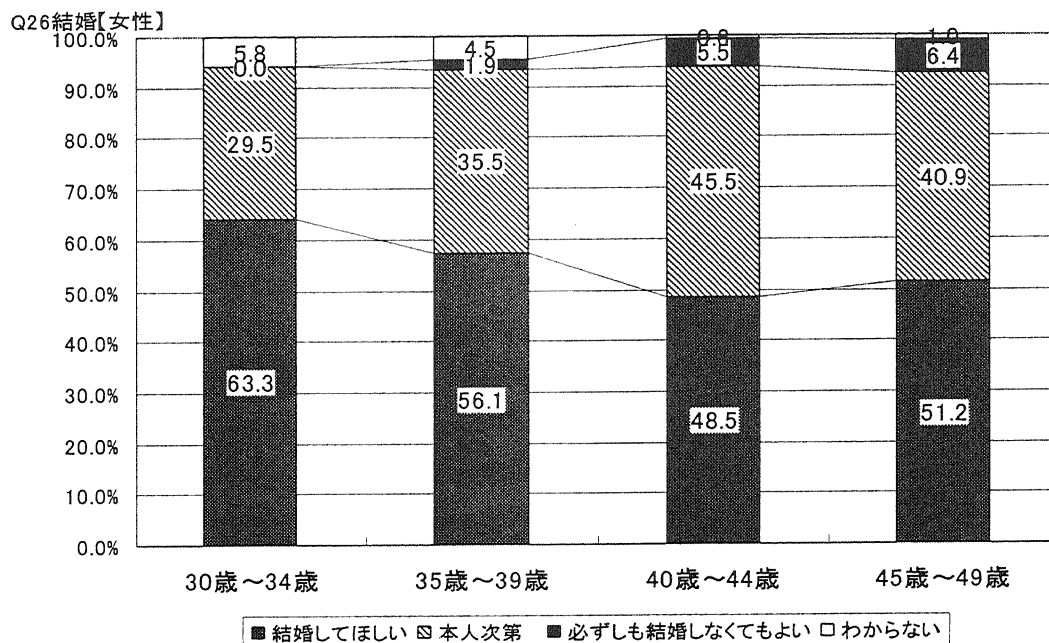


図 20-2-2 希望する子どもの婚姻形態・女性



③子ども（孫）を持ってほしいかとの問いには、男性の53%～65%(57%)が「子ども（孫）をもってほしい」、24%～39%(35%)が「本人次第」と回答している。また、女性の場合は49%～63%(56%)が「子ども（孫）をもってほしい」、29%～47%(37%)が「本人次第」としている。

図 20-3-1 希望する子どもの孫の有無・男性

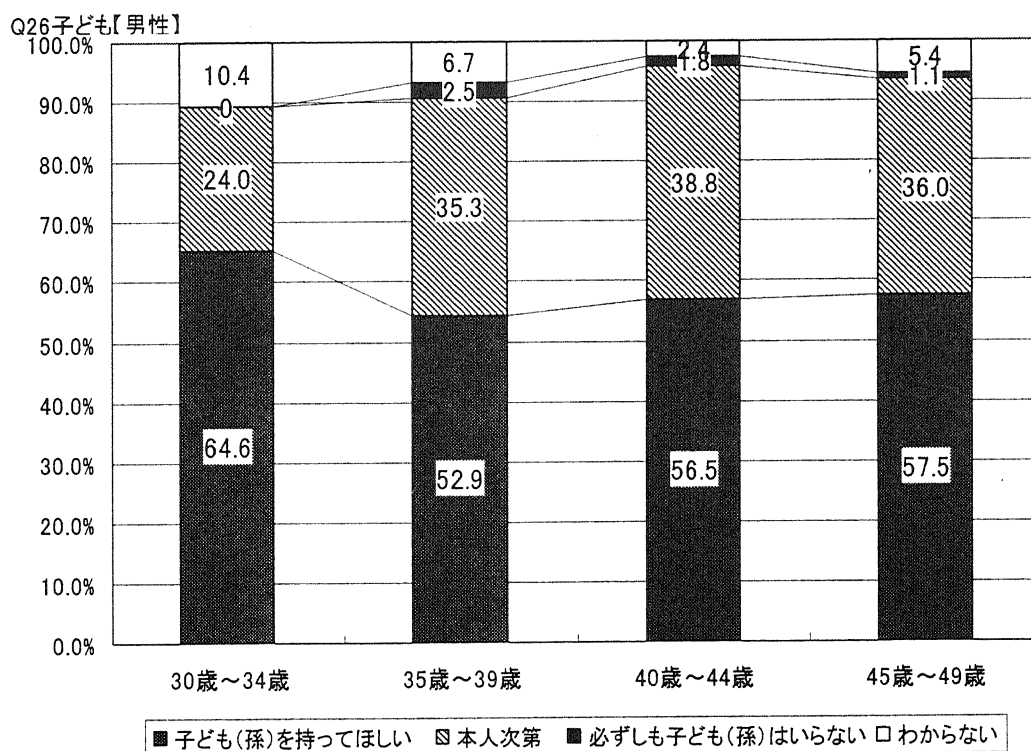
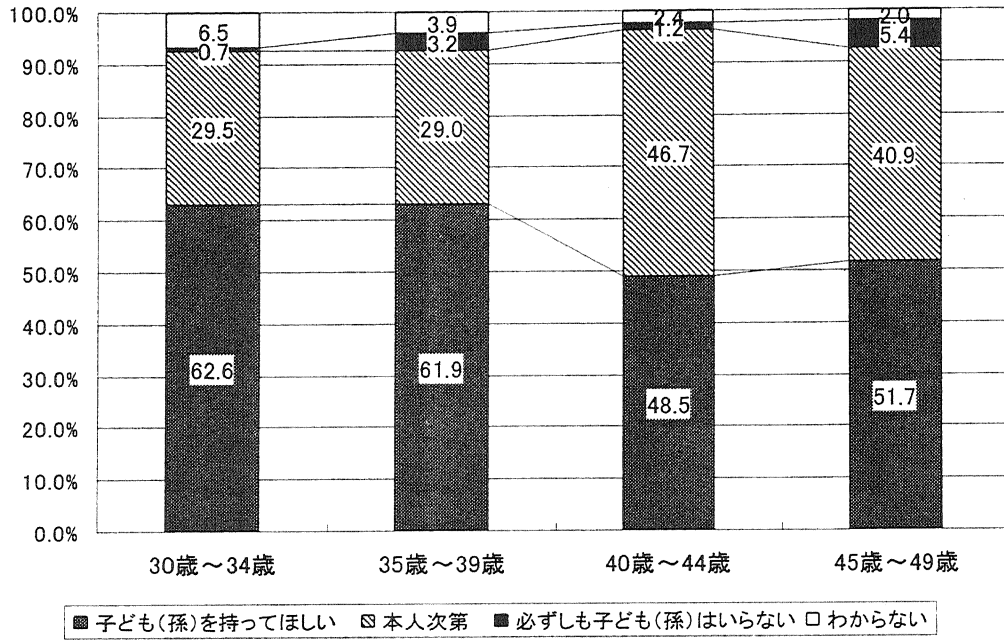


図 20-3-2 希望する子どもの孫の有無・女性

Q26子ども【女性】



II. 質問紙調査分析結果

Ⅱ-1 社会人の職業意識と進学時の重視事項

独立行政法人大学入試センター・研究開発部助教授

椎 名 久美子

1. はじめに

進学する学校を選択にあたって重視したことが、その後の職業選択や職業に関する考え方とどのような関係を持つのかをとらえるのは難しい。進学を経て社会人になる過程において、個人を追跡してデータを取るのとは不可能である。本稿で分析するデータは、進学時の学校選択における重視事項を、社会人となった現在の視点から振り返って回答してもらったものである。柳井他(2002)による大学生を対象とした調査では、専門分野への適応度が高い学生は、「興味・関心」「得意科目」「職業」「資格」「知識・技術」を重視して進路選択を行ったことが示されている。本稿では、進学時の重視事項と社会人の職業意識との関係について分析することで、就業に結びつく進路指導についての示唆を得たい。

2. 進学する学校を選択した時の重視事項

2.1 年齢・最終学歴による違い

本調査の Q15 は、調査対象全員に対して「あなたは、進学する学校（最終学歴）を選ぶ時に次のことをどれくらい重視しましたか。次の 1)~9)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください」への回答を求めたものである。回答は、3つの選択肢（「重視した」「どちらともいえない」「重視しなかった」）のいずれか1つを選択する。なお、1)~9)の各項目の末尾の括弧内の語句は、以後用いる略記を示したものである。

- 1) 自分の学力にあっている（学力）
- 2) 自分の興味・関心があった（興味・関心）
- 3) 自分の得意教科・科目を生かせる（得意教科・科目）
- 4) 希望する職業に結びつくことができる（希望職業）
- 5) 親、家族のすすめ（親・家族）
- 6) 教師のすすめ（教師）
- 7) 自分が必要とする資格を取れる（資格）
- 8) 専門的知識や技術を身につけることができる（専門的知識・技術）
- 9) 家庭の経済状況にあっている（経済状況）

上記の各項目への回答を間隔尺度とみなして、「重視した：3、どちらともいえない：2、重視しなかった：1」と数値化し、9項目すべてに回答した1961名について、の年齢区分と最終学歴で分類した群ごとに回答評定の平均値を算出した。

表1は、9項目すべてに回答した1961名に関する年齢区分(Q2)と最終学歴(Q14)のクロス集計表である。30名以上の回答者がいる属性（表1の網掛け部分）に関して、最終学歴別に年齢区分ごとの回答評定の平均値を図1に示す。各最終学歴について、年齢区分を要因とする1元

配置分散分析を行い、有意となった項目の末尾には、* (5%水準) 及び ** (1%水準) を付した。

表 1: Q15 の 9 項目すべてに回答した者の年齢と最終学歴

		最終学歴(Q14)								合計
		中学校	高校	高等専門学校	短期大学	大学	大学院	その他	無回答	
年齢	30~34歳	12	105	42	62	206	39	13	4	483
	35~39歳	7	137	51	67	178	30	11	10	491
	40~44歳	5	136	38	71	204	19	12	8	493
	45~49歳	5	100	33	75	248	17	9	7	494
合計		29	478	164	275	836	105	45	29	1961

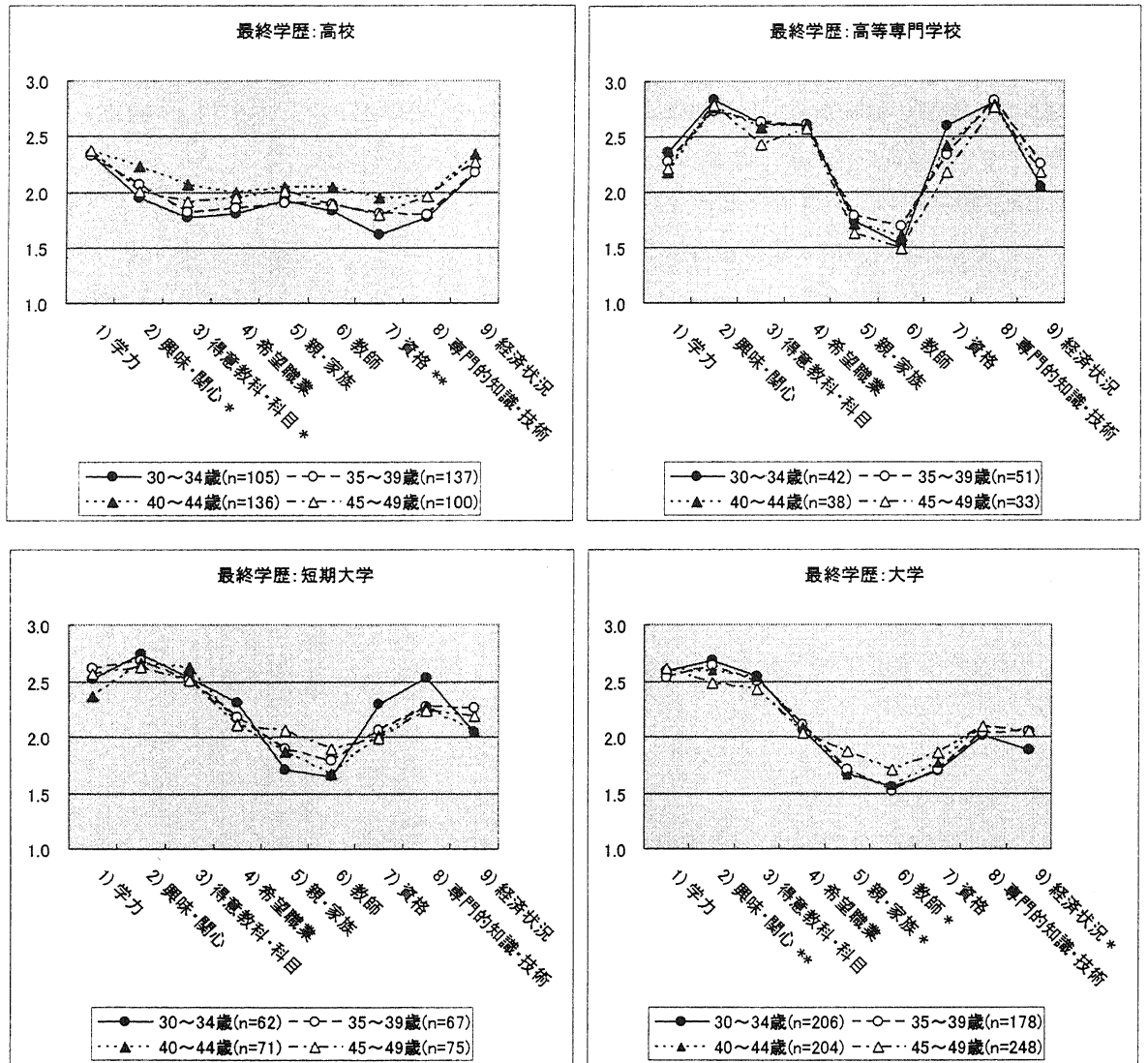


図 1: Q15 の 9 項目の評定平均値 (最終学歴と年齢区分別)

最終学歴「高校」では、「1.学力」と「9.経済状況」の平均値が他の項目より高い傾向が、各年齢区分に共通してみられる。また、「2.興味・関心」「3.得意教科・科目」「7.資格」の 3 項目に関しては、年齢区分による平均値の違いが有意であり、Scheffe の多重比較の結果、「30~34

歳」と「40～44歳」の間に有意差がみられた。すなわち、これら3項目については、40代前半のほうが30代前半よりも重視したと感じる度合いが強い傾向が示唆された。

最終学歴「高等専門学校」では、「高校」に比べて平均値の高低が激しく、重視した項目のめりはりが強く出ている。「2.興味・関心」「8.専門的知識・技術」の平均値が高く、「5.親・家族」「6.教師」の平均値が低い傾向が、どの年齢区分でも見られる。

最終学歴「短期大学」と「大学」では、「1.学力」「2.興味・関心」「3.得意教科・科目」の平均値が高い。最終学歴「大学」においては Scheffe の多重比較の結果、「2.興味・関心」の平均値で「30～34歳」と「44～49歳」の間に有意差がみられ、若い世代のほうが重視したと考える度合いが強い傾向が示された。また、「5.親・家族」の平均値で「40～44歳」と「45～49歳」の間に有意差がみられ、高い年齢区分で重視した傾向が示された。

2.2 中高生調査との比較

椎名(2005)は、児童・生徒のキャリア発達に関する質問紙調査において、中学2年生（以後、中2生と略）および高校2年生（以後、高2生と略）が進学する学校を選ぶ際に重視する事項に関して、進学希望段階や将来したい仕事の有無による違いを分析した。質問項目は、社会人調査とまったく同一である。

中2生でも高2生でも、ほとんどの進学希望段階において、「興味・関心」「希望職業」「資格」「専門的知識・技術」を、「親・家族」や「教師」よりも相対的に重視する傾向がみられた。ただし、中2生では、「高専・専門学校」までの進学希望者は各項目の平均値の違いが大きく、重視する項目としない項目の差が顕著であったが、それ以外の進学希望段階では、それほど大きくなかった。高2生では、「専門学校・各種学校」や「短大・大学・大学院」までの進学希望者において、各項目の重視度に顕著な差がみられた。

特に、「高専・専門学校」までの進学を希望する中2生が、「興味・関心」「希望職業」と同じくらい「資格」「専門的知識・技術」を重視している点は、最終学歴が高等専門学校の社会人における重視傾向と非常に似ている。すなわち、高等専門学校に関しては、卒業した社会人も、これから進学先として考える生徒も、将来の職業との結びつきをかなり強く意識していると言えるだろう。

また、高2生では、「専門学校・各種学校」までの進学を希望する生徒も、「短大・大学・大学院」までの進学を希望する生徒も、「資格」「専門的知識・技術」を重視する傾向は一致している。将来したい仕事がないや「わからない」生徒でも、「得意教科・科目」と同じくらい「資格」「専門的知識・技術」を重視している。最終学歴が「短期大学」や「大学」の社会人に比べると、これから「短大・大学・大学院」に進学したいと考える高2生のほうが、「資格」「専門的知識・技術」を重視する度合いが強い。また、高2生では、どの進学希望段階でも重視する項目が似ており、社会人に比べて重視傾向が均質化していることが示唆される。

3. 進学する学校を選択した時の重視事項に関する因子分析

3.1 社会人の重視事項に関する因子分析

進学時の重視事項に関する9項目すべてに回答した1961名のデータを用いて、因子分析を行

った。抽出の基準を固有値 1 以上として主成分解を初期解とする 3 つの因子を抽出して (第 3 因子までの累積寄与率 68.2%)、プロマックス回転を行った際の因子パターン行列を表 2 に示す。

第 1 因子に負荷量の高い「7.資格」「8.専門的知識・技術」「4.希望職業」の 3 項目は、いずれも、職業との結びつきを明確に意識した項目である。よって、第 1 因子を「職業直結」因子と命名する。第 2 因子に負荷量の高い「6.教師」「5.親・家族」「9.経済状況」の 3 項目は、周囲からのアドバイスや家庭の経済状況など、自分をとりまく環境に関する項目である。よって、第 2 因子を「外的条件」因子と命名する。第 3 因子に負荷量の高い「1.学力」「3.得意教科・科目」「2.興味・関心」の 3 項目は、成績や興味に関する項目である。よって、第 3 因子を「能力・興味」因子と命名する。

表 3 に、因子間の相関係数を示す。「職業直結」因子と「能力・興味」因子の相関係数が最も高く (0.369)、自分の能力や興味を把握することと、希望する職業に必要な知識や資格を考慮することが、進学する学校を決める際にある程度連動していたことが示唆される。また、「外的条件」因子は、「職業直結」因子や「能力・興味」因子との相関係数がほとんどゼロであり、進学する学校を選ぶ際の周囲からのアドバイスを重視することと、本人の能力・興味や希望する職業を重視することの関係が希薄だったと感じていることを示唆している。

表 2：因子パターン行列

	第1因子 職業直結	第2因子 外的条件	第3因子 能力・興味
【7】自分が必要とする資格をとれる】	0.887	0.194	-0.120
【8】専門的知識や技術を身につけることができる】	0.878	0.033	0.012
【4】希望する職業に結びつくことができる】	0.791	0.013	0.070
【6】教師のすすめ】	0.005	0.839	0.056
【5】親、家族のすすめ】	0.107	0.827	-0.052
【9】家庭の経済状況にあっている】	0.149	0.566	0.089
【1】自分の学力にあっている】	-0.332	0.290	0.877
【3】自分の得意教科・科目を生かせる】	0.250	-0.102	0.713
【2】自分の興味・関心があった】	0.288	-0.204	0.671

表 3：因子間の相関係数

	第1因子 職業直結	第2因子 外的条件	第3因子 能力・興味
第1因子 職業直結	1	-0.012	0.369
第2因子 外的条件	-0.012	1	-0.076
第3因子 能力・興味	0.369	-0.076	1

3.2 進学時の重視事項に関する因子得点の年齢区分・性別・最終学歴による違い

3.1 で抽出された 3 つの因子—「職業直結」「外的条件」「能力・興味」—の因子得点を算出して、属性別の平均値を比較した。

図 2 に年齢区分別 (Q2)、図 3 に性別 (Q1) の因子得点の平均値を示す。

「職業直結」因子得点については、「40～44 歳」の平均値がやや高めである。また、「女性」の平均値が「男性」の平均値より高く、「女性」のほうが資格や専門的知識の獲得を重視した進

路選択を行ったと感じていることが示唆される。「外的条件」因子得点については、「30～34歳」の平均値が低く、「45～49歳」の平均値が高い。また、「男性」の平均値が低く、「女性」の平均値が高い。すなわち、高齢区分や女性のほうが、周囲からのアドバイスや家庭の状況を重視した進学先の選択を行ったと感じていることが示唆される。「能力・興味」因子得点については、年齢区分や性別による違いは、他の2つの因子に比べると小さい。

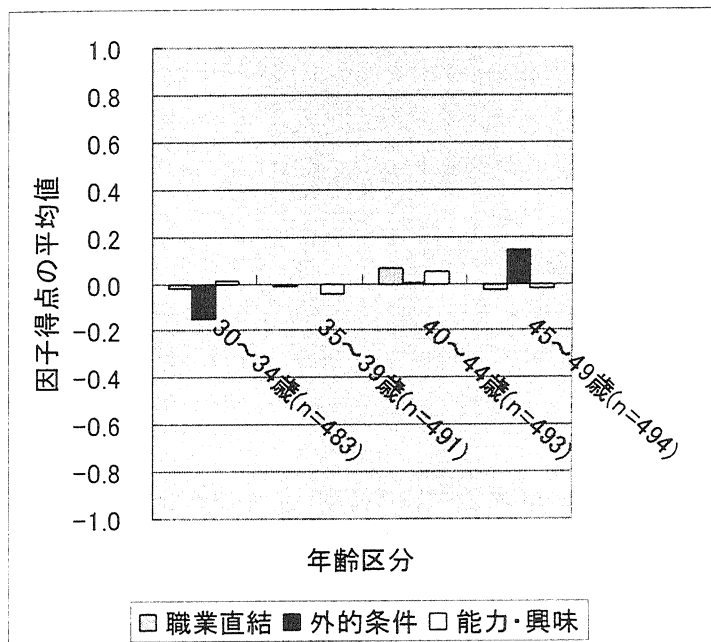


図 2：年齢区分別の因子得点の平均値

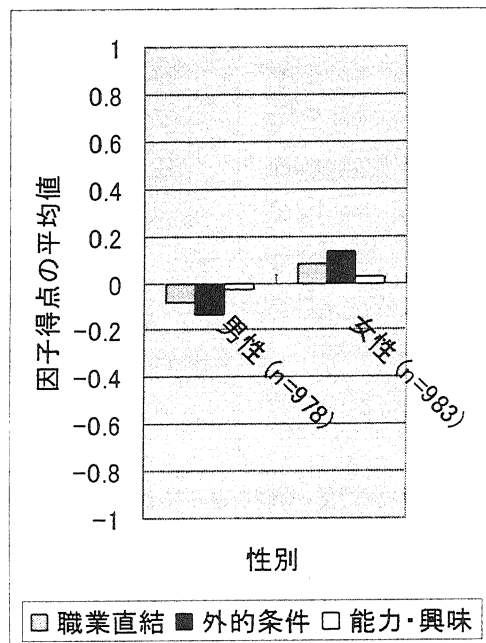


図 3：性別の因子得点の平均値

図 4 に最終学歴別 (Q14) の因子得点の平均値を示す。ただし、最終学歴が「中学校」と回答した者は 30 名未満だったため平均値は示さない。

最終学歴「高校」では、「外的条件」の平均値が高く、「職業直結」と「能力・興味」の平均値が低い。これは、最終学歴が高校の社会人が、進学する高校を決めた際に、周囲からのアドバイスや家庭の経済状況を、他の要素よりも強く重視したと感じていることを示唆している。

最終学歴「高等専門学校」では、「職業直結」の平均値は非常に高いが、「能力・興味」の平均値はそれほど高くない。最終学歴が高等専門学校の社会人は、職業に結びつく専門的な知識・技術や資格は重視したが、それらに比べると学力や得意教科はあまり重視しなかったと感じているようだ。また、「外的条件」の平均値は負であり、周囲からのアドバイスや経済状況をあまり重視しなかったと感じていることが示唆される。

最終学歴「短期大学」では、「職業直結」と「能力・興味」の平均値が同じくらいで、「外的条件」の平均値は他の2つの因子に比べると低い。ただし、他の最終学歴に比べると「外的条件」の平均値は高い。最終学歴「大学」では、「能力・興味」の平均値は「短期大学」と同じくらいだが、「職業直結」と「外的条件」の平均値はいずれも負の値であり、成績や興味を重視して進学する大学を決めたと感じていることが示唆される。

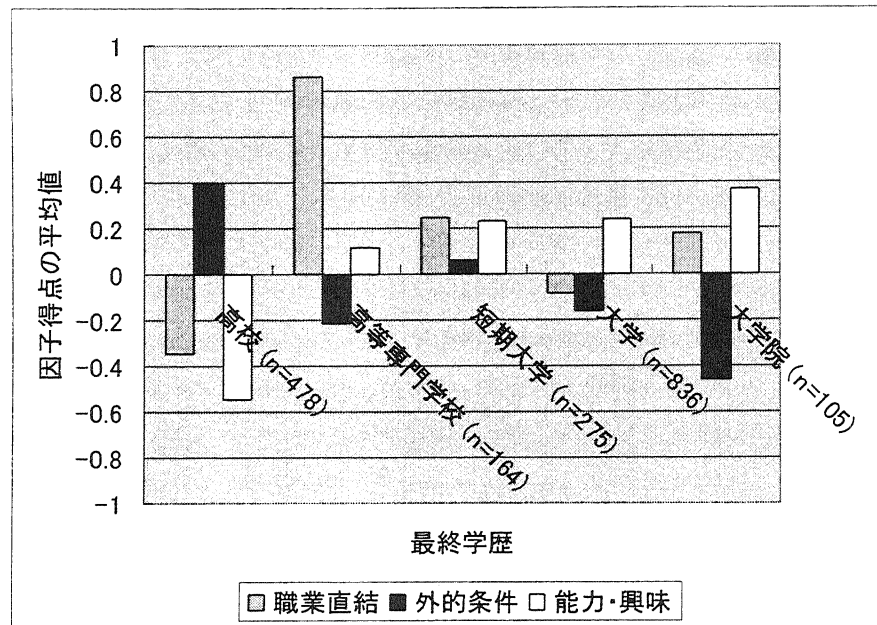


図 4：最終学歴別の因子得点の平均値

最終学歴「大学院」では、「能力・興味」の平均値が高く、「職業直結」の平均値も正である。「外的条件」の平均値が他の最終学歴に比べて非常に低いが、これは、大学院に進学する年齢が相対的に高いため、自分の意思で決定可能な裁量が増えたことを反映していると考えられる。

3.3 社会人と中高生の比較

椎名(2005)は、児童・生徒のキャリア発達に関する質問紙調査において、中2生と高2生それぞれに関して、Q15 とほぼ同じ 9 項目の因子分析を行い、「内的志向」と「外的条件」という 2 つの因子を抽出した。本稿の因子分析において「外的条件」因子に負荷量の高い 3 項目は、中高生で「外的条件」因子に負荷量の高い 4 項目から「1.学力」を除いた項目である。また、中高生で「内的志向」因子への負荷量が高かった「8.専門的知識・技術」「7.資格」「4.希望職業」「2.興味・関心」「3.得意教科・科目」の 5 項目は、社会人では「職業直結」因子と「能力・興味」因子に分離している。

椎名(2005)による因子分析の結果、中2生と高2生でも、ほとんどの進学希望段階において、「外的条件」因子得点の平均値は女子が男子を上回った。社会人でも、「外的条件」の因子得点の平均値は女性が男性を上回っており、中高生と一致した傾向がみられる。

4. 進学時の重視事項と現在の職業との関係

4.1 進学時の重視事項に関する因子得点の就業形態や離転職回数による違い

図 5 に就業形態別 (Q3) の因子得点の平均値を示す。

「職業直結」の平均値は、「常勤」よりも「非常勤・アルバイト」や「専業主婦・主夫」で高い。「外的条件」の平均値は、「パートタイマー」と「専業主婦・主夫」で高い。また、「能力・興味」の平均値は、他の就業形態に比べて「非常勤・アルバイト」で高い。

すなわち、進学する学校を選ぶ際に、「常勤」でない就業形態の人のほうが、職業に直結する要素を重視したと考える傾向が強い。また、「非常勤・アルバイト」の人が、他の就業形態の人よりも成績や興味を重視して学校選択を行ったと考えていることが示唆される。

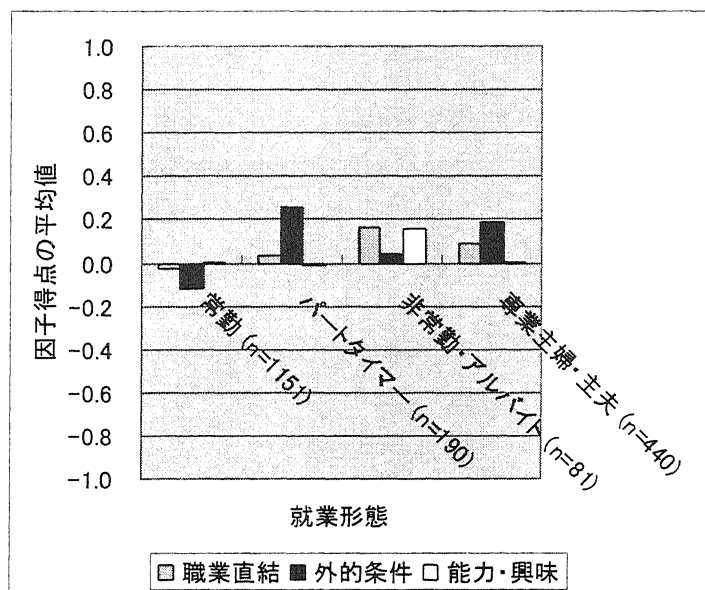


図5: 就業形態別の因子得点の平均値

図6に離転職回数別の因子得点の平均値を示す。離転職回数は、今までの離職や転職の経験の有無とその回数(Q6)に対する回答を基に、「ない」を「0回」、「ある」場合の回答を「1回」「2回」「3回」「4回以上」と分類した。

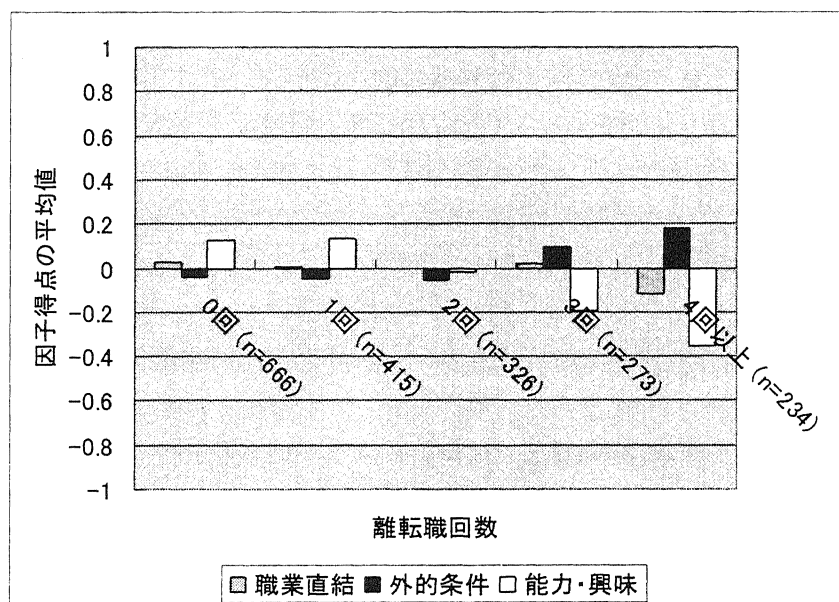


図6: 離転職回数別の因子得点の平均値

「職業直結」の平均値は、離転職回数が違ってもほとんど同じであるが、「外的条件」の平均値は離転職回数「3回」と「4回以上」で大きくなっている。また、「能力・興味」の平均値は、「0回」と「1回」では正だが、以後、回数が増えると、負になり、絶対値も大きくなっていく。すなわち、離転職の多いグループは、進学する学校を決める際に、周囲からのアドバイスや家庭の経済状況を重視して、成績や興味はあまり重視しなかったと感じていることが示唆される。

4.2 常勤者における進学時重視事項の因子分析

進学する学校を決めた際の重視事項について、現在就いている職業の種類や、現在の仕事への就き方による違いを検討するために、Q15の9項目（進学時の重視事項）すべてに回答した被験者のうちQ3で「常勤」と回答した1151名のデータを用いて、改めてQ15の9項目の因子分析を行った。抽出の基準を固有値1以上として主成分解を初期解とする3つの因子を抽出して（第3因子までの累積寄与率67.1%）、プロマックス回転を行った際の、因子パターン行列を表4に示す。また、表5に、因子間の相関係数を示す。

表4：因子パターン行列（常勤者のみ）

	第1因子 職業直結	第2因子 外的条件	第3因子 能力・興味
【8】専門的知識や技術を身につけることができる】	0.879	0.051	-0.032
【7】自分が必要とする資格をとれる】	0.875	0.206	-0.216
【4】希望する職業に結びつくことができる】	0.808	0.019	0.011
【6】教師のすすめ】	0.001	0.836	0.109
【5】親、家族のすすめ】	0.110	0.826	-0.004
【9】家庭の経済状況にあっている】	0.128	0.535	0.119
【1】自分の学力にあっている】	-0.288	0.246	0.949
【3】自分の得意教科・科目を生かせる】	0.418	-0.096	0.572
【2】自分の興味・関心があった】	0.465	-0.209	0.501

表5：因子間の相関係数（常勤者のみ）

	第1因子 職業直結	第2因子 外的条件	第3因子 能力・興味
第1因子 職業直結	1	0.007	0.377
第2因子 外的条件	0.007	1	-0.118
第3因子 能力・興味	0.377	-0.118	1

表4に示された負荷量の大小関係および表5に示された因子間相関の傾向は、全被験者のデータを用いた場合（表2、表3）とほぼ同様である。よって、3つの因子の名称は、3.1節と同じ名称「職業直結」「外的条件」「能力・興味」を用いることにして、常勤者に関して改めて因子得点を算出した。以後、この因子得点を用いて、仕事の種類（Q3-1）や仕事への就き方（Q3-4）（Q3-1、Q3-4はいずれも常勤者のみが回答する項目）との関係を検討する。

4.3 仕事の種類による因子得点の違い

図7に仕事の種類別(Q3-1)の因子得点の平均値を示す。ただし、人数が30名未満の仕事の種類と「上記以外」の仕事の種類に関しては、平均値を示さない。

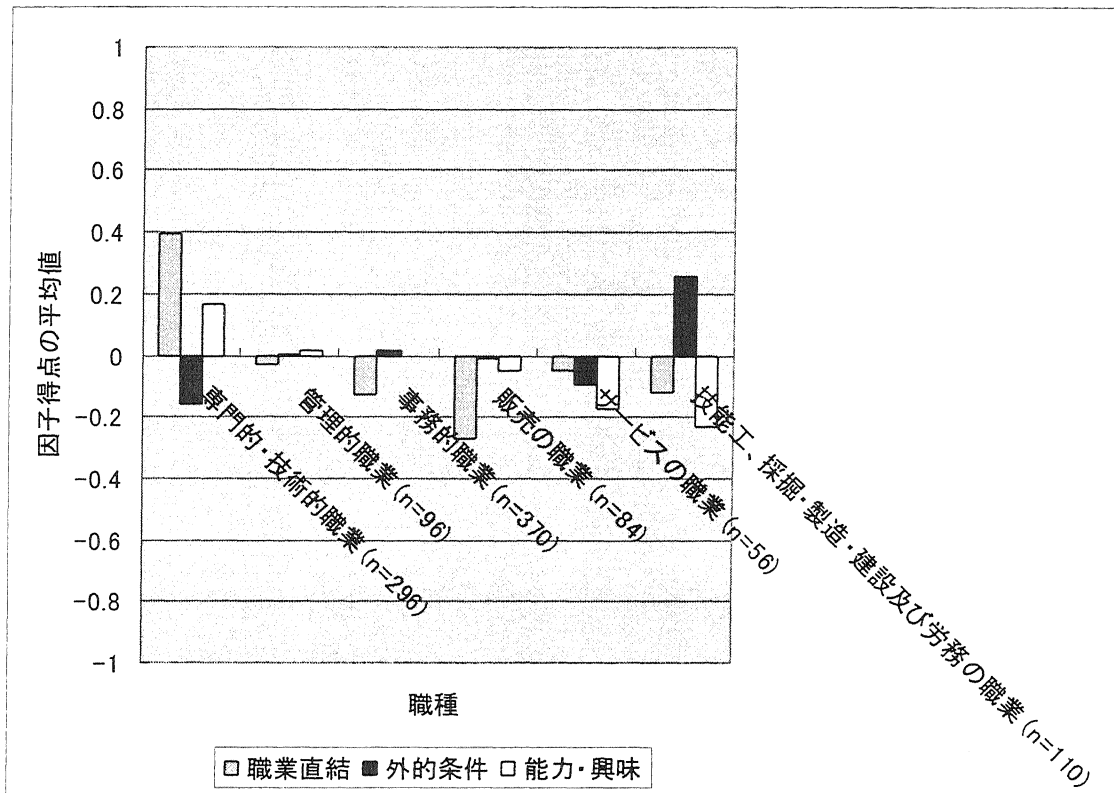


図7：仕事の種類別の因子得点の平均値

「専門的・技術的職業」では、「職業直結」と「能力・興味」の平均値が他の仕事に比べて非常に高く、「外的条件」の平均値がほかの仕事に比べて非常に低い。「職業直結」と「能力・興味」はいずれも、Q3-1の仕事区分の中で最も平均値が高いが、「職業直結」の平均値は「能力・興味」よりもかなり高い。「職業直結」の因子得点の平均値が正なのは「専門的・技術的職業」のみであり、他の仕事では負の値になっている。すなわち、専門的・技術的職業に現在就いている人に比べると、それ以外の職業の人にとっては、職業との結びつきは進学する学校を決める際の重視度が低かったことが示唆される。「能力・興味」も同様である。

「職業直結」の平均値が最も低いのは「販売の仕事」で、他に「事務的職業」や「技能工、採掘・製造・建設及び労務の職業」でも、平均値が負である。これらの仕事に現在就いている人は、進学する学校を決めた時に、将来の仕事への結びつきを重視したとは考えていないことが示唆される。「技能工、採掘・製造・建設及び労務の職業」においては、「能力・興味」の平均値も非常に低く、成績や興味を重視したとも考えていないことがわかる。むしろ、「外的条件」の平均値が非常に高く、周囲からアドバイスや家庭の経済状況によって進学する学校を決めたと考えていることが示唆される。

5. 進学時の重視事項と現在の仕事・仕事に関する意見

5.1 現在の仕事への就き方と離転職回数

図 8 に、現在の仕事にどのようにして就いたか (Q3-4) の 5 つの項目への回答の割合を示す。Q3-4 は常勤者のみが回答する項目である。

「2. 仕事を選択するときに、悩みながら自分の意志で努力して就いた」では、「そうである」(48.6%) と「そうでない」(47.3%) の割合がほぼ同じであるが、それ以外の 4 項目では「そうでない」の割合が「そうである」の割合を大きく上回っている。「3. 仕事があれば何でもよく、特定の仕事に深い関心はなかった」「4. 就きたい仕事が変わらなかつたのでとりあえず就いた」「5. 就きたい仕事に就けなかつたのであきらめて就いた」の 3 項目に対しては「そうでない」と回答した割合が非常に高く、就職時の消極的な姿勢を否定する者が多い。その一方で、「1. かなり早くから関心を持ち努力して就いた」に対して「そうである」と回答した割合は 30.4%にとどまっている。

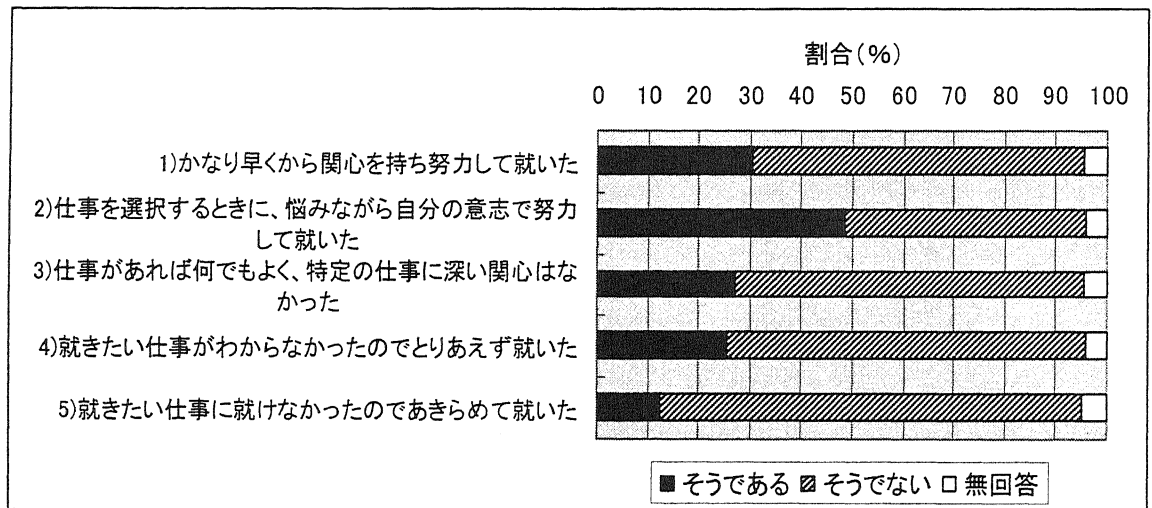


図 8 : 現在の仕事への就き方に関する項目 (Q11) に対する回答割合

図 9 に、現在の仕事への就き方 (Q3-4) への回答を、離転職 (Q6) 回数のカテゴリ別に示す。各項目に関して、回答と離転職回数カテゴリの独立性に関して χ^2 乗検定を行ったところ、「5. 就きたい仕事に就けなかつたのであきらめて就いた」のみが 1% の有意水準で独立でなかつた。すなわち、離転職回数が多い者ほど、あきらめて就いたと回答する傾向が強いことが示された。しかし、それ以外の 4 項目では、回答と離転職回数カテゴリに有意な関連は見られず、仕事への関心の持ち方や努力と離転職の回数の関係は薄いことが示された。

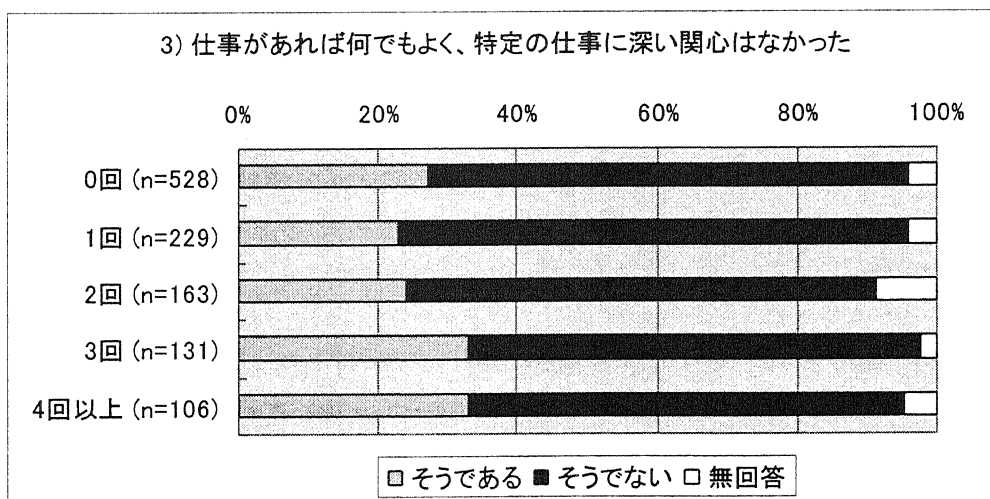
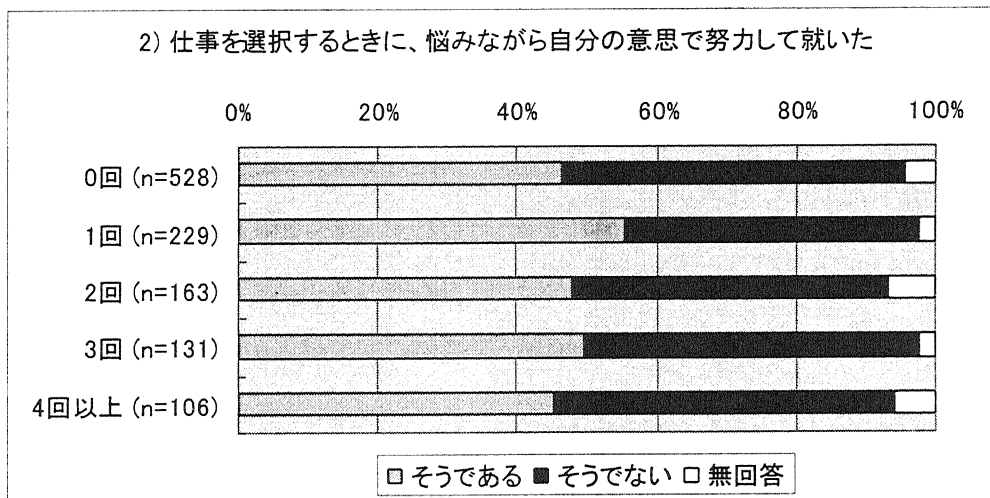
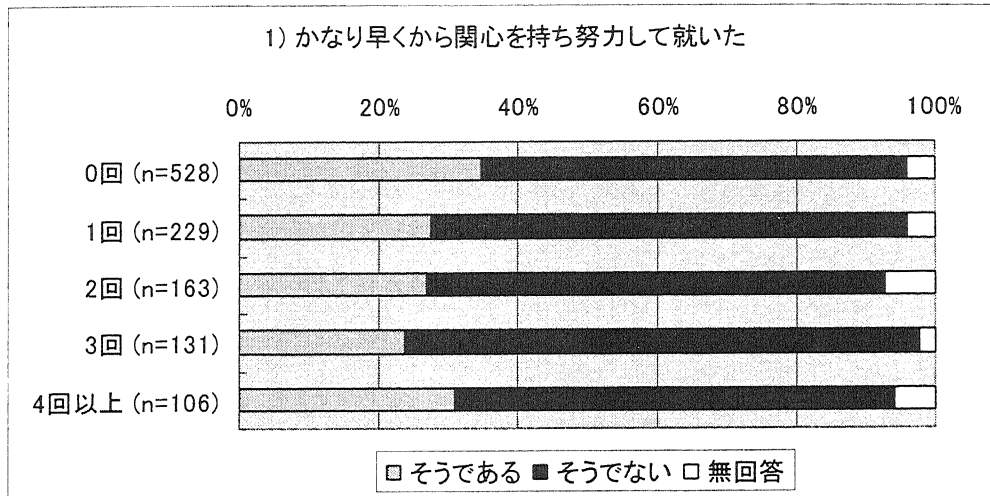


図9：離転職の回数カテゴリと現在の仕事への就き方（1/2）

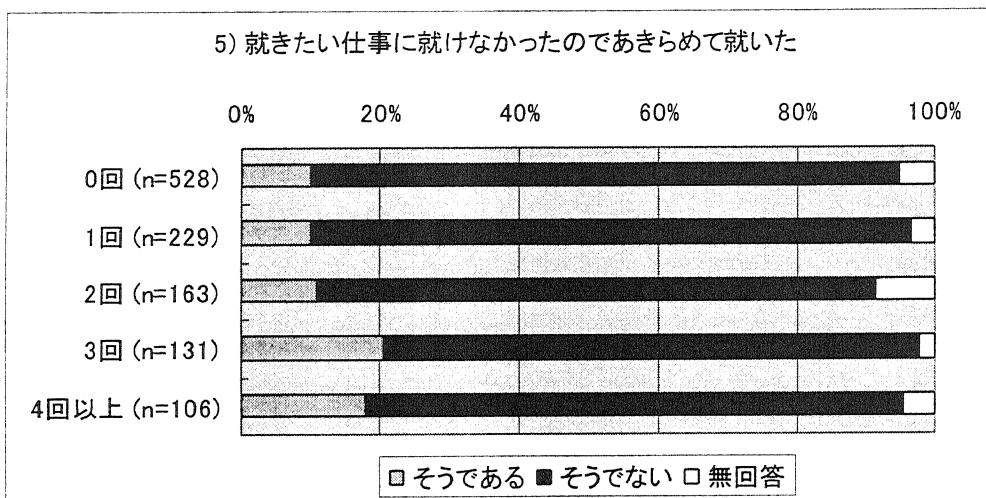
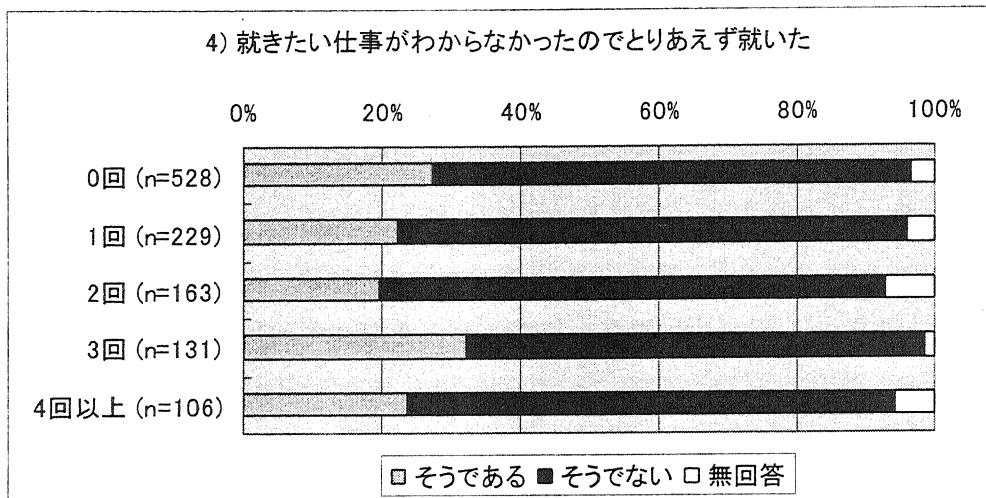


図9：離転職の回数カテゴリと現在の仕事への就き方（2 / 2）

5.2 現在の仕事への就き方による進学時の重視事項の因子得点の違い

現在の仕事への就き方が、最終学歴校への進学時に重視したこととどのような関係があるのかを検討するために、Q3-4の5つの項目に対する回答別に、常勤者のみのデータによる3つの因子得点（4.2節）の平均値を算出する。図10に項目別の結果を示す。

「1. かなり早くから関心を持ち努力して就いた」と「2. 仕事を選択するときに、悩みながら自分の意思で努力して就いた」は、回答別の3つの因子得点が非常に似た傾向を示している。どちらの質問項目でも、「そうである」と回答した者では「職業直結」と「能力・興味」の平均値はどちらも正で、「職業直結」の平均値が「能力・興味」をやや上回っている。「そうでない」と回答した者では「職業直結」と「能力・興味」の平均値はどちらも負で、絶対値は「職業直結」のほうが大きい。

「3. 仕事があれば何でもよく、特定の仕事に深い関心はなかった」と「4. 就きたい仕事があ

からなかったのとあわせて就いた」も、回答別の3つの因子得点の傾向が似ている。どちらの質問項目でも、「そうである」と回答した者では、「職業直結」と「能力・興味」の平均値はどちらも負で「職業直結」の絶対値のほうが大きく、「そうでない」と回答した者では、「職業直結」と「能力・興味」の平均値がどちらも正である。また、「外的条件」は、「そうである」と回答した者の平均値が正、「そうでない」と回答した者の平均値が負になっている。

「5. 就きたい仕事に就けなかったのであらかじめ就いた」では、「そうである」と回答した者の「外的条件」の平均値が大きい。また、「職業直結」と「能力・興味」の平均値はいずれも負である。

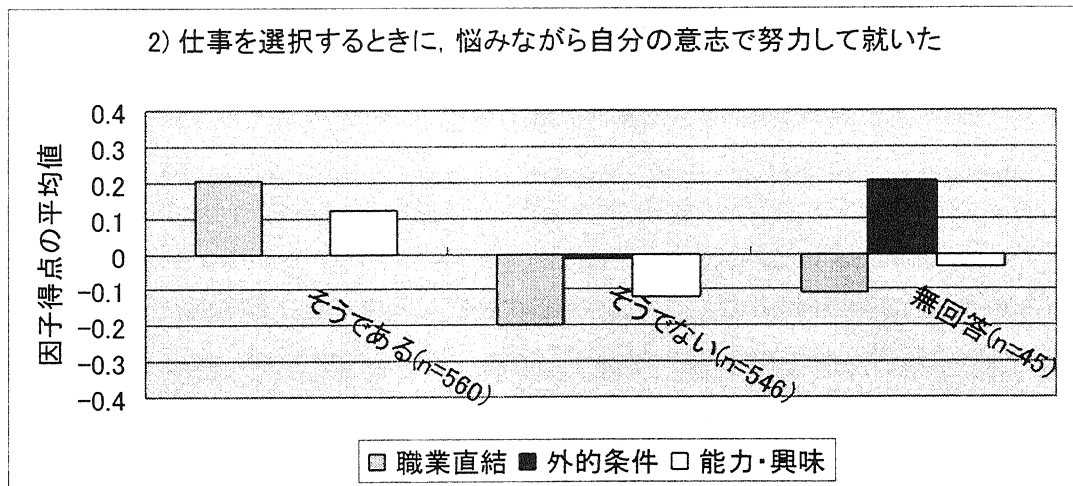
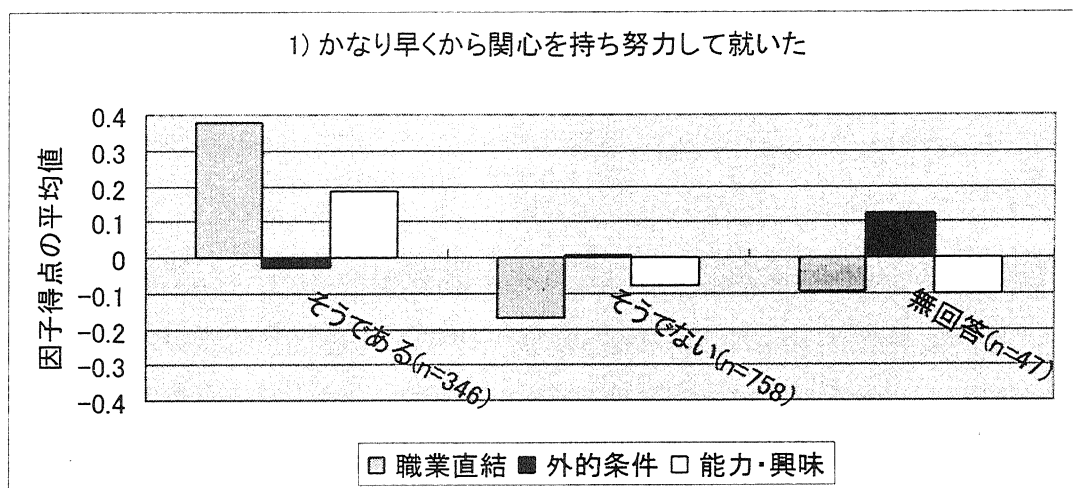


図 10 : 現在の仕事への就き方に関する回答別の因子得点の平均値 (1 / 2)

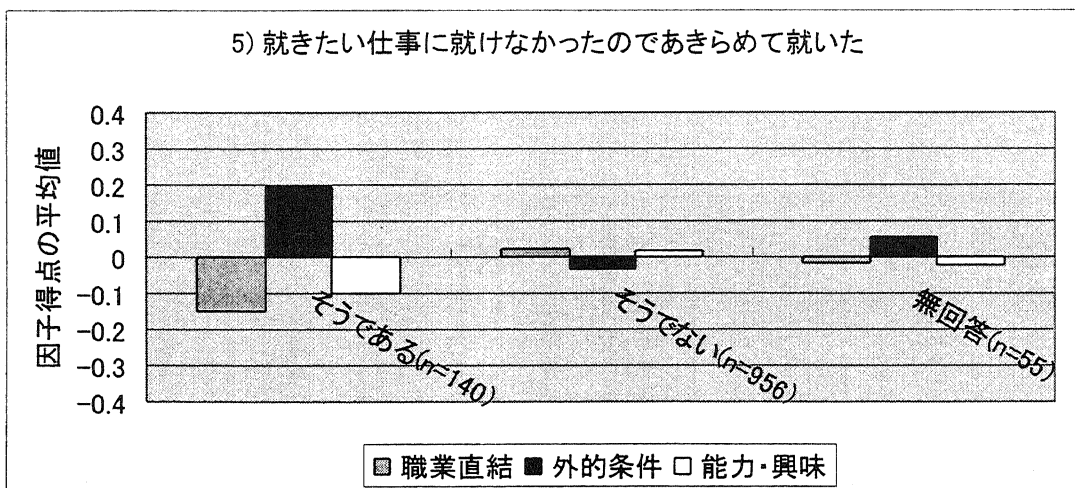
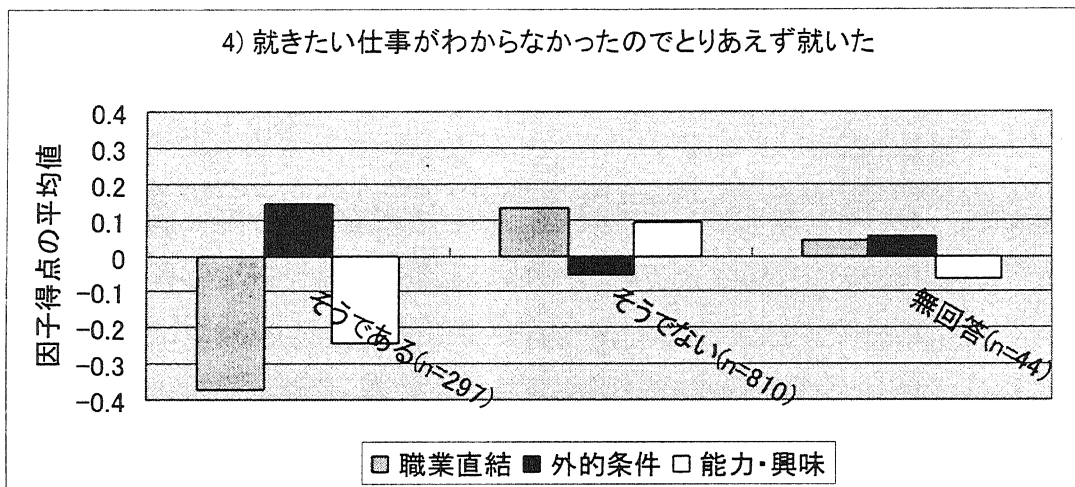
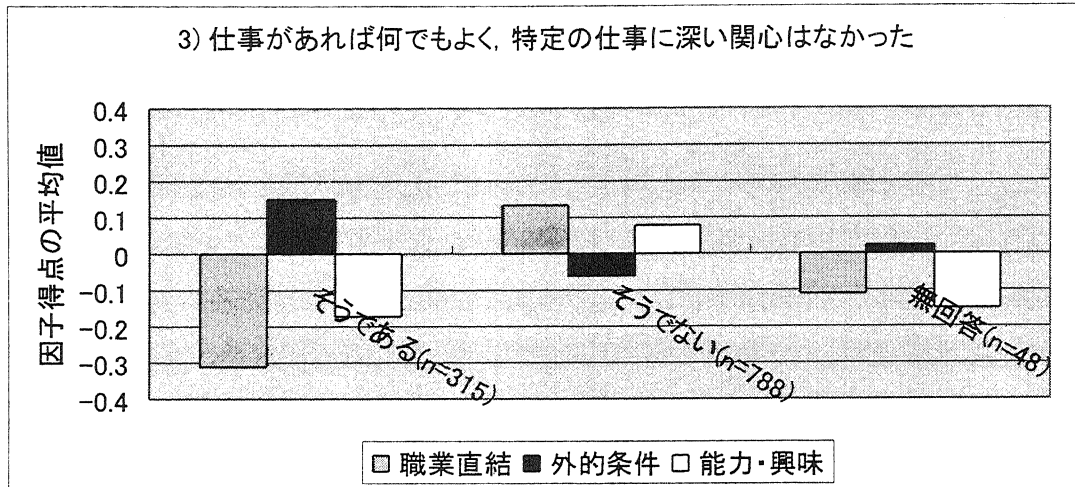


図 10 : 現在の仕事への就き方に関する回答別の因子得点の平均値 (2 / 2)

5.3 仕事に関する意見と進学時の重視事項の因子得点

図 11 に、仕事に関する意見 14 項目 (Q11) に対する回答の割合を示す。Q11 は全員に対して回答を求めた質問で、「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「全然そう思わない」の 4 段階から選択して回答する。

図 11 を見ると、ほとんどの項目において、「とてもそう思う」と「全然そう思わない」の割合は非常に小さく、「まあそう思う」と「あまりそう思わない」の割合が大きい。そこで、「とてもそう思う」と「まあそう思う」を「思う」、「あまりそう思わない」と「全然そう思わない」を「思わない」と変換することで新たな回答区分を作成した。そして、新しい回答区分ごとに進学時の重視事項の 3 つの因子得点の平均値を算出した。

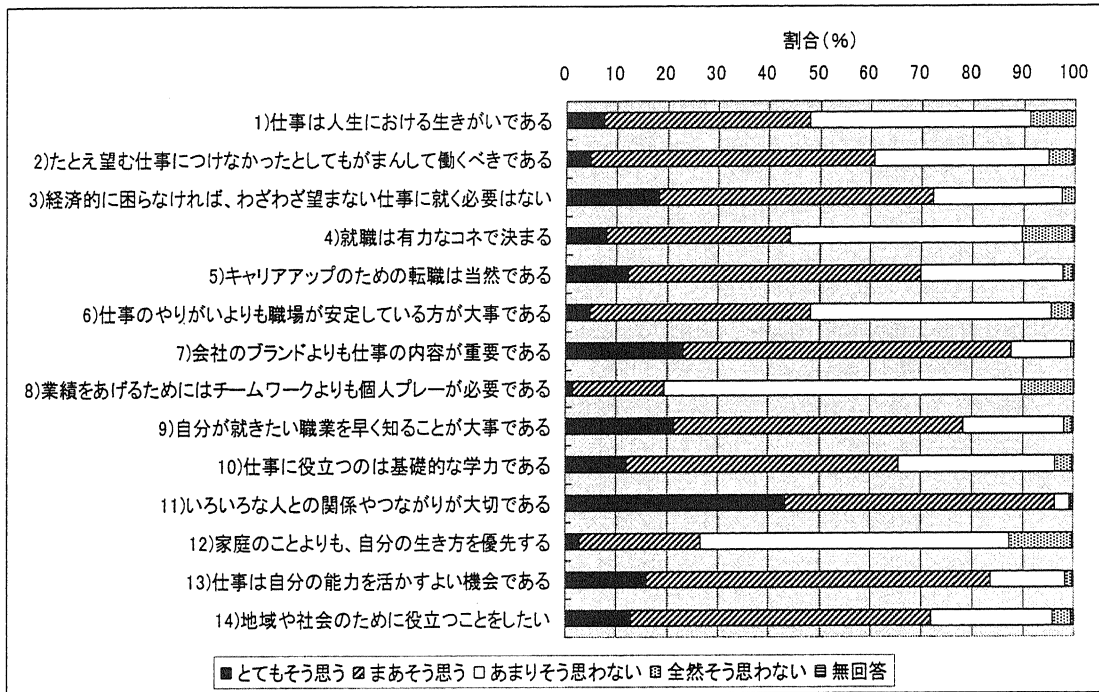


図 11：仕事に関する意見 14 項目に対する回答割合 (Q11)

図 12 に、Q11 の 14 項目それぞれについて、回答区分別の因子得点の平均値を示す。Q11 は全員に対する質問なので、因子得点は 4.2 節で算出したものを用いた。

「職業直結」因子については、以下の 4 項目で「思う」と「思わない」の平均値の差が特に大きかった。

1. 仕事は人生における生きがいである
11. いろいろな人との関係やつながりが大切である
13. 仕事は自分の能力を活かすよい機会である
14. 地域や社会のために役立つことをしたい

各項目とも、「思わない」と回答した者は、職業へのつながりを重視せずに進学する学校を決めたと感じている。すなわち、社会人になってから周囲の人間や社会との積極的な連携を否定する者や仕事に生きがいを感じない者は、進学時に職業とのつながりを重視しなかったと感じている。また、仕事に生きがいを感じる者は、進学時に職業とのつながりを重視したと感じる傾向が強い。

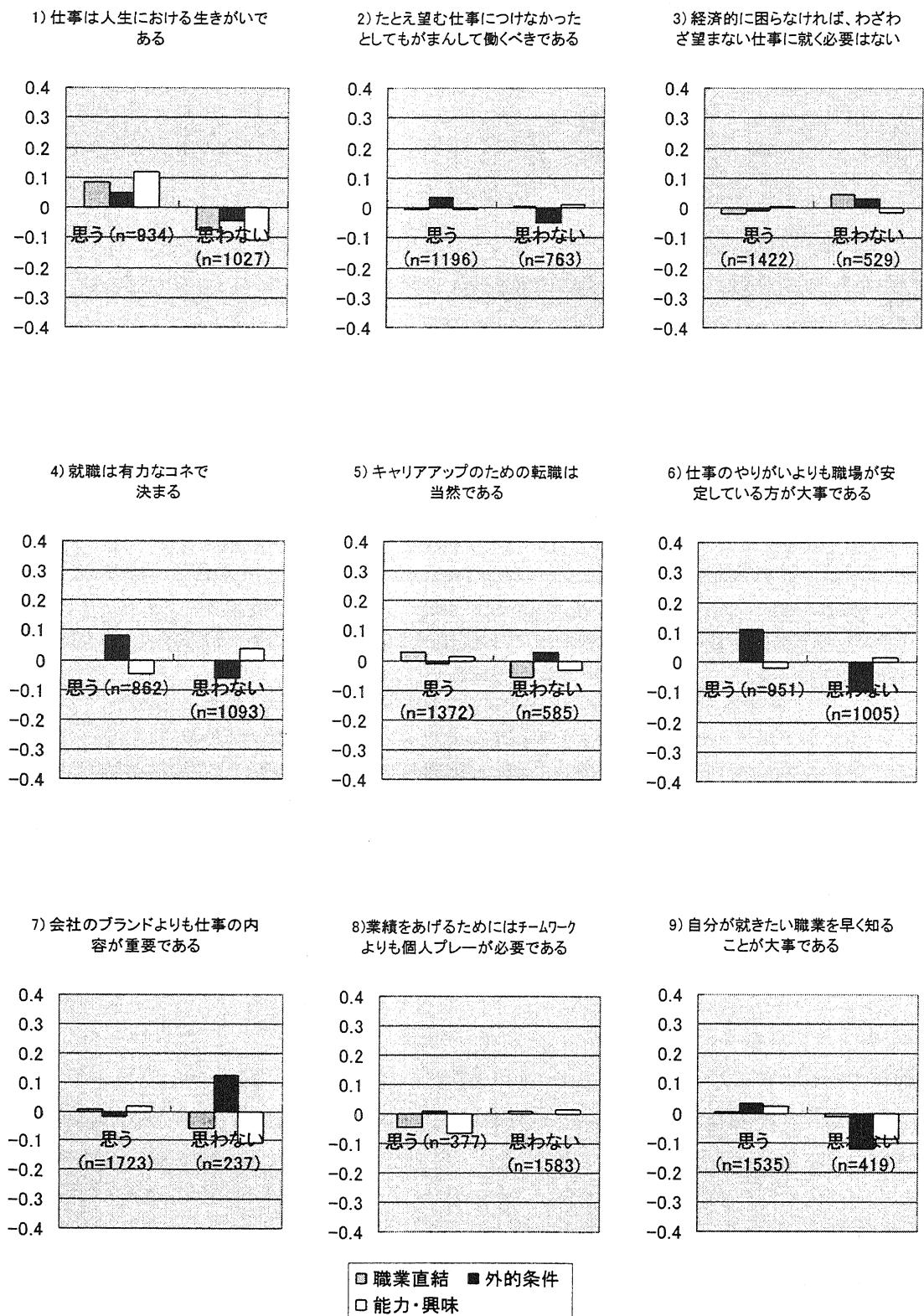


図 12：仕事に関する意見（Q11）と因子得点の平均値（1 / 2）

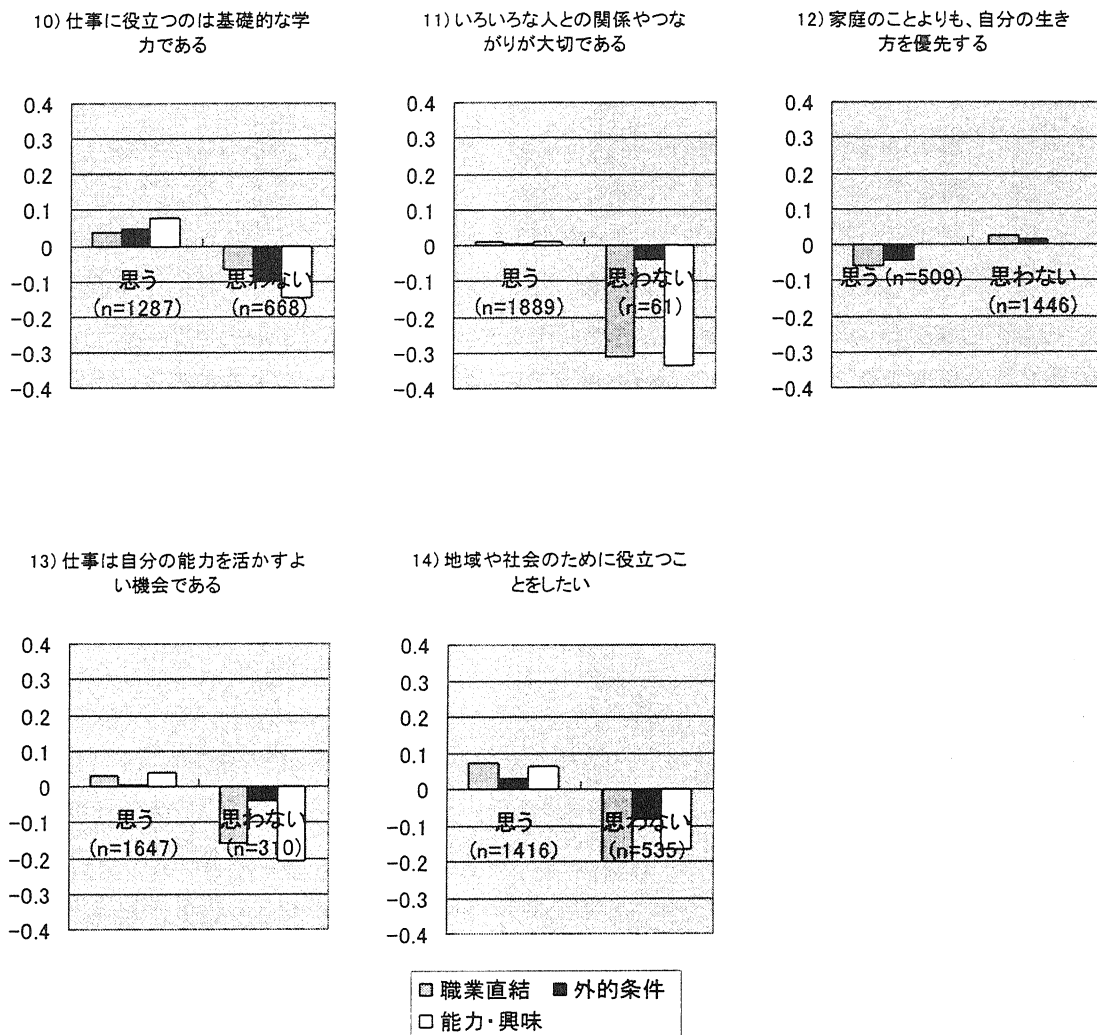


図 12 : 仕事に関する意見 (Q11) と因子得点の平均値 (2 / 2)

「外的条件」因子については、以下の 3 項目で「思ふ」と「思わない」の平均値の差が特に大きかった。

6. 仕事のやりがいよりも職場が安定している方が大事である
7. 会社のブランドよりも仕事の内容が重要である
9. 自分が就きたい職業を早く知ることが大事である

項目 6 では、職場の安定性を大事だと「思ふ」者と「思わない」者の割合がほぼ同じであり、仕事のやりがいよりも職場の安定性が大事だと「思わない」者は、周囲からのアドバイスや経済状況を重視せずに進学する学校を決めたと感じる傾向が強いのに対して、「思ふ」者は、重視したと感じている。また、項目 9 で、就きたい職業を早く知ることが大事だと「思わない」者は、進学時に周囲からのアドバイスを重視したと考えていない。項目 7 で、会社のブランドよりも仕事の内容が重要と「思わない」者は、進学時に周囲からのアドバイスを重視したと考える傾向が強い。進学時の重視事項は回顧的な回答ではあるが、本調査の対象年齢者が最終学歴の学校を選択した際に周囲からのアドバイスを重視した度合いは、現在における職場の安定性や仕事内容

の重要性に関する考え方と、かなり関係が深いと言えるだろう。

「能力・興味」因子については、以下の 5 項目で「思う」と「思わない」の平均値の差が特に大きかった。

1. 仕事は人生における生きがいである
10. 仕事に役立つのは基礎的な学力である
11. いろいろな人との関係やつながりが大切である
13. 仕事は自分の能力を活かすよい機会である
14. 地域や社会のために役立つことをしたい

5 項目のうち 4 項目は、「職業直結」因子の平均値に関して回答による平均値の違いが大きかった 4 項目と一致している。項目 1、10、13 は、仕事で発揮される能力に関する項目であり、進学時に学力や得意科目を重視したと感ずるかどうかと関連が深いのはうなずけるが、項目 11 や 14 のように、人間関係や地域社会とのつながりに関する項目においても、進学時に能力や興味を重視したかどうかと関連が見られる点は興味深い。

6. まとめ

本稿では、社会人が進学する学校を選択した時の重視事項に関する回答について、最終学歴や年齢区分、職業などの属性による違いや、仕事に関する考え方との関係を分析した。

中高生の調査においては、将来したい仕事が「ある」と回答した生徒は、どの進学希望段階でも資格や専門的知識・技術の取得を重視しようとする傾向がみられ、進学希望段階による重視事項の違いが小さかったが（椎名、2005）、社会人では、最終学歴によって、進学時に重視した事項がかなり異なる傾向を示した。高等専門学校卒の社会人では、希望する職業との結びつきや専門的知識・技術の取得を重視した度合いが、興味・関心と同じくらいだったと考えている。それに対して、大学卒の社会人では、専門的知識・技術や資格の取得よりも学力や興味・関心を重視して進学先を決めたと考えていることが示された。

また、短期大学・大学卒の社会人に比べて、短期大学・大学・大学院への進学を希望する高 2 生は、資格や専門的知識・技術を重視しようとする傾向が強いことが示された。これは、短期大学や大学での教育に期待するものが変化していることを示唆している。

社会人が進学する学校を決める際に重視した項目についての回答を因子分析したところ、「職業直結」「外的条件」「能力・興味」の 3 つの因子が抽出された。それぞれの因子得点について属性別の平均点を算出したところ、高校卒や大学卒の社会人は、他の最終学歴の者に比べて、職業との結びつきを重視しなかった傾向がみられた。また、高学歴であるほど、成績や興味を重視した傾向が示された。周囲からのアドバイスや家庭の状況を重視した傾向は、高年齢区分者や女性で強く見られた。また、離転職回数が多い者は、周囲からのアドバイスや家庭の経済状況を重視して、成績や興味はあまり重視しなかったと感じていることが示された。

職業別にみると、専門的・技術的職業に就いている人に比べて、それ以外の職業の人は、進学する学校を決める際に、職業との結びつきの重視度が低かったと考えていることが示された。成績や興味についても同様で、重視したと感ずる度合いは、専門的・技術的職業とそれ以外の職業で大きく異なっている。専門的・技術的職業に就いている社会人は、職業との結びつきや興味を

重視した進学をしたからこそ、現在の職業に就いていると考えられるので、それらを重視した進学決定を行ったと感じるのは当然とも言える。事務、販売、サービス、技能などの専門的・技術的以外の職業についても、各自の興味との結びつきを明確に示すことが出来れば、特定の職業を目指さずに進学した生徒や、興味を絞りきれないまま進学先を決めた生徒が、在学中に職業選択を考える際の助けになると思われる。

現在の仕事への就き方との関係を見ると、「仕事があれば何でもよく、特定の仕事に深い関心はなかった」や「就きたい仕事がわからなかったのでとりあえず就いた」や「就きたい仕事に就けなかったのであきらめて就いた」に対して肯定した者は、周囲からのアドバイスや家庭の経済状況を重視して進学先を選択したと考える傾向が強い。それに対して、「かなり早くから関心を持ち努力」したり「悩みながら自分の意思で努力」したりして職に就いた者は、周囲からのアドバイスを重視したと考えていない。目指す職業が明確になっていない生徒こそ、親・家族や教師の適切なアドバイスが必要であることが示唆される。

また、仕事が生きがいだと感じる社会人が、職業との関連を重視した進学をした傾向が強いのは当然として、人間関係や地域社会とのつながりに関する項目についても、それらを大事だと思わない者は進学時に能力や興味を重視しなかった傾向がみられる。進学時の重視事項についての考え方は、職業選択のみでなく、社会との関わり方に関する考え方とも関係が深いことが示唆された。

参考文献

椎名久美子(2005)、「進学時の重視事項に関する分析—進学希望段階と将来したい仕事の有無による違い—」、平成 15—17 年度国立教育政策研究所 政策研究課題リサーチ経費研究、山田兼尚編、生涯にわたるキャリア発達の形成過程に関する総合的研究報告書(I) —児童・生徒のキャリア発達に関する質問紙調査—、97—123 頁。

柳井晴夫他 (2002)、「大学生の学習に対する意欲等に関する調査研究」、高等教育学力調査研究会、平成 12、13 年度文部科学省教育改革の推進のための総合的調査研究委託報告書。

Ⅱ-2 人生に必要な資質と能力の形成

国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官
立 田 慶 裕

はじめに—問題—

近年、職業教育の現場や企業において、コンピテンシーという言葉が用いられつつある。この用語は、これまでの個別の知識や技能とは異なり、人間全体の「資質」を意味して用いられている。ここでいう資質とは、一定の知識や技能をもつだけでなく、新しい知識や技能を変化する時代や職場の要請に応じて積極的に学習する一方で、遺伝的な「素質」に加えて、一定の時間内に高い水準の成長を遂げ、新しい仕事を次々に遂行していく人間としての全体的能力を指して用いられている。

本章では、成人を対象として行われたキャリア教育に関する意識調査の結果から、人生全体にわたるキャリアを形成するための資質として、どのようなものが期待されているのか、また、そうした資質をどのような場で形成する必要があるかについて考察する。

調査の結果を要約すれば、性別や職業の有無によって期待される資質は異なっており、パート・アルバイト従事者では、マナーや時間を守るなどの一般常識、他者への配慮や思いやり、道徳心や公共心などの社会性、多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力など、一般的な常識や人間関係能力を重視する傾向が高いのに対し、正規職業従事者が重視する能力は、自分を理解する能力、情報を収集、選択、活用する能力、計画を立てて実行する能力、アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力など、計画を立てて、自ら新しい知識や人間関係を作り出していく能力が求められている。

また、家庭では、一般的な常識や社会性の形成が求められる一方、学校では基礎的な学力に加えて新たな知識や技能を学ぶ力、そして集団におけるコミュニケーション能力の形成が求められている。また、地域ではこうした集団内でのコミュニケーション能力の形成が求められてはいるが、一方職場では、自分の意見を的確に伝える能力や情報を収集、選択、活用する能力の形成も求められており、そこに、家庭や学校、そして、地域や職場のそれぞれ異なる役割が期待されていることがわかってきた。

1. 成人の能力の定義と選択に関する国際会議の成果

OECDの加盟国は、1997年にPISAに着手したが、その結果、選択された学校教科における生徒の達成度評価から、人生における生徒の成功はいっそう広い範囲のコンピテンシーに左右されるということがわかってきた。そこで、OECDは、1990年代末に、新たにDeSeCoプロジェクトとして、「成人のコンピテンシーの定義と選択」(Definition and Selection of Competencies : Executive Summary 通称、DeSeCo)と呼ばれるシンポジウムがOECDによって二度開催され、そこで、OECD加盟国の中から、コンピテンシーを選択するために学際的な研究者や各加盟国の代表が50名以上参加し、各国でこれまで必要とされてきたコンピテンシーに

どのようなものがあるかが検討された。本章では、この新しいコンピテンシー領域の調査研究からの枠組みを参考としたい。

このDeSeCoでは、まず、「人生の成功と正常に機能する社会のためにどんなコンピテンシーが必要か？」という課題が立てられている。世界における共通のコンピテンシーの定義から、青年や成人が人生の挑戦に対しどううまく備えるかの評価の改善につなげることができるし、教育システムや生涯学習の包括的目標を設定することができる。そこで、まとめられた結果によると、「コンピテンシーは、知識や技能以上のものである。特定の状況の中で（技能や態度を含む）心理社会的な資源を引き出し、動員することにより複雑な需要に応じる能力」として定義された。ここで、個々の能力は、コンピテンス、または能力、abilityとされ、そうした個々の能力の複合体として、キー・コンピテンシーが考えられたのである。その際、それぞれのキー・コンピテンシーの条件は次の三つである。

- 1) 社会や個人にとって価値ある結果をもたらすこと
- 2) いろいろな状況の重要な課題への適応を助ける
- 3) 特定の専門家だけでなく、すべての個人にとって重要であること

プロジェクトは、スイスの主導のもとに動き、PISAと関連づけ、多彩な学問領域の専門家が、政策に関連した枠組みを産むために政策担当者とその関係者との協働によって進められた。

また、同時に、このキー・コンピテンシーが必要とされる背景として、①環境と効果的に相互作用するための道具を活用できる必要性、②いっそう助け合いの必要が増している世界の中で、個人は他者と関係をもてるようにすることの必要性、③いろいろな経歴をもった異質な集団でも人と交流できるようになる必要性、④個人は、自分の生活や人生について責任を持って管理、運営し、広い社会的背景の中に位置づけ、自律的に動く必要性があることがほぼ結論づけられることとなった。

さらに、キー・コンピテンシーの核心にある概念としては「思慮深さ（反省性）」つまり、思慮深い思考と行為が重要とされた。思慮深い考えは、複雑な精神的過程を必要とし、考えている主体が相手の立場にたつことを要求する。また、思慮深さは、個人にいろいろな技術の必要性について考えるように仕向け、技術を理解し、自分の経験の他の面にそれを関連づけ、技術を変え、適合させる。個人が思慮深さを備えることによって、実践や活動の中で考える過程をもつことにより、その考える力はさらに成熟を続けていく。この思慮深さに含まれるのは、メタ認知的な技能（考えることを考える）、批判的なスタンスを取ることや創造的な能力の活用である。

二度にわたるシンポジウムと各国での検討、そして学際的な研究者の研究論文のまとめから、次の三つのコンピテンシー・グループが抽出された。

- 〈カテゴリー1〉 相互作用的に道具を用いる
- 〈カテゴリー2〉 異質な集団で交流する
- 〈カテゴリー3〉 自律的に活動する

それぞれのカテゴリーには、さらに、次のような能力が含まれている。

〈カテゴリー1 相互作用的に道具を用いる〉

- A 言語、シンボル、テキストを相互作用的に用いる

B 知識や情報を相互作用的に用いる

C 技術を相互作用的に用いる

〈カテゴリー2 異質な集団で交流する〉

A 他人といい関係を作る

B 協力する。チームで働く

C 争いを処理し、解決する

〈カテゴリー3 自律的に活動する〉

A 大きな展望の中で活動する

B 人生計画や個人的プロジェクトを設計し実行する

C 自らの権利、利害、限界やニーズを表明する

これらのうち、特に職場で重要になると考えられるのが、第二と第三のカテゴリーである。第二のカテゴリーの中には、さらに、具体的な項目として、次のようなものがあがっていた。

- 自分のアイデアを出し、他の人のアイデアを傾聴する力
- 討議の力関係を理解し、基本方針に従うこと
- 戦略的もしくは持続可能な協力関係を作る力
- 交渉する力
- 異なる反対意見を考慮して決定できる包容力

第三のカテゴリー「自律的に活動する」とは、個人が勝手に動くことではなく、むしろ、他者との関係の中での自発的、自主的、自立的、自律的に考え、行動する力を含んでいる。すなわち、自律的に活動するためには、「個人が、自分の社会的な関係や自分が果たしている役割と果たしたい役割といった自分の環境に気づくことが求められる。自分の生活と労働条件にわたる調整を行いながら自分の生活を意味あるものにして責任をもつ仕方で管理できるような力をもつことが人に求められる」。この力は、「大勢に従うだけではなく、むしろ独立した自己を成長させ、選択を行う」ことを求める。そして、人は自分の価値と活動について考えることになるからである。具体的な能力としてあげられている「人生計画や個人的プロジェクトを設計し実行する能力」には次のようなものがあった。

- 計画を決め、目標を定める
- 自分が利用できる資源と必要な資源を知り、現状評価する（時間、お金など）
- 目標の優先順位を決め、整理する
- 多様な目標に照らして必要な資源のバランスを取る
- 過去の行いから学び、将来の成果を計画する
- 進歩をチェックし、計画の進展に応じて必要な調整を行う

こうしたコンピテンスは、生涯にわたる発達の過程で、獲得と喪失を繰り返しながら、成長し変化する。また、その発達は、青年期だけで終わるのではなく、成人期を通じても継続することを発達心理学の研究が示している。特に、考える能力と思慮をもって活動する能力は、コンピテンス研究の枠組みの要となっており、成熟に伴って成長すると考えられているのである。

そこで、本調査では、こうした個々の能力を、質問項目に組み入れることによって、男女とい

った性別、年齢別、職業によって、必要とするコンピテンシーにどのようなものがあり、人々はそうしたコンピテンシーをどこで形成する必要があると考えているかを明らかにしようと考えた。

2. どのような資質を形成するか

本調査では、この資質に関する質問として、「あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要で、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか」と尋ねた。また、その質問項目として、調査表の問7に示した選択肢を設けた。それぞれの選択肢について、「とても必要である」「まあ必要である」「あまり必要でない」「全然必要でない」の4段階での回答を得た。

その結果では、問7の選択肢から、「とても必要である」「まあ必要である」の2項目を合計するとほとんどの選択肢が8割～9割の回答率となり、必要な資質・能力という回答となっている。そこで、特に、「とても必要である」とした回答のみをとりあげその比率をみると、各選択肢に大きな差が生じている。最も高く必要であるという回答を得たのは、「マナーや時間を守るなどの一般常識」であり、「他者への配慮や思いやり」がそれに継いでいる。また、「多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力」も第三位となって6割の回答率を得ている。他方、「社会や職業について学ぶ能力」や「多様な役割を知りそれを担う能力」はそれほど必要とは考えられていない。

表 2-1

	とても必要である
1) マナーや時間を守るなどの一般常識	71.4
2) 他者への配慮や思いやり	69.0
3) 多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力	59.9
4) 道徳心や公共心などの社会性	56.2
5) 読解力や計算などの基礎的知識や学力	52.9
6) 状況の変化に柔軟に対応する能力	51.9
7) 自分を理解する能力	49.2
8) 基礎的体力	47.8
9) 情報を収集、選択、活用する能力	46.2
10) 計画をたて実行する能力	43.1
11) 常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする能力	42.5
12) 選択肢の中から主体的に判断する能力	39.4
13) 論理的にものごとを考える能力	37.1
14) アイディアや新しいことを創造的に生み出していく能力	36.3
15) 課題を設定し解決する能力	35.4
16) 交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力	34.8
17) 社会や職業について学ぶ能力	28.1
18) 多様な役割を知りそれを担う能力	26.0

図 2-1 とても必要とされる資質

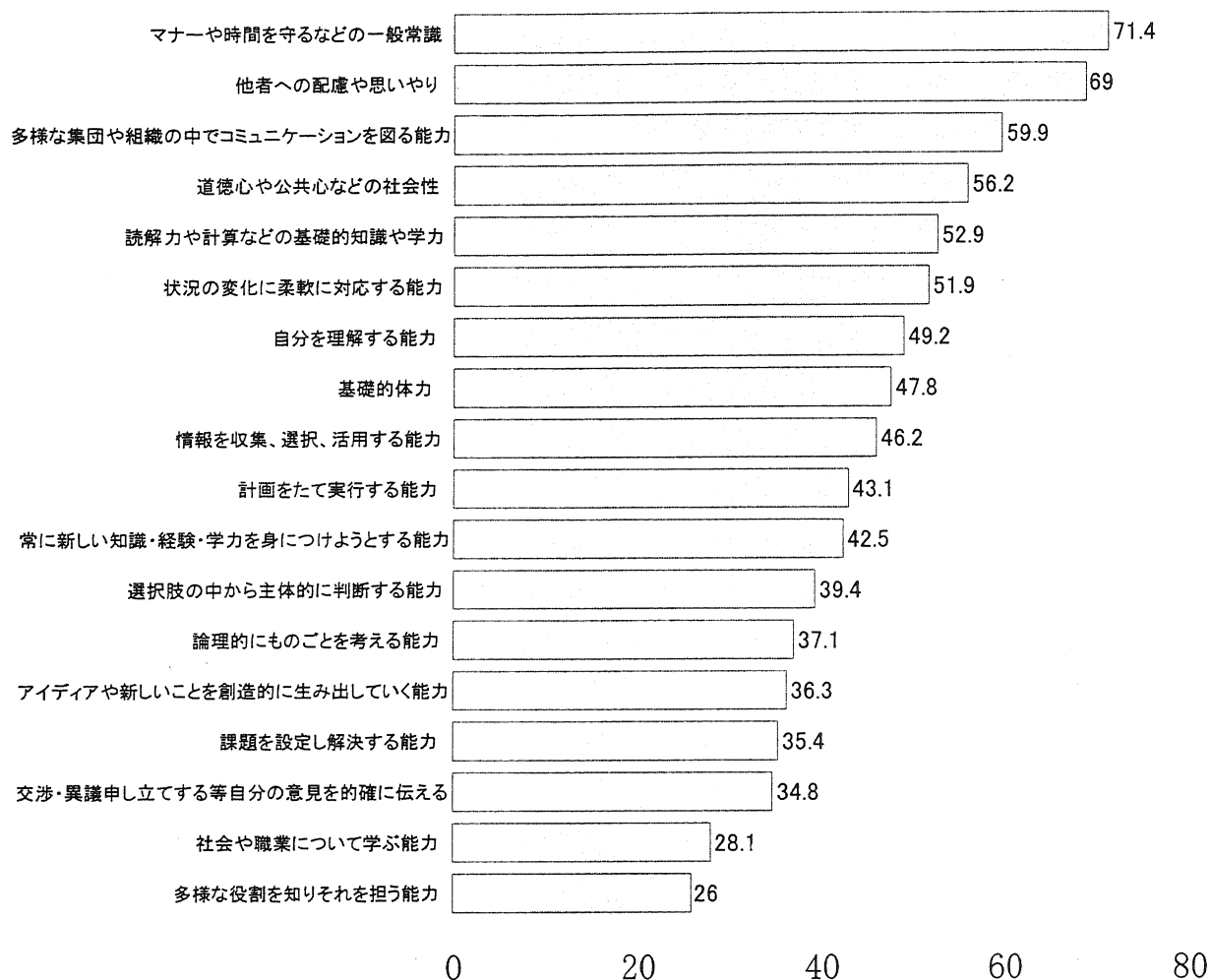


表 2-2 は、上記の結果を性別に示したものであるが、女性の場合、コミュニケーションや人間関係における配慮などの資質を求める傾向が高いのに対し、男性では、次の資質を求める傾向が強くみられる。

男性が多く求める資質

- 状況の変化に柔軟に対応する能力
- 情報を収集、選択、活用する能力
- 常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする能力
- 計画をたて実行する能力
- 選択肢の中から主体的に判断する能力
- 課題を設定し解決する能力
- 論理的にものごとを考える能力
- 交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力
- アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力

表 2-2

	男性	女性
マナーや時間を守るなどの一般常識	60.6	81.8
他者への配慮や思いやり	60.9	76.8
道徳心や公共心などの社会性	47.5	64.5
多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力	58.3	61.5
読解力や計算などの基礎的知識や学力	54.1	51.7
状況の変化に柔軟に対応する能力	53.6	50.4
基礎的体力	46.2	49.3
自分を理解する能力	50.0	48.3
情報を収集、選択、活用する能力	53.0	39.7
常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする能力	46.3	38.8
計画をたて実行する能力	51.1	35.4
選択肢の中から主体的に判断する能力	44.8	34.2
課題を設定し解決する能力	42.5	28.7
社会や職業について学ぶ能力	27.7	28.6
論理的にものごとを考える能力	46.1	28.6
交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力	42.4	27.5
アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力	46.4	26.6
多様な役割を知りそれを担う能力	27.0	25.0

こうした結果は、しかし、職業についているかどうか、その有無による影響を受けると考えられるので、職業についているもののみを選択し、それを正規職業従事者とパートアルバイト従事者によって比較したのが図2-2、図2-3である。この結果からは、パートアルバイトの従事者の場合には、社会の一般常識や、道徳心などの社会性、あるいは、他者への配慮や思いやりなどが重要な資質とされるのに対し、正規の職業に従事しているもの場合には、むしろ、そうした資質よりは、自分を理解する能力や情報の収集や活用力、計画の設計能力や新しいアイデアを生み出す能力が重視されている。

ただし、パート・アルバイトのうち、女性の占める割合は9割と高いため、その結果には、性別の資質への視点が影響しているとみられる。そこで、表2-3には、女性のみ絞って、その比較を行うことにより、性別要因の影響を取り除いてみた。その結果をみると、やはり、性別にかかわらず、正規職業従事者の場合には、「自分を理解する能力」や「情報を収集、選択、活用する能力」、「アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力」がパート・アルバイト従事者に比較して高い比率を示している。このことは、女性の場合には、確かに人間関係力という資質に高い価値を置く傾向があっても、正規の職業に従事している場合には、それ以外の能力の必要性を高く感じるようになっていく傾向があることを示している。

図2-2 パート・アルバイトの人が重視する能力

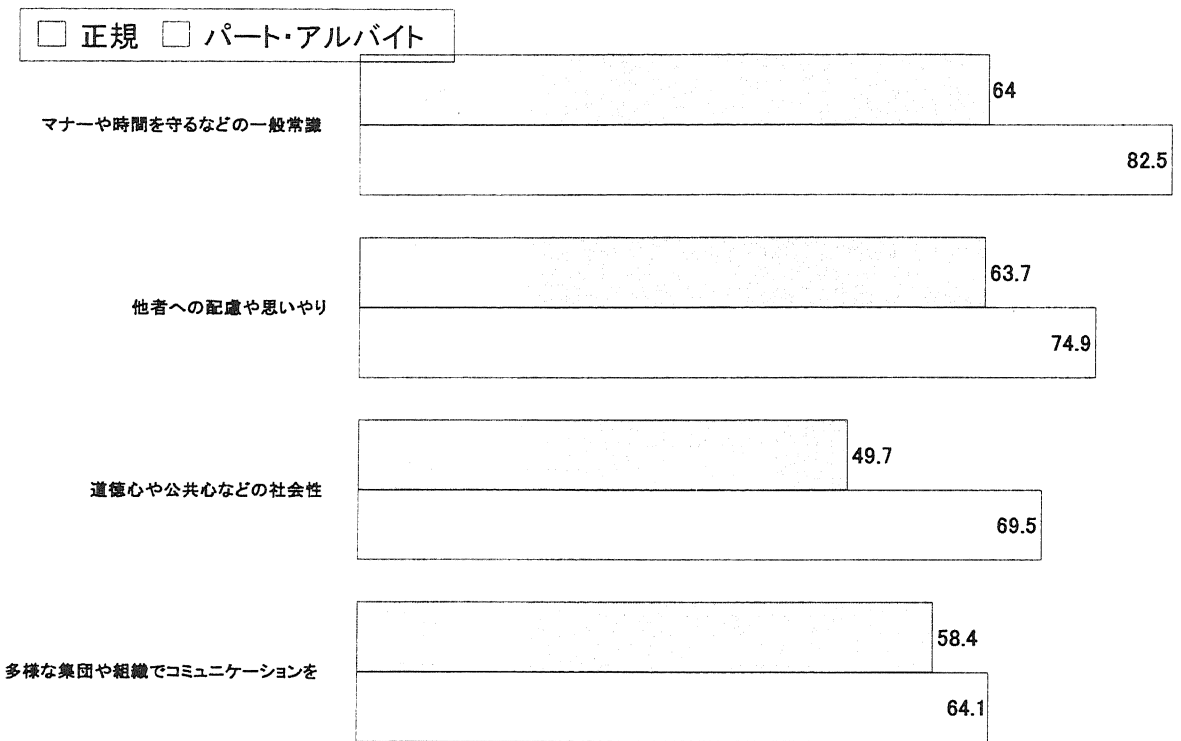


図2-3 正規職業従事者が重視する能力

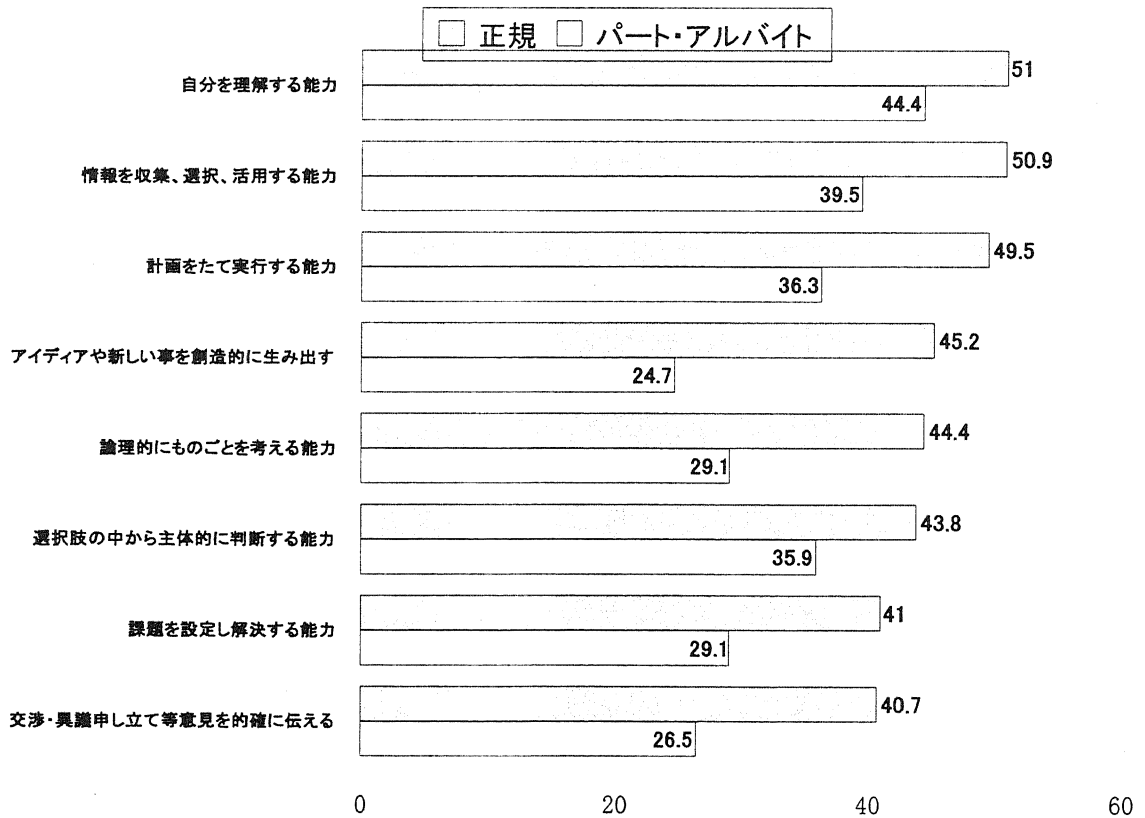


表 2-3 女性の有職者のみでみた正規従事者とパート・アルバイトの回答

女性（有職者のみ）	正規職 従事	パート・ アルバイト
マナーや時間を守るなどの一般常識	76.2	84.0
道徳心や公共心などの社会性	57.7	71.4
多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力	57.3	64.6
自分を理解する能力	54.4	42.7
情報を収集、選択、活用する能力	43.1	38.3
アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力	36.8	25.2
論理的にものごとを考える能力	36.0	28.6
交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力	33.5	25.2
	N	
	239.0	206.0

3. 資質がどこで形成されることを期待するか

こうした異なった資質を高く評価する傾向は、それぞれの成人が職業を有しているかどうかにも影響されるが、一方でそうした資質をどこで形成すべきかということ考えた場合には、異なった回答を得る可能性がある。

調査では、それぞれの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきかも問うている。

まず、家庭と学校、職場のそれぞれについて、得た結果から、上位 10 位の資質を示したのが表 3-1～表 3-3 である。

表 3-1

家庭で

1	マナーや時間を守るなどの一般常識	84.4
2	道徳心や公共心などの社会性	78.3
3	他者への配慮や思いやり	76.5
4	自分を理解する能力	74.7
5	基礎的体力	73.8

表 3-2

【学校で

1	読解力や計算などの基礎的知識や学力	90.9
2	常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする能力	75.3
3	多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力	72.6
4	論理的にものごとを考える能力	72.6
5	課題を設定し解決する能力	66.5

表 3-3

【職 場 で

1	交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力	73.5
2	情報を収集、選択、活用する能力	72.1
3	多様な役割を知りそれを担う能力	71.1
4	状況の変化に柔軟に対応する能力	68.7
5	社会や職業について学ぶ能力	68.2

表 3-4

地 域 社 会 で

1	多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力	59.2
2	他者への配慮や思いやり	58.5
3	道徳心や公共心などの社会性	56.4
4	マナーや時間を守るなどの一般常識	46.8
5	社会や職業について学ぶ能力	45.6

上記の表を整理したのが、次表 3-5 である。

この表にみるように、家庭では、常識や社会性をまず培うこと、そして他者への思いやりが期待されている。また、学校では、基礎的な知識や学力、そして新しい知識や経験、学力を身につけると同時に、集団教育の場として、コミュニケーション能力の形成も期待されている。そして、地域社会では、同じく、コミュニケーション能力が最も高く期待されると共に、他者への配慮や思いやりと社会性の形成が望まれている。そして、職場での形成が期待されている資質が、自分の意見を的確に伝える能力であり、情報を収集、選択活用する力と、役割や状況に応じた柔軟な対応能力である。

この結果は、サンプル数が 2000 人と少数であるとはいえ、日本の成人がそれぞれの場で形成を期待する一般的なコンピテンシーであるといつてよかろう。

表 3-5

	家庭	学校	地域社会	職場
1	マナーや時間を守るなど一般常識	読解力や計算などの基礎的知識や学力	集団や組織でのコミュニケーション能力	自分の意見を的確に伝える能力
2	道徳心や公共心などの社会性	新しい知識・経験・学力を身につける能力	他者への配慮や思いやり	情報を収集、選択、活用する能力
3	他者への配慮や思いやり	集団や組織でのコミュニケーション能力	道徳心や公共心などの社会性	多様な役割を知りそれを担う能力 状況の変化に柔軟に対応する能力

上記の調査結果をキー・コンピテンシーとしてあげた三つのカテゴリーと比較しながら考えた時、自律する力は、職場でもっとも求められ、相互作用的に道具を使う力は学校や地域で、そして、まず基本的な思慮深さを形成するのは、学校とともに家庭がその役割を負うことが求められるといえよう。また、自分の新しいアイデアを出したり、交渉を行いながら、他者と協力していく異質な集団での交流力は、学校や家庭でその基礎として、共に生きることができるような力をまず形成し、職場でさらに発揮され、形成されることが望ましいのではないだろうか？

こうした資質は、さらにそれぞれの教育の場において、どのような教育的資源を提供していくかという問題とも深く関わっている。たとえば、社会教育実践センターの2005年度の発達資産に係る研究では、それぞれの場でどのような発達資産が提供されるべきかを有識者の意見をもとに提案しているが、こうした資質の形成を資産の形成とともに考えていくことが今後の重要なキャリア教育の課題であろう。

参考文献

- 1) D. S. Rychen L. H. Salganik

『Key Competencies for a Successful Life and a Well-Functioning Society』

2003、Hagrefe & Huber (立田慶裕監訳『キー・コンピテンシー』明石書店、近刊)

- 2) 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

『子どもの成長過程における発達資産についての調査研究報告書』

平成17年度 社会教育事業の開発・展開に関する調査研究事業 平成18年3月

Ⅲ－３ 満足感の背景

国立教育政策研究所生涯学習政策研究部部長

山田兼尚

満足感に関しては、「調査結果の概要」の節で、性別、年齢による差異を簡単に述べてあるが、ここでは、他のいくつかの調査項目との関連について検討し、満足感の背景を検討する。

既に述べてあるように、「1)いまの収入（世帯全体）」、「2)住んでいる住宅」、「3)家庭生活」、「4)住居のまわりの自然環境」、「5)地域の社会施設（学校、図書館、公民館等）」、「6)余暇（レジャー）」、「7)自分のこれまで受けた教育」、「8)健康」、「9)暮らし向き」、「10)現在の社会情勢」、「11)人間関係や人づきあい」、「12)生活全体」の12項目について、「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」の4選択肢で回答を求めて、満足感を捉えている(Q10)。

1. 年齢／性別について

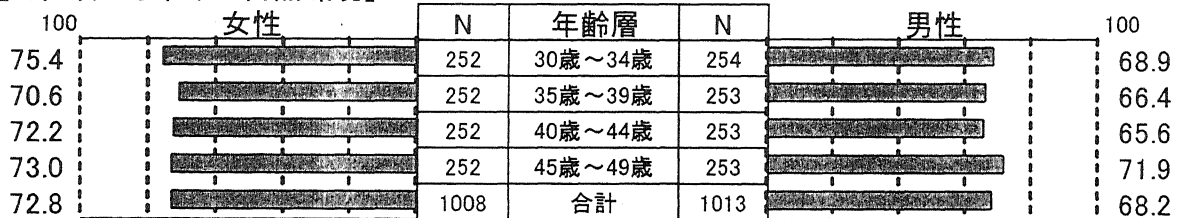
「調査結果の概要」での記述と若干、重なる部分もあるが、改めて、年齢／性別の差異について述べる。図1に、年齢と性別のクロス集計の結果を示した（各項目の「満足」と「やや満足」合計の比率を示し、項目は男性、女性合計のこの比率が高い順に並べてある）。

図1 満足感の年齢と性別のクロス集計（「満足／やや満足」の割合）

【3)家庭生活】



【4)住居のまわりの自然環境】



【12)生活全体】

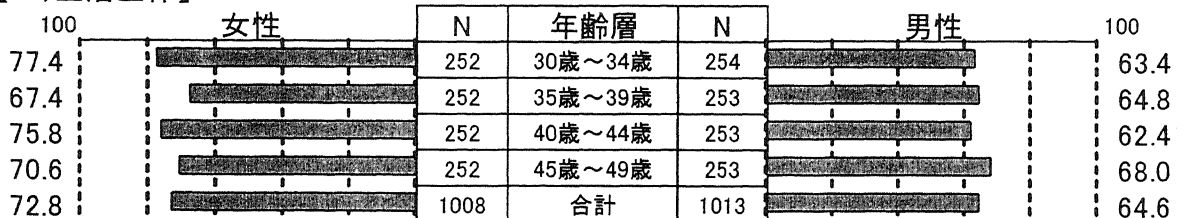


図1 満足感の年齢と性別のクロス集計（「満足／やや満足」の割合）－続き－

【9】暮らし向き



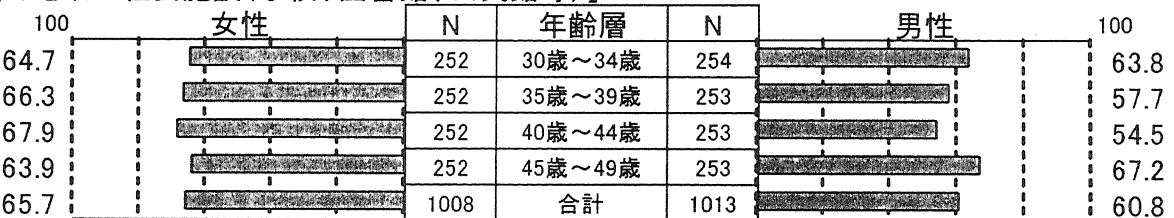
【7】自分のこれまで受けた教育



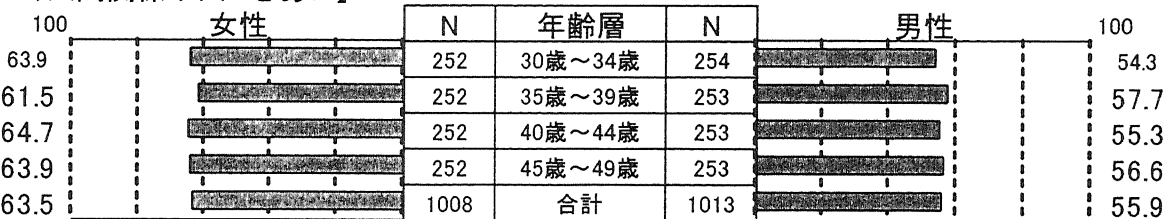
【8】健康



【5】地域の社会施設(学校、図書館、公民館等)



【11】人間関係や人づきあい



【6】余暇(レジャー)



図1 満足感の年齢と性別のクロス集計（「満足／やや満足」の割合）－続き－

【2)住んでいる住宅】

	女性	N	年齢層	N	男性	
53.9		252	30歳～34歳	254		53.9
54.0		252	35歳～39歳	253		51.8
57.6		252	40歳～44歳	253		56.1
54.0		252	45歳～49歳	253		57.0
54.9		1008	合計	1013		54.7

【1)いまの収入(世帯全体)】

	女性	N	年齢層	N	男性	
41.6		252	30歳～34歳	254		33.1
39.2		252	35歳～39歳	253		36.3
47.6		252	40歳～44歳	253		32.4
41.2		252	45歳～49歳	253		39.9
42.4		1008	合計	1013		35.4

【10)現在の社会情勢】

	女性	N	年齢層	N	男性	
19.1		252	30歳～34歳	254		21.6
15.9		252	35歳～39歳	253		22.2
18.3		252	40歳～44歳	253		17.0
15.1		252	45歳～49歳	253		21.7
17.1		1008	合計	1013		20.7

「満足／やや満足」の回答率は、ほとんどの項目が53～75%の範囲（「合計」の欄）にある中で、「10)現在の社会情勢」、「1)いまの収入（世帯全体）」については、この割合が50%以下であることが注目される。

①年齢について

年齢を「30歳～34歳」、「35歳～39歳」、「40歳～44歳」、「45歳～49歳」の4区分とし、年齢区分による、それぞれの項目の4選択肢の各回答率の偏りを、 χ^2 検定により男性、女性別に検討した。

結果は、男性では統計的に有意差の認められた項目は一つもなかったが（df=9, $p>0.05$ ）、女性では、「3)家庭生活」、「9)暮らし向き」の2項目においてのみ有意差が認められた（df=9, $p<0.01$ ）。概して、年齢による満足感の差異は少ないと推察されようか。

「3)家庭生活」では、「30歳～34歳」、「45歳～49歳」の「満足／やや満足」の回答率が他の二つ年齢区分より、10ポイント程度高い傾向にある。「9)暮らし向き」では、「30歳～34歳」が他の三つの年齢区分より、この割合がやや高い傾向にある。

②性別について

性別による、それぞれの項目の4選択肢の各回答率の偏りを、 χ^2 検定により検討した。

結果は、「2)住んでいる住宅」、「10)現在の社会情勢」の2項目を除いた10項目において

性別による差異が認められ ($df=3, p<0.05$)、これらの項目においては、いずれも女性の方が満足（「満足」／「やや満足」）している傾向にある。

性別による差異の大きい項目は、「12)生活全体」、「9)暮らし向き」、「11)人間関係や人づきあい」で、これらの項目では、「満足／やや満足」の回答率で8ポイントの差がみられる。唯一、「10)現在の社会情勢」については、男性の方がこの回答率が4ポイント程度高いが、 χ^2 検定結果では、上述したように偏りは、認められなかった。

概して、満足感は、年齢による差異は少なく、性別による差異があり、女性の方が、男性より満足（「満足」／「やや満足」）している傾向にある。

2. 現在の状況との関連

ここでは、調査対象者の現在の状況や就いている職業（仕事）からみた満足感との関連について検討する。

①常勤者の性別について

質問紙のQ3で、現在の状況を捉えるために、「1. 常勤として働いている」、「2. パートタイマーとして働いている」、「3. 非常勤・アルバイトとして働いている」、「4. 専業主婦・主夫」、「5. その他（ ）」の5選択肢で回答を求めており、この中で「1. 常勤として働いている」と回答した調査対象者について、性別による差を χ^2 検定より検討した。 χ^2 検定の結果、満足感を捉える12項目の4選択肢の各回答率に、性別による偏りの認められた ($df=3, p<0.05$) 5項目について、その回答分布を図2に示した。

前節で、性別による差が10項目においてみられたことは述べたが、「常勤として働いている」対象者の性別による差は、その半数の5項目においてみられている。

これら5項目の「満足」／「やや満足」の合計の回答率は、55～65%（男性、女性の合計の値）の範囲にある。

いずれの項目においても、女性の方が男性よりも相対的にみて、満足（「満足」／「やや満足」）している傾向にある。この回答率の差が大きいのは、「8)健康」と「9)暮らし向き」が、共に11ポイント程度、また、「11)人間関係や人づきあい」では、8ポイント女性の方が高い。このことは、常勤で働いていることで、男性が、女性ほどには、「8)健康」、「9)暮らし向き」、「11)人間関係や人づきあい」において、満足していないということになるだろう。

②女性の現在の状況について

女性の現在の状況を捉える、「1. 常勤として働いている」、「2. パートタイマーとして働いている」、「3. 非常勤・アルバイトとして働いている」、「4. 専業主婦・主夫」、「5. その他（ ）」の5選択肢について、含まれる対象者数を勘案して、前記「2」と「3」を一括して「パートタイマー／アルバイト」として、「常勤」、「専業主婦」の3分類を女性の現在の状況とした。そして、これら3分類の満足感を捉える12項目での各選択肢の回答率の偏りを χ^2 検定により検討した。

その結果、図3に示した5項目において、3分類間で回答率の偏りが認められた ($df=6, p<0.05$)。

これら5項目の「満足」／「やや満足」の合計の回答率は17～76%（3分類の合計の値）の

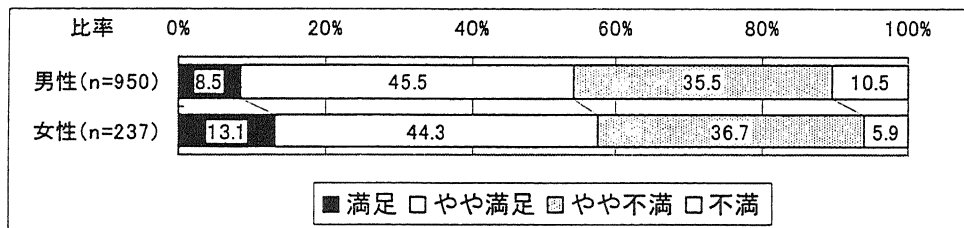
範囲にある。特にこの回答率が高いのは、「3)家庭生活」(76%)、低いのは「10)現在の社会情勢」(17%)である。

この回答率は、「1)いまの収入(世帯全体)」、「9)暮らし向き」、「12)生活全体」の3項目において、概して「パートタイマー/アルバイト」が他の2分類より、やや低い傾向にある。「1)いまの収入(世帯全体)」での3分類間のこの回答率の差の大きいことから、このことが、他の二つの項目に影響を与えているのではないかと推察される。

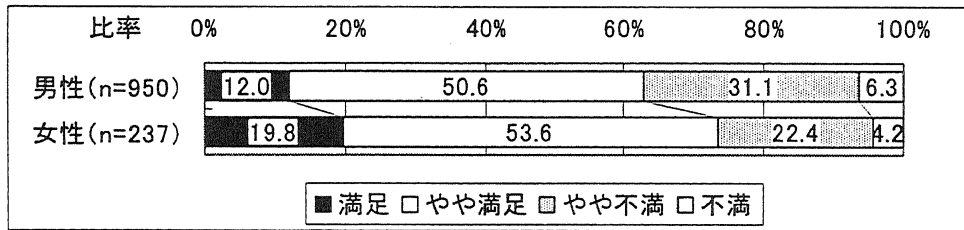
「3)家庭生活」は、「専業主婦」が他の2分類より、この回答率が10ポイント程度高くなっている。仕事に出ていることが、このような結果に現れているのかもしれない。

図2 常勤者の性別による比較

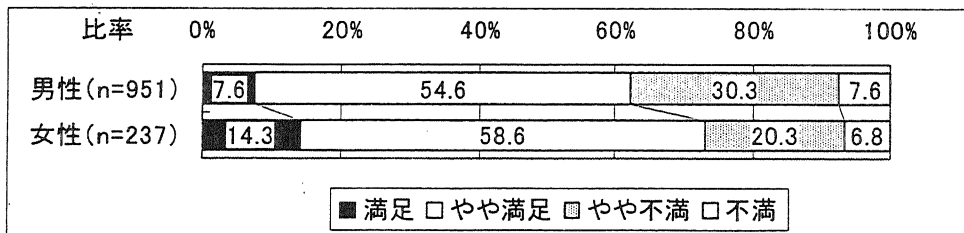
【6)余暇(レジャー)】



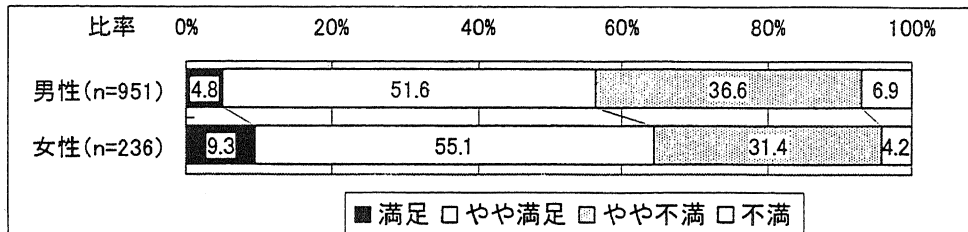
【8)健康】



【9)暮らし向き】



【11)人間関係や人づきあい】



【12)生活全体】

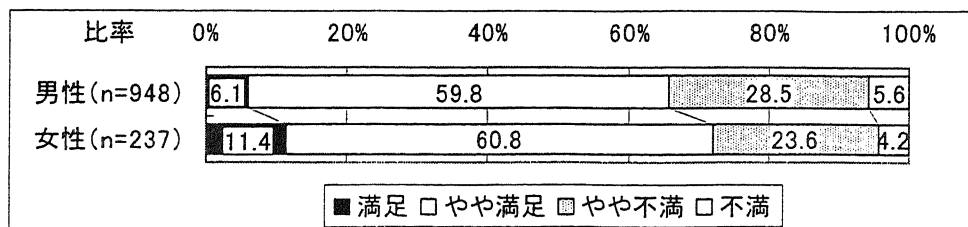
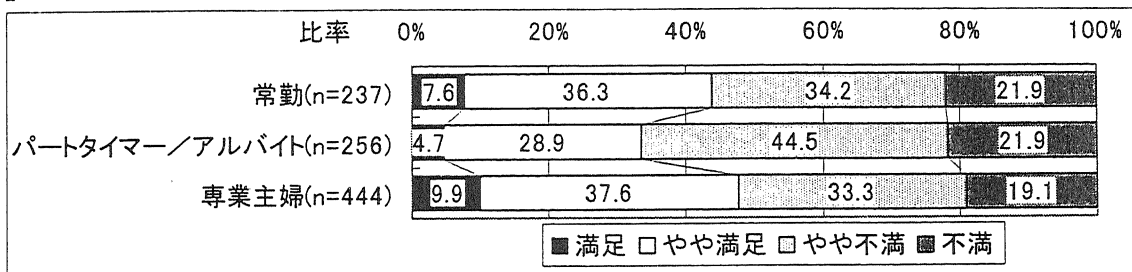
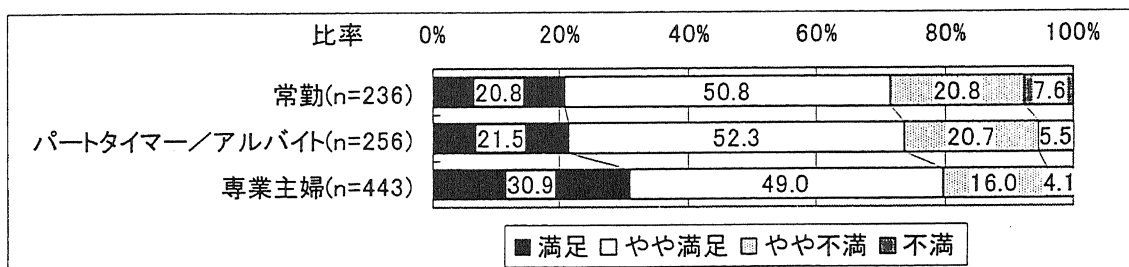


図3 女性の現在の状況による比較

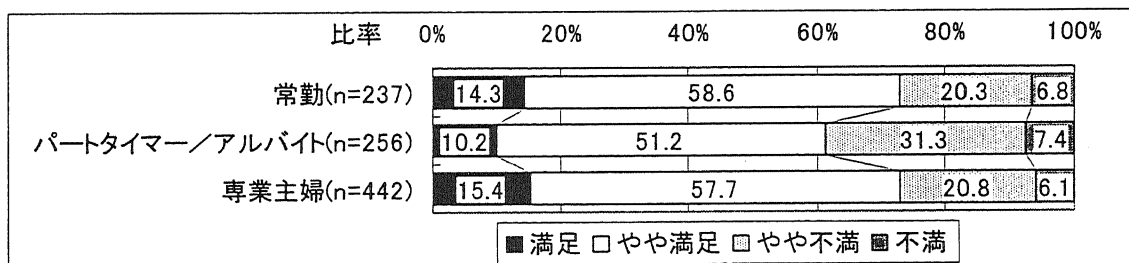
【1】いまの収入(世帯全体)



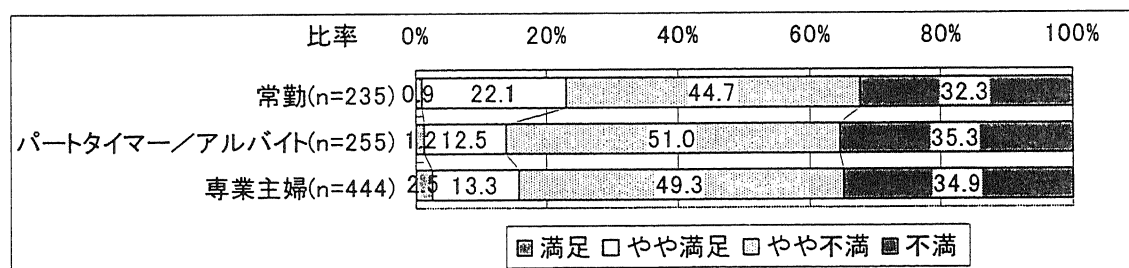
【3】家庭生活



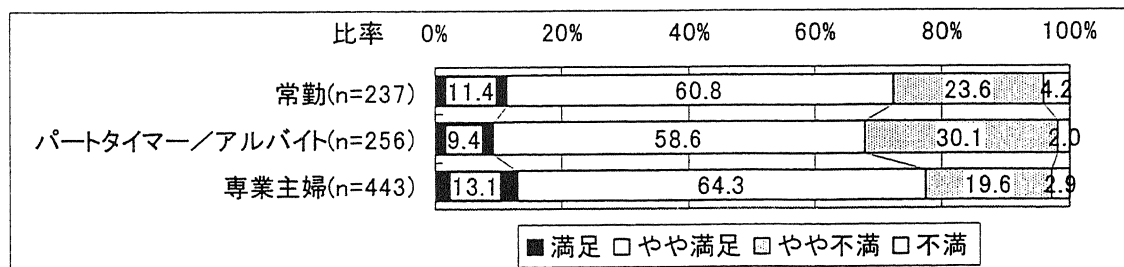
【9】暮らし向き



【10】現在の社会情勢



【12】生活全体



「10)現在の社会情勢」については、12項目の中でも「満足」／「やや満足」の回答率が最も低い、「常勤」が他の2分類より7～9ポイント高いが、社会に積極的に参加していることが反映されているのだろうか。

③男性の職業（仕事）について

男性のほとんどは「常勤として働いている」ため、どんな職業（仕事）についているかをQ3-1で尋ねているので、職業の分類による満足感についての差を検討する。職業の分類は、そこに含まれる対象者数を勘案して、「専門的・技術的職業」、「管理的職業」、「事務的職業」、「販売の職業」、「技能工等および労務の職業」の5分類を用いた。そして、これら6分類の満足感を捉える12項目での各選択肢の回答率の偏りを χ^2 検定により検討した。

その結果、図4に示した5項目において、5分類間で回答率の偏りが認められた（df=12、 $p<0.05$ ）。これら5項目の「満足」／「やや満足」の合計の回答率は39～64%（6分類の合計の値）の範囲にあり、この回答率に注目していく。

「1)いまの収入（世帯全体）」は、「管理的職業」が53%で最も高く、「販売の職業」が20%で最も低く、33ポイント程度の差がみられている。この回答率が50%を超えているのは、「管理的職業」だけである。

「9)暮らし向き」については、やはり「管理的職業」のこの回答率が76%で最も高く、「販売の職業」、「技能工等および労務の職業」がほぼ50%で低くなっており、他の二つの職業分類（「専門的・技術的職業」と「事務的職業」）がその中間となっている。

「11)人間関係や人づきあい」についても、「管理的職業」のこの回答率が70%で最も高く、他の4分類のこの回答率は50%台で、「技能工等および労務の職業」が最も低く51%である。

「7)自分のこれまで受けた教育」については、「専門的・技術的職業」、「管理的職業」、「事務的職業」、「販売の職業」の4分類におけるこの回答率は、ほぼ同程度で66～68%の範囲であるが、「技能工等および労務の職業」が52%で15ポイント程度低くなっている。

「8)健康」については、「専門的・技術的職業」、「管理的職業」、「事務的職業」の3分類のこの回答率は、ほぼ同程度で約65%であるが、「販売の職業」、「技能工等および労務の職業」は60%である。

男性の職業（仕事）による満足感は、概して、「管理的職業」が高く、「技能工等および労務の職業」が、やや低い傾向にあると言えよう。

図4 男性の職業（仕事）による比較

【1)いまの収入(世帯全体)】

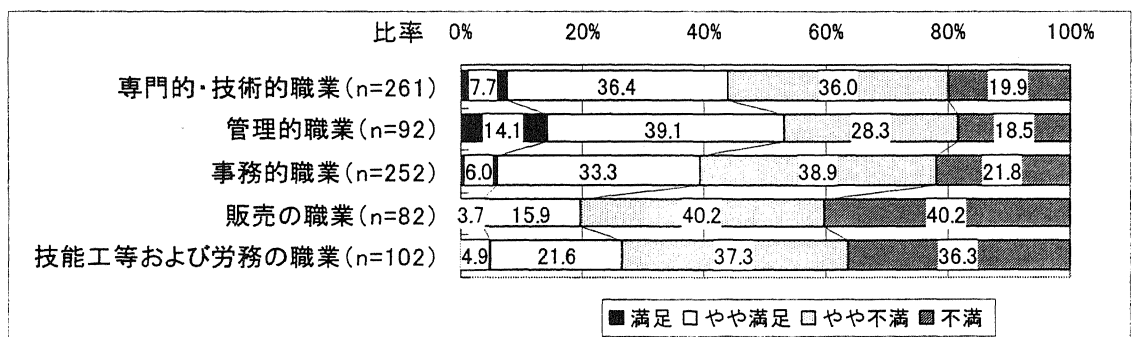
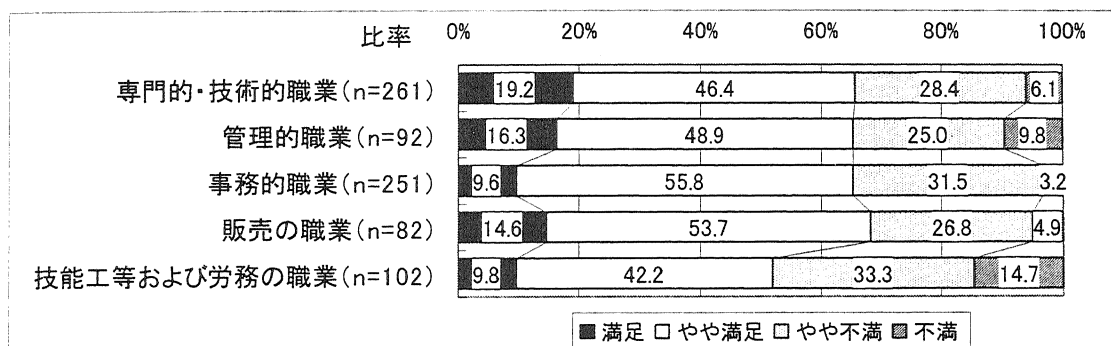
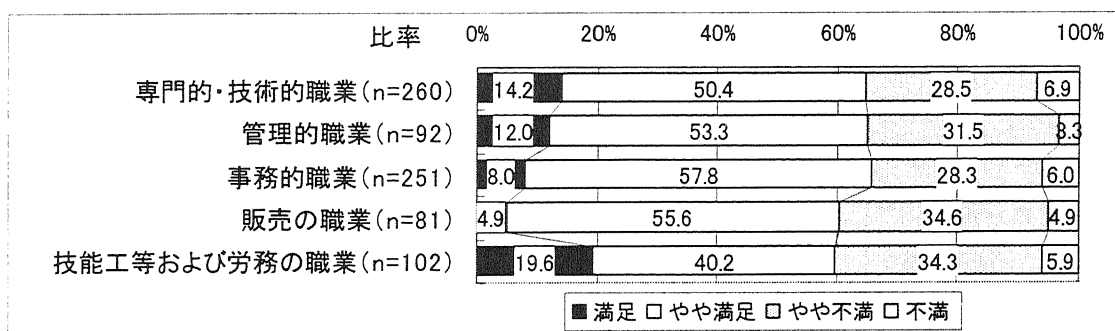


図4 男性の職業（仕事）による比較—続き—

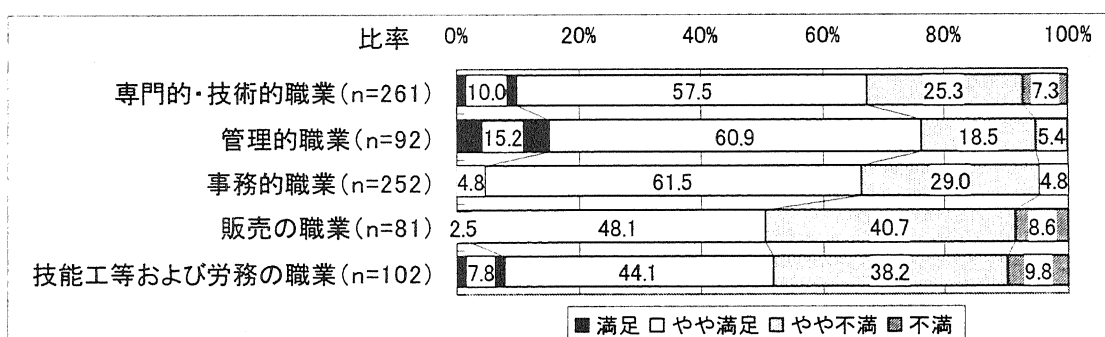
【7)自分のこれまで受けた教育】



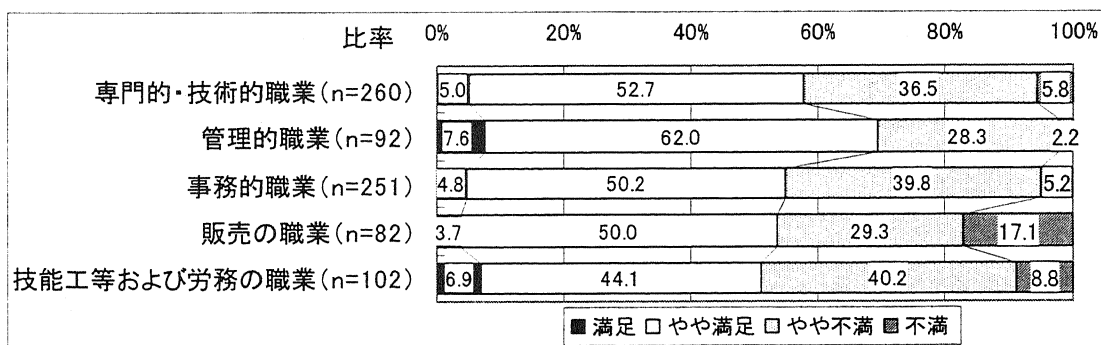
【8)健康】



【9)暮らし向き】



【11)人間関係や人づきあい】

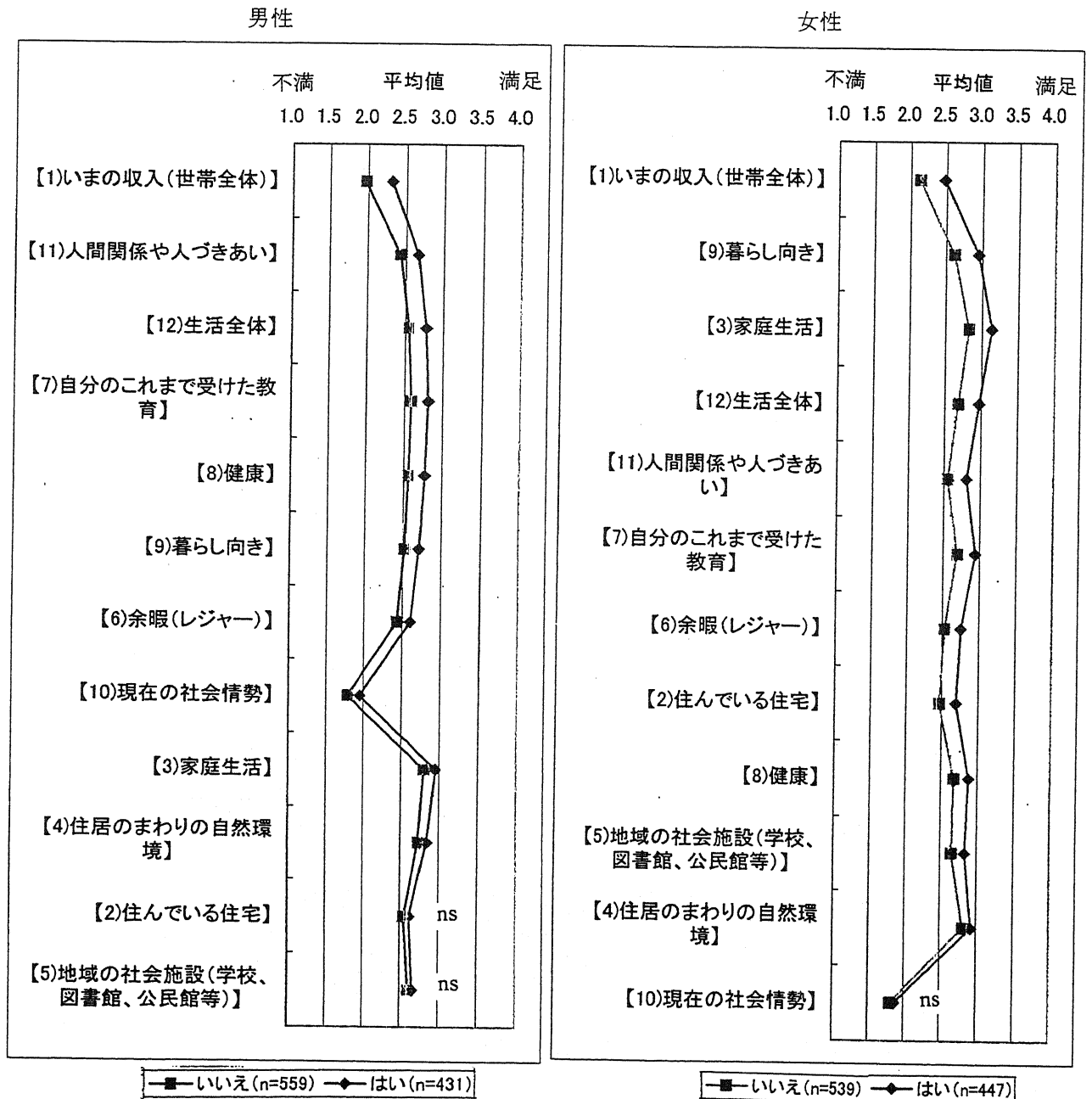


3. 就きたい「理想の仕事」との関連

質問紙Q4の「あなたの現在の仕事（パートタイム、アルバイト、専業主婦・主夫を含む。）は、あなたが本当に就きたい理想の仕事でしたか」の問いで「はい」、「いいえ」の2選択肢で回答を求めた。この2群（「はい」群、「いいえ」群）の満足感との関連を検討するために、「満足」に「4」、「やや満足」に「3」、「やや不満」に「2」、「不満」に「1」の数値を与え、2群間の平均値を算出し、その差についてt検定を行った（分析にあたり、質問紙での選択肢の数値を反転させている。従って数値の大きい方が、「満足」している方向である。）。

図5に、満足感の12項目の2群の平均値を男性、女性別に示した（項目は、平均値の差の大きさ順に並べ替えてある）。t検定の結果、2群間の平均値に有意差が認められな

図5 就きたい「理想の仕事」か、否かでの比較



かった項目には「ns」と示してあり、殆どの項目で2群間に有意差が認められ（男性：df=988、 $p<0.05$ 女性：df=984、 $p<0.05$ ）、いずれも「はい」群の方が「満足」している傾向にある。

2群間で平均値の差が最も大きいのは、男性、女性共に、「1)いまの収入（世帯全体）」である。しかし、平均値の差の大きい、以下4位までの項目は、性別によってやや異なる。女性では、「9)暮らし向き」が2位、「3)家庭生活」が3位に含まれていることから、「理想の仕事」に就いたことで、女性では、家庭に関連した満足感が得られている傾向がうかがえる。一方、男性では、「11)人間関係や人づきあい」が2位に、「7)自分のこれまで受けた教育」が4位に含まれていることから、職場に関連した満足感が得られている傾向がうかがえる。

男性では「10)現在の社会情勢」、女性では「2)住んでいる住宅」、「5)地域の社会施設（学校、図書館、公民館等）」で2群間に平均値の差は認められなかった。

4. 転職希望との関連

質問紙Q5で、「あなたは、現在の仕事をもし変えることができるとしたらどうしますか」の問いで、「1. すぐに変える」「2. しばらく考えてから変える」「3. 変えない」「4. わからない」の4選択肢で転職希望についての回答を求めた。選択肢「1」と「2」を一括して「転職する」、「3」を「転職しない」として2群を設定し、前節と同様の方法で各群の満足感の平均値を算出し、2群間の平均値の差をt検定により検討した。

図6に、満足感の12項目の2群の平均値を男性、女性別に示した（項目は、平均値の差の大きさ順に並べ替えてある）。t検定の結果、2群間の平均値に有意差が認められなかった項目には「ns」と示してある。殆どの項目において2群間に有意差が認められ（男性：df=787、 $p<0.05$ 女性：df=694、 $p<0.05$ ）、いずれも「転職しない」群の方が「満足」している傾向にある。

2群間で平均値の差が最も大きいのは、前節と同様、男性、女性共に、「1)いまの収入（世帯全体）」である。前節と同様、平均値の差の大きい、以下4位までの項目は、性別によってやや異なる。

「12)生活全体」は、男性では2位、女性では3位でほぼ同様であるが、「6)余暇（レジャー）」は、男性では3位、女性では8位、「3)家庭生活」は、女性では2位、男性では6位である。また、「7)自分のこれまで受けた教育」は、女性では4位、男性では、7位である。

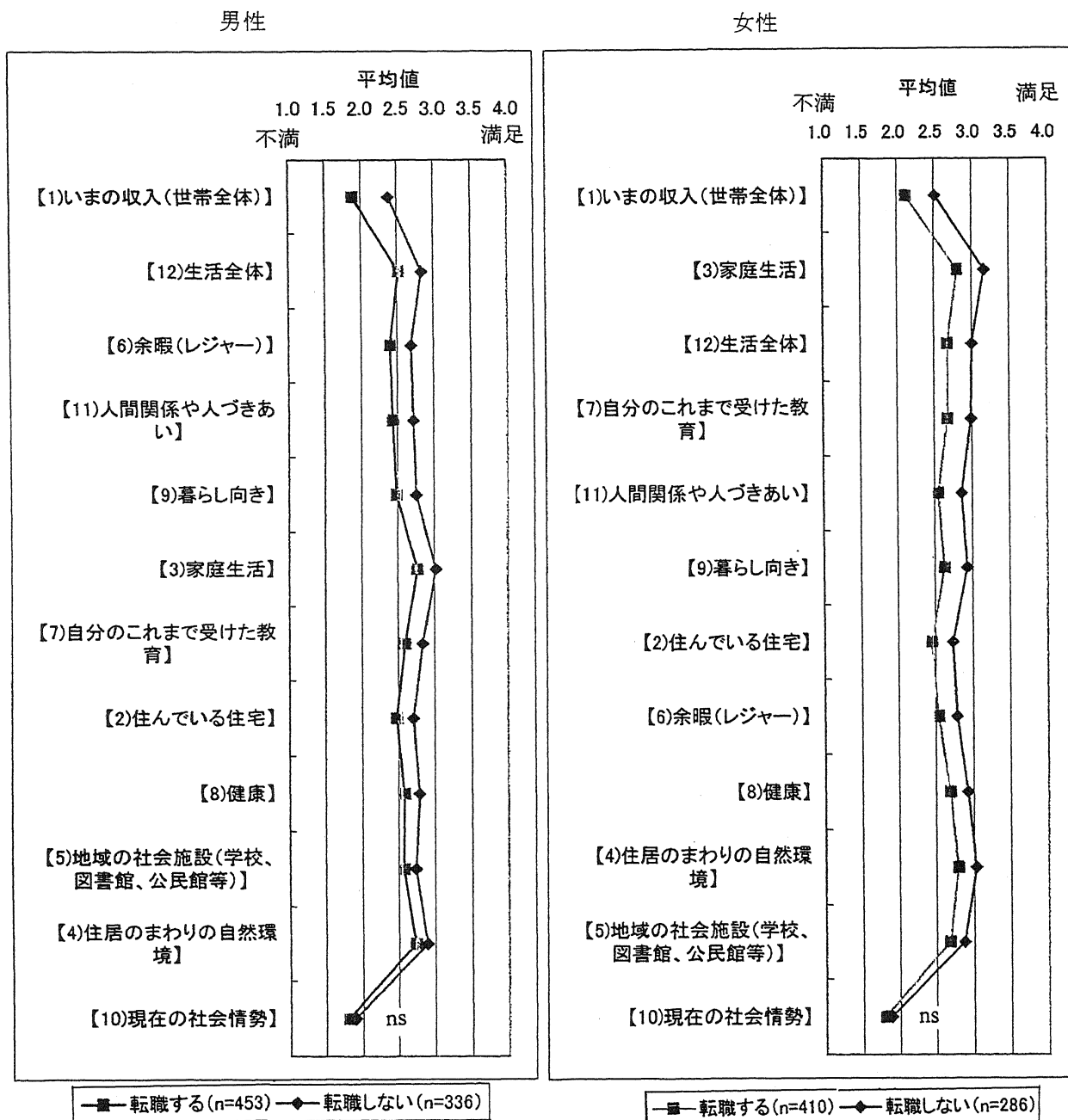
「10)現在の社会情勢」は、2群間の平均値に有意な差は認められていない。

5. 要約

満足感の分析結果を要約すると以下のようになる。

- ①男性より、女性の方が満足感が高い傾向にある。
- ②男性、女性共に、年齢による満足感の差異は概して少ない。
- ③「常勤」で働いている男性と女性では、相対的にみて女性の方が満足感が高い傾向にある。
両者の差が大きい項目は、「8)健康」、「9)暮らし向き」、「11)人間関係や人づきあい」である。
- ④女性の現在の状況の3分類—「常勤」、「パートタイマー／アルバイト」、「専業主婦」—においては、「1)いまの収入（世帯全体）」、「9)暮らし向き」、「12)生活全体」の3項目で、概して「パートタイマー／アルバイト」が他の2分類より、やや満足感が低い傾

図6 転職希望による比較



向にある。また、「3」家庭生活」は、「専業主婦」が他の2分類より、満足感が高い傾向にある。

(5) 男性の職業(仕事)を「専門的・技術的職業」、「管理的職業」、「事務的職業」、「販売の職業」、「技能工等および労務の職業」の5分類にした比較では、概して、「管理的職業」が満足感が高く、「技能工等および労務の職業」が、それが、やや低い傾向にあると言えよう。

(6) 「理想の仕事」に就いていること、「転職希望」のないことは、男性、女性共に満足感が高い傾向にある。特に、「1」いまの収入(世帯全体)」での差が大きい。

Ⅲ. インタビュー調査分析結果

Ⅲ－1 高齢者のライフ・ヒストリーからみる仕事 ：働く動機としての生活危機と生きがい

近畿大学九州短期大学講師・品川介護福祉専門学校講師

別府明子

1. 社会的な危機：社会的背景

今回、インタビューした女性の年齢は61歳から85歳であった。日本の情勢が大きく変化した第二次世界大戦の終わる昭和20年に、この人たちは1歳半から27歳までと年齢の差は大きく、さまざまな発達段階において戦中・戦後を体験している。ある人は親に全く依存している乳幼児として、またある人は乳幼児の母親として戦争を体験していることになる。人は、自分の生きる時代を選ぶわけにはいかず、住む場所においても制約がある。そして、好むと好まざるに関わらず、自分の生まれた文化に影響されながら生きるわけである。半世紀以上も前の日本では、現在に比べ、生活はより環境に支配されていたと思われる。いつの時代でも多かれ少なかれ、社会の情勢に合わせなければ生きていられない部分があるので、インタビューに答えてくださった全ての人が戦争の影響を受けずに暮らすことはできなかったと思われる。それでは、戦争は彼女たちの生き方にどのように影響を与えたのだろうか。

(1) 女性の社会進出に対する戦争の影響

当時、青年期を迎えたばかりの女学生たちは、学校に行く代わりに工場で部品をつくったり、早めに卒業して代用教員となり、小さい子どもに勉強を教えたりしていたという。働き盛りの男性が戦地に行っていないのだから、彼女たちは勉強どころではなく、働かざるを得なかったのである。戦争がなければ専業主婦になっていただろうと思われる若い女性たちが職業に就いている。これは、戦争という非常事態が生み出した雇用である。戦争で家を失い父親も失った人は、「とにかく、ひもじいほど辛いことはない。生きるために働くしかなかった。」と語っている。また、小学校の臨時教員になった人は、「とにかく、空襲になると、生徒を無事に家に送り届けなければならないと思い命がけで働いていた。」と昨日のように語るその表情は責任感と正義感に溢れる青年のようであった。それぞれの状況は違ってもこのように働くことに命がかかっていた時代。女性も働かざるをえない時代背景があった。

今回のインタビューを通じて、彼女たちがこの戦時下という非常事態の中で職業につくという体験、および、貧困状態の社会で青年期、成人前期をすごした体験が高齢期の生きかたにも大きく影響しているように思った。

(2) 思想の激動

終戦による価値観の激動は特に教員をしていた人には大きなショックを与えたようである。ある女性は「価値観の激変に教育に携わる自信を失ってしまった。」そのため、退職を決意されたという。また、ある人は、戦後の革新的思想に惹かれ組合活動に熱中した結果、逮捕されるという事態になってしまった。しかし、3ヶ月の刑も子どもが小さかったせいか2ヶ月で出所でき

たと懐かしそうに話す。当時、一緒に活動していた男性と結婚するが、社会情勢や「夫が苦勞知らずのぼんぼん」のため経済的に恵まれなかったという。その女性が「私は今まで、一度も選挙を棄権したことはありません。」と語る様子には、80歳間近の高齢者とは思えない若々しさと芯の強さがにじみでていた。また、高齢期の現在まで地域福祉活動に力を入れている人は「戦争中は自分の頭で考えてこなかった。これからは自分で考えなければいけない。女性も母親や、妻、嫁などという役割だけで生きてはだめで、社会の一員としての自分、個をもつことが大切だ。」と認識を新たにされたという。それから、結婚し商社を退職した後は子育て中のPTA活動を皮切りに消費者運動、地域福祉活動などの中心となり、70歳後半の現在も意欲的に活動を続けている。あまりの忙しさに夫が活動に協力的でない時期もあったという。しかし、それにめげずに続けてこられたのは、住民の力で社会をよくしていくとのゆるぎない信念と、活動そのものがその人しく生きることに繋がっていったからだと思われる。また、別の人は「自分はいつも弱い人の側に立ちたい。」と穏やかなまなざしで語っている。そのように自分の拠って立つところをはっきりさせて仕事なりボランティアをすることが活動の質を高くしているのではないだろうか。また、未来に良い環境を残したいとの考えから、現役で働いていた頃のネットワークをフル活用し、環境問題に取り組んでいる人や、日本の芸術文化のために、子どもたちのためにとさまざまな自主活動を展開されている人など、数え上げればきりが無い。この年齢の人々の活動は確固たる信念に基づいて行われていることが理解できる。単なる、名誉心や権威を誇示するなどとは異なった行為である。真剣に、社会の未来、子どもたちの未来を思いやっているのである。このように人を利他の行動に導く核になるような考え方はいつ芽生えるのであろうか。今回、高齢者のインタビューをして、人の思想や行動は確かに変わる、しかし、その核になるものはかなり早い時期から埋め込まれているのかもしれないと感じた。

(3) 外地で育った影響

最近では、帰国子女という言葉も古くなってきたようであるが、そう呼ばれた人たちの活躍をよく目にするこの頃である。60年以上も昔、外国で教育を受けた人は、戦前の日本が盛んに海外に進出したことと戦争の影響が多い。高齢者の話の中に「わたくしは大陸育ちだから…」と言う言葉がときどき聴かれる。それは日本人でありながら、育った土地の文化や自然環境が違うので、内地で育った人とは何か違っていると言う事らしい。今回のインタビューでも子ども時代、大連で育った人が「当時、日本人が生活していた地域は本国以上に自由で文化的な雰囲気になっていた。その上、自然が雄大で、環境がすばらしかった。環境が人を変えるというのはほんとうだ」と語っている。その生育環境を想像するに、日本人が進出していった地域は経済的、文化的にかなり豊かな状況があり、さらに、その人の場合は家庭で、父親から、「教育も仕事も日本だけが全てではない。自分を生かせる所に出ていけばよい」と言う当時としては先進的なアドバイスを受け、のびのび育てられたと思われる。男子以上に自由な現在の女子教育の状況に似ていないだろうか。このように、豊かで自由な環境はその女性の教育水準や職業選択、また、その後のキャリア発達に強い影響を与えた。この人はある大学が共学に変わった最初の女子学生となり、卒業後は男性と同じようにキャリアを積み、会社で最高のポストを獲得する。この人は、仕事をすすんで、「異文化に触れることと情報収集」の重要性を語っている。家庭でも子どもや孫に対し

て海外の文化に直接に触れながら学習する事を奨励されているようであった。子ども時代を海外で過ごし、さらに会社で高いポストを得てから留学するというめずらしい体験がキャリア形成に影響していると語っている。子ども時代に異文化に触れることのポジティブな影響としては、「職業選択やキャリアの発展に幅がでるうえ生き方にも柔軟性を与える。」と強調していた。また、留学された別の人は「少々無理をしてでも行く価値があると思う。」と語っていた。このような経験から出た意見には説得力があり、適切な時期に異文化に触れることは重要だと納得させられる。そして、異文化とは海外に行くことだけではなく、引越しという経験も似た影響を持っているようであった。環境が人に与える影響の大きさはワトソンらアメリカの行動学派が強調するところである。

2. 個人的な危機

(1) 働かざるをえない状況をきっかけとした仕事の継続

インタビューした高齢女性が働き始めた理由として、経済的理由をあげた人が多かった。それは生育家庭における父親の病気や死亡、現家族における夫の病や事業の失敗など家族において男性の役割遂行が難しい状況になった場合に、彼女たちが役割の補助・代行をしてきた。しかし、その役割が終わってから、高齢期の現在までいきいきと働き続けている理由はどこにあるのだろうか。

ほとんどの人は現在の自分の活動や生活や活動状況に満足されていた。しかし、ここに至るまでには多くの危機に遭遇している。重い病気で何回も手術された人や夫や子どもを亡くしてしまった人、配偶者や義理の両親との葛藤が強かった人、信頼していた人の裏切り行為に傷ついた人、周囲の嫉妬から地位を失ってしまった人、会社の規則でいつになっても昇進できなかった人など、個人の危機はさまざまであった。そういった辛い体験に負けず、いや、むしろそれをばねにキャリアを發展させてきたかのように、これ息に至るまで澁刺と活動を続けている要因はなにか。インタビューの中で、ある人は夫を失い生きる意欲が無くなってしまったとき、孫などの家族とのふれあいと仕事があったから立ち直れたと語っている。また別の人も子どもを失った後、失意から抜け出せたのは仕事があり、職場の人のふれあいがあったからと言われる。一般的には再び立ち上がるのが難しいほどの危機に陥った場合、それを理由に仕事も辞めてしまおうに考える。確かにそうになってしまう人もいるだろうが、今回、活躍されている高齢の人に限っては、むしろ個人の危機を救ってくれたのは仕事であり学習の機会であったとの印象を受けた。仕事は日々、小さな危機を生むこともあるが、大きな危機を救ってくれることもある。

(2) 生育家庭の経済力低下

父親が若くして亡くなっても、母親はなす術を持たず、長女が教職に就いて、一家の経済を支えることになった人や、父親が病に倒れ、収入が断たれてしまったので、自分が変わりに父親の働いていた会社に就職した人。また、父親の死後、働きながら学校に通い、奨学金の一部を母親に仕送りし妹の学費を援助した人など。その時代には、中年女性である母親の就職先が少なかったことは想像に難くない。そのため、父親の代わりに子どもが就職し家計を支えるケースが多くみられた。当時は、経済の担い手が男性中心であったため、夫に先だたれた妻は即、経済力を失

うことになった。しかし、そういった時代に、娘が父親の代わりに働いて家族を養ってきたという事実は驚きであった。社会保障のなかった時代には、長男、長女は親に何かあった場合に、即座に代理を務めざるを得なかったのだろう。高齢者の話に、「兄弟を進学させるために自分は進学をあきらめて就職したとか、母親代わりに兄弟の世話をしている結婚しなかった。」といった話をときどき聞く。確かに、社会的援助がなければ、家族で助け合うより他に道はない。いざとなれば、女の子でも家計を支えるという立場を引き受けていたのである。そのことに対して暗さや悲壮感が感じられないのは、働くということが人にとって、ごく、自然であり有能感や自己効力感が強化され社会人としての自信を築き上げていくことができたからではないか。現在では、自分が家族を養っていくという意気込みの女性がいたとしたら、それは、娘ではなく母親であろう。経済的には子どもが親役割を代行しなくてもよい時代になったといえる。

(3) 現家族の経済力低下

結婚で仕事を中断した人が、再び働き始めた理由は、夫の経済力だけでは子どもに高等教育を受けさせられないという状況、また、夫が政治活動に力を注いで仕事はかばかしくなかったケースや夫が結核になってしまい、回復のめどが立たず生活費に夫の治療費、考えるだけで気の遠くなるような状況などがあった。彼女は教員免許と結婚前に働いていた経験をいかして、高校の専任教員になった。就職が決まった時は心底ほっとしたと語っている。また、夫が戦争で2年間の捕虜生活を経験するという非常事態に陥る。その後、

無事、引き上げてきたものの仕事は順調にいかず、アルコールに溺れる生活となってしまう。子どもの教育には力を入れようと考えていたが、夫の収入だけでは大学へ進学させることは無理なので教育費と生活費を捻出するために働く必要があったのだという。「勤めに出て家を空けるのは子どものために良くないと思い、実家の父親に援助してもらい家で出来る文房具店をすることになった。その収入でどの子も大学に出すことができた。」と話される。この女性たちにとって、仕事に就いて収入を得ることは切実な願いであった。そして、家庭の非常事態を乗り切るために仕事を始めている。当初、彼女たちは自分自身の能力を磨くとか生きがいを求めるということはあまり考えていなかったようである。とりあえず夫の役割の補助というかたちで働き始めている場合が多い。感心するのは全員が途中であきらめることをせず優秀な代役として、ピンチを乗り切り目的を達成していることである。

3. 生活の危機を乗り越えて働き続けた要因

(1) 手段から生きがいへ

父親や夫の代役としての任務を終えた後も、彼女たちは仕事を辞めてはいないのである。働かざるをえなくて働いている間に、しだいに自分自身の生きがいや楽しみが変わっていったということであった。

それでは、必要に迫られて働く状況から、生きがいへと転換している理由には何があるのだろうか。一言で言うならば「自分の状況を自分で変えることができる。」ということに尽きるように思う。つまり、環境を自ら変える力があるという自己効力感の高まりが考えられる。

具体的には以下のようなことをあげた人が多かった。

- ①自分自身が収入を得ることで経済的安定、精神的安定が得られる。
- ②経済力というパワーを持つことで自立した存在になる。
- ③社会的に自信が出てくる。
- ④仕事の内容に興味が出てくる。
- ⑤人間関係が広がる。

高齢になるとさすがに最前線で仕事をしている人は減ってくるが、体力や家庭の事情に合わせたかたちで活動を続けている。自分のしたいことや出ることが社会で認められると言うことは年齢に関係なく幸せなことである。経済的には働く必要のなくなった高齢者が働き続ける一番の理由は、「自分が自分らしくあるため」のようである。なぜ、働くことが楽しく自己実現的になっていたのか性格や環境を含め以下で探してみる。

(2) 親の養育態度

半世紀以上前、家庭の危機を乗り切るために若い女性が職に就き、家計を支えてきたケースを多く見てきた。経済的危機をどう受け止め克服するかということは、社会全体の風潮や各家庭の文化、価値観などが関係すると思われる。

最近、サラ金で借金を重ねる人、賭け事に走る大人、援助交際で小遣いをかせぐ小中学生、ホストクラブに行く費用を売買春で稼ぐ主婦、キャバクラ嬢になる大学生等々安易にお金を入手する話題には事欠かない。昔も似たような方法でお金を手に入れることはできたはずである。しかし、インタビューに応じてくださった人はみな安易な手段に走らず、危機を乗り切る方法として仕事を選択された。生きるためにまじめに働く姿勢というのはどのようにして育っていくのだろうか。子どもはいつ頃、どこで、誰から学ぶのだろうか。今回、親の養育態度について尋ねると、「子ども時代は、女だからという差別はとくになく、自由にやりたいことをさせてくれた」という答えが一番多かった。さらに、どの家庭も教育熱心で、本人の望む限り上級学校へ進ませてくれたという。ある人の場合、親戚から「家計に余裕もないのに女の子を大学へ出すなんて馬鹿だ。」と言われたが、親はそんなことは全く気にも止めなかったという。大学に行かせてもらったおかげで父親亡き後は母親を養い、結婚後、夫の長期療養生活で経済的危機に直面したさいにも家族を養うことができた。裕福でもなかったのに、最高学府まで進ませてくれた両親に感謝していると語っている。また、母親が子どもの学資のために仕事を再開していた家庭も複数見られた。裕福な家庭もそうでない家庭も、子どもの「教育」には特別に力を入れていたのが分る。当時の社会における男女差別に比べると、彼女たちの家庭では進学をはじめとして生活全般に男女の差別は少ない。親の養育態度としては、夫々の子の能力を最高に伸ばしてやろうという考えが基本にあったようである。躰には厳しい面もあるが、「自由でのびのび」と大切に育てられていたことが伺える。

また、多くの家庭が教育を筆頭にスポーツ、技術、資格、文化なども大切にしている。親自身、音楽やスポーツを好み、読書、観劇などに対して、質の高い興味や関心を持っていた。親は、一生懸命に働く一方、特別に費用をかけるというわけではないが、趣味なども充実しており日常生活の質の高さも感じ取れる。また、「引越し」を経験されている人が非常に多い。これは、子どもにも親にも異文化体験になっているのではないだろう。近頃は引越しに伴う子どものストレス

を回避するために父親が単身赴任するケースもよく見られるのでちょっと考えてしまった。子どもの頃に自分の家庭や周囲とは違うものをいろいろと見たり、聞いたりする体験は知的好奇心や新しい環境に適応する勇気と柔軟性を養う格好の場になっているかもしれない。子どもにとって、引越しはストレスフルな経験であるが、チャレンジのチャンスであり、あたらしい出会いの始まりでもある。

(3) 性格・資質

高齢期に活躍している女性の性格には、外向的な人も内向的な人もいるが、上記のように、自由に育っているだけに発想は柔軟でのびのびしている。共通する点としては、「決断力と行動力」に優れ、非常に「人との出会い」を大切にす姿勢があげられる。さらに人との付き合いを始め、さまざまなものを「楽しむ」能力にすぐれている。また、内向的、外向的に関わらず多くの人が、異口同音に自分は「好奇心が強い」と言われる。この好奇心を育てるものが解明できたらおもしろいと思う。また、勉強そのものが好きだったという人もいないわけではないが、むしろ勉強や試験にまつわる楽しいエピソードがたくさん語られた。また、それ以上に愉快ないたずらをいっぱい体験している。友達関係、教師との出会い、クラブ活動、遊び、さまざまな場面で子どもらしく楽しんでいるのである。つまり、学校生活全体が好奇心を満足させ、さらなる好奇心を生む場所のようであった。彼女たちの「あたらしいことを前にして恐れない勇気と、ポジティブな好奇心を持ち続ける」という資質は、仕事を継続するのにたいへん適していたのではないか。このような姿勢は生まれつきの性格とはあまり関係なさそうで、むしろ、家庭や学校という環境が育ててきたと思われる。

(4) サポート

働き続けるためのサポートは、現在のような公的、社会的なものはほとんどなく、インホームなものばかりであった。女性が働くために必要なサポートは今も昔も大して変わらない。子どもの世話と家事の援助が不可欠である。子育てに関しては、お手伝いさんを頼んだと言う人もあった、が、多くは実家の母親や姑が全面的にサポートしている。当時は、子育て、家事における夫の協力は精神的なものが多く、労働力としては頼みになるほどのものではなかった。夫の家事援助は現在の家庭とはかなり様子が違っている。家事については子どもがよく手伝っており、これも近頃の風潮との違いが目立つ。ある人から「子ども時代に手伝いをさせておくことが将来、仕事をするときに非常に役にたつ」とのコメントがあった。また、店を始めた人においては実家の資金援助と近所に住む妹のサポートが有効であったという。また、職場における同僚や上司の理解は欠かせないようである。特によい上司に出会えるかどうかは、働き続ける上で重要なポイントとなる。夫に関しては、仕事を続けるための協力者になる場合もあれば、さまたげになる場合もある。協力者になれば、だれより強い味方であるが、障害になるとこれまた、たいへんなストレスとなる。今回の調査では半々の割合であったが、無関心な夫も含めれば協力的でないほうが多い。この時代、女性が働き続けるには実家のサポートが欠かせなかったようである。しかし、なかには姑を大変良いサポーターに仕立て上げた人もいた。生活のサポーターには女性が打って付けなので、この人のように同性同士の連帯がうまくつくれたら心強い限りである。成功

した秘訣を聞くとサポーターが家族であっても十分な報酬を払うことだという。非常に納得のいく話である。

(4) 学習・リソース

今回、インタビューした人の多くは計画的に仕事を始めていないので、仕事に必要な資格や知識は後から獲得したケースが多い。卒後すぐに就職する場合は学歴が重要になるのだろうが、卒業後何年かブランクがあって働き始めた人たちは、学歴もさることながら資格が重要だと答えている。いずれにしても、仕事と学習の関係は密接であることがインタビューから分った。今回、教員、看護婦、保育士、司書、調理師、カウンセラーなど女性向きと言われる資格を半数以上の人が持っていた。さらに、検査技師、保険業務資格などがみられた。さすがに、平均年齢が70歳以上となるとパソコン関係の学習や資格は少ないが、英文タイプ、英会話、アメリカ留学なども入っていたのには驚いた。ある人は「英語ができることで非常に世界が広がるんだ。」と、その必要性を強調されていた。今回の調査で学習は学生時代だけのものではないと言う事が、はっきり浮かび上がっていた。必要になった時、必要なことを学習するからこそ真剣になれたのであろう。これからは、時間に余裕のある高齢者が自分に必要となった分野の学習をする姿はより目立つに違いない。アメリカの大学などではすでに構内に施設を建て、そこから高齢者が大学へ通っているそうである。いずれ日本でもそのような時代がくるのかもしれないが、学んだ後それをどう社会に還元していくか高齢者自身の課題となるであろう。

4. 自己実現的な働きかたの高齢者（生活危機や経済的でない動機）

前述してきた高齢女性の仕事は必要に迫られて始めたケースが多かった。しかし、ここでははじめから、自分の生かたとして仕事を持つことを選択したケースについて検討する。今でこそ、学校を卒業と同時に女性も就職しているが、60年近く昔は、女性の勤めといえば、教員、看護婦、保育士などが主な職種であり、他には農業、商業など家業の手伝いも多かった。一般の企業で多くの性が働くようになったのは戦後何年かしてからのことである。まして、企業で女性が重要な役職につけるようになったのは、ごくごく最近のできごとなのである。今回の面接では、現代女性のさきがけともいえる、貴重なキャリア発達を遂げた人が何人かいた。ある人々は企業の取締役や部長というポストに就かれたわけだが、彼女たちは、「結婚イコール家庭の主婦というパターンは受け入れられなかった」、また「精神的に自立して生きるために必要なこと」との理由で最初から仕事を選択している。就職が経済的危機から脱却する手段であったり、あるいは食べるための手段であったりした多くの女性とは、仕事に就くモチベーションが異なっている。現代風に言えば自己実現的な生き人をめざし仕事を選択している。そして、彼女たちの可能性の追求と会社の要請が一致した結果、高い地位に就くことができたのであろう。本人の高い学歴と能力、さらに男性の何十倍もの努力と苦勞があったにちがいない。そして、良い上司に恵まれるという幸運など、表面的に見れば男性のキャリア発達とよく似て見える。

(1) 配偶者のサポート

さらに彼女たちに共通しているのは、仕事をするのに絶好の夫に恵まれていた。世の中に内助

の功というものがあって、男性のキャリア発達に貢献するならば、男女が逆になっても功を奏するものかもしれない。とにかく妻の仕事の絶大な協力者なのである。先輩のように、指導者のように、ときには参謀としてアドバイスしてくれ、前に出ることを躊躇していれば背中を押してくれる。この時代には、危機脱出のため懸命に働く妻の脚を引っ張る夫さえいたというのだから、上記のような夫は働く妻にとってどれほどありがたかったか計り知れない。ある人は父親の強い勧めに応え、子どもが学校へ入学するまでという期間限定で飲食店を始める。働いてみると彼女の思いがけない才能が発揮され、予想外に店が繁盛し大きな経済力を持つに至った。この人の夫は自分の仕事もかなり忙しいにもかかわらず、たいへん援助的で毎日、店のできごとを報告する妻の話を最後まで聞いてくれたという。それぞれの職種は異なっているけれども、彼女たちがまれにみる成功を納めた陰には夫の並々ならぬサポートが存在していた。アメリカあたりでは妻の社会的成長を支えるのは夫婦として自然なことかもしれないが、日本ではそうそう見かけない。私はこのように仲の良い夫婦のモデルを知らないで、父親が娘の話を聞いてやっているようなほのぼのとした雰囲気想像してしまう。

(2) 親族ネットワーク

自己実現的に働き始めた人の場合、仕事を楽んでいる親戚や家族がいて、その人の影響を受けているように思われた。母親は専業主婦であっても結婚まえは教員であったとか、祖母も大昔のキャリアウーマンで勲章を受けていたなどがある。親から、自分にしかできないことをしなさいと言われ、母親の役職をそのまま受け継いだ人もおり、まさに親族のサポートを最大に生かしたケースかと思う。また社会的に活躍されていた、あるいは活躍している親族が多い人もいた。彼女たちには子ども時代に働くことのおもしろさや夢を感じさせてくれる親しい大人との交流があった。また、受験、就職、その後においても、親族からは精神的なサポートに加え、情動的、経済的、人脈的サポートなどが見られた。活躍する親族の存在はたいへん有力な資源となることが視えた。

5. まとめ：人が仕事をするということ

面接中ある人がいった「私は働きながら死にたい。」「働きながら死ぬという生き様をみせた。」と。老後は働かずにのんびりくらしたいというのは人間だけではないか。動物はいくら老いても餌を獲らずに生きていくなどということはない。そう考えれば人が最後まで働きたいというのはごく自然なことなのではないかという話になった。高齢者が家族や、施設で過剰に世話をされると、あっという間に衰えるということもよく知られている。また、高齢者が「のんびり暮らしたいと思ったが、何にも仕事のないほど辛いものはない。」と嘆くのもよく耳にすることである。人も動物も生き残るために（種の保存）必要なことにはそれなりに「快」の感情が生起するように仕組まれているのであろう。例えば、食べる、排泄する、眠る、餌を獲る（仕事）、学習する、生殖行為、子育てなど、一連の行為は苦勞をとまなうものもあるが、楽しみもセットされている。「学習」や「仕事」などは苦勞の面ばかりが強調されがちであるが、それらは喜びになり、生きがいになるものであることを、今回の高齢者の話から確認できた。本来、楽しいこともあるのに辛さだけが目立ってしまい、「学習を嫌う人」、「子育てを嫌う人」、「仕事を嫌う人」

がたくさん出現したとすれば、それは動物として不自然なことなので、人工的な産物といえるのではないだろうか。大人自身が生活を楽しめなくなっているとしたら、まず、そのことを解決する必要があると思う。

高齢者の経験談により、仕事を始める目的は違っていても最終的には「同じゴールにつく」ということ、仕事は自分のためだけでも、人のためだけでも長く続かないということが理解できた。

今回の聞き取り調査から最後まで、いきいきと生きるには「働くことが不可欠」であり、働き続けるのに重要なものは「好奇心や、楽しむ心」だということを教えてもらう。動物はこういう能力を生まれつきもっているが生育過程において、さらに発達するものであることも明確になったと思う。

表1 人生に仕事にしめる重み (インタビューより)

<ul style="list-style-type: none"> ・仕事が人生を完成させるひとつの要素 ・生きがい (2) ・仕事は全て。 ・知らなかったことを知る喜び。 ・経済的自立 (自分を自分で養う)。 ・仕事は当然のこと。 ・仕事が半分、子育てが半分の割合。 ・仕事しない生活は考えられない。楽しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重みは非常に大きい。 ・存在証明 ・仕事を中心に人生が動く。 ・仕事はおもしろい (ゲーム)。 ・頼まれたことを続け楽しくなる。(2) ・たいへんなことがあっても苦ではない。 ・やりがいのあるもの。 ・生活上必要・食べるため。(2)
--	--

表2 仕事をする上で子どもの頃から教えておいたほうが良いこと (インタビューより)

<ul style="list-style-type: none"> ・他人に迷惑かけない。(2)・ ・挨拶をする ・コミュニケーションのあり方 (態度も含めて)。 ・自分のことを正しく話せる。 ・夫々の時期に熱中するものを持つ。 ・体を十分に動かせる。 ・五感を磨く。 ・自分のやりたいことを見つける。 ・いろいろなことを経験する。 ・関心のあることをする。 ・無駄なことはない。 ・集中力をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤する。 ・やり直しはいつでもきく。 ・専門は早く決めない。(親は指示しない)。 ・責任感。 ・家庭を大切にする。 ・家の手伝いをする。 ・感謝する ・仲良くする。 ・人との出会いを大切にする。(2) ・仲間と話しあったり助け合ったりする。 ・礼儀作法を覚える。 ・食事をきちんとする。
---	--

表3 仕事をする上で学生時代にしておくべきこと（インタビューより）

<ul style="list-style-type: none"> ・色々なことを体験する。(アルバイトから異文化まで) ・失敗が大切・失敗したほうが良い ・何かに打ち込む。 ・多少ずれていてもやりたいことしておく。 ・与えられた以上に積極的に展開していく。 ・何をするために何をするかを考える。 ・自分で生きることを確認する。 ・経済的自立の方法を考える。 ・働きたいと思ったら続ける。(5年はやってみる) ・自国や自分についてよく知る。 ・資格をとっておく。(2) ・情報を手に入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を身につける。(2) ・コンピューター操作 ・勉強はしっかりしておく。 ・コミュニケーション能力をつける。 ・異性の友人を持つ。 ・気配りができる。 ・マナーを覚える ・上下関係がうまくできる。 ・異年齢の人と多く付き合っておく。(2) ・集団のなかでの自分の役割を果たす。 ・礼儀正しくする。 ・責任感を身につける。
--	---

Ⅲ－２ 女性の中年期における再就職を規定する要因

国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官

岩崎 久美子

1. はじめに

女性の職業決定プロセスは、明らかに男性とは異なるものである。女性は「絶え間なく変化する相関性をもったくもの巣」¹と例示される複雑な他者との関係性の中で生きており、また、育児・介護など他者をケアするという役割期待を強く求められる。そのため、結婚、出産などのライフ・イベントや配偶者、子どもを含む家族の状況により、自分の意志よりも他者の意向に沿った対応を優先せざるを得ない。このような女性の特性は、職業選択に少なからず影響を及ぼすことになる。

国立教育政策研究所キャリア発達研究会が実施した高校生対象調査（平成15年度）に将来希望するライフコースを聞いたデータがある。その結果は、「結婚しないで仕事をもち続ける」が7%、「結婚し仕事をもち続ける」が6%、「結婚し出産し仕事をもち続ける」が26%で、いずれにしても仕事を継続する意志のある者は39%で約4割である。同時に「結婚し出産で仕事を離れ子どもが一定の年齢になったら再び仕事につく」という出産退職・再就職を希望するものが39%、「結婚し仕事を離れ出産し子どもが一定の年齢になったら再び仕事につく」という結婚退職・再就職型が11%であり、このふたつの合計の再就職を希望する者は50%で半数を占める。併せると、約9割の高校生女子が、継続・再就職にし、将来的に何らかの仕事に就くことを念頭においているということになる。

将来、結婚・出産を経て再就職を希望する高校生女子のうち、看護師、美容師、歯科衛生士、薬剤師など特別な資格・技術がある場合、再就職先はある程度予測、保証される。しかし、特別な資格・技術がない者は、再就職はどのようになされるのであろうか。

本稿では、結婚・育児などでいったん仕事を離れた後、再就職した人々に対するインタビュー調査からどのような要因が再就職に影響したかを整理して考えてみたい。

表1 将来したい仕事の有無と就きたい職業（高校生女子）（N=675人）

1) 看護師	67人	9) 動物関係	13人
2) 保育士	48人	10) 菓子職人	12人
3) 美容師	27人	11) 報道関係	11人
4) 介護/福祉士	26人	カウンセラー	11人
5) 教師	20人	13) 料理・調理	8人
6) 英語を使う仕事	15人	薬剤師	8人
7) 医療関係	14人	デザイナー	8人
栄養士	14人	理学療養士	8人

¹ メリアム,S.B.・カファレラ,R.S. (立田慶裕・三輪建二監訳)『成人期の学習－理論と実践－』鳳書房 2005年 p.129.

表2 インタビュー者属性一覧

	職業	年齢	子ども	初期就職先	取得資格	再就職年齢(退職)	その他
A	洋菓子関係出版社、喫茶店経営	54	有(2)	洋菓子関連協会	食生活アドバイザー	29 (28)	
B	社会保険労務士、行政書士、ファイナンシャル・プランナー	49	有(1)	アパレルメーカー(デザイナーズブランド)	社会保険労務士、行政書士、ファイナンシャル・プランナー	43 (39)	
C	料理教室主宰、利き酒師	50	有(2)	ステュワーデス		47 (24)	大学聴講生 料理学校
D	教育委員会嘱託員	54	有(3)	流通業界(デパート)	小学校教諭免許 社会教育主事	47 (26)	配偶者の海外赴任(2回)・大学聴講生・子育てNPO主宰
E	女性センター・生涯学習センター副館長	55	有(3)	衛生検査技師	薬剤師免許 司書	41 (24)	図書館設立委員・図書館長
F	政府系財団職員	42	有(2)	自動車関連企業		35 (26)	配偶者の海外赴任
G	政府系財団課長	55	有(3)	官庁		42 (35)	
H	NPO 主宰	51	なし	コピーライター		24・39・ 50	
I	初等音楽教育家 公民館運営審議委員	60	有(1)	幼稚園		不明	

* 年齢はインタビュー当時、資格取得はインタビュー時に言及されたもののみ掲載

なお、本稿で扱う対象者は、筆者がインタビューした9名であり、年齢範囲は42歳から55歳までである。この9名の最初の就職・離職、そして再就職までを追い、再就職や職業について振り返って聴取した内容から、再就職を規定する要因を検討する。

2. 初期就職先の選択契機と離職

第一に、最初についた就職先の選択理由と離職の理由を表のかたちで掲載してある。就職先の理由としては、大きく(1)将来設計のうえでの選択、(2)女性占有率の高い職種、(3)限られた選択肢からの就職、(4)資質・経験に基づく人とのつながりによる斡旋、(5)自分のやりたいことからの職、の5つに分類した。離職の多くは、結婚・出産、配偶者の転勤である。

(1) 将来設計のうえでの選択

結婚を視野に入れ仕事の両立を考えて公務員試験を受験した例である。結婚に際し、東京勤務から関西へ異動し結婚、継続して勤務していたが、配偶者の転勤で離職する。

【就職理由】

・高校の同級生との結婚を早い段階から考えており、兄の結婚が先とのことで時期を待っていた。結婚した場合、サラリーマンである相手との生活をどう維持していけばいいのかを考え、関西での就職を希望する。市役所などにも願書を出したが、地方勤務が主と書かれていた国の方がよさそうに思い上級職乙種を受験した。受験してから、地方勤務が主というのは、地元というのではなく甲種よりもランクが少し落ちるという意味だとわかった。採用は東京であったが、直属の課長が二代続いて大阪出身であり、役所に入って5月ぐらいから関西に戻りたいという希望を出し、大阪に異動が可能になり結婚、出産・育児を行いながら仕事を継続していた。

【離職理由】

・13年勤めた大阪での仕事を辞めたのは、夫が東京に転勤になったことによる切羽詰った選択だった。専門的な仕事にしておけば配偶者の転勤で辞めるということもなかった。そのため、娘にも無理に雇用労働者を薦めることはしていない。しかし、現実に年金制度などを考えると、身分の不安定さや不利な状態もわかりアドバイスができない。

(2) 女性占有率の高い職種

女性特有の職種と言われるステュワーデスや薬剤師の場合である。

ステュワーデスは、当時3年でやめるのが通例とされていた。そのため、強いて職業継続を希望することなく結婚で離職する。

【就職理由】

・住居が羽田に近く、ステュワーデスで下宿している人が多かったせいか、小学校の作文で将来なりたい職業としてステュワーデスと書いた記憶がある。ステュワーデスの仕事を喜んでくれたのは祖母。華やかなことが好きで祖父が船舶の機関長であったこともあり本人自身も外国に行きたいと言っていた。

【離職理由】

・ステュワーデスとしては結局1年働きボーナスをもらって退社。当時、同期で結婚が決まっていた自分ともうひとりの者は国際線のステュワーデスになれなかった。もし、国際線勤務になっていたら続けていた可能性もある。当時は3年働きやめるのがステュワーデスの王道。あまり面白みを感じず一生の仕事とは思えなかった。

薬剤師は当時資格があることで収入の道が確保されているとの印象があり、初期ポストには固執せずに出産で退職。

【就職理由】

・薬学部は、薬剤師や衛生検査技師などいろいろな免許がとれる。女性にとって有利というイメージがあった。薬学部を出たが薬剤師にならずに衛生検査技師として血液センターで働く。血液センターの中で、薬剤師や検査技師でない専門職以外の人もマニュアル的に検査に従事していたため、血液センターの中で勉強会を組織したりした。

【離職理由】

・2年で子どもが生まれたので産休を取った。優秀と評価されていたので、産休明け後も勤めてくれと言われたがやめてしまった。母親が「子どもは仕事をしないで育てたほうがいいよ」と言っており、赤ちゃんに触れたことがなかったため、子育てに専念しようと思った。

(3) 限られた選択肢からの就職

女性の場合、就職口は著しく限定されていたため、偶然求人があった中から初期就職口を選択し就職。結婚、あるいは出産の後退職が当然という風潮の中で、勧奨、あるいは自発的に結婚や出産の際に退職というかたちをとったものである。

【就職理由】

・四年制の女子をオープンで採用してくれる会社が4つしかなかった。その中から選び受かったからそこに行くという形だった。当時〇〇書店にも受かった。今はすごいが、新興成り上がり出版社で、「そんなところに入ってどうするんだ、全国に飛ばされて営業やらされて、そんなしんどいところへ」と誰一人として賛成しなかった。

【離職理由】

・地元は地域的に封建的で大企業でも結婚退社が当然。学校に行くのも、就職するのも「良い旦那様と結婚するため」という土地柄。最初の仕事は、4年間でとてもハードに働いた。東京出張、北海道日帰り出張など、ハードだったがすごく楽しかった。ただ、人材として育てようという感じではなく、ルーティンワークになってくる部分があった。ずっとその会社にいてよいのかなという疑問が生じており、結婚で地元を離れなくても辞めていたと思う。

【就職理由】

・小学校教諭に決まっていたが辞退し、本来就きたかった社会教育の職種を探したが、団体事務のみで現場の職がなかった。ゼミの先生に「いったん企業に入ったら」と言われ就職課にいき偶然募集があったところを受けて採用となった。

【離職理由】

・子どものいる女性管理職がおり、自分もその職場でキャリアを積めると思っていた。その女性管理職の人は配偶者が大企業の重役で子どもは実家で育ててもらいながら、男言葉で男のように働いていた。子どものいる女性管理職がいたので、出産しても仕事を継続できると思っていたが、妊娠を上司に話したら当然やめるといった反応だったので驚き、離職せざるを得なかった。

【就職理由】

・大学を卒業したときに、洋菓子関係の協会の事務局・編集局が新聞広告で求人していた。コネクション・後ろ盾なし。ストのある時代だったから、住んでいるところから歩いて行ける、仏文科だったから編集局で出している月刊誌の翻訳を外注しなくてすむ、という2つの理由で採用になったのだと思う。

【離職理由】

・編集局は、フランス語で翻訳し原稿を書ける人がいなくなると困るので、結婚退職しなくてもよく、結婚祝いもらい、出産祝いもらい、病気見舞いもらい、27歳まで働いた。その後フランスを含め5ヶ月間外国に行く。横浜から船でソ連に行き、シベリア鉄道でヨーロッパへ。子どもがいたが母親にあずけて出かけた。洋菓子の翻訳をしているので、確かめたいことが多くあり、仕事をやめて行った。人生の夏休みがほしかった。

(4) 資質・経験に基づく人とのつながりからの斡旋

アルバイト時代からの知り合いを通じて就職、あるいは幼稚園で教えている実績から人づてで就職した例である。いずれも出産・子育て、配偶者の転勤により離職している。

【就職理由】

・フランスの女優は、普通のセーターを着てもどうして素敵なのだろうと思っていた。ひとと同じものを着るのが元来嫌であり、一般的な服よりもデザイナーズブランドを着たいという思いがあった。大学時代好んで着ていたデザイナーズブランドの会社に入りたいと思っていたときに知っている方がいたので入れてもらった。このデザイナーズブランドを売っていた店でアルバイト経験があった。

【離職理由】

・子どもができたならやめるといった規則はなかったが、子どもがいて働いている女性がほとんどいない会社だった。育児時間は出来たら取らないで欲しいと部長に言われたりしてちょっと居づらくなった。いまであったらうまく交渉できるのであろうが、向こうは「取らないで欲しい」と言う、こっちは「取ります」と一方的に返すというところがあった。拘束が長いので、子どもと一緒にいられないことに不満があった。

【就職理由】

・経済的なことで働きながら学校に行っていたので、ピアノが弾けたから幼稚園の先生にということになった。夜学に通いながら勤務した幼稚園は2回変わった。その間、母親の看病で定職に就けず2年間フリータのように子どもにピアノを教えながら暮らす。混声合唱団のピアニストで音楽を歌遊びと表してハンガリーの古代システム研究している人が今度幼稚園をつくるので、ピアノ、歌が出来る人を探していて就職した。

【離職理由】

・幼稚園の先生を続けていたかったが、サラリーマンをしていた配偶者が脱サラで引越しをしたため幼稚園をやめざるを得なかった。

(5) 自分のやりたいことからの職

自分のやりたいことを素直にやっていく中で、能力が認められて職につながる。同様に、自分の気持ちに従って仕事をやめた例である。

【就職理由】

・物を書くことを職業にしたいと思っていたわけではなかったが、18歳で家を出てお金を稼ぐため、渋谷や新宿の駅の通路に布を引いてアクセサリー（針金をまいたビーズ）の「座売り」をしていた。ヒッピー文化の華やかな頃。それを通りかかる人が「作り方を書かないか」と言うので、「作り方を書くとお金になるのですか」「むろん原稿料出しますよ」と言われ面白く書いた。それが、結果的にコピーライターということになった。自分の場合はやりたいことがあった。例えば、家を出たい、自活する、アクセサリーを売りたい、隣よりも楽しいアクセサリーを作ろう、面白い自分の好きな世界を作ろう、作ったからには見て見たと売った。常に自分の好きなものが何なのかを追いかけ、その結果、稼ぐことに重なっていった。

【離職理由】

・東京で仕事をしていて仕事も人間関係も大変でくさくさしていた。ちょうど「地方の時代」と言われていた時代だったし、「東京はとにかく嫌だ、もう離れなければならない」と思って、「もう少しローカルなところに身をおけば、ちゃんとした仕事ができるのでは」と割と衝動的に思い、思ったその日に家を出た。現金をあまり持っていなかったので、半分旅行気分で、夕方富士山を見たら富士山がきれい、タクシーの運転手に「ここにいな」と言われて、「この富士山と暮らせるならいいかな」と思いとても元気がでた。そのまま不動産屋にアパートを借りた。東京を離れたら何か開けると思った。

3. 移行期と学習

次に、離職後、子育てが一段落し再就職するまでの前後にある中年期の危機と呼ばれる移行期をどう考えていたかをまとめてみたい。

年齢に伴い、ひとは安定した時期とときに心理的危機状況をもたらす移行期と呼ばれる時期が交互に生じる。特に40-45歳の中年の移行期と呼ばれる時期は、レヴィンソン(Levinson, D.J.)によれば「人生の秋」「人生半ばの過渡期」²に例えられ、男女とも今まで過ごしてきた時間よりも残された時間を考慮して人生を組み立て直そうとする時期と言われる。

社会的栄達を遂げた45-55歳の男女100人にインタビューを行ったニューガーテン(Neugarten, B.)³は、中年の特質として、自分の置かれた社会環境のなかのポジションについてもっともよく認知し、人生のなかできわめて内政的で自己認知を再点検する時期と結論づけている。この時期は、男性は仕事の重圧が増加する時期であるが、女性は、子育てがひと段落し、

² ダニエル・レヴィンソン (南博訳)『ライフサイクルの心理学』講談社学術文庫 1992年

³ Neugarten B.L., 1986 "THE Awareness of Middle Age, In Neugarten B.L. (ed.) Middle Age and Aging: A Reader in Social Psychology, The University of Chicago Press." (但し、引用は井上俊ほか編集『ライフコースの社会学』(岩波講座 現代社会学9) 1996年 岩波書店)

自分自身のために使える時間とエネルギーが増加し、潜在化していた才能や能力を新しい領域で活用でき、自己概念を変えるほどの自由度の増加として自覚される時期とも言われている。

中年期は、女性にとって、子育てがひと段落する時期にあたる。この時期が中年期の移行期にあたることが多い。今回のインタビュー者の中で、40代に半数が再就職をし、あるいは自分で仕事をしている者であっても、40代であらたな仕事の転機を経験している。

40代での意識は、子どもがいる者ではそれまで母親としてのアイデンティティが優勢であったのが、子育てがひと段落することで、自己のアイデンティティを問うことによる焦燥感を伴った心理的危機が生じやすい。自己のアイデンティティを問う中で、家庭から離れ、新しい活動領域を求める気持ちが生じてくる。

【40-45歳の移行期】

・30代から40代のときはやはりこのまま終わってしまうのはつらいなと思っていた。40歳になるときにこのままで自分はいいのかなと思った。「このまま若さがなくなって朽ちていくのは嫌だな」と思った。(C)

・30代は会社において39歳で仕事をやめた。感覚だけで生きてきたという感じで、ひまが嫌いで目覚めていなかった。40歳ぐらいで覚醒してきたという感じ。(B)

・29歳から30歳まではあまり意識の変化がなかったが、39歳から40歳のときには、「折り返し地点の復路に入っちゃったな」という意識があった。人生80歳ぐらいだとしたら、40歳はちょうど真ん中だな、という感じ。先生になりたいという気持ちがちょっとあり、「40歳になったら難しいな」とは思った。過ぎてしまったらあつという間だった。(F)

50歳になると、人生が見渡されて自分なりの人生の意味づけがなされていく。自分のアイデンティティの再構築がなされ、自分の選択した生き方を考えるようになる。

【50歳の移行期】

・50歳で自分の仕事としてできるものを何かしたいと考えていたので、その基盤ができつつありうれしい。自分が好きなほう、好きなほうと選択していくと何となくそうなる。(C)

・1950年生まれで2000年に50歳になったらどうなっているかいつも考えていた。エポックは50歳。その先はどうなるのか、思いがけない人生の展開があるかもしれない。子育てまだまだ終わっていないと思うが、もう自分の人生をデザインする時期に来ているということにすぐ意識している。(D)

・薬剤師のときは、筋が決まっていた。図書館を建てたくて図書館を建てた。図書館長も選択肢は他になかった。……次の10年は60歳になるので、初めて自分で選択した。本来は町のために働きたいという思いが強かった。最後の10年は、自分のために選ばせてもらっていたかな、という思いと大きい組織で一回働いてみたいという思いもある。(E)

・30-40歳は、会社の人たちをちょっと気にするということがあるが、50歳になり楽で楽しくなる。怖いものがなくなる。男の人で、自分より年齢が上で自分に圧力をかける人、自分の人生を左右する人はいない。60歳ぐらいになって、穏やかになっていくのかもしれない。(A)

・30代、40代は子育て真っ最中、50代になってどう過ごすかという感じ。一番下の子どもが家を出ていったら、楽になった。(G)

・30代は子育てに一生懸命。とにかくやるしかない、しょうがないと思った。40代は、ピアニストの中村紘子が「40代はよいです」とおっしゃったときにそうかと思いながら過ごした。50代は、苦しかった。身体がちゃんと治るかわからなかった。母親と父親が60歳で亡くなっているので不思議な気分がある。自分が母親と父親が亡くなった年に生きている。(I)

4. 再就職のきっかけ

中年期に重なる再就職のきっかけは、様々な要因が絡み合っているが、明らかに社会的な活動の帰結として再就職がもたらされている。多くは、学習がきっかけになり、学習の場を介して人とつながり職へとつながっていく。例えば、料理学校に通学したことで、自宅で料理学校を開くことになった、図書館で社会教育指導員募集を見つけたなどである。

インタビュー者の多くに認められるのは、学習は前向きな働きかけとして経験されていることである。このことは、学習する意欲を持つことで心理的危機を脱したとも解釈されるし、あるいは学習することでそれまでの心理的危機を乗り越えるきっかけを得たとも解釈される。いずれにしても、心理的危機の状況の中での学習により、人生の新しい展開がもたらされていく。

・職業について影響があったのは料理学校の先生。料理学校については夫と相談し決めた。大学院に行ってもいまさら大学の先生になれるわけではない。料理学校に行ったところ食の世界は文化的に深いものがあった。(C)

・人生に仕事が占める重みはかなりある。40歳すぎにあきらめた頃、図書館で社会教育指導員募集のちらしを見た。大学時代に社会教育の仕事につける人はほとんどいないと聞いていたので、それは「ドラマのようだと思いますよ、自分でも。本当にこれは神様がいるのかなって思うくらいに、そういう出会いです。」「宗教教室、シスターがやる会に、1、2年通ったのね、その時に「あなたたちがここにいることは、容易された必然的なものなのよ」という言葉に、「はっと」とか思って、すごくすんなりうけ入れたのね。」「履歴書何回か書いたこともあるし、求人欄をも見たこともあるし、40歳を過ぎるともう駄目かなってあきらめたりしたし……」(D)

たとえば、次の例などは、図書館設立運動を通じて人とつながり、審議会委員などを経て、女性センター・生涯学習センターの副館長になった例である。自分で「お話し会」を立ち上げ、30代後半から各種委員などに声がかかるようになり、行政的な仕事に入っていく。

①引越した先に図書館がないということを知っていた。県立図書館が団体貸出をするサービスがあるので、近くの子どものいる人5人くらいと声をかけて50冊の本を交換し、読んだら1週間目に集まって文庫活動、そして、せっかく集まるのだからといって当番で本を読んでやろうということになった。その後、公民館の方から「出てこないか」と言われたので、集落の公民館を使わせてもらい、毎週「お話し会」というものを立ち上げた。毎週1回親子40人くらい、多いときには100人位。登録制で一所帯100円徴収。ボランティアのスタッフが10人くらい常時いた。

②町で図書館新設の話がでて、日日雇用で図書館建設基本計画の策定委員になった。その間、日本図書館協会のセミナーや、K大学司書コースの通信教育で司書免許を取得した。町長達は、自分を責任者にしたいという思いはあったが、正規の職員に臨時職のわたしがどういう命令をくだせるのか、と言って嘱託の室長にしてもらった。1年間準備し翌年開館と同時に館長になった。3年間館長。お話し会から始まり、図書館準備、図書館長をやる中で、行政の手法を学んだ。同時にPTA副会長、町づくりグループを立ち上げた。

③職業で影響を受けたのは、町長。思い切って女性の私を登用した。農業をやってきた人で、男女に対してリベラルといった意識はなくそういったタイプの町長ではない。図書館長になったとき、女性の翼というものの団長になってくれと県が頼みに来た。開館してすぐだったので、行きたくなかったが、町長は、「行ってきてよかやんね。おれはねーあんたが女やけんね、図書館長にしたつもりはなかとやけど、県はそういうけんね」と言った。まさに男女共同参画だった。それと、図書館学のプロ達に出会った。本物の人と出会って、わたしが一生懸命だったので、プロの力を持って関ってくれた。

再就職は人脈が大事ということがある。以前の職場関係者とのつながりから、直接・間接的な働きかけや支援がなされている。この場合、やはり、かつての職場関係者が信頼を持って推薦できるような信頼感や人間性など過去の実績が必要と推測される。

・夫は、女の人でも働いた方がいいという風に思っており理解はあったが、それ以上に実際にはやっていけなかったと思う。自分が洋菓子関係協会を28歳のときに辞め、配偶者も半年後に辞め、Mカンパニーを二人で設立した。最初は何もなく注文もなかったので、軌道にのつたのは、洋菓子関係協会にいた若い二人が子どもを抱えて独立したということが業界に知られて、「あそこを傾かせたらかわいそう」ということで仕事をくれ、人脈が固まっていたからである。(A)

・再就職のきっかけは、本省にいたときの上司がこちらの局長で来ていたので、「戻ってきました」と言ったら、声がかかった。東京から大阪にもどってきて、1年くらい家庭にいたが、小学校で役員やり、翌年副会長の依頼がはいつてきて、「ただ働き？」と思っていたところに、仕事の声がかかった。「ここで出て行かないと次はないかな」と思った。(G)

5. 成育環境からの影響

再就職においては、成育歴の中での遠因が認められる。具体的には、主として父親からの精神的な支援や期待、そして活動的な母親から受けた直接的な影響である。

父親からの期待としては、男きょうだいがいる場合でも、いずれも男きょうだい以上に女性である自分の能力や資質に対して期待されていると認識する言動を記憶している。

- ・父親は、10歳のときに他界。父の自分への願いは、日比谷高校を出て、東京大学の法科に入って、ドイツに留学して検事になってほしいというもの。そのための大学の学費も留学の費用も全部用意していると言っていた。父親が生きていたらドイツか外国に行っていたと思う。(A)
- ・3歳年下の弟がいるが、自分が弟より元気であり、弟を「圧迫」したという思いがある。両親から「女だから」と言われたことはない。短大に行く人が多かったが、4年制大学進学を自由に選択させてくれた。(D)
- ・母親が看護婦をしていたので、「薬剤師になれ」というのが口癖。自分が看護婦をしていて、同じ職場に薬剤師がいるので、女性も資格を持っているといいと思っていた。医者という概念は母親の頭にはなかった。自分は頭も良く数学、理科が得意だったので、薬剤師以外は考えなかったし悩まなかった。弟は身体が弱く、1年間に6回も入院するような子どもだったので、うまく育ってくれれば御の字というところがあった。「もうお姉ちゃんがエネルギーを吸い取った」「お姉ちゃんは、頭もいい、優秀な元気な子だったからお父さんの自慢の子だった」と言われた。(E)
- ・両親は、子どもが女2人だったので、自分を長男として育てたと言っていた。人生で影響が大きいのは父親。「いつどんな出会いがあるかわからないから、勉強して自分をいつも高めていないといけない」といった言葉に影響を受けた。(C)

母親については、積極的で活動的なひとが多く、その後ろ姿を通じて社会的に働くことを学んでいる。母親が継続的に仕事に従事しているかどうかというよりは、母親が地域活動、PTA活動などで社会と直接つながっていることや社会に対して関心を持っていることが、本人の社会的視点形成に役立っていることがわかる。

- ・父親は公立商業科高校教員で速記を教えていた。両親で速記教室を開設。父親は商売熱心ではなく、母親が勝気で手広く経営に携わる。(C)
- ・母親は地域活動に熱心な母親で、婦人会の会長をやるタイプ。賢いお母さんというのは、ただおとなしく家にいるのではなく、婦人会活動などもやり、自分の職業を持ち、生き生きとして情操豊かだという感じであった。小さいころから母親について行って、婦人会活動の廃品回収なんかで「何か新聞ありませんか」といって入っていく。学校でのバザーの企画なども身近だった。(H)
- ・母親は普通のおばあさんであるが、「石油を買わなくてもいいよう電気自動車の開発をもっとやらなくてはいかん」とか、「これからは女性でも経済力」年金が少なくなり「私も月に絶対十万ぐらい儲けなきゃ」ということを言う。体ですぐ動く人。母親は専業主婦の道を自分に期待していなかったのに、自分が仕事を持って喜んでいと思う。(B)

6. 共通に認められる要因

インタビュー者はそれぞれ異なっているが、インタビュー者に認められるいくつか共通の性格特性など要因をまとめてみたい。

(1) 自分に対する自信

まずは、自分を受け入れ、自分の能力、経験や努力に対しての充足感を持っている。裏付けとして何らかの学習活動を行っており、学習で獲得した実績や努力を正当に自己評価し、それまでの経験や体験を肯定的に捉えている。

・K 大学薬学部を出たというブランドは重要であった。それをやり切れる能力の保証というものが学歴にはある。ボランティアをしてきたという経歴も重要であった。心の拠り所は自分の能力。・・・エンパワーするには自信が必要。自尊心のない人間にはエンパワーできないのではないか。(E)

・心の拠り所は自分自身。いつでもかならず自分でなんとかできると思うから。自分の好きなことを少しずつ選択していると気がついたら小さな分かれ道が重なってすごい選択になっている。選択を単純な好き嫌いというよりもなぜ好きか嫌い、その判断材料を小さいときから身につけることが常識というものだと思う。「本当に好き嫌い判断できるということは結構常識がないと本当の好き嫌いは出てこない」(H)

・大学時代ミス〇〇など中身はないが、自分に対するラベルは結構いろいろとあった。そういう人の思っているラベルは何かむなしかった。自分が努力してやったことではなく、「だから、どうなの」と言われたときに何も無い。今度は、自分で努力し、魚もさばけるようになり、初めて自分の人生という感じがある。(C)

(2) 人間関係を重視

いずれも人間関係を非常に大事にしている。誠実に人とつきあうことで、人とのつながりが再就職や心理的危機を乗り越える転機のポイントとなっている。

・職業に役立つ学習は大学での聴講。先生方の人的資源とネットワーク。仕事をするうえで教えておいたほうが良いのは、他者とのコミュニケーション。人と接することの大切さ。

「人間欲」。ウェイトレス以外何でもアルバイトをしたという思いがある。アルバイト経験が豊かである。地域活動やボランティア活動を学生時代から行う。(D)

・人生で一番大事なものは人間関係。料理学校を通じて若い友達がいっぱいできた。(C)

・男性でも女性でもいろいろなことを情報交換しあえる友達はいいい。人生の中で大事なものは友人関係。人間関係はかなり慎重、合うか合わないかは様子を見てという感じだ。(G)

(3) 社会貢献・利他的姿勢

社会への意識が高く、社会貢献や利他的姿勢が見られるのも特徴である。利己的ではないところが、社会的に受け入れられ、他者からみていきいきと働いていると評価される理由になっているとも言える。

- ・現在の子どもに、食文化を通じて箸の持ち方、きれいな日本語、人を思いやる心、を教えたい。これから母親になる人に料理を教えたい。社会貢献は自分にとっては、子どもを育てること。子どもは社会に害にならず真っ当に育ったのでひとつの責任を果たしてほっとしている。次に子ども以外の人たちに食文化をつなげていきたいと思う。(C)
- ・社会に貢献していると感じるのは生涯学習の仕事をして出会った人、支援した人がエンパワーしているのも見るとき、達成感がある。人と人がつながる。役立って良かったと思う。(D)
- ・相談にこられた方に、「ありがとう」と言われることで自己実現した気がするので、慈悲の念ということでは、修道女になりたいというかつての希望がつながっているかもしれない。(B)
- ・社会に貢献していると感じるのは、仕事をしているとき。(F)
- ・仕事が全てではないが、仕事なしでは生きられないので維持していきたい。女性が仕事を維持するためのポイントは、自分の欲とのバランスで仕事に対する成就欲を持つこと、割り切って放り投げるのではなく、与えられた仕事は全力をもってやるということで、評価されてきたと思う。ただ、優先順位を考えるということは常にある。(G)
- ・50代に入ったばかりだが、着物を着ることも含め、自分の好きなことをより強く出しながら世の中の構造を変えていかなければならないと思うようになった。(H)
- ・薬剤師は、男と一緒に立つ立場なので男女差を考えないでやっていける。図書館長るとき、町長や教育長に「わたしを囑託にしてください」と言えたのは、いつ辞めても薬剤師という資格の強みがあったからだ。薬剤師の方が圧倒的に収入は多い。免許貸しもできた。地位やお金のために働いているのではなかったのも、図書館でも一番これが良いということをやっていた。(E)

1952年生まれで1970年代前半に大学生生活を過ごしたインタビュー者は、大学自体が政治的な動きに翻弄され、必然的に社会的な意識を持たざるを得なかったことに言及している。

ちなみに、1970年は「大阪万博開催」「光化学スモッグ発生」「三島由紀夫市ヶ谷自衛隊駐屯地での割腹自殺」「よど号事件」、1971年には「成田新空港反対闘争」、1972年には、「日中国交正常化」「連合赤軍浅間山荘事件」「沖縄日本返還」、1973年「米軍ベトナム撤退」「金大中氏事件（日本における誘拐）」「第四次中東戦争勃発」「第一次石油ショック」、1975年は「ベトナム戦争終結」と続く。この1970年代前半は、国内外の政治・社会状況が激しく変化した時代であった。このインタビュー者は、薬学部で学んでいたこともあり、大学生活の中で生物・化学の持つ社会的影響を深く考えた時期であったと述懐している。ひとつ上の先輩には、現在でもカネミ油症訴訟の座り込みをやっている薬剤師がおり、今の時代にはなじまないのかもしれないが、その当時もたらされた社会的バックボーンというものを感じるという。

・大学紛争の時代で勉強できなかった。学生運動はあの時代は運動をしない人でも意識する。大学をきちんと卒業しなかった男性、逮捕された人、優秀でも就職できなかった人たちがいる。ひとりひとりにバックボーンがあり、あの時代を生きた何かというものは持っている。政治、時代がリアルに動いているのが身近に感じられ、激動の時代だった。沖縄返還や安全保障ということを感じ、冷戦時代であったし日本がどちらにいくかわからなかった。有吉佐和子の『複合汚染』、レーチェル・カーソンの『沈黙の春』など生物と化学といった理系プラス人文ということを学べたのが大きかった。個人的恩恵から考えれば、バランスのとれた思考を養成するうえでも、大学での教養部を廃止して欲しくなかった。(E)

(4) 学習への意欲

模索的に子育てサークル、大学の聴講生、専門学校などで勉強している場合と資格取得目的のために学習している場合が見られた。いずれにしても、転機の前には、多くの学習がなされている。学習の結果として人とのつながりができて、直接、間接的に仕事へと結びついていく。

・結局 10 年お話の会の代表をやり、もう 10 年やったからそろそろ引退しなくては、後継者も育てきたしというときに、図書館の館長やたらという声がかかった。そのたびごとにスキルアップをしてきた。女性センター・生涯学習センターにやってきたとき、「スタートはあなたと一緒に文庫のおばさんだったのに、どうしてあなただけ出世したの？」と皮肉のように言われた。口に出しては言わなかったけど、心の中で、「悪いけれど、あなたたちは学ばなかったし努力しなかった。私は悪いけれど、ここ 20 年の間にこうなるべくしてきた。」と思った。勉強や学ぶということが大好きである。(E)

・資格をとってすぐ食べていけるといった考えは全然なかった。3つの資格の扱う領域が広く、依頼される仕事をこなしていると幅が広がってしまう。ある程度絞らないと質的に深くない。・・・一歩踏み出す場合は、自分は形が先立った。思いというよりも形であった。仕事につながると思って勉強しようと思ったが、勉強がくせになった。くせになる誘因は興味。良いものを提供してあげたいという思い。(B)

6. インタビュー調査を振り返って

以上、9名の生き生きと活躍している女性の再就職までの経路について、聴取した結果をまとめてみたい。

(1) 女性のキャリアパターン

女性は、他者との関係性に規定され、そのライフコースは、自分の意思決定が難しい場面が多い。職業選択についても、女性の場合は、いくつかのパターンが認められる。

第一に、医師、官僚、弁護士など、高い学(校)歴と資格により、男性と同等の立場で仕事を行う職種を志向する者である。この場合、労働市場は資格保有者だけに開かれており、資格すな

わち就職を意味する。このような医師、官僚、弁護士など男性と同様に職業継続を志向する女性は、通常、男性と同様のキャリア経路を経て男性と類似の職業アイデンティティを持つ傾向がある。このような層に属する人びとは、結婚、出産の有無を問わず、人生の早い段階で明確な自己定義と強いアイデンティティ感覚を持っており、さらに職業選択が自己定義を促していることが明らかにされている。

第二に、労働市場は同様に資格保有者のみに開かれているが、女性占有率の高い職業を志向する者である。たとえば、1995年の国勢調査で見ると、女性が9割以上占める職業は、「保健婦」「助産婦」「歯科衛生士」（100%）、「保母」（99.0%）、「栄養士」（96.3%）、「看護師」（96.2%）、「幼稚園教諭」（93.1%）といったものがあるが、このような職種は仕事の継続を希望する女子学生に早い段階から志向される。女性占有率の高い職種は、どちらかという知性ではなく感性によるサービスを提供する職種で、教育訓練時間が短く待遇向上などのために労働組合的機構を必要とする⁴「半専門職」と呼ばれるものである。このような職種は、職業威信は必ずしも高くはないが⁵、男性と競合しないゆえに出産・結婚にあっても比較的継続が可能との印象があり、女子高校生においても就きたい仕事として挙げられることが多い（表1参照）。また、資格・技術に裏付けられた「看護師」「薬剤師」「栄養士」「理学療養士」「介護福祉士」であれば、状況に応じて再就職可能な職業とのイメージもある。

職業選択の施行錯誤、危機体験と積極的関与を基準に職業アイデンティティ・ステータスを定義しているマーシャ（Marcia, J.E.）⁶によれば、職業アイデンティティは、①試行錯誤の末、職業を決定し自分の職業に深く傾倒している「職業アイデンティティ達成」、②職業選択に関して危機の最中にあり苦闘している「職業的モラトリアム」、③早期に特定の職業に傾倒しているが危機体験はない「職業的予定アイデンティティ」、④危機を通り過ぎたものと危機を経験していない場合もあるが特定の職業にコミットしない「職業アイデンティティ拡散」の4つに区分される。

このような女性占有率の高い職種を早く希望する者を「職業的予定アイデンティティ」ステータスと考えれば、職業・仕事の継続を希望する者の多くが、女性占有率の高い職業に早い段階から意識が固定されていくことが推察される。

第三に、一般職としての就職がある。結婚もしくは出産などでいったん退職し中年期に再就職するパターンである。女性の年齢と就業率をグラフにすると、日本の場合は30-34歳での女性の就業率が低く、年齢が上がると就業率が挙がるM字型カーブが特徴として挙げられる。そのような典型的な女性の就業パターンであり、先に述べた女子高校生の半数が希望するパターンである。インタビューした者の多くもこのパターンであり、大学卒業後就職するが、結婚や出産を機会に仕事をやめ、経済的状況にも恵まれていることから専業主婦になり、配偶者の海外転勤、育児、あるいはその後親の介護など、他人をケアするために時間が費やされる。時間に余裕

⁴天野正子「看護婦の意識と労働—半専門職の専門職化に関する事例研究」日本社会学会編『社会学評論』22巻3号、1972年

⁵これらの職業威信を1995年に行われた「社会階層と社会移動調査」（SSM調査）での類似職業で見ると、「最も高い」100、「やや高い」75、「ふつう」50、「やや低い」25、「最も低い」0の評価で、「小学校の教諭（先生）」63.6、「看護婦」59.7、「保母」52.9、「理容師（理髪師）」49.7、「パン製造工」44.6である。

⁶岡本祐子編著『女性の生涯発達とアイデンティティ』北大路書房 1999年 pp.14-15.

表2 職業の種類

	労働市場	対 象	職 種	仕事の継続
1	寡占	高学(校)歴・有資格者	医者、弁護士、官僚	中断は稀(男性と同じ処遇)
2	寡占	有資格者・女性占有	看護師、保育士、幼稚園 教諭など	資格を生かした再就職
3	競争	一般	一般企業など	再就職の保証なし(結婚・ 出産退職が通例)
4	競争	一般	自営・特殊技能に応じた 仕事など	継続・再開は随時

ができた時点で、自分の資質・能力、経験を活かす場を自分が見出すか、他人によって機会を与えられることで再就職する。

(2) 中年期の移行期の問題

40-45歳といった年齢段階は、心理的危機を伴うことが多く「移行期」という言葉で呼ばれる時期である。インタビュー者の多くは、子どもの育児がひと段落する40代前半に、「もう若くない、このまま朽ち果てたくない」、あるいは、「これからは自分の人生をもっと大事にしたい」といった、自己アイデンティティへの希求とその再構築への強い欲求が生じている。このような40代前半での人生への強い焦燥感は心理的危機を伴う移行期の時期と符号する。特に、子育てのために主として家庭にいる女性の場合、子どもの成育後まで自己アイデンティティを定義できない傾向があると指摘されている⁷。子どもが巣立った後に、虚しさや自信喪失、不安状態になることを雛鳥が巣立った後の空っぽの巣に例え「空の巣症候群」と呼ぶ。このような子どもが手を離れた後に生じる心理的な空白感は、子育て中に優先されていた母親としてのアイデンティティが、子離れの後、その役割を喪失したことに伴い、自己アイデンティティも同時に喪失してしまった状態から生じたものと解釈できる。

アスラニアンとブリッケル(Aslanian, C.B., and Brickell, H.M)⁸は、このような移行期が学習の動機づけに関係するという仮説を検証し、「成人にとって人生設計は、学習計画を知ることと同じである」と結論づける。アスラニアンの調査によれば、56%の者は、転職、解雇、昇進、停年などの「職業」に関わるライフ・イベントと、16%が結婚、子どもの誕生などの「家族」に関わるライフ・イベントと移行期が結びついて生じていた。また、調査対象者の83%がこの移行期の心理的危機を乗り越えるために、なんらかの学習を実施していたと言う。このことから、人生の中の節目となる移行期やライフ・イベントにおいて、それが深刻な心理的危機であればあ

⁷岡本祐子編著『女性の生涯発達とアイデンティティ』北大路書房 1999年 p.7. (O'Connell, A.N. 1976 The relationship between life style and identity synthesis and resynthesis in traditional, neotraditional, and nontraditional women. *Journal of Personality*, 44, 675-688.)

⁸ Aslanian, C.B., and Brickell, H.M. *Americans in Transition: Life Changes as Reasons for Adult Learning*. New York: College Entrance Examination Board, 1980.

るほど、意味ある学習を生じさせる。学習とは、それ自体が前向きで積極的な行動であるが、同時に学習は心理的危機を克服する契機でもあり、学習者のその後の人生を規定するものであると言えよう。

インタビュー者でも、この移行期に、料理専門学校、大学の聴講生、あるいは、図書館設立運動などの市民活動での学習を通じて、人と知り合い仕事に結びつくチャンスや機会を獲得していく。共通して言えることは、人とつながる場、チャンスを得る場として学習の場があり、また同時に、学習を通じて自己理解を深めていることである。そして、性格特性は細部で異なるものの、生きることへの誠実さや真面目さが見られ、ひととの間に信頼関係を築きあげることがその後の人生の展開に結びついている。このことは、キャリア教育という言葉が、一見、技能や資質の育成として捉えられがちなか中であって、人間性や共感性といった情緒的な側面の重要性と学習することへの前向きな姿勢が仕事への機会をもたらすことをあらためて明示するものである。

女子高校生の約9割が子どもを持ちながらも働く意志を持ち、そのうち約半数は子育てがひと段落した頃に再就職を希望している。再就職を想定する場合は、看護師、美容師などの半専門職と言われる職業の再雇用可能性は高いであろう。しかし、女性の場合、配偶者の仕事の状況や子育てなど他者との関係で人生設計が規定されることを想定すると、職業を戦略的に想定し人生設計を立てることは、男性ほど容易なことではない。男性は、労働市場の動向に就職が左右されるとはいえ、自立的にキャリアを選択する余地は大きく、また、その人生設計は職業を中心に一定の想定されたパターンを描きやすい。女性はときに他者との関係性の中でライフコースの軌道修正を求められる。そのため、女性には、想定されがたい多様なライフコース上の展開があり、キャリア形成は一様ではない。その多様であり一律ではないライフコースにあって、特に自分のおかれた環境をいかしながら、自己のアイデンティティを再構築し、自分の人生を形づくっていくことが求められるのである。

このことは、生涯の視点を入れた広い概念を用いて現在行われようとしているキャリア教育に、男性とは異なる関係性の中で自己アイデンティティを形成していく女性の特性、あるいは、再就職を想定したキャリア教育の視点が、さらに踏み込んで必要であることを示唆するものと言えるのではないだろうか。

【参考文献】

- ・天野正子「看護婦の意識と労働—半専門職の専門職化に関する事例研究」日本社会学会編『社会学評論』22巻3号 1972年
- ・ダニエル・レビンソン（南博訳）『ライフサイクルの心理学』講談社学術文庫 1992年
- ・岡本祐子編著『女性の生涯発達とアイデンティティ』北大路書房 1999年
- ・エルダー,G.H.・ジール,J.Z.(正岡寛司、藤見純子訳)『ライフコース研究の方法—質的ならびに量的アプローチ』明石書店 2003年
- ・メリアム,S.B.・カファレラ,R.S.(立田慶裕・三輪建二監訳)『成人期の学習—理論と実践—』鳳書房 2005年

Ⅲ－３ 転職経験を肯定的にとらえている男性に共通する要因

帝塚山学院大学大学院人間科学研究科助教授

藤 田 博 康

1. はじめに

これまでの日本人男性にとっての典型的なキャリア発達のあり方は、終身雇用という前提のもと、ある一企業の中でどう自分を生かし、キャリアを積み上げていくかというのが主流であったと思われる。しかしながら、今や、終身雇用制度自体が揺らぎつつあり、「リストラ」や「フリーター」、「ニート」など、世代を問わず増加する離転職が社会問題化している。

これまで離転職を伴うキャリアは、特に男性の場合、どちらかという特殊なケースととらえられてきた感があるが、昨今の社会情勢を鑑みるに、たとえ男性といえども、離転職による充実したキャリアとはいかにあるべきかということを、より身近なものとして考えるべきときにきているものと思われる。したがって、本研究では、その観点から何らかの有益な知見を得ることを目的として、離転職経験を肯定的にとらえている男性5名とのインタビュー調査を行い、彼らに共通する特性について考察する。

2. インタビューの概要

(1) Aさん(28歳) インターネット広告関連会社勤務

～世間の価値観に流されない生き方～

Aさんは、外資系インターネット広告関連会社勤務。28歳、独身。さわやかで礼儀正しい青年であり、2時間を越えるインタビューだったにもかかわらず、疲れた表情一つ見せず、逆に、インタビューアーを気遣うなど、配慮の行き届いた誠実な人物という印象を受けた。以下は、Aさんが自らのキャリアについて語った概要である。

【学校時代】

小さい頃は漠然とパイロットとか、会社の社長になりたいか思っていた。中学から高校にかけては、いい大学、いい会社に入って安定した生活をしたと思うようになった。学歴志向が強い親の影響が大きかったと思う。

高卒後、受験に失敗し、とりあえず予備校に通った。でも、大学生になった友達から、「教員は授業に遅刻が当たり前」とか、「ろくに出席せずに、遊びとバイトで卒業できる」などと聞き、そんなところに進学してもしょうがないという気持ちが強くなった。

【引越会社勤務から留学】

翌春、大学進学に見切りをつけ、高校のときにアルバイトをしていた引越業会社に日給制の非正規社員として就職した。正社員になりたかったので一生懸命に、少なくとも人の倍は働いたと思う。でも、2年経っても依然として給料は安く、正社員にもなれず、将来への不安も募り、いつ見切りをつけようかと思っていたときに、アメリカの短大の宣伝が目にとまり、それに飛びついた。

渡米してしばらくは安宿に泊まってホストファミリーを見つけた。何もかも準備された留学は嫌だった。最初は、英語がわからなくて泣きながら授業を受けていた。心細くて日本に帰りたいもなったが、極力、日本人とは固まらないようにした。そのうちに周囲のアメリカ人が助けてくれるようになった。

渡米以後、将来は自分で会社を起こしてみたいという気持ちがより強くなった。短大では、専攻としての「起業学」こそなかったが、キャリア・インターンシップが充実しており、大学の教員が設立したベンチャー会社を半年程度手伝った。とてもやりがいがあった。

【恩師との出会い】

留学経験が自分を大きく変えてくれた。特に、現地のテコンドー道場の先生との出会いは決定的だった。50代で黒人のその先生は、貧しい生い立ちながら、努力して弁護士、医者資格を取り、自分の可能性をとことんまで追求する人。同時に利害関係にとらわれず、与えられる限りのものを人に与えようとする人でもある。そんな先生に自分も本当に助けられた。死ぬまでにはいつしか先生のような人物になりたいと思う。

【帰国、再就職、転職】

短大卒業後、日本のマーケティング・リサーチのベンチャー会社に就職した。米国で学び体験したことが生かせるだろうし、社会のトレンドや経済界の情報なども得られるだろうと思った。そこでは、顧客に役立ちたいという姿勢で、自分にできることを親身になってやった。商売といえども、一方的に売り込むというのは好きではなく、こちらが持てるものを利用してただこうと誠意を持って対応した。リサーチを担当するパートナーの力量にも恵まれ、次々にリピーターがつき、営業成績も目標としていた上司を超え、給料もかなり上がった。

しかし、同時に、仕事がある意味ルーティーンでこなせるようになると、自分の成長や伸び率が鈍化しつつあるという危機感が募ってきた。加えて、経営者の方針や能力などにも疑念が沸くようになり、退職を決断した。

安定を求めるよりも、常にチャレンジし、自分を高めたいという信念を貫き通したかった。また、これまでの営業面などでの実績から、たとえ辞めても就職先はすぐに見つかるだろうという自信もあった。4年制大学卒の資格もあったほうがよいと考え、空いた時間を利用して通信制の大学で経営学を学んだ。

その後、コンサルティング関係の会社に再就職した。しかし、そこは3日間徹夜もざらで、社員が毎朝嘔吐しているようなところ。自分には無理だと思い1ヶ月で見切りをつけた。その後は、当面、派遣社員として電気メーカー会社で働きながら大卒資格を取り、インターネット広告関連の会社に正社員として就職した。自分の営業やマネジメント能力、語学力などが生かせ、伸ばせるだろうと思いそこを選んだ。

【家族について】

父は一流私大卒で航空会社勤務。母は専業主婦。父は厳格で学歴志向も強く、自分が大学に行かないと決めたときも、当然、猛反対した。でも、その後の自分の生き方を見て、価値観が少しは変わってきたんじゃないかと思う。母ともあまり個人的なことは話さない。自分のキャリア形成に親の直接の影響はない。ただ、小さいころからよく海外旅行に行っていた。外国への親近感はそのおかげだと思う。

今はアパートで一人暮らし。今の自分に大切なのは、結婚による安定よりも、チャレンジし、自分の能力を最大限伸ばすこと。長く交際した女性もいたが、結局別れた。そんな自分を理解し、尊重してくれる女性と出会えば結婚したいと思うけれど、あまり寂しいとか、孤独だとか、誰かに頼りたいとか思わない。

【将来の夢】

将来の夢はやはり起業。経営の大変さがわからないわけではないが、自分の力を試すという意味でも、経済的な意味でも、仕事を通して社会に影響を及ぼすという意味でも魅力がある。ある程度、お金を稼いだら、早いうちにビジネスの第一線を引退して、悠々自適の生活を送ったり、NGO などの環境保護団体のマネジメントをするなど人の役に立ちたいとも思う。今は、ある程度、利益追求という目標もあるけれど、最終的には社会に何らかの貢献をしたい。いずれは死んでいくのに、お金もうけばかりでは寂しい。

【キャリア発達に大切なこと】

いい大学、いい会社が唯一の価値観ではだめ。多様性というか、いろいろな価値観を認められることが大切。そのためにはまず、教育にかかわる人たちの価値観が柔軟になる必要がある。アメリカと比較すると日本では、目上の者が子どもや若者をほめたり、認めたりすることが少なすぎる。能力のある人でも、日本の組織ではそれがうまく生かされず、辞めてしまったりすることも多いだろう。日本なら「馬鹿な発言をするな」と否定されてしまうようなことであっても、アメリカではそれをユニークな意見と尊重してくれる。だから、自信も積極性も沸く。日本の学校教育は、子どもを否定することが多すぎる。自分自身の経験でも、何でこんな人物が教師をやっているんだろうと思うような人が多かった。

【生きる姿勢】

いままでの自分の生き方に後悔はない。日々、失敗はあるけれど、それも自分の責任だし自分の経験。人生は1回きり。単純に大学に行かないで、いろいろな経験をして、いろいろな人と知り合えたことが確実に今の自分の力になっている。自分の能力はそれほど高くない。でも、決めたことには自己責任で積極的に取り組み、周囲の人にも支えられてここまでやってきた。今の青年は、何もかも与えられていることを当然の権利だと思っている。住む家があり、学校にも行かせてもらい、小遣いまでもらえて、それでも足りないものがあるとまだ不満に思う。世の中には苦しい境遇の中にあっても、それを受け入れ、前向きに生きている人もいる。自分のおかれた環境に感謝し、そこを出発点にして、自分を高めていこうという姿勢を、子どもたちにどう身につけさせていくか。それが今の教育の大きな課題だと思う。

～Aさんとのインタビューを終えて～

いい大学からいい会社へという価値観に疑問を持ち始めたときから、Aさんは独自のキャリアを歩み始めた。その根幹にあるのは、世間的によしとされる価値観に流されず、自分の力を着実に伸ばしていこうという姿勢である。安定志向にとどまらず、常にチャレンジと自己成長を求めていくAさんを支えているのは、努力をいとわない勤勉性と、何とかなるという自己効力感である。ゆえに、逆に仕事が自分に合わないと感じたら、短期間で辞めて、次を見つけようという切り替えもできる。状況が悪いときも決して自分を否定しないという態度は、恵まれ

た能力の高さによるというよりも、地道な努力の裏づけによる自分自身への信頼によってこそ実現されるのだろう。

インタビューで多くは語られなかったが、親も含めた社会の価値観に屈せず自分の生き方を追求するには、苦渋の時期も少なからずあったはずである。そのような状況において、師と仰ぐ人物をはじめとした他者との出会いによって助けられ支えられた経験を持つAさんが、仕事においても誠意を持って相手に対応することを心がけ、結果的に成功を収めているということは、仕事を通じての自己実現のためには、利他性というものが一つの鍵になることを示しているよう。

(2) Bさん(34歳) 測量事務所勤務 測量士補

～現実の厳しさの中での自己実現～

Bさんは測量事務所に勤務する測量士補、34歳。独身。高校卒業後、製造業関係の会社で約10年間働いたが、不景気の影響で、給料は上がらず、ボーナスはカットされるなどの状況に陥り、転職に踏み切ったという。「若者、中高年を問わず、現実の厳しさの中で、生活の糧を得るために、頭を下げて一生懸命働いている人たちがいる」と訥々とした口調で語るBさんからは、仕事面においても、人柄においても信頼に足る人物といった印象を受けた。

【学校時代】

小学のときになんとなく「大工」になりたいと思っていたが、その後は、何の仕事に就こうかなどと真剣に考えたことはなかった。中学、高校と地元の学校に通い、高校を卒業して周囲と同じように就職した。当時、特別、何かやりたい仕事があったわけでもなく、高校に来ていた求人先の中から、単に家を出たいという理由で、寮のある会社を選んだ。

学校教育は、仕事選びにほとんど関係ないと思う。学校は、結局、成績で生徒を輪切りにし、Aランクが進学校に、Bランクが普通校に、Cランクが職業科にと選別するだけ。高校でも具体的な職業指導はほとんどなく、自分で求人票を見て会社選びをした。

【10年間の会社勤務】

最初の会社は、仕事はそれほどきつくなく、時間もだいたい5時に終わり、その後、趣味のスポーツができるなどの余裕があった。しかし、最後の頃は不景気の影響で、給料がまったく上がらなくなり、ボーナスもカットされ、先が見えないという閉塞感が強くなった。また、実際の仕事の内容は、誰がやっても変わりばえしないものだったので、「自分はこれをやっている」と胸を張って人に言えるような仕事、自分ならではのかけがえのない仕事がしたいという気持ちも強かった。

【退職、職安通い、再就職】

ちょうどその頃、高校時代の友人から「測量」の仕事の話聞き強く興味をひかれた。働きながら通信教育で測量士補の資格を取り、職安に行って、付近の測量事務所の求人を探した。しかし、測量関係の求人は都市部にしかないということがわかり、思い切って退職して、まず都会にアパートを借り、そこから職探しをした。

半年間、失業手当をもらいながら、レストランでアルバイトをして、職安に通うという生活だった。職がなかなか見つからず、さすがに途中で不安にもなったが、自分のやりたいことを

したいという気持ちが強かったので、後悔はなかったし、いつかはなんとかなるだろうと思っていた。

自分には実際の測定の経験がなかったので、就職先が決まるまでに、求人先への電話での問い合わせや、面接をそれぞれ 10 回以上も繰り返した。今思うと、職安の求人は、主に、前の人が続かなくて辞めていったところへの補充なので、それだけにきつい仕事。また、求人票に記載されている条件と実際の勤務実態は別物。だから、職安で仕事を見つけるよりも、コネや知人などの紹介で就職できれば、はるかにそのほうがいいと思う。しかし、自分も含め現実的にはそれがかなわない人も多く、不運にもたまたま会社が倒産してしまった元社長さんなど、立派な人たちも職安に通ってきている。世間的に、職安に通ってきている人たちに対しては、あまり良くないイメージがあるが、決してそんなことはない。

【仕事を任されるやりがい】

約半年後、ある測量事務所に就職できた。ただし、そこでは、あくまでも助手扱いで、やりたかった実際の測定の仕事もあまりやらせてもらえなかった。途中で給料の支払いも滞ってきたので、そこは見切りをつけ、職安で別の測量事務所の口を見つけてから辞めた。今度は、ある程度の実務経験があったので、前よりは早く仕事を見つけることができた。

今の仕事は、平日は夜 10 時頃まで働きづめ、土曜日も一日中仕事で体的には非常にきつい。求人票にはそんなことは書いてなかった。でも、自分に仕事を任せてくれるので、とてもやりがいがある。最初はわからないことも多かったが、自分で調べたり、人に聞いたりして乗り切った。同僚にも若い人が多く、職場の雰囲気も良い。

【社会の不平等さ】

今は測量士補なので、早く測量士の資格を取り、名実共に一人前になりたい。もう、現場の仕事に不自由することはないが、測量士の資格がないことで肩身の狭い思いをすることがある。

試験勉強のために、前の職場では毎晩仕事帰りに図書館に通っていた。今は、平日はどうしても帰りが遅くなるので、日曜日にまとめて勉強するようにしている。けれども、なかなか合格できない。もし、大学で関連科目をいくつか履修していれば、2、3年の実務経験で簡単に測量士になれる。大卒の若い人などより、実際は自分のほうが仕事ができるのに不公平だと思う。だからといって、それを不満に思っても始まらない。自分は自分として、少しでも勉強できる時間を見つけて、必ず合格したいと思っている。

【将来の夢】

当面、今の職場で経験を積んで、測量士の資格を取り、いずれは独立して測量事務所を持ちたい。努力すれば可能だと思っている。今、例えば、フリーターでお笑い芸人を目指している人などもいるが、自分の夢は、そのような非現実的なものとは違うと思う。

【キャリア発達に大切なこと】

やはり、人との出会いや人間関係が大切だと思う。自分は会話うまくないし、シャイで人づきあいも得意ではない。でも、なるべく積極的に人と接するようにしている。測量士を目指すようになったのも、今の自分があるのも、公私ともども、いろいろな人に支えられたり、目をかけてもらったりしたおかげ。

また、社会人になったら我慢ができないと話にならない。今、仕事をすぐ辞めてしまったり、

働かなかったりする人が多いのは、不景気ということも影響しているとは思いますが、若い人は一般的に考え方が甘く、しなければならぬ我慢ができないということも大きいと思う。現実の社会は厳しく、中高年の人たちはきつい仕事に文句一つ言わず、自分より年齢の若い人に頭を下げながら、一生懸命に働いて生活の糧を得ている。自分はその姿を見ていつも励まされている。

～Bさんとのインタビューを終えて～

特に、熟考して仕事を選ぶということもなく、周囲が就職するからと高卒でなんとかなしに就職したBさんの経緯は、ある意味、多くの若者が共有する一般的な就業プロセスかもしれない。当初、職業生活にそれなりに適応し、余暇なども楽しんでいたBさんだったが、不景気の影響で経済的、将来的な閉塞感を抱くようになり、同時に、自分自身ならではのかけがえのない仕事をしたという自己実現欲求も高まり、測量士を目指して会社を退職した。その後、測量事務所に就職し、仕事は非常にきつい中でも、上司に信頼され仕事を任されているという充実感と、測量士試験に合格したうえで、将来はできれば独立したいという現実的な目標が、Bさんの毎日の活動を支えている。その基盤には、やはり、現状の自分をきちんと認め、受け入れ、その上で着実に努力していくことにより、将来はそれなりに開けていくと思える自己効力感がある。だからこそ、不況という社会的情勢による閉塞感を、逆に自己実現のきっかけへと転じ、職がなかなか見つからないという不安状況にあっても、自己への信頼を失わず、適度の楽観性を保持し続けられたのだと思われる。

決してエリート路線に乗っているわけではないBさんが、ともすれば不平等な現実に向かい合い、その中にあっても自分の持てる力を最大限生かそうと前向きに活動し、自分なりの目標に向かって歩みを進めているその姿は、現代の多くの青少年の優れたモデルになりうるであろう。

(3) Cさん(38歳) 法人不正調査関係会社役員

～安定からやりがいとしての責任へ～

Cさんは、法人不正調査関係会社の役員、38歳、既婚。国立大学外国語学部を卒業後、銀行員として15年間勤務した後、新宿新都心にある現在の会社で、我が国に不正調査士資格制度を導入するなどのプロジェクトの総責任者として精力的に活動している。インタビューでは、聞き手の知りたいと思うことを的確に汲み取った上で、分かりやすく応答しようと配慮するなど、コミュニケーション能力の高さが印象に残った。

【学校時代】

小学のときからサッカー選手になりたいという夢があった。全国高校選手権出場を目標に高校までサッカーを続けたが、次第に現実が見えてきて、結局、大学進学を考えるようになった。中学の初めての定期試験で英語の得点が結構よく、それから英語が得意科目になった。高校に入学し、外国人の先生に英語で質問をしてみたら、くだらない質問にも答えてくれた。日本語以外の言葉でコミュニケーションがとれた初めての体験で、今でもそのときのことを鮮明に覚えている。

外国語学部を選んだのは、純粋に語学に興味があったから。大学では、いろいろなことを積極的にやってみようと思い、サッカーのほか、音楽鑑賞や美術鑑賞、塾講師や家庭教師などいろいろやった。

【自分を変えてくれた出会い】

アルバイト先の私塾は自分が中学のときに通っていたところだが、その経営者や先輩に個性豊かな人達がおおり、とても影響を受けた。自分は、中学まではいわゆる優等生的というか、周囲から自分がどう見えるかといった自意識が過剰だった。高校でも人づきあいは不器用、集団が苦手で、ちょっと偏屈というか、あまり多くを語らないタイプだった。その塾でアルバイトし始めたときも、自分とあまりにも違うタイプの人たちと一緒にいるのが苦痛だったが、しばらくして、趣味でも何でも、何か一つのことに関しては人後に落ちず、徹夜で語り合えるような型破りで個性豊かな大人たちと接することが楽しみになった。その人たちとの出会いが、殻に閉じこもりがちな自分を大きく変えるきっかけだったと思う。今は、若者を導いてくれるような個性的で魅力的な大人が少なくなっている。それが、他者との交流を避けがちで、活力に乏しい若者が増えている一つの理由だと思う。

【就職、留学、海外勤務】

就職活動は大学4年から。当時、特定の女性との結婚を考えていたので地元の銀行を選んだ。金融業への就職は特段、希望していたわけではないが、当時は、勢いがあったし、うまく行けば海外勤務もできるだろう考えた。海外に行きたいという思いは強かった。

就職して5年目に社内の留学試験に合格し、米国の経営大学院に2年間留学しMBAを取った。その後、英国の支店に3年勤務し、帰国後は人事部に配属された。新人研修や新人採用などが主な業務で、若手の教育や学生との交流などやりがいのある仕事だった。また、退職に悩む社員らとの相談を担当したことで、キャリア理論に裏打ちされた援助の必要性を感じ、勉強してキャリアカウンセラーの資格を取得した。その後も、キャリア開発の研究会に積極的に参加し、若者のキャリア支援をボランティアで行ったりしている。

【帰国から転職へ】

その後、4年の人事部勤務を経て、管理職として支店に配属された。久しぶりの現場では、どうしても、人員削減、リストラ、成果主義、国際業務からの撤退など金融業のかげりを意識させられた。これまでは、銀行員といえば、いずれは送迎車付きの支店長になって、収入も確定申告という一般的な目標があったが、今や支店長といえども、たいした権限はなくなり、下働きの業務も多い。加えて、長く実務を離れての現場復帰で、自分の力をうまく発揮できないという悶々とした気持ちもあった。

ちょうどその頃、知人であった今の会社の社長から誘いを受けた。英語で確実にビジネスができる人を探しているということで、自分を真剣に誘ってくれた。もちろん、生活の安定という面では不安がないわけではなかったが、海外との接点を持ちたいという思いと、自分の能力を発揮して責任や権限のある仕事をしたいという気持ちから、転職に踏み切った。

今の法人不正調査関係の仕事は、自分がやりたいようにできるので、すべてが自分の責任という意味においても非常に充実している。提携の組織は10カ国以上で、国際的な接点も持てるし、なによりもこの分野においては日本を代表しているという使命感と醍醐味を感じる。

【将来の目標】

当面、今の仕事できちんと結果を出すことが目標。法人クライアントの獲得、不正調査士の資格試験や研修制度の充実、良い人材の確保等、課題は多い。その先のことは、あまり考えていない。息子が就職してくれさえすれば、後はどうにでもなるという気持ちだ。

自分は組織のトップに立つほどの人間ではないと思うし、そうすると、自分に変なプレッシャーをかけてしまう。最終的には組織から独立して、自分の腕一本で食べていけるインデペンデントが理想。一番大切なことは、自分の能力や考えを十分に生かしたいということ。大きな組織だと根回しとか人間関係などいろいろ大変。そんなところに労力を使いたくないという思いがある。

【家族について】

父は化学関係の技術師、母は専業主婦で、二人ともそれほど学歴志向も高くなく、自分の大学選び、職選びに親の影響はほとんどないと思う。しいて言えば、母が少し英語に興味があり、よく「何か一つは極めなきゃねえ」とっていたことぐらい。

妻とは就職して2年目に結婚。しばらく共働きだったが退職して専業主婦となった。今は仕事がとても忙しく深夜の帰宅もざらなので、妻が家にいてくれて助かっている。妻は、家のことをきちんとこなすのが性に合っているといい、私立中学進学を目指す息子の受験も妻に任せている。だから、少しでも時間を見つけて、積極的に妻と話をしたり、子どもにいろいろな経験を体験させてあげようと努めている。

息子には、何の仕事に就いてほしいという特段の希望はないけれど、父親が意義ある仕事をしている姿を見て、それが何らかの形で心に残り、将来、自分なりにしっかりと職業を選んでいてもらいたいと思う。ただ、何か一つは自分なりの強みを持ってほしい。

～Cさんとのインタビューを終えて～

銀行という大企業に勤め、当初の希望通りに海外留学や海外支社勤務などを実現させ、組織内での評価や将来性もおそらく高かったであろうCさんだが、より責任ある立場で、自分の力を生かしたいという思いから、世間的な「安定」を捨て、新しい仕事にコミットしていった。そこには、Cさんの一貫した海外志向と、主体的な自己実現志向、そして、それらを可能にする勤勉性や自己効力感が基盤として存在している。

もともと人づきあいが得意ではなかったというCさんだが、個性的な大人たちとの出会いを通じて、他者との交流の大切さや、単なる社会的地位や学歴を超えた人間として大切な何かを実感し、自分自身を変えていった。その後の豊かな人間関係が、Cさんの転職やより一層のキャリアの充実を実現させていることはいまでもない。

豊かなキャリア生活のためには、対人関係能力が大切とされているが、Cさんの例は、たとえば、もともと社交的という資質を持った者でなくとも、自分とは違うタイプの人々との接触を避けずに、真剣に他者と付き合っていくことで、自分を支えかつ成長させる人間関係に開かれるということを示していると思われる。その上で、多方面の事がらに積極的な関心を持ち、社会的貢献をも視野に入れながら、自分の力を最大限生かしていこうという姿勢は、多くの転職成功者に共通するものであろう。

(4) Dさん (54歳) 大学福祉学科教員

～実存的に生きるということ～

Dさん(54歳)は、我が国における医療ソーシャルワーカーの草分け的存在である。生後6ヶ月でポリオに罹患し、以来、両下肢の麻痺を抱え、身体的には不自由な生活を余儀なくされているが、きさくな親しみ深い人柄で、自分の体験が少しでも役に立つのならばと、インタビューにも献身的に応えてくれた。

【学校体験】

親兄弟や友人に助けられて、なんとか小学校を卒業できたが、中3で地元のリハビリセンターに入院し、8回もの手術を受け、卒業が1年遅れた。同級生は皆、高校生になっていたし、身体的にも普通高校に通う自信がなくなっていた。そんなとき、リハビリセンター内分校の先生に、東京の国立大附属養護学校高等部への進学を薦められ、思い切って親元を離れ上京した。肢体不自由のエリートを育てるという方針の学校で、自分もエリートクラスに入ることができた。

しかし、入学してみると、エリートクラスとそうでないクラスへの学校や教師の対応には明らかな差別があり、それに強い憤りを感じ、職員室に抗議のビラを撒いたりした。自分はエリートクラスではあったけれども、同じ寮の仲の良い友達が下のクラスで差別的扱いを受けていたり、エリートクラスを担当する教員が他のクラスの教員を馬鹿にしたりする光景には耐えられなかった。これ以上、この学校に居たくない、親に無断で高校を中退し地元に戻った。親は泣くし怒るしだった。その後、農家と漁師の子どもばかりが行く地元の高校に編入した。英語の教科書に福祉の話が出ていて、教師が、「目くら」とか「障害者」などと、まったく配慮なしに訳していた。体が震え上がるようなコンプレックスを感じ、教室にいたたまれなかった。それが高校のときの自分だった。

【浪人生活】

高校卒業後は大学進学を目指して再び上京し予備校に入ったが、東京は本当に淋しくて嫌だった。受験勉強などそっちのけで、小説や自殺論などの本を読み耽っていた。教会にも通ったが、牧師に向かって、「こんなところで平和がきますよ」とか言っているけれど、どうしてスラムなどの貧しい地域で布教しないんだ。」などと反抗して口論になった。「いっそのこと、研究材料にでもなってみっか」という投げやりの気持ちで、東京を離れ、学費が安い私立の福祉系の大学に「不本意入学」した。

【価値観の転換】

大学に入った頃は、すぐにでもやめてしまいたいという気持ちが強かった。しかし、福祉を学ぶ過程で半年くらい経って、自分の中に大きな価値の転換があった。歴史上、障害者は長らく「非人」扱いされてきた。だから、自分のことを、おかしい奴とさげすみ、街中でじろじろ見る人がいても仕方がないのかもしれない。ならば、自分の強い劣等感も悩みも至極当然のもの。そのようなとらわれも自分に能力があるからこそなのだ。まずそれを認め、受け入れた上で、歴史や世の中の見方を変えていく努力をしていこう、と。また、大学では友人にも恵まれた。心を開いて接触していくことで人からの偏見はなくなり、自分を平等に扱ってくれるというこ

とを実感できた。それ以前は、自分の殻に閉じこもり、本気で人とかかわってこなかったと思う。結局、人が生きていくには 3 通りしかない。自分の境遇を泣き恨みながら生きていくか、肩書きや地位、名誉を求めて無理して生きていくか、自分を客観視して受け入れて生きていくか。自分は、最後の生き方を選び取った。それからというもの安心して生きられるようになった。

【フリーターから就職へ】

大学卒業後は、知的に制約がある男子中学生の家庭教師をしばらく続けていた。今でいうフリーターのようなもの。当時、就職先がないことはなかったが、その子の面倒を見る人が他におらず、自分がここで放り出してしまうわけにはいかないと考えた。その子は勉強はできなかったけれど、植物の図鑑を肌身離さず持っていた。「あなたは、花に関してはすばらしいものがある。無事、高校を卒業したら、花の仕事に就きなさい」と話してあげていた。何年か経って忘れた頃に、今、花栽培の仕事をしていると鉢植えを持ってきてくれた。

その家庭教師が終わってしまうと、なかなか仕事も見つからず、再び東京に戻り、私塾の講師としてアルバイトをした。事情のある家庭の子どもや、ひとくせある同僚たちばかりだったが、そこでの毎日は今思えば楽しかった。ハンデを背負い、「でき」の良いとはいえない子どもたちに、いかにわかりやすく教えるかという工夫をいろいろと考えた。その体験は、今の教員としての仕事に大いに役立っている。

大学卒業から 2 年後にやっと公立病院の初代ソーシャルワーカーとして就職できた。長い間、目標としていた仕事だったが、病院では医師が絶対で患者などには人権がないに等しく、ソーシャルワーカーも冷遇された。辞めようかという気持ちが心をよぎったが、今ここで自分が逃げ出したら、医療ソーシャルワーカーの発展が途絶えると自分に言い聞かせ踏ん張った。その後、徐々に、病院に専任の医療ソーシャルワーカーを配置する動きが全国に広まっていった。事務所の片隅での活動で、専用の面接室などは 9 年間もなかったが、自分のやってきた仕事になんとか自信が持てるようになった。

【大学院進学から転職へ】

その後、全国各地のソーシャルワーカーの研修など指導的な役割も担うようになって、逆に、自分の力のなさを実感した。もっと仕事の質を高めなければ、もっと学ばなければ、自分をもっと成長させなければという思いが強くなり、社会人大学院に入った。そこでは、患者の心理などが学べ、いろいろなことが自分なりに整理できた。実際、患者やその家族は、受傷のショックや悲しみで対処能力が落ちる、短期記憶もあいまいになる、自己概念がゆがむ。そんな患者や家族にどう対応すべきかを考えることができた。

一方で、現場には大学の福祉学科を卒業したばかりの若いソーシャルワーカーが入ってくる。自分は 10 数年かけ、いろいろな経験や勉強を積んでようやく一人前になれたが、今でも大学 4 年間の教育で、何一つ、実践的な教育や訓練はなされていない。学問と現場実践のはなはだしい乖離を目の当たりにして、このままでは専門職としてのソーシャルワーカーの発展が危ういのではないかと感じ、自分の経験を生かして専門家養成教育の充実を図りたいと、地方の私立大学福祉学科教員に転職した。大学では、これまでの自分の経験を活用した実践教育に力を入れており、多くの学生もそれについてきてくれ、他のさまざまな活動も含めて毎日が充実して

いる。遠回りですいぶん時間がかかったが、医療ソーシャルワーカーの道を選んで本当によかったと思う。

【家族について】

自分の職業選択に両親の直接的な影響はないと思う。ただ、母が幼い自分を背負って線路上を歩いていたときに、見ず知らずの人に助けられたという。父は当時、地位の高い家柄の出で、その嫁が障害を持った子を産んだというつらさもあり、母は死を考えたのだろう。しかし、それを助けてくれた人がいた。医療ソーシャルワーカーの仕事ではまさにそれが再現される。患者やその家族の初期の危機的な状況をいかに援助するか、それが自分の一生のテーマになっている。

妻は、老人施設で働いていたが、夫の転職・転居に当たって仕事を辞めた。娘二人は元の家に残っているが、以前から家を出たいといていたので、親がいなくなってせいせいしていると思う。

【仕事を決めた人との出会い】

中3のとき友達のほとんどが高校を受験し、自分も進学したいと、いろいろなところに問い合わせたが、歩けないことを理由にすべて受験を拒否された。結局、中学卒業を1年延ばしリハビリセンターに入院したが、そこで出会った主治医が、「君を今まで放り出していた医者たちはいったいなんだったんだ。君の足を長時間の通学・通勤にも耐えられるようにしてあげるから手術やリハビリにがんばって耐えろ。海外には医療ソーシャルワーカーというとても大切な仕事がある。君ならきっとなれる。」と言い聞かせてくれた。この先生との出会いなくしては今の自分はない。

～Dさんとのインタビューを終えて～

身体的な不自由さを抱えてきたDさんは、少年時代から既に、世間の俗な価値観との対峙を余儀なくされた。おそらく自身の境遇ともあいまって、この世はいったい平等なのか、もし神が本当に存在するなら何ゆえ不幸があるのかなどといった根源的な問いと格闘する日々であったろう。しかし、その闘いの過程が、半ば投げやりに進学した大学で、自分自身の置かれた境遇も、社会からのさげすみの目も、すべてを客観的に受け入れ前向きに生きていくといった価値の転換となって結実した。以後、人に対しても心を閉ざして構えることもなくなった。

一方で、この世の中には、病や受傷など自分に責任のない不幸や、誠実で真面目な人であっても、さまざまな事情で正当な評価や待遇を受けられていないといった差別が山ほどある。そんな不平等や、不公平を決してないがしろにせず、弱者の立場に立ち、助けていこうというDさんの一貫した姿勢、生き方が、まさに医療ソーシャルワーカーという仕事に活かされている。個人の実存的な経験が、豊かな体験へと通じ、仕事を通じて広く人のため、社会のためへと昇華される。それは、最も理想的なキャリア発達プロセスといってよいであろう。

(5) Eさん(57歳) 食品関係会社役員

～自ら努力するリーダーとして～

Eさん(57歳)は大手食品関係会社の取締役副社長、既婚。大学院理工学研究科を修了後、大手電気メーカーに就職し、海外事業など重要なプロジェクトを担当。約20年間勤務した後、通信事業、コンピューター関係、人材派遣会社などを歴任あるいは創業し、携帯電話の新システムや新人事評価制度の導入、通信事業の立ち上げなど創造的な仕事を数多く成し遂げてきた。若者とのふれあいが好きで、若い人を育てることが自身のライフワークと話し、現在の会社でも後継者の育成が大きな役割の一つであるという。多忙なスケジュールの合間を縫って、限られた時間のなかでのインタビューとなったが、己の信念や考え方を熱意を持って語る姿からは、産業界のリーダーは、優れた教育者でもあることを感じさせられた。

【会社勤務から転職へ】

大学院修了後、大手電気メーカーに就職し、大きなプロジェクトなども複数手がけた。その会社に在籍し続ければ、生活の保障はもちろん、おそらく出世も約束されていたと思うが、仕事がマンネリ化し、先が見えてしまうことに抵抗を感じた。常に、自分の力を最大限発揮し、創造的な仕事にチャレンジしていたかった。数度の転職の際には、経済的な保証があったわけではない。すべて、プロスポーツ選手同様の年俸制で、成果があがらなかつたら終わりという世界。決して最初から自信があったわけではなかったが、ある程度の結果を出してきた。これは、現場の若い人たちと泥まみれになって働いてきた成果。どんなときでも、人の倍働けば自然と周りが助けてくれるようになるし、若い人もついてきてくれる。

【人並みだからこそ努力する】

私は能力的にも体力的にも人並み程度の人間。だから、人一倍努力しないと成功できない。実父は戦争で地方の山村に逃げ、そこで腕一本で製材工場を立ち上げた。私は小さいころからその仕事を手伝い、つもごりの集金にも行くなど、父の働く姿をまじかに見てきた。「人の倍働けばなんとかなる。人と同じことしていたら、人と同じ人生しか歩めない。」というのが、父の口癖だった。それが、生涯を通じた自分のバックボーンになっている。

私は今、組織のリーダー的な立場だが、今でも朝早く出勤して、人の倍は働いている。いや、人の上に立つからこそ、なおさらそうであるべきだと思っている。今の日本の企業の上役は、いわゆる重役出勤で、時間的にも内容的にも部下に比べて仕事が楽なことが多い。それでは組織も発展しないし、次代を担う若い人も育たない。

仕事でも、趣味でも、その他の活動でも、大切なのは自分で考えながら、毎日コツコツ継続して努力すること。その際、良い先生、良い師にめぐり逢えることが望ましい。

【若い人を育てたい】

私は若い人たちとのふれあいが好きだ。彼らの力を十分発揮させることが、組織のためにもなるし、彼らの充実したキャリアの実現にも直結する。若い人たちとのコミュニケーションを増やし、活動の内容を公平に評価し、努力や貢献、改善などがたとえわずかでも見られれば、賞賛するという姿勢が大事だと思う。

キャリアディベロプメントという観点からは、基本的に本人の能力、関心、価値観などを尊重するべきであると思うが、一方で、組織に属している限り、会社の目指す方向性にある程度

沿った形で、いかに自己実現を図っていくかということが重要でもある。その意味では、部下から相談があり、その志向が会社の方針と大きく異なる場合には、一緒に転職も考えることもある。

単なる一組織の範囲にとどまらずに、若い人たちに教え、若い人たちの活躍を支えていきたい。彼らのキャリア発達を支援できるようにと、キャリアカウンセラー関連の資格を取り、自主的な研究会や活動を行う傍ら、自分のこれまでの会社での経験を生かし、大学の非常勤講師として教鞭もとっている。キャリア研究会のメンバーとは、主にフリーターを中心とした若者を対象に、「私の生き方、働き方の選択」という啓蒙冊子を作成し発行した。また、ある高校の文化祭では、模擬経済体験と称して、学生に経営のシュミレーションをさせたり、ライフプランを計画させたりして、キャリア意識の涵養に努めるなどした。自分とは何者か、そして、選択肢としてどんな仕事があり、どんなことができるのかなどということを教えていきたいと思っている。

【配偶者について】

今、こうして自分が仕事やいろいろな活動に精を出せるのも、妻の支えがあるからこそ。妻は、休日の家族サービスを求めるわけでもなく、健康に害のない限りどんどん仕事してほしいといってくれるし、何度かの転職の際も、いつも私の後押しをしてくれた。そして妻自身の生きがいは夫に大きな仕事をやらせることだという。本当にありがたいと思っている。

～Eさんとのインタビューを終えて～

転職の先々で意義ある仕事を成し遂げ、現在は大手企業の取締役副社長という地位にあるEさんであるが、自身の能力はせいぜい人並みであり、人の倍努力すれば何とかかなるという一念でこれまでのキャリアを切り開いてきたという。そこには、努力の継続に裏づけられた自己効力感こそが、充実したキャリアや成功する人生の鍵となることが端的に示されている。

Eさんは、単なる一組織を超えて、次代を担う若者たちを育てていこうという気構えに満ちている。そこには、単なる私利私欲にとどまらない社会貢献志向とともに、自分とは異種の者や多様な価値観に積極的に交わっていくことで、相互により影響を与え合おうとといった自己実現的転職者に共通する基本的な姿勢が表れている。

「人の上に立つものは、人の倍働くべし。」「若い人とふれあい、若い人に教えたい。」と繰り返すEさんからは、父の働く姿を見て自ら勤勉性を培い、幾多の創造的な活動を成し遂げてきた自分の生き様を示すことで、ともすれば無気力ともいわれる現代の若者に活力や希望を与えようという気概が感じられた。

3. 考察 ～転職経験を肯定的にとらえている男性に共通する要因～

転職経験を肯定的にとらえ、いわゆる自己実現的にキャリアを重ねてきている男性5名に対するインタビューの概要は以上のとおりである。一生涯続くキャリアの発達にとって、何が重要なのか、仕事を通じて自己実現を成し遂げていくためには、どんな姿勢や態度が必要なのか等に関する有益な知見は、既にそれぞれの語りの中に生きた形で表現されていると思われるが、以下、改めて、5人に共通する要因について整理してみたい。

(1) 努力に支えられた自己肯定感、自己効力感、有能感

そこにさまざまな個別の理由があるにはせよ、終身雇用による保護や安定の枠組みを踏み越えて転職を成功させていくためには、ある程度の自信が前提となることはいまでもない。本インタビュー対象者5人はすべて高い自己効力感を有していたが、その特徴は、自身が特段優れているとか、能力に秀でていたりとか、学歴が高いなどといった理由からというよりもむしろ、不十分さや限界もある等身大の自分を受け入れ、そこを出発点に着実な努力を重ねていくことで、自分なりの自信を深めていったということであろう。継続した活動を基盤とした粘り強い自己効力感であるからこそ、良い状況だからといって、いたずらに自己を誇大化させることもなく、たとえ悪い状況にあっても、容易に自己を否定したり自尊心を下げたりすることもない。その意味で、現実根ざした楽観性が身につけており、いわゆる「危機」を成長・発展の糧とできる。このような有能感、自己効力感こそが、自己実現的キャリアの最も大きな核となっているものと思われる。

(2) 自分の力を生かしたいという思い

自分の持てる力を十分に生かし、自分ならではのかけがえのない仕事をしたいという思いは、ほとんどの働く者の願いであろう。それ実際に実現しようと試みた5人に共通するのは、自分自身の能力や適性、考え方や志向を自分なりに把握し尊重し、主体性、独立心、責任感を持って自分の決めた道を歩んでおり、他者への依存、馴れ合いやコネ、あるいは、学歴や学閥に依拠することで成功をもくろむという傾向が見られないということであろう。特に、組織に守られたいという安定志向はほとんどなく、安定の代償として個人的能力の発揮や成長が妨げられることをよしとしていない。

加えて、社会的、一般的に望ましいとされる価値から自由でいられる柔軟性や多様性があり、自分とは異質な者との交流にも積極的である。また、弱い立場の者を尊重し、支援するといった公平さや正義感、あるいは、単なる私利追求にとどまらない社会貢献志向など、利他性に開かれている。おそらく本質的に、職業を通じての自己実現のためには利己主義的発想だけでは行き詰まりがあり、社会貢献や弱者との共存、共生などの観点が必要なのだろう。

(3) 人や社会への適度な信頼

人間関係の大切さについては、5人すべてがそれぞれの立場から言及している。総じて、周囲の人々や社会を適度に信頼し、良好な関係を保ち、それらの人間関係に支えられてキャリアを充実・発展させてきているという面がある。ただし、全員がもとより明るく社交的といった

資質を兼ね備えていたわけではなく、自分の生き方について模索し、ときには悩み苦しんだ結果、人間関係の大切さを実感し、率直かつ積極的な他者との交流に開かれていったというケースもあった。また、対人関係において、依存的にも搾取的にもならず、自他を共に生かしているという態度が顕著であったが、それは自分を受け入れ、その上でできる努力をしてきた結果の自己肯定感が、他人との優劣の比較やいらぬ駆け引きなどから距離を置くことを可能にしているためであろう。

(4) 生きる姿勢が職業選択に結びつく

少なくとも本研究でインタビューを行った5人に関しては、学校教育が直接の職業選択につながっているわけではない。また、多くの選択肢の中から、熟考の上、自分に合った職業を選んでいるわけでもない。どちらかという、偶然に近い意味のある出会いが、職業選択の決め手となっている。おそらく、このような出会いは、人が主体的、思索的に日々を過ごしているからこそ実現されるものであり、何気なく毎日を送っている者には縁遠い経験であろう。

同様に、親のかかわりも具体的な職業選択につながっているわけではないが、親のありようや生きざまを見て、子どもながらに何かを感じ、それらが何らかの形で本人の生きる姿勢に受け継がれ、後の職業選択に影響するものと考えられた。

4. おわりに

本研究では、これからの我が国の男性にとって、新たなキャリア発達のモデルともなりうるであろう、転職経験を肯定的にとらえている男性5名に対するインタビュー調査を行った。年齢も、生い立ちも、家族も、学歴も異なる5人の自己実現的転職者には、自己効力感の高さ、主体性、独立心、柔軟な価値観、他者や社会への信頼性など、明らかな共通性があった。その基盤には、ありのままの自分をまずは認め、そこから努力や行動を重ねていくことによって築かれた自信である。

このことは、知的あるいは対人的に非常に優れた資質を持っているとか、経済的に恵まれた家庭に育つなどということは、必ずしも成功の必要条件ではなく、等身大の自分をその限界も含めて受け入れ、そこを出発点として自分を最大限成長させようと日々を真摯に生きることによって、自分なりの自信が生まれ、人間関係に開かれ、豊かなキャリアに導かれるという実証例でもあろう。「格差社会」、「勝ち組・負け組」などの言葉も聞かれる昨今の情勢の中で、たとえ一流大卒のエリートではなくとも、いやむしろそうではないからこそ、自分の持てる力や個性、適性を厳しくも的確にとらえ、そこから着実な活動を継続することで、自分ならではのかけがえのないキャリア生活を歩むことができるという人間の可能性への希望を実感させられたインタビューであった。筆者も含め、若者の教育にたずさわるものは、ともすれば、個々人の資質的能力の高さそのものに高い評価を与えがちである。しかし、実は、あらゆる面で厳然と存在する不平等や格差を認め、受け入れ、利己と利他のバランスの中で、自分に与えられた能力を最大限生かし、高めようとする、そして、利己主義にもニヒリズムにも陥ることなく、社会的格差や不平等の是正に向けて地道に行動するといった生き方ができる者こそ、最も尊敬に

値する人物であり、教育が目指すべき人間像であるという確固たる姿勢を持ちたいと改めて思わされた。

最後に、現代の若者のために、そして社会のためにと、多忙の中、ともすれば答えにくい質問にも献身的に応えてくださった5人に、改めて心よりお礼を申し上げる。

IV. 座談会：

生き生きと活躍している職業人のインタビュー調査を振り返って

【座談会】

生き生きと活躍している職業人のインタビュー調査を振り返って

藤田博康・別府明子・中野洋恵・小川待子

岩崎久美子（司会・編集）：国立教育政策研究所・生涯学習政策研究部・総括研究官

【出席者プロフィール】

- ・藤田博康：帝塚山学院大学大学院助教授・臨床心理士
家庭裁判所調査官を経て現職。カウンセリングを通じ青少年の臨床問題を幅広く扱う。
- ・別府明子：近畿大学九州短期大学講師・品川介護福祉専門学校講師・臨床心理士
「がんばらない介護の会」の中心メンバーであり、高齢者の心理が専門。家族療法に基づく青少年に対する臨床経験も豊富。
- ・中野洋恵：国立女性教育会館研究国際室長・主任研究官
社会教育施設で女性に関する調査研究・事業を行っている。女性の学習によるエンパワーメントに関し調査研究・事例に基づく知見を多く持つ。
- ・小川待子：東京経営短期大学教授・産業カウンセラー
人間関係論に基づくキャリア形成に関する研究を行っている。産業カウンセラーとして社会人のキャリアカウンセリングに従事。

1. 男性のインタビュー対象者：自己実現的転職者

【岩崎】 3年間にわたる国立教育政策研究所のキャリア発達のプロジェクトは、小・中・高校、大学生、社会人の質問紙調査を実施するのに平行し、生き生きと仕事をしていると思われる方々のインタビュー調査を併せて行ってまいりました。仕事とともに充実した人生を過ごしている方々の話を聞くという質的調査により、小・中・高校、大学生、社会人の質問紙調査を補完し、妥当な解釈を行うため、職業観・就業観への知見を異なる角度から得ようと思ったわけです。

本日出席している5人が分担し、これまで女性29名、男性5名のインタビューを行ってきましたが、今回は、生き生きと活躍している方々から共通に得られる要因を中心に議論し、このインタビュー調査の結果を振り返ってみたいと思います。

まず、男性5名のインタビュー調査をなさった藤田さんから、男性のインタビュー調査の内容について概略をご説明いただけますでしょうか。

【藤田】 特殊な事例ながら最近の傾向となっている転職経験を持つ男性5名をインタビュー対象としました。この5名の共通点は転職経験を肯定的に捉え、転職がその人のキャリア発達、及び広い意味での自己実現につながっているということです。

一人目がAさんで、測量会社勤務の測量補、34歳、高卒の方です。二人目がBさんで、外資系のインターネット広告関連会社の社員で28歳。高卒で就職し、その後何年かして、短大さらに大学の資格を取られた方です。三人目が、法人の不正調査関係会社役員のCさんで、大卒後銀行で15年間勤め、現在の仕事に転職した方です。四人目はDさんで、私立大学の福祉学科の教員で、この方も大卒後、長く病院の医療ソーシャル・ワーカーを勤め、その後、大学院修士課程に入り直し、大学教員になりました。五人目が、食品関係会社の取締役副社長のEさん。大学院の理工学科を修了され、電気メーカー会社で20年余り働き、おそらく引き抜きということで、その後いくつかの会社をまわられた方です。

表1 男子のインタビュー者属性一覧

	職業	年齢	学歴	婚姻	その他
A	測量会社勤務・測量士補	34	高卒	未婚	
B	外資インターネット広告関係 ・社員	28	高卒	未婚	後に短大、大学卒
C	法人不正調査関係会社・役員	38	大卒	既婚	後に大学院 MBA 取得
D	私立大学福祉学科・教員	54	大卒	既婚	後に大学院カウンセリング 修士取得
E	食品関係会社・取締役副社長	57	大学院 理工学修士修了	既婚	

5人とも転職経験があり、その転職に基づいたキャリアを、かなり肯定的に捉えており、これからの男性のキャリア発達モデルになり得るだろうと思われました。Cさん、Dさん、Eさんはもともと大卒ですが、Aさん、Bさん（Bさんは途中で大学の資格取っていますが）はともに高卒で働き、そこで迷ったり考えたりしながら、自分なりのキャリアを追求してきたのです。

最近、終身雇用制の揺らぎによって、同じ会社に継続勤務し、キャリアを追求していくという従来の男性にとっての典型的なキャリア発達のあり方や、就労価値観が随分変わってきていると思います。だからこそ、今まさに、働く者ひとりひとりの活力、自立性、自主性が問われてきていますが、なかなかその変化に対応できず、そのことがフリーター、ニートといった問題に繋がっている可能性もあると思うのです。ですから、この5名の共通要素について考えることで、これからの男性にとっての新しいキャリア発達のあり方についての有益な示唆が得られるのではないかと思います。

2. 転職の経歴と特別事項

【藤田】 インタビュー調査の概略として、転職の経歴と特筆事項をお話しようと思います。

Aさんは高校を卒業してメーカー関係の会社で約10年働きました。Aさんが言うには、小学校時代は漠然と「大工さん」になりたいという思いはありましたが、以来、高校まで、特別な志望はありませんでした。大学に進学するほど成績も特段良かったわけではなく、高校に来ていた会社の求人表を見て就職したということです。その会社では、取り立ててクリエイティブなことをやっていたわけではなく、毎日ルーティンワークで、そういう意味では、定時に終わり自分の趣味などに打ち込める時間もあつたので、それほど会社に不満があつたわけではなかったそうで

す。ただ、バブルが弾けて景気が悪くなると、給料が上がらず、ボーナスもなくなり、先行きに対する不安が募り、転職を考えるようになりました。同時に、これは5人すべてに共通することですが、自分ならではのかけがえのない仕事をしたいという気持ちも強くなり、それで転職を決意したということでした。その頃、偶然に測量士をやっている高校時代の友人と出会い、彼の仕事の話聞いて、「自分のやりたいことに近い」と強く思ったそうです。決して、将来が約束されていたわけではなく、とにかく測量士の資格を取って何とかしようと思いついて仕事を辞めたとのこと。地方では良い測量会社はあまりなかったので、都市部に出てアパートを借り、職業安定所に通いながら、10回、20回と求人先に電話をかけ面接に行き、やっとのことで再就職先を探したという経歴です。現在の仕事はかなりハードだそうですが、じきに測量士の資格を取って、今後もしできれば将来独立したいという夢を持ちながら精勤なさっています。

二人目のBさんは、大学受験を志し一年浪人したものの、大学の教育制度や学歴主義に疑問を持ち始めたこともあって進学を断念、その後、引越業社で働き、約2年後、海外で勉強したいという憧れもあって米国の短大に留学しました。ベンチャー企業などを起こす企業学を履修し短大を卒業した後、インターネットの求人情報を通じて日本のベンチャー企業に就職。その後、自分を伸ばしたいとチャレンジングな所を求め、2~3仕事を変え現在は外資系のインターネット広告会社の正社員です。

三人目のCさんは大卒後、地方銀行で約15年勤務し、その間米国の大学院でMBAを取得したり、海外支社勤務を経験したりしましたが、銀行業務に先が見え始め、仕事にそれほど魅力を感じなくなってきた頃に、不正調査関係会社の社長だった知人に請われてその会社に入ったそうです。現在、不正調査関係の資格を日本でも導入するプロジェクトを立ち上げ、世界を回ってアクティブに仕事をされています。

四人目のDさんは、ポリオにより幼少の頃から体が不自由で、入退院や手術を繰り返して育ちました。中学の時に入院していた病院で、海外から帰ったばかりの新進気鋭の医師と出会い、当時まだ日本には存在していなかった医療ソーシャルワーカーに「君ならきつとなれる」と言われたことがきっかけで(当時は明確にそう思っていたわけではないとのことですが)、福祉関係の大学に進学し、医療ソーシャルワーカーとして就職しました。日本では当時、病院に医療ソーシャルワーカーは配置されておらず、その先駆けのような活動を20年近くやってきたわけ。そして、自らが医療ソーシャルワーカーを育て、指導する立場に立ってみると、大学の福祉学科を出た若者がソーシャルワーカーとして病院に入ってきて、仕事に役立つようなことを大学ではほとんど教えられておらず、医療ソーシャルワーカーの発展のためには大学の教育のあり方から変える必要があると思ひ、夜間大学院に入りなおして大学の教員になられた方です。

最後に、Fさんですが、大学院の理工学科を修了し就職した会社では多くの重要なプロジェクトに関わり、将来も約束され待遇もかなりよかったとのことですが、やはり自分を高めたい、チャレンジしてみたいという気持ちが強くなり、その後、いくつかの会社に指導的な立場で勤務されています。

3. 共通の性格特性：勤勉、自己肯定感、利他的発想、他者や社会への信頼感・・・

【藤田】 それでは、この5人に共通する性格特性をまとめてみたいと思います。

まず、とにかく勤勉で努力家です。また、自己肯定感はもちろん高いのですが、自分は特段優れているとか、能力が非常に高いとか、そういった感じの意識ではなく、どちらかという、等身大の自分にどこまでできて、どこまでできないかをよく理解されているようです。自分の限界をも肯定し受け入れてそこから出発しているという所がとても印象に残りました。自己理解は深く追求しようと思ったら、どこまでいってもなかなか収まらないものです。そういう意味では、自分の限界も可能性も含めた自己理解を自分の中で整理ができているということでしょう。一方、ニートやフリーターなどに見られるような就労消極群の方たちは、自己理解をいったん収める、言い換えれば、理想自己と、現実自己の隔たりを現実的に受け入れ、そこから出発することがなかなかできないように思います。今回の方々は、とにかく今の自分にできることを割り切ってとらえ、そこからいろいろなものを積み上げていくという感じが特徴だと思います。それから、「なんとかなるだろう、確信はないけれども、努力をすれば、とにかくなんとかなる道は開けるだろう」、「大成功するかどうかは、わからないけれど、最低食べられるくらいには、やってゆけるだろう」という意味での自己効力感が強いと思います。その自己効力感が、目標や夢の実現に向かって努力する基盤、つまり希望になっているのだろうという感じがしました。さらに、自分の力でとにかくやっついていこうという独立心があります。自分の力というのは、裏を返せば、学歴とか、名前とか箔とか、名誉とか、実質的に意味がないものにはあまりこだわらないということで、要は自分の力で、現実的に出来ることを積み上げてゆこうという姿勢とともに、自分の力をとにかく最大限活かしたい、伸ばしたいという野心を感じました。といっても、決して、人を蹴落として抜きにしようとか、人を貶めても何かを達成しようといった、いやらしい意味での野心ではないように思います。

それから、本当に興味深かったのは、当初は自分自身のためのキャリアアップという意識が発点だったとしても、最後は自分だけのためだけではなく社会に貢献したいといった利他的発想へと自然に転換するところがあるように思いました。逆に、就業消極群の人々は、初めから人のために役立ちたいとか、社会に貢献したいなどと声高に唱えるなど、少し無理がある感じがすることがあり、このこととのコントラストを感じました。加えて、今回の方々は、主体性、自立性に優れ、人とのつながりをとても大切にすることです。人に何かやってもらおうとか、人に依存して、何か成功しようという感じや、なれ合いの人間関係ではなく、自分が主体的に何かを切り開こうとする、その過程で人とのつながりを大切にすることといった感じでした。また、ある意味、楽観的で、基本的に他者や社会への信頼感も持っています。人と交わったり、関わったりすることで自分も高められるだろうし、結果として、人にも何か良い影響をもたらせば素晴らしいといった考え方があるようです。人とのつながりの中で、自分を最大限活かしてゆこうという発想が強いのです。

【岩崎】 藤田さんから転職経験者の5人の方のご説明がありました。この方々と従来の終身雇用制の中で働いている方と比較して、違いとしてお気づきになられたことはございますか。

【藤田】 この方々は、ルーティンワークやなれ合いに対して高い価値をおいていません。必ずしも全員が全員そうではないでしょうが終身雇用制の中で働き続けている人は、やはりルーティンワークをこなし、その中で、見返りに得られる待遇とか地位、経済的ニーズを優先するというところがあると思うのです。転職経験者の5人は、そのような価値観は低く、それがとても印象的でした。

4. 生き生き働いている女性の性格特性

【岩崎】 それでは、今度は、生き生き働いている女性について、共通の性格特性があるかどうかを考えてみたいと思います。高齢者の女性をインタビューして下さった別府さんからお話していただけますでしょうか。

【別府】 私がインタビューをいたしました13人は女性で主に高齢者です。性格的には、内向的な方も外向的な方もおりますが、たいへんのびのびと自由に育てられた方が多いように思いました。50年、60年前の時代にしては、女の子だからと言った差別を受けずに育てており、そのせいか、発想は自由で、活動は臨機応変で適応力も抜群です。

13人の共通点としては、どの方も、人間関係を非常に大切にしていますね。そして決断力と行動力に優れていると思います。その上、人との関係や物事を楽しむ能力が高いと感じました。先ほどの藤田さんのお話にもありましたが、彼女たちの多くが危機的状況を境に働き出す訳ですが、その時に自分が一生懸命働く事で、この危機を乗り越えられるという自分に対する強い信頼感があると思えました。周囲に対する信頼感もさることながら自分自身に対する信頼感が強い。自分で何とか出来るという、つまり、問題の状況を自分で変えることができるという、そんな気持ちがあるようにも強かったように思います。

【岩崎】 小川さんがインタビューなさった方々はいかがでしょう。

【小川】 藤田さんの話に共感しながら聞かせていただきました。私は現在大学の教員をしておりますが、その傍らで総合病院の神経科で心理療法的なカウンセリングをしております。私が面接する患者さんは、一流大学卒・一流企業というルートに乗っていなからつまずいた方が多いのです。それで、その方達とお話をしている中で感じていることが、藤田さんのお話の中で出てきた気がしました。

女性の場合は、結婚、育児のために継続型の就労は難しいことが多かったので、逆に自由なキャリア形成をしてきていると思うのです。男性は、「勤め上げる」のが当然という価値観の中で生きています。そのような価値観が、現在、終身雇用制がひっくり返った中で揺らいでしまっているのでしょうか。教え子を見ていると、女性の方が明らかに強く、自分のキャリア形成をこつこつとしっかり地に足をつけてやっている気がします。ところが男性は、青年期に深く考えずに就職は当たり前として疑問を持たずにやって来て、あるところで立ち止まって動けなくなってしまうケースが多く感じられます。

私が受け持っているある患者さんは、国立大学の大学院を修了し一流企業に勤務している方ですが、会社に行けないような状態の中で、「今後どうしたいのですか」と聞くと「一旗揚げたい、

有名になりたい」と言うのです。「有名になるのはあなたにとってどのような意味があるの」と聞くと、「人を驚かせたい」と言って支離滅裂なのです。彼のキャリア経験を聞くと筋が通っておらず、何をしたいのか全く解らないまま、そのまま来ています。最近はこのような20代後半から30代半ばの男性で、軽い鬱状態で適応障害の人がすごく増えているという印象を持っています。

生き生き働いている人の共通の性格特性という話が出ましたが、やはり、インタビューを通じて、今回すごく感じたことは、生き生き働いている人というのは「静かな情熱」を持っているということです。それは、ギラギラした野心ではありません。自己効力感や自己肯定感を持っていて、今すぐではないがいつか何かを変えてやろうという意識を持ち続けているということなのです。それから、好奇心の強さと、自主性、自立性、そして楽観主義的発想というものが共通していると感じました。

インタビューした方々は、どん底になっても決して自分を否定しません。また、いつの間にか危機的状況を自然の成り行きのようにチャンスに変えています。このことは、「自分を諦めていない」からできるのだと思います。だからこそ、どんなどん底の状況でも、「なるようになるよ」と楽観視できるのだと感じました。

それと、人生の転機に人との出会いを活かしている方達が多いのも特徴です。私が「計画された偶然」という言葉に引っかかっているというのはそのあたりなのです。不確定な社会状況では、自分が思っているようにはならないが、自分はこうありたいというものを持ち続け諦めずに自分を信じていると、チャンスが訪れたときにパットつかみ取ることができる。同じような状況にあっても、「あ、この人って本当に生き生きしているな」と思える人は、そのチャンスのつかみ方がものすごくうまいといえます。そのベースにあるのが、人との出会いをうまく使えるということで、人を利用するのではなく大切にしている結果として、人生のキーパーソンを見出す能力を磨いていくのでしょうか。そのような能力を持っている人が生き生きしている方たちなのではないでしょうか。

【岩崎】 ありがとうございます。以前、別府さんが、「能力があれば人生のどこかでいつか必ず開花する」ということを話されたことがありました。私がインタビューをした50代前半の方達も、自分のやりたいことを密やかに諦めないでいるわけですが、小川さんがおっしゃったように、偶然的な人との出会いから、その後の人生の新たな展開が生じています。みなさん、エネルギーがあり能力もある。女性の場合は、特に人との出会いによって潜在的な能力が引き出され、仕事につながる転機が多かったように思います。あるとき、学習の場に出て行き学ぶうちに、学習自体の刺激と人との出会いをきっかけにエネルギーの向く方向性が決まり、仕事につながって行きます。みなさん、仕事を持つことでふたたび世の中にやっと出られたと言う素直な喜びを持っていました。

中野さんは、国立女性教育会館にご勤務する中で、元気な女性の方々と日々接触しているかと思いますが、いかがでしょうか。

5. 学習が人生展開の鍵

【中野】 私が仕事をしている国立女性教育会館は女性のエンパワーメントと男女共同参画社会の形成をめざすために研修、交流、調査研究、情報という4つの事業を展開している機関です。女性の学習の場を提供するところなので、どのような学習をすれば、女性の人生が前向きな方向に展開するのかわかるとも考えて仕事をしています。さきほど小川さんのお話にもありましたが、女性のキャリアと男性のキャリアは特に日本の場合、大きく異なっていると思います。女性の場合は、「男は仕事で、女は家庭」「男が主で女が従」といった役割の中で、本当にこの性別役割分業で良いのだろうかという疑問を持った人たちが「何とかしたい」ために学習をしました。その学習の場が女性関連施設や公民館だったと思います。

学習者には、いくつかタイプがあると思います。ひとつは学習で終わるタイプです。個人の満足にはなるのですがそれで終わり、「講座ジブシー」などと言う人がいますが出口が見えません。もうひとつのタイプはそれとは別で、「学習」がきっかけとなって次の活動につながるものです。学習を糧にキャリアアップしていくタイプといってもいいかもしれません。様々な活動、NPO立ち上げたり、地域活動をしたり、仕事をしたりと多様な形態があります。仕事中心で学習という機会をあまり持ってこなかった男性に比べるともう少し早い時期から、女性の方が先に進んでいたと思います。

学習をきっかけにキャリアアップしていく女性は、50代、60代の方に非常に多いのですが、とにかく元気です。元気ですごく前向き、バイタリティーにあふれています。彼女たちはこれまでみなさんをご指摘のように、人とのつながり、ネットワークを作るのがそれはそれは上手なのです。それと、自分の生活に根ざしたところを重要視している。理屈や理論だけではなくて、自分でやったことの中から、これをもっとこうしたい、ああしたい、というところから活動が出てきています。今回のインタビュー調査や、これまで国立女性教育会館に来る女性たちを通して、活動するときに「学習」がいかに重要かということを改めて認識しました。

「何かやりたい」と思うけれどやりたいことが見つからないといって一人で悩んでいると焦燥感が募ります。でもきっかけをつかんでその時に、的確な学習の機会やリソースがあると、思いが形になっていきます。そして同じような問題意識を持っている人と知り合うことによってネットワークができ広がっていきます。

先ほど、別府さんが、高齢者で生き生きと仕事をしてきた方は、自由に育った方が結構多かったとおっしゃいましたが、私が会った40代の方は必ずしもそうではありませんでした。こんな人がいました。親からは「お前は勉強したいかもしれないけれど、女なのだから短大まででいい」、「高校だけでいいんじゃないか」、「男だったら、大学に行くのがいいけれど、あなたは大きくなったら、どうせ結婚するんだから、銀行か、役場といった堅いところに勤めて、そこでいい人見つけて結婚するのが女の幸せってものだ」と言われて育ったのです。そして親の言うとおりの高校卒業後、役所に勤めて職場で相手を見つけて結婚、結婚と同時に退職、親の描いた「女の幸せ」どおりの道を歩んだのでした。けれども、彼女は「本当にそれでいいのかな」とずっと思ってい

たのです。結婚してからいっそうその思いが強くなったといいます。「本当に私の人生これでいいのかしら」、「子育てだけでいいのかしら」、「嫁だからたといわれて何でもするけれど、これが私の人生かしら、本当にこのままでいいのかしら」と。そんな時たまたま公民館の「託児付き」という講座を目にします。彼女に聞くと「どこでも良かった」と言いました。特別にこれがやりたいから行くというのではなく、とにかく子どもを連れて行ってもよくて何か別のことが出来るところであれば、何かやってみたい、そこで、もしかしたら、自分が変わることができるかもしれない、そんな思いだったのです。これらは公民館の講座ですからとりたてて特別の資格や学歴が取れるものではありませんでした。しかし彼女はその講座に参加することによって、「もしかしたら、私は何か出来るんじゃないか」、「私にも出来る事があるそう」ということに気づいていったのです。彼女はその後、自分が出来ることを考え、まず仲間を作って子育てサークルを立ち上げました。母親が何かしようとするときに子どもを預かることができないか、そしてそれを無償ではなく、少しでもいいから収入に結び付けようと保育サービス会社を立ち上げました。そのために必要性を考えて保育士の資格を通信教育でとったそうです。公民館や女性センター等の提供する学習機会がきっかけとなって活動がどんどん広がって行った事例だと思いました。

子育て中に「性別役割分業」に悩む母親はけっこういるのではないのでしょうか。

【別府】 こういう風に何うと、やはり50代、60代までの女性の働く動機は、自分の能力を活かしたい、自分らしく生きたいということが基本にあると思います。それ以上の年代の方とはかなり違います。私がインタビューした高齢の女性の大半は、働きたくて働き始めたわけではないのです。時代の特徴的な現象でしょうか、父親が亡くなった時、母親が代わりに働くかというところではなく、長女、長男が父親に変わって働くわけです。彼女達は、自分を活かすため、自分の生き甲斐や能力開発といったことは、およそ考えずに働き始めています。とにかく、自分が働いて、なんとか家族を食べさせて行かなければならないということで就職しているわけです。そのため、仕事を吟味してから選ぶというより、まず出来ることをするところから始まっています。不思議なのは、そういう始め方ですが、働いていくうちに食べるためだけではなく、次第に働くことが生き甲斐になっていくわけです。ある方は保育園で事務をしているうちに保育士の資格が欲しくなりました。そして、通信教育で資格をとります。ある方は、問題を抱えた人を援助するために相談員になりたいとカウンセリングの勉強をします。つまり、仕事をしていると、次々にしたいことが出てくるわけですね。面接し方たちは、その時々、自分の夢をかなえるために必要なときに必要な学習をしてきています。

また、年齢に応じて働き方も変わっていくのですが、その節目、節目で新しいことを学習したり、資格をとったり、組織をたちあげたりしているのが判ります。ある方が言うておりました、「若い時は自分のために働くのです。つまり、自分というのは、自分の家族と自分が食べるために働く」と。でも、高齢になった現在は、「自分のためではなく、退職後は社会のため、未来のために働きたい」と言うわけです。働く意味が自分や家族のためから広く社会のために変わって行く、それは先ほどの藤田さんの男性のインタビュー者でも、最初は利己的な目的で働くけれども、その次に利他的な目的で働くと言う風になっていきますね。よく、世の中の人達は定年になった

ら、後は自分のために生きるという人がいますが、「自分は違う、高齢になった今だからこそ人のために働けるんだ」と言う方が何人かいらっしゃいました。

【岩崎】 それは個人的な特性でしょうか。それとも、ある一定の年齢が来るとそのような考え方になるものなののでしょうか。

【別府】 エリクソンの発達課題を見ても、高齢になると次の世代に対して、社会全体に対して貢献したいという欲求が出てくるのだと思います。いわゆる、自分のためよりも、未来のために社会のために、自分が何か貢献したいという気持ちがおきてくるように思います。そのことで、自分の限りある命が継続されるという感じがするのではないのでしょうか。

【中野】 私がインタビューした方々も、仕事をしている人の学習経験がとても豊富だと感じました。仕事をしていると学習というものが縁遠いようなイメージを持ちがちですが違いますね。よりよい仕事をしていく上で必要なことはどんどん学んでいます。例えば、保育士の資格であったり、司書であったり必要なものを得ていくエネルギーをもっていました。

【別府】 学歴も資格も必要だと思いますが、私がインタビューした方は、必要が有ると、その段階で必要な物をちゃんと学んで手に入れていると思います。ある方が言っていました。「自分はその与えられたものを一生懸命やることで、また、何かが見つかって、つぎの段階に進む」と。来た物を、自分から選択したのでは無いというのが、藤田さんのなされた男性のインタビュー者の好きなことを選ぶというのと少し違っているかと思います。好きなものが見つかるまで待つてはいないのです。選ぶために行動にうつせないのではなく、そばにあるもの、取りあえずやったものに、とにかく全力を注ぐという、感じを受けます。

6. 利他的姿勢への変遷

【中野】 残間里江子さんが『これでいいのか蕎麦打ち男』という本を出しました。それは何かというと、定年退職した人が何をやるかという蕎麦打ちに走るということです。その蕎麦打ちというのは、個人の趣味で他に広がらない、利他にはならない。とにかく、ずっと仕事をしてきたので、これからは自分の世界で自分の楽しいことをやって行こうとする、それでいいのか疑問です。中高年の女性はどうかというと、友人とどこか旅行に行つて、湯葉懐石か何か食べて、縮緬で出来た小物を買つて、といったおしゃれな消費に走る、利己的なことはやるけれどなかなか社会に向いていかない。ホテルのランチも中高年女性で大賑わいです。これまでのキャリアをどのように積み重ねていこうかという方向性を考えないと、ただ年を取つていけば自然に利他的になるかということとそんなに簡単ことではないと思います。

【別府】 高齢になるまで、ずっと仕事をしてきた女性に会つてみると、多くの方がある時期から、自分のためだけに働くことに疑問を感じたといわれました。そして、日本に来ている留学生の世話を始めたり、地域の環境を守る運動に力を注いだり、高齢者のためにボランティア活動に尽力されているのが分ります。おそらく、それまで仕事を通じて社会とダイナミックな関係を持つ快感情の体験や、活動が自分の尊厳を支えるという感覚を持つておられると思います。ですから、最前線を退いてからも、アイデンティティーのために社会貢献を目標とした仕事の仕方、新

しい働き方のスタイルを築いているのではないかと感じます。突然なったわけではないですね。

【藤田】 特に、終身雇用制の中で働いている男性には、社会的な視点や利他の姿勢そのものを仕事に取り入れていく機会、可能性、余裕は、一部の職種を除いてはそれほど多くはないように思います。ですから定年まで勤め上げて、さっきの蕎麦打ちではありませんが、好きなことをやる、それはそれで一つの生き方だと思います。ただ、今回の方々のお話を聞いて、最初は独立したい、儲けたいといった利己的な目的がきつとないことはなかったのだと思いますが、理想、目標に向かってキャリアを積み上げてゆく中で、社会貢献という視点というものが自然に入ってくる。あるいはもしかしたら、そうしなければいけないといった使命感が生じてくるのではないかと思います。意義ある仕事や活動を通じて、社会における自分の重要性の実感、つまり自己効力感が高まり、その結果、利他的な発想というのが兼ね備わってくるような感じを受けました。

【小川】 女性は、基本的に家庭で、家族のために料理を作ってきているので、女性は利他的な行為を毎日家庭でしているわけです。男性が定年後蕎麦打ちをする場合も同様で、利己的かというところではなく、打った蕎麦が美味しいと言ってもらえる喜びを知るからこそ、多分、蕎麦打ちは続くと思うのです。一人で蕎麦を打って、一人で食べてということでは、その人は一体何年蕎麦を打ち続けられるのでしょうか。

初めに自分が蕎麦を打って、自分自身が満たされる中で、自己肯定感、自己効力感が出て来て、今度はそれを誰かのために役立たせて行きたい、と言う風が変わっていくのだと思います。マズローの欲求段階説ではありませんが、お金のためというのは、生理的欲求の部分で生存欲求に近いわけです。ですが、私たちというのは、段々承認欲求が芽生え、長じて自己実現という最高の部分に至っていきます。そのためには、最初からそこに至るわけではなく、やはりプロセスがあるのではないのでしょうか。残念ながら、終身雇用制の中でエリートとして生きて来た男性は、振り返る余裕も無いまま生きてきています。それに対して、私たちがインタビューをしてきた女性の方たちというのは、どちらかというと、社会とのつながり、ネットワークというのを持ちながら、その中で、自己の振り返りができて今にいたっています。ですから、私は女性がこれからの男性のモデルになると思うのです。残念ながら、男性は、社内での利己的關係はあったかもしれませんが、利他的人間関係作るところにまで、うまくいっていないと思います。男性のキャリア発達については、そのあたりが今回一番大きなポイントになってくると言う気がします。

【岩崎】 男性の転職者の成功要因として利他的な性格や態度というものが挙がるのであれば、誠実で円滑な人間関係やある種の社会的ネットワークを持っていることで、転職後の生活が維持されるのではないのでしょうか。つまり、終身雇用制のもとでの組織によりかかるのではなく、個人に帰属する人的なネットワークが安全弁として機能するというわけです。女性の場合は、そもそも社会的なネットワークが先に無いと生きていけないと言うところがあります。さらに、女性は、家の中でも子ども、配偶者の世話、介護など常に利他的な特性を求められますから、外に出るときも、先に利他的な発想があるかと思います。そのため、男性よりも社会的ネットワークづくりに長けており、またそれをよりうまく作れる人が生き生きと活動しているのかなと言う印象を受けました。

次に話題を変えて、キャリア発達のプロセスとして何が重要かと言うことについて、お話いただければと思います。

7. 男性と女性のキャリア発達の差異

【藤田】 今までの議論の延長になりますが、終身雇用制を前提としたこれまでの典型的な男性のキャリア発達とは違って、この方々に代表されるような転職肯定層は、そのような女性のキャリア発達の特徴もかなり備えているのではないかと思います。しかし、一般には、たとえ終身雇用制が崩れつつあったとしても、定職を勤め上げるという社会的期待、社会的束縛が前提としてあって、その上で自分のキャリアを考えていく傾向がまだまだ男性には強いのではないのでしょうか。例えば、男性も女性も能力が50だとする。極端ですが女性への社会的期待が仮に0だとする。そうすると、0の期待の中に50の能力を持って、その50をいかに活かそうかと考えるのと、100の期待があつて、50の能力しかなくて、その中に適応して行こうとするのではかなり違うのではないのでしょうか。今の男性の若年層の厳しさ、難しさは、それに見合っただけの安定した制度や生活の保証がない中で、男性だからという理由で100を期待され、結果的に自分に備わっている50の能力も活かせなくなってしまっている。そのことが、ニートやフリーター、あるいは引きこもりなどの問題にもつながっているのではないのでしょうか。

【岩崎】 そうですね。しかし、女性でも、終身雇用制に乗っている人は多くいるわけです。今回はそのようなタイプの女性を積極的にインタビューはしておりませんが、教師、保育士、公務員といった職種に就く女性は、男性と同様に継続的に職業を維持する傾向があります。その場合、終身雇用制を前提とし、自己実現というよりは、労働条件と継続可能性で労働市場を限定して選択しているかと思うのです。

【別府】 女性でも会社の重要な役職についたかた何人かは、最初から男の人と同じ様なキャリアの積み方ですね。国立大学を出て学生時代の人脈を生かし男の人と同じに競争し、会社のトップに立っています。その方々の人生は、ほかの女性に見られるように、あっちにつまずき、こっちにつまずくといった樹形図のように発達した女性のキャリアとは全く違い、本当に、男性に似たキャリア発達を遂げておられます。それには何が重要かという点、本人の能力、意欲はもちろんのこと、母親や姑が子育てを全面的に協力してくれたり、親の介護を手伝ってくれる24時間のヘルパーがいてくれたりと、強力な家事援助者の存在があるわけです。さらに、キャリアがどんどん伸びて行く時に、夫がアドバイザーやサポーター役を引き受けてくれるという恵まれた環境があります。それに加え、上司に目をかけてもらえるなど、男性が業績を積み出世していくプロセスと同じようにみえました。ある大きな会社の部長になった女性は学生時代から「自立して生きるために働く」と決め男性のキャリア発達によく似たプロセスをたどります。ですから、発達の仕方は女性とか男性といった性のちがいは、後天的なものだと思います。しかし、なにはともあれ、50年以上前に男性と同じキャリア発達を遂げた裏には、男性の何十倍もの苦勞が隠れていることは想像がつかますね。今でさえ女性が働くのはたいへんですから。

いろいろな働き方を比べて見ると、有名で偉くなられた方がたは、華やかではありますが、深

く狭く専門的な人生です。その対照は家族の発達や状況に合わせて、広く浅くキャリアを発展させてきた方々です。一般的に女性は後者が多いと思います。人生いろいろですが、仕事優先で社会に貢献された方は、もう少し家族を大切にしておけばよかったとの心残りがあったり、逆に、家族優先に仕事をしてきた方は、結婚しなかったら、子育てや親の介護がなかったら何倍も仕事が出来たらうとの心残りがあったりするようです。家族の世話が十分できなかつた方も、自分の可能性を十分追求できなかつた方も、ともにいくばくかの心残りがあるようですが、全員が自分の人生を肯定的にとらえておられます。世の中には、高齢になって子どもから「お母さんはいつも家にいなかった」、とか、「遊んでくれなかった」などと言われ、働き続けてきた女性が子育てに不全感を持つこともよくあります。しかし、その子どもが母親と同じように一生懸命働いているのを見れば、子どものないものねだりという気がします。要は大人が働くことの喜びや大切さを子どもに感じさせられるかどうかだと思います。

8. キャリア教育は子どもに達成感をもたせるものに

【岩崎】 女性で生き生きしている方と藤田さんがインタビューなさった転職者の共通項を考えますと、等身大の自分に対する実力の自己認知がひとつの大きな要因としてあるかと思えます。自分の力で人生を開拓したと言う手応えがあるかないかが、キャリアを形成する過程で、非常に大きな充足感を持つ要因となっているのではないのでしょうか。

【藤田】 キャリア教育への示唆、提言にも繋がることでは、小中高の学校教育は、直接職業選択にはつながらないという意見がほとんどでした。唯一、Cさんだけは中学での英語の試験がたまたま良かったので、海外の接点はそこから始まったと思うとは言っておりましたが、それとて、学校教育の内容が直接職業に結びついたということはないと話していました。ですから、特に、義務教育の間に、職業や自分の適性について明確に意識させる必要は必ずしもないのだろうと感じました。これは、現在のキャリア教育の方向性に対するアンチテーゼかもしれません。

【別府】 カウンセリングをしていますと、不登校で学校が嫌いな子どもに対して、親は学校行かなくても、とにかく自分がやりたいことが見つければいいと言われます。多分、好きなことを見つけて一生懸命やれば、学歴がなくても何とかなるのではないかと思うんでしょうね。そう言いつつ、子どもが歌手になりたいとか、声優になりたいと言うのでは親は気に入らないのです。「私はこういう仕事に就きたい。それで一生がんばる」といった志を期待して、好きなことを見つければ学校に行かなくても良いと言っているわけです。声優も歌手もダンサーも、親のいう好きなことの範疇に全然入っていません。親は、すぐに職業とむすびつくような好きなことを見つけて欲しいと期待しているにすぎないのです。早くから、仕事の見通しがつけば、学歴がなくても親の立場としては安心できるということかと思えますね。

今朝も、あるお父さんから電話がありまして、子どもが学校を辞めなければならないが、とにかく高卒の資格は取って欲しい。そうすれば、職業選択の幅が広がるし、高校を出ておけば大学にいける可能性もあると言うわけです。子ども自身は退学することにはなってしまったが、将来の目標が見つかってうれしい気持ちもあるわけなんです。そこで、親が「何になりたいの」と聞

いたらその男子学生は「美容師になりたい」と答えたわけです。しかし、親の言う自分の好きなことの中に美容師は入っていなかったのでしょうか。親は、いつ医者になりたくなるかもしれないから、その時のために教育は受けておいて欲しいというわけです。大人はあまりにも具体的にすぎると思います。70、80歳の人のお話を聞くと、何になりたいかを早く決めるということはナンセンスと感ずきます。その時どきに、やりたいものがありさえすれば良いわけで、必ずそれになるということではないのです。それよりむしろ、年齢相応なものに興味を持てるとか好奇心を持てる教育が重要なわけで、どういう仕事につきたいのか早く決めるのが良い教育だとは思わないですね。それでは、不登校の子どもが早く安心したいのと同じになってしまう。そう言う意味では、キャリア教育とはどういうことなのか聞かれば、私は夫々の発達段階で、何かに興味を持って、それをやったら出来たという達成感を持たせることだと考えます。そうすれば、いざ必要となったときに、自分で仕事は見つけれられると思うのです。この思いは今回、活躍されている高齢者の方にお会いしてからいっそう強くなりました。小学校から医者になる、学者になると目標立てさせるのがキャリア教育ではないでしょう。親も何か早く好きなことを見つけろと言いますが、それは、親が思っていることであって、子どもが思っている好きなことは違うのです。

【藤田】 また、5人の方々にとって、学校教育だけでなく、親の直接的な影響も必ずしも強いとは限らない。Dさん、Fさんは年長ということもあってか、親の生き方や親の姿勢の影響は強かったといいますが、具体的な職業選択に当たって、親の意向とか、親の希望とか、親の指示なりアドバイスがあったわけではありません。残りの3人は、親の影響についてたずねると、「親の言うことに従ってどうして職業を選ぶのか」というような意外な表情をされていました。また、多くの職業選択肢の中からいろいろと考えた挙げ句、一つの職業を選択しているというわけでもない。どちらかという、偶然の意味ある出会いに左右されていることが多く、学校教育場面で、できるだけ仕事に関する多くの情報をすべての子どもに公平に与えようという姿勢も、それほど重要とはいえないのではないかと思います。

しかし、皆さん人間関係は大切にしている、意味のある出会いが職業選択、転職選択につながっていることは確かです。とても印象深かったのは、今回インタビューした方々が皆、明るく、社交的で、アウトゴーイングといったわけではなく、もちろん、人との会話を楽しむし、人に対して敬意を払って、フェアに対応される方たちばかりですが、よくよく聞いてみると、必ずしも人付き合いは得意ではないとおっしゃる方も複数いらっしゃいました。中には、まったくそうは見えないにもかかわらず、自分は高校ぐらいまでは人付き合いが苦手で、人からあまり話さないやつだと思われていたと語った人もいました。生来的な明るさ、生来的な社交性というのは別に、人間関係を大切に、人に敬意を持ってフェアに付き合うことで道が開けるという事実は、かなりの希望を与えてくれました。

【岩崎】 このキャリア発達プロジェクトの別立てで実施した大学生質問紙調査では、7月までに就職が決まった人の多くが、明るく社交的と自己評価していることが明らかになっています。企業はそういう人を求めて採用するので、明るく社交的な人ほど早く就職が決まるという解釈がある研究委員の方がなさっています。藤田さんが会われた方々は、その結果とは異なりますね。

【藤田】 インタビューした方々は、外から見れば、もしかしたら社会的とか、人付き合いはうまいという評価をされる方々とは思いますが、基本的に誠実で、人との間で何か駆け引きして、搾取しようという姿勢はまったくありません。人間関係から得られるものは得ようとは思っているのですが、基本的にフェアだと思います。一般的に言うと、男性はなかなか積極的にインタビューに応じていただけない傾向も強いにもかかわらず、そういう方々だからこそ、これだけ協力してくださったのだと思うのです。いずれにせよ、明るく社会的であるというよりむしろ、誠実、フェアであるということの方が、質の意味で人間関係を豊かに持てることにつながるのだという良い結論ではないでしょうか。

それから、自分の好きなこと、得意なこと、あるいは、自分にとって大事なことというのは、直説・間接的に何らかの形で、最終的に職業選択につながって行くという感じがあります。といっても、結果としてこう言えることであって、最初に自分のやりたいことや自分の特性を見つめて、それにあった仕事を選んだというプロセスではなく、結果的に見ればこうなっていたということです。このことが、好きな仕事を早く見つけるべきというキャリア教育の基本方針にはあまりつながらないとは思いますが、それよりも、自分ならではのかけがえのない仕事をしたいという気持ちが強い。先ほどの終身雇用の方との違いというところでお話したのはこのことです。ルーティンワークの中で自分の能力を埋もれさせる、伸ばせる可能性のあるものを伸ばさないで置くのは非常にもったいない、あるいは耐え難いといったそんな感じです。その意味で、自分の持てる能力を活かしたい、伸ばしたいという意識は相当に強い。だからこそ、表面的な肩書きなどに対しては淡白で、他者に対する馴れ合いの意識も低い。また、先ほど岩崎さんがおっしゃったことと関連することですが、等身大の自己、現実的な自己理解がとにかく出発点なので、皆さんとても優れた仕事をしているにも拘わらず、自分はそんなに能力的には優れているわけではないから、こつこつ努力しなければいけないということです。自分がとてもスマートだとか、頭が切れるなどと決して思っておらず、継続して努力しなければならないと思っているわけです。才能に優れている、資質的に高いという自信によって、転職なりキャリアアップを成功させているというよりも、自分にできること、できないことをしっかりと自分の中で理解し、そこから積み上げてできることをしていくという姿勢が根本です。そして、自分とは異質なものにかなり開かれているという感じがしました。これは人間関係、外国、異文化など、新しい体験に好奇心があって、それらとの交流、同化や調節にとっても積極的だということです。

職業選択、転職、あるいは後の進学、復学も含めて、それまでの段階で、勤勉性、自己肯定感、自己効力感、他者信頼感などが確立されていることが、転職によるキャリアアップや職業を通じた自己実現にやはり必要なのだと思います。ただし、これを公教育で行う場合、具体的にどうしたらよいのかという点が難しいところだと思います。

今回のインタビュー調査の一番の収穫は、豊かな人間関係に開かれるということは、必ずしも明るいか、アウトゴーイングとか、もともとの才能などによるものでもないということを知りえたことです。つまり、これは、教育、援助、コーチングなどへの期待が高まるということでもあります。充実したキャリア発達や自己実現は、必ずしも学歴が特段に高いとか、健康に恵まれ

ていて元気で明るい生活が送れるとか、もともと社会的で楽観的であるなどということに必ずしも比例するものでもない。このような人間の可能性への希望、人としての素晴らしさというものを実感できたのは、量的調査ではなく、ナラティブの手法を取った質的調査だからこそなのだと思います。5人の方は、異口同音に、このインタビューの結果を是非、何かに生かしてくださいとおっしゃっていました。これも、彼らの利他の姿勢、社会貢献への意識の高さを端的に示していると思います。ですから、少しでも何か希望につながるようなことが言えたらと思っています。

9. まともに働く大事さ

【岩崎】 誠実に努力することが大事だと言う、非常に基本的な人間性みたいなところを確認したというところが良いですね。

【別府】 そういう話はとても救われますね。面接した高齢の方がたは若いころ、家族を支えるために、一生懸命に父親の役割を代行し夫の補助をしてきた訳です。皆が生きてために誠実に働いてきたと思います。ところが、現在は、カウンセリングしている子どもの中にもお金が欲しかったら、援助交際をするという子もいます。また、お金が欲しいと直ぐキャバクラに行く大学生もいます。お父さんは何をするかというと、サラ金に行ってしまうわけです。お母さんもホストクラブに行くために売春をしてしまう。こういうケースも結構あるのに、私がインタビューしてきた人たちは、なぜ、そう言う短絡的な手段に走らないで、まともに一生懸命働いて生活を支えてきたのか、何が違うのかとつくづく思うのです。働くと言うことに対しての真摯な姿勢があると言うことでしょうか。

【藤田】 今、別府さんおっしゃったようなことを私もやはりずっと考えていて、これまでかなり悲観的な感じを持っていたのです。結局、良い家に生まれて、教育力のある親のところ育て、高い学歴を持って、多くの可能性に開かれた人こそが、良いキャリアを追求できるといった思いがありました。今でもそういう気持ちが少しあることはあるのですが、今回の5人が必ずしも恵まれた経歴ばかりの人たちでもないのです。例えば、Aさんは、測量士の資格試験を受けても、大卒で現場経験のない人が容易に合格し、自分は実務能力は高いのに高卒という理由で、受からない。そういういった不平等が世の中にはあるのです。しかし、誠実に、実直に努力していくことで、それは他人から表立って賞賛されたり、羨ましいと思われたりすることでは決してないのかもしれないのですが、こつこつと自分の可能性を拓けていって、自分なりの現実的な夢や希望、目標を持ち、日々の仕事に取り組んでいく。それこそが確かなもの、自己実現であり、それが一つのキャリア発達の指針になるのではないのでしょうか。

【別府】 しかし、今、子どもたちが見ているモデルは何かと言うと、テレビに出てくるようなものだけなのです。私は、今回のインタビューで、高齢の方々がどのように仕事をしてきたか教えていただいたわけですが、これは私の今後にとって非常に勉強になりました。このようなありがたい機会は少ないということでしょうね。今の子どもたちもがんばって働いている人を知る機会というのが無いのです。逆に、おかしな情報はたくさん流れています。下着が売れる、援助交

際でお金が入る、もっと欲しければキャバクラに行けば良いというような、特殊な例をあたかも皆がしている普通のことのように伝える社会にも問題があると思います。今、藤田さんが実際面接をして感じられたようなことを子どもたちに、どうやって伝えれば良いのかを考えます。20年も前になりますが、7～8年間、閉じこもりを繰り返していた大学生の目標は、テレビに出るような人になりたいとか、テレビで活躍するような人になりたいというものでした。目立つ仕事イコール格好いいという風潮はその頃からあったということですね。真面目に、こつこつやっっていくことが格好悪いと思っている子もけっこう多いですよ。

【藤田】 でも、それこそが教育ではないでしょうか。世の中、それぞれの立場から、地道に着実にキャリアを積み上げてゆく方がいて、それに感じ入りながら見たり聞いたりする私たちがいる。それを子どもたちの世代にいかに伝えるか。確かに、子どもたちの自己理解を深め、多くの仕事の選択肢を与えて云々という教育も一方ではやらなくてはいけないかもしれませんが、やはりこういう人たちがいて、こんなふうな等身大ではあるけれども、尊敬に値する人生が送れるのだということを伝えていくことは、教師や教育者の義務だと思うのです。

【別府】 同時に、学習は大学を出たら終わりではなく、高校出ても終わりではない。人というのは働くことで、仕事を通してものすごく学び成長するし、そこからまた別の可能性というのも出てくるのです。「学歴というのは運転免許と同じで、あれば便利なだけで、例え学歴が低くても、仕事をしていく中で、自分というのはいくらでも力を付けられるんだよ」とカウンセリングの中で良く言うのです。でも今の子ども達が考えているのは「学校を出なきゃ駄目なんだ」、「成績が悪ければ駄目なんだ」、「もう自分はろくな選択は出来ないんだ」と簡単にあきらめてしまいます。現実として、最初の選択は高卒だったら低いかもしれないけれど、そこで仕事に就いて、力を出している間に伸びられる。伸びるチャンスというのは、学校よりも、むしろ卒業して仕事をしている中にあるんだということを、今回、インタビューをさせていただいた者として、子どもたちに伝えていきたいなと思います。

【小川】 子どもにどう伝えるかと言うことですが、子どもに私たちがダイレクトに伝えていくことはすごく無理があります。例えば素晴らしい方がいらした場合、話を聞くことで心に響く子どもはいてもわずかでしょうし、全国的にそれを展開していくというのは非常に難しいでしょう。それ以前の問題として、教員の意識を変えていくというのが先では無いかと思うのです。

学校教育現場では、どういう仕事があって、小さいときにその仕事はどうやったらなれるのかということをお山教えることが大事と誤解しているような気がしてなりません。もちろんいろいろな仕事があることを紹介しなければならないわけですから、マスコミに出ているものだけが仕事ではないことを教える授業は大事だと思います。しかし、勝ち組、負け組と言う言葉がマスコミを賑わして以来、正に真面目でこつこつ、職人の世界的な価値観がどこか消えていってしまっています。大学を卒業する、大学院を卒業してできる職業に子ども達は目がいきますが、本当に真面目でこつこつやっってきて、積み上げてきている人達というのは実は職人さん達で、そういうことをどこかで理解する場面が必要です。そのことを話をするためには先生達が本音でどういう風に受け止めているのが問題になるかと思っています。

若い人は、短絡的で2年3年で出来ないと「もう駄目だ」と諦めます。ですが、修行ではないですが、そう言う時期があって、初めて得られるという物も沢山あるわけで、得意な事とか、好きな事は、実は働く中で初めて見つけて行くものではないかと思えます。

自分自身のキャリアを考えても、私は大学の教授になるとは少しも思っていませんでした。紆余曲折して、ある日、ふっと何かこう見えてくるものです。チャンスの神様は前髪しかないと言いますが、その時「あ、これだ」という物をうまく掴めるかどうかという能力は、いろいろな物を見てチャレンジをしていく、偏った物の見方をしないで、何でもやってみようとか、何でも見ようとか、そう言う好奇心を育てる教育から導かれることでしょう。

【中野】 それこそがキャリア教育なのでしょう。でもそれをすぐに現場の教員に求めるのはかなり無理があると思います。教員は、様々な経験をしているのではないし、多様なキャリアについての豊富な知識があるわけでもありません。大学の教育学部を出て教育方法を学んでいますが新しい課題であるキャリア教育を学んではいません。ニートやフリーターの問題がクローズアップされてからキャリア教育が重視されるようになっていますがずいぶん悩んでいるのではないのでしょうか。いまいろいろ本も出されてきていますが、こういう職業のカードも有りますよ、こういうカードも有りますよと言ってカードをただ広げるだけになりがちです。それで、どれかを選びなさいと言ったって、子どもだってどれを選んで良いのか解らないでしょう。

【別府】 大人自身でも自分にどんな能力があるのかなんて本当には分っていない。まして、子どもに自分の能力や何に向いているのかなんてわからないと思いますよ。

【小川】 医師を例にとると、理数が得意で、学年トップクラスの子は、先ず「医学部」と言う進路指導を受けるわけです。やはり医学部入学者を何人出すかで学校の誉れにもなります。何が好きかではなくて、取りあえずそういう風に言われて、医学部に進学した人たちが医師になっているわけです。実際、医師の鬱と、自殺率は非常に高いのです。過酷な仕事だと言うこともありますが、彼らはたまたま勉強が出来てしまったがゆえに、そういう道に来てしまったという彼らなりの悲哀があるのです。親も「この子は勉強が出来るから」と言う期待で、暗黙の内にそういう道を子どもにすすめてしまっているのです。

子どものインターンシップの前に教員にこそインターンシップをさせるべきです。少なくとも、教育学部で勉強している学生達に、私は、最初に「家庭教師も良い、塾の先生するのも良い、それは先々先生になるための勉強には為るだろうと、しかしながら、頭を下無ければいけない仕事を必ずしろ」と言っているのです。そうでないと、どうしても時給も良いし、それから将来につながるということで、塾や家庭教師のアルバイトばかりを選んでしまう。それはそれで勉強にはなりますが、大人の社会の厳しさ、文句を言われてそれでも頭を下げ続けなければいけない様なところを経験しない人たちが先生になって、その人達が子どもに仕事の一体何を教えられるのかと思うのです。中野さんの話ではありませんが、カード広げて、「こんな仕事も有りますよ。こんな仕事はどうですか。解らなければ仕事場へ行って見ますか」、ということでは本当のキャリア教育になり得ない気がするのです。ですから、先ずは先生達がインターンシップをやるということのほうが先なのではないかと思えます。それと、教師以外の社会経験を持った方達の積極的な

教師への採用を推進して行ってほしいですね。

10.子どもたちの活力をどう担保するか

【岩崎】 このキャリア発達プロジェクトは、ニートやフリーター問題から子どもの職業観・就業感の育成のためにどのような視点が必要かというところから始まっておりますので、若干話題がずれるのですが、今の子ども達のエネルギーや活力の無さ、自立性の無さと言う事に関して、ご示唆を頂ければと思います。

【中野】 子どもをめぐって悲惨な事件が起きています。そして子どもの安全対策がおおきな課題になっています。もちろん何らかの安全策を講じていかなければならないのですが、それは子どもの行動をすべてチェックし、親がどこにいて何をやっているかが、全部わかるようにしようとするには注意が必要だと思います。危険なものはすべて事前に取り除かれ、子どもは大人の手の内に入れてしまいます。その中で元気を出せと言われても難しいのではないかと思うのです。子どもは大切にされるべきもので、可愛いがられ、守られなければならないという考え方がとても強くなって来ているように思います。元気がないから、どこかで大人になれば、頑張れと言っても、一体どこで力を持って、どこで大人になれるのか、そこがどんどん見えなくなって来ているような気がします。

【別府】 秘密が持たなくては本当の意味での大人になれないですね。また、現在の子どもたちが生まれつき元気がなかったり、好奇心がなかったりするわけではなくて、元気が出せないような状況に置かれているのだと思います。

【小川】 いつから子どもがこんなに元気が無くなったのだろうと思います。昔もそう言う子はいたのですが、昔は少なくともガキ大将がいて、走り回っていました。単にマンションが増えたと言うことではなくて、親が「あれしちや駄目、これしちや駄目」と手を出しすぎ、それがどんどんひどくなってきているような気がします。やはり、「あれしちや駄目、これしちや駄目」と全部先回りしてしまうと、子どもは怪我もしないかわりに何も学ばない。やはり木に登って、滑って落ちれば痛いわけで、痛いと知ればつぎどうしたら痛くないようになるのかなとなるわけです。人間は痛い思いをして学べるところが沢山あると思います。そう言うことが無さ過ぎて、画面の上、文字の上だけで学ぼうとしている、これは危ないです。これは痛いですと言われても、子どもにとっては人ごとなんですよね。

【岩崎】 インタビューをした生き生きしている人たちには、元気、前向き、好奇心が強い、エネルギーッシュといった性格や態度が見られたのに対し、今の子どもたちはその対局的な感じですよ。それでは、どういう風に、教育の場面で子どもたちに活力を持たすような働きかけができるのでしょうか。今の子ども達を取り巻く社会状況の中で、どのような働きかけが出来るのでしょうか。

【藤田】 何かきつとできるはずだと思うのですが、今の段階で、そう簡単に割り切って言えることでもなさそうな気がします。親の問題、社会の問題、時代背景などの影響もかなりあるでしょう。やはり、豊かな社会が続いて、プロセスを重視せず、結果だけが出ればいいという感じが

強い世の中ですから、その場しのぎの思いつきの方法では難しいでしょう。

【別府】 子どもに説明できない生活を大人自身がしているということかと思います。先ほど言いましたように、お父さんは真っすぐにサラ金に行ってしまう、子供は援助交際に行ってしまうと、そう言うところで真面目にこつこつ働いて、自分の可能性を伸ばそう、見つけようという説明をどうやってすれば説得力があるのか難しいことですよね。どう考えても昔より豊かになっている中で、万引きをする子どもがいっぱいいるわけです。70歳、80歳代の人をインタビューしていると「あの、貧乏こそが教育的なのだ」といわれます。それならば、貧乏が良いかという、貧乏はみんな嫌なはずです。でも、貧乏であったときの、ひたむきに働く姿勢には心が引きつけられるものがあります。今、学生が就職してもらって初任給よりも学校に行きながら夜バイトをしていたときの方が収入は多いですね。私の勤めている学校では国家資格を取って、ほとんどの学生は就職するのですが、中にはしない子もいるのです。何をしているかという、キャバクラ嬢をしているのです。国家資格を取って夜勤もしながら働いているクラスメートの方が彼女より、ずっと給料が安いのです。これと同様に、一生懸命働くよりも毎日パソコンで株の取引をして稼ぐ方が儲かるということが現実にはあるわけです。

【小川】 子どもに生きる力がないのではなく、大人にその活力という物が失われてしまったために、その重要性に大人達が初めて気づき、子ども達に生きる力をつけなければいけないと言うようになったのかもしれない。大人も子どももストレスに対する耐性がついていないような気がします。今の若者には打たれ強さが無いと常々思っており、ストレス状況下での判断力、創造力、そういうものを育てる教育が必要ではないかという気がします。何かを成し遂げれば達成感はあると思います。大変なことでも試行錯誤しながらやれば出来るのだと言うことが、自己効力感にも達成感にもなるだろうと思います。達成感の積み重ねが自己効力感を高めていくのです。何もかも簡単に手に入るとハングリー精神と言った言葉も死語になってしまって達成感はどこかに行ってしまうでしょう。適当にやっておけば何とかなるよと言う子が、やはり多くなっていますが、どんな状況でも、投げない、諦めずにやって行くという気持ちを小学生の時から育てていかないと、大人になってからでは厳しいと思います。

【別府】 それに関連するかどうか分かりませんが、学校の先生も親も出来ない子や不登校の子に、異口同音に「あなたね、能力は有るのだから、やれば出来るのだからやりなさい。」というのです。でも、「やれば出来る」と世の中が言い過ぎだと思うのです。やっても出来ないこともあるし、言ってる大人だってやれることやってないわけですから。私はごくごく普通にやったら出来たと言う体験を積み重ねて行けば、子どもの元気がでてくるようになると思うのです。ところが、みんなで口を揃えて「あなたはやれば出来る」というのは、自分では分らないかもしれないが、私たちにはあなたのことが分っているんだという傲慢な気持ちが感じられる。ただ励ましているつもりかもしれないけれど、「やれば出来る」というのは、良い言葉ではないと最近思うようになりました。むしろ、大人は「やったら出来た」という体験をさせてやる場をいっぱい提供した方が子どもはうれしいと思います。

【小川】 小さな成功体験を積み重ねていくことが、大きなものに実を結んで来ると思うのです。

やれば出来るから頑張れとすごく遠いところにゴールが設定されることが多いのですよね。

【別府】 世の中には、やっても出来ない子どももけっこういます。

【中野】 今回女性のキャリアのインタビューをして感じたのは、子どものころにストレスという悩みを抱えていたということです。そして、こうやったら良くなったとか、次の何かにつながったという体験を持っていました。ですからストレスを取り除くだけではなくそれを解決する体験を、小学校の時から出来るとういかもしれませんね。

11.働くことの意味とは

【別府】 日々生活していると必ず問題が起きるわけです。そういう問題が起きたときの解決の仕方というのが、それぞれの家の文化だと思うのです。問題が起きた時に親がどう対処しているかというのは、子供が生きていくうえでのモデルになるのではないかと思います。自分が出来ていないのに子どもだけにはこうして欲しいというのは無理があるかもしれない。インタビューした方たちは、本当に大変な危機を脱するために働き始めたわけですが、しだいに働くことが楽しくなっている。だから、働くことというのは基本的には楽しいことだと思う。もちろん、苦しいこともいっぱいあるのだけれども、仕事をする意味とか楽しさっていうのを子どもに伝えていくというのは大事ではないかと思います。生きるということと、仕事をするということは本当に同じことのように思います。

【小川】 子どもは親や講師の背中を見て育つと思います。いちばん身近な大人の労働モデルは、親であり、教師であるわけです。そうすると、その親や教師が働くのがちっとも楽しそうじゃない顔をして勤労観を伝えたところで、子どもは「何言ってやがるんだ」とそれで終わってしまう。今の社会状況の中で本当に生き生きと働いている親や、教師はどのくらいいるのかということ、日本中が一緒になって考えて行かない限りは、解決出来ないだろうなという思いがあります。

【別府】 そんな気がしますね。生きること、イコール働くことであって、働くことが自立につながり、自立しているということによって自由を保障されているということになります。その辺を親が子どもに知らせることが大事ですね。でも、全体的に大人は疲れ切っているのではないのでしょうか。リストラされたりして不安定な状況で仕方がないのかもしれませんが。

【小川】 親が疲れていて、「何もこんなに無理して学校を出て正社員になったって、こんな大変な思いをするのだったら、何も正社員で働かなくても良いのではないか」と考える親も増えてきているのです。なかなか就職したがる学生に、「親御さんはなんとおっしゃっているの」と聞くと、「いや、別に無理して就職しなくても、言っています」というのです。その辺からしても、今は親の意識もずいぶん違って来ています。

【別府】 働かなかつたら生きていけないですよ。どの動物でも餌を取らずに生きている動物なんていないですから。まずは、遊ぶためにでも食べるためにでも働く事は大事だと思います。そうやって、働いていくうちに、いろいろな物が見えてくる。とにかく働かなければ見えないものがあると思います。

【中野】 学習というと学校中心に考えがちですが、実は学校だけで全てが終わるわけではなく、

キャリア積んでいく過程の中で学習の機会はとても重要だと考えます。特に女性はいったんある企業に入ったら定年までそこで働くという選択をする人が少なく、家庭生活や職業生活のバランスをライフコースの中で再構成しています。そのためにも仕事をしながら何かを勉強する、今仕事をしていなくても、何か仕事につなげる、活動につながるような学習の機会を作っていく、それが人生の展開にとっても求められていると思います。

【小川】 今回、お話を伺う中で、人とのつながりというのが大きなキーワードだと思いました。やはりそれを子どもにどういう風に伝えていくかということなのです。偶然の出会いの大切さ、瞬間瞬間生きているのだということを教えていくことが、単にキャリア教育と言うことだけではなく、命の大切さなどの感性にも恐らくつながって行くのだろうと考えます。一人一人の命を大事にしていくことが人とのつながりにもつながっていくわけで、それが、人間関係の構築能力と言うことにも、おそらくつながって行くと思います。このインタビューを通して、「こうやって生き生きと生きている人たちがいるんですよ」と言うモデルを提示できれば、インタビュー調査を行った意義があったのではないかと考えます。

【藤田】 基本は、等身大の自分というか、今ここでの自分を土台にして、その中でできる範囲で、自分の成長というのも視野に入れながら働く、活動するということが大切であり、それこそが自己実現や生きがいにつながるのだという希望や自信を持てるということが、一番大事な視点だと思います。いたずらに、人と比較して落ち込んだり、優越感を持ったりしなくてよいということであれば、人との交流も誠実、フェアになる。

【別府】 仕事に就く、就職すると言うことは、自立して生きることの最初の一步だと思うのです。とにかく仕事というものに就いて見る、そして、それから自分に合った仕事をみつける。最初から解るものじゃ無いと思います。仕事をしながら、自分の可能性や向いているものは見つけることが出来るものです。実際の仕事や生活の中から、幸せも適性も見つけていくものだと思うのです。頭で十分に考えてからしか動けないと言うのは、今の豊かな時代だから許されるのかもしれない。基本は活動しながら、働きながら考える、働きながら成長すると思います。あまり慎重に考えすぎたり、個性に合った仕事といったことにこだわり過ぎたりすると、それが動けなくなる原因になってしまうような気がしました。

【岩崎】 大学生に行ったアンケートの回答に、「好きなように仕事を選べるといった自由を与えられることはしんどい」というのがありました。やはり就職のみならず、思いどおりにいかなない現実の状況の中で精一杯有効に生きるということが大事だということを今回の座談会を通じて知見として得られたような気がいたします。今後のキャリア教育にこのような視点が盛り込まれるよう、また、子どもたちには、自分の人生を努力してよりよいものにしていくのだという気概を持てるような教育がなされることを望んでやみません。本日は本当にどうもありがとうございました。

場所：国立教育政策研究所 西館談話室

日時：平成17年12月18日 インタビュー調査座談会

資 料

1 質問紙調査クロス集計表

Q3. あなたは、つぎのどれに当たりますか

		合計	常勤として働いている	パートタイマーとして働いている	非常勤・アルバイトとして働いている	専業主婦・主夫	その他	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	236	3	8		6	1
		行%	100.0	92.9	1.2	3.1		2.4	.4
	35歳～39歳	度数	253	239	3	5		5	1
		行%	100.0	94.5	1.2	2.0		2.0	.4
	40歳～44歳	度数	253	235	2	4		10	2
		行%	100.0	92.9	.8	1.6		4.0	.8
	45歳～49歳	度数	253	243			1	9	
		行%	100.0	96.0			.4	3.6	
合計	度数	1013	953	8	17	1	30	4	
	行%	100.0	94.1	.8	1.7	.1	3.0	.4	
女性	30歳～34歳	度数	252	70	33	15	122	8	4
		行%	100.0	27.8	13.1	6.0	48.4	3.2	1.6
	35歳～39歳	度数	252	54	36	15	125	20	2
		行%	100.0	21.4	14.3	6.0	49.6	7.9	.8
	40歳～44歳	度数	252	57	65	17	96	14	3
		行%	100.0	22.6	25.8	6.7	38.1	5.6	1.2
	45歳～49歳	度数	252	56	56	19	102	14	5
		行%	100.0	22.2	22.2	7.5	40.5	5.6	2.0
	合計	度数	1008	237	190	66	445	56	14
		行%	100.0	23.5	18.8	6.5	44.1	5.6	1.4
合計	30歳～34歳	度数	506	306	36	23	122	14	5
		行%	100.0	60.5	7.1	4.5	24.1	2.8	1.0
	35歳～39歳	度数	505	293	39	20	125	25	3
		行%	100.0	58.0	7.7	4.0	24.8	5.0	.6
	40歳～44歳	度数	505	292	67	21	96	24	5
		行%	100.0	57.8	13.3	4.2	19.0	4.8	1.0
	45歳～49歳	度数	505	299	56	19	103	23	5
		行%	100.0	59.2	11.1	3.8	20.4	4.6	1.0
	合計	度数	2021	1190	198	83	446	86	18
		行%	100.0	58.9	9.8	4.1	22.1	4.3	.9

Q3-1. あなたの仕事は、つぎのどれに当たりますか

			合計	専門的・ 技術的職業	管理的職業 (管理 的公務員、会社・ 団体の役員など)	事務的職業 (一般 事務員、 会計事務 員、営業・ 販売関連 事務員など)	販売の職業 (商品 販売、販売 類似(不 動産仲介 人)など)	サービスの職業 (生活衛生、飲食 物調理、 接客サービスなど)	保安の職業 (自衛官、警察 官、消防 員など)	農林漁業 の職業	運輸・通信 の職業 (鉄道運 転、自動車 運転など)	技能工、 採掘・製造・建設 の職業および労務 の職業	上記以外	無回答	
															度数
男性	30歳～34歳	度数	236	60	12	76	13	11	2	2	10	32	18		
		行%	100.0	25.4	5.1	32.2	5.5	4.7	.8	.8	4.2	13.6	7.6		
	35歳～39歳	度数	239	69	15	62	26	11	3	2	3	28	18	2	
		行%	100.0	28.9	6.3	25.9	10.9	4.6	1.3	.8	1.3	11.7	7.5	.8	
	40歳～44歳	度数	235	65	28	55	23	12	6	1	9	23	11	2	
		行%	100.0	27.7	11.9	23.4	9.8	5.1	2.6	.4	3.8	9.8	4.7	.9	
	45歳～49歳	度数	243	67	37	59	20	7	3	2	1	19	23	5	
		行%	100.0	27.6	15.2	24.3	8.2	2.9	1.2	.8	.4	7.8	9.5	2.1	
	合計	度数	953	261	92	252	82	41	14	7	23	102	70	9	
		行%	100.0	27.4	9.7	26.4	8.6	4.3	1.5	.7	2.4	10.7	7.3	.9	
	女性	30歳～34歳	度数	70	9	1	40	1	5				2	10	2
			行%	100.0	12.9	1.4	57.1	1.4	7.1				2.9	14.3	2.9
35歳～39歳		度数	54	12		29		5				4	4		
		行%	100.0	22.2		53.7		9.3				7.4	7.4		
40歳～44歳		度数	57	9	4	34	2	3			1	1	3		
		行%	100.0	15.8	7.0	59.6	3.5	5.3			1.8	1.8	5.3		
45歳～49歳		度数	56	16	1	25	3	6				2	3		
		行%	100.0	28.6	1.8	44.6	5.4	10.7				3.6	5.4		
合計		度数	237	46	6	128	6	19			1	9	20	2	
		行%	100.0	19.4	2.5	54.0	2.5	8.0			.4	3.8	8.4	.8	
合計		30歳～34歳	度数	306	69	13	116	14	16	2	2	10	34	28	2
			行%	100.0	22.5	4.2	37.9	4.6	5.2	.7	.7	3.3	11.1	9.2	.7
	35歳～39歳	度数	293	81	15	91	26	16	3	2	3	32	22	2	
		行%	100.0	27.6	5.1	31.1	8.9	5.5	1.0	.7	1.0	10.9	7.5	.7	
	40歳～44歳	度数	292	74	32	89	25	15	6	2	9	24	14	2	
		行%	100.0	25.3	11.0	30.5	8.6	5.1	2.1	.7	3.1	8.2	4.8	.7	
	45歳～49歳	度数	299	83	38	84	23	13	3	2	1	21	26	5	
		行%	100.0	27.8	12.7	28.1	7.7	4.3	1.0	.7	.3	7.0	8.7	1.7	
	合計	度数	1190	307	98	380	88	60	14	8	23	111	90	11	
		行%	100.0	25.8	8.2	31.9	7.4	5.0	1.2	.7	1.9	9.3	7.6	.9	

Q3-1SQ. あなたの仕事は、つぎのどれにあたりますか(専門的・技術的職業内の下位分類)

			合計	科学研究者	医師、薬 剤師	保健医療 の職業 (看護師、 栄養士、 臨床検査 技師、理 学療法士)	法務・財 務の職業 (裁判官、 弁護士、 弁護士、 公認会計 士、税理 士)	教育の職 業(幼稚 園教員、 小学校教 員、中学 校教員、 高等学校 教員)	高等教育 の職業 (大学教 員、短大 教員、高 等専門学 校教員)	その他	無回答	
												度数
男性	30歳～34歳	度数	60	11	4	2	1	2	3	36	1	
		行%	100.0	18.3	6.7	3.3	1.7	3.3	5.0	60.0	1.7	
	35歳～39歳	度数	69	11	4	2	1	6	1	42	2	
		行%	100.0	15.9	5.8	2.9	1.4	8.7	1.4	60.9	2.9	
	40歳～44歳	度数	65	14	1	2	3	9	3	31	2	
		行%	100.0	21.5	1.5	3.1	4.6	13.8	4.6	47.7	3.1	
	45歳～49歳	度数	67	7	5	6	2	7	1	35	4	
		行%	100.0	10.4	7.5	9.0	3.0	10.4	1.5	52.2	6.0	
	合計	度数	261	43	14	12	7	24	8	144	9	
		行%	100.0	16.5	5.4	4.6	2.7	9.2	3.1	55.2	3.4	
	女性	30歳～34歳	度数	9			4		3		2	
			行%	100.0			44.4		33.3		22.2	
35歳～39歳		度数	12		2	3	1	2	2	2		
		行%	100.0		16.7	25.0	8.3	16.7	16.7	16.7		
40歳～44歳		度数	9	1	1	1		3		3		
		行%	100.0	11.1	11.1	11.1		33.3		33.3		
45歳～49歳		度数	16		2	5		3		6		
		行%	100.0		12.5	31.3		18.8		37.5		
合計		度数	46	1	5	13	1	11	2	13		
		行%	100.0	2.2	10.9	28.3	2.2	23.9	4.3	28.3		
合計		30歳～34歳	度数	69	11	4	6	1	5	3	38	1
			行%	100.0	15.9	5.8	8.7	1.4	7.2	4.3	55.1	1.4
	35歳～39歳	度数	81	11	6	5	2	8	3	44	2	
		行%	100.0	13.6	7.4	6.2	2.5	9.9	3.7	54.3	2.5	
	40歳～44歳	度数	74	15	2	3	3	12	3	34	2	
		行%	100.0	20.3	2.7	4.1	4.1	16.2	4.1	45.9	2.7	
	45歳～49歳	度数	83	7	7	11	2	10	1	41	4	
		行%	100.0	8.4	8.4	13.3	2.4	12.0	1.2	49.4	4.8	
	合計	度数	307	44	19	25	8	35	10	157	9	
		行%	100.0	14.3	6.2	8.1	2.6	11.4	3.3	51.1	2.9	

Q3-3. あなたの現在の仕事は、ご両親や親戚など身近な人と類似の仕事ですか

		合計	はい	いいえ	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	236	25	209	2
		行%	100.0	10.6	88.6	.8
	35歳～39歳	度数	239	37	201	1
		行%	100.0	15.5	84.1	.4
	40歳～44歳	度数	235	21	213	1
		行%	100.0	8.9	90.6	.4
	45歳～49歳	度数	243	29	208	6
		行%	100.0	11.9	85.6	2.5
	合計	度数	953	112	831	10
		行%	100.0	11.8	87.2	1.0
女性	30歳～34歳	度数	70	8	59	3
		行%	100.0	11.4	84.3	4.3
	35歳～39歳	度数	54	7	45	2
		行%	100.0	13.0	83.3	3.7
	40歳～44歳	度数	57	9	46	2
		行%	100.0	15.8	80.7	3.5
	45歳～49歳	度数	56	9	47	
		行%	100.0	16.1	83.9	
	合計	度数	237	33	197	7
		行%	100.0	13.9	83.1	3.0
合計	30歳～34歳	度数	306	33	268	5
		行%	100.0	10.8	87.6	1.6
	35歳～39歳	度数	293	44	246	3
		行%	100.0	15.0	84.0	1.0
	40歳～44歳	度数	292	30	259	3
		行%	100.0	10.3	88.7	1.0
	45歳～49歳	度数	299	38	255	6
		行%	100.0	12.7	85.3	2.0
	合計	度数	1190	145	1028	17
		行%	100.0	12.2	86.4	1.4

Q3-3SQ. それはどなたですか

		合計	母親	父親	親戚	その他	無回答
男性	30歳～34歳	度数	25	4	18	4	1
		行%	100.0	16.0	72.0	16.0	4.0
	35歳～39歳	度数	37	10	20	10	2
		行%	100.0	27.0	54.1	27.0	5.4
	40歳～44歳	度数	21	4	16	7	2
		行%	100.0	19.0	76.2	33.3	9.5
	45歳～49歳	度数	29	6	17	13	1
		行%	100.0	20.7	58.6	44.8	3.4
	合計	度数	112	24	71	34	6
		行%	100.0	21.4	63.4	30.4	5.4
女性	30歳～34歳	度数	8	3	4		2
		行%	100.0	37.5	50.0		25.0
	35歳～39歳	度数	7	3	1	2	2
		行%	100.0	42.9	14.3	28.6	28.6
	40歳～44歳	度数	9	2	3	1	4
		行%	100.0	22.2	33.3	11.1	44.4
	45歳～49歳	度数	9	4	3	5	2
		行%	100.0	44.4	33.3	55.6	22.2
	合計	度数	33	12	11	8	10
		行%	100.0	36.4	33.3	24.2	30.3
合計	30歳～34歳	度数	33	7	22	4	3
		行%	100.0	21.2	66.7	12.1	9.1
	35歳～39歳	度数	44	13	21	12	4
		行%	100.0	29.5	47.7	27.3	9.1
	40歳～44歳	度数	30	6	19	8	6
		行%	100.0	20.0	63.3	26.7	20.0
	45歳～49歳	度数	38	10	20	18	3
		行%	100.0	26.3	52.6	47.4	7.9
	合計	度数	145	36	82	42	16
		行%	100.0	24.8	56.6	29.0	11.0

Q3-4. あなたは、現在の仕事にどのようにして就きましたか【1】かなり早くから関心を持ち努力して就いた】

		合計	そうである	そうでない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	236	74	150	12
		行%	100.0	31.4	63.6	5.1
	35歳～39歳	度数	239	67	165	7
		行%	100.0	28.0	69.0	2.9
	40歳～44歳	度数	235	77	150	8
		行%	100.0	32.8	63.8	3.4
	45歳～49歳	度数	243	85	147	11
		行%	100.0	35.0	60.5	4.5
	合計	度数	953	303	612	38
		行%	100.0	31.8	64.2	4.0
女性	30歳～34歳	度数	70	16	48	6
		行%	100.0	22.9	68.6	8.6
	35歳～39歳	度数	54	12	38	4
		行%	100.0	22.2	70.4	7.4
	40歳～44歳	度数	57	11	43	3
		行%	100.0	19.3	75.4	5.3
	45歳～49歳	度数	56	20	35	1
		行%	100.0	35.7	62.5	1.8
	合計	度数	237	59	164	14
		行%	100.0	24.9	69.2	5.9
合計	30歳～34歳	度数	306	90	198	18
		行%	100.0	29.4	64.7	5.9
	35歳～39歳	度数	293	79	203	11
		行%	100.0	27.0	69.3	3.8
	40歳～44歳	度数	292	88	193	11
		行%	100.0	30.1	66.1	3.8
	45歳～49歳	度数	299	105	182	12
		行%	100.0	35.1	60.9	4.0
	合計	度数	1190	362	776	52
		行%	100.0	30.4	65.2	4.4

Q3-4. あなたは、現在の仕事にどのようにして就きましたか【2】仕事を選択するときに、悩みながら自分の意志で努力して就いた】

		合計	そうである	そうでない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	236	125	102	9
		行%	100.0	53.0	43.2	3.8
	35歳～39歳	度数	239	122	110	7
		行%	100.0	51.0	46.0	2.9
	40歳～44歳	度数	235	116	111	8
		行%	100.0	49.4	47.2	3.4
	45歳～49歳	度数	243	105	126	12
		行%	100.0	43.2	51.9	4.9
	合計	度数	953	468	449	36
		行%	100.0	49.1	47.1	3.8
女性	30歳～34歳	度数	70	38	27	5
		行%	100.0	54.3	38.6	7.1
	35歳～39歳	度数	54	18	32	4
		行%	100.0	33.3	59.3	7.4
	40歳～44歳	度数	57	23	31	3
		行%	100.0	40.4	54.4	5.3
	45歳～49歳	度数	56	31	24	1
		行%	100.0	55.4	42.9	1.8
	合計	度数	237	110	114	13
		行%	100.0	46.4	48.1	5.5
合計	30歳～34歳	度数	306	163	129	14
		行%	100.0	53.3	42.2	4.6
	35歳～39歳	度数	293	140	142	11
		行%	100.0	47.8	48.5	3.8
	40歳～44歳	度数	292	139	142	11
		行%	100.0	47.6	48.6	3.8
	45歳～49歳	度数	299	136	150	13
		行%	100.0	45.5	50.2	4.3
	合計	度数	1190	578	563	49
		行%	100.0	48.6	47.3	4.1

Q3-4. あなたは、現在の仕事にどのようにして就きましたか【3】仕事があれば何でもよく、特定の仕事に深い関心はなかった】

			合計	そうである	そうでない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	236	62	164	10
		行%	100.0	26.3	69.5	4.2
	35歳～39歳	度数	239	62	168	9
		行%	100.0	25.9	70.3	3.8
	40歳～44歳	度数	235	58	167	10
		行%	100.0	24.7	71.1	4.3
	45歳～49歳	度数	243	66	166	11
		行%	100.0	27.2	68.3	4.5
	合計	度数	953	248	665	40
		行%	100.0	26.0	69.8	4.2
女性	30歳～34歳	度数	70	19	45	6
		行%	100.0	27.1	64.3	8.6
	35歳～39歳	度数	54	16	34	4
		行%	100.0	29.6	63.0	7.4
	40歳～44歳	度数	57	19	36	2
		行%	100.0	33.3	63.2	3.5
	45歳～49歳	度数	56	22	33	1
		行%	100.0	39.3	58.9	1.8
	合計	度数	237	76	148	13
		行%	100.0	32.1	62.4	5.5
合計	30歳～34歳	度数	306	81	209	16
		行%	100.0	26.5	68.3	5.2
	35歳～39歳	度数	293	78	202	13
		行%	100.0	26.6	68.9	4.4
	40歳～44歳	度数	292	77	203	12
		行%	100.0	26.4	69.5	4.1
	45歳～49歳	度数	299	88	199	12
		行%	100.0	29.4	66.6	4.0
	合計	度数	1190	324	813	53
		行%	100.0	27.2	68.3	4.5

Q3-4. あなたは、現在の仕事にどのようにして就きましたか【4】就きたい仕事がいなかったのとあわせて就いた】

			合計	そうである	そうでない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	236	67	160	9
		行%	100.0	28.4	67.8	3.8
	35歳～39歳	度数	239	68	164	7
		行%	100.0	28.5	68.6	2.9
	40歳～44歳	度数	235	60	166	9
		行%	100.0	25.5	70.6	3.8
	45歳～49歳	度数	243	52	180	11
		行%	100.0	21.4	74.1	4.5
	合計	度数	953	247	670	36
		行%	100.0	25.9	70.3	3.8
女性	30歳～34歳	度数	70	18	47	5
		行%	100.0	25.7	67.1	7.1
	35歳～39歳	度数	54	14	35	5
		行%	100.0	25.9	64.8	9.3
	40歳～44歳	度数	57	10	44	3
		行%	100.0	17.5	77.2	5.3
	45歳～49歳	度数	56	16	40	
		行%	100.0	28.6	71.4	
	合計	度数	237	58	166	13
		行%	100.0	24.5	70.0	5.5
合計	30歳～34歳	度数	306	85	207	14
		行%	100.0	27.8	67.6	4.6
	35歳～39歳	度数	293	82	199	12
		行%	100.0	28.0	67.9	4.1
	40歳～44歳	度数	292	70	210	12
		行%	100.0	24.0	71.9	4.1
	45歳～49歳	度数	299	68	220	11
		行%	100.0	22.7	73.6	3.7
	合計	度数	1190	305	836	49
		行%	100.0	25.6	70.3	4.1

Q3-4. あなたは、現在の仕事にどのようにして就きましたか【5】就きたい仕事に就けなかったのであきらめて就いた】

			合計	そうである	そうでない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	236	43	180	13
		行%	100.0	18.2	76.3	5.5
	35歳～39歳	度数	239	28	203	8
		行%	100.0	11.7	84.9	3.3
	40歳～44歳	度数	235	32	192	11
		行%	100.0	13.6	81.7	4.7
	45歳～49歳	度数	243	23	206	14
		行%	100.0	9.5	84.8	5.8
	合計	度数	953	126	781	46
		行%	100.0	13.2	82.0	4.8
女性	30歳～34歳	度数	70	5	59	6
		行%	100.0	7.1	84.3	8.6
	35歳～39歳	度数	54	8	43	3
		行%	100.0	14.8	79.6	5.6
	40歳～44歳	度数	57	1	52	4
		行%	100.0	1.8	91.2	7.0
	45歳～49歳	度数	56	6	49	1
		行%	100.0	10.7	87.5	1.8
	合計	度数	237	20	203	14
		行%	100.0	8.4	85.7	5.9
合計	30歳～34歳	度数	306	48	239	19
		行%	100.0	15.7	78.1	6.2
	35歳～39歳	度数	293	36	246	11
		行%	100.0	12.3	84.0	3.8
	40歳～44歳	度数	292	33	244	15
		行%	100.0	11.3	83.6	5.1
	45歳～49歳	度数	299	29	255	15
		行%	100.0	9.7	85.3	5.0
	合計	度数	1190	146	984	60
		行%	100.0	12.3	82.7	5.0

Q4. あなたの現在の仕事(パートタイム、アルバイト、専業主婦・主夫を含む。以下同じ。)は、あなたが本当に就きたい理想の仕事でしたか

			合計	はい	いいえ	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	107	147	
		行%	100.0	42.1	57.9	
	35歳～39歳	度数	253	105	148	
		行%	100.0	41.5	58.5	
	40歳～44歳	度数	253	114	138	1
		行%	100.0	45.1	54.5	.4
	45歳～49歳	度数	253	116	136	1
		行%	100.0	45.8	53.8	.4
	合計	度数	1013	442	569	2
		行%	100.0	43.6	56.2	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	114	136	2
		行%	100.0	45.2	54.0	.8
	35歳～39歳	度数	252	108	143	1
		行%	100.0	42.9	56.7	.4
	40歳～44歳	度数	252	117	132	3
		行%	100.0	46.4	52.4	1.2
	45歳～49歳	度数	252	115	137	
		行%	100.0	45.6	54.4	
	合計	度数	1008	454	548	6
		行%	100.0	45.0	54.4	.6
合計	30歳～34歳	度数	506	221	283	2
		行%	100.0	43.7	55.9	.4
	35歳～39歳	度数	505	213	291	1
		行%	100.0	42.2	57.6	.2
	40歳～44歳	度数	505	231	270	4
		行%	100.0	45.7	53.5	.8
	45歳～49歳	度数	505	231	273	1
		行%	100.0	45.7	54.1	.2
	合計	度数	2021	896	1117	8
		行%	100.0	44.3	55.3	.4

Q5. あなたは、現在の仕事をもし変えることができるとしたらどうしますか

		合計	すぐに変える	しばらく考えてから変える	変えない	わからない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	33	93	71	56	1
		行%	100.0	13.0	36.6	28.0	22.0	.4
	35歳～39歳	度数	253	30	99	70	54	.
		行%	100.0	11.9	39.1	27.7	21.3	
	40歳～44歳	度数	253	33	68	96	53	3
		行%	100.0	13.0	26.9	37.9	20.9	1.2
	45歳～49歳	度数	253	26	79	106	41	1
		行%	100.0	10.3	31.2	41.9	16.2	.4
	合計	度数	1013	122	339	343	204	5
		行%	100.0	12.0	33.5	33.9	20.1	.5
女性	30歳～34歳	度数	252	20	91	74	64	3
		行%	100.0	7.9	36.1	29.4	25.4	1.2
	35歳～39歳	度数	252	26	82	66	71	7
		行%	100.0	10.3	32.5	26.2	28.2	2.8
	40歳～44歳	度数	252	21	86	64	76	5
		行%	100.0	8.3	34.1	25.4	30.2	2.0
	45歳～49歳	度数	252	25	63	87	75	2
		行%	100.0	9.9	25.0	34.5	29.8	.8
	合計	度数	1008	92	322	291	286	17
		行%	100.0	9.1	31.9	28.9	28.4	1.7
合計	30歳～34歳	度数	506	53	184	145	120	4
		行%	100.0	10.5	36.4	28.7	23.7	.8
	35歳～39歳	度数	505	56	181	136	125	7
		行%	100.0	11.1	35.8	26.9	24.8	1.4
	40歳～44歳	度数	505	54	154	160	129	8
		行%	100.0	10.7	30.5	31.7	25.5	1.6
	45歳～49歳	度数	505	51	142	193	116	3
		行%	100.0	10.1	28.1	38.2	23.0	.6
	合計	度数	2021	214	661	634	490	22
		行%	100.0	10.6	32.7	31.4	24.2	1.1

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【1)賃金がよくない】

		合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	126	46	45	24	8	3
		行%	100.0	36.5	35.7	19.0	6.3	2.4
	35歳～39歳	度数	129	40	42	35	11	1
		行%	100.0	31.0	32.6	27.1	8.5	.8
	40歳～44歳	度数	101	33	36	25	6	1
		行%	100.0	32.7	35.6	24.8	5.9	1.0
	45歳～49歳	度数	105	22	31	40	10	2
		行%	100.0	21.0	29.5	38.1	9.5	1.9
	合計	度数	461	141	154	124	35	7
		行%	100.0	30.6	33.4	26.9	7.6	1.5
女性	30歳～34歳	度数	111	30	33	22	21	5
		行%	100.0	27.0	29.7	19.8	18.9	4.5
	35歳～39歳	度数	108	37	23	29	14	5
		行%	100.0	34.3	21.3	26.9	13.0	4.6
	40歳～44歳	度数	107	22	39	26	13	7
		行%	100.0	20.6	36.4	24.3	12.1	6.5
	45歳～49歳	度数	88	21	31	19	13	4
		行%	100.0	23.9	35.2	21.6	14.8	4.5
	合計	度数	414	110	126	96	61	21
		行%	100.0	26.6	30.4	23.2	14.7	5.1
合計	30歳～34歳	度数	237	76	78	46	29	8
		行%	100.0	32.1	32.9	19.4	12.2	3.4
	35歳～39歳	度数	237	77	65	64	25	6
		行%	100.0	32.5	27.4	27.0	10.5	2.5
	40歳～44歳	度数	208	55	75	51	19	8
		行%	100.0	26.4	36.1	24.5	9.1	3.8
	45歳～49歳	度数	193	43	62	59	23	6
		行%	100.0	22.3	32.1	30.6	11.9	3.1
	合計	度数	875	251	280	220	96	28
		行%	100.0	28.7	32.0	25.1	11.0	3.2

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【2)働く時間や休暇に不満がある】

			合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	126	37	36	31	19	3
		行%	100.0	29.4	28.6	24.6	15.1	2.4
	35歳～39歳	度数	129	40	31	40	16	2
		行%	100.0	31.0	24.0	31.0	12.4	1.6
	40歳～44歳	度数	101	28	28	37	7	1
		行%	100.0	27.7	27.7	36.6	6.9	1.0
	45歳～49歳	度数	105	12	37	40	14	2
		行%	100.0	11.4	35.2	38.1	13.3	1.9
	合計	度数	461	117	132	148	56	8
		行%	100.0	25.4	28.6	32.1	12.1	1.7
女性	30歳～34歳	度数	111	19	24	34	28	6
		行%	100.0	17.1	21.6	30.6	25.2	5.4
	35歳～39歳	度数	108	18	24	37	24	5
		行%	100.0	16.7	22.2	34.3	22.2	4.6
	40歳～44歳	度数	107	14	31	34	20	8
		行%	100.0	13.1	29.0	31.8	18.7	7.5
	45歳～49歳	度数	88	13	25	28	18	4
		行%	100.0	14.8	28.4	31.8	20.5	4.5
	合計	度数	414	64	104	133	90	23
		行%	100.0	15.5	25.1	32.1	21.7	5.6
合計	30歳～34歳	度数	237	56	60	65	47	9
		行%	100.0	23.6	25.3	27.4	19.8	3.8
	35歳～39歳	度数	237	58	55	77	40	7
		行%	100.0	24.5	23.2	32.5	16.9	3.0
	40歳～44歳	度数	208	42	59	71	27	9
		行%	100.0	20.2	28.4	34.1	13.0	4.3
	45歳～49歳	度数	193	25	62	68	32	6
		行%	100.0	13.0	32.1	35.2	16.6	3.1
	合計	度数	875	181	236	281	146	31
		行%	100.0	20.7	27.0	32.1	16.7	3.5

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【3)仕事の内容が単調すぎてつまらない】

			合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	126	15	43	49	17	2
		行%	100.0	11.9	34.1	38.9	13.5	1.6
	35歳～39歳	度数	129	12	31	58	27	1
		行%	100.0	9.3	24.0	45.0	20.9	.8
	40歳～44歳	度数	101	11	21	55	13	1
		行%	100.0	10.9	20.8	54.5	12.9	1.0
	45歳～49歳	度数	105	9	25	45	24	2
		行%	100.0	8.6	23.8	42.9	22.9	1.9
	合計	度数	461	47	120	207	81	6
		行%	100.0	10.2	26.0	44.9	17.6	1.3
女性	30歳～34歳	度数	111	13	30	38	23	7
		行%	100.0	11.7	27.0	34.2	20.7	6.3
	35歳～39歳	度数	108	17	23	43	20	5
		行%	100.0	15.7	21.3	39.8	18.5	4.6
	40歳～44歳	度数	107	10	31	42	18	6
		行%	100.0	9.3	29.0	39.3	16.8	5.6
	45歳～49歳	度数	88	8	31	30	15	4
		行%	100.0	9.1	35.2	34.1	17.0	4.5
	合計	度数	414	48	115	153	76	22
		行%	100.0	11.6	27.8	37.0	18.4	5.3
合計	30歳～34歳	度数	237	28	73	87	40	9
		行%	100.0	11.8	30.8	36.7	16.9	3.8
	35歳～39歳	度数	237	29	54	101	47	6
		行%	100.0	12.2	22.8	42.6	19.8	2.5
	40歳～44歳	度数	208	21	52	97	31	7
		行%	100.0	10.1	25.0	46.6	14.9	3.4
	45歳～49歳	度数	193	17	56	75	39	6
		行%	100.0	8.8	29.0	38.9	20.2	3.1
	合計	度数	875	95	235	360	157	28
		行%	100.0	10.9	26.9	41.1	17.9	3.2

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【4)仕事の内容がきつい】

		合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	126	28	35	49	12	2
		行%	100.0	22.2	27.8	38.9	9.5	1.6
	35歳～39歳	度数	129	21	37	47	23	1
		行%	100.0	16.3	28.7	36.4	17.8	.8
	40歳～44歳	度数	101	19	27	43	11	1
		行%	100.0	18.8	26.7	42.6	10.9	1.0
	45歳～49歳	度数	105	10	31	44	18	2
		行%	100.0	9.5	29.5	41.9	17.1	1.9
	合計	度数	461	78	130	183	64	6
		行%	100.0	16.9	28.2	39.7	13.9	1.3
女性	30歳～34歳	度数	111	8	20	48	29	6
		行%	100.0	7.2	18.0	43.2	26.1	5.4
	35歳～39歳	度数	108	10	25	47	21	5
		行%	100.0	9.3	23.1	43.5	19.4	4.6
	40歳～44歳	度数	107	4	23	45	28	7
		行%	100.0	3.7	21.5	42.1	26.2	6.5
	45歳～49歳	度数	88	6	19	37	21	5
		行%	100.0	6.8	21.6	42.0	23.9	5.7
	合計	度数	414	28	87	177	99	23
		行%	100.0	6.8	21.0	42.8	23.9	5.6
合計	30歳～34歳	度数	237	36	55	97	41	8
		行%	100.0	15.2	23.2	40.9	17.3	3.4
	35歳～39歳	度数	237	31	62	94	44	6
		行%	100.0	13.1	26.2	39.7	18.6	2.5
	40歳～44歳	度数	208	23	50	88	39	8
		行%	100.0	11.1	24.0	42.3	18.8	3.8
	45歳～49歳	度数	193	16	50	81	39	7
		行%	100.0	8.3	25.9	42.0	20.2	3.6
	合計	度数	875	106	217	360	163	29
		行%	100.0	12.1	24.8	41.1	18.6	3.3

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【5)仕事の内容が自分に合わない】

		合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	126	17	30	71	6	2
		行%	100.0	13.5	23.8	56.3	4.8	1.6
	35歳～39歳	度数	129	16	38	49	25	1
		行%	100.0	12.4	29.5	38.0	19.4	.8
	40歳～44歳	度数	101	9	33	42	16	1
		行%	100.0	8.9	32.7	41.6	15.8	1.0
	45歳～49歳	度数	105	6	25	57	14	3
		行%	100.0	5.7	23.8	54.3	13.3	2.9
	合計	度数	461	48	126	219	61	7
		行%	100.0	10.4	27.3	47.5	13.2	1.5
女性	30歳～34歳	度数	111	10	19	48	27	7
		行%	100.0	9.0	17.1	43.2	24.3	6.3
	35歳～39歳	度数	108	7	23	49	22	7
		行%	100.0	6.5	21.3	45.4	20.4	6.5
	40歳～44歳	度数	107	6	24	48	21	8
		行%	100.0	5.6	22.4	44.9	19.6	7.5
	45歳～49歳	度数	88	10	23	35	15	5
		行%	100.0	11.4	26.1	39.8	17.0	5.7
	合計	度数	414	33	89	180	85	27
		行%	100.0	8.0	21.5	43.5	20.5	6.5
合計	30歳～34歳	度数	237	27	49	119	33	9
		行%	100.0	11.4	20.7	50.2	13.9	3.8
	35歳～39歳	度数	237	23	61	98	47	8
		行%	100.0	9.7	25.7	41.4	19.8	3.4
	40歳～44歳	度数	208	15	57	90	37	9
		行%	100.0	7.2	27.4	43.3	17.8	4.3
	45歳～49歳	度数	193	16	48	92	29	8
		行%	100.0	8.3	24.9	47.7	15.0	4.1
	合計	度数	875	81	215	399	146	34
		行%	100.0	9.3	24.6	45.6	16.7	3.9

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【6】人間関係がうまくいかない】

			合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	126	10	22	64	28	2
		行%	100.0	7.9	17.5	50.8	22.2	1.6
	35歳～39歳	度数	129	6	35	58	28	2
		行%	100.0	4.7	27.1	45.0	21.7	1.6
	40歳～44歳	度数	101	7	24	49	20	1
		行%	100.0	6.9	23.8	48.5	19.8	1.0
	45歳～49歳	度数	105	7	17	58	21	2
		行%	100.0	6.7	16.2	55.2	20.0	1.9
	合計	度数	461	30	98	229	97	7
		行%	100.0	6.5	21.3	49.7	21.0	1.5
女性	30歳～34歳	度数	111	3	17	43	42	6
		行%	100.0	2.7	15.3	38.7	37.8	5.4
	35歳～39歳	度数	108	6	20	40	37	5
		行%	100.0	5.6	18.5	37.0	34.3	4.6
	40歳～44歳	度数	107	3	17	45	35	7
		行%	100.0	2.8	15.9	42.1	32.7	6.5
	45歳～49歳	度数	88	4	9	37	33	5
		行%	100.0	4.5	10.2	42.0	37.5	5.7
	合計	度数	414	16	63	165	147	23
		行%	100.0	3.9	15.2	39.9	35.5	5.6
合計	30歳～34歳	度数	237	13	39	107	70	8
		行%	100.0	5.5	16.5	45.1	29.5	3.4
	35歳～39歳	度数	237	12	55	98	65	7
		行%	100.0	5.1	23.2	41.4	27.4	3.0
	40歳～44歳	度数	208	10	41	94	55	8
		行%	100.0	4.8	19.7	45.2	26.4	3.8
	45歳～49歳	度数	193	11	26	95	54	7
		行%	100.0	5.7	13.5	49.2	28.0	3.6
	合計	度数	875	46	161	394	244	30
		行%	100.0	5.3	18.4	45.0	27.9	3.4

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【7】男女差別がある】

			合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	126	2	7	59	56	2
		行%	100.0	1.6	5.6	46.8	44.4	1.6
	35歳～39歳	度数	129	3	9	57	58	2
		行%	100.0	2.3	7.0	44.2	45.0	1.6
	40歳～44歳	度数	101	2	2	53	43	1
		行%	100.0	2.0	2.0	52.5	42.6	1.0
	45歳～49歳	度数	105		3	55	45	2
		行%	100.0		2.9	52.4	42.9	1.9
	合計	度数	461	7	21	224	202	7
		行%	100.0	1.5	4.6	48.6	43.8	1.5
女性	30歳～34歳	度数	111	8	18	37	42	6
		行%	100.0	7.2	16.2	33.3	37.8	5.4
	35歳～39歳	度数	108	8	20	36	39	5
		行%	100.0	7.4	18.5	33.3	36.1	4.6
	40歳～44歳	度数	107	7	13	35	44	8
		行%	100.0	6.5	12.1	32.7	41.1	7.5
	45歳～49歳	度数	88	5	11	35	32	5
		行%	100.0	5.7	12.5	39.8	36.4	5.7
	合計	度数	414	28	62	143	157	24
		行%	100.0	6.8	15.0	34.5	37.9	5.8
合計	30歳～34歳	度数	237	10	25	96	98	8
		行%	100.0	4.2	10.5	40.5	41.4	3.4
	35歳～39歳	度数	237	11	29	93	97	7
		行%	100.0	4.6	12.2	39.2	40.9	3.0
	40歳～44歳	度数	208	9	15	88	87	9
		行%	100.0	4.3	7.2	42.3	41.8	4.3
	45歳～49歳	度数	193	5	14	90	77	7
		行%	100.0	2.6	7.3	46.6	39.9	3.6
	合計	度数	875	35	83	367	359	31
		行%	100.0	4.0	9.5	41.9	41.0	3.5

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【8】将来が不安定である】

		合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	126	44	49	25	6	2
		行%	100.0	34.9	38.9	19.8	4.8	1.6
	35歳～39歳	度数	129	34	57	24	13	1
		行%	100.0	26.4	44.2	18.6	10.1	.8
	40歳～44歳	度数	101	41	36	19	4	1
		行%	100.0	40.6	35.6	18.8	4.0	1.0
	45歳～49歳	度数	105	18	44	32	9	2
		行%	100.0	17.1	41.9	30.5	8.6	1.9
	合計	度数	461	137	186	100	32	6
		行%	100.0	29.7	40.3	21.7	6.9	1.3
女性	30歳～34歳	度数	111	23	40	20	23	5
		行%	100.0	20.7	36.0	18.0	20.7	4.5
	35歳～39歳	度数	108	29	44	19	14	2
		行%	100.0	26.9	40.7	17.6	13.0	1.9
	40歳～44歳	度数	107	21	46	22	13	5
		行%	100.0	19.6	43.0	20.6	12.1	4.7
	45歳～49歳	度数	88	24	29	18	13	4
		行%	100.0	27.3	33.0	20.5	14.8	4.5
	合計	度数	414	97	159	79	63	16
		行%	100.0	23.4	38.4	19.1	15.2	3.9
合計	30歳～34歳	度数	237	67	89	45	29	7
		行%	100.0	28.3	37.6	19.0	12.2	3.0
	35歳～39歳	度数	237	63	101	43	27	3
		行%	100.0	26.6	42.6	18.1	11.4	1.3
	40歳～44歳	度数	208	62	82	41	17	6
		行%	100.0	29.8	39.4	19.7	8.2	2.9
	45歳～49歳	度数	193	42	73	50	22	6
		行%	100.0	21.8	37.8	25.9	11.4	3.1
	合計	度数	875	234	345	179	95	22
		行%	100.0	26.7	39.4	20.5	10.9	2.5

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【9】自分の意見が生かされない】

		合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	126	21	41	54	8	2
		行%	100.0	16.7	32.5	42.9	6.3	1.6
	35歳～39歳	度数	129	11	48	52	16	2
		行%	100.0	8.5	37.2	40.3	12.4	1.6
	40歳～44歳	度数	101	21	30	39	10	1
		行%	100.0	20.8	29.7	38.6	9.9	1.0
	45歳～49歳	度数	105	14	23	47	18	3
		行%	100.0	13.3	21.9	44.8	17.1	2.9
	合計	度数	461	67	142	192	52	8
		行%	100.0	14.5	30.8	41.6	11.3	1.7
女性	30歳～34歳	度数	111	10	20	50	25	6
		行%	100.0	9.0	18.0	45.0	22.5	5.4
	35歳～39歳	度数	108	7	26	50	20	5
		行%	100.0	6.5	24.1	46.3	18.5	4.6
	40歳～44歳	度数	107	10	22	45	22	8
		行%	100.0	9.3	20.6	42.1	20.6	7.5
	45歳～49歳	度数	88	4	19	42	18	5
		行%	100.0	4.5	21.6	47.7	20.5	5.7
	合計	度数	414	31	87	187	85	24
		行%	100.0	7.5	21.0	45.2	20.5	5.8
合計	30歳～34歳	度数	237	31	61	104	33	8
		行%	100.0	13.1	25.7	43.9	13.9	3.4
	35歳～39歳	度数	237	18	74	102	36	7
		行%	100.0	7.6	31.2	43.0	15.2	3.0
	40歳～44歳	度数	208	31	52	84	32	9
		行%	100.0	14.9	25.0	40.4	15.4	4.3
	45歳～49歳	度数	193	18	42	89	36	8
		行%	100.0	9.3	21.8	46.1	18.7	4.1
	合計	度数	875	98	229	379	137	32
		行%	100.0	11.2	26.2	43.3	15.7	3.7

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【10)昇進に関して不満がある】

			合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	126	27	35	50	12	2
		行%	100.0	21.4	27.8	39.7	9.5	1.6
	35歳～39歳	度数	129	20	32	52	24	1
		行%	100.0	15.5	24.8	40.3	18.6	.8
	40歳～44歳	度数	101	24	29	31	16	1
		行%	100.0	23.8	28.7	30.7	15.8	1.0
	45歳～49歳	度数	105	13	27	42	21	2
		行%	100.0	12.4	25.7	40.0	20.0	1.9
	合計	度数	461	84	123	175	73	6
		行%	100.0	18.2	26.7	38.0	15.8	1.3
女性	30歳～34歳	度数	111	7	17	42	39	6
		行%	100.0	6.3	15.3	37.8	35.1	5.4
	35歳～39歳	度数	108	12	22	39	30	5
		行%	100.0	11.1	20.4	36.1	27.8	4.6
	40歳～44歳	度数	107	5	25	35	34	8
		行%	100.0	4.7	23.4	32.7	31.8	7.5
	45歳～49歳	度数	88	5	15	30	33	5
		行%	100.0	5.7	17.0	34.1	37.5	5.7
	合計	度数	414	29	79	146	136	24
		行%	100.0	7.0	19.1	35.3	32.9	5.8
合計	30歳～34歳	度数	237	34	52	92	51	8
		行%	100.0	14.3	21.9	38.8	21.5	3.4
	35歳～39歳	度数	237	32	54	91	54	6
		行%	100.0	13.5	22.8	38.4	22.8	2.5
	40歳～44歳	度数	208	29	54	66	50	9
		行%	100.0	13.9	26.0	31.7	24.0	4.3
	45歳～49歳	度数	193	18	42	72	54	7
		行%	100.0	9.3	21.8	37.3	28.0	3.6
	合計	度数	875	113	202	321	209	30
		行%	100.0	12.9	23.1	36.7	23.9	3.4

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【11)キャリアアップのため】

			合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	126	33	44	36	11	2
		行%	100.0	26.2	34.9	28.6	8.7	1.6
	35歳～39歳	度数	129	22	48	37	20	2
		行%	100.0	17.1	37.2	28.7	15.5	1.6
	40歳～44歳	度数	101	22	28	31	18	2
		行%	100.0	21.8	27.7	30.7	17.8	2.0
	45歳～49歳	度数	105	11	24	48	20	2
		行%	100.0	10.5	22.9	45.7	19.0	1.9
	合計	度数	461	88	144	152	69	8
		行%	100.0	19.1	31.2	33.0	15.0	1.7
女性	30歳～34歳	度数	111	22	31	31	22	5
		行%	100.0	19.8	27.9	27.9	19.8	4.5
	35歳～39歳	度数	108	24	34	26	21	3
		行%	100.0	22.2	31.5	24.1	19.4	2.8
	40歳～44歳	度数	107	13	29	37	21	7
		行%	100.0	12.1	27.1	34.6	19.6	6.5
	45歳～49歳	度数	88	10	35	21	18	4
		行%	100.0	11.4	39.8	23.9	20.5	4.5
	合計	度数	414	69	129	115	82	19
		行%	100.0	16.7	31.2	27.8	19.8	4.6
合計	30歳～34歳	度数	237	55	75	67	33	7
		行%	100.0	23.2	31.6	28.3	13.9	3.0
	35歳～39歳	度数	237	46	82	63	41	5
		行%	100.0	19.4	34.6	26.6	17.3	2.1
	40歳～44歳	度数	208	35	57	68	39	9
		行%	100.0	16.8	27.4	32.7	18.8	4.3
	45歳～49歳	度数	193	21	59	69	38	6
		行%	100.0	10.9	30.6	35.8	19.7	3.1
	合計	度数	875	157	273	267	151	27
		行%	100.0	17.9	31.2	30.5	17.3	3.1

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【12)幅広い経験をするため】

			合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	126	30	49	32	12	3
		行%	100.0	23.8	38.9	25.4	9.5	2.4
	35歳～39歳	度数	129	23	56	35	14	1
		行%	100.0	17.8	43.4	27.1	10.9	.8
	40歳～44歳	度数	101	19	35	35	11	1
		行%	100.0	18.8	34.7	34.7	10.9	1.0
	45歳～49歳	度数	105	10	32	45	16	2
		行%	100.0	9.5	30.5	42.9	15.2	1.9
	合計	度数	461	82	172	147	53	7
		行%	100.0	17.8	37.3	31.9	11.5	1.5
女性	30歳～34歳	度数	111	28	37	27	13	6
		行%	100.0	25.2	33.3	24.3	11.7	5.4
	35歳～39歳	度数	108	27	44	16	18	3
		行%	100.0	25.0	40.7	14.8	16.7	2.8
	40歳～44歳	度数	107	15	39	34	13	6
		行%	100.0	14.0	36.4	31.8	12.1	5.6
	45歳～49歳	度数	88	15	31	24	13	5
		行%	100.0	17.0	35.2	27.3	14.8	5.7
	合計	度数	414	85	151	101	57	20
		行%	100.0	20.5	36.5	24.4	13.8	4.8
合計	30歳～34歳	度数	237	58	86	59	25	9
		行%	100.0	24.5	36.3	24.9	10.5	3.8
	35歳～39歳	度数	237	50	100	51	32	4
		行%	100.0	21.1	42.2	21.5	13.5	1.7
	40歳～44歳	度数	208	34	74	69	24	.7
		行%	100.0	16.3	35.6	33.2	11.5	3.4
	45歳～49歳	度数	193	25	63	69	29	7
		行%	100.0	13.0	32.6	35.8	15.0	3.6
	合計	度数	875	167	323	248	110	27
		行%	100.0	19.1	36.9	28.3	12.6	3.1

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【13)やりがいを感じられない】

			合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	126	32	40	44	8	2
		行%	100.0	25.4	31.7	34.9	6.3	1.6
	35歳～39歳	度数	129	23	39	48	18	1
		行%	100.0	17.8	30.2	37.2	14.0	.8
	40歳～44歳	度数	101	19	44	25	12	1
		行%	100.0	18.8	43.6	24.8	11.9	1.0
	45歳～49歳	度数	105	12	36	43	12	2
		行%	100.0	11.4	34.3	41.0	11.4	1.9
	合計	度数	461	86	159	160	50	6
		行%	100.0	18.7	34.5	34.7	10.8	1.3
女性	30歳～34歳	度数	111	17	31	41	16	6
		行%	100.0	15.3	27.9	36.9	14.4	5.4
	35歳～39歳	度数	108	21	36	29	17	5
		行%	100.0	19.4	33.3	26.9	15.7	4.6
	40歳～44歳	度数	107	13	38	38	11	7
		行%	100.0	12.1	35.5	35.5	10.3	6.5
	45歳～49歳	度数	88	12	37	26	8	5
		行%	100.0	13.6	42.0	29.5	9.1	5.7
	合計	度数	414	63	142	134	52	23
		行%	100.0	15.2	34.3	32.4	12.6	5.6
合計	30歳～34歳	度数	237	49	71	85	24	8
		行%	100.0	20.7	30.0	35.9	10.1	3.4
	35歳～39歳	度数	237	44	75	77	35	6
		行%	100.0	18.6	31.6	32.5	14.8	2.5
	40歳～44歳	度数	208	32	82	63	23	8
		行%	100.0	15.4	39.4	30.3	11.1	3.8
	45歳～49歳	度数	193	24	73	69	20	7
		行%	100.0	12.4	37.8	35.8	10.4	3.6
	合計	度数	875	149	301	294	102	29
		行%	100.0	17.0	34.4	33.6	11.7	3.3

Q5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【14)結婚、育児、介護などに配慮がない】

			合計	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	126	13	24	49	38	2	
		行%	100.0	10.3	19.0	38.9	30.2	1.6	
	35歳～39歳	度数	129	4	28	57	37	3	
		行%	100.0	3.1	21.7	44.2	28.7	2.3	
	40歳～44歳	度数	101	7	13	47	30	4	
		行%	100.0	6.9	12.9	46.5	29.7	4.0	
	45歳～49歳	度数	105	2	12	42	46	3	
		行%	100.0	1.9	11.4	40.0	43.8	2.9	
	合計	度数	461	26	77	195	151	12	
		行%	100.0	5.6	16.7	42.3	32.8	2.6	
	女性	30歳～34歳	度数	111	15	15	37	36	8
			行%	100.0	13.5	13.5	33.3	32.4	7.2
35歳～39歳		度数	108	13	13	43	31	8	
		行%	100.0	12.0	12.0	39.8	28.7	7.4	
40歳～44歳		度数	107	5	10	44	37	11	
		行%	100.0	4.7	9.3	41.1	34.6	10.3	
45歳～49歳		度数	88	3	5	44	31	5	
		行%	100.0	3.4	5.7	50.0	35.2	5.7	
合計		度数	414	36	43	168	135	32	
		行%	100.0	8.7	10.4	40.6	32.6	7.7	
合計		30歳～34歳	度数	237	28	39	86	74	10
			行%	100.0	11.8	16.5	36.3	31.2	4.2
	35歳～39歳	度数	237	17	41	100	68	11	
		行%	100.0	7.2	17.3	42.2	28.7	4.6	
	40歳～44歳	度数	208	12	23	91	67	15	
		行%	100.0	5.8	11.1	43.8	32.2	7.2	
	45歳～49歳	度数	193	5	17	86	77	8	
		行%	100.0	2.6	8.8	44.6	39.9	4.1	
	合計	度数	875	62	120	363	286	44	
		行%	100.0	7.1	13.7	41.5	32.7	5.0	

Q6. あなたは、今までに離職や転職の経験がありますか

			合計	ある	ない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	127	120	7	
		行%	100.0	50.0	47.2	2.8	
	35歳～39歳	度数	253	118	127	8	
		行%	100.0	46.6	50.2	3.2	
	40歳～44歳	度数	253	140	104	9	
		行%	100.0	55.3	41.1	3.6	
	45歳～49歳	度数	253	120	130	3	
		行%	100.0	47.4	51.4	1.2	
	合計	度数	1013	505	481	27	
		行%	100.0	49.9	47.5	2.7	
	女性	30歳～34歳	度数	252	194	57	1
			行%	100.0	77.0	22.6	.4
35歳～39歳		度数	252	202	46	4	
		行%	100.0	80.2	18.3	1.6	
40歳～44歳		度数	252	197	47	8	
		行%	100.0	78.2	18.7	3.2	
45歳～49歳		度数	252	192	49	11	
		行%	100.0	76.2	19.4	4.4	
合計		度数	1008	785	199	24	
		行%	100.0	77.9	19.7	2.4	
合計		30歳～34歳	度数	506	321	177	8
			行%	100.0	63.4	35.0	1.6
	35歳～39歳	度数	505	320	173	12	
		行%	100.0	63.4	34.3	2.4	
	40歳～44歳	度数	505	337	151	17	
		行%	100.0	66.7	29.9	3.4	
	45歳～49歳	度数	505	312	179	14	
		行%	100.0	61.8	35.4	2.8	
	合計	度数	2021	1290	680	51	
		行%	100.0	63.8	33.6	2.5	

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【1】読解力や計算などの基礎的知識や学力】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	124	120	8	1	1
		行%	100.0	48.8	47.2	3.1	.4	.4
	35歳～39歳	度数	253	109	131	12	1	
		行%	100.0	43.1	51.8	4.7	.4	
	40歳～44歳	度数	253	115	130	7		1
		行%	100.0	45.5	51.4	2.8		.4
	45歳～49歳	度数	253	137	107	9		
		行%	100.0	54.2	42.3	3.6		
	合計	度数	1013	485	488	36	2	2
		行%	100.0	47.9	48.2	3.6	.2	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	121	125	6		
		行%	100.0	48.0	49.6	2.4		
	35歳～39歳	度数	252	112	138	2		
		行%	100.0	44.4	54.8	.8		
	40歳～44歳	度数	252	124	123	5		
		行%	100.0	49.2	48.8	2.0		
	45歳～49歳	度数	252	126	125	1		
		行%	100.0	50.0	49.6	.4		
	合計	度数	1008	483	511	14		
		行%	100.0	47.9	50.7	1.4		
合計	30歳～34歳	度数	506	245	245	14	1	1
		行%	100.0	48.4	48.4	2.8	.2	.2
	35歳～39歳	度数	505	221	269	14	1	
		行%	100.0	43.8	53.3	2.8	.2	
	40歳～44歳	度数	505	239	253	12		1
		行%	100.0	47.3	50.1	2.4		.2
	45歳～49歳	度数	505	263	232	10		
		行%	100.0	52.1	45.9	2.0		
	合計	度数	2021	968	999	50	2	2
		行%	100.0	47.9	49.4	2.5	.1	.1

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【2】自分を理解する能力】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	124	125	5		
		行%	100.0	48.8	49.2	2.0		
	35歳～39歳	度数	253	114	129	10		
		行%	100.0	45.1	51.0	4.0		
	40歳～44歳	度数	253	102	144	6		1
		行%	100.0	40.3	56.9	2.4		.4
	45歳～49歳	度数	253	108	132	12		1
		行%	100.0	42.7	52.2	4.7		.4
	合計	度数	1013	448	530	33		2
		行%	100.0	44.2	52.3	3.3		.2
女性	30歳～34歳	度数	252	101	143	7		1
		行%	100.0	40.1	56.7	2.8		.4
	35歳～39歳	度数	252	110	135	6		1
		行%	100.0	43.7	53.6	2.4		.4
	40歳～44歳	度数	252	115	132	4		1
		行%	100.0	45.6	52.4	1.6		.4
	45歳～49歳	度数	252	126	119	7		
		行%	100.0	50.0	47.2	2.8		
	合計	度数	1008	452	529	24		3
		行%	100.0	44.8	52.5	2.4		.3
合計	30歳～34歳	度数	506	225	268	12		1
		行%	100.0	44.5	53.0	2.4		.2
	35歳～39歳	度数	505	224	264	16		1
		行%	100.0	44.4	52.3	3.2		.2
	40歳～44歳	度数	505	217	276	10		2
		行%	100.0	43.0	54.7	2.0		.4
	45歳～49歳	度数	505	234	251	19		1
		行%	100.0	46.3	49.7	3.8		.2
	合計	度数	2021	900	1059	57		5
		行%	100.0	44.5	52.4	2.8		.2

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【3】他者への配慮や思いやり】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	147	102	3	2	
		行%	100.0	57.9	40.2	1.2	.8	
	35歳～39歳	度数	253	133	109	9		2
		行%	100.0	52.6	43.1	3.6		.8
	40歳～44歳	度数	253	131	115	6		1
		行%	100.0	51.8	45.5	2.4		.4
	45歳～49歳	度数	253	135	110	8		
		行%	100.0	53.4	43.5	3.2		
	合計	度数	1013	546	436	26	2	3
		行%	100.0	53.9	43.0	2.6	.2	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	188	61	3		
		行%	100.0	74.6	24.2	1.2		
	35歳～39歳	度数	252	174	77			1
		行%	100.0	69.0	30.6			.4
	40歳～44歳	度数	252	181	68	2		1
		行%	100.0	71.8	27.0	.8		.4
	45歳～49歳	度数	252	175	74	2		1
		行%	100.0	69.4	29.4	.8		.4
	合計	度数	1008	718	280	7		3
		行%	100.0	71.2	27.8	.7		.3
合計	30歳～34歳	度数	506	335	163	6	2	
		行%	100.0	66.2	32.2	1.2	.4	
	35歳～39歳	度数	505	307	186	9		3
		行%	100.0	60.8	36.8	1.8		.6
	40歳～44歳	度数	505	312	183	8		2
		行%	100.0	61.8	36.2	1.6		.4
	45歳～49歳	度数	505	310	184	10		1
		行%	100.0	61.4	36.4	2.0		.2
	合計	度数	2021	1264	716	33	2	6
		行%	100.0	62.5	35.4	1.6	.1	.3

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【4】多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	143	104	7		
		行%	100.0	56.3	40.9	2.8		
	35歳～39歳	度数	253	125	116	12		
		行%	100.0	49.4	45.8	4.7		
	40歳～44歳	度数	253	128	116	7		2
		行%	100.0	50.6	45.8	2.8		.8
	45歳～49歳	度数	253	126	122	4	1	
		行%	100.0	49.8	48.2	1.6	.4	
	合計	度数	1013	522	458	30	1	2
		行%	100.0	51.5	45.2	3.0	.1	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	145	105	1		1
		行%	100.0	57.5	41.7	.4		.4
	35歳～39歳	度数	252	142	108	1		1
		行%	100.0	56.3	42.9	.4		.4
	40歳～44歳	度数	252	142	109			1
		行%	100.0	56.3	43.3			.4
	45歳～49歳	度数	252	146	103	3		
		行%	100.0	57.9	40.9	1.2		
	合計	度数	1008	575	425	5		3
		行%	100.0	57.0	42.2	.5		.3
合計	30歳～34歳	度数	506	288	209	8		1
		行%	100.0	56.9	41.3	1.6		.2
	35歳～39歳	度数	505	267	224	13		1
		行%	100.0	52.9	44.4	2.6		.2
	40歳～44歳	度数	505	270	225	7		3
		行%	100.0	53.5	44.6	1.4		.6
	45歳～49歳	度数	505	272	225	7	1	
		行%	100.0	53.9	44.6	1.4	.2	
	合計	度数	2021	1097	883	35	1	5
		行%	100.0	54.3	43.7	1.7	.0	.2

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【5】情報を収集、選択、活用する能力】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	130	117	7		
		行%	100.0	51.2	46.1	2.8		
	35歳～39歳	度数	253	107	131	14		1
		行%	100.0	42.3	51.8	5.5		.4
	40歳～44歳	度数	253	116	126	10		1
		行%	100.0	45.8	49.8	4.0		.4
	45歳～49歳	度数	253	122	121	8		2
		行%	100.0	48.2	47.8	3.2		.8
	合計	度数	1013	475	495	39		4
		行%	100.0	46.9	48.9	3.8		.4
女性	30歳～34歳	度数	252	88	161	3		
		行%	100.0	34.9	63.9	1.2		
	35歳～39歳	度数	252	95	151	4		2
		行%	100.0	37.7	59.9	1.6		.8
	40歳～44歳	度数	252	92	152	7		1
		行%	100.0	36.5	60.3	2.8		.4
	45歳～49歳	度数	252	96	146	8		2
		行%	100.0	38.1	57.9	3.2		.8
	合計	度数	1008	371	610	22		5
		行%	100.0	36.8	60.5	2.2		.5
合計	30歳～34歳	度数	506	218	278	10		
		行%	100.0	43.1	54.9	2.0		
	35歳～39歳	度数	505	202	282	18		3
		行%	100.0	40.0	55.8	3.6		.6
	40歳～44歳	度数	505	208	278	17		2
		行%	100.0	41.2	55.0	3.4		.4
	45歳～49歳	度数	505	218	267	16		4
		行%	100.0	43.2	52.9	3.2		.8
	合計	度数	2021	846	1105	61		9
		行%	100.0	41.9	54.7	3.0		.4

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【6】社会や職業について学ぶ能力】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	64	161	26	1	2
		行%	100.0	25.2	63.4	10.2	.4	.8
	35歳～39歳	度数	253	61	166	25		1
		行%	100.0	24.1	65.6	9.9		.4
	40歳～44歳	度数	253	67	153	32		1
		行%	100.0	26.5	60.5	12.6		.4
	45歳～49歳	度数	253	56	167	28	1	1
		行%	100.0	22.1	66.0	11.1	.4	.4
	合計	度数	1013	248	647	111	2	5
		行%	100.0	24.5	63.9	11.0	.2	.5
女性	30歳～34歳	度数	252	64	172	15		1
		行%	100.0	25.4	68.3	6.0		.4
	35歳～39歳	度数	252	67	175	9		1
		行%	100.0	26.6	69.4	3.6		.4
	40歳～44歳	度数	252	63	175	13		1
		行%	100.0	25.0	69.4	5.2		.4
	45歳～49歳	度数	252	73	163	14		2
		行%	100.0	29.0	64.7	5.6		.8
	合計	度数	1008	267	685	51		5
		行%	100.0	26.5	68.0	5.1		.5
合計	30歳～34歳	度数	506	128	333	41	1	3
		行%	100.0	25.3	65.8	8.1	.2	.6
	35歳～39歳	度数	505	128	341	34		2
		行%	100.0	25.3	67.5	6.7		.4
	40歳～44歳	度数	505	130	328	45		2
		行%	100.0	25.7	65.0	8.9		.4
	45歳～49歳	度数	505	129	330	42	1	3
		行%	100.0	25.5	65.3	8.3	.2	.6
	合計	度数	2021	515	1332	162	2	10
		行%	100.0	25.5	65.9	8.0	.1	.5

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【7】多様な役割を知りそれを担う能力】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	67	157	30		
		行%	100.0	26.4	61.8	11.8		
	35歳～39歳	度数	253	61	155	35	1	1
		行%	100.0	24.1	61.3	13.8	.4	.4
	40歳～44歳	度数	253	63	159	29	1	1
		行%	100.0	24.9	62.8	11.5	.4	.4
	45歳～49歳	度数	253	51	165	35	2	
		行%	100.0	20.2	65.2	13.8	.8	
	合計	度数	1013	242	636	129	4	2
		行%	100.0	23.9	62.8	12.7	.4	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	60	164	26	1	1
		行%	100.0	23.8	65.1	10.3	.4	.4
	35歳～39歳	度数	252	61	163	28		
		行%	100.0	24.2	64.7	11.1		
	40歳～44歳	度数	252	49	175	28		
		行%	100.0	19.4	69.4	11.1		
	45歳～49歳	度数	252	64	170	18		
		行%	100.0	25.4	67.5	7.1		
	合計	度数	1008	234	672	100	1	1
		行%	100.0	23.2	66.7	9.9	.1	.1
合計	30歳～34歳	度数	506	127	321	56	1	1
		行%	100.0	25.1	63.4	11.1	.2	.2
	35歳～39歳	度数	505	122	318	63	1	1
		行%	100.0	24.2	63.0	12.5	.2	.2
	40歳～44歳	度数	505	112	334	57	1	1
		行%	100.0	22.2	66.1	11.3	.2	.2
	45歳～49歳	度数	505	115	335	53	2	
		行%	100.0	22.8	66.3	10.5	.4	
	合計	度数	2021	476	1308	229	5	3
		行%	100.0	23.6	64.7	11.3	.2	.1

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【8】計画をたて実行する能力】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	116	129	9		
		行%	100.0	45.7	50.8	3.5		
	35歳～39歳	度数	253	111	126	16		
		行%	100.0	43.9	49.8	6.3		
	40歳～44歳	度数	253	113	124	15		1
		行%	100.0	44.7	49.0	5.9		.4
	45歳～49歳	度数	253	118	125	10		
		行%	100.0	46.6	49.4	4.0		
	合計	度数	1013	458	504	50		1
		行%	100.0	45.2	49.8	4.9		.1
女性	30歳～34歳	度数	252	102	137	11	1	1
		行%	100.0	40.5	54.4	4.4	.4	.4
	35歳～39歳	度数	252	76	168	6		2
		行%	100.0	30.2	66.7	2.4		.8
	40歳～44歳	度数	252	69	177	5		1
		行%	100.0	27.4	70.2	2.0		.4
	45歳～49歳	度数	252	84	161	5		2
		行%	100.0	33.3	63.9	2.0		.8
	合計	度数	1008	331	643	27	1	6
		行%	100.0	32.8	63.8	2.7	.1	.6
合計	30歳～34歳	度数	506	218	266	20	1	1
		行%	100.0	43.1	52.6	4.0	.2	.2
	35歳～39歳	度数	505	187	294	22		2
		行%	100.0	37.0	58.2	4.4		.4
	40歳～44歳	度数	505	182	301	20		2
		行%	100.0	36.0	59.6	4.0		.4
	45歳～49歳	度数	505	202	286	15		2
		行%	100.0	40.0	56.6	3.0		.4
	合計	度数	2021	789	1147	77	1	7
		行%	100.0	39.0	56.8	3.8	.0	.3

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【(9)選択肢の中から主的に判断する能力】

		合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	97	141	16		
		行%	100.0	38.2	55.5	6.3		
	35歳～39歳	度数	253	99	135	18	1	
		行%	100.0	39.1	53.4	7.1	.4	
	40歳～44歳	度数	253	104	132	16		1
		行%	100.0	41.1	52.2	6.3		.4
	45歳～49歳	度数	253	101	132	16	1	3
		行%	100.0	39.9	52.2	6.3	.4	1.2
	合計	度数	1013	401	540	66	2	4
		行%	100.0	39.6	53.3	6.5	.2	.4
女性	30歳～34歳	度数	252	82	152	18		
		行%	100.0	32.5	60.3	7.1		
	35歳～39歳	度数	252	66	173	13		
		行%	100.0	26.2	68.7	5.2		
	40歳～44歳	度数	252	79	162	10		1
		行%	100.0	31.3	64.3	4.0		.4
	45歳～49歳	度数	252	93	140	17		2
		行%	100.0	36.9	55.6	6.7		.8
	合計	度数	1008	320	627	58		3
		行%	100.0	31.7	62.2	5.8		.3
合計	30歳～34歳	度数	506	179	293	34		
		行%	100.0	35.4	57.9	6.7		
	35歳～39歳	度数	505	165	308	31	1	
		行%	100.0	32.7	61.0	6.1	.2	
	40歳～44歳	度数	505	183	294	26		2
		行%	100.0	36.2	58.2	5.1		.4
	45歳～49歳	度数	505	194	272	33	1	5
		行%	100.0	38.4	53.9	6.5	.2	1.0
	合計	度数	2021	721	1167	124	2	7
		行%	100.0	35.7	57.7	6.1	.1	.3

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【(10)課題を設定し解決する能力】

		合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	100	131	23		
		行%	100.0	39.4	51.6	9.1		
	35歳～39歳	度数	253	88	139	23	1	2
		行%	100.0	34.8	54.9	9.1	.4	.8
	40歳～44歳	度数	253	100	133	17	1	2
		行%	100.0	39.5	52.6	6.7	.4	.8
	45歳～49歳	度数	253	93	144	16		
		行%	100.0	36.8	56.9	6.3		
	合計	度数	1013	381	547	79	2	4
		行%	100.0	37.6	54.0	7.8	.2	.4
女性	30歳～34歳	度数	252	78	148	24	1	1
		行%	100.0	31.0	58.7	9.5	.4	.4
	35歳～39歳	度数	252	57	174	21		
		行%	100.0	22.6	69.0	8.3		
	40歳～44歳	度数	252	58	170	23		1
		行%	100.0	23.0	67.5	9.1		.4
	45歳～49歳	度数	252	75	153	21	1	2
		行%	100.0	29.8	60.7	8.3	.4	.8
	合計	度数	1008	268	645	89	2	4
		行%	100.0	26.6	64.0	8.8	.2	.4
合計	30歳～34歳	度数	506	178	279	47	1	1
		行%	100.0	35.2	55.1	9.3	.2	.2
	35歳～39歳	度数	505	145	313	44	1	2
		行%	100.0	28.7	62.0	8.7	.2	.4
	40歳～44歳	度数	505	158	303	40	1	3
		行%	100.0	31.3	60.0	7.9	.2	.6
	45歳～49歳	度数	505	168	297	37	1	2
		行%	100.0	33.3	58.8	7.3	.2	.4
	合計	度数	2021	649	1192	168	4	8
		行%	100.0	32.1	59.0	8.3	.2	.4

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【(11)基礎的体力】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	97	134	22	1	
		行%	100.0	38.2	52.8	8.7	.4	
	35歳～39歳	度数	253	105	126	21	1	
		行%	100.0	41.5	49.8	8.3	.4	
	40歳～44歳	度数	253	100	129	20	2	2
		行%	100.0	39.5	51.0	7.9	.8	.8
	45歳～49歳	度数	253	112	122	18	1	
		行%	100.0	44.3	48.2	7.1	.4	
	合計	度数	1013	414	511	81	5	2
		行%	100.0	40.9	50.4	8.0	.5	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	106	134	10	1	1
		行%	100.0	42.1	53.2	4.0	.4	.4
	35歳～39歳	度数	252	114	128	8		2
		行%	100.0	45.2	50.8	3.2		.8
	40歳～44歳	度数	252	124	119	6		3
		行%	100.0	49.2	47.2	2.4		1.2
	45歳～49歳	度数	252	117	128	7		
		行%	100.0	46.4	50.8	2.8		
	合計	度数	1008	461	509	31	1	6
		行%	100.0	45.7	50.5	3.1	.1	.6
合計	30歳～34歳	度数	506	203	268	32	2	1
		行%	100.0	40.1	53.0	6.3	.4	.2
	35歳～39歳	度数	505	219	254	29	1	2
		行%	100.0	43.4	50.3	5.7	.2	.4
	40歳～44歳	度数	505	224	248	26	2	5
		行%	100.0	44.4	49.1	5.1	.4	1.0
	45歳～49歳	度数	505	229	250	25	1	
		行%	100.0	45.3	49.5	5.0	.2	
	合計	度数	2021	875	1020	112	6	8
		行%	100.0	43.3	50.5	5.5	.3	.4

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【(12)マナーや時間を守るなどの一般常識】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	137	107	10		
		行%	100.0	53.9	42.1	3.9		
	35歳～39歳	度数	253	130	108	15		
		行%	100.0	51.4	42.7	5.9		
	40歳～44歳	度数	253	143	101	7	1	1
		行%	100.0	56.5	39.9	2.8	.4	.4
	45歳～49歳	度数	253	133	113	7		
		行%	100.0	52.6	44.7	2.8		
	合計	度数	1013	543	429	39	1	1
		行%	100.0	53.6	42.3	3.8	.1	.1
女性	30歳～34歳	度数	252	196	54	2		
		行%	100.0	77.8	21.4	.8		
	35歳～39歳	度数	252	185	66	1		
		行%	100.0	73.4	26.2	.4		
	40歳～44歳	度数	252	203	49			
		行%	100.0	80.6	19.4			
	45歳～49歳	度数	252	181	70	1		
		行%	100.0	71.8	27.8	.4		
	合計	度数	1008	765	239	4		
		行%	100.0	75.9	23.7	.4		
合計	30歳～34歳	度数	506	333	161	12		
		行%	100.0	65.8	31.8	2.4		
	35歳～39歳	度数	505	315	174	16		
		行%	100.0	62.4	34.5	3.2		
	40歳～44歳	度数	505	346	150	7	1	1
		行%	100.0	68.5	29.7	1.4	.2	.2
	45歳～49歳	度数	505	314	183	8		
		行%	100.0	62.2	36.2	1.6		
	合計	度数	2021	1308	668	43	1	1
		行%	100.0	64.7	33.1	2.1	.0	.0

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【13】道徳心や公共心などの社会性】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	111	131	12		
		行%	100.0	43.7	51.6	4.7		
	35歳～39歳	度数	253	97	133	21	1	1
		行%	100.0	38.3	52.6	8.3	.4	.4
	40歳～44歳	度数	253	116	121	14	1	1
		行%	100.0	45.8	47.8	5.5	.4	.4
	45歳～49歳	度数	253	102	139	11	1	
		行%	100.0	40.3	54.9	4.3	.4	
	合計	度数	1013	426	524	58	3	2
		行%	100.0	42.1	51.7	5.7	.3	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	145	104	3		
		行%	100.0	57.5	41.3	1.2		
	35歳～39歳	度数	252	152	98	1		1
		行%	100.0	60.3	38.9	.4		.4
	40歳～44歳	度数	252	166	80	5		1
		行%	100.0	65.9	31.7	2.0		.4
	45歳～49歳	度数	252	140	109	2		1
		行%	100.0	55.6	43.3	.8		.4
	合計	度数	1008	603	391	11		3
		行%	100.0	59.8	38.8	1.1		.3
合計	30歳～34歳	度数	506	256	235	15		
		行%	100.0	50.6	46.4	3.0		
	35歳～39歳	度数	505	249	231	22	1	2
		行%	100.0	49.3	45.7	4.4	.2	.4
	40歳～44歳	度数	505	282	201	19	1	2
		行%	100.0	55.8	39.8	3.8	.2	.4
	45歳～49歳	度数	505	242	248	13	1	1
		行%	100.0	47.9	49.1	2.6	.2	.2
	合計	度数	2021	1029	915	69	3	5
		行%	100.0	50.9	45.3	3.4	.1	.2

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【14】交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	100	137	15	2	
		行%	100.0	39.4	53.9	5.9	.8	
	35歳～39歳	度数	253	93	139	20		1
		行%	100.0	36.8	54.9	7.9		.4
	40歳～44歳	度数	253	97	140	14	1	1
		行%	100.0	38.3	55.3	5.5	.4	.4
	45歳～49歳	度数	253	90	142	19		2
		行%	100.0	35.6	56.1	7.5		.8
	合計	度数	1013	380	558	68	3	4
		行%	100.0	37.5	55.1	6.7	.3	.4
女性	30歳～34歳	度数	252	74	156	20		2
		行%	100.0	29.4	61.9	7.9		.8
	35歳～39歳	度数	252	54	174	21	1	2
		行%	100.0	21.4	69.0	8.3	.4	.8
	40歳～44歳	度数	252	53	186	12		1
		行%	100.0	21.0	73.8	4.8		.4
	45歳～49歳	度数	252	76	158	16		2
		行%	100.0	30.2	62.7	6.3		.8
	合計	度数	1008	257	674	69	1	7
		行%	100.0	25.5	66.9	6.8	.1	.7
合計	30歳～34歳	度数	506	174	293	35	2	2
		行%	100.0	34.4	57.9	6.9	.4	.4
	35歳～39歳	度数	505	147	313	41	1	3
		行%	100.0	29.1	62.0	8.1	.2	.6
	40歳～44歳	度数	505	150	326	26	1	2
		行%	100.0	29.7	64.6	5.1	.2	.4
	45歳～49歳	度数	505	166	300	35		4
		行%	100.0	32.9	59.4	6.9		.8
	合計	度数	2021	637	1232	137	4	11
		行%	100.0	31.5	61.0	6.8	.2	.5

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【(15)論理的にものごとを考える能力】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	107	120	25	2	
		行%	100.0	42.1	47.2	9.8	.8	
	35歳～39歳	度数	253	105	125	23		
		行%	100.0	41.5	49.4	9.1		
	40歳～44歳	度数	253	104	131	16	1	1
		行%	100.0	41.1	51.8	6.3	.4	.4
	45歳～49歳	度数	253	97	137	18	1	
		行%	100.0	38.3	54.2	7.1	.4	
	合計	度数	1013	413	513	82	4	1
		行%	100.0	40.8	50.6	8.1	.4	.1
女性	30歳～34歳	度数	252	75	151	25		1
		行%	100.0	29.8	59.9	9.9		.4
	35歳～39歳	度数	252	56	169	26	1	
		行%	100.0	22.2	67.1	10.3	.4	
	40歳～44歳	度数	252	57	176	19		
		行%	100.0	22.6	69.8	7.5		
	45歳～49歳	度数	252	79	150	21		2
		行%	100.0	31.3	59.5	8.3		.8
	合計	度数	1008	267	646	91	1	3
		行%	100.0	26.5	64.1	9.0	.1	.3
合計	30歳～34歳	度数	506	182	271	50	2	1
		行%	100.0	36.0	53.6	9.9	.4	.2
	35歳～39歳	度数	505	161	294	49	1	
		行%	100.0	31.9	58.2	9.7	.2	
	40歳～44歳	度数	505	161	307	35	1	1
		行%	100.0	31.9	60.8	6.9	.2	.2
	45歳～49歳	度数	505	176	287	39	1	2
		行%	100.0	34.9	56.8	7.7	.2	.4
	合計	度数	2021	680	1159	173	5	4
		行%	100.0	33.6	57.3	8.6	.2	.2

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【(16)アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	108	127	18	1	
		行%	100.0	42.5	50.0	7.1	.4	
	35歳～39歳	度数	253	99	118	34	1	1
		行%	100.0	39.1	46.6	13.4	.4	.4
	40歳～44歳	度数	253	109	117	23	1	3
		行%	100.0	43.1	46.2	9.1	.4	1.2
	45歳～49歳	度数	253	100	127	22	3	1
		行%	100.0	39.5	50.2	8.7	1.2	.4
	合計	度数	1013	416	489	97	6	5
		行%	100.0	41.1	48.3	9.6	.6	.5
女性	30歳～34歳	度数	252	74	150	26	2	
		行%	100.0	29.4	59.5	10.3	.8	
	35歳～39歳	度数	252	52	164	36		
		行%	100.0	20.6	65.1	14.3		
	40歳～44歳	度数	252	55	167	29		1
		行%	100.0	21.8	66.3	11.5		.4
	45歳～49歳	度数	252	68	157	25		2
		行%	100.0	27.0	62.3	9.9		.8
	合計	度数	1008	249	638	116	2	3
		行%	100.0	24.7	63.3	11.5	.2	.3
合計	30歳～34歳	度数	506	182	277	44	3	
		行%	100.0	36.0	54.7	8.7	.6	
	35歳～39歳	度数	505	151	282	70	1	1
		行%	100.0	29.9	55.8	13.9	.2	.2
	40歳～44歳	度数	505	164	284	52	1	4
		行%	100.0	32.5	56.2	10.3	.2	.8
	45歳～49歳	度数	505	168	284	47	3	3
		行%	100.0	33.3	56.2	9.3	.6	.6
	合計	度数	2021	665	1127	213	8	8
		行%	100.0	32.9	55.8	10.5	.4	.4

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【17】状況の変化に柔軟に対応する能力】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	128	118	8		
		行%	100.0	50.4	46.5	3.1		
	35歳～39歳	度数	253	115	124	13	1	
		行%	100.0	45.5	49.0	5.1	.4	
	40歳～44歳	度数	253	119	128	5		1
		行%	100.0	47.0	50.6	2.0		.4
	45歳～49歳	度数	253	118	126	8		1
		行%	100.0	46.6	49.8	3.2		.4
	合計	度数	1013	480	496	34	1	2
		行%	100.0	47.4	49.0	3.4	.1	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	121	126	5		
		行%	100.0	48.0	50.0	2.0		
	35歳～39歳	度数	252	117	130	4		1
		行%	100.0	46.4	51.6	1.6		.4
	40歳～44歳	度数	252	114	130	6		2
		行%	100.0	45.2	51.6	2.4		.8
	45歳～49歳	度数	252	119	131	1		1
		行%	100.0	47.2	52.0	.4		.4
	合計	度数	1008	471	517	16		4
		行%	100.0	46.7	51.3	1.6		.4
合計	30歳～34歳	度数	506	249	244	13		
		行%	100.0	49.2	48.2	2.6		
	35歳～39歳	度数	505	232	254	17	1	1
		行%	100.0	45.9	50.3	3.4	.2	.2
	40歳～44歳	度数	505	233	258	11		3
		行%	100.0	46.1	51.1	2.2		.6
	45歳～49歳	度数	505	237	257	9		2
		行%	100.0	46.9	50.9	1.8		.4
	合計	度数	2021	951	1013	50	1	6
		行%	100.0	47.1	50.1	2.5	.0	.3

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか【18】常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする能力】

			合計	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	118	124	10	1	1
		行%	100.0	46.5	48.8	3.9	.4	.4
	35歳～39歳	度数	253	91	146	16		
		行%	100.0	36.0	57.7	6.3		
	40歳～44歳	度数	253	100	138	12	1	2
		行%	100.0	39.5	54.5	4.7	.4	.8
	45歳～49歳	度数	253	106	131	16		
		行%	100.0	41.9	51.8	6.3		
	合計	度数	1013	415	539	54	2	3
		行%	100.0	41.0	53.2	5.3	.2	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	110	128	12	1	1
		行%	100.0	43.7	50.8	4.8	.4	.4
	35歳～39歳	度数	252	77	157	17		1
		行%	100.0	30.6	62.3	6.7		.4
	40歳～44歳	度数	252	81	161	9		1
		行%	100.0	32.1	63.9	3.6		.4
	45歳～49歳	度数	252	95	142	14		1
		行%	100.0	37.7	56.3	5.6		.4
	合計	度数	1008	363	588	52	1	4
		行%	100.0	36.0	58.3	5.2	.1	.4
合計	30歳～34歳	度数	506	228	252	22	2	2
		行%	100.0	45.1	49.8	4.3	.4	.4
	35歳～39歳	度数	505	168	303	33		1
		行%	100.0	33.3	60.0	6.5		.2
	40歳～44歳	度数	505	181	299	21	1	3
		行%	100.0	35.8	59.2	4.2	.2	.6
	45歳～49歳	度数	505	201	273	30		1
		行%	100.0	39.8	54.1	5.9		.2
	合計	度数	2021	778	1127	106	3	7
		行%	100.0	38.5	55.8	5.2	.1	.3

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【1】読解力や計算などの
基礎的知識や学力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	97	220	42	15	1
		行%	100.0	38.2	86.6	16.5	5.9	.4
	35歳～39歳	度数	253	88	222	37	14	1
		行%	100.0	34.8	87.7	14.6	5.5	.4
	40歳～44歳	度数	253	73	227	26	7	3
		行%	100.0	28.9	89.7	10.3	2.8	1.2
	45歳～49歳	度数	253	67	225	25	6	
		行%	100.0	26.5	88.9	9.9	2.4	
	合計	度数	1013	325	894	130	42	5
		行%	100.0	32.1	88.3	12.8	4.1	.5
女性	30歳～34歳	度数	252	94	239	27	11	1
		行%	100.0	37.3	94.8	10.7	4.4	.4
	35歳～39歳	度数	252	84	232	21	13	1
		行%	100.0	33.3	92.1	8.3	5.2	.4
	40歳～44歳	度数	252	88	233	18	11	
		行%	100.0	34.9	92.5	7.1	4.4	
	45歳～49歳	度数	252	65	240	14	7	1
		行%	100.0	25.8	95.2	5.6	2.8	.4
	合計	度数	1008	331	944	80	42	3
		行%	100.0	32.8	93.7	7.9	4.2	.3
合計	30歳～34歳	度数	506	191	459	69	26	2
		行%	100.0	37.7	90.7	13.6	5.1	.4
	35歳～39歳	度数	505	172	454	58	27	2
		行%	100.0	34.1	89.9	11.5	5.3	.4
	40歳～44歳	度数	505	161	460	44	18	3
		行%	100.0	31.9	91.1	8.7	3.6	.6
	45歳～49歳	度数	505	132	465	39	13	1
		行%	100.0	26.1	92.1	7.7	2.6	.2
	合計	度数	2021	656	1838	210	84	8
		行%	100.0	32.5	90.9	10.4	4.2	.4

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【2】自分を理解する能力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	180	104	98	94	2
		行%	100.0	70.9	40.9	38.6	37.0	.8
	35歳～39歳	度数	253	186	101	93	81	2
		行%	100.0	73.5	39.9	36.8	32.0	.8
	40歳～44歳	度数	253	170	86	99	87	3
		行%	100.0	67.2	34.0	39.1	34.4	1.2
	45歳～49歳	度数	253	170	83	85	76	2
		行%	100.0	67.2	32.8	33.6	30.0	.8
	合計	度数	1013	706	374	375	338	9
		行%	100.0	69.7	36.9	37.0	33.4	.9
女性	30歳～34歳	度数	252	203	111	91	104	1
		行%	100.0	80.6	44.0	36.1	41.3	.4
	35歳～39歳	度数	252	200	114	74	89	2
		行%	100.0	79.4	45.2	29.4	35.3	.8
	40歳～44歳	度数	252	206	106	73	86	2
		行%	100.0	81.7	42.1	29.0	34.1	.8
	45歳～49歳	度数	252	195	100	75	77	1
		行%	100.0	77.4	39.7	29.8	30.6	.4
	合計	度数	1008	804	431	313	356	6
		行%	100.0	79.8	42.8	31.1	35.3	.6
合計	30歳～34歳	度数	506	383	215	189	198	3
		行%	100.0	75.7	42.5	37.4	39.1	.6
	35歳～39歳	度数	505	386	215	167	170	4
		行%	100.0	76.4	42.6	33.1	33.7	.8
	40歳～44歳	度数	505	376	192	172	173	5
		行%	100.0	74.5	38.0	34.1	34.3	1.0
	45歳～49歳	度数	505	365	183	160	153	3
		行%	100.0	72.3	36.2	31.7	30.3	.6
	合計	度数	2021	1510	805	688	694	15
		行%	100.0	74.7	39.8	34.0	34.3	.7

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【3】他者への配慮や思いやり】

		合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	189	142	95	140	2
		行%	100.0	74.4	55.9	37.4	55.1	.8
	35歳～39歳	度数	253	178	141	111	149	1
		行%	100.0	70.4	55.7	43.9	58.9	.4
	40歳～44歳	度数	253	192	128	102	140	6
		行%	100.0	75.9	50.6	40.3	55.3	2.4
	45歳～49歳	度数	253	189	123	102	133	1
		行%	100.0	74.7	48.6	40.3	52.6	.4
	合計	度数	1013	748	534	410	562	10
		行%	100.0	73.8	52.7	40.5	55.5	1.0
女性	30歳～34歳	度数	252	199	172	129	162	3
		行%	100.0	79.0	68.3	51.2	64.3	1.2
	35歳～39歳	度数	252	199	152	111	153	2
		行%	100.0	79.0	60.3	44.0	60.7	.8
	40歳～44歳	度数	252	210	153	110	150	1
		行%	100.0	83.3	60.7	43.7	59.5	.4
	45歳～49歳	度数	252	190	146	110	156	2
		行%	100.0	75.4	57.9	43.7	61.9	.8
	合計	度数	1008	798	623	460	621	8
		行%	100.0	79.2	61.8	45.6	61.6	.8
合計	30歳～34歳	度数	506	388	314	224	302	5
		行%	100.0	76.7	62.1	44.3	59.7	1.0
	35歳～39歳	度数	505	377	293	222	302	3
		行%	100.0	74.7	58.0	44.0	59.8	.6
	40歳～44歳	度数	505	402	281	212	290	7
		行%	100.0	79.6	55.6	42.0	57.4	1.4
	45歳～49歳	度数	505	379	269	212	289	3
		行%	100.0	75.0	53.3	42.0	57.2	.6
	合計	度数	2021	1546	1157	870	1183	18
		行%	100.0	76.5	57.2	43.0	58.5	.9

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【4】多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力】

		合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	80	182	169	140	3
		行%	100.0	31.5	71.7	66.5	55.1	1.2
	35歳～39歳	度数	253	73	172	169	136	3
		行%	100.0	28.9	68.0	66.8	53.8	1.2
	40歳～44歳	度数	253	60	172	163	143	4
		行%	100.0	23.7	68.0	64.4	56.5	1.6
	45歳～49歳	度数	253	45	163	174	131	3
		行%	100.0	17.8	64.4	68.8	51.8	1.2
	合計	度数	1013	258	689	675	550	13
		行%	100.0	25.5	68.0	66.6	54.3	1.3
女性	30歳～34歳	度数	252	71	206	178	166	2
		行%	100.0	28.2	81.7	70.6	65.9	.8
	35歳～39歳	度数	252	77	195	168	168	
		行%	100.0	30.6	77.4	66.7	66.7	
	40歳～44歳	度数	252	64	196	171	149	1
		行%	100.0	25.4	77.8	67.9	59.1	.4
	45歳～49歳	度数	252	68	181	160	164	1
		行%	100.0	27.0	71.8	63.5	65.1	.4
	合計	度数	1008	280	778	677	647	4
		行%	100.0	27.8	77.2	67.2	64.2	.4
合計	30歳～34歳	度数	506	151	388	347	306	5
		行%	100.0	29.8	76.7	68.6	60.5	1.0
	35歳～39歳	度数	505	150	367	337	304	3
		行%	100.0	29.7	72.7	66.7	60.2	.6
	40歳～44歳	度数	505	124	368	334	292	5
		行%	100.0	24.6	72.9	66.1	57.8	1.0
	45歳～49歳	度数	505	113	344	334	295	4
		行%	100.0	22.4	68.1	66.1	58.4	.8
	合計	度数	2021	538	1467	1352	1197	17
		行%	100.0	26.6	72.6	66.9	59.2	.8

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【5】情報を収集、選択、活用する能力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	90	109	180	84	2
		行%	100.0	35.4	42.9	70.9	33.1	.8
	35歳～39歳	度数	253	71	127	187	71	3
		行%	100.0	28.1	50.2	73.9	28.1	1.2
	40歳～44歳	度数	253	60	114	189	65	6
		行%	100.0	23.7	45.1	74.7	25.7	2.4
	45歳～49歳	度数	253	56	95	195	72	2
		行%	100.0	22.1	37.5	77.1	28.5	.8
	合計	度数	1013	277	445	751	292	13
		行%	100.0	27.3	43.9	74.1	28.8	1.3
女性	30歳～34歳	度数	252	89	137	184	111	4
		行%	100.0	35.3	54.4	73.0	44.0	1.6
	35歳～39歳	度数	252	89	145	182	89	
		行%	100.0	35.3	57.5	72.2	35.3	
	40歳～44歳	度数	252	86	142	165	93	2
		行%	100.0	34.1	56.3	65.5	36.9	.8
	45歳～49歳	度数	252	95	137	175	78	2
		行%	100.0	37.7	54.4	69.4	31.0	.8
	合計	度数	1008	359	561	706	371	8
		行%	100.0	35.6	55.7	70.0	36.8	.8
合計	30歳～34歳	度数	506	179	246	364	195	6
		行%	100.0	35.4	48.6	71.9	38.5	1.2
	35歳～39歳	度数	505	160	272	369	160	3
		行%	100.0	31.7	53.9	73.1	31.7	.6
	40歳～44歳	度数	505	146	256	354	158	8
		行%	100.0	28.9	50.7	70.1	31.3	1.6
	45歳～49歳	度数	505	151	232	370	150	4
		行%	100.0	29.9	45.9	73.3	29.7	.8
	合計	度数	2021	636	1006	1457	663	21
		行%	100.0	31.5	49.8	72.1	32.8	1.0

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【6】社会や職業について学ぶ能力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	76	129	165	111	1
		行%	100.0	29.9	50.8	65.0	43.7	.4
	35歳～39歳	度数	253	63	130	159	118	2
		行%	100.0	24.9	51.4	62.8	46.6	.8
	40歳～44歳	度数	253	59	115	167	105	4
		行%	100.0	23.3	45.5	66.0	41.5	1.6
	45歳～49歳	度数	253	59	93	177	113	4
		行%	100.0	23.3	36.8	70.0	44.7	1.6
	合計	度数	1013	257	467	668	447	11
		行%	100.0	25.4	46.1	65.9	44.1	1.1
女性	30歳～34歳	度数	252	73	136	173	141	4
		行%	100.0	29.0	54.0	68.7	56.0	1.6
	35歳～39歳	度数	252	62	130	190	110	3
		行%	100.0	24.6	51.6	75.4	43.7	1.2
	40歳～44歳	度数	252	60	122	172	110	7
		行%	100.0	23.8	48.4	68.3	43.7	2.8
	45歳～49歳	度数	252	67	128	175	113	4
		行%	100.0	26.6	50.8	69.4	44.8	1.6
	合計	度数	1008	262	516	710	474	18
		行%	100.0	26.0	51.2	70.4	47.0	1.8
合計	30歳～34歳	度数	506	149	265	338	252	5
		行%	100.0	29.4	52.4	66.8	49.8	1.0
	35歳～39歳	度数	505	125	260	349	228	5
		行%	100.0	24.8	51.5	69.1	45.1	1.0
	40歳～44歳	度数	505	119	237	339	215	11
		行%	100.0	23.6	46.9	67.1	42.6	2.2
	45歳～49歳	度数	505	126	221	352	226	8
		行%	100.0	25.0	43.8	69.7	44.8	1.6
	合計	度数	2021	519	983	1378	921	29
		行%	100.0	25.7	48.6	68.2	45.6	1.4

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【7】多様な役割を知りそれを担う能力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	91	132	171	101	2
		行%	100.0	35.8	52.0	67.3	39.8	.8
	35歳～39歳	度数	253	75	125	175	99	4
		行%	100.0	29.6	49.4	69.2	39.1	1.6
	40歳～44歳	度数	253	63	116	189	111	6
		行%	100.0	24.9	45.8	74.7	43.9	2.4
	45歳～49歳	度数	253	54	93	187	95	3
		行%	100.0	21.3	36.8	73.9	37.5	1.2
	合計	度数	1013	283	466	722	406	15
		行%	100.0	27.9	46.0	71.3	40.1	1.5
女性	30歳～34歳	度数	252	108	151	184	135	5
		行%	100.0	42.9	59.9	73.0	53.6	2.0
	35歳～39歳	度数	252	94	137	179	124	4
		行%	100.0	37.3	54.4	71.0	49.2	1.6
	40歳～44歳	度数	252	90	139	173	110	3
		行%	100.0	35.7	55.2	68.7	43.7	1.2
	45歳～49歳	度数	252	113	128	178	123	4
		行%	100.0	44.8	50.8	70.6	48.8	1.6
	合計	度数	1008	405	555	714	492	16
		行%	100.0	40.2	55.1	70.8	48.8	1.6
合計	30歳～34歳	度数	506	199	283	355	236	7
		行%	100.0	39.3	55.9	70.2	46.6	1.4
	35歳～39歳	度数	505	169	262	354	223	8
		行%	100.0	33.5	51.9	70.1	44.2	1.6
	40歳～44歳	度数	505	153	255	362	221	9
		行%	100.0	30.3	50.5	71.7	43.8	1.8
	45歳～49歳	度数	505	167	221	365	218	7
		行%	100.0	33.1	43.8	72.3	43.2	1.4
	合計	度数	2021	688	1021	1436	898	31
		行%	100.0	34.0	50.5	71.1	44.4	1.5

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【8】計画をたて実行する能力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	99	154	170	41	1
		行%	100.0	39.0	60.6	66.9	16.1	.4
	35歳～39歳	度数	253	104	158	168	39	3
		行%	100.0	41.1	62.5	66.4	15.4	1.2
	40歳～44歳	度数	253	92	159	164	38	8
		行%	100.0	36.4	62.8	64.8	15.0	3.2
	45歳～49歳	度数	253	83	119	180	29	1
		行%	100.0	32.8	47.0	71.1	11.5	.4
	合計	度数	1013	378	590	682	147	13
		行%	100.0	37.3	58.2	67.3	14.5	1.3
女性	30歳～34歳	度数	252	138	177	158	58	3
		行%	100.0	54.8	70.2	62.7	23.0	1.2
	35歳～39歳	度数	252	139	185	140	47	2
		行%	100.0	55.2	73.4	55.6	18.7	.8
	40歳～44歳	度数	252	139	178	141	47	4
		行%	100.0	55.2	70.6	56.0	18.7	1.6
	45歳～49歳	度数	252	119	164	139	46	2
		行%	100.0	47.2	65.1	55.2	18.3	.8
	合計	度数	1008	535	704	578	198	11
		行%	100.0	53.1	69.8	57.3	19.6	1.1
合計	30歳～34歳	度数	506	237	331	328	99	4
		行%	100.0	46.8	65.4	64.8	19.6	.8
	35歳～39歳	度数	505	243	343	308	86	5
		行%	100.0	48.1	67.9	61.0	17.0	1.0
	40歳～44歳	度数	505	231	337	305	85	12
		行%	100.0	45.7	66.7	60.4	16.8	2.4
	45歳～49歳	度数	505	202	283	319	75	3
		行%	100.0	40.0	56.0	63.2	14.9	.6
	合計	度数	2021	913	1294	1260	345	24
		行%	100.0	45.2	64.0	62.3	17.1	1.2

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【9】選択肢の中から主体的に判断する能力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	109	138	162	56	2
		行%	100.0	42.9	54.3	63.8	22.0	.8
	35歳～39歳	度数	253	109	142	167	46	4
		行%	100.0	43.1	56.1	66.0	18.2	1.6
	40歳～44歳	度数	253	76	136	166	54	5
		行%	100.0	30.0	53.8	65.6	21.3	2.0
	45歳～49歳	度数	253	84	105	183	38	3
		行%	100.0	33.2	41.5	72.3	15.0	1.2
	合計	度数	1013	378	521	678	194	14
		行%	100.0	37.3	51.4	66.9	19.2	1.4
女性	30歳～34歳	度数	252	131	163	144	74	4
		行%	100.0	52.0	64.7	57.1	29.4	1.6
	35歳～39歳	度数	252	116	154	157	70	3
		行%	100.0	46.0	61.1	62.3	27.8	1.2
	40歳～44歳	度数	252	116	163	151	54	4
		行%	100.0	46.0	64.7	59.9	21.4	1.6
	45歳～49歳	度数	252	116	134	154	57	2
		行%	100.0	46.0	53.2	61.1	22.6	.8
	合計	度数	1008	479	614	606	255	13
		行%	100.0	47.5	60.9	60.1	25.3	1.3
合計	30歳～34歳	度数	506	240	301	306	130	6
		行%	100.0	47.4	59.5	60.5	25.7	1.2
	35歳～39歳	度数	505	225	296	324	116	7
		行%	100.0	44.6	58.6	64.2	23.0	1.4
	40歳～44歳	度数	505	192	299	317	108	9
		行%	100.0	38.0	59.2	62.8	21.4	1.8
	45歳～49歳	度数	505	200	239	337	95	5
		行%	100.0	39.6	47.3	66.7	18.8	1.0
	合計	度数	2021	857	1135	1284	449	27
		行%	100.0	42.4	56.2	63.5	22.2	1.3

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【10】課題を設定し解決する能力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	85	159	171	43	2
		行%	100.0	33.5	62.6	67.3	16.9	.8
	35歳～39歳	度数	253	79	170	165	41	2
		行%	100.0	31.2	67.2	65.2	16.2	.8
	40歳～44歳	度数	253	65	155	175	35	5
		行%	100.0	25.7	61.3	69.2	13.8	2.0
	45歳～49歳	度数	253	59	126	194	34	2
		行%	100.0	23.3	49.8	76.7	13.4	.8
	合計	度数	1013	288	610	705	153	11
		行%	100.0	28.4	60.2	69.6	15.1	1.1
女性	30歳～34歳	度数	252	97	177	158	52	3
		行%	100.0	38.5	70.2	62.7	20.6	1.2
	35歳～39歳	度数	252	89	192	139	39	3
		行%	100.0	35.3	76.2	55.2	15.5	1.2
	40歳～44歳	度数	252	88	190	143	40	4
		行%	100.0	34.9	75.4	56.7	15.9	1.6
	45歳～49歳	度数	252	78	174	157	38	2
		行%	100.0	31.0	69.0	62.3	15.1	.8
	合計	度数	1008	352	733	597	169	12
		行%	100.0	34.9	72.7	59.2	16.8	1.2
合計	30歳～34歳	度数	506	182	336	329	95	5
		行%	100.0	36.0	66.4	65.0	18.8	1.0
	35歳～39歳	度数	505	168	362	304	80	5
		行%	100.0	33.3	71.7	60.2	15.8	1.0
	40歳～44歳	度数	505	153	345	318	75	9
		行%	100.0	30.3	68.3	63.0	14.9	1.8
	45歳～49歳	度数	505	137	300	351	72	4
		行%	100.0	27.1	59.4	69.5	14.3	.8
	合計	度数	2021	640	1343	1302	322	23
		行%	100.0	31.7	66.5	64.4	15.9	1.1

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【11】基礎的体力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	178	165	31	54	3	
		行%	100.0	70.1	65.0	12.2	21.3	1.2	
	35歳～39歳	度数	253	179	174	33	55	4	
		行%	100.0	70.8	68.8	13.0	21.7	1.6	
	40歳～44歳	度数	253	173	175	33	46	4	
		行%	100.0	68.4	69.2	13.0	18.2	1.6	
	45歳～49歳	度数	253	174	159	25	40	1	
		行%	100.0	68.8	62.8	9.9	15.8	.4	
	合計	度数	1013	704	673	122	195	12	
		行%	100.0	69.5	66.4	12.0	19.2	1.2	
	女性	30歳～34歳	度数	252	188	167	38	52	3
			行%	100.0	74.6	66.3	15.1	20.6	1.2
35歳～39歳		度数	252	194	166	32	39	5	
		行%	100.0	77.0	65.9	12.7	15.5	2.0	
40歳～44歳		度数	252	210	163	22	37	4	
		行%	100.0	83.3	64.7	8.7	14.7	1.6	
45歳～49歳		度数	252	196	169	28	32	6	
		行%	100.0	77.8	67.1	11.1	12.7	2.4	
合計		度数	1008	788	665	120	160	18	
		行%	100.0	78.2	66.0	11.9	15.9	1.8	
合計		30歳～34歳	度数	506	366	332	69	106	6
			行%	100.0	72.3	65.6	13.6	20.9	1.2
	35歳～39歳	度数	505	373	340	65	94	9	
		行%	100.0	73.9	67.3	12.9	18.6	1.8	
	40歳～44歳	度数	505	383	338	55	83	8	
		行%	100.0	75.8	66.9	10.9	16.4	1.6	
	45歳～49歳	度数	505	370	328	53	72	7	
		行%	100.0	73.3	65.0	10.5	14.3	1.4	
	合計	度数	2021	1492	1338	242	355	30	
		行%	100.0	73.8	66.2	12.0	17.6	1.5	

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【12】マナーや時間を守るなどの一般常識】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	197	161	98	130	1	
		行%	100.0	77.6	63.4	38.6	51.2	.4	
	35歳～39歳	度数	253	208	162	91	122	2	
		行%	100.0	82.2	64.0	36.0	48.2	.8	
	40歳～44歳	度数	253	207	149	87	118	5	
		行%	100.0	81.8	58.9	34.4	46.6	2.0	
	45歳～49歳	度数	253	196	133	97	114		
		行%	100.0	77.5	52.6	38.3	45.1		
	合計	度数	1013	808	605	373	484	8	
		行%	100.0	79.8	59.7	36.8	47.8	.8	
	女性	30歳～34歳	度数	252	216	161	110	126	2
			行%	100.0	85.7	63.9	43.7	50.0	.8
35歳～39歳		度数	252	228	167	104	117	1	
		行%	100.0	90.5	66.3	41.3	46.4	.4	
40歳～44歳		度数	252	230	142	80	113	2	
		行%	100.0	91.3	56.3	31.7	44.8	.8	
45歳～49歳		度数	252	223	144	80	105	1	
		行%	100.0	88.5	57.1	31.7	41.7	.4	
合計		度数	1008	897	614	374	461	6	
		行%	100.0	89.0	60.9	37.1	45.7	.6	
合計		30歳～34歳	度数	506	413	322	208	256	3
			行%	100.0	81.6	63.6	41.1	50.6	.6
	35歳～39歳	度数	505	436	329	195	239	3	
		行%	100.0	86.3	65.1	38.6	47.3	.6	
	40歳～44歳	度数	505	437	291	167	231	7	
		行%	100.0	86.5	57.6	33.1	45.7	1.4	
	45歳～49歳	度数	505	419	277	177	219	1	
		行%	100.0	83.0	54.9	35.0	43.4	.2	
	合計	度数	2021	1705	1219	747	945	14	
		行%	100.0	84.4	60.3	37.0	46.8	.7	

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【13】道徳心や公共心などの社会性】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	187	158	76	148	
		行%	100.0	73.6	62.2	29.9	58.3	
	35歳～39歳	度数	253	192	164	78	146	3
		行%	100.0	75.9	64.8	30.8	57.7	1.2
	40歳～44歳	度数	253	188	152	73	132	6
		行%	100.0	74.3	60.1	28.9	52.2	2.4
	45歳～49歳	度数	253	182	143	78	132	3
		行%	100.0	71.9	56.5	30.8	52.2	1.2
	合計	度数	1013	749	617	305	558	12
		行%	100.0	73.9	60.9	30.1	55.1	1.2
女性	30歳～34歳	度数	252	201	165	97	153	3
		行%	100.0	79.8	65.5	38.5	60.7	1.2
	35歳～39歳	度数	252	208	162	92	152	1
		行%	100.0	82.5	64.3	36.5	60.3	.4
	40歳～44歳	度数	252	214	147	79	140	3
		行%	100.0	84.9	58.3	31.3	55.6	1.2
	45歳～49歳	度数	252	210	154	87	137	1
		行%	100.0	83.3	61.1	34.5	54.4	.4
	合計	度数	1008	833	628	355	582	8
		行%	100.0	82.6	62.3	35.2	57.7	.8
合計	30歳～34歳	度数	506	388	323	173	301	3
		行%	100.0	76.7	63.8	34.2	59.5	.6
	35歳～39歳	度数	505	400	326	170	298	4
		行%	100.0	79.2	64.6	33.7	59.0	.8
	40歳～44歳	度数	505	402	299	152	272	9
		行%	100.0	79.6	59.2	30.1	53.9	1.8
	45歳～49歳	度数	505	392	297	165	269	4
		行%	100.0	77.6	58.8	32.7	53.3	.8
	合計	度数	2021	1582	1245	660	1140	20
		行%	100.0	78.3	61.6	32.7	56.4	1.0

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【14】交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	87	132	180	69	1
		行%	100.0	34.3	52.0	70.9	27.2	.4
	35歳～39歳	度数	253	80	139	185	73	2
		行%	100.0	31.6	54.9	73.1	28.9	.8
	40歳～44歳	度数	253	69	135	190	75	8
		行%	100.0	27.3	53.4	75.1	29.6	3.2
	45歳～49歳	度数	253	53	110	196	62	1
		行%	100.0	20.9	43.5	77.5	24.5	.4
	合計	度数	1013	289	516	751	279	12
		行%	100.0	28.5	50.9	74.1	27.5	1.2
女性	30歳～34歳	度数	252	94	154	189	89	3
		行%	100.0	37.3	61.1	75.0	35.3	1.2
	35歳～39歳	度数	252	93	138	178	72	2
		行%	100.0	36.9	54.8	70.6	28.6	.8
	40歳～44歳	度数	252	81	154	175	66	4
		行%	100.0	32.1	61.1	69.4	26.2	1.6
	45歳～49歳	度数	252	72	145	192	72	2
		行%	100.0	28.6	57.5	76.2	28.6	.8
	合計	度数	1008	340	591	734	299	11
		行%	100.0	33.7	58.6	72.8	29.7	1.1
合計	30歳～34歳	度数	506	181	286	369	158	4
		行%	100.0	35.8	56.5	72.9	31.2	.8
	35歳～39歳	度数	505	173	277	363	145	4
		行%	100.0	34.3	54.9	71.9	28.7	.8
	40歳～44歳	度数	505	150	289	365	141	12
		行%	100.0	29.7	57.2	72.3	27.9	2.4
	45歳～49歳	度数	505	125	255	388	134	3
		行%	100.0	24.8	50.5	76.8	26.5	.6
	合計	度数	2021	629	1107	1485	578	23
		行%	100.0	31.1	54.8	73.5	28.6	1.1

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【15】論理的にものごとを考える能力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	98	177	140	46	2
		行%	100.0	38.6	69.7	55.1	18.1	.8
	35歳～39歳	度数	253	87	189	126	38	3
		行%	100.0	34.4	74.7	49.8	15.0	1.2
	40歳～44歳	度数	253	82	191	132	31	5
		行%	100.0	32.4	75.5	52.2	12.3	2.0
	45歳～49歳	度数	253	76	178	140	24	2
		行%	100.0	30.0	70.4	55.3	9.5	.8
	合計	度数	1013	343	735	538	139	12
		行%	100.0	33.9	72.6	53.1	13.7	1.2
女性	30歳～34歳	度数	252	98	179	157	59	4
		行%	100.0	38.9	71.0	62.3	23.4	1.6
	35歳～39歳	度数	252	97	176	127	42	3
		行%	100.0	38.5	69.8	50.4	16.7	1.2
	40歳～44歳	度数	252	99	186	123	36	6
		行%	100.0	39.3	73.8	48.8	14.3	2.4
	45歳～49歳	度数	252	91	191	125	37	2
		行%	100.0	36.1	75.8	49.6	14.7	.8
	合計	度数	1008	385	732	532	174	15
		行%	100.0	38.2	72.6	52.8	17.3	1.5
合計	30歳～34歳	度数	506	196	356	297	105	6
		行%	100.0	38.7	70.4	58.7	20.8	1.2
	35歳～39歳	度数	505	184	365	253	80	6
		行%	100.0	36.4	72.3	50.1	15.8	1.2
	40歳～44歳	度数	505	181	377	255	67	11
		行%	100.0	35.8	74.7	50.5	13.3	2.2
	45歳～49歳	度数	505	167	369	265	61	4
		行%	100.0	33.1	73.1	52.5	12.1	.8
	合計	度数	2021	728	1467	1070	313	27
		行%	100.0	36.0	72.6	52.9	15.5	1.3

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【16】アイデアや新しいことを創造的に生み出していく能力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	123	143	151	78	3
		行%	100.0	48.4	56.3	59.4	30.7	1.2
	35歳～39歳	度数	253	125	143	162	69	4
		行%	100.0	49.4	56.5	64.0	27.3	1.6
	40歳～44歳	度数	253	109	153	156	48	4
		行%	100.0	43.1	60.5	61.7	19.0	1.6
	45歳～49歳	度数	253	90	127	171	49	2
		行%	100.0	35.6	50.2	67.6	19.4	.8
	合計	度数	1013	447	566	640	244	13
		行%	100.0	44.1	55.9	63.2	24.1	1.3
女性	30歳～34歳	度数	252	129	163	166	78	4
		行%	100.0	51.2	64.7	65.9	31.0	1.6
	35歳～39歳	度数	252	125	168	148	64	2
		行%	100.0	49.6	66.7	58.7	25.4	.8
	40歳～44歳	度数	252	121	162	152	67	3
		行%	100.0	48.0	64.3	60.3	26.6	1.2
	45歳～49歳	度数	252	115	144	157	50	2
		行%	100.0	45.6	57.1	62.3	19.8	.8
	合計	度数	1008	490	637	623	259	11
		行%	100.0	48.6	63.2	61.8	25.7	1.1
合計	30歳～34歳	度数	506	252	306	317	156	7
		行%	100.0	49.8	60.5	62.6	30.8	1.4
	35歳～39歳	度数	505	250	311	310	133	6
		行%	100.0	49.5	61.6	61.4	26.3	1.2
	40歳～44歳	度数	505	230	315	308	115	7
		行%	100.0	45.5	62.4	61.0	22.8	1.4
	45歳～49歳	度数	505	205	271	328	99	4
		行%	100.0	40.6	53.7	65.0	19.6	.8
	合計	度数	2021	937	1203	1263	503	24
		行%	100.0	46.4	59.5	62.5	24.9	1.2

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【17】状況の変化に柔軟に対応する能力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	111	134	171	101	2
		行%	100.0	43.7	52.8	67.3	39.8	.8
	35歳～39歳	度数	253	120	137	170	99	3
		行%	100.0	47.4	54.2	67.2	39.1	1.2
	40歳～44歳	度数	253	104	129	176	90	5
		行%	100.0	41.1	51.0	69.6	35.6	2.0
	45歳～49歳	度数	253	92	102	190	90	1
		行%	100.0	36.4	40.3	75.1	35.6	.4
	合計	度数	1013	427	502	707	380	11
		行%	100.0	42.2	49.6	69.8	37.5	1.1
女性	30歳～34歳	度数	252	141	159	175	118	2
		行%	100.0	56.0	63.1	69.4	46.8	.8
	35歳～39歳	度数	252	130	147	175	103	3
		行%	100.0	51.6	58.3	69.4	40.9	1.2
	40歳～44歳	度数	252	145	155	167	106	4
		行%	100.0	57.5	61.5	66.3	42.1	1.6
	45歳～49歳	度数	252	131	134	165	108	3
		行%	100.0	52.0	53.2	65.5	42.9	1.2
	合計	度数	1008	547	595	682	435	12
		行%	100.0	54.3	59.0	67.7	43.2	1.2
合計	30歳～34歳	度数	506	252	293	346	219	4
		行%	100.0	49.8	57.9	68.4	43.3	.8
	35歳～39歳	度数	505	250	284	345	202	6
		行%	100.0	49.5	56.2	68.3	40.0	1.2
	40歳～44歳	度数	505	249	284	343	196	9
		行%	100.0	49.3	56.2	67.9	38.8	1.8
	45歳～49歳	度数	505	223	236	355	198	4
		行%	100.0	44.2	46.7	70.3	39.2	.8
	合計	度数	2021	974	1097	1389	815	23
		行%	100.0	48.2	54.3	68.7	40.3	1.1

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか【18】常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする能力】

			合計	家庭	学校	職場	地域社会	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	132	193	149	73	
		行%	100.0	52.0	76.0	58.7	28.7	
	35歳～39歳	度数	253	138	182	153	64	2
		行%	100.0	54.5	71.9	60.5	25.3	.8
	40歳～44歳	度数	253	111	186	141	51	6
		行%	100.0	43.9	73.5	55.7	20.2	2.4
	45歳～49歳	度数	253	108	154	154	53	1
		行%	100.0	42.7	60.9	60.9	20.9	.4
	合計	度数	1013	489	715	597	241	9
		行%	100.0	48.3	70.6	58.9	23.8	.9
女性	30歳～34歳	度数	252	149	200	165	90	1
		行%	100.0	59.1	79.4	65.5	35.7	.4
	35歳～39歳	度数	252	124	212	138	70	2
		行%	100.0	49.2	84.1	54.8	27.8	.8
	40歳～44歳	度数	252	152	196	154	66	5
		行%	100.0	60.3	77.8	61.1	26.2	2.0
	45歳～49歳	度数	252	127	199	133	60	1
		行%	100.0	50.4	79.0	52.8	23.8	.4
	合計	度数	1008	552	807	590	286	9
		行%	100.0	54.8	80.1	58.5	28.4	.9
合計	30歳～34歳	度数	506	281	393	314	163	1
		行%	100.0	55.5	77.7	62.1	32.2	.2
	35歳～39歳	度数	505	262	394	291	134	4
		行%	100.0	51.9	78.0	57.6	26.5	.8
	40歳～44歳	度数	505	263	382	295	117	11
		行%	100.0	52.1	75.6	58.4	23.2	2.2
	45歳～49歳	度数	505	235	353	287	113	2
		行%	100.0	46.5	69.9	56.8	22.4	.4
	合計	度数	2021	1041	1522	1187	527	18
		行%	100.0	51.5	75.3	58.7	26.1	.9

Q8. あなたは、自分がどのような性格的な特徴をもっていると思いますか。次の1)～12)について、どの程度自分にあてはまるか判断して、あてはまるものをお選びください【1)私は、自分の興味や関心の対象がわからない方だ】

		合計	とてもそう である	まあそう である	あまりそう でない	全然そう でない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	31	111	93	19	
		行%	100.0	12.2	43.7	36.6	7.5	
	35歳～39歳	度数	253	16	99	100	38	
		行%	100.0	6.3	39.1	39.5	15.0	
	40歳～44歳	度数	253	20	90	104	38	1
		行%	100.0	7.9	35.6	41.1	15.0	.4
	45歳～49歳	度数	253	13	109	101	29	1
		行%	100.0	5.1	43.1	39.9	11.5	.4
	合計	度数	1013	80	409	398	124	2
		行%	100.0	7.9	40.4	39.3	12.2	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	10	109	106	25	2
		行%	100.0	4.0	43.3	42.1	9.9	.8
	35歳～39歳	度数	252	21	102	101	28	
		行%	100.0	8.3	40.5	40.1	11.1	
	40歳～44歳	度数	252	14	108	107	23	
		行%	100.0	5.6	42.9	42.5	9.1	
	45歳～49歳	度数	252	13	97	105	36	1
		行%	100.0	5.2	38.5	41.7	14.3	.4
	合計	度数	1008	58	416	419	112	3
		行%	100.0	5.8	41.3	41.6	11.1	.3
合計	30歳～34歳	度数	506	41	220	199	44	2
		行%	100.0	8.1	43.5	39.3	8.7	.4
	35歳～39歳	度数	505	37	201	201	66	
		行%	100.0	7.3	39.8	39.8	13.1	
	40歳～44歳	度数	505	34	198	211	61	1
		行%	100.0	6.7	39.2	41.8	12.1	.2
	45歳～49歳	度数	505	26	206	206	65	2
		行%	100.0	5.1	40.8	40.8	12.9	.4
	合計	度数	2021	138	825	817	236	5
		行%	100.0	6.8	40.8	40.4	11.7	.2

Q8. あなたは、自分がどのような性格的な特徴をもっていると思いますか。次の1)～12)について、どの程度自分にあてはまるか判断して、あてはまるものをお選びください【2)私は、自分が楽観的だと思う】

		合計	とてもそう である	まあそう である	あまりそう でない	全然そう でない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	38	123	77	16	
		行%	100.0	15.0	48.4	30.3	6.3	
	35歳～39歳	度数	253	36	125	75	17	
		行%	100.0	14.2	49.4	29.6	6.7	
	40歳～44歳	度数	253	40	129	67	15	2
		行%	100.0	15.8	51.0	26.5	5.9	.8
	45歳～49歳	度数	253	29	135	70	19	
		行%	100.0	11.5	53.4	27.7	7.5	
	合計	度数	1013	143	512	289	67	2
		行%	100.0	14.1	50.5	28.5	6.6	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	24	127	80	21	
		行%	100.0	9.5	50.4	31.7	8.3	
	35歳～39歳	度数	252	35	129	79	9	
		行%	100.0	13.9	51.2	31.3	3.6	
	40歳～44歳	度数	252	33	128	77	14	
		行%	100.0	13.1	50.8	30.6	5.6	
	45歳～49歳	度数	252	32	124	86	8	2
		行%	100.0	12.7	49.2	34.1	3.2	.8
	合計	度数	1008	124	508	322	52	2
		行%	100.0	12.3	50.4	31.9	5.2	.2
合計	30歳～34歳	度数	506	62	250	157	37	
		行%	100.0	12.3	49.4	31.0	7.3	
	35歳～39歳	度数	505	71	254	154	26	
		行%	100.0	14.1	50.3	30.5	5.1	
	40歳～44歳	度数	505	73	257	144	29	2
		行%	100.0	14.5	50.9	28.5	5.7	.4
	45歳～49歳	度数	505	61	259	156	27	2
		行%	100.0	12.1	51.3	30.9	5.3	.4
	合計	度数	2021	267	1020	611	119	4
		行%	100.0	13.2	50.5	30.2	5.9	.2

Q8. あなたは、自分がどのような性格的な特徴をもっていると思いますか。次の1)～12)について、どの程度自分にあてはまるか判断して、あてはまるものをお選びください【3)私は、がまん強い方だ】

			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	46	141	61	5	1	
		行%	100.0	18.1	55.5	24.0	2.0	.4	
	35歳～39歳	度数	253	33	144	69	7		
		行%	100.0	13.0	56.9	27.3	2.8		
	40歳～44歳	度数	253	39	154	52	7	1	
		行%	100.0	15.4	60.9	20.6	2.8	.4	
	45歳～49歳	度数	253	38	156	53	5	1	
		行%	100.0	15.0	61.7	20.9	2.0	.4	
	合計	度数	1013	156	595	235	24	3	
		行%	100.0	15.4	58.7	23.2	2.4	.3	
	女性	30歳～34歳	度数	252	53	126	66	7	
			行%	100.0	21.0	50.0	26.2	2.8	
35歳～39歳		度数	252	43	135	66	7	1	
		行%	100.0	17.1	53.6	26.2	2.8	.4	
40歳～44歳		度数	252	42	158	46	5	1	
		行%	100.0	16.7	62.7	18.3	2.0	.4	
45歳～49歳		度数	252	50	146	51	4	1	
		行%	100.0	19.8	57.9	20.2	1.6	.4	
合計		度数	1008	188	565	229	23	3	
		行%	100.0	18.7	56.1	22.7	2.3	.3	
合計		30歳～34歳	度数	506	99	267	127	12	1
			行%	100.0	19.6	52.8	25.1	2.4	.2
	35歳～39歳	度数	505	76	279	135	14	1	
		行%	100.0	15.0	55.2	26.7	2.8	.2	
	40歳～44歳	度数	505	81	312	98	12	2	
		行%	100.0	16.0	61.8	19.4	2.4	.4	
	45歳～49歳	度数	505	88	302	104	9	2	
		行%	100.0	17.4	59.8	20.6	1.8	.4	
	合計	度数	2021	344	1160	464	47	6	
		行%	100.0	17.0	57.4	23.0	2.3	.3	

Q8. あなたは、自分がどのような性格的な特徴をもっていると思いますか。次の1)～12)について、どの程度自分にあてはまるか判断して、あてはまるものをお選びください【4)私は、好奇心の強い方だ】

			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	64	127	61	2		
		行%	100.0	25.2	50.0	24.0	.8		
	35歳～39歳	度数	253	74	133	43	3		
		行%	100.0	29.2	52.6	17.0	1.2		
	40歳～44歳	度数	253	51	151	46	4	1	
		行%	100.0	20.2	59.7	18.2	1.6	.4	
	45歳～49歳	度数	253	46	157	47	2	1	
		行%	100.0	18.2	62.1	18.6	.8	.4	
	合計	度数	1013	235	568	197	11	2	
		行%	100.0	23.2	56.1	19.4	1.1	.2	
	女性	30歳～34歳	度数	252	68	123	58	3	
			行%	100.0	27.0	48.8	23.0	1.2	
35歳～39歳		度数	252	60	147	42	2	1	
		行%	100.0	23.8	58.3	16.7	.8	.4	
40歳～44歳		度数	252	60	136	53	2	1	
		行%	100.0	23.8	54.0	21.0	.8	.4	
45歳～49歳		度数	252	64	137	49	1	1	
		行%	100.0	25.4	54.4	19.4	.4	.4	
合計		度数	1008	252	543	202	8	3	
		行%	100.0	25.0	53.9	20.0	.8	.3	
合計		30歳～34歳	度数	506	132	250	119	5	
			行%	100.0	26.1	49.4	23.5	1.0	
	35歳～39歳	度数	505	134	280	85	5	1	
		行%	100.0	26.5	55.4	16.8	1.0	.2	
	40歳～44歳	度数	505	111	287	99	6	2	
		行%	100.0	22.0	56.8	19.6	1.2	.4	
	45歳～49歳	度数	505	110	294	96	3	2	
		行%	100.0	21.8	58.2	19.0	.6	.4	
	合計	度数	2021	487	1111	399	19	5	
		行%	100.0	24.1	55.0	19.7	.9	.2	

Q8. あなたは、自分がどのような性格的な特徴をもっていると思いますか。次の1)～12)について、どの程度自分にあてはまるか判断して、あてはまるものをお選びください【5)私は、積極的な方だ】

		合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	22	100	114	15	3
		行%	100.0	8.7	39.4	44.9	5.9	1.2
	35歳～39歳	度数	253	22	102	116	13	
		行%	100.0	8.7	40.3	45.8	5.1	
	40歳～44歳	度数	253	25	99	115	13	1
		行%	100.0	9.9	39.1	45.5	5.1	.4
	45歳～49歳	度数	253	13	102	122	11	5
		行%	100.0	5.1	40.3	48.2	4.3	2.0
	合計	度数	1013	82	403	467	52	9
		行%	100.0	8.1	39.8	46.1	5.1	.9
女性	30歳～34歳	度数	252	25	94	110	20	3
		行%	100.0	9.9	37.3	43.7	7.9	1.2
	35歳～39歳	度数	252	19	110	110	13	
		行%	100.0	7.5	43.7	43.7	5.2	
	40歳～44歳	度数	252	22	105	109	14	2
		行%	100.0	8.7	41.7	43.3	5.6	.8
	45歳～49歳	度数	252	22	109	107	12	2
		行%	100.0	8.7	43.3	42.5	4.8	.8
	合計	度数	1008	88	418	436	59	7
		行%	100.0	8.7	41.5	43.3	5.9	.7
合計	30歳～34歳	度数	506	47	194	224	35	6
		行%	100.0	9.3	38.3	44.3	6.9	1.2
	35歳～39歳	度数	505	41	212	226	26	
		行%	100.0	8.1	42.0	44.8	5.1	
	40歳～44歳	度数	505	47	204	224	27	3
		行%	100.0	9.3	40.4	44.4	5.3	.6
	45歳～49歳	度数	505	35	211	229	23	7
		行%	100.0	6.9	41.8	45.3	4.6	1.4
	合計	度数	2021	170	821	903	111	16
		行%	100.0	8.4	40.6	44.7	5.5	.8

Q8. あなたは、自分がどのような性格的な特徴をもっていると思いますか。次の1)～12)について、どの程度自分にあてはまるか判断して、あてはまるものをお選びください【6)私は、失敗・成功を気にする方だ】

		合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	47	152	51	3	1
		行%	100.0	18.5	59.8	20.1	1.2	.4
	35歳～39歳	度数	253	39	143	58	13	
		行%	100.0	15.4	56.5	22.9	5.1	
	40歳～44歳	度数	253	37	127	82	5	2
		行%	100.0	14.6	50.2	32.4	2.0	.8
	45歳～49歳	度数	253	27	152	70	3	1
		行%	100.0	10.7	60.1	27.7	1.2	.4
	合計	度数	1013	150	574	261	24	4
		行%	100.0	14.8	56.7	25.8	2.4	.4
女性	30歳～34歳	度数	252	51	146	46	7	2
		行%	100.0	20.2	57.9	18.3	2.8	.8
	35歳～39歳	度数	252	34	154	58	6	
		行%	100.0	13.5	61.1	23.0	2.4	
	40歳～44歳	度数	252	37	147	63	5	
		行%	100.0	14.7	58.3	25.0	2.0	
	45歳～49歳	度数	252	29	136	81	5	1
		行%	100.0	11.5	54.0	32.1	2.0	.4
	合計	度数	1008	151	583	248	23	3
		行%	100.0	15.0	57.8	24.6	2.3	.3
合計	30歳～34歳	度数	506	98	298	97	10	3
		行%	100.0	19.4	58.9	19.2	2.0	.6
	35歳～39歳	度数	505	73	297	116	19	
		行%	100.0	14.5	58.8	23.0	3.8	
	40歳～44歳	度数	505	74	274	145	10	2
		行%	100.0	14.7	54.3	28.7	2.0	.4
	45歳～49歳	度数	505	56	288	151	8	2
		行%	100.0	11.1	57.0	29.9	1.6	.4
	合計	度数	2021	301	1157	509	47	7
		行%	100.0	14.9	57.2	25.2	2.3	.3

Q8. あなたは、自分がどのような性格的な特徴をもっていると思いますか。次の1)～12)について、どの程度自分にあてはまるか判断して、あてはまるものをお選びください【7)私は、社会的習慣やしきたりを受け入れるのに、抵抗を感じる方だ】

			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	20	98	117	18	1
		行%	100.0	7.9	38.6	46.1	7.1	.4
	35歳～39歳	度数	253	21	90	114	28	
		行%	100.0	8.3	35.6	45.1	11.1	
	40歳～44歳	度数	253	15	86	132	19	1
		行%	100.0	5.9	34.0	52.2	7.5	.4
	45歳～49歳	度数	253	11	79	147	15	1
		行%	100.0	4.3	31.2	58.1	5.9	.4
	合計	度数	1013	67	353	510	80	3
		行%	100.0	6.6	34.8	50.3	7.9	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	8	78	151	14	1
		行%	100.0	3.2	31.0	59.9	5.6	.4
	35歳～39歳	度数	252	12	70	148	22	
		行%	100.0	4.8	27.8	58.7	8.7	
	40歳～44歳	度数	252	15	59	162	16	
		行%	100.0	6.0	23.4	64.3	6.3	
	45歳～49歳	度数	252	6	66	154	25	1
		行%	100.0	2.4	26.2	61.1	9.9	.4
	合計	度数	1008	41	273	615	77	2
		行%	100.0	4.1	27.1	61.0	7.6	.2
合計	30歳～34歳	度数	506	28	176	268	32	2
		行%	100.0	5.5	34.8	53.0	6.3	.4
	35歳～39歳	度数	505	33	160	262	50	
		行%	100.0	6.5	31.7	51.9	9.9	
	40歳～44歳	度数	505	30	145	294	35	1
		行%	100.0	5.9	28.7	58.2	6.9	.2
	45歳～49歳	度数	505	17	145	301	40	2
		行%	100.0	3.4	28.7	59.6	7.9	.4
	合計	度数	2021	108	626	1125	157	5
		行%	100.0	5.3	31.0	55.7	7.8	.2

Q8. あなたは、自分がどのような性格的な特徴をもっていると思いますか。次の1)～12)について、どの程度自分にあてはまるか判断して、あてはまるものをお選びください【8)私は、自分のやることに自信を持っている】

			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	30	117	96	11	
		行%	100.0	11.8	46.1	37.8	4.3	
	35歳～39歳	度数	253	26	123	93	11	
		行%	100.0	10.3	48.6	36.8	4.3	
	40歳～44歳	度数	253	17	134	96	5	1
		行%	100.0	6.7	53.0	37.9	2.0	.4
	45歳～49歳	度数	253	13	148	82	8	2
		行%	100.0	5.1	58.5	32.4	3.2	.8
	合計	度数	1013	86	522	367	35	3
		行%	100.0	8.5	51.5	36.2	3.5	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	12	115	113	10	2
		行%	100.0	4.8	45.6	44.8	4.0	.8
	35歳～39歳	度数	252	13	106	116	17	
		行%	100.0	5.2	42.1	46.0	6.7	
	40歳～44歳	度数	252	11	115	113	13	
		行%	100.0	4.4	45.6	44.8	5.2	
	45歳～49歳	度数	252	9	121	111	10	1
		行%	100.0	3.6	48.0	44.0	4.0	.4
	合計	度数	1008	45	457	453	50	3
		行%	100.0	4.5	45.3	44.9	5.0	.3
合計	30歳～34歳	度数	506	42	232	209	21	2
		行%	100.0	8.3	45.8	41.3	4.2	.4
	35歳～39歳	度数	505	39	229	209	28	
		行%	100.0	7.7	45.3	41.4	5.5	
	40歳～44歳	度数	505	28	249	209	18	1
		行%	100.0	5.5	49.3	41.4	3.6	.2
	45歳～49歳	度数	505	22	269	193	18	3
		行%	100.0	4.4	53.3	38.2	3.6	.6
	合計	度数	2021	131	979	820	85	6
		行%	100.0	6.5	48.4	40.6	4.2	.3

Q8. あなたは、自分がどのような性格的な特徴をもっていると思いますか。次の1)～12)について、どの程度自分にあてはまるか判断して、あてはまるものをお選びください【9)私は、いつもはりつめた気持ちをもっている】

			合計	とてもそう である	まあそう である	あまりそう でない	全然そう でない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	20	105	113	15	1
		行%	100.0	7.9	41.3	44.5	5.9	.4
	35歳～39歳	度数	253	15	92	122	24	
		行%	100.0	5.9	36.4	48.2	9.5	
	40歳～44歳	度数	253	7	88	140	17	1
		行%	100.0	2.8	34.8	55.3	6.7	.4
	45歳～49歳	度数	253	5	92	140	15	1
		行%	100.0	2.0	36.4	55.3	5.9	.4
	合計	度数	1013	47	377	515	71	3
		行%	100.0	4.6	37.2	50.8	7.0	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	9	66	145	31	1
		行%	100.0	3.6	26.2	57.5	12.3	.4
	35歳～39歳	度数	252	6	70	150	25	1
		行%	100.0	2.4	27.8	59.5	9.9	.4
	40歳～44歳	度数	252	14	81	139	17	1
		行%	100.0	5.6	32.1	55.2	6.7	.4
	45歳～49歳	度数	252	15	61	152	23	1
		行%	100.0	6.0	24.2	60.3	9.1	.4
	合計	度数	1008	44	278	586	96	4
		行%	100.0	4.4	27.6	58.1	9.5	.4
合計	30歳～34歳	度数	506	29	171	258	46	2
		行%	100.0	5.7	33.8	51.0	9.1	.4
	35歳～39歳	度数	505	21	162	272	49	1
		行%	100.0	4.2	32.1	53.9	9.7	.2
	40歳～44歳	度数	505	21	169	279	34	2
		行%	100.0	4.2	33.5	55.2	6.7	.4
	45歳～49歳	度数	505	20	153	292	38	2
		行%	100.0	4.0	30.3	57.8	7.5	.4
	合計	度数	2021	91	655	1101	167	7
		行%	100.0	4.5	32.4	54.5	8.3	.3

Q8. あなたは、自分がどのような性格的な特徴をもっていると思いますか。次の1)～12)について、どの程度自分にあてはまるか判断して、あてはまるものをお選びください【10)私は、新しいグループに気楽に入れる方だ】

			合計	とてもそう である	まあそう である	あまりそう でない	全然そう でない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	13	74	125	42	
		行%	100.0	5.1	29.1	49.2	16.5	
	35歳～39歳	度数	253	15	80	119	39	
		行%	100.0	5.9	31.6	47.0	15.4	
	40歳～44歳	度数	253	13	74	134	29	3
		行%	100.0	5.1	29.2	53.0	11.5	1.2
	45歳～49歳	度数	253	5	75	136	36	1
		行%	100.0	2.0	29.6	53.8	14.2	.4
	合計	度数	1013	46	303	514	146	4
		行%	100.0	4.5	29.9	50.7	14.4	.4
女性	30歳～34歳	度数	252	10	75	117	49	1
		行%	100.0	4.0	29.8	46.4	19.4	.4
	35歳～39歳	度数	252	14	75	129	34	
		行%	100.0	5.6	29.8	51.2	13.5	
	40歳～44歳	度数	252	11	83	122	36	
		行%	100.0	4.4	32.9	48.4	14.3	
	45歳～49歳	度数	252	14	92	122	22	2
		行%	100.0	5.6	36.5	48.4	8.7	.8
	合計	度数	1008	49	325	490	141	3
		行%	100.0	4.9	32.2	48.6	14.0	.3
合計	30歳～34歳	度数	506	23	149	242	91	1
		行%	100.0	4.5	29.4	47.8	18.0	.2
	35歳～39歳	度数	505	29	155	248	73	
		行%	100.0	5.7	30.7	49.1	14.5	
	40歳～44歳	度数	505	24	157	256	65	3
		行%	100.0	4.8	31.1	50.7	12.9	.6
	45歳～49歳	度数	505	19	167	258	58	3
		行%	100.0	3.8	33.1	51.1	11.5	.6
	合計	度数	2021	95	628	1004	287	7
		行%	100.0	4.7	31.1	49.7	14.2	.3

Q8. あなたは、自分がどのような性格的な特徴をもっていると思いますか。次の1)～12)について、どの程度自分にあてはまるか判断して、あてはまるものをお選びください【11)私は、考え方や行動は理性的だ】

			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	27	136	85	6	
		行%	100.0	10.6	53.5	33.5	2.4	
	35歳～39歳	度数	253	28	139	78	8	
		行%	100.0	11.1	54.9	30.8	3.2	
	40歳～44歳	度数	253	25	161	62	3	2
		行%	100.0	9.9	63.6	24.5	1.2	.8
	45歳～49歳	度数	253	16	156	73	7	1
		行%	100.0	6.3	61.7	28.9	2.8	.4
	合計	度数	1013	96	592	298	24	3
		行%	100.0	9.5	58.4	29.4	2.4	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	10	139	96	7	
		行%	100.0	4.0	55.2	38.1	2.8	
	35歳～39歳	度数	252	14	139	91	7	1
		行%	100.0	5.6	55.2	36.1	2.8	.4
	40歳～44歳	度数	252	19	129	100	4	
		行%	100.0	7.5	51.2	39.7	1.6	
	45歳～49歳	度数	252	26	137	81	7	1
		行%	100.0	10.3	54.4	32.1	2.8	.4
	合計	度数	1008	69	544	368	25	2
		行%	100.0	6.8	54.0	36.5	2.5	.2
合計	30歳～34歳	度数	506	37	275	181	13	
		行%	100.0	7.3	54.3	35.8	2.6	
	35歳～39歳	度数	505	42	278	169	15	1
		行%	100.0	8.3	55.0	33.5	3.0	.2
	40歳～44歳	度数	505	44	290	162	7	2
		行%	100.0	8.7	57.4	32.1	1.4	.4
	45歳～49歳	度数	505	42	293	154	14	2
		行%	100.0	8.3	58.0	30.5	2.8	.4
	合計	度数	2021	165	1136	666	49	5
		行%	100.0	8.2	56.2	33.0	2.4	.2

Q8. あなたは、自分がどのような性格的な特徴をもっていると思いますか。次の1)～12)について、どの程度自分にあてはまるか判断して、あてはまるものをお選びください【12)私は、社会的であると思う】

			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	12	86	127	28	1
		行%	100.0	4.7	33.9	50.0	11.0	.4
	35歳～39歳	度数	253	13	93	114	32	1
		行%	100.0	5.1	36.8	45.1	12.6	.4
	40歳～44歳	度数	253	16	82	130	23	2
		行%	100.0	6.3	32.4	51.4	9.1	.8
	45歳～49歳	度数	253	10	72	136	32	3
		行%	100.0	4.0	28.5	53.8	12.6	1.2
	合計	度数	1013	51	333	507	115	7
		行%	100.0	5.0	32.9	50.0	11.4	.7
女性	30歳～34歳	度数	252	19	102	108	23	
		行%	100.0	7.5	40.5	42.9	9.1	
	35歳～39歳	度数	252	18	106	101	25	2
		行%	100.0	7.1	42.1	40.1	9.9	.8
	40歳～44歳	度数	252	18	98	106	30	
		行%	100.0	7.1	38.9	42.1	11.9	
	45歳～49歳	度数	252	17	96	117	21	1
		行%	100.0	6.7	38.1	46.4	8.3	.4
	合計	度数	1008	72	402	432	99	3
		行%	100.0	7.1	39.9	42.9	9.8	.3
合計	30歳～34歳	度数	506	31	188	235	51	1
		行%	100.0	6.1	37.2	46.4	10.1	.2
	35歳～39歳	度数	505	31	199	215	57	3
		行%	100.0	6.1	39.4	42.6	11.3	.6
	40歳～44歳	度数	505	34	180	236	53	2
		行%	100.0	6.7	35.6	46.7	10.5	.4
	45歳～49歳	度数	505	27	168	253	53	4
		行%	100.0	5.3	33.3	50.1	10.5	.8
	合計	度数	2021	123	735	939	214	10
		行%	100.0	6.1	36.4	46.5	10.6	.5

Q9. あなたは、条件が整えば、何か学習したいこと(現在やっていることを含む)がありますか

			合計	ぜひやりたいこと がある	できれば やりたい ことがあ る	決まっ てい ない が、何 か や り た い	やり たい こと は、 特 に な い	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	78	105	38	33	
		行%	100.0	30.7	41.3	15.0	13.0	
	35歳～39歳	度数	253	79	77	53	43	1
		行%	100.0	31.2	30.4	20.9	17.0	.4
	40歳～44歳	度数	253	65	96	46	43	3
		行%	100.0	25.7	37.9	18.2	17.0	1.2
	45歳～49歳	度数	253	45	110	62	36	
		行%	100.0	17.8	43.5	24.5	14.2	
	合計	度数	1013	267	388	199	155	4
		行%	100.0	26.4	38.3	19.6	15.3	.4
女性	30歳～34歳	度数	252	82	84	52	34	
		行%	100.0	32.5	33.3	20.6	13.5	
	35歳～39歳	度数	252	67	99	52	33	1
		行%	100.0	26.6	39.3	20.6	13.1	.4
	40歳～44歳	度数	252	58	115	43	34	2
		行%	100.0	23.0	45.6	17.1	13.5	.8
	45歳～49歳	度数	252	53	102	63	33	1
		行%	100.0	21.0	40.5	25.0	13.1	.4
	合計	度数	1008	260	400	210	134	4
		行%	100.0	25.8	39.7	20.8	13.3	.4
合計	30歳～34歳	度数	506	160	189	90	67	
		行%	100.0	31.6	37.4	17.8	13.2	
	35歳～39歳	度数	505	146	176	105	76	2
		行%	100.0	28.9	34.9	20.8	15.0	.4
	40歳～44歳	度数	505	123	211	89	77	5
		行%	100.0	24.4	41.8	17.6	15.2	1.0
	45歳～49歳	度数	505	98	212	125	69	1
		行%	100.0	19.4	42.0	24.8	13.7	.2
	合計	度数	2021	527	788	409	289	8
		行%	100.0	26.1	39.0	20.2	14.3	.4

Q9-1. どのような内容の学習をしたいですか。次の1)～11)について、それぞれについて、あてはまるものをお選びください【1)俳句、手工芸、絵画など趣味的なもの】

			合計	ぜひした い	できれば したい	あまりした くない	全然した くない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	221	18	60	69	70	4
		行%	100.0	8.1	27.1	31.2	31.7	1.8
	35歳～39歳	度数	209	18	63	59	68	1
		行%	100.0	8.6	30.1	28.2	32.5	.5
	40歳～44歳	度数	207	12	65	66	61	3
		行%	100.0	5.8	31.4	31.9	29.5	1.4
	45歳～49歳	度数	217	10	64	84	57	2
		行%	100.0	4.6	29.5	38.7	26.3	.9
	合計	度数	854	58	252	278	256	10
		行%	100.0	6.8	29.5	32.6	30.0	1.2
女性	30歳～34歳	度数	218	43	91	50	33	1
		行%	100.0	19.7	41.7	22.9	15.1	.5
	35歳～39歳	度数	218	52	97	44	24	1
		行%	100.0	23.9	44.5	20.2	11.0	.5
	40歳～44歳	度数	216	44	100	38	30	4
		行%	100.0	20.4	46.3	17.6	13.9	1.9
	45歳～49歳	度数	218	30	105	51	27	5
		行%	100.0	13.8	48.2	23.4	12.4	2.3
	合計	度数	870	169	393	183	114	11
		行%	100.0	19.4	45.2	21.0	13.1	1.3
合計	30歳～34歳	度数	439	61	151	119	103	5
		行%	100.0	13.9	34.4	27.1	23.5	1.1
	35歳～39歳	度数	427	70	160	103	92	2
		行%	100.0	16.4	37.5	24.1	21.5	.5
	40歳～44歳	度数	423	56	165	104	91	7
		行%	100.0	13.2	39.0	24.6	21.5	1.7
	45歳～49歳	度数	435	40	169	135	84	7
		行%	100.0	9.2	38.9	31.0	19.3	1.6
	合計	度数	1724	227	645	461	370	21
		行%	100.0	13.2	37.4	26.7	21.5	1.2

Q9-1. どのような内容の学習をしたいですか。次の1)～11)について、それぞれについて、あてはまるものをお選びください【2)歴史・科学・芸術鑑賞など教養的なもの】

			合計	ぜひしたい	できればしたい	あまりしたくない	全然したくない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	221	22	88	58	49	4
		行%	100.0	10.0	39.8	26.2	22.2	1.8
	35歳～39歳	度数	209	27	92	52	36	2
		行%	100.0	12.9	44.0	24.9	17.2	1.0
	40歳～44歳	度数	207	30	86	55	32	4
		行%	100.0	14.5	41.5	26.6	15.5	1.9
	45歳～49歳	度数	217	24	107	59	23	4
		行%	100.0	11.1	49.3	27.2	10.6	1.8
	合計	度数	854	103	373	224	140	14
		行%	100.0	12.1	43.7	26.2	16.4	1.6
女性	30歳～34歳	度数	218	24	75	73	43	3
		行%	100.0	11.0	34.4	33.5	19.7	1.4
	35歳～39歳	度数	218	31	101	57	27	2
		行%	100.0	14.2	46.3	26.1	12.4	.9
	40歳～44歳	度数	216	27	99	63	22	5
		行%	100.0	12.5	45.8	29.2	10.2	2.3
	45歳～49歳	度数	218	20	117	57	19	5
		行%	100.0	9.2	53.7	26.1	8.7	2.3
	合計	度数	870	102	392	250	111	15
		行%	100.0	11.7	45.1	28.7	12.8	1.7
合計	30歳～34歳	度数	439	46	163	131	92	7
		行%	100.0	10.5	37.1	29.8	21.0	1.6
	35歳～39歳	度数	427	58	193	109	63	4
		行%	100.0	13.6	45.2	25.5	14.8	.9
	40歳～44歳	度数	423	57	185	118	54	9
		行%	100.0	13.5	43.7	27.9	12.8	2.1
	45歳～49歳	度数	435	44	224	116	42	9
		行%	100.0	10.1	51.5	26.7	9.7	2.1
	合計	度数	1724	205	765	474	251	29
		行%	100.0	11.9	44.4	27.5	14.6	1.7

Q9-1. どのような内容の学習をしたいですか。次の1)～11)について、それぞれについて、あてはまるものをお選びください【3)政治・経済・環境・国際など時事的・社会的な問題】

			合計	ぜひしたい	できればしたい	あまりしたくない	全然したくない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	221	34	95	54	37	1
		行%	100.0	15.4	43.0	24.4	16.7	.5
	35歳～39歳	度数	209	32	91	60	25	1
		行%	100.0	15.3	43.5	28.7	12.0	.5
	40歳～44歳	度数	207	20	76	75	33	3
		行%	100.0	9.7	36.7	36.2	15.9	1.4
	45歳～49歳	度数	217	22	93	72	28	2
		行%	100.0	10.1	42.9	33.2	12.9	.9
	合計	度数	854	108	355	261	123	7
		行%	100.0	12.6	41.6	30.6	14.4	.8
女性	30歳～34歳	度数	218	16	58	84	56	4
		行%	100.0	7.3	26.6	38.5	25.7	1.8
	35歳～39歳	度数	218	12	80	83	42	1
		行%	100.0	5.5	36.7	38.1	19.3	.5
	40歳～44歳	度数	216	10	67	87	48	4
		行%	100.0	4.6	31.0	40.3	22.2	1.9
	45歳～49歳	度数	218	9	75	93	36	5
		行%	100.0	4.1	34.4	42.7	16.5	2.3
	合計	度数	870	47	280	347	182	14
		行%	100.0	5.4	32.2	39.9	20.9	1.6
合計	30歳～34歳	度数	439	50	153	138	93	5
		行%	100.0	11.4	34.9	31.4	21.2	1.1
	35歳～39歳	度数	427	44	171	143	67	2
		行%	100.0	10.3	40.0	33.5	15.7	.5
	40歳～44歳	度数	423	30	143	162	81	7
		行%	100.0	7.1	33.8	38.3	19.1	1.7
	45歳～49歳	度数	435	31	168	165	64	7
		行%	100.0	7.1	38.6	37.9	14.7	1.6
	合計	度数	1724	155	635	608	305	21
		行%	100.0	9.0	36.8	35.3	17.7	1.2

Q9-1. どのような内容の学習をしたいと思いますか。次の1)～11)について、それぞれについて、あてはまるものをお選びください【4)体育・スポーツ・レクリエーション】

		合計	ぜひしたい	できればしたい	あまりしたくない	全然したくない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	221	61	104	39	14	3
		行%	100.0	27.6	47.1	17.6	6.3	1.4
	35歳～39歳	度数	209	57	110	31	11	
		行%	100.0	27.3	52.6	14.8	5.3	
	40歳～44歳	度数	207	52	99	39	14	3
		行%	100.0	25.1	47.8	18.8	6.8	1.4
	45歳～49歳	度数	217	66	105	39	5	2
		行%	100.0	30.4	48.4	18.0	2.3	.9
	合計	度数	854	236	418	148	44	8
		行%	100.0	27.6	48.9	17.3	5.2	.9
女性	30歳～34歳	度数	218	66	90	36	24	2
		行%	100.0	30.3	41.3	16.5	11.0	.9
	35歳～39歳	度数	218	57	94	46	19	2
		行%	100.0	26.1	43.1	21.1	8.7	.9
	40歳～44歳	度数	216	47	108	44	14	3
		行%	100.0	21.8	50.0	20.4	6.5	1.4
	45歳～49歳	度数	218	44	100	52	19	3
		行%	100.0	20.2	45.9	23.9	8.7	1.4
	合計	度数	870	214	392	178	76	10
		行%	100.0	24.6	45.1	20.5	8.7	1.1
合計	30歳～34歳	度数	439	127	194	75	38	5
		行%	100.0	28.9	44.2	17.1	8.7	1.1
	35歳～39歳	度数	427	114	204	77	30	2
		行%	100.0	26.7	47.8	18.0	7.0	.5
	40歳～44歳	度数	423	99	207	83	28	6
		行%	100.0	23.4	48.9	19.6	6.6	1.4
	45歳～49歳	度数	435	110	205	91	24	5
		行%	100.0	25.3	47.1	20.9	5.5	1.1
	合計	度数	1724	450	810	326	120	18
		行%	100.0	26.1	47.0	18.9	7.0	1.0

Q9-1. どのような内容の学習をしたいと思いますか。次の1)～11)について、それぞれについて、あてはまるものをお選びください【5)健康管理や病気の予防】

		合計	ぜひしたい	できればしたい	あまりしたくない	全然したくない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	221	47	120	41	10	3
		行%	100.0	21.3	54.3	18.6	4.5	1.4
	35歳～39歳	度数	209	36	118	38	17	
		行%	100.0	17.2	56.5	18.2	8.1	
	40歳～44歳	度数	207	41	119	37	8	2
		行%	100.0	19.8	57.5	17.9	3.9	1.0
	45歳～49歳	度数	217	53	118	33	8	5
		行%	100.0	24.4	54.4	15.2	3.7	2.3
	合計	度数	854	177	475	149	43	10
		行%	100.0	20.7	55.6	17.4	5.0	1.2
女性	30歳～34歳	度数	218	58	120	31	6	3
		行%	100.0	26.6	55.0	14.2	2.8	1.4
	35歳～39歳	度数	218	57	120	32	8	1
		行%	100.0	26.1	55.0	14.7	3.7	.5
	40歳～44歳	度数	216	62	129	21	2	2
		行%	100.0	28.7	59.7	9.7	.9	.9
	45歳～49歳	度数	218	51	137	22	3	5
		行%	100.0	23.4	62.8	10.1	1.4	2.3
	合計	度数	870	228	506	106	19	11
		行%	100.0	26.2	58.2	12.2	2.2	1.3
合計	30歳～34歳	度数	439	105	240	72	16	6
		行%	100.0	23.9	54.7	16.4	3.6	1.4
	35歳～39歳	度数	427	93	238	70	25	1
		行%	100.0	21.8	55.7	16.4	5.9	.2
	40歳～44歳	度数	423	103	248	58	10	4
		行%	100.0	24.3	58.6	13.7	2.4	.9
	45歳～49歳	度数	435	104	255	55	11	10
		行%	100.0	23.9	58.6	12.6	2.5	2.3
	合計	度数	1724	405	981	255	62	21
		行%	100.0	23.5	56.9	14.8	3.6	1.2

Q9-1. どのような内容の学習をしたいと思いますか。次の1)～11)について、それぞれについて、あてはまるものをお選びください【6)家庭生活に必要な知識や技能】

			合計	ぜひしたい	できれば したい	あまりした くない	全然した くない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	221	31	113	55	17	5
		行%	100.0	14.0	51.1	24.9	7.7	2.3
	35歳～39歳	度数	209	17	113	62	16	1
		行%	100.0	8.1	54.1	29.7	7.7	.5
	40歳～44歳	度数	207	14	99	72	20	2
		行%	100.0	6.8	47.8	34.8	9.7	1.0
	45歳～49歳	度数	217	14	110	77	12	4
		行%	100.0	6.5	50.7	35.5	5.5	1.8
	合計	度数	854	76	435	266	65	12
		行%	100.0	8.9	50.9	31.1	7.6	1.4
女性	30歳～34歳	度数	218	65	113	26	12	2
		行%	100.0	29.8	51.8	11.9	5.5	.9
	35歳～39歳	度数	218	54	120	33	9	2
		行%	100.0	24.8	55.0	15.1	4.1	.9
	40歳～44歳	度数	216	46	111	47	7	5
		行%	100.0	21.3	51.4	21.8	3.2	2.3
	45歳～49歳	度数	218	31	121	46	16	4
		行%	100.0	14.2	55.5	21.1	7.3	1.8
	合計	度数	870	196	465	152	44	13
		行%	100.0	22.5	53.4	17.5	5.1	1.5
合計	30歳～34歳	度数	439	96	226	81	29	7
		行%	100.0	21.9	51.5	18.5	6.6	1.6
	35歳～39歳	度数	427	71	233	95	25	3
		行%	100.0	16.6	54.6	22.2	5.9	.7
	40歳～44歳	度数	423	60	210	119	27	7
		行%	100.0	14.2	49.6	28.1	6.4	1.7
	45歳～49歳	度数	435	45	231	123	28	8
		行%	100.0	10.3	53.1	28.3	6.4	1.8
	合計	度数	1724	272	900	418	109	25
		行%	100.0	15.8	52.2	24.2	6.3	1.5

Q9-1. どのような内容の学習をしたいと思いますか。次の1)～11)について、それぞれについて、あてはまるものをお選びください【7)子どもの教育や育児】

			合計	ぜひしたい	できれば したい	あまりした くない	全然した くない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	221	39	105	44	30	3
		行%	100.0	17.6	47.5	19.9	13.6	1.4
	35歳～39歳	度数	209	27	93	56	33	
		行%	100.0	12.9	44.5	26.8	15.8	
	40歳～44歳	度数	207	16	85	75	29	2
		行%	100.0	7.7	41.1	36.2	14.0	1.0
	45歳～49歳	度数	217	14	72	87	39	5
		行%	100.0	6.5	33.2	40.1	18.0	2.3
	合計	度数	854	96	355	262	131	10
		行%	100.0	11.2	41.6	30.7	15.3	1.2
女性	30歳～34歳	度数	218	65	94	27	29	3
		行%	100.0	29.8	43.1	12.4	13.3	1.4
	35歳～39歳	度数	218	55	88	37	37	1
		行%	100.0	25.2	40.4	17.0	17.0	.5
	40歳～44歳	度数	216	29	86	51	45	5
		行%	100.0	13.4	39.8	23.6	20.8	2.3
	45歳～49歳	度数	218	22	75	76	40	5
		行%	100.0	10.1	34.4	34.9	18.3	2.3
	合計	度数	870	171	343	191	151	14
		行%	100.0	19.7	39.4	22.0	17.4	1.6
合計	30歳～34歳	度数	439	104	199	71	59	6
		行%	100.0	23.7	45.3	16.2	13.4	1.4
	35歳～39歳	度数	427	82	181	93	70	1
		行%	100.0	19.2	42.4	21.8	16.4	.2
	40歳～44歳	度数	423	45	171	126	74	7
		行%	100.0	10.6	40.4	29.8	17.5	1.7
	45歳～49歳	度数	435	36	147	163	79	10
		行%	100.0	8.3	33.8	37.5	18.2	2.3
	合計	度数	1724	267	698	453	282	24
		行%	100.0	15.5	40.5	26.3	16.4	1.4

Q9-1. どのような内容の学習をしたいと思いますか。次の1)～11)について、それぞれについて、あてはまるものをお選びください【8】ボランティアや地域・社会的な活動】

			合計	ぜひしたい	できればしたい	あまりしたくない	全然したくない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	221	15	72	86	43	5
		行%	100.0	6.8	32.6	38.9	19.5	2.3
	35歳～39歳	度数	209	21	79	74	35	
		行%	100.0	10.0	37.8	35.4	16.7	
	40歳～44歳	度数	207	16	81	79	28	3
		行%	100.0	7.7	39.1	38.2	13.5	1.4
	45歳～49歳	度数	217	7	91	91	25	3
		行%	100.0	3.2	41.9	41.9	11.5	1.4
	合計	度数	854	59	323	330	131	11
		行%	100.0	6.9	37.8	38.6	15.3	1.3
女性	30歳～34歳	度数	218	16	78	83	37	4
		行%	100.0	7.3	35.8	38.1	17.0	1.8
	35歳～39歳	度数	218	13	102	75	28	
		行%	100.0	6.0	46.8	34.4	12.8	
	40歳～44歳	度数	216	16	89	73	31	7
		行%	100.0	7.4	41.2	33.8	14.4	3.2
	45歳～49歳	度数	218	26	98	75	14	5
		行%	100.0	11.9	45.0	34.4	6.4	2.3
	合計	度数	870	71	367	306	110	16
		行%	100.0	8.2	42.2	35.2	12.6	1.8
合計	30歳～34歳	度数	439	31	150	169	80	9
		行%	100.0	7.1	34.2	38.5	18.2	2.1
	35歳～39歳	度数	427	34	181	149	63	
		行%	100.0	8.0	42.4	34.9	14.8	
	40歳～44歳	度数	423	32	170	152	59	10
		行%	100.0	7.6	40.2	35.9	13.9	2.4
	45歳～49歳	度数	435	33	189	166	39	8
		行%	100.0	7.6	43.4	38.2	9.0	1.8
	合計	度数	1724	130	690	636	241	27
		行%	100.0	7.5	40.0	36.9	14.0	1.6

Q9-1. どのような内容の学習をしたいと思いますか。次の1)～11)について、それぞれについて、あてはまるものをお選びください【9】コンピュータに関する知識や技能】

			合計	ぜひしたい	できればしたい	あまりしたくない	全然したくない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	221	107	84	21	5	4
		行%	100.0	48.4	38.0	9.5	2.3	1.8
	35歳～39歳	度数	209	80	94	27	6	2
		行%	100.0	38.3	45.0	12.9	2.9	1.0
	40歳～44歳	度数	207	73	104	20	7	3
		行%	100.0	35.3	50.2	9.7	3.4	1.4
	45歳～49歳	度数	217	71	123	20		3
		行%	100.0	32.7	56.7	9.2		1.4
	合計	度数	854	331	405	88	18	12
		行%	100.0	38.8	47.4	10.3	2.1	1.4
女性	30歳～34歳	度数	218	87	89	32	8	2
		行%	100.0	39.9	40.8	14.7	3.7	.9
	35歳～39歳	度数	218	69	114	24	9	2
		行%	100.0	31.7	52.3	11.0	4.1	.9
	40歳～44歳	度数	216	83	112	14	3	4
		行%	100.0	38.4	51.9	6.5	1.4	1.9
	45歳～49歳	度数	218	67	121	23	3	4
		行%	100.0	30.7	55.5	10.6	1.4	1.8
	合計	度数	870	306	436	93	23	12
		行%	100.0	35.2	50.1	10.7	2.6	1.4
合計	30歳～34歳	度数	439	194	173	53	13	6
		行%	100.0	44.2	39.4	12.1	3.0	1.4
	35歳～39歳	度数	427	149	208	51	15	4
		行%	100.0	34.9	48.7	11.9	3.5	.9
	40歳～44歳	度数	423	156	216	34	10	7
		行%	100.0	36.9	51.1	8.0	2.4	1.7
	45歳～49歳	度数	435	138	244	43	3	7
		行%	100.0	31.7	56.1	9.9	.7	1.6
	合計	度数	1724	637	841	181	41	24
		行%	100.0	36.9	48.8	10.5	2.4	1.4

Q9-1. どのような内容の学習をしたいと思いますか。次の1)～11)について、それぞれについて、あてはまるものをお選びください【10)英会話やその他の外国語】

			合計	ぜひしたい	できればしたい	あまりしたくない	全然したくない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	221	76	96	33	12	4
		行%	100.0	34.4	43.4	14.9	5.4	1.8
	35歳～39歳	度数	209	68	88	39	12	2
		行%	100.0	32.5	42.1	18.7	5.7	1.0
	40歳～44歳	度数	207	52	97	41	17	
		行%	100.0	25.1	46.9	19.8	8.2	
	45歳～49歳	度数	217	47	93	52	21	4
		行%	100.0	21.7	42.9	24.0	9.7	1.8
	合計	度数	854	243	374	165	62	10
		行%	100.0	28.5	43.8	19.3	7.3	1.2
女性	30歳～34歳	度数	218	73	88	39	16	2
		行%	100.0	33.5	40.4	17.9	7.3	.9
	35歳～39歳	度数	218	65	87	37	26	3
		行%	100.0	29.8	39.9	17.0	11.9	1.4
	40歳～44歳	度数	216	60	103	42	10	1
		行%	100.0	27.8	47.7	19.4	4.6	.5
	45歳～49歳	度数	218	59	105	43	9	2
		行%	100.0	27.1	48.2	19.7	4.1	.9
	合計	度数	870	257	383	161	61	8
		行%	100.0	29.5	44.0	18.5	7.0	.9
合計	30歳～34歳	度数	439	149	184	72	28	6
		行%	100.0	33.9	41.9	16.4	6.4	1.4
	35歳～39歳	度数	427	133	175	76	38	5
		行%	100.0	31.1	41.0	17.8	8.9	1.2
	40歳～44歳	度数	423	112	200	83	27	1
		行%	100.0	26.5	47.3	19.6	6.4	.2
	45歳～49歳	度数	435	106	198	95	30	6
		行%	100.0	24.4	45.5	21.8	6.9	1.4
	合計	度数	1724	500	757	326	123	18
		行%	100.0	29.0	43.9	18.9	7.1	1.0

Q9-1. どのような内容の学習をしたいと思いますか。次の1)～11)について、それぞれについて、あてはまるものをお選びください【11)職業上の知識や技能】

			合計	ぜひしたい	できればしたい	あまりしたくない	全然したくない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	221	101	100	11	5	4
		行%	100.0	45.7	45.2	5.0	2.3	1.8
	35歳～39歳	度数	209	82	96	22	7	2
		行%	100.0	39.2	45.9	10.5	3.3	1.0
	40歳～44歳	度数	207	52	119	23	8	5
		行%	100.0	25.1	57.5	11.1	3.9	2.4
	45歳～49歳	度数	217	54	119	32	7	5
		行%	100.0	24.9	54.8	14.7	3.2	2.3
	合計	度数	854	289	434	88	27	16
		行%	100.0	33.8	50.8	10.3	3.2	1.9
女性	30歳～34歳	度数	218	66	104	37	7	4
		行%	100.0	30.3	47.7	17.0	3.2	1.8
	35歳～39歳	度数	218	54	118	31	12	3
		行%	100.0	24.8	54.1	14.2	5.5	1.4
	40歳～44歳	度数	216	54	116	32	9	5
		行%	100.0	25.0	53.7	14.8	4.2	2.3
	45歳～49歳	度数	218	43	103	55	9	8
		行%	100.0	19.7	47.2	25.2	4.1	3.7
	合計	度数	870	217	441	155	37	20
		行%	100.0	24.9	50.7	17.8	4.3	2.3
合計	30歳～34歳	度数	439	167	204	48	12	8
		行%	100.0	38.0	46.5	10.9	2.7	1.8
	35歳～39歳	度数	427	136	214	53	19	5
		行%	100.0	31.9	50.1	12.4	4.4	1.2
	40歳～44歳	度数	423	106	235	55	17	10
		行%	100.0	25.1	55.6	13.0	4.0	2.4
	45歳～49歳	度数	435	97	222	87	16	13
		行%	100.0	22.3	51.0	20.0	3.7	3.0
	合計	度数	1724	506	875	243	64	36
		行%	100.0	29.4	50.8	14.1	3.7	2.1

Q10. あなたは、つぎのことに満足していますか、それとも不満がありますか。次の1)～12)について、あてはまるものをお選びください【1)いまの収入(世帯全体)】

		合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	20	64	96	74	
		行%	100.0	7.9	25.2	37.8	29.1	
	35歳～39歳	度数	253	14	78	94	67	
		行%	100.0	5.5	30.8	37.2	26.5	
	40歳～44歳	度数	253	15	67	87	83	1
		行%	100.0	5.9	26.5	34.4	32.8	.4
	45歳～49歳	度数	253	14	87	82	70	
		行%	100.0	5.5	34.4	32.4	27.7	
	合計	度数	1013	63	296	359	294	1
		行%	100.0	6.2	29.2	35.4	29.0	.1
女性	30歳～34歳	度数	252	20	85	97	49	1
		行%	100.0	7.9	33.7	38.5	19.4	.4
	35歳～39歳	度数	252	19	80	82	71	
		行%	100.0	7.5	31.7	32.5	28.2	
	40歳～44歳	度数	252	24	96	81	51	
		行%	100.0	9.5	38.1	32.1	20.2	
	45歳～49歳	度数	252	16	88	105	43	
		行%	100.0	6.3	34.9	41.7	17.1	
	合計	度数	1008	79	349	365	214	1
		行%	100.0	7.8	34.6	36.2	21.2	.1
合計	30歳～34歳	度数	506	40	149	193	123	1
		行%	100.0	7.9	29.4	38.1	24.3	.2
	35歳～39歳	度数	505	33	158	176	138	
		行%	100.0	6.5	31.3	34.9	27.3	
	40歳～44歳	度数	505	39	163	168	134	1
		行%	100.0	7.7	32.3	33.3	26.5	.2
	45歳～49歳	度数	505	30	175	187	113	
		行%	100.0	5.9	34.7	37.0	22.4	
	合計	度数	2021	142	645	724	508	2
		行%	100.0	7.0	31.9	35.8	25.1	.1

Q10. あなたは、つぎのことに満足していますか、それとも不満がありますか。次の1)～12)について、あてはまるものをお選びください【2)住んでいる住宅】

		合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	48	89	82	35	
		行%	100.0	18.9	35.0	32.3	13.8	
	35歳～39歳	度数	253	44	87	86	35	1
		行%	100.0	17.4	34.4	34.0	13.8	.4
	40歳～44歳	度数	253	36	106	74	36	1
		行%	100.0	14.2	41.9	29.2	14.2	.4
	45歳～49歳	度数	253	31	113	85	24	
		行%	100.0	12.3	44.7	33.6	9.5	
	合計	度数	1013	159	395	327	130	2
		行%	100.0	15.7	39.0	32.3	12.8	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	50	86	70	44	2
		行%	100.0	19.8	34.1	27.8	17.5	.8
	35歳～39歳	度数	252	40	96	77	39	
		行%	100.0	15.9	38.1	30.6	15.5	
	40歳～44歳	度数	252	40	105	71	35	1
		行%	100.0	15.9	41.7	28.2	13.9	.4
	45歳～49歳	度数	252	33	103	87	28	1
		行%	100.0	13.1	40.9	34.5	11.1	.4
	合計	度数	1008	163	390	305	146	4
		行%	100.0	16.2	38.7	30.3	14.5	.4
合計	30歳～34歳	度数	506	98	175	152	79	2
		行%	100.0	19.4	34.6	30.0	15.6	.4
	35歳～39歳	度数	505	84	183	163	74	1
		行%	100.0	16.6	36.2	32.3	14.7	.2
	40歳～44歳	度数	505	76	211	145	71	2
		行%	100.0	15.0	41.8	28.7	14.1	.4
	45歳～49歳	度数	505	64	216	172	52	1
		行%	100.0	12.7	42.8	34.1	10.3	.2
	合計	度数	2021	322	785	632	276	6
		行%	100.0	15.9	38.8	31.3	13.7	.3

Q10. あなたは、つぎのことに満足していますか、それとも不満がありますか。次の1)～12)について、あてはまるものをお選びください【3】家庭生活】

			合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	69	113	54	17	1	
		行%	100.0	27.2	44.5	21.3	6.7	.4	
	35歳～39歳	度数	253	58	115	63	17		
		行%	100.0	22.9	45.5	24.9	6.7		
	40歳～44歳	度数	253	55	115	57	25	1	
		行%	100.0	21.7	45.5	22.5	9.9	.4	
	45歳～49歳	度数	253	56	131	49	17		
		行%	100.0	22.1	51.8	19.4	6.7		
	合計	度数	1013	238	474	223	76	2	
		行%	100.0	23.5	46.8	22.0	7.5	.2	
	女性	30歳～34歳	度数	252	80	123	37	11	1
			行%	100.0	31.7	48.8	14.7	4.4	.4
35歳～39歳		度数	252	68	106	61	16	1	
		行%	100.0	27.0	42.1	24.2	6.3	.4	
40歳～44歳		度数	252	54	124	58	15	1	
		行%	100.0	21.4	49.2	23.0	6.0	.4	
45歳～49歳		度数	252	57	148	37	10		
		行%	100.0	22.6	58.7	14.7	4.0		
合計		度数	1008	259	501	193	52	3	
		行%	100.0	25.7	49.7	19.1	5.2	.3	
合計		30歳～34歳	度数	506	149	236	91	28	2
			行%	100.0	29.4	46.6	18.0	5.5	.4
	35歳～39歳	度数	505	126	221	124	33	1	
		行%	100.0	25.0	43.8	24.6	6.5	.2	
	40歳～44歳	度数	505	109	239	115	40	2	
		行%	100.0	21.6	47.3	22.8	7.9	.4	
	45歳～49歳	度数	505	113	279	86	27		
		行%	100.0	22.4	55.2	17.0	5.3		
	合計	度数	2021	497	975	416	128	5	
		行%	100.0	24.6	48.2	20.6	6.3	.2	

Q10. あなたは、つぎのことに満足していますか、それとも不満がありますか。次の1)～12)について、あてはまるものをお選びください【4】住居のまわりの自然環境】

			合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	50	125	64	15		
		行%	100.0	19.7	49.2	25.2	5.9		
	35歳～39歳	度数	253	41	127	63	22		
		行%	100.0	16.2	50.2	24.9	8.7		
	40歳～44歳	度数	253	40	126	65	21	1	
		行%	100.0	15.8	49.8	25.7	8.3	.4	
	45歳～49歳	度数	253	36	146	55	16		
		行%	100.0	14.2	57.7	21.7	6.3		
	合計	度数	1013	167	524	247	74	1	
		行%	100.0	16.5	51.7	24.4	7.3	.1	
	女性	30歳～34歳	度数	252	59	131	48	13	1
			行%	100.0	23.4	52.0	19.0	5.2	.4
35歳～39歳		度数	252	48	130	53	21		
		行%	100.0	19.0	51.6	21.0	8.3		
40歳～44歳		度数	252	54	128	49	21		
		行%	100.0	21.4	50.8	19.4	8.3		
45歳～49歳		度数	252	50	134	50	18		
		行%	100.0	19.8	53.2	19.8	7.1		
合計		度数	1008	211	523	200	73	1	
		行%	100.0	20.9	51.9	19.8	7.2	.1	
合計		30歳～34歳	度数	506	109	256	112	28	1
			行%	100.0	21.5	50.6	22.1	5.5	.2
	35歳～39歳	度数	505	89	257	116	43		
		行%	100.0	17.6	50.9	23.0	8.5		
	40歳～44歳	度数	505	94	254	114	42	1	
		行%	100.0	18.6	50.3	22.6	8.3	.2	
	45歳～49歳	度数	505	86	280	105	34		
		行%	100.0	17.0	55.4	20.8	6.7		
	合計	度数	2021	378	1047	447	147	2	
		行%	100.0	18.7	51.8	22.1	7.3	.1	

Q10. あなたは、つぎのことに満足していますか、それとも不満がありますか。次の1)～12)について、あてはまるものをお選びください【5)地域の社会施設(学校、図書館、公民館等)】

			合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	29	133	69	22	1
		行%	100.0	11.4	52.4	27.2	8.7	.4
	35歳～39歳	度数	253	29	117	79	28	
		行%	100.0	11.5	46.2	31.2	11.1	
	40歳～44歳	度数	253	20	118	93	21	1
		行%	100.0	7.9	46.6	36.8	8.3	.4
	45歳～49歳	度数	253	27	143	65	18	
		行%	100.0	10.7	56.5	25.7	7.1	
	合計	度数	1013	105	511	306	89	2
		行%	100.0	10.4	50.4	30.2	8.8	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	42	121	69	19	1
		行%	100.0	16.7	48.0	27.4	7.5	.4
	35歳～39歳	度数	252	37	130	70	15	
		行%	100.0	14.7	51.6	27.8	6.0	
	40歳～44歳	度数	252	39	132	64	17	
		行%	100.0	15.5	52.4	25.4	6.7	
	45歳～49歳	度数	252	34	127	71	20	
		行%	100.0	13.5	50.4	28.2	7.9	
	合計	度数	1008	152	510	274	71	1
		行%	100.0	15.1	50.6	27.2	7.0	.1
合計	30歳～34歳	度数	506	71	254	138	41	2
		行%	100.0	14.0	50.2	27.3	8.1	.4
	35歳～39歳	度数	505	66	247	149	43	
		行%	100.0	13.1	48.9	29.5	8.5	
	40歳～44歳	度数	505	59	250	157	38	1
		行%	100.0	11.7	49.5	31.1	7.5	.2
	45歳～49歳	度数	505	61	270	136	38	
		行%	100.0	12.1	53.5	26.9	7.5	
	合計	度数	2021	257	1021	580	160	3
		行%	100.0	12.7	50.5	28.7	7.9	.1

Q10. あなたは、つぎのことに満足していますか、それとも不満がありますか。次の1)～12)について、あてはまるものをお選びください【6)余暇(レジャー)】

			合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	30	116	75	32	1
		行%	100.0	11.8	45.7	29.5	12.6	.4
	35歳～39歳	度数	253	23	108	88	32	2
		行%	100.0	9.1	42.7	34.8	12.6	.8
	40歳～44歳	度数	253	17	113	91	31	1
		行%	100.0	6.7	44.7	36.0	12.3	.4
	45歳～49歳	度数	253	17	115	104	17	
		行%	100.0	6.7	45.5	41.1	6.7	
	合計	度数	1013	87	452	358	112	4
		行%	100.0	8.6	44.6	35.3	11.1	.4
女性	30歳～34歳	度数	252	32	122	79	18	1
		行%	100.0	12.7	48.4	31.3	7.1	.4
	35歳～39歳	度数	252	35	111	85	21	
		行%	100.0	13.9	44.0	33.7	8.3	
	40歳～44歳	度数	252	22	127	86	17	
		行%	100.0	8.7	50.4	34.1	6.7	
	45歳～49歳	度数	252	22	122	97	11	
		行%	100.0	8.7	48.4	38.5	4.4	
	合計	度数	1008	111	482	347	67	1
		行%	100.0	11.0	47.8	34.4	6.6	.1
合計	30歳～34歳	度数	506	62	238	154	50	2
		行%	100.0	12.3	47.0	30.4	9.9	.4
	35歳～39歳	度数	505	58	219	173	53	2
		行%	100.0	11.5	43.4	34.3	10.5	.4
	40歳～44歳	度数	505	39	240	177	48	1
		行%	100.0	7.7	47.5	35.0	9.5	.2
	45歳～49歳	度数	505	39	237	201	28	
		行%	100.0	7.7	46.9	39.8	5.5	
	合計	度数	2021	198	934	705	179	5
		行%	100.0	9.8	46.2	34.9	8.9	.2

Q10. あなたは、つぎのことに満足していますか、それとも不満がありますか。次の1)～12)について、あてはまるものをお選びください【7)自分のこれまで受けた教育】

			合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	29	121	83	21	
		行%	100.0	11.4	47.6	32.7	8.8	
	35歳～39歳	度数	253	33	122	78	20	
		行%	100.0	13.0	48.2	30.8	7.9	
	40歳～44歳	度数	253	36	119	76	20	2
		行%	100.0	14.2	47.0	30.0	7.9	.8
	45歳～49歳	度数	253	39	134	68	12	
		行%	100.0	15.4	53.0	26.9	4.7	
	合計	度数	1013	137	496	305	73	2
		行%	100.0	13.5	49.0	30.1	7.2	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	57	122	61	11	1
		行%	100.0	22.6	48.4	24.2	4.4	.4
	35歳～39歳	度数	252	36	125	74	17	
		行%	100.0	14.3	49.6	29.4	6.7	
	40歳～44歳	度数	252	43	117	73	19	
		行%	100.0	17.1	46.4	29.0	7.5	
	45歳～49歳	度数	252	59	111	70	11	1
		行%	100.0	23.4	44.0	27.8	4.4	.4
	合計	度数	1008	195	475	278	58	2
		行%	100.0	19.3	47.1	27.6	5.8	.2
合計	30歳～34歳	度数	506	86	243	144	32	1
		行%	100.0	17.0	48.0	28.5	6.3	.2
	35歳～39歳	度数	505	69	247	152	37	
		行%	100.0	13.7	48.9	30.1	7.3	
	40歳～44歳	度数	505	79	236	149	39	2
		行%	100.0	15.6	46.7	29.5	7.7	.4
	45歳～49歳	度数	505	98	245	138	23	1
		行%	100.0	19.4	48.5	27.3	4.6	.2
	合計	度数	2021	332	971	583	131	4
		行%	100.0	16.4	48.0	28.8	6.5	.2

Q10. あなたは、つぎのことに満足していますか、それとも不満がありますか。次の1)～12)について、あてはまるものをお選びください【8)健康】

			合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	36	130	74	13	1
		行%	100.0	14.2	51.2	29.1	5.1	.4
	35歳～39歳	度数	253	27	119	89	16	2
		行%	100.0	10.7	47.0	35.2	6.3	.8
	40歳～44歳	度数	253	23	123	82	24	1
		行%	100.0	9.1	48.6	32.4	9.5	.4
	45歳～49歳	度数	253	32	129	75	17	
		行%	100.0	12.6	51.0	29.6	6.7	
	合計	度数	1013	118	501	320	70	4
		行%	100.0	11.6	49.5	31.6	6.9	.4
女性	30歳～34歳	度数	252	56	127	54	13	2
		行%	100.0	22.2	50.4	21.4	5.2	.8
	35歳～39歳	度数	252	36	137	64	15	
		行%	100.0	14.3	54.4	25.4	6.0	
	40歳～44歳	度数	252	30	130	71	21	
		行%	100.0	11.9	51.6	28.2	8.3	
	45歳～49歳	度数	252	33	131	72	16	
		行%	100.0	13.1	52.0	28.6	6.3	
	合計	度数	1008	155	525	261	65	2
		行%	100.0	15.4	52.1	25.9	6.4	.2
合計	30歳～34歳	度数	506	92	257	128	26	3
		行%	100.0	18.2	50.8	25.3	5.1	.6
	35歳～39歳	度数	505	63	256	153	31	2
		行%	100.0	12.5	50.7	30.3	6.1	.4
	40歳～44歳	度数	505	53	253	153	45	1
		行%	100.0	10.5	50.1	30.3	8.9	.2
	45歳～49歳	度数	505	65	260	147	33	
		行%	100.0	12.9	51.5	29.1	6.5	
	合計	度数	2021	273	1026	581	135	6
		行%	100.0	13.5	50.8	28.7	6.7	.3

Q10. あなたは、つぎのことに満足していますか、それとも不満がありますか。次の1)～12)について、あてはまるものをお選びください【9)暮らし向き】

			合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	26	143	68	17	
		行%	100.0	10.2	56.3	26.8	6.7	
	35歳～39歳	度数	253	18	140	76	18	1
		行%	100.0	7.1	55.3	30.0	7.1	.4
	40歳～44歳	度数	253	20	119	83	29	2
		行%	100.0	7.9	47.0	32.8	11.5	.8
	45歳～49歳	度数	253	13	138	82	20	
		行%	100.0	5.1	54.5	32.4	7.9	
	合計	度数	1013	77	540	309	84	3
		行%	100.0	7.6	53.3	30.5	8.3	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	47	143	50	10	2
		行%	100.0	18.7	56.7	19.8	4.0	.8
	35歳～39歳	度数	252	33	130	69	19	1
		行%	100.0	13.1	51.6	27.4	7.5	.4
	40歳～44歳	度数	252	30	148	47	27	
		行%	100.0	11.9	58.7	18.7	10.7	
	45歳～49歳	度数	252	27	136	75	14	
		行%	100.0	10.7	54.0	29.8	5.6	
	合計	度数	1008	137	557	241	70	3
		行%	100.0	13.6	55.3	23.9	6.9	.3
合計	30歳～34歳	度数	506	73	286	118	27	2
		行%	100.0	14.4	56.5	23.3	5.3	.4
	35歳～39歳	度数	505	51	270	145	37	2
		行%	100.0	10.1	53.5	28.7	7.3	.4
	40歳～44歳	度数	505	50	267	130	56	2
		行%	100.0	9.9	52.9	25.7	11.1	.4
	45歳～49歳	度数	505	40	274	157	34	
		行%	100.0	7.9	54.3	31.1	6.7	
	合計	度数	2021	214	1097	550	154	6
		行%	100.0	10.6	54.3	27.2	7.6	.3

Q10. あなたは、つぎのことに満足していますか、それとも不満がありますか。次の1)～12)について、あてはまるものをお選びください【10)現在の社会情勢】

			合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	8	47	105	93	1
		行%	100.0	3.1	18.5	41.3	36.6	.4
	35歳～39歳	度数	253	5	51	99	98	
		行%	100.0	2.0	20.2	39.1	38.7	
	40歳～44歳	度数	253	4	39	111	98	1
		行%	100.0	1.6	15.4	43.9	38.7	.4
	45歳～49歳	度数	253	1	54	115	82	1
		行%	100.0	.4	21.3	45.5	32.4	.4
	合計	度数	1013	18	191	430	371	3
		行%	100.0	1.8	18.9	42.4	36.6	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	6	42	118	84	2
		行%	100.0	2.4	16.7	46.8	33.3	.8
	35歳～39歳	度数	252	4	36	110	102	
		行%	100.0	1.6	14.3	43.7	40.5	
	40歳～44歳	度数	252	3	43	124	80	2
		行%	100.0	1.2	17.1	49.2	31.7	.8
	45歳～49歳	度数	252	4	34	132	82	
		行%	100.0	1.6	13.5	52.4	32.5	
	合計	度数	1008	17	155	484	348	4
		行%	100.0	1.7	15.4	48.0	34.5	.4
合計	30歳～34歳	度数	506	14	89	223	177	3
		行%	100.0	2.8	17.6	44.1	35.0	.6
	35歳～39歳	度数	505	9	87	209	200	
		行%	100.0	1.8	17.2	41.4	39.6	
	40歳～44歳	度数	505	7	82	235	178	3
		行%	100.0	1.4	16.2	46.5	35.2	.6
	45歳～49歳	度数	505	5	88	247	164	1
		行%	100.0	1.0	17.4	48.9	32.5	.2
	合計	度数	2021	35	346	914	719	7
		行%	100.0	1.7	17.1	45.2	35.6	.3

Q10. あなたは、つぎのことに満足していますか、それとも不満がありますか。次の1)～12)について、あてはまるものをお選びください【11)人間関係や人づきあい】

		合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	12	126	90	26	
		行%	100.0	4.7	49.6	35.4	10.2	
	35歳～39歳	度数	253	15	131	85	21	
		行%	100.0	5.9	51.8	33.6	8.3	
	40歳～44歳	度数	253	12	128	98	13	
		行%	100.0	4.7	50.6	38.7	5.1	
	45歳～49歳	度数	253	10	133	92	18	
		行%	100.0	4.0	52.6	36.4	7.1	
	合計	度数	1013	49	518	365	78	
		行%	100.0	4.8	51.1	36.0	7.7	
	女性	30歳～34歳	度数	252	26	135	80	9
			行%	100.0	10.3	53.6	31.7	3.6
35歳～39歳		度数	252	25	130	85	12	
		行%	100.0	9.9	51.6	33.7	4.8	
40歳～44歳		度数	252	15	148	72	16	
		行%	100.0	6.0	58.7	28.6	6.3	
45歳～49歳		度数	252	15	146	85	6	
		行%	100.0	6.0	57.9	33.7	2.4	
合計		度数	1008	81	559	322	43	
		行%	100.0	8.0	55.5	31.9	4.3	
合計		30歳～34歳	度数	506	38	261	170	35
			行%	100.0	7.5	51.6	33.6	6.9
	35歳～39歳	度数	505	40	261	170	33	
		行%	100.0	7.9	51.7	33.7	6.5	
	40歳～44歳	度数	505	27	276	170	29	
		行%	100.0	5.3	54.7	33.7	5.7	
	45歳～49歳	度数	505	25	279	177	24	
		行%	100.0	5.0	55.2	35.0	4.8	
	合計	度数	2021	130	1077	687	121	
		行%	100.0	6.4	53.3	34.0	6.0	

Q10. あなたは、つぎのことに満足していますか、それとも不満がありますか。次の1)～12)について、あてはまるものをお選びください【12)生活全体】

		合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	22	139	71	21	
		行%	100.0	8.7	54.7	28.0	8.3	
	35歳～39歳	度数	253	15	149	75	12	
		行%	100.0	5.9	58.9	29.6	4.7	
	40歳～44歳	度数	253	12	146	74	18	
		行%	100.0	4.7	57.7	29.2	7.1	
	45歳～49歳	度数	253	10	162	68	12	
		行%	100.0	4.0	64.0	26.9	4.7	
	合計	度数	1013	59	596	288	63	
		行%	100.0	5.8	58.8	28.4	6.2	
	女性	30歳～34歳	度数	252	36	159	49	7
			行%	100.0	14.3	63.1	19.4	2.8
35歳～39歳		度数	252	28	142	71	11	
		行%	100.0	11.1	56.3	28.2	4.4	
40歳～44歳		度数	252	27	164	52	9	
		行%	100.0	10.7	65.1	20.6	3.6	
45歳～49歳		度数	252	26	152	67	6	
		行%	100.0	10.3	60.3	26.6	2.4	
合計		度数	1008	117	617	239	33	
		行%	100.0	11.6	61.2	23.7	3.3	
合計		30歳～34歳	度数	506	58	298	120	28
			行%	100.0	11.5	58.9	23.7	5.5
	35歳～39歳	度数	505	43	291	146	23	
		行%	100.0	8.5	57.6	28.9	4.6	
	40歳～44歳	度数	505	39	310	126	27	
		行%	100.0	7.7	61.4	25.0	5.3	
	45歳～49歳	度数	505	36	314	135	18	
		行%	100.0	7.1	62.2	26.7	3.6	
	合計	度数	2021	176	1213	527	96	
		行%	100.0	8.7	60.0	26.1	4.8	

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【1)仕事は人生における生きがいである】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	28	90	110	26	
		行%	100.0	11.0	35.4	43.3	10.2	
	35歳～39歳	度数	253	10	89	117	37	
		行%	100.0	4.0	35.2	46.2	14.6	
	40歳～44歳	度数	253	18	94	109	31	1
		行%	100.0	7.1	37.2	43.1	12.3	.4
	45歳～49歳	度数	253	18	113	97	25	
		行%	100.0	7.1	44.7	38.3	9.9	
	合計	度数	1013	74	386	433	119	1
		行%	100.0	7.3	38.1	42.7	11.7	.1
女性	30歳～34歳	度数	252	24	99	110	19	
		行%	100.0	9.5	39.3	43.7	7.5	
	35歳～39歳	度数	252	18	97	123	14	
		行%	100.0	7.1	38.5	48.8	5.6	
	40歳～44歳	度数	252	16	117	105	14	
		行%	100.0	6.3	46.4	41.7	5.6	
	45歳～49歳	度数	252	16	126	98	12	
		行%	100.0	6.3	50.0	38.9	4.8	
	合計	度数	1008	74	439	436	59	
		行%	100.0	7.3	43.6	43.3	5.9	
合計	30歳～34歳	度数	506	52	189	220	45	
		行%	100.0	10.3	37.4	43.5	8.9	
	35歳～39歳	度数	505	28	186	240	51	
		行%	100.0	5.5	36.8	47.5	10.1	
	40歳～44歳	度数	505	34	211	214	45	1
		行%	100.0	6.7	41.8	42.4	8.9	.2
	45歳～49歳	度数	505	34	239	195	37	
		行%	100.0	6.7	47.3	38.6	7.3	
	合計	度数	2021	148	825	869	178	1
		行%	100.0	7.3	40.8	43.0	8.8	.0

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【2)たとえ、望む仕事につけなかったとしてもがまんして働くべきである】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	20	125	88	20	1
		行%	100.0	7.9	49.2	34.6	7.9	.4
	35歳～39歳	度数	253	12	131	87	23	
		行%	100.0	4.7	51.8	34.4	9.1	
	40歳～44歳	度数	253	16	153	69	13	2
		行%	100.0	6.3	60.5	27.3	5.1	.8
	45歳～49歳	度数	253	17	147	80	9	
		行%	100.0	6.7	58.1	31.6	3.6	
	合計	度数	1013	65	556	324	65	3
		行%	100.0	6.4	54.9	32.0	6.4	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	11	140	93	8	
		行%	100.0	4.4	55.6	36.9	3.2	
	35歳～39歳	度数	252	6	141	94	11	
		行%	100.0	2.4	56.0	37.3	4.4	
	40歳～44歳	度数	252	8	151	85	8	
		行%	100.0	3.2	59.9	33.7	3.2	
	45歳～49歳	度数	252	9	145	91	7	
		行%	100.0	3.6	57.5	36.1	2.8	
	合計	度数	1008	34	577	363	34	
		行%	100.0	3.4	57.2	36.0	3.4	
合計	30歳～34歳	度数	506	31	265	181	28	1
		行%	100.0	6.1	52.4	35.8	5.5	.2
	35歳～39歳	度数	505	18	272	181	34	
		行%	100.0	3.6	53.9	35.8	6.7	
	40歳～44歳	度数	505	24	304	154	21	2
		行%	100.0	4.8	60.2	30.5	4.2	.4
	45歳～49歳	度数	505	26	292	171	16	
		行%	100.0	5.1	57.8	33.9	3.2	
	合計	度数	2021	99	1133	687	99	3
		行%	100.0	4.9	56.1	34.0	4.9	.1

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【3)経済的に困らなければ、わざわざ望まない仕事に就く必要はない】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	59	116	69	10		
		行%	100.0	23.2	45.7	27.2	3.9		
	35歳～39歳	度数	253	51	139	57	6		
		行%	100.0	20.2	54.9	22.5	2.4		
	40歳～44歳	度数	253	58	135	55	4	1	
		行%	100.0	22.9	53.4	21.7	1.6	.4	
	45歳～49歳	度数	253	44	144	60	5		
		行%	100.0	17.4	56.9	23.7	2.0		
	合計	度数	1013	212	534	241	25	1	
		行%	100.0	20.9	52.7	23.8	2.5	.1	
	女性	30歳～34歳	度数	252	39	139	67	7	
			行%	100.0	15.5	55.2	26.6	2.8	
35歳～39歳		度数	252	43	143	62	4		
		行%	100.0	17.1	56.7	24.6	1.6		
40歳～44歳		度数	252	40	133	72	7		
		行%	100.0	15.9	52.8	28.6	2.8		
45歳～49歳		度数	252	35	146	66	5		
		行%	100.0	13.9	57.9	26.2	2.0		
合計		度数	1008	157	561	267	23		
		行%	100.0	15.6	55.7	26.5	2.3		
合計		30歳～34歳	度数	506	98	255	136	17	
			行%	100.0	19.4	50.4	26.9	3.4	
	35歳～39歳	度数	505	94	282	119	10		
		行%	100.0	18.6	55.8	23.6	2.0		
	40歳～44歳	度数	505	98	268	127	11	1	
		行%	100.0	19.4	53.1	25.1	2.2	.2	
	45歳～49歳	度数	505	79	290	126	10		
		行%	100.0	15.6	57.4	25.0	2.0		
	合計	度数	2021	369	1095	508	48	1	
		行%	100.0	18.3	54.2	25.1	2.4	.0	

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【4)就職は有力なコネで決まる】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	25	93	105	30	1	
		行%	100.0	9.8	36.6	41.3	11.8	.4	
	35歳～39歳	度数	253	22	81	120	29	1	
		行%	100.0	8.7	32.0	47.4	11.5	.4	
	40歳～44歳	度数	253	32	82	111	27	1	
		行%	100.0	12.6	32.4	43.9	10.7	.4	
	45歳～49歳	度数	253	17	82	128	25	1	
		行%	100.0	6.7	32.4	50.6	9.9	.4	
	合計	度数	1013	96	338	464	111	4	
		行%	100.0	9.5	33.4	45.8	11.0	.4	
	女性	30歳～34歳	度数	252	10	104	112	26	
			行%	100.0	4.0	41.3	44.4	10.3	
35歳～39歳		度数	252	18	79	124	31		
		行%	100.0	7.1	31.3	49.2	12.3		
40歳～44歳		度数	252	21	105	111	13	2	
		行%	100.0	8.3	41.7	44.0	5.2	.8	
45歳～49歳		度数	252	14	106	112	19	1	
		行%	100.0	5.6	42.1	44.4	7.5	.4	
合計		度数	1008	63	394	459	89	3	
		行%	100.0	6.3	39.1	45.5	8.8	.3	
合計		30歳～34歳	度数	506	35	197	217	56	1
			行%	100.0	6.9	38.9	42.9	11.1	.2
	35歳～39歳	度数	505	40	160	244	60	1	
		行%	100.0	7.9	31.7	48.3	11.9	.2	
	40歳～44歳	度数	505	53	187	222	40	3	
		行%	100.0	10.5	37.0	44.0	7.9	.6	
	45歳～49歳	度数	505	31	188	240	44	2	
		行%	100.0	6.1	37.2	47.5	8.7	.4	
	合計	度数	2021	159	732	923	200	7	
		行%	100.0	7.9	36.2	45.7	9.9	.3	

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【5)キャリアアップのための転職は当然である】

		合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	47	139	60	8	
		行%	100.0	18.5	54.7	23.6	3.1	
	35歳～39歳	度数	253	31	136	80	6	
		行%	100.0	12.3	53.8	31.6	2.4	
	40歳～44歳	度数	253	30	142	74	6	1
		行%	100.0	11.9	56.1	29.2	2.4	.4
	45歳～49歳	度数	253	19	126	103	3	2
		行%	100.0	7.5	49.8	40.7	1.2	.8
	合計	度数	1013	127	543	317	23	3
		行%	100.0	12.5	53.6	31.3	2.3	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	36	152	59	5	
		行%	100.0	14.3	60.3	23.4	2.0	
	35歳～39歳	度数	252	33	157	57	3	2
		行%	100.0	13.1	62.3	22.6	1.2	.8
	40歳～44歳	度数	252	24	158	66	3	1
		行%	100.0	9.5	62.7	26.2	1.2	.4
	45歳～49歳	度数	252	27	157	64	4	
		行%	100.0	10.7	62.3	25.4	1.6	
	合計	度数	1008	120	624	246	15	3
		行%	100.0	11.9	61.9	24.4	1.5	.3
合計	30歳～34歳	度数	506	83	291	119	13	
		行%	100.0	16.4	57.5	23.5	2.6	
	35歳～39歳	度数	505	64	293	137	9	2
		行%	100.0	12.7	58.0	27.1	1.8	.4
	40歳～44歳	度数	505	54	300	140	9	2
		行%	100.0	10.7	59.4	27.7	1.8	.4
	45歳～49歳	度数	505	46	283	167	7	2
		行%	100.0	9.1	56.0	33.1	1.4	.4
	合計	度数	2021	247	1167	563	38	6
		行%	100.0	12.2	57.7	27.9	1.9	.3

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【6)仕事のやりがいよりも職場が安定している方が大事である】

		合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	19	101	117	15	2
		行%	100.0	7.5	39.8	46.1	5.9	.8
	35歳～39歳	度数	253	12	106	120	15	
		行%	100.0	4.7	41.9	47.4	5.9	
	40歳～44歳	度数	253	10	102	131	9	1
		行%	100.0	4.0	40.3	51.8	3.6	.4
	45歳～49歳	度数	253	15	105	122	11	
		行%	100.0	5.9	41.5	48.2	4.3	
	合計	度数	1013	56	414	490	50	3
		行%	100.0	5.5	40.9	48.4	4.9	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	12	119	109	11	1
		行%	100.0	4.8	47.2	43.3	4.4	.4
	35歳～39歳	度数	252	12	111	118	10	1
		行%	100.0	4.8	44.0	46.8	4.0	.4
	40歳～44歳	度数	252	8	114	123	7	
		行%	100.0	3.2	45.2	48.8	2.8	
	45歳～49歳	度数	252	12	122	107	9	2
		行%	100.0	4.8	48.4	42.5	3.6	.8
	合計	度数	1008	44	466	457	37	4
		行%	100.0	4.4	46.2	45.3	3.7	.4
合計	30歳～34歳	度数	506	31	220	226	26	3
		行%	100.0	6.1	43.5	44.7	5.1	.6
	35歳～39歳	度数	505	24	217	238	25	1
		行%	100.0	4.8	43.0	47.1	5.0	.2
	40歳～44歳	度数	505	18	216	254	16	1
		行%	100.0	3.6	42.8	50.3	3.2	.2
	45歳～49歳	度数	505	27	227	229	20	2
		行%	100.0	5.3	45.0	45.3	4.0	.4
	合計	度数	2021	100	880	947	87	7
		行%	100.0	4.9	43.5	46.9	4.3	.3

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【7)会社のブランドよりも仕事の内容が重要である】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	72	146	34	2	
		行%	100.0	28.3	57.5	13.4	.8	
	35歳～39歳	度数	253	69	153	29	2	
		行%	100.0	27.3	60.5	11.5	.8	
	40歳～44歳	度数	253	68	148	34	1	2
		行%	100.0	26.9	58.5	13.4	.4	.8
	45歳～49歳	度数	253	49	164	39	1	
		行%	100.0	19.4	64.8	15.4	.4	
	合計	度数	1013	258	611	136	6	2
		行%	100.0	25.5	60.3	13.4	.6	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	58	163	28	3	
		行%	100.0	23.0	64.7	11.1	1.2	
	35歳～39歳	度数	252	69	155	28		
		行%	100.0	27.4	61.5	11.1		
	40歳～44歳	度数	252	39	185	26	2	
		行%	100.0	15.5	73.4	10.3	.8	
	45歳～49歳	度数	252	43	192	16	1	
		行%	100.0	17.1	76.2	6.3	.4	
	合計	度数	1008	209	695	98	6	
		行%	100.0	20.7	68.9	9.7	.6	
合計	30歳～34歳	度数	506	130	309	62	5	
		行%	100.0	25.7	61.1	12.3	1.0	
	35歳～39歳	度数	505	138	308	57	2	
		行%	100.0	27.3	61.0	11.3	.4	
	40歳～44歳	度数	505	107	333	60	3	2
		行%	100.0	21.2	65.9	11.9	.6	.4
	45歳～49歳	度数	505	92	356	55	2	
		行%	100.0	18.2	70.5	10.9	.4	
	合計	度数	2021	467	1306	234	12	2
		行%	100.0	23.1	64.6	11.6	.6	.1

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【8)業績をあげるためにはチームワークよりも個人プレーが必要である】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	6	59	162	27	
		行%	100.0	2.4	23.2	63.8	10.6	
	35歳～39歳	度数	253	7	67	153	26	
		行%	100.0	2.8	26.5	60.5	10.3	
	40歳～44歳	度数	253	8	55	162	27	1
		行%	100.0	3.2	21.7	64.0	10.7	.4
	45歳～49歳	度数	253	1	41	184	27	
		行%	100.0	.4	16.2	72.7	10.7	
	合計	度数	1013	22	222	661	107	1
		行%	100.0	2.2	21.9	65.3	10.6	.1
女性	30歳～34歳	度数	252	5	34	191	22	
		行%	100.0	2.0	13.5	75.8	8.7	
	35歳～39歳	度数	252		32	191	28	1
		行%	100.0		12.7	75.8	11.1	.4
	40歳～44歳	度数	252	1	35	196	20	
		行%	100.0	.4	13.9	77.8	7.9	
	45歳～49歳	度数	252	2	40	183	27	
		行%	100.0	.8	15.9	72.6	10.7	
	合計	度数	1008	8	141	761	97	1
		行%	100.0	.8	14.0	75.5	9.6	.1
合計	30歳～34歳	度数	506	11	93	353	49	
		行%	100.0	2.2	18.4	69.8	9.7	
	35歳～39歳	度数	505	7	99	344	54	1
		行%	100.0	1.4	19.6	68.1	10.7	.2
	40歳～44歳	度数	505	9	90	358	47	1
		行%	100.0	1.8	17.8	70.9	9.3	.2
	45歳～49歳	度数	505	3	81	367	54	
		行%	100.0	.6	16.0	72.7	10.7	
	合計	度数	2021	30	363	1422	204	2
		行%	100.0	1.5	18.0	70.4	10.1	.1

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【9)自分が就きたい職業を早く知ることが大事である】

		合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	74	127	45	7	1
		行%	100.0	29.1	50.0	17.7	2.8	.4
	35歳～39歳	度数	253	49	137	61	6	
		行%	100.0	19.4	54.2	24.1	2.4	
	40歳～44歳	度数	253	56	144	46	5	2
		行%	100.0	22.1	56.9	18.2	2.0	.8
	45歳～49歳	度数	253	47	150	54	2	
		行%	100.0	18.6	59.3	21.3	.8	
	合計	度数	1013	226	558	206	20	3
		行%	100.0	22.3	55.1	20.3	2.0	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	58	134	55	3	2
		行%	100.0	23.0	53.2	21.8	1.2	.8
	35歳～39歳	度数	252	55	143	49	3	2
		行%	100.0	21.8	56.7	19.4	1.2	.8
	40歳～44歳	度数	252	45	152	52	2	1
		行%	100.0	17.9	60.3	20.6	.8	.4
	45歳～49歳	度数	252	50	165	35	2	
		行%	100.0	19.8	65.5	13.9	.8	
	合計	度数	1008	208	594	191	10	5
		行%	100.0	20.6	58.9	18.9	1.0	.5
合計	30歳～34歳	度数	506	132	261	100	10	3
		行%	100.0	26.1	51.6	19.8	2.0	.6
	35歳～39歳	度数	505	104	280	110	9	2
		行%	100.0	20.6	55.4	21.8	1.8	.4
	40歳～44歳	度数	505	101	296	98	7	3
		行%	100.0	20.0	58.6	19.4	1.4	.6
	45歳～49歳	度数	505	97	315	89	4	
		行%	100.0	19.2	62.4	17.6	.8	
	合計	度数	2021	434	1152	397	30	8
		行%	100.0	21.5	57.0	19.6	1.5	.4

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【10)仕事に役立つのは基礎的な学力である】

		合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	30	130	77	16	1
		行%	100.0	11.8	51.2	30.3	6.3	.4
	35歳～39歳	度数	253	30	138	73	11	1
		行%	100.0	11.9	54.5	28.9	4.3	.4
	40歳～44歳	度数	253	37	123	83	8	2
		行%	100.0	14.6	48.6	32.8	3.2	.8
	45歳～49歳	度数	253	34	124	85	10	
		行%	100.0	13.4	49.0	33.6	4.0	
	合計	度数	1013	131	515	318	45	4
		行%	100.0	12.9	50.8	31.4	4.4	.4
女性	30歳～34歳	度数	252	24	137	79	10	2
		行%	100.0	9.5	54.4	31.3	4.0	.8
	35歳～39歳	度数	252	25	141	79	7	
		行%	100.0	9.9	56.0	31.3	2.8	
	40歳～44歳	度数	252	29	150	69	2	2
		行%	100.0	11.5	59.5	27.4	.8	.8
	45歳～49歳	度数	252	30	147	72	3	
		行%	100.0	11.9	58.3	28.6	1.2	
	合計	度数	1008	108	575	299	22	4
		行%	100.0	10.7	57.0	29.7	2.2	.4
合計	30歳～34歳	度数	506	54	267	156	26	3
		行%	100.0	10.7	52.8	30.8	5.1	.6
	35歳～39歳	度数	505	55	279	152	18	1
		行%	100.0	10.9	55.2	30.1	3.6	.2
	40歳～44歳	度数	505	66	273	152	10	4
		行%	100.0	13.1	54.1	30.1	2.0	.8
	45歳～49歳	度数	505	64	271	157	13	
		行%	100.0	12.7	53.7	31.1	2.6	
	合計	度数	2021	239	1090	617	67	8
		行%	100.0	11.8	53.9	30.5	3.3	.4

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【11)いろいろな人との関係やつながりが大切である】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	118	122	13	1	
		行%	100.0	46.5	48.0	5.1	.4	
	35歳～39歳	度数	253	98	142	13		
		行%	100.0	38.7	56.1	5.1		
	40歳～44歳	度数	253	94	143	15		1
		行%	100.0	37.2	56.5	5.9		.4
	45歳～49歳	度数	253	81	159	11	1	1
		行%	100.0	32.0	62.8	4.3	.4	.4
	合計	度数	1013	391	566	52	2	2
		行%	100.0	38.6	55.9	5.1	.2	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	135	109	3		5
		行%	100.0	53.6	43.3	1.2		2.0
	35歳～39歳	度数	252	123	125	2		2
		行%	100.0	48.8	49.6	.8		.8
	40歳～44歳	度数	252	115	132	2	1	2
		行%	100.0	45.6	52.4	.8	.4	.8
	45歳～49歳	度数	252	109	139	2	1	1
		行%	100.0	43.3	55.2	.8	.4	.4
	合計	度数	1008	482	505	9	2	10
		行%	100.0	47.8	50.1	.9	.2	1.0
合計	30歳～34歳	度数	506	253	231	16	1	5
		行%	100.0	50.0	45.7	3.2	.2	1.0
	35歳～39歳	度数	505	221	267	15		2
		行%	100.0	43.8	52.9	3.0		.4
	40歳～44歳	度数	505	209	275	17	1	3
		行%	100.0	41.4	54.5	3.4	.2	.6
	45歳～49歳	度数	505	190	298	13	2	2
		行%	100.0	37.6	59.0	2.6	.4	.4
	合計	度数	2021	873	1071	61	4	12
		行%	100.0	43.2	53.0	3.0	.2	.6

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【12)家庭のことよりも、自分の生き方を優先する】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	15	70	140	28	1
		行%	100.0	5.9	27.6	55.1	11.0	.4
	35歳～39歳	度数	253	9	87	133	24	
		行%	100.0	3.6	34.4	52.6	9.5	
	40歳～44歳	度数	253	6	68	146	31	2
		行%	100.0	2.4	26.9	57.7	12.3	.8
	45歳～49歳	度数	253	4	58	164	27	
		行%	100.0	1.6	22.9	64.8	10.7	
	合計	度数	1013	34	283	583	110	3
		行%	100.0	3.4	27.9	57.6	10.9	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	4	44	165	39	
		行%	100.0	1.6	17.5	65.5	15.5	
	35歳～39歳	度数	252	4	55	151	42	
		行%	100.0	1.6	21.8	59.9	16.7	
	40歳～44歳	度数	252	8	58	157	27	2
		行%	100.0	3.2	23.0	62.3	10.7	.8
	45歳～49歳	度数	252	5	39	177	29	2
		行%	100.0	2.0	15.5	70.2	11.5	.8
	合計	度数	1008	21	196	650	137	4
		行%	100.0	2.1	19.4	64.5	13.6	.4
合計	30歳～34歳	度数	506	19	114	305	67	1
		行%	100.0	3.8	22.5	60.3	13.2	.2
	35歳～39歳	度数	505	13	142	284	66	
		行%	100.0	2.6	28.1	56.2	13.1	
	40歳～44歳	度数	505	14	126	303	58	4
		行%	100.0	2.8	25.0	60.0	11.5	.8
	45歳～49歳	度数	505	9	97	341	56	2
		行%	100.0	1.8	19.2	67.5	11.1	.4
	合計	度数	2021	55	479	1233	247	7
		行%	100.0	2.7	23.7	61.0	12.2	.3

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【13)仕事は自分の能力を活かすよい機会である】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	52	161	37	3	1
		行%	100.0	20.5	63.4	14.6	1.2	.4
	35歳～39歳	度数	253	28	179	41	5	
		行%	100.0	11.1	70.8	16.2	2.0	
	40歳～44歳	度数	253	26	170	53	3	1
		行%	100.0	10.3	67.2	20.9	1.2	.4
	45歳～49歳	度数	253	28	174	45	6	
		行%	100.0	11.1	68.8	17.8	2.4	
	合計	度数	1013	134	684	176	17	2
		行%	100.0	13.2	67.5	17.4	1.7	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	56	159	34	1	2
		行%	100.0	22.2	63.1	13.5	.4	.8
	35歳～39歳	度数	252	44	178	26	4	
		行%	100.0	17.5	70.6	10.3	1.6	
	40歳～44歳	度数	252	35	185	28	2	2
		行%	100.0	13.9	73.4	11.1	.8	.8
	45歳～49歳	度数	252	51	168	31	1	1
		行%	100.0	20.2	66.7	12.3	.4	.4
	合計	度数	1008	186	690	119	8	5
		行%	100.0	18.5	68.5	11.8	.8	.5
合計	30歳～34歳	度数	506	108	320	71	4	3
		行%	100.0	21.3	63.2	14.0	.8	.6
	35歳～39歳	度数	505	72	357	67	9	
		行%	100.0	14.3	70.7	13.3	1.8	
	40歳～44歳	度数	505	61	355	81	5	3
		行%	100.0	12.1	70.3	16.0	1.0	.6
	45歳～49歳	度数	505	79	342	76	7	1
		行%	100.0	15.6	67.7	15.0	1.4	.2
	合計	度数	2021	320	1374	295	25	7
		行%	100.0	15.8	68.0	14.6	1.2	.3

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の1)～14)について、あてはまるものをお選びください【14)地域や社会のために役立つことをしたい】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	38	141	63	9	3
		行%	100.0	15.0	55.5	24.8	3.5	1.2
	35歳～39歳	度数	253	30	145	69	8	1
		行%	100.0	11.9	57.3	27.3	3.2	.4
	40歳～44歳	度数	253	40	145	62	4	2
		行%	100.0	15.8	57.3	24.5	1.6	.8
	45歳～49歳	度数	253	21	162	57	11	2
		行%	100.0	8.3	64.0	22.5	4.3	.8
	合計	度数	1013	129	593	251	32	8
		行%	100.0	12.7	58.5	24.8	3.2	.8
女性	30歳～34歳	度数	252	31	146	63	10	2
		行%	100.0	12.3	57.9	25.0	4.0	.8
	35歳～39歳	度数	252	33	147	61	10	1
		行%	100.0	13.1	58.3	24.2	4.0	.4
	40歳～44歳	度数	252	30	151	58	12	1
		行%	100.0	11.9	59.9	23.0	4.8	.4
	45歳～49歳	度数	252	36	159	49	8	
		行%	100.0	14.3	63.1	19.4	3.2	
	合計	度数	1008	130	603	231	40	4
		行%	100.0	12.9	59.8	22.9	4.0	.4
合計	30歳～34歳	度数	506	69	287	126	19	5
		行%	100.0	13.6	56.7	24.9	3.8	1.0
	35歳～39歳	度数	505	63	292	130	18	2
		行%	100.0	12.5	57.8	25.7	3.6	.4
	40歳～44歳	度数	505	70	296	120	16	3
		行%	100.0	13.9	58.6	23.8	3.2	.6
	45歳～49歳	度数	505	57	321	106	19	2
		行%	100.0	11.3	63.6	21.0	3.8	.4
	合計	度数	2021	259	1196	482	72	12
		行%	100.0	12.8	59.2	23.8	3.6	.6

Q12. あなたは、次の1)～8)のそれぞれについて、生活やつきあいの場を「家庭」「職場」などいくつかの場に分けた場合、どこが一番あてはまりますか。もっともあてはまるものをお選びください【1】生活にはりあいや活力をもたらしてくれる場】

		合計	家庭	友人とのつきあいの場	職場	学習サークル(研究会、趣味の団体など)	地域社会	インターネット上のソサエティ	その他	どこにもない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	115	61	34	7	5	8	13	11
		行%	100.0	45.3	24.0	13.4	2.8	2.0	3.1	5.1	4.3
	35歳～39歳	度数	253	107	55	46	10	5	6	9	15
		行%	100.0	42.3	21.7	18.2	4.0	2.0	2.4	3.6	5.9
	40歳～44歳	度数	253	132	45	41	13	5	3	5	8
		行%	100.0	52.2	17.8	16.2	5.1	2.0	1.2	2.0	3.2
	45歳～49歳	度数	253	134	37	44	6	5	4	5	18
		行%	100.0	53.0	14.6	17.4	2.4	2.0	1.6	2.0	7.1
	合計	度数	1013	488	198	165	36	20	21	32	52
		行%	100.0	48.2	19.5	16.3	3.6	2.0	2.1	3.2	5.1
女性	30歳～34歳	度数	252	117	78	29	13		7	3	5
		行%	100.0	46.4	31.0	11.5	5.2		2.8	1.2	2.0
	35歳～39歳	度数	252	118	75	26	13	2	5	8	5
		行%	100.0	46.8	29.8	10.3	5.2	.8	2.0	3.2	2.0
	40歳～44歳	度数	252	124	62	32	10	3	6	9	5
		行%	100.0	49.2	24.6	12.7	4.0	1.2	2.4	3.6	2.0
	45歳～49歳	度数	252	109	59	35	26	3	4	10	6
		行%	100.0	43.3	23.4	13.9	10.3	1.2	1.6	4.0	2.4
	合計	度数	1008	468	274	122	62	8	22	30	21
		行%	100.0	46.4	27.2	12.1	6.2	.8	2.2	3.0	2.1
合計	30歳～34歳	度数	506	232	139	63	20	5	15	16	16
		行%	100.0	45.8	27.5	12.5	4.0	1.0	3.0	3.2	3.2
	35歳～39歳	度数	505	225	130	72	23	7	11	17	20
		行%	100.0	44.6	25.7	14.3	4.6	1.4	2.2	3.4	4.0
	40歳～44歳	度数	505	256	107	73	23	8	9	14	13
		行%	100.0	50.7	21.2	14.5	4.6	1.6	1.8	2.8	2.6
	45歳～49歳	度数	505	243	96	79	32	8	8	15	24
		行%	100.0	48.1	19.0	15.6	6.3	1.6	1.6	3.0	4.8
	合計	度数	2021	956	472	287	98	28	43	62	73
		行%	100.0	47.3	23.4	14.2	4.8	1.4	2.1	3.1	3.6

Q12. あなたは、次の1)～8)のそれぞれについて、生活やつきあいの場を「家庭」「職場」などいくつかの場に分けた場合、どこが一番あてはまりますか。もっともあてはまるものをお選びください【2】心の安らぎや気晴らしを感じることの多い場】

		合計	家庭	友人とのつきあいの場	職場	学習サークル(研究会、趣味の団体など)	地域社会	インターネット上のソサエティ	その他	どこにもない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	164	47	10	4	7	4	11	7
		行%	100.0	64.6	18.5	3.9	1.6	2.8	1.6	4.3	2.8
	35歳～39歳	度数	253	156	43	8	4	3	5	18	16
		行%	100.0	61.7	17.0	3.2	1.6	1.2	2.0	7.1	6.3
	40歳～44歳	度数	253	167	42	10	6	6	6	9	6
		行%	100.0	66.0	16.6	4.0	2.4	2.4	2.4	3.6	2.4
	45歳～49歳	度数	253	184	30	1	6	1	4	15	12
		行%	100.0	72.7	11.9	.4	2.4	.4	1.6	5.9	4.7
	合計	度数	1013	671	162	29	20	17	19	53	41
		行%	100.0	66.2	16.0	2.9	2.0	1.7	1.9	5.2	4.0
女性	30歳～34歳	度数	252	166	66	2	2	2	9	4	1
		行%	100.0	65.9	26.2	.8	.8	.8	3.6	1.6	.4
	35歳～39歳	度数	252	163	63	2	2	1	6	8	6
		行%	100.0	64.7	25.0	.8	.8	.4	2.4	3.2	2.4
	40歳～44歳	度数	252	167	59	2	4	1	7	7	5
		行%	100.0	66.3	23.4	.8	1.6	.4	2.8	2.8	2.0
	45歳～49歳	度数	252	177	47	3	4		8	9	4
		行%	100.0	70.2	18.7	1.2	1.6		3.2	3.6	1.6
	合計	度数	1008	673	235	9	12	4	30	28	16
		行%	100.0	66.8	23.3	.9	1.2	.4	3.0	2.8	1.6
合計	30歳～34歳	度数	506	330	113	12	6	9	13	15	8
		行%	100.0	65.2	22.3	2.4	1.2	1.8	2.6	3.0	1.6
	35歳～39歳	度数	505	319	106	10	6	4	11	26	22
		行%	100.0	63.2	21.0	2.0	1.2	.8	2.2	5.1	4.4
	40歳～44歳	度数	505	334	101	12	10	7	13	16	11
		行%	100.0	66.1	20.0	2.4	2.0	1.4	2.6	3.2	2.2
	45歳～49歳	度数	505	361	77	4	10	1	12	24	16
		行%	100.0	71.5	15.2	.8	2.0	.2	2.4	4.8	3.2
	合計	度数	2021	1344	397	38	32	21	49	81	57
		行%	100.0	66.5	19.6	1.9	1.6	1.0	2.4	4.0	2.8

Q12. あなたは、次の1)~8)のそれぞれについて、生活やつきあいの場を「家庭」「職場」などいくつかの場に分けた場合、どこが一番あてはまりますか。もっともあてはまるものをお選びください【3)自分の生き方や価値観に影響を与えている場】

				合計	家庭	友人とのつきあいの場	職場	学習サークル(研究会、趣味の団体など)	地域社会	インターネット上のソサエティ	その他	どこにもない	無回答
男性	30歳~34歳	度数		254	53	75	66	13	16	9	8	14	
		行%		100.0	20.9	29.5	26.0	5.1	6.3	3.5	3.1	5.5	
	35歳~39歳	度数		253	45	60	76	14	14	11	15	18	
		行%		100.0	17.8	23.7	30.0	5.5	5.5	4.3	5.9	7.1	
	40歳~44歳	度数		253	50	56	75	24	14	6	12	15	1
		行%		100.0	19.8	22.1	29.6	9.5	5.5	2.4	4.7	5.9	.4
	45歳~49歳	度数		253	34	57	88	9	19	8	13	24	1
		行%		100.0	13.4	22.5	34.8	3.6	7.5	3.2	5.1	9.5	.4
	合計	度数		1013	182	248	305	60	63	34	48	71	2
		行%		100.0	18.0	24.5	30.1	5.9	6.2	3.4	4.7	7.0	.2
女性	30歳~34歳	度数		252	65	79	47	17	10	10	8	16	
		行%		100.0	25.8	31.3	18.7	6.7	4.0	4.0	3.2	6.3	
	35歳~39歳	度数		252	59	82	36	22	11	13	17	12	
		行%		100.0	23.4	32.5	14.3	8.7	4.4	5.2	6.7	4.8	
	40歳~44歳	度数		252	49	85	40	23	11	15	15	12	2
		行%		100.0	19.4	33.7	15.9	9.1	4.4	6.0	6.0	4.8	.8
	45歳~49歳	度数		252	50	69	49	27	10	11	24	12	
		行%		100.0	19.8	27.4	19.4	10.7	4.0	4.4	9.5	4.8	
	合計	度数		1008	223	315	172	89	42	49	64	52	2
		行%		100.0	22.1	31.3	17.1	8.8	4.2	4.9	6.3	5.2	.2
合計	30歳~34歳	度数		506	118	154	113	30	26	19	16	30	
		行%		100.0	23.3	30.4	22.3	5.9	5.1	3.8	3.2	5.9	
	35歳~39歳	度数		505	104	142	112	36	25	24	32	30	
		行%		100.0	20.6	28.1	22.2	7.1	5.0	4.8	6.3	5.9	
	40歳~44歳	度数		505	99	141	115	47	25	21	27	27	3
		行%		100.0	19.6	27.9	22.8	9.3	5.0	4.2	5.3	5.3	.6
	45歳~49歳	度数		505	84	126	137	36	29	19	37	36	1
		行%		100.0	16.6	25.0	27.1	7.1	5.7	3.8	7.3	7.1	.2
	合計	度数		2021	405	563	477	149	105	83	112	123	4
		行%		100.0	20.0	27.9	23.6	7.4	5.2	4.1	5.5	6.1	.2

Q12. あなたは、次の1)~8)のそれぞれについて、生活やつきあいの場を「家庭」「職場」などいくつかの場に分けた場合、どこが一番あてはまりますか。もっともあてはまるものをお選びください【4)人々との交流やふれあいを感ずる場】

				合計	家庭	友人とのつきあいの場	職場	学習サークル(研究会、趣味の団体など)	地域社会	インターネット上のソサエティ	その他	どこにもない	無回答
男性	30歳~34歳	度数		254	19	114	48	15	34	7	6	10	1
		行%		100.0	7.5	44.9	18.9	5.9	13.4	2.8	2.4	3.9	.4
	35歳~39歳	度数		253	10	87	63	21	41	8	7	15	1
		行%		100.0	4.0	34.4	24.9	8.3	16.2	3.2	2.8	5.9	.4
	40歳~44歳	度数		253	18	84	63	28	37	6	5	11	1
		行%		100.0	7.1	33.2	24.9	11.1	14.6	2.4	2.0	4.3	.4
	45歳~49歳	度数		253	9	83	74	17	47	1	2	20	
		行%		100.0	3.6	32.8	29.2	6.7	18.6	.4	.8	7.9	
	合計	度数		1013	56	388	248	81	159	22	20	56	3
		行%		100.0	5.5	38.3	24.5	8.0	15.7	2.2	2.0	5.5	.3
女性	30歳~34歳	度数		252	11	135	41	25	23	7	2	8	
		行%		100.0	4.4	53.6	16.3	9.9	9.1	2.8	.8	3.2	
	35歳~39歳	度数		252	17	131	33	20	31	11	3	6	
		行%		100.0	6.7	52.0	13.1	7.9	12.3	4.4	1.2	2.4	
	40歳~44歳	度数		252	10	127	31	25	29	16	5	7	2
		行%		100.0	4.0	50.4	12.3	9.9	11.5	6.3	2.0	2.8	.8
	45歳~49歳	度数		252	7	127	34	40	25	7	4	7	1
		行%		100.0	2.8	50.4	13.5	15.9	9.9	2.8	1.6	2.8	.4
	合計	度数		1008	45	520	139	110	108	41	14	28	3
		行%		100.0	4.5	51.6	13.8	10.9	10.7	4.1	1.4	2.8	.3
合計	30歳~34歳	度数		506	30	249	89	40	57	14	8	18	1
		行%		100.0	5.9	49.2	17.6	7.9	11.3	2.8	1.6	3.6	.2
	35歳~39歳	度数		505	27	218	96	41	72	19	10	21	1
		行%		100.0	5.3	43.2	19.0	8.1	14.3	3.8	2.0	4.2	.2
	40歳~44歳	度数		505	28	211	94	53	66	22	10	18	3
		行%		100.0	5.5	41.8	18.6	10.5	13.1	4.4	2.0	3.6	.6
	45歳~49歳	度数		505	16	210	108	57	72	8	6	27	1
		行%		100.0	3.2	41.6	21.4	11.3	14.3	1.6	1.2	5.3	.2
	合計	度数		2021	101	888	387	191	267	63	34	84	6
		行%		100.0	5.0	43.9	19.1	9.5	13.2	3.1	1.7	4.2	.3

Q12. あなたは、次の1)~8)のそれぞれについて、生活やつきあいの場を「家庭」「職場」などいくつかの場に分けた場合、どこが一番あてはまりますか。もっともあてはまるものをお選びください(5)自分の人間性を豊かにしてくれる場]

		合計	家庭	友人とのつきあいの場	職場	学習サークル(研究会、趣味の団体など)	地域社会	インターネット上のソサエティ	その他	どこにもない	無回答	
男性	30歳~34歳	度数	254	45	102	36	20	15	8	11	15	2
		行%	100.0	17.7	40.2	14.2	7.9	5.9	3.1	4.3	5.9	.8
	35歳~39歳	度数	253	39	83	41	19	24	8	16	23	
		行%	100.0	15.4	32.8	16.2	7.5	9.5	3.2	6.3	9.1	
	40歳~44歳	度数	253	51	73	45	32	19	4	11	17	1
		行%	100.0	20.2	28.9	17.8	12.6	7.5	1.6	4.3	6.7	.4
	45歳~49歳	度数	253	27	65	48	34	25	2	18	31	3
		行%	100.0	10.7	25.7	19.0	13.4	9.9	.8	7.1	12.3	1.2
	合計	度数	1013	162	323	170	105	83	22	56	86	6
		行%	100.0	16.0	31.9	16.8	10.4	8.2	2.2	5.5	8.5	.6
女性	30歳~34歳	度数	252	66	89	21	30	16	6	8	15	1
		行%	100.0	26.2	35.3	8.3	11.9	6.3	2.4	3.2	6.0	.4
	35歳~39歳	度数	252	41	102	20	30	20	13	9	16	1
		行%	100.0	16.3	40.5	7.9	11.9	7.9	5.2	3.6	6.3	.4
	40歳~44歳	度数	252	42	78	26	36	24	13	14	18	1
		行%	100.0	16.7	31.0	10.3	14.3	9.5	5.2	5.6	7.1	.4
	45歳~49歳	度数	252	31	95	27	45	13	10	19	11	1
		行%	100.0	12.3	37.7	10.7	17.9	5.2	4.0	7.5	4.4	.4
	合計	度数	1008	180	364	94	141	73	42	50	60	4
		行%	100.0	17.9	36.1	9.3	14.0	7.2	4.2	5.0	6.0	.4
合計	30歳~34歳	度数	506	111	191	57	50	31	14	19	30	3
		行%	100.0	21.9	37.7	11.3	9.9	6.1	2.8	3.8	5.9	.6
	35歳~39歳	度数	505	80	185	61	49	44	21	25	39	1
		行%	100.0	15.8	36.6	12.1	9.7	8.7	4.2	5.0	7.7	.2
	40歳~44歳	度数	505	93	151	71	68	43	17	25	35	2
		行%	100.0	18.4	29.9	14.1	13.5	8.5	3.4	5.0	6.9	.4
	45歳~49歳	度数	505	58	160	75	79	38	12	37	42	4
		行%	100.0	11.5	31.7	14.9	15.6	7.5	2.4	7.3	8.3	.8
	合計	度数	2021	342	687	264	246	156	64	106	146	10
		行%	100.0	16.9	34.0	13.1	12.2	7.7	3.2	5.2	7.2	.5

Q12. あなたは、次の1)~8)のそれぞれについて、生活やつきあいの場を「家庭」「職場」などいくつかの場に分けた場合、どこが一番あてはまりますか。もっともあてはまるものをお選びください(6)自分の可能性を実現したり、達成感を感じる場]

		合計	家庭	友人とのつきあいの場	職場	学習サークル(研究会、趣味の団体など)	地域社会	インターネット上のソサエティ	その他	どこにもない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	254	20	16	161	17	7	7	12	14
		行%	100.0	7.9	6.3	63.4	6.7	2.8	2.8	4.7	5.5
	35歳~39歳	度数	253	12	14	163	14	6	6	14	24
		行%	100.0	4.7	5.5	64.4	5.5	2.4	2.4	5.5	9.5
	40歳~44歳	度数	253	14	14	170	17	5	2	10	20
		行%	100.0	5.5	5.5	67.2	6.7	2.0	.8	4.0	7.9
	45歳~49歳	度数	253	6	12	174	13	10	3	11	24
		行%	100.0	2.4	4.7	68.8	5.1	4.0	1.2	4.3	9.5
	合計	度数	1013	52	56	668	61	28	18	47	82
		行%	100.0	5.1	5.5	65.9	6.0	2.8	1.8	4.6	8.1
女性	30歳~34歳	度数	252	45	11	117	22	5	10	7	34
		行%	100.0	17.9	4.4	46.4	8.7	2.0	4.0	2.8	13.5
	35歳~39歳	度数	252	30	15	107	31	10	11	14	34
		行%	100.0	11.9	6.0	42.5	12.3	4.0	4.4	5.6	13.5
	40歳~44歳	度数	252	27	10	119	34	9	10	13	29
		行%	100.0	10.7	4.0	47.2	13.5	3.6	4.0	5.2	11.5
	45歳~49歳	度数	252	23	18	111	45	8	8	15	24
		行%	100.0	9.1	7.1	44.0	17.9	3.2	3.2	6.0	9.5
	合計	度数	1008	125	54	454	132	32	39	49	121
		行%	100.0	12.4	5.4	45.0	13.1	3.2	3.9	4.9	12.0
合計	30歳~34歳	度数	506	65	27	278	39	12	17	19	48
		行%	100.0	12.8	5.3	54.9	7.7	2.4	3.4	3.8	9.5
	35歳~39歳	度数	505	42	29	270	45	16	17	28	58
		行%	100.0	8.3	5.7	53.5	8.9	3.2	3.4	5.5	11.5
	40歳~44歳	度数	505	41	24	289	51	14	12	23	49
		行%	100.0	8.1	4.8	57.2	10.1	2.8	2.4	4.6	9.7
	45歳~49歳	度数	505	29	30	285	58	18	11	26	48
		行%	100.0	5.7	5.9	56.4	11.5	3.6	2.2	5.1	9.5
	合計	度数	2021	177	110	1122	193	60	57	96	203
		行%	100.0	8.8	5.4	55.5	9.5	3.0	2.8	4.8	10.0

Q12. あなたは、次の1)~8)のそれぞれについて、生活やつきあいの場を「家庭」「職場」などいくつかの場に分けた場合、どこが一番あてはまりますか。もっともあてはまるものをお選びください〔7)自分が役立っていると感じたり、評価を得ている場〕

		合計		家庭	友人とのつきあいの場	職場	学習サークル(研究会、趣味の団体など)	地域社会	インターネット上のソサエティ	その他	どこにもない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	254	29	16	161	6	9	8	9	14	2
		行%	100.0	11.4	6.3	63.4	2.4	3.5	3.1	3.5	5.5	.8
	35歳~39歳	度数	253	19	9	162	12	15	5	6	24	1
		行%	100.0	7.5	3.6	64.0	4.7	5.9	2.0	2.4	9.5	.4
	40歳~44歳	度数	253	26	13	153	16	13	2	7	22	1
		行%	100.0	10.3	5.1	60.5	6.3	5.1	.8	2.8	8.7	.4
	45歳~49歳	度数	253	22	8	172	9	17		8	16	1
		行%	100.0	8.7	3.2	68.0	3.6	6.7		3.2	6.3	.4
	合計	度数	1013	96	46	648	43	54	15	30	76	5
		行%	100.0	9.5	4.5	64.0	4.2	5.3	1.5	3.0	7.5	.5
女性	30歳~34歳	度数	252	80	15	108	9	10	9	1	20	
		行%	100.0	31.7	6.0	42.9	3.6	4.0	3.6	.4	7.9	
	35歳~39歳	度数	252	67	13	105	12	20	3	9	23	
		行%	100.0	26.6	5.2	41.7	4.8	7.9	1.2	3.6	9.1	
	40歳~44歳	度数	252	56	14	119	9	23	5	5	21	
		行%	100.0	22.2	5.6	47.2	3.6	9.1	2.0	2.0	8.3	
	45歳~49歳	度数	252	67	18	99	20	21	4	5	17	1
		行%	100.0	26.6	7.1	39.3	7.9	8.3	1.6	2.0	6.7	.4
	合計	度数	1008	270	60	431	50	74	21	20	81	1
		行%	100.0	26.8	6.0	42.8	5.0	7.3	2.1	2.0	8.0	.1
合計	30歳~34歳	度数	508	109	31	269	15	19	17	10	34	2
		行%	100.0	21.5	6.1	53.2	3.0	3.8	3.4	2.0	6.7	.4
	35歳~39歳	度数	505	86	22	267	24	35	8	15	47	1
		行%	100.0	17.0	4.4	52.9	4.8	6.9	1.6	3.0	9.3	.2
	40歳~44歳	度数	505	82	27	272	25	36	7	12	43	1
		行%	100.0	16.2	5.3	53.9	5.0	7.1	1.4	2.4	8.5	.2
	45歳~49歳	度数	505	89	26	271	29	38	4	13	33	2
		行%	100.0	17.6	5.1	53.7	5.7	7.5	.8	2.6	6.5	.4
	合計	度数	2021	366	106	1079	93	128	36	50	157	6
		行%	100.0	18.1	5.2	53.4	4.6	6.3	1.8	2.5	7.8	.3

Q12. あなたは、次の1)~8)のそれぞれについて、生活やつきあいの場を「家庭」「職場」などいくつかの場に分けた場合、どこが一番あてはまりますか。もっともあてはまるものをお選びください〔8)今後つき合いを広げていきたい場〕

		合計		家庭	友人とのつきあいの場	職場	学習サークル(研究会、趣味の団体など)	地域社会	インターネット上のソサエティ	その他	どこにもない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	254	16	93	34	28	41	14	13	15	
		行%	100.0	6.3	36.6	13.4	11.0	16.1	5.5	5.1	5.9	
	35歳~39歳	度数	253	11	84	24	29	64	13	14	12	2
		行%	100.0	4.3	33.2	9.5	11.5	25.3	5.1	5.5	4.7	.8
	40歳~44歳	度数	253	12	68	34	37	69	14	8	9	2
		行%	100.0	4.7	26.9	13.4	14.6	27.3	5.5	3.2	3.6	.8
	45歳~49歳	度数	253	8	69	30	29	74	11	10	22	
		行%	100.0	3.2	27.3	11.9	11.5	29.2	4.3	4.0	8.7	
	合計	度数	1013	47	314	122	123	248	52	45	58	4
		行%	100.0	4.6	31.0	12.0	12.1	24.5	5.1	4.4	5.7	.4
女性	30歳~34歳	度数	252	13	123	23	42	28	11	5	7	
		行%	100.0	5.2	48.8	9.1	16.7	11.1	4.4	2.0	2.8	
	35歳~39歳	度数	252	9	112	20	40	41	6	8	16	
		行%	100.0	3.6	44.4	7.9	15.9	16.3	2.4	3.2	6.3	
	40歳~44歳	度数	252	9	115	19	30	46	9	6	17	1
		行%	100.0	3.6	45.6	7.5	11.9	18.3	3.6	2.4	6.7	.4
	45歳~49歳	度数	252	11	105	14	53	41	4	15	9	
		行%	100.0	4.4	41.7	5.6	21.0	16.3	1.6	6.0	3.6	
	合計	度数	1008	42	455	76	165	156	30	34	49	1
		行%	100.0	4.2	45.1	7.5	16.4	15.5	3.0	3.4	4.9	.1
合計	30歳~34歳	度数	506	29	216	57	70	69	25	18	22	
		行%	100.0	5.7	42.7	11.3	13.8	13.6	4.9	3.6	4.3	
	35歳~39歳	度数	505	20	196	44	69	105	19	22	28	2
		行%	100.0	4.0	38.8	8.7	13.7	20.8	3.8	4.4	5.5	.4
	40歳~44歳	度数	505	21	183	53	67	115	23	14	26	3
		行%	100.0	4.2	36.2	10.5	13.3	22.8	4.6	2.8	5.1	.6
	45歳~49歳	度数	505	19	174	44	82	115	15	25	31	
		行%	100.0	3.8	34.5	8.7	16.2	22.8	3.0	5.0	6.1	
	合計	度数	2021	89	769	198	288	404	82	79	107	5
		行%	100.0	4.4	38.1	9.8	14.3	20.0	4.1	3.9	5.3	.2

Q13. あなたは、次の1)～4)について、現在人生設計を立てていると思いますか【1】仕事

			合計	現在ほとんど設計ができていない	ある程度設計ができていない	現在考えているところである	気にはしているがあまり考えていない	まったく考えていない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	7	65	128	45	9	
		行%	100.0	2.8	25.6	50.4	17.7	3.5	
	35歳～39歳	度数	253	10	73	109	49	12	
		行%	100.0	4.0	28.9	43.1	19.4	4.7	
	40歳～44歳	度数	253	19	88	86	46	13	1
		行%	100.0	7.5	34.8	34.0	18.2	5.1	.4
	45歳～49歳	度数	253	21	97	77	51	7	
		行%	100.0	8.3	38.3	30.4	20.2	2.8	
	合計	度数	1013	57	323	400	191	41	1
		行%	100.0	5.6	31.9	39.5	18.9	4.0	.1
女性	30歳～34歳	度数	252	6	48	111	67	20	
		行%	100.0	2.4	19.0	44.0	26.6	7.9	
	35歳～39歳	度数	252	2	44	111	71	24	
		行%	100.0	.8	17.5	44.0	28.2	9.5	
	40歳～44歳	度数	252	7	49	103	70	23	
		行%	100.0	2.8	19.4	40.9	27.8	9.1	
	45歳～49歳	度数	252	15	55	94	52	36	
		行%	100.0	6.0	21.8	37.3	20.6	14.3	
	合計	度数	1008	30	196	419	260	103	
		行%	100.0	3.0	19.4	41.6	25.8	10.2	
合計	30歳～34歳	度数	506	13	113	239	112	29	
		行%	100.0	2.6	22.3	47.2	22.1	5.7	
	35歳～39歳	度数	505	12	117	220	120	36	
		行%	100.0	2.4	23.2	43.6	23.8	7.1	
	40歳～44歳	度数	505	26	137	189	116	36	1
		行%	100.0	5.1	27.1	37.4	23.0	7.1	.2
	45歳～49歳	度数	505	36	152	171	103	43	
		行%	100.0	7.1	30.1	33.9	20.4	8.5	
	合計	度数	2021	87	519	819	451	144	1
		行%	100.0	4.3	25.7	40.5	22.3	7.1	.0

Q13. あなたは、次の1)～4)について、現在人生設計を立てていると思いますか【2】家庭生活

			合計	現在ほとんど設計ができていない	ある程度設計ができていない	現在考えているところである	気にはしているがあまり考えていない	まったく考えていない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	15	69	109	50	11	
		行%	100.0	5.9	27.2	42.9	19.7	4.3	
	35歳～39歳	度数	253	11	70	98	60	13	1
		行%	100.0	4.3	27.7	38.7	23.7	5.1	.4
	40歳～44歳	度数	253	13	100	81	48	10	1
		行%	100.0	5.1	39.5	32.0	19.0	4.0	.4
	45歳～49歳	度数	253	16	110	66	52	9	
		行%	100.0	6.3	43.5	26.1	20.6	3.6	
	合計	度数	1013	55	349	354	210	43	2
		行%	100.0	5.4	34.5	34.9	20.7	4.2	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	9	105	91	40	7	
		行%	100.0	3.6	41.7	36.1	15.9	2.8	
	35歳～39歳	度数	252	16	81	106	42	7	
		行%	100.0	6.3	32.1	42.1	16.7	2.8	
	40歳～44歳	度数	252	22	81	92	51	5	1
		行%	100.0	8.7	32.1	36.5	20.2	2.0	.4
	45歳～49歳	度数	252	18	117	67	46	4	
		行%	100.0	7.1	46.4	26.6	18.3	1.6	
	合計	度数	1008	65	384	356	179	23	1
		行%	100.0	6.4	38.1	35.3	17.8	2.3	.1
合計	30歳～34歳	度数	506	24	174	200	90	18	
		行%	100.0	4.7	34.4	39.5	17.8	3.6	
	35歳～39歳	度数	505	27	151	204	102	20	1
		行%	100.0	5.3	29.9	40.4	20.2	4.0	.2
	40歳～44歳	度数	505	35	181	173	99	15	2
		行%	100.0	6.9	35.8	34.3	19.6	3.0	.4
	45歳～49歳	度数	505	34	227	133	98	13	
		行%	100.0	6.7	45.0	26.3	19.4	2.6	
	合計	度数	2021	120	733	710	389	66	3
		行%	100.0	5.9	36.3	35.1	19.2	3.3	.1

Q13. あなたは、次の1)～4)について、現在人生設計を立てていると思いますか【3】老後の生活】

		合計		現在ほとんど設計ができていない	ある程度設計ができています	現在考えているところである	気にはしているがあまり考えていない	まったく考えていない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	7	23	86	100	38		
		行%	100.0	2.8	9.1	33.9	39.4	15.0		
	35歳～39歳	度数	253		30	91	99	33		
		行%	100.0		11.9	36.0	39.1	13.0		
	40歳～44歳	度数	253	4	37	94	93	24	1	
		行%	100.0	1.6	14.6	37.2	36.8	9.5	.4	
	45歳～49歳	度数	253	4	43	94	97	14	1	
		行%	100.0	1.6	17.0	37.2	38.3	5.5	.4	
合計	度数	1013	15	133	365	389	109	2		
	行%	100.0	1.5	13.1	36.0	38.4	10.8	.2		
女性	30歳～34歳	度数	252	3	28	74	124	23		
		行%	100.0	1.2	11.1	29.4	49.2	9.1		
	35歳～39歳	度数	252	3	28	109	91	21		
		行%	100.0	1.2	11.1	43.3	36.1	8.3		
	40歳～44歳	度数	252	5	25	110	102	10		
		行%	100.0	2.0	9.9	43.7	40.5	4.0		
	45歳～49歳	度数	252	4	48	111	81	8		
		行%	100.0	1.6	19.0	44.0	32.1	3.2		
	合計	度数	1008	15	129	404	398	62		
		行%	100.0	1.5	12.8	40.1	39.5	6.2		
	合計	30歳～34歳	度数	506	10	51	160	224	61	
			行%	100.0	2.0	10.1	31.6	44.3	12.1	
35歳～39歳		度数	505	3	58	200	190	54		
		行%	100.0	.6	11.5	39.6	37.6	10.7		
40歳～44歳		度数	505	9	62	204	195	34	1	
		行%	100.0	1.8	12.3	40.4	38.6	6.7	.2	
45歳～49歳		度数	505	8	91	205	178	22	1	
		行%	100.0	1.6	18.0	40.6	35.2	4.4	.2	
合計		度数	2021	30	262	769	787	171	2	
		行%	100.0	1.5	13.0	38.1	38.9	8.5	.1	

Q13. あなたは、次の1)～4)について、現在人生設計を立てていると思いますか【4】人生全般】

		合計		現在ほとんど設計ができていない	ある程度設計ができています	現在考えているところである	気にはしているがあまり考えていない	まったく考えていない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	5	35	115	86	13		
		行%	100.0	2.0	13.8	45.3	33.9	5.1		
	35歳～39歳	度数	253	2	33	120	82	15	1	
		行%	100.0	.8	13.0	47.4	32.4	5.9	.4	
	40歳～44歳	度数	253	6	46	112	78	9	2	
		行%	100.0	2.4	18.2	44.3	30.8	3.6	.8	
	45歳～49歳	度数	253	3	54	101	88	7		
		行%	100.0	1.2	21.3	39.9	34.8	2.8		
合計	度数	1013	16	168	448	334	44	3		
	行%	100.0	1.6	16.6	44.2	33.0	4.3	.3		
女性	30歳～34歳	度数	252	5	38	109	86	14		
		行%	100.0	2.0	15.1	43.3	34.1	5.6		
	35歳～39歳	度数	252	3	35	126	82	6		
		行%	100.0	1.2	13.9	50.0	32.5	2.4		
	40歳～44歳	度数	252	7	31	120	87	6	1	
		行%	100.0	2.8	12.3	47.6	34.5	2.4	.4	
	45歳～49歳	度数	252	5	54	117	74	2		
		行%	100.0	2.0	21.4	46.4	29.4	.8		
	合計	度数	1008	20	158	472	329	28	1	
		行%	100.0	2.0	15.7	46.8	32.6	2.8	.1	
	合計	30歳～34歳	度数	506	10	73	224	172	27	
			行%	100.0	2.0	14.4	44.3	34.0	5.3	
35歳～39歳		度数	505	5	68	246	164	21	1	
		行%	100.0	1.0	13.5	48.7	32.5	4.2	.2	
40歳～44歳		度数	505	13	77	232	165	15	3	
		行%	100.0	2.6	15.2	45.9	32.7	3.0	.6	
45歳～49歳		度数	505	8	108	218	162	9		
		行%	100.0	1.6	21.4	43.2	32.1	1.8		
合計		度数	2021	36	326	920	663	72	4	
		行%	100.0	1.8	16.1	45.5	32.8	3.6	.2	

Q14. あなたの最終学歴はつぎのどれですか

			合計	中学校	高校	高等専門 学校	短期大学	大学	大学院	その他	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	6	57	18	10	119	36	4	4
		行%	100.0	2.4	22.4	7.1	3.9	46.9	14.2	1.6	1.6
	35歳～39歳	度数	253	3	63	22	5	128	24	5	3
		行%	100.0	1.2	24.9	8.7	2.0	50.6	9.5	2.0	1.2
	40歳～44歳	度数	253	4	56	22	6	137	17	6	5
		行%	100.0	1.6	22.1	8.7	2.4	54.2	6.7	2.4	2.0
	45歳～49歳	度数	253	2	49	16	6	161	15	4	
		行%	100.0	.8	19.4	6.3	2.4	63.6	5.9	1.6	
	合計	度数	1013	15	225	78	27	545	92	19	12
		行%	100.0	1.5	22.2	7.7	2.7	53.8	9.1	1.9	1.2
女性	30歳～34歳	度数	252	7	54	28	56	93	5	9	
		行%	100.0	2.8	21.4	11.1	22.2	36.9	2.0	3.6	
	35歳～39歳	度数	252	4	78	32	63	56	6	6	7
		行%	100.0	1.6	31.0	12.7	25.0	22.2	2.4	2.4	2.8
	40歳～44歳	度数	252	1	82	20	65	72	2	6	4
		行%	100.0	.4	32.5	7.9	25.8	28.6	.8	2.4	1.6
	45歳～49歳	度数	252	3	55	18	71	91	2	5	7
		行%	100.0	1.2	21.8	7.1	28.2	36.1	.8	2.0	2.8
	合計	度数	1008	15	269	98	255	312	15	26	18
		行%	100.0	1.5	26.7	9.7	25.3	31.0	1.5	2.6	1.8
合計	30歳～34歳	度数	506	13	111	46	66	212	41	13	4
		行%	100.0	2.6	21.9	9.1	13.0	41.9	8.1	2.6	.8
	35歳～39歳	度数	505	7	141	54	68	184	30	11	10
		行%	100.0	1.4	27.9	10.7	13.5	36.4	5.9	2.2	2.0
	40歳～44歳	度数	505	5	138	42	71	209	19	12	9
		行%	100.0	1.0	27.3	8.3	14.1	41.4	3.8	2.4	1.8
	45歳～49歳	度数	505	5	104	34	77	252	17	9	7
		行%	100.0	1.0	20.6	6.7	15.2	49.9	3.4	1.8	1.4
	合計	度数	2021	30	494	176	282	857	107	45	30
		行%	100.0	1.5	24.4	8.7	14.0	42.4	5.3	2.2	1.5

Q15. あなたは、進学する学校(最終学歴)を選ぶ時に次のことをどのくらい重視しましたか。次の1)～9)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【1)自分の学力にあっている】

			合計	重視した	どちらとも いえない	重視しな かった	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	132	83	39	
		行%	100.0	52.0	32.7	15.4	
	35歳～39歳	度数	253	136	83	33	1
		行%	100.0	53.8	32.8	13.0	.4
	40歳～44歳	度数	253	142	89	20	2
		行%	100.0	56.1	35.2	7.9	.8
	45歳～49歳	度数	253	147	85	21	
		行%	100.0	58.1	33.6	8.3	
	合計	度数	1013	557	340	113	3
		行%	100.0	55.0	33.6	11.2	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	155	70	24	3
		行%	100.0	61.5	27.8	9.5	1.2
	35歳～39歳	度数	252	148	70	34	
		行%	100.0	58.7	27.8	13.5	
	40歳～44歳	度数	252	138	82	32	
		行%	100.0	54.8	32.5	12.7	
	45歳～49歳	度数	252	155	67	28	2
		行%	100.0	61.5	26.6	11.1	.8
	合計	度数	1008	596	289	118	5
		行%	100.0	59.1	28.7	11.7	.5
合計	30歳～34歳	度数	506	287	153	63	3
		行%	100.0	56.7	30.2	12.5	.6
	35歳～39歳	度数	505	284	153	67	1
		行%	100.0	56.2	30.3	13.3	.2
	40歳～44歳	度数	505	280	171	52	2
		行%	100.0	55.4	33.9	10.3	.4
	45歳～49歳	度数	505	302	152	49	2
		行%	100.0	59.8	30.1	9.7	.4
	合計	度数	2021	1153	629	231	8
		行%	100.0	57.1	31.1	11.4	.4

Q15. あなたは、進学する学校(最終学歴)を選ぶ時に次のことをどのくらい重視しましたか。次の1)～9)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【2)自分の興味・関心があった】

			合計	重視した	どちらとも いえない	重視しな かった	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	149	67	38	
		行%	100.0	58.7	26.4	15.0	
	35歳～39歳	度数	253	157	66	28	2
		行%	100.0	62.1	26.1	11.1	.8
	40歳～44歳	度数	253	151	84	17	1
		行%	100.0	59.7	33.2	6.7	.4
	45歳～49歳	度数	253	126	91	36	
		行%	100.0	49.8	36.0	14.2	
合計	度数	1013	583	308	119	3	
行%	100.0	57.6	30.4	11.7	.3		
女性	30歳～34歳	度数	252	167	59	25	1
		行%	100.0	66.3	23.4	9.9	.4
	35歳～39歳	度数	252	151	66	35	
		行%	100.0	59.9	26.2	13.9	
	40歳～44歳	度数	252	154	73	25	
		行%	100.0	61.1	29.0	9.9	
	45歳～49歳	度数	252	151	72	26	3
		行%	100.0	59.9	28.6	10.3	1.2
	合計	度数	1008	623	270	111	4
	行%	100.0	61.8	26.8	11.0	.4	
合計	30歳～34歳	度数	506	316	126	63	1
		行%	100.0	62.5	24.9	12.5	.2
	35歳～39歳	度数	505	308	132	63	2
		行%	100.0	61.0	26.1	12.5	.4
	40歳～44歳	度数	505	305	157	42	1
		行%	100.0	60.4	31.1	8.3	.2
	45歳～49歳	度数	505	277	163	62	3
		行%	100.0	54.9	32.3	12.3	.6
	合計	度数	2021	1206	578	230	7
	行%	100.0	59.7	28.6	11.4	.3	

Q15. あなたは、進学する学校(最終学歴)を選ぶ時に次のことをどのくらい重視しましたか。次の1)～9)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【3)自分の得意教科・科目を生かせる】

			合計	重視した	どちらとも いえない	重視しな かった	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	118	84	50	2
		行%	100.0	46.5	33.1	19.7	.8
	35歳～39歳	度数	253	118	93	42	
		行%	100.0	46.6	36.8	16.6	
	40歳～44歳	度数	253	129	95	28	1
		行%	100.0	51.0	37.5	11.1	.4
	45歳～49歳	度数	253	114	95	44	
		行%	100.0	45.1	37.5	17.4	
	合計	度数	1013	479	367	164	3
	行%	100.0	47.3	36.2	16.2	.3	
女性	30歳～34歳	度数	252	123	93	33	3
		行%	100.0	48.8	36.9	13.1	1.2
	35歳～39歳	度数	252	124	80	48	
		行%	100.0	49.2	31.7	19.0	
	40歳～44歳	度数	252	133	82	37	
		行%	100.0	52.8	32.5	14.7	
	45歳～49歳	度数	252	130	85	36	1
		行%	100.0	51.6	33.7	14.3	.4
	合計	度数	1008	510	340	154	4
	行%	100.0	50.6	33.7	15.3	.4	
合計	30歳～34歳	度数	506	241	177	83	5
		行%	100.0	47.6	35.0	16.4	1.0
	35歳～39歳	度数	505	242	173	90	
		行%	100.0	47.9	34.3	17.8	
	40歳～44歳	度数	505	262	177	65	1
		行%	100.0	51.9	35.0	12.9	.2
	45歳～49歳	度数	505	244	180	80	1
		行%	100.0	48.3	35.6	15.8	.2
	合計	度数	2021	989	707	318	7
	行%	100.0	48.9	35.0	15.7	.3	

Q15. あなたは、進学する学校(最終学歴)を選ぶ時に次のことをどのくらい重視しましたか。次の1)～9)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【4)希望する職業に結びつことができる】

			合計	重視した	どちらとも いえない	重視しな かった	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	89	91	73	1
		行%	100.0	35.0	35.8	28.7	.4
	35歳～39歳	度数	253	90	98	65	
		行%	100.0	35.6	38.7	25.7	
	40歳～44歳	度数	253	91	113	48	1
		行%	100.0	36.0	44.7	19.0	.4
	45歳～49歳	度数	253	84	99	69	1
		行%	100.0	33.2	39.1	27.3	.4
	合計	度数	1013	354	401	255	3
		行%	100.0	34.9	39.6	25.2	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	104	81	65	2
		行%	100.0	41.3	32.1	25.8	.8
	35歳～39歳	度数	252	94	90	68	
		行%	100.0	37.3	35.7	27.0	
	40歳～44歳	度数	252	90	93	69	
		行%	100.0	35.7	36.9	27.4	
	45歳～49歳	度数	252	89	99	62	2
		行%	100.0	35.3	39.3	24.6	.8
	合計	度数	1008	377	363	264	4
		行%	100.0	37.4	36.0	26.2	.4
合計	30歳～34歳	度数	506	193	172	138	3
		行%	100.0	38.1	34.0	27.3	.6
	35歳～39歳	度数	505	184	188	133	
		行%	100.0	36.4	37.2	26.3	
	40歳～44歳	度数	505	181	206	117	1
		行%	100.0	35.8	40.8	23.2	.2
	45歳～49歳	度数	505	173	198	131	3
		行%	100.0	34.3	39.2	25.9	.6
	合計	度数	2021	731	764	519	7
		行%	100.0	36.2	37.8	25.7	.3

Q15. あなたは、進学する学校(最終学歴)を選ぶ時に次のことをどのくらい重視しましたか。次の1)～9)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【5)親、家族のすすめ】

			合計	重視した	どちらとも いえない	重視しな かった	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	35	82	136	1
		行%	100.0	13.8	32.3	53.5	.4
	35歳～39歳	度数	253	41	88	123	1
		行%	100.0	16.2	34.8	48.6	.4
	40歳～44歳	度数	253	37	101	113	2
		行%	100.0	14.6	39.9	44.7	.8
	45歳～49歳	度数	253	56	95	102	
		行%	100.0	22.1	37.5	40.3	
	合計	度数	1013	169	366	474	4
		行%	100.0	16.7	36.1	46.8	.4
女性	30歳～34歳	度数	252	63	86	101	2
		行%	100.0	25.0	34.1	40.1	.8
	35歳～39歳	度数	252	68	91	93	
		行%	100.0	27.0	36.1	36.9	
	40歳～44歳	度数	252	68	89	95	
		行%	100.0	27.0	35.3	37.7	
	45歳～49歳	度数	252	80	91	78	3
		行%	100.0	31.7	36.1	31.0	1.2
	合計	度数	1008	279	357	367	5
		行%	100.0	27.7	35.4	36.4	.5
合計	30歳～34歳	度数	506	98	168	237	3
		行%	100.0	19.4	33.2	46.8	.6
	35歳～39歳	度数	505	109	179	216	1
		行%	100.0	21.6	35.4	42.8	.2
	40歳～44歳	度数	505	105	190	208	2
		行%	100.0	20.8	37.6	41.2	.4
	45歳～49歳	度数	505	136	186	180	3
		行%	100.0	26.9	36.8	35.6	.6
	合計	度数	2021	448	723	841	9
		行%	100.0	22.2	35.8	41.6	.4

Q15. あなたは、進学する学校(最終学歴)を選ぶ時に次のことをどのくらい重視しましたか。次の1)～9)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【6】教師のすすめ】

			合計	重視した	どちらとも いえない	重視しな かった	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	31	90	132	1
		行%	100.0	12.2	35.4	52.0	.4
	35歳～39歳	度数	253	28	92	133	
		行%	100.0	11.1	36.4	52.6	
	40歳～44歳	度数	253	41	92	119	1
		行%	100.0	16.2	36.4	47.0	.4
	45歳～49歳	度数	253	29	114	109	1
		行%	100.0	11.5	45.1	43.1	.4
	合計	度数	1013	129	388	493	3
		行%	100.0	12.7	38.3	48.7	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	41	85	124	2
		行%	100.0	16.3	33.7	49.2	.8
	35歳～39歳	度数	252	60	86	105	1
		行%	100.0	23.8	34.1	41.7	.4
	40歳～44歳	度数	252	43	98	110	1
		行%	100.0	17.1	38.9	43.7	.4
	45歳～49歳	度数	252	55	105	88	4
		行%	100.0	21.8	41.7	34.9	1.6
	合計	度数	1008	199	374	427	8
		行%	100.0	19.7	37.1	42.4	.8
合計	30歳～34歳	度数	506	72	175	256	3
		行%	100.0	14.2	34.6	50.6	.6
	35歳～39歳	度数	505	88	178	238	1
		行%	100.0	17.4	35.2	47.1	.2
	40歳～44歳	度数	505	84	190	229	2
		行%	100.0	16.6	37.6	45.3	.4
	45歳～49歳	度数	505	84	219	197	5
		行%	100.0	16.6	43.4	39.0	1.0
	合計	度数	2021	328	762	920	11
		行%	100.0	16.2	37.7	45.5	.5

Q15. あなたは、進学する学校(最終学歴)を選ぶ時に次のことをどのくらい重視しましたか。次の1)～9)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【7】自分が必要とする資格をとれる】

			合計	重視した	どちらとも いえない	重視しな かった	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	36	105	112	1
		行%	100.0	14.2	41.3	44.1	.4
	35歳～39歳	度数	253	44	89	119	1
		行%	100.0	17.4	35.2	47.0	.4
	40歳～44歳	度数	253	53	109	88	3
		行%	100.0	20.9	43.1	34.8	1.2
	45歳～49歳	度数	253	49	94	110	
		行%	100.0	19.4	37.2	43.5	
	合計	度数	1013	182	397	429	5
		行%	100.0	18.0	39.2	42.3	.5
女性	30歳～34歳	度数	252	78	90	83	1
		行%	100.0	31.0	35.7	32.9	.4
	35歳～39歳	度数	252	84	87	79	2
		行%	100.0	33.3	34.5	31.3	.8
	40歳～44歳	度数	252	80	85	86	1
		行%	100.0	31.7	33.7	34.1	.4
	45歳～49歳	度数	252	79	94	76	3
		行%	100.0	31.3	37.3	30.2	1.2
	合計	度数	1008	321	356	324	7
		行%	100.0	31.8	35.3	32.1	.7
合計	30歳～34歳	度数	506	114	195	195	2
		行%	100.0	22.5	38.5	38.5	.4
	35歳～39歳	度数	505	128	176	198	3
		行%	100.0	25.3	34.9	39.2	.6
	40歳～44歳	度数	505	133	194	174	4
		行%	100.0	26.3	38.4	34.5	.8
	45歳～49歳	度数	505	128	188	186	3
		行%	100.0	25.3	37.2	36.8	.6
	合計	度数	2021	503	753	753	12
		行%	100.0	24.9	37.3	37.3	.6

Q15. あなたは、進学する学校(最終学歴)を選ぶ時に次のことをどのくらい重視しましたか。次の1)~9)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【(8)専門的知識や技術を身につけることができる】

			合計	重視した	どちらとも いえない	重視しな かった	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	90	92	70	2
		行%	100.0	35.4	36.2	27.6	.8
	35歳～39歳	度数	253	102	74	76	1
		行%	100.0	40.3	29.2	30.0	.4
	40歳～44歳	度数	253	111	82	57	3
		行%	100.0	43.9	32.4	22.5	1.2
	45歳～49歳	度数	253	96	77	80	
		行%	100.0	37.9	30.4	31.6	
	合計	度数	1013	399	325	283	6
		行%	100.0	39.4	32.1	27.9	.6
女性	30歳～34歳	度数	252	118	65	68	1
		行%	100.0	46.8	25.8	27.0	.4
	35歳～39歳	度数	252	108	78	66	
		行%	100.0	42.9	31.0	26.2	
	40歳～44歳	度数	252	104	84	64	
		行%	100.0	41.3	33.3	25.4	
	45歳～49歳	度数	252	110	87	53	2
		行%	100.0	43.7	34.5	21.0	.8
	合計	度数	1008	440	314	251	3
		行%	100.0	43.7	31.2	24.9	.3
合計	30歳～34歳	度数	506	208	157	138	3
		行%	100.0	41.1	31.0	27.3	.6
	35歳～39歳	度数	505	210	152	142	1
		行%	100.0	41.6	30.1	28.1	.2
	40歳～44歳	度数	505	215	166	121	3
		行%	100.0	42.6	32.9	24.0	.6
	45歳～49歳	度数	505	206	164	133	2
		行%	100.0	40.8	32.5	26.3	.4
	合計	度数	2021	839	639	534	9
		行%	100.0	41.5	31.6	26.4	.4

Q16. あなたは、次の1)～8)のような社会全体についての意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください【1)女性は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	27	142	77	8	
		行%	100.0	10.6	55.9	30.3	3.1	
	35歳～39歳	度数	253	36	142	63	12	
		行%	100.0	14.2	56.1	24.9	4.7	
	40歳～44歳	度数	253	32	147	67	6	1
		行%	100.0	12.6	58.1	26.5	2.4	.4
	45歳～49歳	度数	253	22	154	68	9	
		行%	100.0	8.7	60.9	26.9	3.6	
	合計	度数	1013	117	585	275	35	1
		行%	100.0	11.5	57.7	27.1	3.5	.1
女性	30歳～34歳	度数	252	83	127	40	2	
		行%	100.0	32.9	50.4	15.9	.8	
	35歳～39歳	度数	252	79	134	37	2	
		行%	100.0	31.3	53.2	14.7	.8	
	40歳～44歳	度数	252	88	138	26		
		行%	100.0	34.9	54.8	10.3		
	45歳～49歳	度数	252	111	113	24	3	1
		行%	100.0	44.0	44.8	9.5	1.2	.4
	合計	度数	1008	361	512	127	7	1
		行%	100.0	35.8	50.8	12.6	.7	.1
合計	30歳～34歳	度数	506	110	269	117	10	
		行%	100.0	21.7	53.2	23.1	2.0	
	35歳～39歳	度数	505	115	276	100	14	
		行%	100.0	22.8	54.7	19.8	2.8	
	40歳～44歳	度数	505	120	285	93	6	1
		行%	100.0	23.8	56.4	18.4	1.2	.2
	45歳～49歳	度数	505	133	267	92	12	1
		行%	100.0	26.3	52.9	18.2	2.4	.2
	合計	度数	2021	478	1097	402	42	2
		行%	100.0	23.7	54.3	19.9	2.1	.1

Q16. あなたは、次の1)～8)のような社会全体についての意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください【2)男性も、女性と同じように、家事や育児するのは当然だ】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	60	155	33	4	2
		行%	100.0	23.6	61.0	13.0	1.6	.8
	35歳～39歳	度数	253	47	153	44	9	
		行%	100.0	18.6	60.5	17.4	3.6	
	40歳～44歳	度数	253	39	157	48	8	1
		行%	100.0	15.4	62.1	19.0	3.2	.4
	45歳～49歳	度数	253	23	164	55	11	
		行%	100.0	9.1	64.8	21.7	4.3	
	合計	度数	1013	169	629	180	32	3
		行%	100.0	16.7	62.1	17.8	3.2	.3
女性	30歳～34歳	度数	252	87	125	37	1	2
		行%	100.0	34.5	49.6	14.7	.4	.8
	35歳～39歳	度数	252	83	138	30	1	
		行%	100.0	32.9	54.8	11.9	.4	
	40歳～44歳	度数	252	87	139	26		
		行%	100.0	34.5	55.2	10.3		
	45歳～49歳	度数	252	86	143	21	2	
		行%	100.0	34.1	56.7	8.3	.8	
	合計	度数	1008	343	545	114	4	2
		行%	100.0	34.0	54.1	11.3	.4	.2
合計	30歳～34歳	度数	506	147	280	70	5	4
		行%	100.0	29.1	55.3	13.8	1.0	.8
	35歳～39歳	度数	505	130	291	74	10	
		行%	100.0	25.7	57.6	14.7	2.0	
	40歳～44歳	度数	505	126	296	74	8	1
		行%	100.0	25.0	58.6	14.7	1.6	.2
	45歳～49歳	度数	505	109	307	76	13	
		行%	100.0	21.6	60.8	15.0	2.6	
	合計	度数	2021	512	1174	294	36	5
		行%	100.0	25.3	58.1	14.5	1.8	.2

Q16. あなたは、次の1)～8)のような社会全体についての意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください【3)女性は、もっと積極的に社会に進出すべきだ】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	35	137	76	5	1
		行%	100.0	13.8	53.9	29.9	2.0	.4
	35歳～39歳	度数	253	29	146	67	11	
		行%	100.0	11.5	57.7	26.5	4.3	
	40歳～44歳	度数	253	28	145	69	9	2
		行%	100.0	11.1	57.3	27.3	3.6	.8
	45歳～49歳	度数	253	21	151	74	6	1
		行%	100.0	8.3	59.7	29.2	2.4	.4
	合計	度数	1013	113	579	286	31	4
		行%	100.0	11.2	57.2	28.2	3.1	.4
女性	30歳～34歳	度数	252	56	140	54	2	
		行%	100.0	22.2	55.6	21.4	.8	
	35歳～39歳	度数	252	57	147	45	3	
		行%	100.0	22.6	58.3	17.9	1.2	
	40歳～44歳	度数	252	61	150	37	3	1
		行%	100.0	24.2	59.5	14.7	1.2	.4
	45歳～49歳	度数	252	63	155	33		1
		行%	100.0	25.0	61.5	13.1		.4
	合計	度数	1008	237	592	169	8	2
		行%	100.0	23.5	58.7	16.8	.8	.2
合計	30歳～34歳	度数	506	91	277	130	7	1
		行%	100.0	18.0	54.7	25.7	1.4	.2
	35歳～39歳	度数	505	86	293	112	14	
		行%	100.0	17.0	58.0	22.2	2.8	
	40歳～44歳	度数	505	89	295	106	12	3
		行%	100.0	17.6	58.4	21.0	2.4	.6
	45歳～49歳	度数	505	84	306	107	6	2
		行%	100.0	16.6	60.6	21.2	1.2	.4
	合計	度数	2021	350	1171	455	39	6
		行%	100.0	17.3	57.9	22.5	1.9	.3

Q16. あなたは、次の1)～8)のような社会全体についての意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください【4)今の社会は、高齢者に対する配慮が足りない】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	45	124	71	14	
		行%	100.0	17.7	48.8	28.0	5.5	
	35歳～39歳	度数	253	57	120	63	13	
		行%	100.0	22.5	47.4	24.9	5.1	
	40歳～44歳	度数	253	59	126	60	7	1
		行%	100.0	23.3	49.8	23.7	2.8	.4
	45歳～49歳	度数	253	59	122	58	11	3
		行%	100.0	23.3	48.2	22.9	4.3	1.2
	合計	度数	1013	220	492	252	45	4
		行%	100.0	21.7	48.6	24.9	4.4	.4
女性	30歳～34歳	度数	252	56	121	67	7	1
		行%	100.0	22.2	48.0	26.6	2.8	.4
	35歳～39歳	度数	252	63	135	51	2	1
		行%	100.0	25.0	53.6	20.2	.8	.4
	40歳～44歳	度数	252	71	130	46	5	
		行%	100.0	28.2	51.6	18.3	2.0	
	45歳～49歳	度数	252	71	130	47	4	
		行%	100.0	28.2	51.6	18.7	1.6	
	合計	度数	1008	261	516	211	18	2
		行%	100.0	25.9	51.2	20.9	1.8	.2
合計	30歳～34歳	度数	506	101	245	138	21	1
		行%	100.0	20.0	48.4	27.3	4.2	.2
	35歳～39歳	度数	505	120	255	114	15	1
		行%	100.0	23.8	50.5	22.6	3.0	.2
	40歳～44歳	度数	505	130	256	106	12	1
		行%	100.0	25.7	50.7	21.0	2.4	.2
	45歳～49歳	度数	505	130	252	105	15	3
		行%	100.0	25.7	49.9	20.8	3.0	.6
	合計	度数	2021	481	1008	463	63	6
		行%	100.0	23.8	49.9	22.9	3.1	.3

Q16. あなたは、次の1)～8)のような社会全体についての意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください【5)結婚して子どもを育てることが幸せな人生ではない】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	57	138	49	9	1
		行%	100.0	22.4	54.3	19.3	3.5	.4
	35歳～39歳	度数	253	63	143	42	4	1
		行%	100.0	24.9	56.5	16.6	1.6	.4
	40歳～44歳	度数	253	41	159	45	7	1
		行%	100.0	16.2	62.8	17.8	2.8	.4
	45歳～49歳	度数	253	46	141	53	12	1
		行%	100.0	18.2	55.7	20.9	4.7	.4
	合計	度数	1013	207	581	189	32	4
		行%	100.0	20.4	57.4	18.7	3.2	.4
女性	30歳～34歳	度数	252	76	144	25	6	1
		行%	100.0	30.2	57.1	9.9	2.4	.4
	35歳～39歳	度数	252	88	127	32	5	
		行%	100.0	34.9	50.4	12.7	2.0	
	40歳～44歳	度数	252	73	145	32	1	1
		行%	100.0	29.0	57.5	12.7	.4	.4
	45歳～49歳	度数	252	73	146	31	2	
		行%	100.0	29.0	57.9	12.3	.8	
	合計	度数	1008	310	562	120	14	2
		行%	100.0	30.8	55.8	11.9	1.4	.2
合計	30歳～34歳	度数	506	133	282	74	15	2
		行%	100.0	26.3	55.7	14.6	3.0	.4
	35歳～39歳	度数	505	151	270	74	9	1
		行%	100.0	29.9	53.5	14.7	1.8	.2
	40歳～44歳	度数	505	114	304	77	8	2
		行%	100.0	22.6	60.2	15.2	1.6	.4
	45歳～49歳	度数	505	119	287	84	14	1
		行%	100.0	23.6	56.8	16.6	2.8	.2
	合計	度数	2021	517	1143	309	46	6
		行%	100.0	25.6	56.6	15.3	2.3	.3

Q16. あなたは、次の1)～8)のような社会全体についての意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください【6】今の社会は、貧富の差が大きい】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	74	111	64	4	1	
		行%	100.0	29.1	43.7	25.2	1.6	.4	
	35歳～39歳	度数	253	73	111	62	6	1	
		行%	100.0	28.9	43.9	24.5	2.4	.4	
	40歳～44歳	度数	253	72	120	54	6	1	
		行%	100.0	28.5	47.4	21.3	2.4	.4	
	45歳～49歳	度数	253	65	119	61	8		
		行%	100.0	25.7	47.0	24.1	3.2		
	合計	度数	1013	284	461	241	24	3	
		行%	100.0	28.0	45.5	23.8	2.4	.3	
	女性	30歳～34歳	度数	252	74	122	53	3	
			行%	100.0	29.4	48.4	21.0	1.2	
35歳～39歳		度数	252	65	115	68	2	2	
		行%	100.0	25.8	45.6	27.0	.8	.8	
40歳～44歳		度数	252	74	107	68	1	2	
		行%	100.0	29.4	42.5	27.0	.4	.8	
45歳～49歳		度数	252	71	129	49	2	1	
		行%	100.0	28.2	51.2	19.4	.8	.4	
合計		度数	1008	284	473	238	8	5	
		行%	100.0	28.2	46.9	23.6	.8	.5	
合計		30歳～34歳	度数	506	148	233	117	7	1
			行%	100.0	29.2	46.0	23.1	1.4	.2
	35歳～39歳	度数	505	138	226	130	8	3	
		行%	100.0	27.3	44.8	25.7	1.6	.6	
	40歳～44歳	度数	505	146	227	122	7	3	
		行%	100.0	28.9	45.0	24.2	1.4	.6	
	45歳～49歳	度数	505	136	248	110	10	1	
		行%	100.0	26.9	49.1	21.8	2.0	.2	
	合計	度数	2021	568	934	479	32	8	
		行%	100.0	28.1	46.2	23.7	1.6	.4	

Q16. あなたは、次の1)～8)のような社会全体についての意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください【7】定職につかない人が増えると日本社会の将来はあぶない】

			合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	107	112	30	5		
		行%	100.0	42.1	44.1	11.8	2.0		
	35歳～39歳	度数	253	105	102	37	9		
		行%	100.0	41.5	40.3	14.6	3.6		
	40歳～44歳	度数	253	115	110	23	4	1	
		行%	100.0	45.5	43.5	9.1	1.6	.4	
	45歳～49歳	度数	253	136	97	16	3	1	
		行%	100.0	53.8	38.3	6.3	1.2	.4	
	合計	度数	1013	463	421	106	21	2	
		行%	100.0	45.7	41.6	10.5	2.1	.2	
	女性	30歳～34歳	度数	252	100	114	34	3	1
			行%	100.0	39.7	45.2	13.5	1.2	.4
35歳～39歳		度数	252	117	108	24	2	1	
		行%	100.0	46.4	42.9	9.5	.8	.4	
40歳～44歳		度数	252	114	117	20	1		
		行%	100.0	45.2	46.4	7.9	.4		
45歳～49歳		度数	252	130	107	13		2	
		行%	100.0	51.6	42.5	5.2		.8	
合計		度数	1008	461	446	91	6	4	
		行%	100.0	45.7	44.2	9.0	.6	.4	
合計		30歳～34歳	度数	506	207	226	64	8	1
			行%	100.0	40.9	44.7	12.6	1.6	.2
	35歳～39歳	度数	505	222	210	61	11	1	
		行%	100.0	44.0	41.6	12.1	2.2	.2	
	40歳～44歳	度数	505	229	227	43	5	1	
		行%	100.0	45.3	45.0	8.5	1.0	.2	
	45歳～49歳	度数	505	266	204	29	3	3	
		行%	100.0	52.7	40.4	5.7	.6	.6	
	合計	度数	2021	924	867	197	27	6	
		行%	100.0	45.7	42.9	9.7	1.3	.3	

Q16. あなたは、次の1)～8)のような社会全体についての意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください【8】社会保障制度は自分の将来の生活のために必要だ】

		合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	68	143	34	9	
		行%	100.0	26.8	56.3	13.4	3.5	
	35歳～39歳	度数	253	79	132	33	7	2
		行%	100.0	31.2	52.2	13.0	2.8	.8
	40歳～44歳	度数	253	74	130	40	7	2
		行%	100.0	29.2	51.4	15.8	2.8	.8
	45歳～49歳	度数	253	95	125	25	7	1
		行%	100.0	37.5	49.4	9.9	2.8	.4
	合計	度数	1013	316	530	132	30	5
		行%	100.0	31.2	52.3	13.0	3.0	.5
女性	30歳～34歳	度数	252	84	136	28	4	
		行%	100.0	33.3	54.0	11.1	1.6	
	35歳～39歳	度数	252	88	129	34	1	
		行%	100.0	34.9	51.2	13.5	.4	
	40歳～44歳	度数	252	98	133	18	3	
		行%	100.0	38.9	52.8	7.1	1.2	
	45歳～49歳	度数	252	116	117	16	1	2
		行%	100.0	46.0	46.4	6.3	.4	.8
	合計	度数	1008	386	515	96	9	2
		行%	100.0	38.3	51.1	9.5	.9	.2
合計	30歳～34歳	度数	506	152	279	62	13	
		行%	100.0	30.0	55.1	12.3	2.6	
	35歳～39歳	度数	505	167	261	67	8	2
		行%	100.0	33.1	51.7	13.3	1.6	.4
	40歳～44歳	度数	505	172	263	58	10	2
		行%	100.0	34.1	52.1	11.5	2.0	.4
	45歳～49歳	度数	505	211	242	41	8	3
		行%	100.0	41.8	47.9	8.1	1.6	.6
	合計	度数	2021	702	1045	228	39	7
		行%	100.0	34.7	51.7	11.3	1.9	.3

Q17. ご自身の現在および将来のライフコースについて、次の1)～5)の項目について、もっともあてはまるものをお選びください【1】結婚】

		合計	すでに結 婚してい る	将来結婚 したい	結婚して も結婚し なくてもよ い	ずっと独 身でいた い	わから ない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	143	61	31	9	10	
		行%	100.0	56.3	24.0	12.2	3.5	3.9	
	35歳～39歳	度数	253	158	38	33	8	16	
		行%	100.0	62.5	15.0	13.0	3.2	6.3	
	40歳～44歳	度数	253	194	18	22	9	9	1
		行%	100.0	76.7	7.1	8.7	3.6	3.6	.4
	45歳～49歳	度数	253	219	8	18	1	7	
		行%	100.0	86.6	3.2	7.1	.4	2.8	
	合計	度数	1013	714	125	104	27	42	1
		行%	100.0	70.5	12.3	10.3	2.7	4.1	.1
女性	30歳～34歳	度数	252	198	25	20	4	5	
		行%	100.0	78.6	9.9	7.9	1.6	2.0	
	35歳～39歳	度数	252	197	15	22	6	12	
		行%	100.0	78.2	6.0	8.7	2.4	4.8	
	40歳～44歳	度数	252	203	14	20	6	9	
		行%	100.0	80.6	5.6	7.9	2.4	3.6	
	45歳～49歳	度数	252	226	1	8	8	9	
		行%	100.0	89.7	.4	3.2	3.2	3.6	
	合計	度数	1008	824	55	70	24	35	
		行%	100.0	81.7	5.5	6.9	2.4	3.5	
合計	30歳～34歳	度数	506	341	86	51	13	15	
		行%	100.0	67.4	17.0	10.1	2.6	3.0	
	35歳～39歳	度数	505	355	53	55	14	28	
		行%	100.0	70.3	10.5	10.9	2.8	5.5	
	40歳～44歳	度数	505	397	32	42	15	18	1
		行%	100.0	78.6	6.3	8.3	3.0	3.6	.2
	45歳～49歳	度数	505	445	9	26	9	16	
		行%	100.0	88.1	1.8	5.1	1.8	3.2	
	合計	度数	2021	1538	180	174	51	77	1
		行%	100.0	76.1	8.9	8.6	2.5	3.8	.0

Q17. ご自身の現在および将来のライフコースについて、次の1)～5)の項目について、もっともあてはまるものをお選びください【2】子ども

			合計	すでに子どもがいる	将来子どもがほしい	子どもはいらない	わからない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	100	98	25	31	
		行%	100.0	39.4	38.6	9.8	12.2	
	35歳～39歳	度数	253	122	67	26	38	
		行%	100.0	48.2	26.5	10.3	15.0	
	40歳～44歳	度数	253	169	31	23	29	1
		行%	100.0	66.8	12.3	9.1	11.5	.4
	45歳～49歳	度数	253	193	15	28	17	
		行%	100.0	76.3	5.9	11.1	6.7	
	合計	度数	1013	584	211	102	115	1
		行%	100.0	57.7	20.8	10.1	11.4	.1
女性	30歳～34歳	度数	252	142	67	20	22	1
		行%	100.0	56.3	26.6	7.9	8.7	.4
	35歳～39歳	度数	252	157	33	30	31	1
		行%	100.0	62.3	13.1	11.9	12.3	.4
	40歳～44歳	度数	252	164	15	44	28	1
		行%	100.0	65.1	6.0	17.5	11.1	.4
	45歳～49歳	度数	252	206	4	29	12	1
		行%	100.0	81.7	1.6	11.5	4.8	.4
	合計	度数	1008	669	119	123	93	4
		行%	100.0	66.4	11.8	12.2	9.2	.4
合計	30歳～34歳	度数	506	242	165	45	53	1
		行%	100.0	47.8	32.6	8.9	10.5	.2
	35歳～39歳	度数	505	279	100	56	69	1
		行%	100.0	55.2	19.8	11.1	13.7	.2
	40歳～44歳	度数	505	333	46	67	57	2
		行%	100.0	65.9	9.1	13.3	11.3	.4
	45歳～49歳	度数	505	399	19	57	29	1
		行%	100.0	79.0	3.8	11.3	5.7	.2
	合計	度数	2021	1253	330	225	208	5
		行%	100.0	62.0	16.3	11.1	10.3	.2

Q17. ご自身の現在および将来のライフコースについて、次の1)～5)の項目について、もっともあてはまるものをお選びください【3】仕事

			合計	現在の仕事を続ける	可能なら転職したい	結婚したら仕事をやめたい	子どもが生まれたら仕事をやめたい	子どもが一定の年齢になったら再び仕事につきたい	経済的に安定していれば専業主婦・主夫でいたい	わからない	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	108	109				16	20	1
		行%	100.0	42.5	42.9				6.3	7.9	.4
	35歳～39歳	度数	253	113	98				11	31	
		行%	100.0	44.7	38.7				4.3	12.3	
	40歳～44歳	度数	253	148	85		1		8	10	1
		行%	100.0	58.5	33.6		.4		3.2	4.0	.4
	45歳～49歳	度数	253	168	70				4	11	
		行%	100.0	66.4	27.7				1.6	4.3	
	合計	度数	1013	537	362		1		39	72	2
		行%	100.0	53.0	35.7		.1		3.8	7.1	.2
女性	30歳～34歳	度数	252	44	43	1	6	85	50	23	
		行%	100.0	17.5	17.1	.4	2.4	33.7	19.8	9.1	
	35歳～39歳	度数	252	42	52	3	6	58	69	22	
		行%	100.0	16.7	20.6	1.2	2.4	23.0	27.4	8.7	
	40歳～44歳	度数	252	72	48	3	2	33	64	30	
		行%	100.0	28.6	19.0	1.2	.8	13.1	25.4	11.9	
	45歳～49歳	度数	252	90	44			22	71	25	
		行%	100.0	35.7	17.5			8.7	28.2	9.9	
	合計	度数	1008	248	187	7	14	198	254	100	
		行%	100.0	24.6	18.6	.7	1.4	19.6	25.2	9.9	
合計	30歳～34歳	度数	506	152	152	1	6	85	66	43	1
		行%	100.0	30.0	30.0	.2	1.2	16.8	13.0	8.5	.2
	35歳～39歳	度数	505	155	150	3	6	58	80	53	
		行%	100.0	30.7	29.7	.6	1.2	11.5	15.8	10.5	
	40歳～44歳	度数	505	220	133	3	3	33	72	40	1
		行%	100.0	43.6	26.3	.6	.6	6.5	14.3	7.9	.2
	45歳～49歳	度数	505	258	114			22	75	36	
		行%	100.0	51.1	22.6			4.4	14.9	7.1	
	合計	度数	2021	785	549	7	15	198	293	172	2
		行%	100.0	38.8	27.2	.3	.7	9.8	14.5	8.5	.1

Q17. ご自身の現在および将来のライフコースについて、次の1)～5)の項目について、もっともあてはまるものをお選びください【(4)70歳以降の生活設計】

		合計	できれば 仕事をし たい	趣味を深 めたい	ボランティ ア活動を したい	ひとりで 自由に過 ごしたい	家族と静 かに過ご したい	何もしたく ない	わからな い	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	41	129	5	9	52	3	15
		行%	100.0	16.1	50.8	2.0	3.5	20.5	1.2	5.9
	35歳～39歳	度数	253	42	96	11	19	53	4	28
		行%	100.0	16.6	37.9	4.3	7.5	20.9	1.6	11.1
	40歳～44歳	度数	253	46	90	16	19	54	3	24
		行%	100.0	18.2	35.6	6.3	7.5	21.3	1.2	9.5
	45歳～49歳	度数	253	53	111	5	20	46	3	14
		行%	100.0	20.9	43.9	2.0	7.9	18.2	1.2	5.5
	合計	度数	1013	182	426	37	67	205	13	81
		行%	100.0	18.0	42.1	3.7	6.6	20.2	1.3	8.0
女性	30歳～34歳	度数	252	19	110	5	6	86	3	23
		行%	100.0	7.5	43.7	2.0	2.4	34.1	1.2	9.1
	35歳～39歳	度数	252	22	123	8	12	65	2	20
		行%	100.0	8.7	48.8	3.2	4.8	25.8	.8	7.9
	40歳～44歳	度数	252	28	103	13	16	57	2	33
		行%	100.0	11.1	40.9	5.2	6.3	22.6	.8	13.1
	45歳～49歳	度数	252	31	112	17	22	54	1	15
		行%	100.0	12.3	44.4	6.7	8.7	21.4	.4	6.0
	合計	度数	1008	100	448	43	56	262	8	91
		行%	100.0	9.9	44.4	4.3	5.6	26.0	.8	9.0
合計	30歳～34歳	度数	506	60	239	10	15	138	6	38
		行%	100.0	11.9	47.2	2.0	3.0	27.3	1.2	7.5
	35歳～39歳	度数	505	64	219	19	31	118	6	48
		行%	100.0	12.7	43.4	3.8	6.1	23.4	1.2	9.5
	40歳～44歳	度数	505	74	193	29	35	111	5	57
		行%	100.0	14.7	38.2	5.7	6.9	22.0	1.0	11.3
	45歳～49歳	度数	505	84	223	22	42	100	4	29
		行%	100.0	16.6	44.2	4.4	8.3	19.8	.8	5.7
	合計	度数	2021	282	874	80	123	467	21	172
		行%	100.0	14.0	43.2	4.0	6.1	23.1	1.0	8.5

Q17. ご自身の現在および将来のライフコースについて、次の1)～5)の項目について、もっともあてはまるものをお選びください【5)介護を必要とする老後】

		合計	子どもの 世話にな りたくない	配偶者の 世話にな りたくない	在宅公 的サービ スを受け たくない	高齢者施 設に入り たくない	誰からも 世話を受 けたくない	わからな い	無回答
男性	30歳～34歳	度数	254	22	21	38	35	61	77
		行%	100.0	8.7	8.3	15.0	13.8	24.0	30.3
	35歳～39歳	度数	253	15	30	42	34	63	69
		行%	100.0	5.9	11.9	16.6	13.4	24.9	27.3
	40歳～44歳	度数	253	16	20	55	45	50	66
		行%	100.0	6.3	7.9	21.7	17.8	19.8	26.1
	45歳～49歳	度数	253	10	32	45	47	53	65
		行%	100.0	4.0	12.6	17.8	18.6	20.9	25.7
	合計	度数	1013	63	103	180	161	227	277
		行%	100.0	6.2	10.2	17.8	15.9	22.4	27.3
女性	30歳～34歳	度数	252	13	23	51	67	24	73
		行%	100.0	5.2	9.1	20.2	26.6	9.5	29.0
	35歳～39歳	度数	252	7	14	42	90	40	59
		行%	100.0	2.8	5.6	16.7	35.7	15.9	23.4
	40歳～44歳	度数	252	11	10	49	92	25	65
		行%	100.0	4.4	4.0	19.4	36.5	9.9	25.8
	45歳～49歳	度数	252	16	14	74	64	27	57
		行%	100.0	6.3	5.6	29.4	25.4	10.7	22.6
	合計	度数	1008	47	61	216	313	116	254
		行%	100.0	4.7	6.1	21.4	31.1	11.5	25.2
合計	30歳～34歳	度数	506	35	44	89	102	85	150
		行%	100.0	6.9	8.7	17.6	20.2	16.8	29.6
	35歳～39歳	度数	505	22	44	84	124	103	128
		行%	100.0	4.4	8.7	16.6	24.6	20.4	25.3
	40歳～44歳	度数	505	27	30	104	137	75	131
		行%	100.0	5.3	5.9	20.6	27.1	14.9	25.9
	45歳～49歳	度数	505	26	46	119	111	80	122
		行%	100.0	5.1	9.1	23.6	22.0	15.8	24.2
	合計	度数	2021	110	164	396	474	343	531
		行%	100.0	5.4	8.1	19.6	23.5	17.0	26.3

Q18. あなたは、子どもがいますか

		合計	いる	いない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	254	96	157	1
		行%	100.0	37.8	61.8	.4
	35歳～39歳	度数	253	119	130	4
		行%	100.0	47.0	51.4	1.6
	40歳～44歳	度数	253	170	79	4
		行%	100.0	67.2	31.2	1.6
	45歳～49歳	度数	253	186	61	6
		行%	100.0	73.5	24.1	2.4
	合計	度数	1013	571	427	15
		行%	100.0	56.4	42.2	1.5
女性	30歳～34歳	度数	252	139	109	4
		行%	100.0	55.2	43.3	1.6
	35歳～39歳	度数	252	155	95	2
		行%	100.0	61.5	37.7	.8
	40歳～44歳	度数	252	165	87	
		行%	100.0	65.5	34.5	
	45歳～49歳	度数	252	203	43	6
		行%	100.0	80.6	17.1	2.4
	合計	度数	1008	662	334	12
		行%	100.0	65.7	33.1	1.2
合計	30歳～34歳	度数	506	235	266	5
		行%	100.0	46.4	52.6	1.0
	35歳～39歳	度数	505	274	225	6
		行%	100.0	54.3	44.6	1.2
	40歳～44歳	度数	505	335	166	4
		行%	100.0	66.3	32.9	.8
	45歳～49歳	度数	505	389	104	12
		行%	100.0	77.0	20.6	2.4
	合計	度数	2021	1233	761	27
		行%	100.0	61.0	37.7	1.3

Q18-1. あなたは、子どもが何人いますか。人数を数字で記入し、次に出生順に子どもの性別と合計人数をお答えください【1)人数】

				Q18-1. あなたは、子どもが何人いますか。人数を数字で記入し、次に出生順に子どもの性別と合計人数をお答えください【1)人数】						
				合計	1	2	3	4	5	
性別区分	男性	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳～34歳	度数	96	52	39	5		
				行%	100.0	54.2	40.6	5.2		
			35歳～39歳	度数	119	56	51	11	1	
				行%	100.0	47.1	42.9	9.2	.8	
			40歳～44歳	度数	170	45	92	30	3	
				行%	100.0	26.5	54.1	17.6	1.8	
			45歳～49歳	度数	186	34	105	41	5	1
				行%	100.0	18.3	56.5	22.0	2.7	.5
			合計	度数	571	187	287	87	9	1
				行%	100.0	32.7	50.3	15.2	1.6	.2
	女性	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳～34歳	度数	139	61	65	10	2	1
				行%	100.0	43.9	46.8	7.2	1.4	.7
			35歳～39歳	度数	155	49	76	22	7	1
				行%	100.0	31.6	49.0	14.2	4.5	.6
			40歳～44歳	度数	165	42	87	28	7	1
				行%	100.0	25.5	52.7	17.0	4.2	.6
			45歳～49歳	度数	203	45	115	37	4	2
				行%	100.0	22.2	56.7	18.2	2.0	1.0
			合計	度数	662	197	343	97	20	5
				行%	100.0	29.8	51.8	14.7	3.0	.8
合計	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳～34歳	度数	235	113	104	15	2	1	
			行%	100.0	48.1	44.3	6.4	.9	.4	
		35歳～39歳	度数	274	105	127	33	8	1	
			行%	100.0	38.3	46.4	12.0	2.9	.4	
		40歳～44歳	度数	335	87	179	58	10	1	
			行%	100.0	26.0	53.4	17.3	3.0	.3	
		45歳～49歳	度数	389	79	220	78	9	3	
			行%	100.0	20.3	56.6	20.1	2.3	.8	
		合計	度数	1233	384	630	184	29	6	
			行%	100.0	31.1	51.1	14.9	2.4	.5	

Q18-1. あなたは、子どもが何人いますか。人数を数字で記入し、次に出生順に子どもの性別と合計人数をお答えください【(1)人数】

			合計	1	2	3	4	5
男性	30歳～34歳	度数	96	52	39	5		
		行%	100.0	54.2	40.6	5.2		
	35歳～39歳	度数	119	56	51	11	1	
		行%	100.0	47.1	42.9	9.2	.8	
	40歳～44歳	度数	170	45	92	30	3	
		行%	100.0	26.5	54.1	17.6	1.8	
	45歳～49歳	度数	186	34	105	41	5	1
		行%	100.0	18.3	56.5	22.0	2.7	.5
	合計	度数	571	187	287	87	9	1
		行%	100.0	32.7	50.3	15.2	1.6	.2
女性	30歳～34歳	度数	139	61	65	10	2	1
		行%	100.0	43.9	46.8	7.2	1.4	.7
	35歳～39歳	度数	155	49	76	22	7	1
		行%	100.0	31.6	49.0	14.2	4.5	.6
	40歳～44歳	度数	165	42	87	28	7	1
		行%	100.0	25.5	52.7	17.0	4.2	.6
	45歳～49歳	度数	203	45	115	37	4	2
		行%	100.0	22.2	56.7	18.2	2.0	1.0
	合計	度数	662	197	343	97	20	5
		行%	100.0	29.8	51.8	14.7	3.0	.8
合計	30歳～34歳	度数	235	113	104	15	2	1
		行%	100.0	48.1	44.3	6.4	.9	.4
	35歳～39歳	度数	274	105	127	33	8	1
		行%	100.0	38.3	46.4	12.0	2.9	.4
	40歳～44歳	度数	335	87	179	58	10	1
		行%	100.0	26.0	53.4	17.3	3.0	.3
	45歳～49歳	度数	389	79	220	78	9	3
		行%	100.0	20.3	56.6	20.1	2.3	.8
	合計	度数	1233	384	630	184	29	6
		行%	100.0	31.1	51.1	14.9	2.4	.5

Q18-2. 第一子(一番最初に産まれた子ども)について、あてはまるものを選択、必要な箇所は記入ください【(1)性別】

			合計	男	女	無回答
男性	30歳～34歳	度数	96	50	46	
		行%	100.0	52.1	47.9	
	35歳～39歳	度数	119	72	46	1
		行%	100.0	60.5	38.7	.8
	40歳～44歳	度数	170	94	76	
		行%	100.0	55.3	44.7	
	45歳～49歳	度数	186	102	84	
		行%	100.0	54.8	45.2	
	合計	度数	571	318	252	1
		行%	100.0	55.7	44.1	.2
女性	30歳～34歳	度数	139	74	64	1
		行%	100.0	53.2	46.0	.7
	35歳～39歳	度数	155	79	73	3
		行%	100.0	51.0	47.1	1.9
	40歳～44歳	度数	165	83	81	1
		行%	100.0	50.3	49.1	.6
	45歳～49歳	度数	203	110	93	
		行%	100.0	54.2	45.8	
	合計	度数	662	346	311	5
		行%	100.0	52.3	47.0	.8
合計	30歳～34歳	度数	235	124	110	1
		行%	100.0	52.8	46.8	.4
	35歳～39歳	度数	274	151	119	4
		行%	100.0	55.1	43.4	1.5
	40歳～44歳	度数	335	177	157	1
		行%	100.0	52.8	46.9	.3
	45歳～49歳	度数	389	212	177	
		行%	100.0	54.5	45.5	
	合計	度数	1233	664	563	6
		行%	100.0	53.9	45.7	.5

Q18-2. 第一子(一番最初に産まれた子ども)について、あてはまるものを選択、必要な箇所は記入ください【(2)生年月(西暦)省略】

Q18-2. 第一子(一番最初に産まれた子ども)について、あてはまるものを選択、必要な箇所は記入
 ください【3】学校の種類『小学校』

			合計	国立	公立	私立	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	96	1	20	3	72	
		行%	100.0	1.0	20.8	3.1	75.0	
	35歳～39歳	度数	119	3	54	2	60	
		行%	100.0	2.5	45.4	1.7	50.4	
	40歳～44歳	度数	170	5	114	4	47	
		行%	100.0	2.9	67.1	2.4	27.6	
	45歳～49歳	度数	186	2	128	1	55	
		行%	100.0	1.1	68.8	.5	29.6	
	合計	度数	571	11	316	10	234	
		行%	100.0	1.9	55.3	1.8	41.0	
	女性	30歳～34歳	度数	139	1	45	1	92
			行%	100.0	.7	32.4	.7	66.2
35歳～39歳		度数	155	5	90	2	58	
		行%	100.0	3.2	58.1	1.3	37.4	
40歳～44歳		度数	165	6	116	3	40	
		行%	100.0	3.6	70.3	1.8	24.2	
45歳～49歳		度数	203	7	153	6	37	
		行%	100.0	3.4	75.4	3.0	18.2	
合計		度数	662	19	404	12	227	
		行%	100.0	2.9	61.0	1.8	34.3	
合計		30歳～34歳	度数	235	2	65	4	164
			行%	100.0	.9	27.7	1.7	69.8
	35歳～39歳	度数	274	8	144	4	118	
		行%	100.0	2.9	52.6	1.5	43.1	
	40歳～44歳	度数	335	11	230	7	87	
		行%	100.0	3.3	68.7	2.1	26.0	
	45歳～49歳	度数	389	9	281	7	92	
		行%	100.0	2.3	72.2	1.8	23.7	
	合計	度数	1233	30	720	22	461	
		行%	100.0	2.4	58.4	1.8	37.4	

Q18-2. 第一子(一番最初に産まれた子ども)について、あてはまるものを選択、必要な箇所は記入
 ください【3】学校の種類『中学校』

			合計	国立	公立	私立	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	96		4	1	91	
		行%	100.0		4.2	1.0	94.8	
	35歳～39歳	度数	119		7	1	111	
		行%	100.0		5.9	.8	93.3	
	40歳～44歳	度数	170	3	52	10	105	
		行%	100.0	1.8	30.6	5.9	61.8	
	45歳～49歳	度数	186	4	92	17	73	
		行%	100.0	2.2	49.5	9.1	39.2	
	合計	度数	571	7	155	29	380	
		行%	100.0	1.2	27.1	5.1	66.5	
	女性	30歳～34歳	度数	139		3		136
			行%	100.0		2.2		97.8
35歳～39歳		度数	155	2	32	4	117	
		行%	100.0	1.3	20.6	2.6	75.5	
40歳～44歳		度数	165	4	72	11	78	
		行%	100.0	2.4	43.6	6.7	47.3	
45歳～49歳		度数	203	10	120	29	44	
		行%	100.0	4.9	59.1	14.3	21.7	
合計		度数	662	16	227	44	375	
		行%	100.0	2.4	34.3	6.6	56.6	
合計		30歳～34歳	度数	235		7	1	227
			行%	100.0		3.0	.4	96.6
	35歳～39歳	度数	274	2	39	5	228	
		行%	100.0	.7	14.2	1.8	83.2	
	40歳～44歳	度数	335	7	124	21	183	
		行%	100.0	2.1	37.0	6.3	54.6	
	45歳～49歳	度数	389	14	212	46	117	
		行%	100.0	3.6	54.5	11.8	30.1	
	合計	度数	1233	23	382	73	755	
		行%	100.0	1.9	31.0	5.9	61.2	

Q18-2. 第一子(一番最初に産まれた子ども)について、あてはまるものを選択、必要な箇所は記入ください【3】
 学校の種類【高校】

			合計	国立	公立	私立	進学せず	無回答
男性	30歳～34歳	度数	96		1	2	1	92
		行%	100.0		1.0	2.1	1.0	95.8
	35歳～39歳	度数	119		3	1	2	113
		行%	100.0		2.5	.8	1.7	95.0
	40歳～44歳	度数	170	2	17	12	4	135
		行%	100.0	1.2	10.0	7.1	2.4	79.4
	45歳～49歳	度数	186	4	62	27	1	92
		行%	100.0	2.2	33.3	14.5	.5	49.5
	合計	度数	571	6	83	42	8	432
		行%	100.0	1.1	14.5	7.4	1.4	75.7
女性	30歳～34歳	度数	139			1	1	137
		行%	100.0			.7	.7	98.6
	35歳～39歳	度数	155	1	13	3	1	137
		行%	100.0	.6	8.4	1.9	.6	88.4
	40歳～44歳	度数	165	3	36	16		110
		行%	100.0	1.8	21.8	9.7		66.7
	45歳～49歳	度数	203	7	74	64	1	57
		行%	100.0	3.4	36.5	31.5	.5	28.1
	合計	度数	662	11	123	84	3	441
		行%	100.0	1.7	18.6	12.7	.5	66.6
合計	30歳～34歳	度数	235		1	3	2	229
		行%	100.0		.4	1.3	.9	97.4
	35歳～39歳	度数	274	1	16	4	3	250
		行%	100.0	.4	5.8	1.5	1.1	91.2
	40歳～44歳	度数	335	5	53	28	4	245
		行%	100.0	1.5	15.8	8.4	1.2	73.1
	45歳～49歳	度数	389	11	136	91	2	149
		行%	100.0	2.8	35.0	23.4	.5	38.3
	合計	度数	1233	17	206	126	11	873
		行%	100.0	1.4	16.7	10.2	.9	70.8

Q18-2. 第一子(一番最初に産まれた子ども)について、あてはまるものを選択、必要な箇所は記入ください【3】学校の種類
 【大学】

			合計	国立	公立	私立	浪人	進学せず	無回答
男性	30歳～34歳	度数	96	1		2		1	92
		行%	100.0	1.0		2.1		1.0	95.8
	35歳～39歳	度数	119		1	2		3	113
		行%	100.0		.8	1.7		2.5	95.0
	40歳～44歳	度数	170	2	1	4		7	156
		行%	100.0	1.2	.6	2.4		4.1	91.8
	45歳～49歳	度数	186	9	4	30	2	9	132
		行%	100.0	4.8	2.2	16.1	1.1	4.8	71.0
	合計	度数	571	12	6	38	2	20	493
		行%	100.0	2.1	1.1	6.7	.4	3.5	86.3
女性	30歳～34歳	度数	139			1		1	137
		行%	100.0			.7		.7	98.6
	35歳～39歳	度数	155			2		5	148
		行%	100.0			1.3		3.2	95.5
	40歳～44歳	度数	165	3	1	12		16	133
		行%	100.0	1.8	.6	7.3		9.7	80.6
	45歳～49歳	度数	203	22	4	66	6	30	75
		行%	100.0	10.8	2.0	32.5	3.0	14.8	36.9
	合計	度数	662	25	5	81	6	52	493
		行%	100.0	3.8	.8	12.2	.9	7.9	74.5
合計	30歳～34歳	度数	235	1		3		2	229
		行%	100.0	.4		1.3		.9	97.4
	35歳～39歳	度数	274		1	4		8	261
		行%	100.0		.4	1.5		2.9	95.3
	40歳～44歳	度数	335	5	2	16		23	289
		行%	100.0	1.5	.6	4.8		6.9	86.3
	45歳～49歳	度数	389	31	8	96	8	39	207
		行%	100.0	8.0	2.1	24.7	2.1	10.0	53.2
	合計	度数	1233	37	11	119	8	72	986
		行%	100.0	3.0	.9	9.7	.6	5.8	80.0

Q19. あなたのお子さん(第一子)は、どのようなお子さんだと思いますか。次の1)~12)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【1)明るい子】

			合計	とてもそう である	まあそう である	あまりそう でない	全然そう でない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	96	48	46	2		
		行%	100.0	50.0	47.9	2.1		
	35歳~39歳	度数	119	55	60	3	1	
		行%	100.0	46.2	50.4	2.5	.8	
	40歳~44歳	度数	170	66	87	15	1	1
		行%	100.0	38.8	51.2	8.8	.6	.6
	45歳~49歳	度数	186	46	113	25	2	
		行%	100.0	24.7	60.8	13.4	1.1	
	合計	度数	571	215	306	45	4	1
		行%	100.0	37.7	53.6	7.9	.7	.2
女性	30歳~34歳	度数	139	67	67	5		
		行%	100.0	48.2	48.2	3.6		
	35歳~39歳	度数	155	77	71	5		2
		行%	100.0	49.7	45.8	3.2		1.3
	40歳~44歳	度数	165	46	100	19		
		行%	100.0	27.9	60.6	11.5		
	45歳~49歳	度数	203	61	112	26	3	1
		行%	100.0	30.0	55.2	12.8	1.5	.5
	合計	度数	662	251	350	55	3	3
		行%	100.0	37.9	52.9	8.3	.5	.5
合計	30歳~34歳	度数	235	115	113	7		
		行%	100.0	48.9	48.1	3.0		
	35歳~39歳	度数	274	132	131	8	1	2
		行%	100.0	48.2	47.8	2.9	.4	.7
	40歳~44歳	度数	335	112	187	34	1	1
		行%	100.0	33.4	55.8	10.1	.3	.3
	45歳~49歳	度数	389	107	225	51	5	1
		行%	100.0	27.5	57.8	13.1	1.3	.3
	合計	度数	1233	466	656	100	7	4
		行%	100.0	37.8	53.2	8.1	.6	.3

Q19. あなたのお子さん(第一子)は、どのようなお子さんだと思いますか。次の1)~12)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【2)かっこいい子】

			合計	とてもそう である	まあそう である	あまりそう でない	全然そう でない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	96	20	46	26	4	
		行%	100.0	20.8	47.9	27.1	4.2	
	35歳~39歳	度数	119	21	59	38	1	
		行%	100.0	17.6	49.6	31.9	.8	
	40歳~44歳	度数	170	18	80	67	4	1
		行%	100.0	10.6	47.1	39.4	2.4	.6
	45歳~49歳	度数	186	14	83	80	8	1
		行%	100.0	7.5	44.6	43.0	4.3	.5
	合計	度数	571	73	268	211	17	2
		行%	100.0	12.8	46.9	37.0	3.0	.4
女性	30歳~34歳	度数	139	17	61	56	5	
		行%	100.0	12.2	43.9	40.3	3.6	
	35歳~39歳	度数	155	15	74	59	5	2
		行%	100.0	9.7	47.7	38.1	3.2	1.3
	40歳~44歳	度数	165	12	73	73	6	1
		行%	100.0	7.3	44.2	44.2	3.6	.6
	45歳~49歳	度数	203	14	95	80	13	1
		行%	100.0	6.9	46.8	39.4	6.4	.5
	合計	度数	662	58	303	268	29	4
		行%	100.0	8.8	45.8	40.5	4.4	.6
合計	30歳~34歳	度数	235	37	107	82	9	
		行%	100.0	15.7	45.5	34.9	3.8	
	35歳~39歳	度数	274	36	133	97	6	2
		行%	100.0	13.1	48.5	35.4	2.2	.7
	40歳~44歳	度数	335	30	153	140	10	2
		行%	100.0	9.0	45.7	41.8	3.0	.6
	45歳~49歳	度数	389	28	178	160	21	2
		行%	100.0	7.2	45.8	41.1	5.4	.5
	合計	度数	1233	131	571	479	46	6
		行%	100.0	10.6	46.3	38.8	3.7	.5

Q19. あなたのお子さん(第一子)は、どのようなお子さんだと思いますか。次の1)~12)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【3)元気な子】

			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	96	45	45	6		
		行%	100.0	46.9	46.9	6.3		
	35歳~39歳	度数	119	58	49	12		
		行%	100.0	48.7	41.2	10.1		
	40歳~44歳	度数	170	52	93	24		1
		行%	100.0	30.6	54.7	14.1		.6
	45歳~49歳	度数	186	37	108	38	3	
		行%	100.0	19.9	58.1	20.4	1.6	
	合計	度数	571	192	295	80	3	1
		行%	100.0	33.6	51.7	14.0	.5	.2
女性	30歳~34歳	度数	139	70	59	9		1
		行%	100.0	50.4	42.4	6.5		.7
	35歳~39歳	度数	155	76	59	17	1	2
		行%	100.0	49.0	38.1	11.0	.6	1.3
	40歳~44歳	度数	165	41	93	30	1	
		行%	100.0	24.8	56.4	18.2	.6	
	45歳~49歳	度数	203	45	105	49	3	1
		行%	100.0	22.2	51.7	24.1	1.5	.5
	合計	度数	662	232	316	105	5	4
		行%	100.0	35.0	47.7	15.9	.8	.6
合計	30歳~34歳	度数	235	115	104	15		1
		行%	100.0	48.9	44.3	6.4		.4
	35歳~39歳	度数	274	134	108	29	1	2
		行%	100.0	48.9	39.4	10.6	.4	.7
	40歳~44歳	度数	335	93	186	54	1	1
		行%	100.0	27.8	55.5	16.1	.3	.3
	45歳~49歳	度数	389	82	213	87	6	1
		行%	100.0	21.1	54.8	22.4	1.5	.3
	合計	度数	1233	424	611	185	8	5
		行%	100.0	34.4	49.6	15.0	.6	.4

Q19. あなたのお子さん(第一子)は、どのようなお子さんだと思いますか。次の1)~12)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【4)勉強ができる子】

			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	96	15	49	24	8	
		行%	100.0	15.6	51.0	25.0	8.3	
	35歳~39歳	度数	119	17	59	39	2	2
		行%	100.0	14.3	49.6	32.8	1.7	1.7
	40歳~44歳	度数	170	27	83	46	13	1
		行%	100.0	15.9	48.8	27.1	7.6	.6
	45歳~49歳	度数	186	28	96	54	7	1
		行%	100.0	15.1	51.6	29.0	3.8	.5
	合計	度数	571	87	287	163	30	4
		行%	100.0	15.2	50.3	28.5	5.3	.7
女性	30歳~34歳	度数	139	22	71	35	9	2
		行%	100.0	15.8	51.1	25.2	6.5	1.4
	35歳~39歳	度数	155	28	80	37	5	5
		行%	100.0	18.1	51.6	23.9	3.2	3.2
	40歳~44歳	度数	165	17	93	47	7	1
		行%	100.0	10.3	56.4	28.5	4.2	.6
	45歳~49歳	度数	203	28	103	63	8	1
		行%	100.0	13.8	50.7	31.0	3.9	.5
	合計	度数	662	95	347	182	29	9
		行%	100.0	14.4	52.4	27.5	4.4	1.4
合計	30歳~34歳	度数	235	37	120	59	17	2
		行%	100.0	15.7	51.1	25.1	7.2	.9
	35歳~39歳	度数	274	45	139	76	7	7
		行%	100.0	16.4	50.7	27.7	2.6	2.6
	40歳~44歳	度数	335	44	176	93	20	2
		行%	100.0	13.1	52.5	27.8	6.0	.6
	45歳~49歳	度数	389	56	199	117	15	2
		行%	100.0	14.4	51.2	30.1	3.9	.5
	合計	度数	1233	182	634	345	59	13
		行%	100.0	14.8	51.4	28.0	4.8	1.1

Q19. あなたのお子さん(第一子)は、どのようなお子さんだと思いますか。次の1)~12)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【5)やさしい子】

			合計	とてもそう である	まあそう である	あまりそう でない	全然そう でない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	96	29	56	11		
		行%	100.0	30.2	58.3	11.5		
	35歳~39歳	度数	119	44	64	10		1
		行%	100.0	37.0	53.8	8.4		.8
	40歳~44歳	度数	170	58	94	16	1	1
		行%	100.0	34.1	55.3	9.4	.6	.6
	45歳~49歳	度数	186	57	104	23	2	
		行%	100.0	30.6	55.9	12.4	1.1	
	合計	度数	571	188	318	60	3	2
		行%	100.0	32.9	55.7	10.5	.5	.4
女性	30歳~34歳	度数	139	57	73	8		1
		行%	100.0	41.0	52.5	5.8		.7
	35歳~39歳	度数	155	68	70	13	1	3
		行%	100.0	43.9	45.2	8.4	.6	1.9
	40歳~44歳	度数	165	68	85	12		
		行%	100.0	41.2	51.5	7.3		
	45歳~49歳	度数	203	91	92	16	2	2
		行%	100.0	44.8	45.3	7.9	1.0	1.0
	合計	度数	662	284	320	49	3	6
		行%	100.0	42.9	48.3	7.4	.5	.9
合計	30歳~34歳	度数	235	86	129	19		1
		行%	100.0	36.6	54.9	8.1		.4
	35歳~39歳	度数	274	112	134	23	1	4
		行%	100.0	40.9	48.9	8.4	.4	1.5
	40歳~44歳	度数	335	126	179	28	1	1
		行%	100.0	37.6	53.4	8.4	.3	.3
	45歳~49歳	度数	389	148	196	39	4	2
		行%	100.0	38.0	50.4	10.0	1.0	.5
	合計	度数	1233	472	638	109	6	8
		行%	100.0	38.3	51.7	8.8	.5	.6

Q19. あなたのお子さん(第一子)は、どのようなお子さんだと思いますか。次の1)~12)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【6)頼りになる子】

			合計	とてもそう である	まあそう である	あまりそう でない	全然そう でない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	96	16	48	27	5	
		行%	100.0	16.7	50.0	28.1	5.2	
	35歳~39歳	度数	119	22	61	34	1	1
		行%	100.0	18.5	51.3	28.6	.8	.8
	40歳~44歳	度数	170	37	69	56	7	1
		行%	100.0	21.8	40.6	32.9	4.1	.6
	45歳~49歳	度数	186	24	94	65	3	
		行%	100.0	12.9	50.5	34.9	1.6	
	合計	度数	571	99	272	182	16	2
		行%	100.0	17.3	47.6	31.9	2.8	.4
女性	30歳~34歳	度数	139	38	62	35	3	1
		行%	100.0	27.3	44.6	25.2	2.2	.7
	35歳~39歳	度数	155	46	76	27	1	5
		行%	100.0	29.7	49.0	17.4	.6	3.2
	40歳~44歳	度数	165	43	77	43	2	
		行%	100.0	26.1	46.7	26.1	1.2	
	45歳~49歳	度数	203	44	103	48	7	1
		行%	100.0	21.7	50.7	23.6	3.4	.5
	合計	度数	662	171	318	153	13	7
		行%	100.0	25.8	48.0	23.1	2.0	1.1
合計	30歳~34歳	度数	235	54	110	62	8	1
		行%	100.0	23.0	46.8	26.4	3.4	.4
	35歳~39歳	度数	274	68	137	61	2	6
		行%	100.0	24.8	50.0	22.3	.7	2.2
	40歳~44歳	度数	335	80	146	99	9	1
		行%	100.0	23.9	43.6	29.6	2.7	.3
	45歳~49歳	度数	389	68	197	113	10	1
		行%	100.0	17.5	50.6	29.0	2.6	.3
	合計	度数	1233	270	590	335	29	9
		行%	100.0	21.9	47.9	27.2	2.4	.7

Q19. あなたのお子さん(第一子)は、どのようなお子さんだと思いますか。次の1)~12)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【7)運動ができる子】

			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	96	22	42	25	7	
		行%	100.0	22.9	43.8	26.0	7.3	
	35歳~39歳	度数	119	26	52	34	6	1
		行%	100.0	21.8	43.7	28.6	5.0	.8
	40歳~44歳	度数	170	28	70	60	11	1
		行%	100.0	16.5	41.2	35.3	6.5	.6
	45歳~49歳	度数	186	22	66	82	16	
		行%	100.0	11.8	35.5	44.1	8.6	
	合計	度数	571	98	230	201	40	2
		行%	100.0	17.2	40.3	35.2	7.0	.4
女性	30歳~34歳	度数	139	28	65	35	9	2
		行%	100.0	20.1	46.8	25.2	6.5	1.4
	35歳~39歳	度数	155	26	65	47	14	3
		行%	100.0	16.8	41.9	30.3	9.0	1.9
	40歳~44歳	度数	165	20	57	72	15	1
		行%	100.0	12.1	34.5	43.6	9.1	.6
	45歳~49歳	度数	203	25	71	93	12	2
		行%	100.0	12.3	35.0	45.8	5.9	1.0
	合計	度数	662	99	258	247	50	8
		行%	100.0	15.0	39.0	37.3	7.6	1.2
合計	30歳~34歳	度数	235	50	107	60	16	2
		行%	100.0	21.3	45.5	25.5	6.8	.9
	35歳~39歳	度数	274	52	117	81	20	4
		行%	100.0	19.0	42.7	29.6	7.3	1.5
	40歳~44歳	度数	335	48	127	132	26	2
		行%	100.0	14.3	37.9	39.4	7.8	.6
	45歳~49歳	度数	389	47	137	175	28	2
		行%	100.0	12.1	35.2	45.0	7.2	.5
	合計	度数	1233	197	488	448	90	10
		行%	100.0	16.0	39.6	36.3	7.3	.8

Q19. あなたのお子さん(第一子)は、どのようなお子さんだと思いますか。次の1)~12)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【8)先生に好かれている子】

			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	96	16	57	16	6	1
		行%	100.0	16.7	59.4	16.7	6.3	1.0
	35歳~39歳	度数	119	30	71	13	4	1
		行%	100.0	25.2	59.7	10.9	3.4	.8
	40歳~44歳	度数	170	35	100	31	3	1
		行%	100.0	20.6	58.8	18.2	1.8	.6
	45歳~49歳	度数	186	25	121	36	3	1
		行%	100.0	13.4	65.1	19.4	1.6	.5
	合計	度数	571	106	349	96	16	4
		行%	100.0	18.6	61.1	16.8	2.8	.7
女性	30歳~34歳	度数	139	26	86	20	3	4
		行%	100.0	18.7	61.9	14.4	2.2	2.9
	35歳~39歳	度数	155	36	94	18	1	6
		行%	100.0	23.2	60.6	11.6	.6	3.9
	40歳~44歳	度数	165	30	110	24	1	
		行%	100.0	18.2	66.7	14.5	.6	
	45歳~49歳	度数	203	39	117	42	3	2
		行%	100.0	19.2	57.6	20.7	1.5	1.0
	合計	度数	662	131	407	104	8	12
		行%	100.0	19.8	61.5	15.7	1.2	1.8
合計	30歳~34歳	度数	235	42	143	36	9	5
		行%	100.0	17.9	60.9	15.3	3.8	2.1
	35歳~39歳	度数	274	66	165	31	5	7
		行%	100.0	24.1	60.2	11.3	1.8	2.6
	40歳~44歳	度数	335	65	210	55	4	1
		行%	100.0	19.4	62.7	16.4	1.2	.3
	45歳~49歳	度数	389	64	238	78	6	3
		行%	100.0	16.5	61.2	20.1	1.5	.8
	合計	度数	1233	237	756	200	24	16
		行%	100.0	19.2	61.3	16.2	1.9	1.3

Q19. あなたのお子さん(第一子)は、どのようなお子さんだと思いますか。次の1)~12)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【9)人より優れたところがある子】

			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	96	25	48	21	2	
		行%	100.0	26.0	50.0	21.9	2.1	
	35歳~39歳	度数	119	30	70	17	1	1
		行%	100.0	25.2	58.8	14.3	.8	.8
	40歳~44歳	度数	170	38	97	32	2	1
		行%	100.0	22.4	57.1	18.8	1.2	.6
	45歳~49歳	度数	186	30	122	34		
		行%	100.0	16.1	65.6	18.3		
	合計	度数	571	123	337	104	5	2
		行%	100.0	21.5	59.0	18.2	.9	.4
女性	30歳~34歳	度数	139	31	77	24	4	3
		行%	100.0	22.3	55.4	17.3	2.9	2.2
	35歳~39歳	度数	155	43	78	28	1	5
		行%	100.0	27.7	50.3	18.1	.6	3.2
	40歳~44歳	度数	165	28	98	39		
		行%	100.0	17.0	59.4	23.6		
	45歳~49歳	度数	203	44	119	37	2	1
		行%	100.0	21.7	58.6	18.2	1.0	.5
	合計	度数	662	146	372	128	7	9
		行%	100.0	22.1	56.2	19.3	1.1	1.4
合計	30歳~34歳	度数	235	56	125	45	6	3
		行%	100.0	23.8	53.2	19.1	2.6	1.3
	35歳~39歳	度数	274	73	148	45	2	6
		行%	100.0	26.6	54.0	16.4	.7	2.2
	40歳~44歳	度数	335	66	195	71	2	1
		行%	100.0	19.7	58.2	21.2	.6	.3
	45歳~49歳	度数	389	74	241	71	2	1
		行%	100.0	19.0	62.0	18.3	.5	.3
	合計	度数	1233	269	709	232	12	11
		行%	100.0	21.8	57.5	18.8	1.0	.9

Q19. あなたのお子さん(第一子)は、どのようなお子さんだと思いますか。次の1)~12)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【10)どんなことにも一生懸命である子】

			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	96	20	46	28	2	
		行%	100.0	20.8	47.9	29.2	2.1	
	35歳~39歳	度数	119	25	51	38	3	2
		行%	100.0	21.0	42.9	31.9	2.5	1.7
	40歳~44歳	度数	170	35	72	56	6	1
		行%	100.0	20.6	42.4	32.9	3.5	.6
	45歳~49歳	度数	186	27	81	72	6	
		行%	100.0	14.5	43.5	38.7	3.2	
	合計	度数	571	107	250	194	17	3
		行%	100.0	18.7	43.8	34.0	3.0	.5
女性	30歳~34歳	度数	139	31	64	38	4	2
		行%	100.0	22.3	46.0	27.3	2.9	1.4
	35歳~39歳	度数	155	37	66	44	3	5
		行%	100.0	23.9	42.6	28.4	1.9	3.2
	40歳~44歳	度数	165	19	83	59	3	1
		行%	100.0	11.5	50.3	35.8	1.8	.6
	45歳~49歳	度数	203	36	81	75	11	
		行%	100.0	17.7	39.9	36.9	5.4	
	合計	度数	662	123	294	216	21	8
		行%	100.0	18.6	44.4	32.6	3.2	1.2
合計	30歳~34歳	度数	235	51	110	66	6	2
		行%	100.0	21.7	46.8	28.1	2.6	.9
	35歳~39歳	度数	274	62	117	82	6	7
		行%	100.0	22.6	42.7	29.9	2.2	2.6
	40歳~44歳	度数	335	54	155	115	9	2
		行%	100.0	16.1	46.3	34.3	2.7	.6
	45歳~49歳	度数	389	63	162	147	17	
		行%	100.0	16.2	41.6	37.8	4.4	
	合計	度数	1233	230	544	410	38	11
		行%	100.0	18.7	44.1	33.3	3.1	.9

Q19. あなたのお子さん(第一子)は、どのようなお子さんだと思いますか。次の1)~12)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【11)失敗してもよくよい子】

			合計	とてもそう である	まあそう である	あまりそう でない	全然そう でない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	96	15	41	35	5	
		行%	100.0	15.6	42.7	36.5	5.2	
	35歳~39歳	度数	119	15	55	42	6	1
		行%	100.0	12.6	46.2	35.3	5.0	.8
	40歳~44歳	度数	170	17	80	64	8	1
		行%	100.0	10.0	47.1	37.6	4.7	.6
	45歳~49歳	度数	186	18	93	70	5	
		行%	100.0	9.7	50.0	37.6	2.7	
	合計	度数	571	65	269	211	24	2
		行%	100.0	11.4	47.1	37.0	4.2	.4
女性	30歳~34歳	度数	139	25	58	45	9	2
		行%	100.0	18.0	41.7	32.4	6.5	1.4
	35歳~39歳	度数	155	25	70	48	7	5
		行%	100.0	16.1	45.2	31.0	4.5	3.2
	40歳~44歳	度数	165	26	76	60	3	
		行%	100.0	15.8	46.1	36.4	1.8	
	45歳~49歳	度数	203	30	84	77	11	1
		行%	100.0	14.8	41.4	37.9	5.4	.5
	合計	度数	662	106	288	230	30	8
		行%	100.0	16.0	43.5	34.7	4.5	1.2
合計	30歳~34歳	度数	235	40	99	80	14	2
		行%	100.0	17.0	42.1	34.0	6.0	.9
	35歳~39歳	度数	274	40	125	90	13	6
		行%	100.0	14.6	45.6	32.8	4.7	2.2
	40歳~44歳	度数	335	43	156	124	11	1
		行%	100.0	12.8	46.6	37.0	3.3	.3
	45歳~49歳	度数	389	48	177	147	16	1
		行%	100.0	12.3	45.5	37.8	4.1	.3
	合計	度数	1233	171	557	441	54	10
		行%	100.0	13.9	45.2	35.8	4.4	.8

Q19. あなたのお子さん(第一子)は、どのようなお子さんだと思いますか。次の1)~12)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【12)クラスの人気者】

			合計	とてもそう である	まあそう である	あまりそう でない	全然そう でない	無回答
男性	30歳~34歳	度数	96	8	52	24	10	2
		行%	100.0	8.3	54.2	25.0	10.4	2.1
	35歳~39歳	度数	119	11	79	24	3	2
		行%	100.0	9.2	66.4	20.2	2.5	1.7
	40歳~44歳	度数	170	15	89	59	4	3
		行%	100.0	8.8	52.4	34.7	2.4	1.8
	45歳~49歳	度数	186	14	98	67	6	1
		行%	100.0	7.5	52.7	36.0	3.2	.5
	合計	度数	571	48	318	174	23	8
		行%	100.0	8.4	55.7	30.5	4.0	1.4
女性	30歳~34歳	度数	139	13	77	40	6	3
		行%	100.0	9.4	55.4	28.8	4.3	2.2
	35歳~39歳	度数	155	18	79	45	7	6
		行%	100.0	11.6	51.0	29.0	4.5	3.9
	40歳~44歳	度数	165	16	86	56	6	1
		行%	100.0	9.7	52.1	33.9	3.6	.6
	45歳~49歳	度数	203	15	88	84	11	5
		行%	100.0	7.4	43.3	41.4	5.4	2.5
	合計	度数	662	62	330	225	30	15
		行%	100.0	9.4	49.8	34.0	4.5	2.3
合計	30歳~34歳	度数	235	21	129	64	16	5
		行%	100.0	8.9	54.9	27.2	6.8	2.1
	35歳~39歳	度数	274	29	158	69	10	8
		行%	100.0	10.6	57.7	25.2	3.6	2.9
	40歳~44歳	度数	335	31	175	115	10	4
		行%	100.0	9.3	52.2	34.3	3.0	1.2
	45歳~49歳	度数	389	29	186	151	17	6
		行%	100.0	7.5	47.8	38.8	4.4	1.5
	合計	度数	1233	110	648	399	53	23
		行%	100.0	8.9	52.6	32.4	4.3	1.9

Q20. あなたは、お子さん(第一子)について、どの学校まで進ませたいですか(すでに卒業している場合は最終学歴をお答えください)

			合計	中学校	高等学校	高等専門 学校	短期大学	大学	大学院	その他	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	96	1	8	2	11	67	4	3		
		行%	100.0	1.0	8.3	2.1	11.5	69.8	4.2	3.1		
	35歳～39歳	度数	119	1	12	5	7	76	15	2	1	
		行%	100.0	.8	10.1	4.2	5.9	63.9	12.6	1.7	.8	
	40歳～44歳	度数	170		9	5	6	123	15	10	2	
		行%	100.0		5.3	2.9	3.5	72.4	8.8	5.9	1.2	
	45歳～49歳	度数	186	1	18	6	11	120	22	6	2	
		行%	100.0	.5	9.7	3.2	5.9	64.5	11.8	3.2	1.1	
	合計	度数	571	3	47	18	35	386	56	21	5	
		行%	100.0	.5	8.2	3.2	6.1	67.6	9.8	3.7	.9	
	女性	30歳～34歳	度数	139		17	8	10	95	5	3	1
			行%	100.0		12.2	5.8	7.2	68.3	3.6	2.2	.7
35歳～39歳		度数	155		12	6	12	105	11	7	2	
		行%	100.0		7.7	3.9	7.7	67.7	7.1	4.5	1.3	
40歳～44歳		度数	165	1	9	14	4	117	9	11		
		行%	100.0	.6	5.5	8.5	2.4	70.9	5.5	6.7		
45歳～49歳		度数	203	1	21	9	9	125	33	5		
		行%	100.0	.5	10.3	4.4	4.4	61.6	16.3	2.5		
合計		度数	662	2	59	37	35	442	58	26	3	
		行%	100.0	.3	8.9	5.6	5.3	66.8	8.8	3.9	.5	
合計		30歳～34歳	度数	235	1	25	10	21	162	9	6	1
			行%	100.0	.4	10.6	4.3	8.9	68.9	3.8	2.6	.4
	35歳～39歳	度数	274	1	24	11	19	181	26	9	3	
		行%	100.0	.4	8.8	4.0	6.9	66.1	9.5	3.3	1.1	
	40歳～44歳	度数	335	1	18	19	10	240	24	21	2	
		行%	100.0	.3	5.4	5.7	3.0	71.6	7.2	6.3	.6	
	45歳～49歳	度数	389	2	39	15	20	245	55	11	2	
		行%	100.0	.5	10.0	3.9	5.1	63.0	14.1	2.8	.5	
	合計	度数	1233	5	106	55	70	828	114	47	8	
		行%	100.0	.4	8.6	4.5	5.7	67.2	9.2	3.8	.6	

Q21. あなたは、お子さん(第一子)がどんな仕事に就きたいか(就いている場合も含む)知っていますか

			合計	知っている	知らない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	96	8	88		
		行%	100.0	8.3	91.7		
	35歳～39歳	度数	119	27	91	1	
		行%	100.0	22.7	76.5	.8	
	40歳～44歳	度数	170	45	123	2	
		行%	100.0	26.5	72.4	1.2	
	45歳～49歳	度数	186	71	115		
		行%	100.0	38.2	61.8		
	合計	度数	571	151	417	3	
		行%	100.0	26.4	73.0	.5	
	女性	30歳～34歳	度数	139	24	114	1
			行%	100.0	17.3	82.0	.7
35歳～39歳		度数	155	62	91	2	
		行%	100.0	40.0	58.7	1.3	
40歳～44歳		度数	165	66	97	2	
		行%	100.0	40.0	58.8	1.2	
45歳～49歳		度数	203	112	88	3	
		行%	100.0	55.2	43.3	1.5	
合計		度数	662	264	390	8	
		行%	100.0	39.9	58.9	1.2	
合計		30歳～34歳	度数	235	32	202	1
			行%	100.0	13.6	86.0	.4
	35歳～39歳	度数	274	89	182	3	
		行%	100.0	32.5	66.4	1.1	
	40歳～44歳	度数	335	111	220	4	
		行%	100.0	33.1	65.7	1.2	
	45歳～49歳	度数	389	183	203	3	
		行%	100.0	47.0	52.2	.8	
	合計	度数	1233	415	807	11	
		行%	100.0	33.7	65.5	.9	

Q22. あなたは、お子さん(第一子)が何のために働くと考えてほしいですか。次の1)~11)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【1)立身出世のため】

				Q22. 【1)立身出世のため】								
				合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わ ない	無回答			
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	96	4	28	53	10	1		
				行%	100.0	4.2	29.2	55.2	10.4	1.0		
			35歳~39 歳	度数	119	2	28	60	28	1		
				行%	100.0	1.7	23.5	50.4	23.5	.8		
			40歳~44 歳	度数	170	3	28	92	46	1		
				行%	100.0	1.8	16.5	54.1	27.1	.6		
			45歳~49 歳	度数	186	4	26	104	50	2		
				行%	100.0	2.2	14.0	55.9	26.9	1.1		
			合計	度数	571	13	110	309	134	5		
				行%	100.0	2.3	19.3	54.1	23.5	.9		
			女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	139	7	33	73	25	1
						行%	100.0	5.0	23.7	52.5	18.0	.7
	35歳~39 歳	度数			155	1	35	91	25	3		
		行%			100.0	.6	22.6	58.7	16.1	1.9		
	40歳~44 歳	度数			165	4	26	104	30	1		
		行%			100.0	2.4	15.8	63.0	18.2	.6		
	45歳~49 歳	度数			203	6	34	118	44	1		
		行%			100.0	3.0	16.7	58.1	21.7	.5		
	合計	度数			662	18	128	386	124	6		
		行%			100.0	2.7	19.3	58.3	18.7	.9		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか			30歳~34 歳	度数	235	11	61	126	35	2
						行%	100.0	4.7	26.0	53.6	14.9	.9
			35歳~39 歳	度数	274	3	63	151	53	4		
				行%	100.0	1.1	23.0	55.1	19.3	1.5		
40歳~44 歳			度数	335	7	54	196	76	2			
			行%	100.0	2.1	16.1	58.5	22.7	.6			
45歳~49 歳			度数	389	10	60	222	94	3			
			行%	100.0	2.6	15.4	57.1	24.2	.8			
合計			度数	1233	31	238	695	258	11			
			行%	100.0	2.5	19.3	56.4	20.9	.9			

Q22. あなたは、お子さん(第一子)が何のために働くと考えてほしいですか。次の1)~11)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【2)社会的評価を得るため】

				Q22. 【2)社会的評価を得るため】								
				合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わ ない	無回答			
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	96	8	37	41	9	1		
				行%	100.0	8.3	38.5	42.7	9.4	1.0		
			35歳~39 歳	度数	119	5	56	43	14	1		
				行%	100.0	4.2	47.1	36.1	11.8	.8		
			40歳~44 歳	度数	170	11	51	73	32	3		
				行%	100.0	6.5	30.0	42.9	18.8	1.8		
			45歳~49 歳	度数	186	8	60	85	31	2		
				行%	100.0	4.3	32.3	45.7	16.7	1.1		
			合計	度数	571	32	204	242	86	7		
				行%	100.0	5.6	35.7	42.4	15.1	1.2		
			女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	139	9	48	63	18	1
						行%	100.0	6.5	34.5	45.3	12.9	.7
	35歳~39 歳	度数			155	2	59	72	20	2		
		行%			100.0	1.3	38.1	46.5	12.9	1.3		
	40歳~44 歳	度数			165	7	57	83	17	1		
		行%			100.0	4.2	34.5	50.3	10.3	.6		
	45歳~49 歳	度数			203	11	93	78	20	1		
		行%			100.0	5.4	45.8	38.4	9.9	.5		
	合計	度数			662	29	257	296	75	5		
		行%			100.0	4.4	38.8	44.7	11.3	.8		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか			30歳~34 歳	度数	235	17	85	104	27	2
						行%	100.0	7.2	36.2	44.3	11.5	.9
			35歳~39 歳	度数	274	7	115	115	34	3		
				行%	100.0	2.6	42.0	42.0	12.4	1.1		
40歳~44 歳			度数	335	18	108	156	49	4			
			行%	100.0	5.4	32.2	46.6	14.6	1.2			
45歳~49 歳			度数	389	19	153	163	51	3			
			行%	100.0	4.9	39.3	41.9	13.1	.8			
合計			度数	1233	61	461	538	161	12			
			行%	100.0	4.9	37.4	43.6	13.1	1.0			

Q22. あなたは、お子さん(第一子)が何のために働くと考えてほしいですか。次の1)~11)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【3)経済的に豊かになるため】

				Q22. 【3)経済的に豊かになるため】						
				合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わ ない	無回答	
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	96	13	58	21	3	1
				行%	100.0	13.5	60.4	21.9	3.1	1.0
			35歳~39 歳	度数	119	24	66	20	8	1
				行%	100.0	20.2	55.5	16.8	6.7	.8
			40歳~44 歳	度数	170	35	92	33	9	1
				行%	100.0	20.6	54.1	19.4	5.3	.6
			45歳~49 歳	度数	186	26	123	29	5	3
				行%	100.0	14.0	66.1	15.6	2.7	1.6
			合計	度数	571	98	339	103	25	6
				行%	100.0	17.2	59.4	18.0	4.4	1.1
	女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	139	27	84	26	1	1
				行%	100.0	19.4	60.4	18.7	.7	.7
			35歳~39 歳	度数	155	22	106	23	2	2
				行%	100.0	14.2	68.4	14.8	1.3	1.3
			40歳~44 歳	度数	165	35	103	23	4	
				行%	100.0	21.2	62.4	13.9	2.4	
			45歳~49 歳	度数	203	43	130	25	4	1
				行%	100.0	21.2	64.0	12.3	2.0	.5
			合計	度数	662	127	423	97	11	4
				行%	100.0	19.2	63.9	14.7	1.7	.6
合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	235	40	142	47	4	2	
			行%	100.0	17.0	60.4	20.0	1.7	.9	
		35歳~39 歳	度数	274	46	172	43	10	3	
			行%	100.0	16.8	62.8	15.7	3.6	1.1	
		40歳~44 歳	度数	335	70	195	56	13	1	
			行%	100.0	20.9	58.2	16.7	3.9	.3	
		45歳~49 歳	度数	389	69	253	54	9	4	
			行%	100.0	17.7	65.0	13.9	2.3	1.0	
		合計	度数	1233	225	762	200	36	10	
			行%	100.0	18.2	61.8	16.2	2.9	.8	

Q22. あなたは、お子さん(第一子)が何のために働くと考えてほしいですか。次の1)~11)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【4)自分の得意なことを生かすため】

				Q22. 【4)自分の得意なことを生かすため】						
				合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わ ない	無回答	
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	96	40	48	5	2	1
				行%	100.0	41.7	50.0	5.2	2.1	1.0
			35歳~39 歳	度数	119	50	65	3		1
				行%	100.0	42.0	54.6	2.5		.8
			40歳~44 歳	度数	170	68	87	13	1	1
				行%	100.0	40.0	51.2	7.6	.6	.6
			45歳~49 歳	度数	186	68	105	7	3	3
				行%	100.0	36.6	56.5	3.8	1.6	1.6
			合計	度数	571	226	305	28	6	6
				行%	100.0	39.6	53.4	4.9	1.1	1.1
	女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	139	68	64	6		1
				行%	100.0	48.9	46.0	4.3		.7
			35歳~39 歳	度数	155	83	67	4		1
				行%	100.0	53.5	43.2	2.6		.6
			40歳~44 歳	度数	165	77	84	4		
				行%	100.0	46.7	50.9	2.4		
			45歳~49 歳	度数	203	87	105	8	2	1
				行%	100.0	42.9	51.7	3.9	1.0	.5
			合計	度数	662	315	320	22	2	3
				行%	100.0	47.6	48.3	3.3	.3	.5
合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	235	108	112	11	2	2	
			行%	100.0	46.0	47.7	4.7	.9	.9	
		35歳~39 歳	度数	274	133	132	7		2	
			行%	100.0	48.5	48.2	2.6		.7	
		40歳~44 歳	度数	335	145	171	17	1	1	
			行%	100.0	43.3	51.0	5.1	.3	.3	
		45歳~49 歳	度数	389	155	210	15	5	4	
			行%	100.0	39.8	54.0	3.9	1.3	1.0	
		合計	度数	1233	541	625	50	8	9	
			行%	100.0	43.9	50.7	4.1	.6	.7	

Q22. あなたは、お子さん(第一子)が何のために働くと考えてほしいですか。次の1)~11)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【5】自己実現のため

				Q22. 【5】自己実現のため						
				合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わ ない	無回答	
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	96	28	53	11	3	1
				行%	100.0	29.2	55.2	11.5	3.1	1.0
			35歳~39 歳	度数	119	53	60	4	1	1
				行%	100.0	44.5	50.4	3.4	.8	.8
			40歳~44 歳	度数	170	75	77	15	2	1
				行%	100.0	44.1	45.3	8.8	1.2	.6
	45歳~49 歳	度数	186	69	99	15	1	2		
		行%	100.0	37.1	53.2	8.1	.5	1.1		
	合計	度数	571	225	289	45	7	5		
		行%	100.0	39.4	50.6	7.9	1.2	.9		
	女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	139	65	62	9	3	2.2
				行%	100.0	46.8	44.6	6.5		
			35歳~39 歳	度数	155	60	84	10	1	1
				行%	100.0	38.7	54.2	6.5	.6	.6
			40歳~44 歳	度数	165	71	81	11	2	2
				行%	100.0	43.0	49.1	6.7	1.2	1.2
	45歳~49 歳	度数	203	84	106	9	2	2		
		行%	100.0	41.4	52.2	4.4	1.0	1.0		
合計	度数	662	280	333	39	2	8			
	行%	100.0	42.3	50.3	5.9	.3	1.2			
合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	235	93	115	20	3	4	
			行%	100.0	39.6	48.9	8.5	1.3	1.7	
		35歳~39 歳	度数	274	113	144	14	1	2	
			行%	100.0	41.2	52.6	5.1	.4	.7	
		40歳~44 歳	度数	335	146	158	26	2	3	
			行%	100.0	43.6	47.2	7.8	.6	.9	
45歳~49 歳	度数	389	153	205	24	3	4			
	行%	100.0	39.3	52.7	6.2	.8	1.0			
合計	度数	1233	505	622	84	9	13			
	行%	100.0	41.0	50.4	6.8	.7	1.1			

Q22. あなたは、お子さん(第一子)が何のために働くと考えてほしいですか。次の1)~11)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【6】人生を楽しむ金銭的余裕が必要なため

				Q22. 【6】人生を楽しむ金銭的余裕が必要なため						
				合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わ ない	無回答	
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	96	18	55	19	2	2
				行%	100.0	18.8	57.3	19.8	2.1	2.1
			35歳~39 歳	度数	119	25	68	16	8	2
				行%	100.0	21.0	57.1	13.4	6.7	1.7
			40歳~44 歳	度数	170	39	86	41	3	1
				行%	100.0	22.9	50.6	24.1	1.8	.6
	45歳~49 歳	度数	186	21	126	33	4	2		
		行%	100.0	11.3	67.7	17.7	2.2	1.1		
	合計	度数	571	103	335	109	17	7		
		行%	100.0	18.0	58.7	19.1	3.0	1.2		
	女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	139	29	91	17	1	1
				行%	100.0	20.9	65.5	12.2	.7	.7
			35歳~39 歳	度数	155	28	107	18	1	1
				行%	100.0	18.1	69.0	11.6	.6	.6
			40歳~44 歳	度数	165	34	109	20	2	
				行%	100.0	20.6	66.1	12.1	1.2	
	45歳~49 歳	度数	203	51	127	22	2	1		
		行%	100.0	25.1	62.6	10.8	1.0	.5		
合計	度数	662	142	434	77	6	3			
	行%	100.0	21.5	65.6	11.6	.9	.5			
合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	235	47	146	36	3	3	
			行%	100.0	20.0	62.1	15.3	1.3	1.3	
		35歳~39 歳	度数	274	53	175	34	9	3	
			行%	100.0	19.3	63.9	12.4	3.3	1.1	
		40歳~44 歳	度数	335	73	195	61	5	1	
			行%	100.0	21.8	58.2	18.2	1.5	.3	
45歳~49 歳	度数	389	72	253	55	6	3			
	行%	100.0	18.5	65.0	14.1	1.5	.8			
合計	度数	1233	245	769	186	23	10			
	行%	100.0	19.9	62.4	15.1	1.9	.8			

Q22. あなたは、お子さん(第一子)が何のために働くと考えてほしいですか。次の1)~11)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【7)生活を維持するため】

					Q22. 【7)生活を維持するため】					
					合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わ ない	無回答
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	96	27	48	17	3	1
				行%	100.0	28.1	50.0	17.7	3.1	1.0
			35歳~39 歳	度数	119	25	73	12	8	1
				行%	100.0	21.0	61.3	10.1	6.7	.8
			40歳~44 歳	度数	170	35	104	28	2	1
				行%	100.0	20.6	61.2	16.5	1.2	.6
			45歳~49 歳	度数	186	30	122	29	3	2
				行%	100.0	16.1	65.6	15.6	1.6	1.1
			合計	度数	571	117	347	86	16	5
				行%	100.0	20.5	60.8	15.1	2.8	.9
	女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	139	36	96	5	1	1
				行%	100.0	25.9	69.1	3.6	.7	.7
			35歳~39 歳	度数	155	36	110	7	1	1
				行%	100.0	23.2	71.0	4.5	.6	.6
			40歳~44 歳	度数	165	52	99	11	3	
				行%	100.0	31.5	60.0	6.7	1.8	
			45歳~49 歳	度数	203	59	125	16	2	1
				行%	100.0	29.1	61.6	7.9	1.0	.5
			合計	度数	662	183	430	39	7	3
				行%	100.0	27.6	65.0	5.9	1.1	.5
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	235	63	144	22	4	2
行%				100.0	26.8	61.3	9.4	1.7	.9	
35歳~39 歳			度数	274	61	183	19	9	2	
			行%	100.0	22.3	66.8	6.9	3.3	.7	
40歳~44 歳			度数	335	87	203	39	5	1	
			行%	100.0	26.0	60.6	11.6	1.5	.3	
45歳~49 歳			度数	389	89	247	45	5	3	
			行%	100.0	22.9	63.5	11.6	1.3	.8	
合計			度数	1233	300	777	125	23	8	
			行%	100.0	24.3	63.0	10.1	1.9	.6	

Q22. あなたは、お子さん(第一子)が何のために働くと考えてほしいですか。次の1)~11)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【8)社会と協調して生きるため】

					Q22. 【8)社会と協調して生きるため】					
					合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わ ない	無回答
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	96	15	66	12	2	1
				行%	100.0	15.6	68.8	12.5	2.1	1.0
			35歳~39 歳	度数	119	24	73	16	5	1
				行%	100.0	20.2	61.3	13.4	4.2	.8
			40歳~44 歳	度数	170	27	108	31	2	2
				行%	100.0	15.9	63.5	18.2	1.2	1.2
			45歳~49 歳	度数	186	17	128	34	5	2
				行%	100.0	9.1	68.8	18.3	2.7	1.1
			合計	度数	571	83	375	93	14	6
				行%	100.0	14.5	65.7	16.3	2.5	1.1
	女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	139	29	88	20	1	1
				行%	100.0	20.9	63.3	14.4	.7	.7
			35歳~39 歳	度数	155	31	108	14	1	1
				行%	100.0	20.0	69.7	9.0	.6	.6
			40歳~44 歳	度数	165	36	112	17		
				行%	100.0	21.8	67.9	10.3		
			45歳~49 歳	度数	203	37	143	18	5	
				行%	100.0	18.2	70.4	8.9	2.5	
			合計	度数	662	133	451	69	7	2
				行%	100.0	20.1	68.1	10.4	1.1	.3
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	235	44	154	32	3	2
行%				100.0	18.7	65.5	13.6	1.3	.9	
35歳~39 歳			度数	274	55	181	30	6	2	
			行%	100.0	20.1	66.1	10.9	2.2	.7	
40歳~44 歳			度数	335	63	220	48	2	2	
			行%	100.0	18.8	65.7	14.3	.6	.6	
45歳~49 歳			度数	389	54	271	52	10	2	
			行%	100.0	13.9	69.7	13.4	2.6	.5	
合計			度数	1233	216	826	162	21	8	
			行%	100.0	17.5	67.0	13.1	1.7	.6	

Q22. あなたは、お子さん(第一子)が何のために働くと考えてほしいですか。次の1)~11)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【9)社会に貢献するため】

				Q22. 【9)社会に貢献するため】						
				合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わ ない	無回答	
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	96	17	49	27	2	1
				行%	100.0	17.7	51.0	28.1	2.1	1.0
			35歳~39 歳	度数	119	21	70	22	5	1
				行%	100.0	17.6	58.8	18.5	4.2	.8
			40歳~44 歳	度数	170	32	85	46	6	1
				行%	100.0	18.8	50.0	27.1	3.5	.6
			45歳~49 歳	度数	186	26	109	44	5	2
	行%	100.0		14.0	58.6	23.7	2.7	1.1		
	合計	度数	571	96	313	139	18	5		
		行%	100.0	16.8	54.8	24.3	3.2	.9		
	女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	139	20	82	30	5	2
				行%	100.0	14.4	59.0	21.6	3.6	1.4
			35歳~39 歳	度数	155	21	102	29	2	1
				行%	100.0	13.5	65.8	18.7	1.3	.6
			40歳~44 歳	度数	165	27	94	37	6	1
				行%	100.0	16.4	57.0	22.4	3.6	.6
			45歳~49 歳	度数	203	28	131	37	6	1
	行%	100.0		13.8	64.5	18.2	3.0	.5		
	合計	度数	662	96	409	133	19	5		
		行%	100.0	14.5	61.8	20.1	2.9	.8		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	235	37	131	57	7	3
行%				100.0	15.7	55.7	24.3	3.0	1.3	
35歳~39 歳			度数	274	42	172	51	7	2	
			行%	100.0	15.3	62.8	18.6	2.6	.7	
40歳~44 歳			度数	335	59	179	83	12	2	
			行%	100.0	17.6	53.4	24.8	3.6	.6	
45歳~49 歳			度数	389	54	240	81	11	3	
	行%	100.0	13.9	61.7	20.8	2.8	.8			
合計	度数	1233	192	722	272	37	10			
	行%	100.0	15.6	58.6	22.1	3.0	.8			

Q22. あなたは、お子さん(第一子)が何のために働くと考えてほしいですか。次の1)~11)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【10)働くのは当然だから】

				Q22. 【10)働くのは当然だから】						
				合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わ ない	無回答	
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	96	15	45	28	7	1
				行%	100.0	15.6	46.9	29.2	7.3	1.0
			35歳~39 歳	度数	119	21	60	25	12	1
				行%	100.0	17.6	50.4	21.0	10.1	.8
			40歳~44 歳	度数	170	30	74	47	15	4
				行%	100.0	17.6	43.5	27.6	8.8	2.4
			45歳~49 歳	度数	186	30	108	37	9	2
	行%	100.0		16.1	58.1	19.9	4.8	1.1		
	合計	度数	571	96	287	137	43	8		
		行%	100.0	16.8	50.3	24.0	7.5	1.4		
	女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	139	29	86	19	4	1
				行%	100.0	20.9	61.9	13.7	2.9	.7
			35歳~39 歳	度数	155	27	92	32	3	1
				行%	100.0	17.4	59.4	20.6	1.9	.6
			40歳~44 歳	度数	165	39	97	27	2	
				行%	100.0	23.6	58.8	16.4	1.2	
			45歳~49 歳	度数	203	57	115	24	5	2
	行%	100.0		28.1	56.7	11.8	2.5	1.0		
	合計	度数	662	152	390	102	14	4		
		行%	100.0	23.0	58.9	15.4	2.1	.6		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳~34 歳	度数	235	44	131	47	11	2
行%				100.0	18.7	55.7	20.0	4.7	.9	
35歳~39 歳			度数	274	48	152	57	15	2	
			行%	100.0	17.5	55.5	20.8	5.5	.7	
40歳~44 歳			度数	335	69	171	74	17	4	
			行%	100.0	20.6	51.0	22.1	5.1	1.2	
45歳~49 歳			度数	389	87	223	61	14	4	
	行%	100.0	22.4	57.3	15.7	3.6	1.0			
合計	度数	1233	248	677	239	57	12			
	行%	100.0	20.1	54.9	19.4	4.6	1.0			

Q22. あなたは、お子さん(第一子)が何のために働くと考えてほしいですか。次の1)~11)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください【11)経済的に困窮しないため】

				Q22. 【11)経済的に困窮しないため】						
				合計	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わ ない	無回答	
性別 区分	男性	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳~34歳	度数	96	22	53	14	3	4
				行%	100.0	22.9	55.2	14.6	3.1	4.2
			35歳~39歳	度数	119	25	73	12	6	3
				行%	100.0	21.0	61.3	10.1	5.0	2.5
			40歳~44歳	度数	170	41	100	24	3	2
				行%	100.0	24.1	58.8	14.1	1.8	1.2
	45歳~49歳	度数	186	28	138	13	5	2		
		行%	100.0	15.1	74.2	7.0	2.7	1.1		
	合計	度数	571	116	364	63	17	11		
		行%	100.0	20.3	63.7	11.0	3.0	1.9		
	女性	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳~34歳	度数	139	37	85	13	1	3
				行%	100.0	26.6	61.2	9.4	.7	2.2
			35歳~39歳	度数	155	42	101	10	1	1
				行%	100.0	27.1	65.2	6.5	.6	.6
			40歳~44歳	度数	165	50	97	13	3	2
				行%	100.0	30.3	58.8	7.9	1.8	1.2
	45歳~49歳	度数	203	63	123	9	3	5		
		行%	100.0	31.0	60.6	4.4	1.5	2.5		
合計	度数	662	192	406	45	8	11			
	行%	100.0	29.0	61.3	6.8	1.2	1.7			
合計	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳~34歳	度数	235	59	138	27	4	7	
			行%	100.0	25.1	58.7	11.5	1.7	3.0	
		35歳~39歳	度数	274	67	174	22	7	4	
			行%	100.0	24.5	63.5	8.0	2.6	1.5	
		40歳~44歳	度数	335	91	197	37	6	4	
			行%	100.0	27.2	58.8	11.0	1.8	1.2	
45歳~49歳	度数	389	91	261	22	8	7			
	行%	100.0	23.4	67.1	5.7	2.1	1.8			
合計	度数	1233	308	770	108	25	22			
	行%	100.0	25.0	62.4	8.8	2.0	1.8			

Q23. あなたは、お子さん(第一子)の進路・就職について、どのように考えていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください【1)職業資格に結びつく勉強をしてほしい】

				Q23. 【1)職業資格に結びつく勉強をしてほしい】						
				合計	とてもそう である	まあそう である	あまりそう でない	ぜんぜん そうでな い	無回答	
性別 区分	男性	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳~34歳	度数	96	25	57	11	2	1
				行%	100.0	26.0	59.4	11.5	2.1	1.0
			35歳~39歳	度数	119	30	59	19	11	
				行%	100.0	25.2	49.6	16.0	9.2	
			40歳~44歳	度数	170	43	95	25	6	1
				行%	100.0	25.3	55.9	14.7	3.5	.6
	45歳~49歳	度数	186	47	110	26	3			
		行%	100.0	25.3	59.1	14.0	1.6			
	合計	度数	571	145	321	81	22	2		
		行%	100.0	25.4	56.2	14.2	3.9	.4		
	女性	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳~34歳	度数	139	45	77	14	3	
				行%	100.0	32.4	55.4	10.1	2.2	
			35歳~39歳	度数	155	53	86	12	3	1
				行%	100.0	34.2	55.5	7.7	1.9	.6
			40歳~44歳	度数	165	78	65	19	2	1
				行%	100.0	47.3	39.4	11.5	1.2	.6
	45歳~49歳	度数	203	82	99	18	3	1		
		行%	100.0	40.4	48.8	8.9	1.5	.5		
合計	度数	662	258	327	63	11	3			
	行%	100.0	39.0	49.4	9.5	1.7	.5			
合計	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳~34歳	度数	235	70	134	25	5	1	
			行%	100.0	29.8	57.0	10.6	2.1	.4	
		35歳~39歳	度数	274	83	145	31	14	1	
			行%	100.0	30.3	52.9	11.3	5.1	.4	
		40歳~44歳	度数	335	121	160	44	8	2	
			行%	100.0	36.1	47.8	13.1	2.4	.6	
45歳~49歳	度数	389	129	209	44	6	1			
	行%	100.0	33.2	53.7	11.3	1.5	.3			
合計	度数	1233	403	648	144	33	5			
	行%	100.0	32.7	52.6	11.7	2.7	.4			

Q23. あなたは、お子さん(第一子)の進路・就職について、どのように考えていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください【2】有名大学に進学させたい】

					Q23. 【2】有名大学に進学させたい】							
					合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	ぜんぜん そうで ない	無回答		
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	6	23	50	15	2		
				行%	100.0	6.3	24.0	52.1	15.6	2.1		
			35歳～39 歳	度数	119	10	35	45	29			
				行%	100.0	8.4	29.4	37.8	24.4			
			40歳～44 歳	度数	170	17	55	67	30	1		
				行%	100.0	10.0	32.4	39.4	17.6	.6		
			45歳～49 歳	度数	186	12	58	91	25			
				行%	100.0	6.5	31.2	48.9	13.4			
			合計	度数	571	45	171	253	99	3		
				行%	100.0	7.9	29.9	44.3	17.3	.5		
			女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	10	34	65	30	
						行%	100.0	7.2	24.5	46.8	21.6	
	35歳～39 歳	度数			155	10	51	68	26			
		行%			100.0	6.5	32.9	43.9	16.8			
	40歳～44 歳	度数			165	20	46	70	26	3		
		行%			100.0	12.1	27.9	42.4	15.8	1.8		
	45歳～49 歳	度数			203	18	77	67	40	1		
		行%			100.0	8.9	37.9	33.0	19.7	.5		
	合計	度数			662	58	208	270	122	4		
		行%			100.0	8.8	31.4	40.8	18.4	.6		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか			30歳～34 歳	度数	235	16	57	115	45	2
行%						100.0	6.8	24.3	48.9	19.1	.9	
35歳～39 歳			度数	274	20	86	113	55				
			行%	100.0	7.3	31.4	41.2	20.1				
40歳～44 歳			度数	335	37	101	137	56	4			
			行%	100.0	11.0	30.1	40.9	16.7	1.2			
45歳～49 歳			度数	389	30	135	158	65	1			
			行%	100.0	7.7	34.7	40.6	16.7	.3			
合計			度数	1233	103	379	523	221	7			
			行%	100.0	8.4	30.7	42.4	17.9	.6			

Q23. あなたは、お子さん(第一子)の進路・就職について、どのように考えていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください【3】収入は少なくとも好きな仕事に就いてほしい】

					Q23. 【3】収入は少なくとも好きな仕事に就いてほしい】							
					合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	ぜんぜん そうで ない	無回答		
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	13	57	21	4	1		
				行%	100.0	13.5	59.4	21.9	4.2	1.0		
			35歳～39 歳	度数	119	24	60	29	6			
				行%	100.0	20.2	50.4	24.4	5.0			
			40歳～44 歳	度数	170	31	86	44	8	1		
				行%	100.0	18.2	50.6	25.9	4.7	.6		
			45歳～49 歳	度数	186	16	105	57	8			
				行%	100.0	8.6	56.5	30.6	4.3			
			合計	度数	571	84	308	151	26	2		
				行%	100.0	14.7	53.9	26.4	4.6	.4		
			女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	21	70	44	4	
						行%	100.0	15.1	50.4	31.7	2.9	
	35歳～39 歳	度数			155	19	77	53	6			
		行%			100.0	12.3	49.7	34.2	3.9			
	40歳～44 歳	度数			165	12	95	53	4	1		
		行%			100.0	7.3	57.6	32.1	2.4	.6		
	45歳～49 歳	度数			203	20	116	60	6	1		
		行%			100.0	9.9	57.1	29.6	3.0	.5		
	合計	度数			662	72	358	210	20	2		
		行%			100.0	10.9	54.1	31.7	3.0	.3		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか			30歳～34 歳	度数	235	34	127	65	8	1
行%						100.0	14.5	54.0	27.7	3.4	.4	
35歳～39 歳			度数	274	43	137	82	12				
			行%	100.0	15.7	50.0	29.9	4.4				
40歳～44 歳			度数	335	43	181	97	12	2			
			行%	100.0	12.8	54.0	29.0	3.6	.6			
45歳～49 歳			度数	389	36	221	117	14	1			
			行%	100.0	9.3	56.8	30.1	3.6	.3			
合計			度数	1233	156	666	361	46	4			
			行%	100.0	12.7	54.0	29.3	3.7	.3			

Q23. あなたは、お子さん(第一子)の進路・就職について、どのように考えていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください【(4)アルバイトやフリーターでよいから、とにかく働いてほしい】

				Q23. 【(4)アルバイトやフリーターでよいから、とにかく働いてほしい】								
				合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	ぜんぜん そうで ない	無回答			
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	4	21	41	28	2		
				行%	100.0	4.2	21.9	42.7	29.2	2.1		
			35歳～39 歳	度数	119	2	20	53	44			
				行%	100.0	1.7	16.8	44.5	37.0			
			40歳～44 歳	度数	170	8	23	82	56	1		
				行%	100.0	4.7	13.5	48.2	32.9	.6		
			45歳～49 歳	度数	186	3	23	95	65			
				行%	100.0	1.6	12.4	51.1	34.9			
			合計	度数	571	17	87	271	193	3		
				行%	100.0	3.0	15.2	47.5	33.8	.5		
			女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	3	26	73	37	
						行%	100.0	2.2	18.7	52.5	26.6	
	35歳～39 歳	度数			155		24	81	48	2		
		行%			100.0		15.5	52.3	31.0	1.3		
	40歳～44 歳	度数			165	3	23	86	52	1		
		行%			100.0	1.8	13.9	52.1	31.5	.6		
	45歳～49 歳	度数			203	8	39	93	61	2		
		行%			100.0	3.9	19.2	45.8	30.0	1.0		
	合計	度数			662	14	112	333	198	5		
		行%			100.0	2.1	16.9	50.3	29.9	.8		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか			30歳～34 歳	度数	235	7	47	114	65	2
						行%	100.0	3.0	20.0	48.5	27.7	.9
			35歳～39 歳	度数	274	2	44	134	92	2		
				行%	100.0	.7	16.1	48.9	33.6	.7		
40歳～44 歳			度数	335	11	46	168	108	2			
			行%	100.0	3.3	13.7	50.1	32.2	.6			
45歳～49 歳			度数	389	11	62	188	126	2			
			行%	100.0	2.8	15.9	48.3	32.4	.5			
合計			度数	1233	31	199	604	391	8			
			行%	100.0	2.5	16.1	49.0	31.7	.6			

Q23. あなたは、お子さん(第一子)の進路・就職について、どのように考えていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください【(5)手に職をつけてほしい】

				Q23. 【(5)手に職をつけてほしい】								
				合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	ぜんぜん そうで ない	無回答			
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	27	52	13	3	1		
				行%	100.0	28.1	54.2	13.5	3.1	1.0		
			35歳～39 歳	度数	119	30	70	14	5			
				行%	100.0	25.2	58.8	11.8	4.2			
			40歳～44 歳	度数	170	41	103	22	3	1		
				行%	100.0	24.1	60.6	12.9	1.8	.6		
			45歳～49 歳	度数	186	39	115	28	3	1		
				行%	100.0	21.0	61.8	15.1	1.6	.5		
			合計	度数	571	137	340	77	14	3		
				行%	100.0	24.0	59.5	13.5	2.5	.5		
			女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	56	72	8	2	1
						行%	100.0	40.3	51.8	5.8	1.4	.7
	35歳～39 歳	度数			155	64	79	11	1			
		行%			100.0	41.3	51.0	7.1	.6			
	40歳～44 歳	度数			165	63	84	15	1	2		
		行%			100.0	38.2	50.9	9.1	.6	1.2		
	45歳～49 歳	度数			203	62	113	22	5	1		
		行%			100.0	30.5	55.7	10.8	2.5	.5		
	合計	度数			662	245	348	56	9	4		
		行%			100.0	37.0	52.6	8.5	1.4	.6		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか			30歳～34 歳	度数	235	83	124	21	5	2
						行%	100.0	35.3	52.8	8.9	2.1	.9
			35歳～39 歳	度数	274	94	149	25	6			
				行%	100.0	34.3	54.4	9.1	2.2			
40歳～44 歳			度数	335	104	187	37	4	3			
			行%	100.0	31.0	55.8	11.0	1.2	.9			
45歳～49 歳			度数	389	101	228	50	8	2			
			行%	100.0	26.0	58.6	12.9	2.1	.5			
合計			度数	1233	382	688	133	23	7			
			行%	100.0	31.0	55.8	10.8	1.9	.6			

Q23. あなたは、お子さん(第一子)の進路・就職について、どのように考えていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください【6】親の希望する職業に就いてほしい】

				Q23. 【6】親の希望する職業に就いてほしい】						
				合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	ぜんぜん そう でない	無回答	
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	3	14	43	35	1
				行%	100.0	3.1	14.6	44.8	36.5	1.0
			35歳～39 歳	度数	119	4	15	46	54	
				行%	100.0	3.4	12.6	38.7	45.4	
			40歳～44 歳	度数	170	8	23	77	61	1
				行%	100.0	4.7	13.5	45.3	35.9	.6
			45歳～49 歳	度数	186	3	20	98	65	
	行%	100.0		1.6	10.8	52.7	34.9			
	合計	度数	571	18	72	264	215	2		
		行%	100.0	3.2	12.6	46.2	37.7	.4		
	女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	6	24	57	52	
				行%	100.0	4.3	17.3	41.0	37.4	
			35歳～39 歳	度数	155	3	24	82	46	
				行%	100.0	1.9	15.5	52.9	29.7	
			40歳～44 歳	度数	165	3	23	87	51	1
				行%	100.0	1.8	13.9	52.7	30.9	.6
			45歳～49 歳	度数	203	3	29	93	76	2
	行%	100.0		1.5	14.3	45.8	37.4	1.0		
	合計	度数	662	15	100	319	225	3		
		行%	100.0	2.3	15.1	48.2	34.0	.5		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	235	9	38	100	87	1
行%				100.0	3.8	16.2	42.6	37.0	.4	
35歳～39 歳			度数	274	7	39	128	100		
			行%	100.0	2.6	14.2	46.7	36.5		
40歳～44 歳			度数	335	11	46	164	112	2	
			行%	100.0	3.3	13.7	49.0	33.4	.6	
45歳～49 歳			度数	389	6	49	191	141	2	
	行%	100.0	1.5	12.6	49.1	36.2	.5			
合計	度数	1233	33	172	583	440	5			
	行%	100.0	2.7	13.9	47.3	35.7	.4			

Q23. あなたは、お子さん(第一子)の進路・就職について、どのように考えていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください【7】一流企業に勤めてほしい】

				Q23. 【7】一流企業に勤めてほしい】						
				合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	ぜんぜん そう でない	無回答	
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	5	17	47	26	1
				行%	100.0	5.2	17.7	49.0	27.1	1.0
			35歳～39 歳	度数	119	3	28	55	33	
				行%	100.0	2.5	23.5	46.2	27.7	
			40歳～44 歳	度数	170	11	35	73	50	1
				行%	100.0	6.5	20.6	42.9	29.4	.6
			45歳～49 歳	度数	186	6	42	96	42	
	行%	100.0		3.2	22.6	51.6	22.6			
	合計	度数	571	25	122	271	151	2		
		行%	100.0	4.4	21.4	47.5	26.4	.4		
	女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	5	24	68	41	1
				行%	100.0	3.6	17.3	48.9	29.5	.7
			35歳～39 歳	度数	155	4	35	73	43	
				行%	100.0	2.6	22.6	47.1	27.7	
			40歳～44 歳	度数	165	7	32	92	33	1
				行%	100.0	4.2	19.4	55.8	20.0	.6
			45歳～49 歳	度数	203	7	53	82	60	1
	行%	100.0		3.4	26.1	40.4	29.6	.5		
	合計	度数	662	23	144	315	177	3		
		行%	100.0	3.5	21.8	47.6	26.7	.5		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	235	10	41	115	67	2
行%				100.0	4.3	17.4	48.9	28.5	.9	
35歳～39 歳			度数	274	7	63	128	76		
			行%	100.0	2.6	23.0	46.7	27.7		
40歳～44 歳			度数	335	18	67	165	83	2	
			行%	100.0	5.4	20.0	49.3	24.8	.6	
45歳～49 歳			度数	389	13	95	178	102	1	
	行%	100.0	3.3	24.4	45.8	26.2	.3			
合計	度数	1233	48	266	586	328	5			
	行%	100.0	3.9	21.6	47.5	26.6	.4			

Q23. あなたは、お子さん(第一子)の進路・就職について、どのように考えていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください【8】公務員になってほしい】

				Q23.【8】公務員になってほしい】						
				合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	ぜん ぜん そう でない	無回答	
性別 区分	男性	Q2.あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	8	25	32	30	1
				行%	100.0	8.3	26.0	33.3	31.3	1.0
			35歳～39 歳	度数	119	6	28	48	37	
				行%	100.0	5.0	23.5	40.3	31.1	
			40歳～44 歳	度数	170	17	39	70	43	1
				行%	100.0	10.0	22.9	41.2	25.3	.6
	45歳～49 歳	度数	186	7	46	96	37			
		行%	100.0	3.8	24.7	51.6	19.9			
	合計	度数	571	38	138	246	147	2		
		行%	100.0	6.7	24.2	43.1	25.7	.4		
	女性	Q2.あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	5	29	62	43	
				行%	100.0	3.6	20.9	44.6	30.9	
			35歳～39 歳	度数	155	13	43	66	33	
				行%	100.0	8.4	27.7	42.6	21.3	
			40歳～44 歳	度数	165	11	45	76	31	2
				行%	100.0	6.7	27.3	46.1	18.8	1.2
	45歳～49 歳	度数	203	15	56	78	53	1		
		行%	100.0	7.4	27.6	38.4	26.1	.5		
合計	度数	662	44	173	282	160	3			
	行%	100.0	6.6	26.1	42.6	24.2	.5			
合計	Q2.あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	235	13	54	94	73	1	
			行%	100.0	5.5	23.0	40.0	31.1	.4	
		35歳～39 歳	度数	274	19	71	114	70		
			行%	100.0	6.9	25.9	41.6	25.5		
		40歳～44 歳	度数	335	28	84	146	74	3	
			行%	100.0	8.4	25.1	43.6	22.1	.9	
45歳～49 歳	度数	389	22	102	174	90	1			
	行%	100.0	5.7	26.2	44.7	23.1	.3			
合計	度数	1233	82	311	528	307	5			
	行%	100.0	6.7	25.2	42.8	24.9	.4			

Q23. あなたは、お子さん(第一子)の進路・就職について、どのように考えていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください【9】専門職に就いてほしい】

				Q23.【9】専門職に就いてほしい】						
				合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	ぜん ぜん そう でない	無回答	
性別 区分	男性	Q2.あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	13	40	27	15	1
				行%	100.0	13.5	41.7	28.1	15.6	1.0
			35歳～39 歳	度数	119	17	53	34	15	
				行%	100.0	14.3	44.5	28.6	12.6	
			40歳～44 歳	度数	170	29	77	40	22	2
				行%	100.0	17.1	45.3	23.5	12.9	1.2
	45歳～49 歳	度数	186	28	93	53	10	2		
		行%	100.0	15.1	50.0	28.5	5.4	1.1		
	合計	度数	571	87	263	154	62	5		
		行%	100.0	15.2	46.1	27.0	10.9	.9		
	女性	Q2.あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	19	72	32	16	
				行%	100.0	13.7	51.8	23.0	11.5	
			35歳～39 歳	度数	155	28	72	42	12	1
				行%	100.0	18.1	46.5	27.1	7.7	.6
			40歳～44 歳	度数	165	32	94	31	7	1
				行%	100.0	19.4	57.0	18.8	4.2	.6
	45歳～49 歳	度数	203	42	104	38	17	2		
		行%	100.0	20.7	51.2	18.7	8.4	1.0		
合計	度数	662	121	342	143	52	4			
	行%	100.0	18.3	51.7	21.6	7.9	.6			
合計	Q2.あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	235	32	112	59	31	1	
			行%	100.0	13.6	47.7	25.1	13.2	.4	
		35歳～39 歳	度数	274	45	125	76	27	1	
			行%	100.0	16.4	45.6	27.7	9.9	.4	
		40歳～44 歳	度数	335	61	171	71	29	3	
			行%	100.0	18.2	51.0	21.2	8.7	.9	
45歳～49 歳	度数	389	70	197	91	27	4			
	行%	100.0	18.0	50.6	23.4	6.9	1.0			
合計	度数	1233	208	605	297	114	9			
	行%	100.0	16.9	49.1	24.1	9.2	.7			

Q24. あなたは、お子さん(第一子)と次のことについてよく話をしますか。あてはまるものをお選びください【1】勉強や進学のこと】

				Q24. 【1】勉強や進学のこと】								
				合計	よく話をす る	ときどき話 をする	あまり話 をしない	ぜんぜん 話をしな い	無回答			
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	3	21	16	55	1		
				行%	100.0	3.1	21.9	16.7	57.3	1.0		
			35歳～39 歳	度数	119	16	35	29	39			
				行%	100.0	13.4	29.4	24.4	32.8			
			40歳～44 歳	度数	170	29	83	34	23	1		
				行%	100.0	17.1	48.8	20.0	13.5	.6		
			45歳～49 歳	度数	186	20	94	59	12	1		
				行%	100.0	10.8	50.5	31.7	6.5	.5		
			合計	度数	571	68	233	138	129	3		
				行%	100.0	11.9	40.8	24.2	22.6	.5		
			女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	19	28	20	69	3
						行%	100.0	13.7	20.1	14.4	49.6	2.2
	35歳～39 歳	度数			155	40	67	17	27	4		
		行%			100.0	25.8	43.2	11.0	17.4	2.6		
	40歳～44 歳	度数			165	45	84	22	14			
		行%			100.0	27.3	50.9	13.3	8.5			
	45歳～49 歳	度数			203	64	100	26	12	1		
		行%			100.0	31.5	49.3	12.8	5.9	.5		
	合計	度数			662	168	279	85	122	8		
		行%			100.0	25.4	42.1	12.8	18.4	1.2		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか			30歳～34 歳	度数	235	22	49	36	124	4
						行%	100.0	9.4	20.9	15.3	52.8	1.7
			35歳～39 歳	度数	274	56	102	46	66	4		
				行%	100.0	20.4	37.2	16.8	24.1	1.5		
40歳～44 歳			度数	335	74	167	56	37	1			
			行%	100.0	22.1	49.9	16.7	11.0	.3			
45歳～49 歳			度数	389	84	194	85	24	2			
			行%	100.0	21.6	49.9	21.9	6.2	.5			
合計			度数	1233	236	512	223	251	11			
			行%	100.0	19.1	41.5	18.1	20.4	.9			

Q24. あなたは、お子さん(第一子)と次のことについてよく話をしますか。あてはまるものをお選びください【2】将来の仕事のこと(就職のこと)】

				Q24. 【2】将来の仕事のこと(就職のこと)】								
				合計	よく話をす る	ときどき話 をする	あまり話 をしない	ぜんぜん 話をしな い	無回答			
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	3	10	20	62	1		
				行%	100.0	3.1	10.4	20.8	64.6	1.0		
			35歳～39 歳	度数	119	8	25	38	48			
				行%	100.0	6.7	21.0	31.9	40.3			
			40歳～44 歳	度数	170	17	62	57	33	1		
				行%	100.0	10.0	36.5	33.5	19.4	.6		
			45歳～49 歳	度数	186	12	85	65	23	1		
				行%	100.0	6.5	45.7	34.9	12.4	.5		
			合計	度数	571	40	182	180	166	3		
				行%	100.0	7.0	31.9	31.5	29.1	.5		
			女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	10	27	27	72	3
						行%	100.0	7.2	19.4	19.4	51.8	2.2
	35歳～39 歳	度数			155	24	65	27	35	4		
		行%			100.0	15.5	41.9	17.4	22.6	2.6		
	40歳～44 歳	度数			165	27	86	32	20			
		行%			100.0	16.4	52.1	19.4	12.1			
	45歳～49 歳	度数			203	56	111	28	8			
		行%			100.0	27.6	54.7	13.8	3.9			
	合計	度数			662	117	289	114	135	7		
		行%			100.0	17.7	43.7	17.2	20.4	1.1		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか			30歳～34 歳	度数	235	13	37	47	134	4
						行%	100.0	5.5	15.7	20.0	57.0	1.7
			35歳～39 歳	度数	274	32	90	65	83	4		
				行%	100.0	11.7	32.8	23.7	30.3	1.5		
40歳～44 歳			度数	335	44	148	89	53	1			
			行%	100.0	13.1	44.2	26.6	15.8	.3			
45歳～49 歳			度数	389	68	196	93	31	1			
			行%	100.0	17.5	50.4	23.9	8.0	.3			
合計			度数	1233	157	471	294	301	10			
			行%	100.0	12.7	38.2	23.8	24.4	.8			

Q24. あなたは、お子さん(第一子)と次のことについてよく話をしますか。あてはまるものをお選びください【3】お金のこと】

				Q24. 【3】お金のこと】								
				合計	よく話をす る	ときどき話 をする	あまり話 をしない	ぜんぜん 話をしな い	無回答			
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	3	7	21	64	1		
				行%	100.0	3.1	7.3	21.9	66.7	1.0		
			35歳～39 歳	度数	119	8	22	37	52			
				行%	100.0	6.7	18.5	31.1	43.7			
			40歳～44 歳	度数	170	8	55	72	34	1		
				行%	100.0	4.7	32.4	42.4	20.0	.6		
			45歳～49 歳	度数	186	9	65	87	22	3		
				行%	100.0	4.8	34.9	46.8	11.8	1.6		
			合計	度数	571	28	149	217	172	5		
				行%	100.0	4.9	26.1	38.0	30.1	.9		
			女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	9	25	30	69	6
						行%	100.0	6.5	18.0	21.6	49.6	4.3
	35歳～39 歳	度数			155	21	58	29	43	4		
		行%			100.0	13.5	37.4	18.7	27.7	2.6		
	40歳～44 歳	度数			165	26	82	43	14			
		行%			100.0	15.8	49.7	26.1	8.5			
	45歳～49 歳	度数			203	34	124	36	8	1		
		行%			100.0	16.7	61.1	17.7	3.9	.5		
	合計	度数			662	90	289	138	134	11		
		行%			100.0	13.6	43.7	20.8	20.2	1.7		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか			30歳～34 歳	度数	235	12	32	51	133	7
						行%	100.0	5.1	13.6	21.7	56.6	3.0
			35歳～39 歳	度数	274	29	80	66	95	4		
				行%	100.0	10.6	29.2	24.1	34.7	1.5		
40歳～44 歳			度数	335	34	137	115	48	1			
			行%	100.0	10.1	40.9	34.3	14.3	.3			
45歳～49 歳			度数	389	43	189	123	30	4			
			行%	100.0	11.1	48.6	31.6	7.7	1.0			
合計			度数	1233	118	438	355	306	16			
			行%	100.0	9.6	35.5	28.8	24.8	1.3			

Q24. あなたは、お子さん(第一子)と次のことについてよく話をしますか。あてはまるものをお選びください【4】政治や社会のこと】

				Q24. 【4】政治や社会のこと】								
				合計	よく話をす る	ときどき話 をする	あまり話 をしない	ぜんぜん 話をしな い	無回答			
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	4	5	17	69	1		
				行%	100.0	4.2	5.2	17.7	71.9	1.0		
			35歳～39 歳	度数	119	5	19	33	62			
				行%	100.0	4.2	16.0	27.7	52.1			
			40歳～44 歳	度数	170	8	39	68	54	1		
				行%	100.0	4.7	22.9	40.0	31.8	.6		
			45歳～49 歳	度数	186	8	46	93	38	1		
				行%	100.0	4.3	24.7	50.0	20.4	.5		
			合計	度数	571	25	109	211	223	3		
				行%	100.0	4.4	19.1	37.0	39.1	.5		
			女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	2	19	28	87	3
						行%	100.0	1.4	13.7	20.1	62.6	2.2
	35歳～39 歳	度数			155	15	37	48	51	4		
		行%			100.0	9.7	23.9	31.0	32.9	2.6		
	40歳～44 歳	度数			165	18	55	59	33			
		行%			100.0	10.9	33.3	35.8	20.0			
	45歳～49 歳	度数			203	24	97	62	19	1		
		行%			100.0	11.8	47.8	30.5	9.4	.5		
	合計	度数			662	59	208	197	190	8		
		行%			100.0	8.9	31.4	29.8	28.7	1.2		
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか			30歳～34 歳	度数	235	6	24	45	156	4
						行%	100.0	2.6	10.2	19.1	66.4	1.7
			35歳～39 歳	度数	274	20	56	81	113	4		
				行%	100.0	7.3	20.4	29.6	41.2	1.5		
40歳～44 歳			度数	335	26	94	127	87	1			
			行%	100.0	7.8	28.1	37.9	26.0	.3			
45歳～49 歳			度数	389	32	143	155	57	2			
			行%	100.0	8.2	36.8	39.8	14.7	.5			
合計			度数	1233	84	317	408	413	11			
			行%	100.0	6.8	25.7	33.1	33.5	.9			

Q24. あなたは、お子さん(第一子)と次のことについてよく話をしますか。あてはまるものをお選びください【5】結婚のこと

					Q24. 【5】結婚のこと					
					合計	よく話を する	ときどき話 をする	あまり話 をしない	ぜんぜん 話をしな い	無回答
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	3	5	17	70	1
				行%	100.0	3.1	5.2	17.7	72.9	1.0
			35歳～39 歳	度数	119	3	13	35	68	
				行%	100.0	2.5	10.9	29.4	57.1	
			40歳～44 歳	度数	170	3	20	70	76	1
				行%	100.0	1.8	11.8	41.2	44.7	.6
			45歳～49 歳	度数	186	1	15	98	70	2
				行%	100.0	.5	8.1	52.7	37.6	1.1
			合計	度数	571	10	53	220	284	4
				行%	100.0	1.8	9.3	38.5	49.7	.7
	女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	3	15	27	91	3
				行%	100.0	2.2	10.8	19.4	65.5	2.2
			35歳～39 歳	度数	155	5	30	55	61	4
				行%	100.0	3.2	19.4	35.5	39.4	2.6
			40歳～44 歳	度数	165	8	30	64	63	
				行%	100.0	4.8	18.2	38.8	38.2	
			45歳～49 歳	度数	203	9	51	80	62	1
				行%	100.0	4.4	25.1	39.4	30.5	.5
			合計	度数	662	25	126	226	277	8
				行%	100.0	3.8	19.0	34.1	41.8	1.2
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	235	6	20	44	161	4
行%				100.0	2.6	8.5	18.7	68.5	1.7	
35歳～39 歳			度数	274	8	43	90	129	4	
			行%	100.0	2.9	15.7	32.8	47.1	1.5	
40歳～44 歳			度数	335	11	50	134	139	1	
			行%	100.0	3.3	14.9	40.0	41.5	.3	
45歳～49 歳			度数	389	10	66	178	132	3	
			行%	100.0	2.6	17.0	45.8	33.9	.8	
合計			度数	1233	35	179	446	561	12	
			行%	100.0	2.8	14.5	36.2	45.5	1.0	

Q24. あなたは、お子さん(第一子)と次のことについてよく話をしますか。あてはまるものをお選びください【6】友人のこと

					Q24. 【6】友人のこと					
					合計	よく話を する	ときどき話 をする	あまり話 をしない	ぜんぜん 話をしな い	無回答
性別 区分	男性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	96	14	21	13	47	1
				行%	100.0	14.6	21.9	13.5	49.0	1.0
			35歳～39 歳	度数	119	23	51	13	32	
				行%	100.0	19.3	42.9	10.9	26.9	
			40歳～44 歳	度数	170	24	94	32	18	2
				行%	100.0	14.1	55.3	18.8	10.6	1.2
			45歳～49 歳	度数	186	25	76	62	22	1
				行%	100.0	13.4	40.9	33.3	11.8	.5
			合計	度数	571	86	242	120	119	4
				行%	100.0	15.1	42.4	21.0	20.8	.7
	女性	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	139	44	33	10	48	4
				行%	100.0	31.7	23.7	7.2	34.5	2.9
			35歳～39 歳	度数	155	68	60	5	18	4
				行%	100.0	43.9	38.7	3.2	11.6	2.6
			40歳～44 歳	度数	165	53	90	14	7	1
				行%	100.0	32.1	54.5	8.5	4.2	.6
			45歳～49 歳	度数	203	48	116	28	10	1
				行%	100.0	23.6	57.1	13.8	4.9	.5
			合計	度数	662	213	299	57	83	10
				行%	100.0	32.2	45.2	8.6	12.5	1.5
	合計	Q2. あ なたの 年齢は 何歳で すか	30歳～34 歳	度数	235	58	54	23	95	5
行%				100.0	24.7	23.0	9.8	40.4	2.1	
35歳～39 歳			度数	274	91	111	18	50	4	
			行%	100.0	33.2	40.5	6.6	18.2	1.5	
40歳～44 歳			度数	335	77	184	46	25	3	
			行%	100.0	23.0	54.9	13.7	7.5	.9	
45歳～49 歳			度数	389	73	192	90	32	2	
			行%	100.0	18.8	49.4	23.1	8.2	.5	
合計			度数	1233	299	541	177	202	14	
			行%	100.0	24.2	43.9	14.4	16.4	1.1	

Q25. あなたは、お子さん(第一子)がどんな仕事に向いているかののくらいわかっていますか

			Q25. あなたは、お子さん(第一子)がどんな仕事に向いているかののくらいわかっていますか								
			合計	はっきりとわかっている	なんとなくわかっている	あまりわからない	ぜんぜんわからない	無回答			
性別区分	男性	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳～34歳	度数	96		9	18	68	1	
				行%	100.0		9.4	18.8	70.8	1.0	
			35歳～39歳	度数	119	4	29	33	52	1	
				行%	100.0	3.4	24.4	27.7	43.7	.8	
			40歳～44歳	度数	170	1	58	67	42	2	
				行%	100.0	.6	34.1	39.4	24.7	1.2	
		45歳～49歳	度数	186	16	83	63	23	1		
			行%	100.0	8.6	44.6	33.9	12.4	.5		
		合計	度数	571	21	179	181	185	5		
			行%	100.0	3.7	31.3	31.7	32.4	.9		
		女性	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳～34歳	度数	139	4	16	38	80	1
					行%	100.0	2.9	11.5	27.3	57.6	.7
	35歳～39歳			度数	155	9	45	54	45	2	
				行%	100.0	5.8	29.0	34.8	29.0	1.3	
	40歳～44歳			度数	165	9	82	52	20	2	
				行%	100.0	5.5	49.7	31.5	12.1	1.2	
	45歳～49歳		度数	203	26	107	60	8	2		
			行%	100.0	12.8	52.7	29.6	3.9	1.0		
	合計		度数	662	48	250	204	153	7		
			行%	100.0	7.3	37.8	30.8	23.1	1.1		
	合計		Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳～34歳	度数	235	4	25	56	148	2
					行%	100.0	1.7	10.6	23.8	63.0	.9
		35歳～39歳	度数	274	13	74	87	97	3		
			行%	100.0	4.7	27.0	31.8	35.4	1.1		
40歳～44歳		度数	335	10	140	119	62	4			
		行%	100.0	3.0	41.8	35.5	18.5	1.2			
45歳～49歳		度数	389	42	190	123	31	3			
		行%	100.0	10.8	48.8	31.6	8.0	.8			
合計		度数	1233	69	429	385	338	12			
		行%	100.0	5.6	34.8	31.2	27.4	1.0			

Q26. あなたのお子さん(第一子)への期待や希望について、1)～3)のそれぞれの項目について、もっともあてはまるものをお選びください【1)仕事】

			合計	安定した職業に継続して就いてほしい	転職してでも適職に就いてほしい	結婚したら仕事をやめて家庭を守ってほしい	子どもが生まれたら仕事をやめて家庭を守ってほしい	仕事をやめて子どもが一定の年齢になったら再び仕事についてほしい	経済的に安定していれば専業主婦・主夫でいてもらいたい	わからない	無回答	
男性	30歳～34歳	度数	96	33	23	5	5	2	8	19	1	
		行%	100.0	34.4	24.0	5.2	5.2	2.1	8.3	19.8	1.0	
	35歳～39歳	度数	119	51	34	2	4	3	2	22	1	
		行%	100.0	42.9	28.6	1.7	3.4	2.5	1.7	18.5	.8	
	40歳～44歳	度数	170	76	47	3	5	7	9	22	1	
		行%	100.0	44.7	27.6	1.8	2.9	4.1	5.3	12.9	.6	
	45歳～49歳	度数	186	104	43	6	4	5	6	18		
		行%	100.0	55.9	23.1	3.2	2.2	2.7	3.2	9.7		
	合計	度数	571	264	147	16	18	17	25	81	3	
		行%	100.0	46.2	25.7	2.8	3.2	3.0	4.4	14.2	.5	
	女性	30歳～34歳	度数	139	65	28	2	4	11	4	24	1
			行%	100.0	46.8	20.1	1.4	2.9	7.9	2.9	17.3	.7
		35歳～39歳	度数	155	79	40		3	9	3	19	2
			行%	100.0	51.0	25.8		1.9	5.8	1.9	12.3	1.3
40歳～44歳		度数	165	96	42	1	5	6	3	12		
		行%	100.0	58.2	25.5	.6	3.0	3.6	1.8	7.3		
45歳～49歳		度数	203	123	50	1	1	10	6	9	3	
		行%	100.0	60.6	24.6	.5	.5	4.9	3.0	4.4	1.5	
合計		度数	662	363	160	4	13	36	16	64	6	
		行%	100.0	54.8	24.2	.6	2.0	5.4	2.4	9.7	.9	
合計	30歳～34歳	度数	235	98	51	7	9	13	12	43	2	
		行%	100.0	41.7	21.7	3.0	3.8	5.5	5.1	18.3	.9	
	35歳～39歳	度数	274	130	74	2	7	12	5	41	3	
		行%	100.0	47.4	27.0	.7	2.6	4.4	1.8	15.0	1.1	
	40歳～44歳	度数	335	172	89	4	10	13	12	34	1	
		行%	100.0	51.3	26.6	1.2	3.0	3.9	3.6	10.1	.3	
	45歳～49歳	度数	389	227	93	7	5	15	12	27	3	
		行%	100.0	58.4	23.9	1.8	1.3	3.9	3.1	6.9	.8	
	合計	度数	1233	627	307	20	31	53	41	145	9	
		行%	100.0	50.9	24.9	1.6	2.5	4.3	3.3	11.8	.7	

Q26. あなたのお子さん(第一子)への期待や希望について、1)~3)のそれぞれの項目について、もっともあてはまるものをお選びください【2】結婚】

				Q26. あなたのお子さん(第一子)への期待や希望について、1)~3)のそれぞれの項目について、もっともあてはまるものをお選びください【2】結婚】						
				合計	結婚してほしい	本人次第	必ずしも結婚しなくてもよい	わからない	無回答	
性別区分	男性	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳~34歳	度数	96	61	24		10	1
				行%	100.0	63.5	25.0		10.4	1.0
			35歳~39歳	度数	119	65	41	5	7	1
				行%	100.0	54.6	34.5	4.2	5.9	.8
			40歳~44歳	度数	170	98	67	1	3	1
				行%	100.0	57.6	39.4	.6	1.8	.6
			45歳~49歳	度数	186	111	66	3	6	
	行%	100.0		59.7	35.5	1.6	3.2			
	合計	度数	571	335	198	9	26	3		
		行%	100.0	58.7	34.7	1.6	4.6	.5		
	女性	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳~34歳	度数	139	88	41		8	2
				行%	100.0	63.3	29.5		5.8	1.4
			35歳~39歳	度数	155	87	55	3	7	3
				行%	100.0	56.1	35.5	1.9	4.5	1.9
			40歳~44歳	度数	165	80	75	9	1	
				行%	100.0	48.5	45.5	5.5	.6	
			45歳~49歳	度数	203	104	83	13	2	1
	行%	100.0		51.2	40.9	6.4	1.0	.5		
	合計	度数	662	359	254	25	18	6		
		行%	100.0	54.2	38.4	3.8	2.7	.9		
	合計	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳~34歳	度数	235	149	65		18	3
行%				100.0	63.4	27.7		7.7	1.3	
35歳~39歳			度数	274	152	96	8	14	4	
			行%	100.0	55.5	35.0	2.9	5.1	1.5	
40歳~44歳			度数	335	178	142	10	4	1	
			行%	100.0	53.1	42.4	3.0	1.2	.3	
45歳~49歳			度数	389	215	149	16	8	1	
	行%	100.0	55.3	38.3	4.1	2.1	.3			
合計	度数	1233	694	452	34	44	9			
	行%	100.0	56.3	36.7	2.8	3.6	.7			

Q26. あなたのお子さん(第一子)への期待や希望について、1)~3)のそれぞれの項目について、もっともあてはまるものをお選びください【3】子ども】

				Q26. あなたのお子さん(第一子)への期待や希望について、1)~3)のそれぞれの項目について、もっともあてはまるものをお選びください【3】子ども】						
				合計	子ども(孫)を持つてほしい	本人次第	必ずしも子ども(孫)はいらない	わからない	無回答	
性別区分	男性	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳~34歳	度数	96	62	23		10	1
				行%	100.0	64.6	24.0		10.4	1.0
			35歳~39歳	度数	119	63	42	3	8	3
				行%	100.0	52.9	35.3	2.5	6.7	2.5
			40歳~44歳	度数	170	96	66	3	4	1
				行%	100.0	56.5	38.8	1.8	2.4	.6
			45歳~49歳	度数	186	107	67	2	10	
	行%	100.0		57.5	36.0	1.1	5.4			
	合計	度数	571	328	198	8	32	5		
		行%	100.0	57.4	34.7	1.4	5.6	.9		
	女性	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳~34歳	度数	139	87	41	1	9	1
				行%	100.0	62.6	29.5	.7	6.5	.7
			35歳~39歳	度数	155	96	45	5	6	3
				行%	100.0	61.9	29.0	3.2	3.9	1.9
			40歳~44歳	度数	165	80	77	2	4	2
				行%	100.0	48.5	46.7	1.2	2.4	1.2
			45歳~49歳	度数	203	105	83	11	4	
	行%	100.0		51.7	40.9	5.4	2.0			
	合計	度数	662	368	246	19	23	6		
		行%	100.0	55.6	37.2	2.9	3.5	.9		
	合計	Q2. あなたの年齢は何歳ですか	30歳~34歳	度数	235	149	64	1	19	2
行%				100.0	63.4	27.2	.4	8.1	.9	
35歳~39歳			度数	274	159	87	8	14	6	
			行%	100.0	58.0	31.8	2.9	5.1	2.2	
40歳~44歳			度数	335	176	143	5	8	3	
			行%	100.0	52.5	42.7	1.5	2.4	.9	
45歳~49歳			度数	389	212	150	13	14		
	行%	100.0	54.5	38.6	3.3	3.6				
合計	度数	1233	696	444	27	55	11			
	行%	100.0	56.4	36.0	2.2	4.5	.9			

2 質問紙調査自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	43	(将来が見えない) 将来設計が立てにくい時代になった。
女性	35	「設計」というほどのものはないことに気がついた。自分のつきたい職業のための勉強をしているが、うまくいかどうか自信がない。相談できる場所がほしいけれど、そういう場所があったとして、どういうふう相談したらいいのか自信がない。
女性	33	『普通』な暮らしが一番ですね
男性	48	1人あるいは2人で過ごせるよう設計してる。
女性	31	1年後には子どもが幼稚園に入園する予定なので何か手に職を持って働きたい。そのために現在講座に通っています。自分で切り開いていく元気が必要だと感じています。老後は主人とのんびり楽しめるよう貯蓄もしっかりしておきたいと考えています。
女性	43	300万位貯めて、ニュージーランドへ移住する。
女性	32	30歳を過ぎて、急に老後のことなどを考えるようになった。今のままいったらどうなるのだろう、という不安はあるが、特に設計が立てられていないのが現状です。とりあえずいつ何が起こるかわからないので、地味に生活していこうと思っはいます。
男性	34	35才までに今後の人生の設計をたて、40歳までに確率する
男性	30	40で社長、50でリタイア
女性	34	40才で独立。子供は2～3人。
男性	32	40才までには、経済的自由を手に入れ引退する
男性	40	40歳で安定した職業に転職し60歳で定年。場合によっては老人福祉が充実した海外で老後を過ごす。
女性	36	40歳になったら社会人入試で大学に行き、老後は趣味のスポーツと旅行を夫婦で楽しみたい。
男性	38	40歳代でリタイアし、海外で趣味的な生活を送りたい。
男性	48	41歳で中途障害者になり、転職せずに障害者雇用枠配置転換でこれたのは幸運だったが昇進は今後全く期待できないので少しがっかり。子供達が希望をもてる人生を歩むことに私の人生を捧げる。余暇はもっぱら屋内、映画ビデオDVD鑑賞。老後は再就職は無理だと思うので妻に負担をかけず生きたい。
男性	45	48歳で独立し、60歳まで働き、その後は余生を楽しみたい。
女性	48	50歳になったら、仕事を辞め、趣味、ボランティアをしたい
男性	30	50歳までバリバリ働いてその後は趣味にこうじる。
女性	37	50歳まで今の会社に努めて、子供が大学を卒業するまでは子供の教育等にお金がかかるので、がんばりたい。計画的に老後の生活資金もためて、子供に迷惑をかけないように楽しく過したい。ゆとりがあれば、新たに何か学びたい。
男性	42	50代半で、第一線を退き、あとは世の中のために何かをしたい。その日までは、やりがいのある仕事を一生懸命したい。また、現在は仕事も一生懸命やりつつ、余暇も十分趣味を楽しみたい。
男性	30	5年後に一戸立て購入10年後子どもの中学受験20年後からいつサラリーマンをやめるかの検討時期子どもの独立後は夫婦で旅行にいったり楽しみたい。
男性	33	60まで仕事をしてあとは趣味に生きたい。それが可能な財産を築きたい。
男性	49	60才からの人生を豊かに暮らしたい。
男性	44	60歳くらいからののんびりと暮らしたい。
男性	43	60歳で一線から退き、ニュージーランドで老後は暮らす。
男性	42	60歳で引退
男性	46	60歳で家の農業
男性	38	60歳までには退職して余暇を楽しみたいと思っているが、まだ具体的には計画を立てていません。
女性	47	60歳まで可能な限り働き、それ以降はのんびりと趣味を深めて生活したい。
男性	49	60歳まで常勤で働く。それからはゆっくりパートで働く。趣味を深める。
女性	35	60歳を過ぎてでもなるべく働きたい。
男性	37	60歳前に海外に行つてそこで余生を送りたい
女性	47	65までにお金をためて、ゆっくりしたい。
男性	47	65才まで働き、その後は余暇を楽しむ生活を送りたい。
男性	46	65歳くらいまで働いて、その後は趣味に没頭したい。
男性	43	75歳くらいまで働きたい。その後、オーストラリアに移住して85歳で死ぬ。
男性	30	あくまでも仕事は生きていく糧とし、家庭を重視することが大切。早く引退するために若いうちに多く働きたい。老後に身内の世話にならないように、老人施設等に入る資金を蓄えたい。
女性	31	あったかい家庭であればいいと思います。普通に暮らせればいいです。
男性	43	あつぷあつぷで設計不可能
男性	40	あまりかんがえていない
女性	47	あまりこうせねばならないとは思っていません。心豊かに暮せるのが第一で、それは人それぞれです。今迄の人生でこうすればよかったと言う事は多々あるので子供には話しますが、それから先は子供自身の人生です。大きな眼で見て総合的に幸せであればいいし、私は仕事は恵まれなかったけど、だから幸せではないかといわれればそうではないです。
男性	40	あまりにも考えることが多すぎて考えがまとまらない。
男性	35	あまりよい期待を持っていない
男性	42	あまり気苦労をしなくてすむ環境に身をおきたい
女性	36	あまり考えすぎると不安になるのであまり考えないです。日々のことで精一杯なので(笑)
女性	40	あまり考えたくない。
男性	35	あまり考えた事がありません。
男性	42	あまり考えていない
男性	36	あまり考えていない。
男性	39	あまり考えていないが、のんびりと好きな事に没頭したい
女性	41	あまり考えていないので少しずつ考えていきたいと思っている。
男性	35	あまり考えてないので分からない
女性	47	あまり考えても先のことはわからない。不安はあるが
女性	33	あまり困らず警沢せずに人に迷惑かけずに老後まで細々と安定した生活を希望している
男性	30	あまり子供の負担にならないように老後の生活したい。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	31	あまり将来設計なく生活してきました。老後や、余暇の生活について考えたとき、本気で将来について考えていかなければいけないと実感している。現在の仕事を続けながら、キャリアアップをめざし、余暇を充実させていきたい。今のところ、まだ漠然とはしているが...
男性	35	あまり将来設計は考えない。その場その場で考えてやっただけでやってきているから。
男性	36	あまり深くは考えてませんが、と言うよりも歳を取ったら田舎に引っ越すつもりなので今まで通り見栄を張らずに家族自由に暮らしていきます
女性	45	あまり深く考えたことは無いが、此処のところ上り調子です。明るい方を見ていたい。
女性	35	あまり先のことを考えて守りに入るのではなく、やるだけのことを精いっぱいやりきるような人生を送りたい。それぐらい情熱を傾けたいことがある。
女性	35	あまり先の事まで考える余裕がないので、とりあえず、ある程度節約して、小銭を貯めながら生きて行く。
男性	47	あまり特別なことは考えていないが、今まで仕事中心できているため、できれば老後は趣味を優先したい。
女性	48	ある程度、お金があつて、健康で楽しく過ごせる人生
女性	47	ある程度、余裕のある暮らしがしたいので、今は、あまり贅沢をしないで暮らしている。
女性	33	ある程度の計画は立てていますが、その通りにいくのかどうか心配です。今後どこか、今現在でさえいやな事件や事故が多く、安心して生活することが難しい世の中です。
男性	35	ある程度の資産が出来れば海外で生活したい
男性	41	ある程度の蓄えを持ち、家族と趣味人的生活がしたい
女性	43	ある程度の余裕ができれば、のんびり老後を過ごしたい。
男性	36	ある程度の預金を貯めて、旅行などゆったりとした生活がした
女性	48	ある程度の老後資金を貯め年金をもらいながら、贅沢しなければ十分くらいにしたい。趣味を楽しみながら静かにくらしたい。
男性	47	ある程度は、ある
女性	39	ある程度ゆとりのある老後を迎えたい
男性	48	ある程度金銭的に余裕を持ち、趣味等を楽しみながら生きたい
男性	43	ある程度目安がつくなら、若い頃からやりたかった仕事をした。またでることなら、子供や家庭に迷惑のかわからない老後を送りたい。
女性	38	いきあたりばったり
男性	47	いきちよるだけで丸儲け
女性	43	いずればもう一度パートに出て、老後の生活費を蓄えたい。
男性	35	いつかは自分の店を持つか自分の会社を作りたい
男性	46	いつまでも健康でいられるように。
女性	43	いつまでも自己実現させるために生涯学習を続け、はつらつと生きていきたいものです。
女性	40	いつまでも笑っていられるような生活を送り続けたい。
女性	30	いつも楽しく生活していきたい。
男性	33	いましている仕事を精一杯して老後は好きなことをしてのんびり過ごしたい
女性	47	いまのところ現在の生活をしていくのに全力投球で将来のことはあまり考えたことがない。年金もどうなるか、自分の親の介護もどうなるか不安がたくさんある。理想はあるけど現実とは...夫婦でのんびりすごしたい！お金の不安がない生活で。
男性	37	いまはまだ、将来について考えられない。
女性	37	いまは仕事をしているが、不安定な社会なので今後どうなるか心配だ
男性	33	いまは明確なビジョンがありません
女性	42	いろいろ考えさせられます。できれば周りはみんな独身なので、みんなの財産をもちより、個々に生活ができる個室とみんなで集まれる広間のついているアパートを建設したいとおもう。
男性	34	インターネットで副収入を得たい
男性	40	インターネットのアフィリエイトで一生裕福に暮らす
女性	33	おなじ職場に10年もいると、そろそろ転職をして、新しい環境とスキル向上を考えるが、今一歩積極的になれない。結婚がしたいと思うが、これもいざとなると踏みとどまってしまう。今現在の余暇の過ごし方としては、満足しているが、もう少し社会に出たほうがよいのかもしれないと思うときもある。自分の老後よりも、両親の老後が気にかかる。
女性	30	お嫁に行って3人くらい子供を産んで陶芸家になる！
男性	46	お金がなければ心に余裕が生まれない。人生はお金だ。お金を絶やさないようにしたい。その為に働くのだ。学歴と資格は高給の近道であり、転職の道具だと思う。
男性	34	お金さえあれば、のんびりと自由に暮らしたい。
男性	46	お金だけ
男性	35	お金にゆとりがほしいです。
男性	37	お金に困らない生活をするため、精神的に貯金をする。
女性	31	お金の余裕があればこしたことはありませんが、安心できる家族と一緒にゆったり空気と水がきれいなところへ将来すみたいと思っています。
女性	30	お金の余裕があれば老後はのんびりすごしたい。
女性	36	お金はないけど、マンションも買って幸せに暮らしています。このまま、家族皆健康で暮らしていけたらって思っています。夢と言うか、希望は、自営業の夫がもっと稼ぐようになって、一戸建てに引越し。節約しなくても生活できる暮らしです。贅沢過ぎますかね！？
男性	32	お金をためて、55歳ぐらいでタイでのんびり暮らす。
女性	48	お金をためていなかでのんびり暮らしたい
男性	35	お金を貯めて、上手く資産運用して、お金を生み出す運用をして、早くリタイヤして沖縄で暮らしたい。
女性	30	お金を貯めて自由奔放に暮らしたい
男性	45	お先真っ暗
男性	49	お先真っ暗です。
男性	36	がんばります
男性	32	がんばれ
女性	44	がん患者なので、自分の老後というものを考えていません。現在の生をせいっぱい生きるのが一番と心得て日々過ごしています。
女性	31	きちんと設計しなければと思いつながら、日々の暮らしに終わられて、手がつかない。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	45	きままな隠居生活
女性	45	キュウキュウな感じではなく、ゆったりと過したい
男性	49	ケセラセラ
女性	36	こうしなければいけないというルールはないと思います。普通に社会生活が営めて、自分達の力量の範囲内で生きていくことができればいいと思います。その中で、「こうしたい。」「ああんりたい。」という、希望するイメージを持ちながら、今を楽しむことも大切だと思います。
女性	43	ごく普通の生活、家族が元気でその日一日が平凡に過ぎていくこと
女性	46	ごく普通の生活を続けたい
女性	38	ここ1、2年の間にはパートでまず働きにでたい。そして今後どんな生活をしていきたいのか主人と話あって、それができるように努力したい。
男性	37	こつこつ仕事をし、老後は趣味などやり、のんびりと暮らしたい。
女性	33	こどもが小さいうちは家庭にいて、小学生くらいになったらパートをする。年に1回はキャンプなど、お金をかけずにその分長く旅行をしたい。老後は旦那と年1回は海外旅行へ行きたい。
女性	35	このまま、今ずんでいるところにずっと住み続けたい。子供が小さいうちはインターネットでお小遣いのある程度かせぎ、(内職程度)手がはなれたら、気楽なところで事務の仕事がしたい。好きなところにたくさん旅行したい。老後のことはまだわからない。
女性	45	このまま何も意義のある生活をしないで年をとって行くのが不安です。
女性	34	このまま家庭を維持し余暇を楽しみたい
女性	40	このまま経済的に安定した生活が続くように努力したい。
女性	35	このまま結婚しない場合に備えて金銭を蓄えたいと考えている
女性	33	このまま再婚はせず自由に生きたい老後は親の遺産が多々入るだろうと心配していない
女性	44	このまま仕事を続け生涯社会とかかわりを持って生きていきたい
女性	41	この国に住み続けるのを不安に思い始めている。安心して年をとれない。これからどうしようか、考え始めたところである。
女性	46	この歳で独身で、しかもパート生活。親が元気だからいいけれど、時々ひどく悲観的にもなる。一方で人生明日は何があるかわからないから、先のことを思い悩んでも…とも思うし(友人もいて、そこそこ楽しく生活はしているし)その繰り返しです。
女性	37	この先、結婚はチャンスがあればしたいが、そのために特別な行動を起こしてまでする必要は感じていない。現在の住まい、仕事、収入で自分らしく生きられればいいと思う。老後は、70歳くらいまでは体を動かせる範囲で働き、それ以降は高齢者施設などの施設で、新たな仲間と生活していきたい。
女性	31	これから2~3年の間で、出産するかどうかが考えていけなくてはいけません。
女性	34	これからどうしていいのかわからない、検討中である
男性	48	これからどんな社会になっていくのか非常に不安であるが人間らしい思いやりと配慮だけは忘れたくないものです。
女性	45	これからは子供が大検に受かり就職に付くまでをまず見ていかないといけない。もう少し自分の殻から出て欲しいので私も努力して行こうとおもう
女性	37	これからはできれば働き、生活資金のため、老後はゆっくり海外旅行を友人といきたい。老後は一人暮らしでもかまわない
男性	43	これから具体的に検討
女性	31	これから子供を作って子育てが一段落したら自分の店を持ちたい。それ以降についてはまだあまり詳しく考えてない
男性	33	これといってなし
男性	32	さっさと子供を育てて老後にゆっくりする。新婚旅行へいく。
男性	39	サラリーマンを無事終え、別荘地等でゆっくりとした生活を送る。
男性	38	しばらくは会社員として働き、できれば独立、開業して巨万の富を得たい。
女性	49	しょうらい
男性	39	ずーと何らかの仕事はしていきたい
男性	34	スキルアップを目指したい
女性	45	すでに40年以上生きてるので、若い頃想像していた自分とは正直かけ離れてしまっている。また社会状況もこういう風になっているとは思わなかった。今後またぶん計算通りにはいかないのだろうとは思いますが少なくとも年齢と経験を重ねているのだからきっちり形になるよう、また自分の理想に近づけるように努力したいと
男性	42	すべてにおいて、安定していること。
女性	43	ぜいたくしない程度の旅行を気の合う仲間と老後に楽しみたい。
男性	33	セミリタイアしたい
女性	36	ぜんぜん未来のことはわからないです。毎日を生きているのに精一杯です。
男性	46	そこそこの資産が出来た時点で田舎に引越して、家庭菜園等自然に恵まれた環境で老後は暮らしたい。
女性	30	そのときになってみないとわからない。今から先のことを考えても思い通りにはならない。1年先には死んでいるかもしれない。
男性	36	その時々でベストと思うことをする。
女性	45	その時々での気持ちや状況に応じて柔軟に対処しつつ、幸せに生きたい。
女性	31	それなりの貯蓄があり、安定した生活。
女性	44	そろそろ、働きに出たいと考え中です。
女性	37	たくさん貯金して将来に備えたい。老後は夫婦二人で仲良く暮らしたい。
男性	30	できることをできるときに実行しておく。
女性	47	できるだけ、元気でいたい。先の見通しはまったく立たないので、ある程度の元気があれば、なんとかなる。と思えるから
男性	48	できるだけ仕事を続けていきたい、それがクリアできれば老後の生活にも余裕がうまれ、余暇の時間も楽しめると思います。
女性	31	できるだけ私も仕事をしながら、家庭と両立させていきたい。在宅でもできる仕事のスキルを身に付け、できるだけ子供のそばにいてやりたい。老後は静かにゆっくり、静かな環境で生活したい。あまり家族は頼りたく
男性	30	できるだけ早くサラリーマンは退職し自分で仕事をしてゆきたい
女性	41	できるだけ早く仕事を辞めて自分の好きな事ができる日々を送りたい。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	48	できるなら、自分の自由になる時間の範囲で仕事をすることで、生活に張りができるように思います。余暇は、今興味のあることを、もっと深く勉強したいと思っていますし、家族との時間をもっととれればいいなと思っています。老後は、できる限り在宅で、公共のサービスを受けながら生活したいと思います。そのためには、福祉がもっと良くなることを望んでいます。
男性	40	できるなら飲食関係の仕事に転職し、将来は田舎でのんびり暮らしたい
女性	42	できる間は仕事をし、老後の資金をためて田舎に帰り、趣味を楽しみながらのんびり生きたい。
男性	49	できる限り長く仕事を続けたい
女性	33	できれば、このままずっと専業主婦でいたい。老後は、子供と同居か、近くに子供の住居があればと思います。主人の定年後は、ゆっくり旅行に言ったりと、のんびり、金銭的にも余裕のある暮らしがしたいです。
女性	32	できれば、将来老後は自分の趣味をもって明るく生きたいので、現在は専業主婦だが、子どもがある程度育つと仕事をもちたい。
女性	39	できれば、働けるだけ働き、老後は活動的に過ごしたい。一人暮らしでもOK。
女性	45	できれば気ままに旅にでられる程度のゆとりが欲しい
男性	34	できれば今の仕事(職種)は継続したい。長期休暇は子供と一緒に旅行に行きたい。子供が結婚後の老後の生活は自分の趣味を持っていきたい。
女性	31	できれば自分のことは自分で責任を持って生活していきたい。子供に老後の面倒を看させるのは酷な事なので、それだけは避けられるように将来設計をしていきたい。
女性	31	できれば早めに復職して、家庭と育児、仕事の両立を図りたい。老後は主人と二人で旅行などしながら、のんびりすごしたい。
男性	32	できれば余裕のある暮らしをしたいが、両親が他界した後は生活が苦しくなるだろうから、今から預貯金等を気に掛けたい。
女性	40	できれば両方の親や子供たちと近くで住みたい。そして旅行や趣味を楽しみながら暮らし、老後は設備の整った施設などで暮らしたい。
女性	44	できれば老後は健康で豊かな生活をしたい。
男性	44	どうなるか不安なだけだ
男性	45	とくにまだ考えていないが金は確実にいることだけは間違いない
女性	37	とくに考えていないが老後は子供はあてにせず自立した親になりたいので、そのためにお金を貯めたい
女性	37	どちらかに偏るのではなく可能な限り自分自身と家庭生活の調和を保ちたい。夫婦の趣味が共通しているので今後も一緒に楽しみたい。
女性	45	とにかく、健康で定年まで働きたい。老後は、ボランティア活動をしたい。
男性	40	とにかく、今の景気じゃなにも出来ないと思う。一体政府の馬鹿共は何をやっているんだ!
女性	39	とにかく、子供がこれから学費がかかる年齢になっていくので経済的に、もう少し余裕があればいいと思うが、毎年毎年、税金が上乗せされ、給料が上がらずで働けど働けど穴埋めできない状況です。当然、私などは経済的に働くという形になるので、いやいや働いているので家族もぎすぎすしがちで、何事にも余裕で物事を考えられなくなってしまいます。当然、将来設計も考えたいが考え付かないような感じです。
男性	48	とにかくホームレスなど悲惨な生活だけはしたくない。
女性	38	とにかく一人でこころの安定を保てるひびを過ごしたい。一人で気ままにすごしたい。間違っても配偶者に面倒を見てもらいたくはないし、見たいとも思わない
女性	36	とにかく何とか子供を一人前にして、あとは夫婦で楽しく暮らしたい。
女性	45	とにかく健康が一番
男性	45	とにかく健康が一番だと思う
女性	40	とにかく健康で、できれば人に世話をかけないでいたい。
女性	45	とにかく健康第一に考えたい。
男性	49	とにかく後悔しないような生き方をしたい
男性	31	とにかく今は「溜める時間」だと思う。経験、お金、知識何でもかんでも溜め込んで心も体もお金も不安のない将来のために蓄えていく時だと思う
女性	47	とにかく今は平均的な生活水準まで上げたい。他の事は考えていない。
女性	42	とにかく最低限の生活には困らないぐらいの経済力は持っていたい
女性	42	とにかく子供が自立して生活できるようになって欲しい。将来は主人と2人で、余暇を楽しみながら生活できればよい。
女性	40	とにかく子供が独立したあと。夫婦仲良く暮らしたい。仕事はつづけられればよいが、たまに旅行ができるぐらいの余裕がある生活がしたい。
男性	47	とにかく子供が無事に独立できるようにしてあげたい。
女性	36	とにかく自分にストレスのない生活がしたい
女性	33	とにかく自由気ままに一人生活をしたい。
女性	38	とにかく心身共にゆとりを持っていたい
女性	44	とにかく世間を離れてゆっくりしたい。
男性	46	とにかく貯金です
男性	32	とりあえず、今の家庭を維持できる位の収入を得ることで精一杯で、まだあまり考えることが出来ない。
女性	45	とりあえず、子供は自活できるように向かわせたい。自分自身の趣味を続け、体力がなくなったら、また違う趣味を持ち、一生涯寝込みたくない。身内につらい思いはさせたくないから、公的機関に面倒をみてもらいたい。しかし、今はお金がない時期なので、将来設計はたてていない。というか、たたない。
男性	41	とりあえず3人の子供を無事に育て上げる。
男性	32	とりあえず結婚したいね
女性	45	とりあえず子供たちを育てたら、主人と2人、のんびり暮らしたい。でも子供の世話を当てにしたり、頼ったりはしたくない。
女性	46	とりあえず子供達に迷惑をかけたくない。主人とこれからも仲良く暮らしたい。子供の幸せを切に願って
男性	31	とりあえず資金の確保
男性	39	とりあえず資金を稼ぐことに専念している。
男性	45	とりあえず流れに身を任せる。
男性	37	どんなに努力したとしても決して一人で生きてはいけないので、家族や地域社会でのつながりを大切にして、のんびりとした一生を送れたらいいなと思っている。
女性	39	どんな状況でも、楽しむ余裕をもって生き生きと暮らしていきたい。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	42	どんな状況にあろうと、自分で納得して充実した生活が送れたら幸せだと思う。
男性	34	なかなか将来設計が読めない日本の政治状況を見るにつけ、例えば3年ごとに見直すなどの臨機応変な姿勢で臨まないといずれからのサバイバル時代は生き抜けないと思うので、ある程度フレキシブルに様々なことの将来設計を立てたい。
女性	30	なにより夫と幸せに過ごしていきたい。その時やりたいことをしたい。楽しいと思える仕事をして、旅行をして、いい人生だったと思いたい。将来のために貯金をしたり、家を買ったりを考えているが、基本的に今幸せと思うことが一番重要だと思ってるので具体的にはあまり考えていないと思う。
女性	49	なるべく、人の迷惑にならないように、自立した生活を送りたい。
女性	38	なるべく楽しくしていきたい
女性	48	なるべく健康で、仕事をしながら趣味に生きたい。
女性	42	なるべく健康でいられるよう食生活・運動・仕事等規則正しい生活をした。健康であれば定年まででも働きたいと思う。年に一度位旅行できれば良いと思っています。
女性	32	なるべく子供に負担をかけないですむように老後の資金を貯めたい。
女性	42	なるべく子供や他人の世話にはなりたくない
女性	37	なるべく早く住宅ローンを完済して子供の教育費、旅行などのレジャーを楽しみたい。
女性	36	なるべく、あるがままに。
男性	42	なるべく自由にしかならない
男性	35	なるべく自由にしかならないので、無茶な希望は持っていない。慎ましく生きればそれでいい。
男性	32	なるべく自由になる
男性	44	なんでも自分の力で何とかしたい
男性	36	なんとかなるさ・・・
女性	31	なんとなく・・・で今までやってきたけれど、今後年齢的にも女性は仕事を見つけるのが厳しいときたり、老後どうして生活していくか、みたいなことを考えると、なにかしなきゃと思う。とはいえ、何をどうしていいのかがわからない
女性	42	ネットのフリーランスで一定の収入を得るようになりたい。
男性	35	のんきに暮らしたい
男性	32	のんびり
男性	49	のんびりしたい
女性	31	のんびりしたいし、充実していきたいし、お金に余裕もあって欲しい。
女性	45	のんびりすごしたい
男性	39	のんびりとすごしたい
男性	48	のんびりと自分の趣味をしたい。
女性	34	のんびりゆくゆくすごしたい
女性	40	のんびり幸せに少しは輝いて、生きたい。
女性	34	のんびり平和に過ごしたいです。
女性	37	のんびり暮らしたい
男性	34	のんびり暮らしたい
男性	34	のんびり旅行など時間をしない老後
女性	40	バカな政治家のせいで、自分の将来なんて考えられない。どうなるのか全く分からない。
女性	42	はっきりしたものは、見えてこないですが、漠然とは、考えています。できれば、仕事を持ち社会とかかわり続けたいです。また、子供に頼らず、自立したいと思っています。
女性	41	はっきりとは考えていない。
女性	37	はっきり言って将来はとて不安です。余暇生活などは無理じゃないでしょうか。夢はあちこち旅行をしたいです。
女性	44	はっきり言って設計の立たない状況。今を一生懸命生きるしかないが、とにかく子供の負担にならずに、共に生きられるよう自助努力したい。
男性	45	バブルでやられた住宅ローンや借金を残さないようにしておきたい。自閉症の子供たちが、自立できるかとても心配です。
男性	42	はやく経済的自由を手にした。生活のために働くことから脱出したい。
男性	30	バリバリ働いて定年になったら悠々自適に好きな仕事をした
男性	42	ドリオネンダラーになる。
女性	33	ペットと共に暮らしたい
男性	38	ほどほどでリタイアして北海道で暮らしたい
女性	36	ほとんどは今考え中だが、老後の年金などは国から当てに出来ないで自分で何とかしなくては・・・と思いつつも具体的にどうしたらいいのか難しい。
女性	42	ほとんど何も考えていない。が、近い将来に起こすであろう事業をどのような形にするかで、この後の生活・人生のあり方が決まると思う。
女性	43	ほとんど考えてないが、漠然とした不安はある。
男性	37	ポランディアを中心とした今後の生き方になると思う。
男性	44	マイペース
女性	32	マイホームを購入してローンを早く返すように頑張る子供に迷惑かけないようにしたい
女性	31	まず、どれくらい生きられるか分からないご時勢。老後はなんとなく考え、今を大事に生きるようにしています
男性	35	まずは、今の会社で上に昇れるだけ、昇ってみたい。他の職業にも興味はあるのだが、どんな仕事でも、やり遂げられないものに成功はないと考えている。でも、やり遂げるって何？これが分からない。
女性	37	まずは子どもの手が離れたら仕事をしたいです。老後についてはまだ、実感が無いのでよくわかりません。
女性	31	まずは子どもをつくる。貯蓄をしっかりと安定した老後をおくれるようにしたい。
男性	37	まずは転職
男性	45	まず子供達を一人前に育てることが一番大切
女性	49	まず自分の健康のこと、病気にならないように楽しく生きていく。
女性	48	まだ考えていない
男性	41	まだ、子供が小さいので子供の成長を楽しみにしたい
男性	44	まだ、老後については考えているところです。
男性	39	まだあまり考えていない

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	30	まだあまり考えてない
女性	33	まだかんがえていない
男性	33	まだその生活のイメージがわからないので実感していない
女性	47	まだはっきりとはしていない。今の状態を続けられるなら続けたいとも思っている。
女性	38	まだまだ、今思案中です。子供の手が離れたら仕事にはつきたいと思っていますが、何でも話せる家庭になればいいと思っています。老後は、のんびりしたいの一言ですが～どうでしょうか？
女性	45	まだわからない
女性	42	まだわからない
女性	45	まだわからない。
女性	31	まだ具体的なものはないが、自分の納得のいくような将来にしたい
女性	37	まだ具体的には考えていないので漠然としていてわからない。
女性	34	まだ具体的に考えていない
男性	35	まだ具体的に考えていません
女性	34	まだ決まってません
女性	41	まだ結婚もしていないので、見通しが立たない状況です。
男性	46	まだ考えていない。あまり仕事をせずにのんびりしたいが、経済的に心配。
女性	37	まだ考え中である
男性	37	まだ考え中である
女性	47	まだ子どもの将来が見えていないので、自分のことを考える余裕はない感じです。
女性	30	まだ子どもも小さく、子どもの将来も自分の仕事の事もまだまだ先のことだと漠然としか考えていない。老後も予想がつかない。
女性	39	まだ子育て真っ最中なのでとにかく健康で、明るく過ごしていきたい
女性	35	まだ子供が小さいのでとにかく毎日楽しく一生懸命暮らしています。もう少し大きくなったら時間的・精神的にも余裕を持って過ごしたいと思っているくらいで特に将来設計はありません。
女性	39	まだ子供が小さいので自分たちの老後よりも子供の将来の方が興味がある。イメージとしては豊かな老後考えたが、そのためには自分が仕事を復帰させる必要があるとは感じている。
女性	32	まだ子供も小さいので将来の具体的なことまでは考えていません。今は経済的にも余裕がありますが子供が大きくなっていくうちにお金も必要になることで少し私も子供が学校などに行くようになり暇ができれば働きたいです。老後は夫婦で旅行などして楽しみたいと思っています。
女性	30	まだ詳しく考えていません。
男性	43	まだ深く考えていない。考えることが不安でもある。
男性	38	まだ真剣に考えていない。
女性	30	まだ全然考えていません。
女性	35	まだ特に考えていない。
女性	34	まだ特に考えていません。
男性	42	まだ特に考えてはいない
男性	42	まだ漠然としか考えていない、今の生活で手一杯。
女性	31	まだ漠然としていて具体的には何も決まっていない
男性	43	まだ漠然としている
女性	35	まだ漠然としているが老後は夫婦でゆとりをもった生活を送りたい
女性	30	まだ不明
男性	31	まだ分からない
女性	31	まだ分からない。
男性	39	まだ未定
男性	37	まだ迷っている最中
女性	45	まったくありません
男性	32	マニュアル思考に陥らないようよく考えたい
男性	40	みんな健康でいらられば今特にない
女性	43	ムリせず1年ごとに目標を立てて行くようにしてる
男性	45	メリハリのある生活を送りたい
女性	47	もういちど、大学に入って勉強したい。
男性	38	もうすぐ40歳が近いのですが、老後が不安です。
女性	43	もうそろそろ真剣に考えるべき年齢なのだが、どうも現実感がなく、ただ毎日が過ぎてゆく感じ。安定した生活環境が望めれば、あとは家族や友人と仲良くおだやかに暮らせればよい。
女性	40	もうひとり子供が欲しい。子供の手が離れたら、少しずつ自分の趣味を広げていきたい。平穩でのんびりした老後がおくれればよいと思う。
女性	34	もう少しスキルアップし安定した職につきたい。
女性	30	もう少しゆとりのある生活を送る
女性	39	もう少し子供が大きくなり、手が離れたら仕事をして自分の自由になるお金を稼ぎたいです。
女性	44	もう少し時間のゆとりをもって趣味を楽しむ時間をもてるようにしたい
女性	34	もう少し生活にゆとりが出来るように考えている。子供の人生と親の人生は別と思っているので、夫婦の時間を大切に考えていきたい。いつまでも笑っていられるように。
男性	41	もう少し儲けたいです。
男性	36	もっと給料があがれば生活に余裕が出る
男性	31	もっと子供を作って、手が離れたら趣味に打ち込みたい
女性	35	もっと自分に自身が持てることを生きているうちにしたい
女性	49	もっと若い時から設計を立てればよかったとおもっています。
女性	37	もっと趣味をもって気持ち的にも充実したい
男性	46	もっと真剣に考えなくてはいけないと思う
女性	40	やすらげる家庭の維持したい
男性	40	やっぱり安定した転勤収入と貯蓄
男性	32	やっぱり世の中は金次第
女性	35	やはり経済的にゆたかであってほしい。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	30	やはり子供がたくさんほしい、たくさん作るべきだ。
男性	33	やりがいがあると思える仕事を一生やっていきたい。定年後も働ける体力、能力を身に付けたい。
女性	30	やりがいのある仕事を続けていきたい。
女性	37	やりたいことがはっきりしないまま結婚してしまったので、子供が大きくなるにつれて、いろいろ挑戦したいと思っている。
男性	30	やりたいことをして、その時々合った経済状況を加味して家庭を築いていきたい。
男性	30	ゆっくりとすごしたい
女性	30	ゆっくり幸せに暮らしたい。
男性	47	ゆっくり生活したい
男性	38	ゆとりある生活
女性	44	ゆとりある生活で子供の世話にならずにできれば海外で生活したい。
男性	33	ゆとりのある人生を送りたい
女性	48	ゆとりのある生活をする
男性	48	ゆとりのある生活を送りたい
男性	44	ゆとりのある老後希望する。
女性	49	ゆとりの時間がある範囲内で、仕事がしたい。余暇もつくり、好きな旅行を楽しみたい。仕事でも仕事以外でも、人の役に立つような事をしたいので、勉強している。子供には、頼りたくない。
男性	38	よくわからない
男性	35	よくわからない
女性	45	リゾート地に移住
女性	48	わからない
女性	44	わからない
女性	42	わからない
女性	40	わからない
男性	48	わからない
男性	40	わからない
男性	44	わからない
男性	33	わからない
女性	30	愛する人と結婚して、子供をもうけて、平々凡々でいいから明るく楽しい家庭を築きたいです。
女性	40	安心して暮らせる老後がほしい。
男性	47	安泰であれば良い
男性	47	安定
男性	38	安定したものであれば多くを望みません。
女性	46	安定した仕事に就きたいと思いますが、それが何であるのかもよくわかりません。悩んだときは、勉強するとき、と思っています。
男性	40	安定した生活
男性	36	安定した生活がしたい。
女性	49	安定した生活がしてみたい
女性	35	安定した老後を送れるようにすこしは貯蓄しておこうと思っている。
女性	32	安定していればいい
男性	45	安定していて楽しい家庭を築きたい。
女性	41	安定第一
男性	43	以前は教師や医師が過剰といわれていたが、最近は法学も足りないからと学校を増やし過剰時代がやってきたらしい。私の職業である診療放射線技師も引き手数多の時代に選んだ職業であったが、その後の専門学校乱立の結果、今では新卒者ですら就職できないという時代。職場では、人件費の安い若手への入れ替えでリストラは30代にまで迫ってきています。子育てが大事な時期でも共稼ぎしていかなければ、食べていかれず、家庭も子育てもめちゃくちゃ状態です。今は余暇や老後のことなど考える余裕すらありません。給料は以前の半分以下、転職したくとも職は無し。それどころか、いつまた肩たたきにあうかとビクビクしています。競争原理で仕事ができる人は残れると聞いていましたが、若い頃勉強してきたことや経験が活かされるような職場環境とはほど遠く、今は研修は愚か有給すらとれない状態です。更に年金の支給開始年齢や支給額など悪化していくばかりで、一生生涯趣味の時間など持てそうもありません。
男性	42	一億円を貯め悠々自適な生活をしたい
女性	47	一言で簡単に書けることではありません。
女性	40	一人っ子で独身子供無しなので将来は一人で気楽に趣味の生活としてペットを飼い、手芸などをしたいです。
女性	49	一人っ子なので彼に頼らず生活していけるようがんばるつもりです。
女性	43	一人で生活することを選んだ以上、厳しいのは覚悟していますが、やはり不安です。
女性	31	一生専業主婦の予定。老後は子供と暮らしたい。
男性	40	引退したら世界旅行をする
男性	46	引退後の生活とか興味深い年齢になってきましたので、そろそろ考えないといけないのかと思いますね。
男性	45	栄養士の知識・経験を生かし将来糖尿病などの患者が気軽に利用できる飲食店を開きたい。
男性	47	沖縄移住
女性	39	穏やかなあまり悩みがない人生を送りたいです。
女性	33	下の子が小学生になったら、正社員として働きたいと思う。老後は子供の負担にはなりたくないの無理に同居はしたくないので、定年後年金がどのくらいもらえるのか、貯蓄が出来るのかが心配になることがある。
女性	38	下の子供がある程度大きくなったら再び社会に出て働く。その場合、家庭を優先できるように仕事時間を選択したい。子供が独立した後は夫と二人で趣味を楽しみながら生活する。
女性	34	下の子供が小学校に入ったら、パートでも良いので働いて、住宅ローンを早く返したい。子供が結婚して独立をしたら、夫婦で旅行に行きたい。
女性	43	何か自分の支えになる趣味が何かをはじめて、仕事以外の人間関係を広げたい。
男性	37	何ごとともその時の自分ができる精一杯をやっているけれど何とかなると思っています。
女性	32	何でも普通の生活がいいと思う
男性	49	何とかなる
男性	33	何とか暮らしていければと思います。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	32	何もない結婚したら変わりそうなのでその時考える
女性	35	何も決めていない
女性	46	何も考えていない
女性	39	何も考えていない
女性	33	何も考えていない
男性	46	何も考えていない
男性	47	何も考えていない
男性	41	何も考えていない
男性	35	何も考えていない
男性	32	何も考えていない
男性	43	何も考えていない
女性	34	何も考えていません。
男性	37	何も考えてない
男性	31	何も考えてません。
女性	35	何も考えなくてもよい世の中になってほしい。
女性	37	何も考えられない
男性	49	何も設計出来ない。定年後は最低レベルの生活になると思う。
男性	31	何事においても後悔しないように、全力で取り組んでいきたい
女性	43	何事にも興味を持ち続ける事。
女性	32	可能であれば結婚・子育てをしながら、在宅でもいいので何か収入を得られる仕事をずっと続けたい。老後は自然の有る所で暮らしながら、お金のためでは無く、自分の生きがいのために何か仕事を持ちたいと思う。
女性	39	可能ならば近いうちに家族は増やしたいと考えている。また、自分自身については贅沢だが” やってみたい” と思ったことにはチャレンジして内面を充実させたい。老後は子供がいてもいなくても単位は夫婦だと思っているので、主人と仲良く楽しく過ごしていきたいのですが・・・。貯蓄は足りるのかな？ちょっと心配。とにかく元気であることが一番ですね。
男性	43	可能な限り長く稼ぎたい
女性	47	可能な限り働くなど社会とのつながりを持っていたい。
男性	30	家を買えるぐらい貯金をしたい
女性	32	家をたてたい
女性	45	家族がみな健康であり、成長した子供たちが精神的経済的に自立して、それぞれが明るく生活し、ある程度のゆとりのある老後をおくること。
女性	40	家族が助け合って暮らして生きたい
女性	38	家族が心豊かに暮らせる程度の収入でよく、ほんの些細なことでも幸せを感じていければとても幸せだと思います。そのためには安定した収入やある程度の貯蓄はしていきたいです。
女性	36	家族ずっと仲良く暮らしたい
男性	38	家族で仲良く過ごしたい、と思う位でありあまり考えていない
女性	31	家族で仲良く暮らしたい。豪富でなくてもくじけずがんばっていきたい。
女性	42	家族とのんびり静かに暮らしたい。
男性	45	家族と楽しく過ごしたい
女性	36	家族にあまり迷惑をかけずに健康に過ごしたい
男性	39	家族に世話にならずお金で世話をしてくれるところに住みたい
女性	42	家族の幸せが最優先！で専業主婦をしています。それはとても幸福なことなのですが、時々フツと寂しくなる時があります。このまま何もできずに（そんなことは無いとわかっているのに。）歳をとってゆくの
女性	45	家族みんなが健康でお互いに助け合って、自分の趣味・友人も持ち、その年齢ごとにベストな状態を保っているよう意識して生活していきたい。
女性	39	家族を軸に、地域社会と密な交流を持ちながら、自分の特技を生かした活動を続けていきたい。
男性	42	家族を守る
女性	35	家族全員が健康で暮らせればいいなと思います。
女性	33	家族仲良く生活がしたい。
男性	31	家族仲良く生活し、老後そこそこ食べていければそれでいい。
男性	39	家族仲良く暮らしたい。
女性	42	家庭が第一です！
女性	33	家庭だけの為に一生懸命になるよりも、まず自分自身を充実したいと思っています。
女性	41	家庭での生活も楽しみながら、適度に仕事をして、余裕のある生活がしたい。
男性	38	家庭は持たず、もし遺産ができた場合は現在里親になっている子に相続させる。仕事はできればアルバイトのまま最低限の資産で生活する。財産相続におけるいざこざを極力避けたい。
女性	45	家庭生活が充実していれば他のことも充実してくると思うので、一番重視している。
男性	45	家庭生活においては、家族での会話する機会を多く持つ努力をしている。家族で出かけることにも心がけてい
女性	43	家庭生活に支障をきたさないようにしながら今は自分の知識を増やし、もう少ししたらこれを仕事にし老後にも続けたい。
女性	33	家庭生活の安定を大切にしている。
女性	47	家庭面においても、経済的にも安定した穏やかな生活を送りたい
男性	49	過去10年程睡眠時間を削るなどしてかなり体を酷使してきたので、そろそろ生活のリズムを人並みにしたい。それでも収入を得られる何らかの方策を探っていきたい。
女性	49	介護の仕事に就いて自分を成長させたい
男性	38	会社に帰属していると、色々な障壁があったりしてやっかいなので、やはり自分の得意分野を活かして独立したい。
男性	38	会社の将来にも自分の将来にも不安はあるが、いまのところ漫然と生活している
男性	41	会社の定年が60才なので、その後は定期的に旅行（国内）をしたい。特に東北地方の歴史旧跡をゆっくりと鑑賞して回りたい。その後は金銭的に余裕があれば観光地にある福祉施設に入居したい。
男性	31	会社員をしているが、仕事には興味がない。将来は会社を辞めて画家として生計をたてたい。年をとるまで画家の仕事をしたい。
女性	46	解らない

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	49	快適な生活
女性	40	海外から仕入をして、今経営している会社をもう少し拡大したい。そのうち主人にも経営に参画してもらって。その余暇で念願のウィーンでモーツアルトの歌劇を生で鑑賞するなど海外旅行を楽しみたい。夫婦で健康な限り人生を楽しむつもりです。
男性	43	海外に移住する予定
女性	44	海外移住
男性	35	海外移住
男性	32	海外生活
男性	46	海外脱出して小さな料理の店を持つ
男性	44	皆で楽しく暮らす。
男性	48	学びの生活を送りたい
女性	30	学生時代あまり将来を考えずにいた事を、歳とる事に後悔してしまいます。結婚してもいまひとつ頼りない主人を見てみると『人生失敗したかな…』と考え込む事しばしば。考えだすとキリがないのでまあなんとかなるだろう！の精神でこれといった将来設計はしていません。
男性	49	楽しい家庭で有り続けたい
男性	43	楽しい老後
女性	31	楽しく過ごしたい
男性	34	楽しく過ごしたい
男性	32	楽しく過ごしたい。
女性	39	楽しく生活できればよい
女性	39	楽しく暮らせる為に安定した家庭生活をおくるようにしたい、仕事があれば共働きも将来したいと思う。老後はのんびりと自分の趣味などを楽しめるような環境にしたい。
男性	30	楽しみたい
男性	42	楽観的にいきたい
男性	30	環境に合った生き方
女性	40	関心のあることには出来る限り目を向けて行きたいと思う。そうすることで自分自身が生き生きしてくるので、その結果生まれてくるものはお金では買えないものだと考える。
男性	36	企業家として独立し、生涯会社を運営しながら社会に貢献したい。
男性	35	基本は、「勉強をし、業績を積み、学位を取得し、健康を回復する」こと。結婚したので、二人の人生について考えていかななくてはならない。
男性	36	気ままに
男性	34	気楽に満足の行く生活
女性	42	気持ちに余裕のある暮らしがしたい
男性	39	起業したいと思っています。
女性	43	去年、再婚して3児の母となりました。今回回答した子供は主人の子ですので、小さい頃のこと何もわかりません。同居当初はないを考えているのかわからない子でしたが、最近をよく話しますし、将来のことや家庭内の悩みも聞いてくれるほどです。私の残りの人生を3人の子供の成長に捧げたと感じて嫁ぎました。子供たちが巣立ったら、あとのことは考えも及びません。あまり長生きを希望しませんので、それで人生が終わりでもくいいは残らないと思います。子育てが私のライフワークです。
男性	46	居酒屋の親父
男性	43	共通の趣味を持つ人ともっと多く知り合い、充実した生活を自力でしていきたいと思っています。
女性	38	共働きで住宅ローンを早期に返済して、避寒ができるようになりたい。
男性	32	教えられない
女性	49	興味のあるものには積極的にチャレンジしたい
女性	42	金銭的に余裕があれば海外移住を計画している。
男性	36	金銭的な不安が大きい
男性	49	金銭的にも精神的にも余裕をもって生活したい。色々やりたいことがあり、その計画を立てるのが楽しい。
女性	37	金銭的に困らないようがんばって働き、趣味に楽しめるよう夢を持ちたい。
男性	30	金銭的に困らないように。
男性	40	金銭的に困らない様にしたい。
女性	33	金銭的に困窮しない、家族が健康である。この二つがあればいい
男性	45	金銭的のことを考える必要がないような収入を得られるような起業を考えています。
女性	42	具体的なビジョンは無いが、近いうちにおおまかな設計はしないとイケないと感じている
男性	41	具体的な設計はない
男性	43	具体的にはまだ考えてない
女性	41	具体的には考えていないが、配偶者と時々旅行などしてゆったり過ごしたい
男性	43	具体的には考えていません
男性	30	具体的には考えていませんが、投資家になってみたい。
女性	37	具体的には思いつかないが、働いている事が将来の不安を少し和らげている気がする。
女性	43	具体的には特にないが、穏やかに暮らしたいと思う
女性	48	具体的に考えていない
女性	42	経済事情がゆるせば、ずっと専業主婦でいたい。主人の定年後はふたりでのんびり静かに暮らしたい。子供の世話にはなりたくない。
女性	44	経済状況が許すなら働かず、自分の趣味を深めたい。
男性	44	経済的なプランが基本になるのでそれをアドバイスしてくれるサービスがもっと充実すればよいと思う
女性	49	経済的にも余裕があり健康でこのままの状態が長く続けば良いと思う。
男性	38	経済的にゆとりのある生活がしたい。
男性	34	経済的に安定して、のんびり過ごしたい
男性	46	経済的に安定して、心穏やかに過ごしたい
女性	33	経済的に困らず、贅沢もせず、のんびりと暮らしたい
女性	47	経済的に困窮しないよう心と時間にゆとりある生活
女性	40	経済的に不安が無ければ自分の好きなことをして生きていきたい。
男性	39	経済的に保証があれば、趣味の範囲を広げたり、集中してみたい

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	41	経済的に余裕ができれば通信制でよいから大学に行きたい。
女性	41	経済的に余裕のある、安定した老後生活を送りたい。
女性	32	経済的に老後は不安。主人に何かあったら不安。専業主婦が子供の頃からの希望で現在専業主婦だが、このまま老後まで専業主婦は難しそう・・・最近先々に不安を感じはじめているが、自分がどうしたいのかどうすればいいのかまだわからない。手に職や資格があると心強いだろうがなかなか重い腰があがらない。
男性	31	経済的だけでなく全て充実した設計を立てたい。
男性	37	経済的要素だけの充足が人生の最大目標ではないが、高度成長期以降の大人の振る舞いが現在の若者の価値観の根底を作っていると解釈するなら、社会のモラルや国民の精神性の美徳な部分の欠落も早急に対処しないとイケないと思われま。戦後、日本人であること、精神的に強い日本人であることにコンプレックスを抱かせるような教育や社会性が有ったことも事実であり、これからのグローバル化の中で世界の中の日本の美徳をもっと意識して、変わっていかうという「気概」を持つことが大切です。そういう意味で、人生は日々勉強であり、世代間交流や異文化交流をもっと促進していかなければなりません。ミサイルが何時降ってくるか分からないこの時代、大人は不正ばかりやっていると若者に思われては良い社会は望めないと、心底憂慮しています
女性	35	継続して生活が困窮しないある程度のレベルの仕事をしたい
男性	41	計画中で設計していません
男性	37	芸術の道に進みたい。子供が手を離れたら進むつもりだ。
女性	33	決して贅沢はしないけれども、それなりに細々とおだやかに暮らしていけたらなあ、と思う。
女性	30	決めていない。
男性	48	結果的に言えば今の業種は私にとってもあっていると思うのですが、繊維製造の不景気の流れがさほど良くなると思えず、したがって収入的にも多くは望めないと思うので定年までの数年間で定年後に収入を得る方法を勉強中であり、具体的な方法は見つけました。
女性	43	結局は夫婦仲良く助け合って生きていければ、子ども夫婦にちょっかいを出さなくても穏やかな気持ちで生きられると思います。自分たちの夫婦仲を維持させるために子どもや孫にかまけるのは子世代にとって迷惑な話でしょうね。
女性	48	結婚・子どもの有無にかかわらず、経済的にも精神的にも自立しているべきだと思います。
男性	33	結婚して子供が欲しい
男性	36	結婚して家庭をもって子供がたくさんいて、その子供が結婚して孫が出来て、そのなかでのんびりと夫婦で老後を送りたい。
女性	34	結婚して自分の家庭を持ちたいが予定がない。将来設計は結婚してからだと思う。もし結婚できなかったら、と言う選択肢は今は考えたくない
女性	40	結婚するのかな？
女性	41	結婚生活は結構縛られているので、子供達が独立したら、自分のためにたっぷり時間を使いたい
男性	32	月1回は海外旅行をしたい。
男性	38	節約して生活して老後の資金を早期に形成し、早く引退してノンビリ暮らしたい
女性	41	健康が一番ですね。健康ならば自分の好きなことや、働く事が出来るのでいつまでも元気でメリハリのある生活がしたいです。
女性	47	健康で、いくつかの趣味をもち、できれば子供の一人と一緒に住みたい。
女性	41	健康で、衣食住に困らない生活であれば・・・
女性	39	健康で、金銭的に苦しくても、幸せで暮らしたいです。
女性	37	健康であかるく楽しくすごせるならそれで良いです。
女性	45	健康でありたい。
女性	46	健康でいられる限り、仕事はやり続けたい。自分を高められる仕事が理想。
女性	45	健康であれば、老後は旅行ざんまいの生活をしたいと思います。でも今は、あまり考えられません。
男性	48	健康でずっと仕事を続けたい
女性	46	健康でゆったりした生活ができればよい
女性	39	健康で過ごせれば幸せ
男性	40	健康で仕事を続けていきたい。
女性	39	健康で趣味と実益が得られるようなことがしたい。
女性	46	健康で不安のない生活
男性	48	健康で夫婦そろって老後を楽しみたい
男性	32	健康で普通の生活が第一目標
女性	43	健康で暮らしたい
女性	46	健康で憂いなく暮らしたい
女性	49	健康で旅行にどんどん行きたい
女性	31	健康に過ごせていけたらいいと思う。気づかないうちに老後を迎えているっていうように。
女性	48	健康に気をつけて、旅行をしたい
女性	38	健康に主人と仲良く海の近くで幸せに過ごす。
女性	45	健康維持の為日々努力している
女性	43	健康管理をしっかりして、まずは人並みの生活を営むことを目標にしたい。
女性	42	健康第一でしっかり生活しつつ趣味も楽しみたい
男性	39	健康第一のみ
女性	31	堅実な貯蓄。
男性	34	検討中
男性	48	検討中です
女性	48	元気でいつまでも夫婦で協力し合って生きたい
女性	43	元気で家庭が楽しいのが一番
女性	44	元気で楽しい老後を送りたい。
女性	37	元気なうちは主人と2人で気ままな老後を過ごしたい。
男性	38	元気なうちは働けるまで働く。老後は年金と僅かな収入でのんびり暮らしたい
男性	45	元気に80歳まで頑張る
男性	45	元気に自由なことをやりたい
男性	41	現在、検討中
男性	45	現在、考えているところである

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	41	現在、生活福祉を受けているので今後の設計をたてる状態でない。
女性	30	現在、第1子を育児中。勉強中の資格を今年or来年中に取得し、子どもを保育園に預けて仕事を再開したい。もう1子出産を希望。共働きで多少は余裕のある生活をしていきたい。仕事面では、ある程度を維持するよりは仕事内容・収入も増やしていきたい。
女性	37	現在、厄介な病で闘病中なので、何もかも不安でいっぱいです。
男性	41	現在している仕事をキーにして、もう少し活躍の幅を広げたい。老後に対しては出来るだけ一人で頑張りたい
女性	44	現在の仕事が、趣味をかねているような内容であり、特に定年もない自由業なので、無理の無い程度に続けられるだけ続けて行きたい。
男性	33	現在の仕事と家庭で充実した日々を送りたい。
女性	40	現在の仕事にとっても満足している。大学へ進めなかったのは家庭の経済的理由。もっと能力の有る人間が経済的理由で学業を諦めなくても良い環境を作るべき。いずれボランティア活動でたくさんの命を救いたい。
男性	40	現在の仕事は食べるためのもの、子供が就職したら、自分の好きな事に後の人生を使いたい
女性	32	現在の仕事をしながら今勉強していることで近いうちにはその仕事につき結婚しても経済的に独立したい。老後も時間とお金に余裕を持てるように今のうちに計画を立てていく
女性	42	現在の仕事を自分の健康状態が良い限り、老後も続けたい。
男性	46	現在の仕事を定年まで続けたいですが、社会情勢を見ていると定年まで今の会社にいる事ができるか全然判らない状況なので理想の将来設計は有りますが、将来設計は全然見通しが立たない状況です。
女性	47	現在の社会情勢、老後に不安が無いとはいえないので、長いスパンで計画立てて手生活していきたい。
男性	35	現在の社会情勢においては、老後(特に年金)について不安が多すぎる。
男性	36	現在の社会状況が不安定な為、将来設計ができない
男性	30	現在の職業が情報処理分野であるため、いつまでもこの業界に入れるとは限らないと考えています。子供が学校を卒業するまでは何とか頑張り、その後は昔から好きだった自動車、バイク関連を趣味に持ちつつ、妻とゆっくり旅行にでも行きたいと考えています。
男性	40	現在の職業をなるべく続けていきたいが、条件が良ければ転職しても良いと思っている。老後は生活に困らない程度の収入を得るために手に職をつけたい。そして最後は老人ホームに入りたい。子供に負担はかけたくない
男性	30	現在の政治では老後はかなりふあんだ
女性	44	現在の生活で精一杯なのであまり考えたことはないが健康であれば趣味を楽しみながらのんびり過ごしたい
女性	46	現在の専業主婦の生活にまあ満足しているけど、出来れば自分でも収入を得たいと思っている。老後は都心のマンションで夫婦で暮らしたい。
女性	33	現在の店舗を大きくし、子どもも素直に健康に成長し、多少の警沢な毎日の生活と安心でラクな老後。
男性	43	現在は、仕事で自己実現したいが、老後は、地域社会との交流や趣味を深めて、精神的に豊かな老後を送りたい
女性	40	現在は独身で気楽ですが、将来のことを考えると不安です。仕事は楽しく生きがいになっていますが、安定した収入を得られないため何か良い方法はないか考えたいと思っています。できれば結婚した方が親も安心すると思いますが、結婚したいと思うような人には巡り会っていません。友達のような夫婦関係を築ける人であれば前向きに考えたいです。老後は夫婦でのんびり旅行がしたいです。
男性	33	現在は非常勤で仕事をしているので、できるだけ早い時期に常勤として働ける仕事に転職を考えている。結婚について具体的な計画や焦りは無いが30歳後半までにできればと思っている。また今後の目標として英会話を身に付けたい。老後については60歳を超えても可能な限り働き続けたいと思う。
女性	45	現在は老後の生活が少し不安、今後どうして行くか考えていかななくてはと思っている。
男性	44	現在健康を害しており不安である。
男性	41	現在検討中
男性	31	現在検討中
男性	32	現在検討中。
男性	46	現在公務員なので、60歳までは働けると思う。しかし、退職後が全く見えていないので不安である。
男性	37	現在考えているが、思うがままに進むだけ
男性	36	現在考え中である
男性	32	現在考え中です。
男性	48	現在考慮中です。生き生きとした生活にしたいと思います。
男性	44	現在子供も小さいし、将来に向け貯蓄が必要だと考えます。ただし社会が今後経済的にかなり厳しい状況になると思いますので、将来的に今の環境を維持できるかどうかかなり不安です。
男性	33	現在思案中である
女性	34	現在専業主婦であるが、仕事を持ち、子育て、家事、仕事をきちんと出来る様にしたい。老後は海外で、英語を学びながら、旅、ロングステイなどしたいと思います。
女性	30	現在妊娠中なので、まずは無事出産して子育てを頑張りたいです。子供が成長して巣立って行ったら、老後は夫と2人でのんびり生きていきたいです。
男性	48	現在副業を模索中
女性	35	現在模索中
女性	42	現実的に目の前見るなら、先は真っ暗です。今、暗闇に一条の光を見出しているところです。
男性	39	現状の収入や職場の将来性を考えると満足出来ないの、早めに他の職場に転職することを強く願っている。実際にその行動に出ている。
女性	48	個人で仕事をしており、貯蓄や財産もないので、生活の費用を生み出す仕事のできるための健康は常に絶対条件です。収入が不安定なため、健康を害するほど仕事をして生活収入には困らないか、ややゆったりめに仕事をして生活収入に貧窮している状態を行き来しているので、とりあえず速くそのバランスを図りたい。利益率を上げるための工夫や方向修正、勉強などレベルアップをし、就業時間を一般の社員並くらいに減らし、家庭での時間や趣味、スポーツ、ボランティアなどに向ける時間に向け、心身の健やかな毎日を送れるようにした
男性	39	個人年金をはじめ
男性	42	五体満足でなくなったら生きる気はない
女性	45	光ファイバーに切り替えられたら、ネット生活をもっと充実させたい。
男性	48	公的な保障は期待せず、自身を守ることは自身以外ないと悟り今後頑張って生きたい。何分子供がいなくてその点割り切って考えられるのは、幸か不幸か？。
女性	49	公的以外のものも含めて年金で生活できればベスト。
女性	43	公的年金があてにならるので、適当な保険や年金を探してはいるがこの先の社会がどう変化するかわからないし、どうしたものか悩んでいる。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	34	公的年金がどうなっていくのか?それだけが不安
女性	43	公的年金が当てにならない時代だし、低金利の時代なので自分で資金運用をして自分の老後の資金を蓄えていきたい。低所得時代になっても子ども達に迷惑をかけることなく経済的自立をしたいと思う
男性	38	公的年金が不安な中、老後のゆとりある生活を考えて今後の設計を行いたい
女性	42	公的年金に頼らなくても自力で生活できる金銭的余裕をもてるようになりたい。
女性	37	公的年金に頼らなくても良いようにする必要があります。
男性	48	厚生年金があてにならないという前提で老後の資金を稼ぎたい
女性	40	好きなショッピングがそこそこ楽しめる生活がしたいです。
女性	48	好きなところに旅行に行ったり好きなことが出来る生活が送れるといいな。ゆったりした時間が過ぎていくようなそんな暮らしがしたい。
男性	34	好きな人となるべくいられる時間をつくる。
女性	49	好奇心いっぱい、友だちがいっぱいて経済的に食べて行ける生活
女性	36	好奇心旺盛に
女性	33	幸せであればいい
男性	31	幸せな家庭
女性	44	幸せに生きること
女性	37	考えたことがない
男性	44	考えていない
男性	42	考えていない
男性	43	考えていない
男性	36	考えていない
男性	42	考えていない。
男性	46	考えてない
女性	39	考えてはいるが不安だけです。
男性	35	考えても無駄なのでそのときおきる現象に対処していく
女性	32	考えなきゃいけないと思うが今の生活ことで精一杯。もう少し子供が大きくなったら考えようと思っている。
女性	36	考え中
女性	37	考え中
男性	46	考え中
男性	41	考え中
女性	45	行きたいところに行けて、興味のあることができる経済的余裕がほしい。
女性	36	行政はアテにならないので、老後の生活費を今から貯めて行かなければならない。でも今から老後のことばかり考えるのも侘しいですね。国がちゃんとしていればもっと気楽なのに。。
女性	40	高収入が得られなくても、家族の時間を大切にしたい
女性	46	高齢になっても、ボランティアでもいから、自分の能力を生かした社会貢献をして行きたい、また、子供の役にも立ちたいと思います、仕事で忙しい時、病気になる時は孫の面倒をみる、これも立派な社会貢献と思
男性	39	高齢者用の医療設備の近くで、自立して、のんびり過ごしたい。むろん海外も含む。
男性	40	国の政策は当てに出来ない自分で何とかしようと考えています。
女性	40	国の補償はあてになりそうにないので世間に迷惑がかからない程度に大人しく余生を過ごしたい。
女性	31	国際結婚なので将来は主人の国に行って老後はのんびり暮らせたらいいなと思います。そのためにその国で活かせる社会保障をしっかり検討し実行しています。
女性	30	今、すべてにおいて余裕が無い為(金銭的にも時間的にも)じっくり考えた事がないですが、そろそろ考えるべきですね。
女性	37	今、住んでいる家(一戸建て持ち家)は老後夫婦二人で住むには広すぎるので、適度な広さの賃貸マンションなどに住み替えたいと思っている。
女性	33	今33歳ですが、歳を重ねるにつれて、自分がなりたい自分に近づいているように感じています。以前は、石にたとえると、色んなところがとんがっていて、周りを傷つけることが多かったのですが、最近ではある程度丸くなってきたようです。もっと色々な経験をして、なりたい自分になれるといいなと思います。
男性	42	今いろいろしたいことがあるが、数年たてば変わらと思う。環境変化に応じて臨機応変に対応したい
女性	40	今がよければいい・・・
男性	49	今と生活環境の異なる土地で生活してみたい。
女性	45	今と変わらず、休日にはのんびりと温泉などに行ったりゆっくりしたい。旅行もあちこち行ってみたい。
女性	35	今のことに精一杯で、将来設計までまだ目がいていません。とりあえず社会保障は当てにしないで生活できるようにしようと投資の勉強をしています。
男性	48	今のところ突き進んでいくしかないあと10年はそんな感じその後は社会が変わっているから其のときに考えた
女性	39	今のところ、自分の老後に関してはイメージはわかりません。同居している祖母や父母の介護の方が先と思います。今、家を建て直しているので、その準備はできていると思いますが、金銭的な備えが心配です。
女性	34	今のところない
女性	32	今のところまったく計画がない。そろそろ考えないとまずい、とは思っている。
女性	37	今のところ安定していればよいと思う。
男性	47	今のところ心配はしていないが、老後に社会情勢が変わって年金制度が崩壊したら困るので保険も入ろうかと思っている。
男性	38	今のところ深く考えていない
男性	46	今のところ深く考えていない。
男性	47	今のところ特になし
男性	35	今のところ特に考えていないこれからゆっくり考えたい
男性	37	今のところ未定
女性	47	今のパートから正規職員に変わりたい。希望は出しているが、なかなか通らない。男性中心採用の職場が不満。しかし、これまでのキャリアを生かしたいので希望を言い続ける。家庭は、子どもも大きいので、これまで通りそれぞれの生活であまりお互いを縛らずやっていきたい。老後まで考えられない。今が精一杯。
女性	45	今のまま、大きな事が起きないで、無事に過ごしていきたい。
女性	38	今のままでいられたら一番だとおもっています
女性	40	今のまま平穏に暮らしていければそれで満足ですが。。そういうわけには多分いかないでしょうね。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	40	今の会社に10年近く勤めていて仕事も正社員と変わらない仕事を任されるようになってきました。出来るだけ長くこの仕事を続けたい。でも子供はこれから思春期の大切な時期だから仕事にかまけて大事なサインを見逃さないように見守っていききたい。
女性	43	今の会社にいられる限り働いて老後のために貯蓄しているが、老後の生活がどうなるかはわからない
男性	46	今の現状は少々厳しいのでまだ先にならないと将来的なことまで目線が向かない
女性	46	今の仕事が好きですし、これからの日本のためには必要なしごとになると思うので、もっと、勉強し、上の資格を取れるようにしたい。これからの毎日の生活の中で、悔いのない生活をおくれるようにしていきたい。
女性	35	今の仕事が好きなので、できれば一生続けていきたい。でも、在宅(外注)なので、いつ切られてもおかしくない状況(不況)だから不安。
男性	31	今の仕事で精一杯なので、その他のことは何も考えられません。
男性	46	今の仕事は結果的に自分に最適。家庭生活はいずれ各々の好きな道を歩むことがお互いのため。老後は長く生きたくは無く息子達に残すものだけ残し去りたい。
男性	40	今の仕事は続けられてもあと10年くらいが限度だろうから残りの10数年をどうすべきか考える必要あるのだが、今は漠然としていて考えがまとまらない。また将来年金だけでは生活できないだろうと思う。年金がもらえるかどうかわからない。将来が大変不安なのでこしつづでも貯金していきたい。地獄の沙汰も金次第
女性	33	今の仕事をしばらく続ける貯めたお金で老後は静かに過ごす
男性	33	今の仕事をやり続けて、成功したい。
男性	45	今の仕事を極め、家庭では妻と子供と一緒に楽し過ごしたい。余暇はガーデニングなど自然を相手に楽しみたい。働きながら定年には、自分のしたい勉強を行い、社会にも役立てたい。
男性	42	今の仕事を定年まで続けていく。とにかく今は子供たちを一人前にするために頑張るだけ。老後のことを考える余裕はない。
女性	42	今の事だけしか考えていない
女性	45	今の社会のままなら、きっと年金でのんびり隠居なんて状況にはとてもじゃないがならないと思う。今の仕事だってどうなるか心配だ。
男性	38	今の社会情勢を見ると日本には住みたくない。たぶん老後は南の島でのんびりしたい。
男性	42	今の社会状況は不安定なのもっと安定してほしい。
女性	44	今の趣味を深めつつ、できるものがあれば、仕事もしたい。子供が成人するまで、夫は定年後も仕事をするであろうから、サポートしたい。
女性	47	今の状況だと、次に考えなくてはいけないのは親の老後。自分のことまで考えられない。動けるうちは夫婦とも何らかの仕事をしていきたいという希望はある。現在病気療養中なので、とにかく健康を取り戻しておきたい
男性	43	今の状態が続けば問題なし。
女性	42	今の世の中を考えると、あまり先のことはわからないので、とりあえず、今、自分自身の生き方に後悔のない様に・・・と思っている。
女性	31	今の生活がこのまま平和に続いていくのが今は一番
女性	42	今の生活が精一杯で精神的にも経済的にも考える余裕がない。
男性	35	今の生活を家族全員で楽しく生きていきたい。
女性	31	今の生活環境を維持しつつ、余暇を楽しんでいけたら良いと思います。老後は高齢者向けの介護つきの賃貸住宅に住めたらと思っています。
女性	37	今の日本の状況では将来設計どころか夢も希望もない
女性	37	今の不景気な社会では、仕事もあまり無い。バブルとまで行かなくとも、経済が安定した世の中になってほしい
女性	30	今は、深くは考えていないけど、何かをしたいと思ったり、老後の自分が想像できなくてきっと、なる様にならなれないと思うからあまり、考えたくない・・・
女性	41	今は、前に務めていたパートを辞めて半年ほど家にいますが、また春からパートに出ようと思っています。子供もある程度大きくなってくると、一人で家にも時間を持て余しています。お金もそうですが、働いているほうが毎日が忙しければ、充実していると感じます。将来のことは、まだまだあまり考えていないのですが、とりあえずは子供が望む進学道に進んでいけるよう、がんばって働こうと思っています。
女性	33	今は4人の子育てに全力投球です。自分のことよりもまず子供のことと、家庭のことを考えていきたい。
女性	35	今パートの仕事をしているが、とにかく転職したい。今は小さな子供がいるので、その子供にあわせて時間制限などがあって、仕事内容より勤め先の就業環境を優先している。以前自分が働いていて適していると思っている経理の仕事に早く復帰したい。
男性	30	今はスクールなどに通い、自分自身に力、知識を身につけその後に独立できればしたい。
男性	41	今はそのようなことを考える時間も無いのが現実です。ただし、子供も大きくなり先々の家族の絆を考えはじめている。
男性	35	今はフリーターなので、就職がしたい。
男性	38	今はまだ持っていない
女性	45	今はまだ模索中です。今はアルバイト的なものなので、ずっと働ける安定した仕事につきたいです。
女性	42	今はまだ老後の具体的なことは、考えていない。でも年金もどうなるかわからないので、少しでも蓄えを残したいと思っている。
男性	49	今はわからない
女性	30	今は下の子も小さいので、もう少し大きくなったらまた働きたいと思います。趣味も習い事に行ったりできたらうれしいですね。まだ、近い未来のことしか考えられません。
女性	44	今は何も考えてない
女性	46	今は学費のことでいっぱいであるが、将来は静かにゆっくり暮らしたい。
男性	36	今は勤務の身ですが、近い将来独立したいと考えています。
女性	40	今は金銭的にも厳しいので大変ですが、今後どうなっていくのか少し不安
男性	40	今は仕事のために家庭を犠牲にしている状況。この状況が改善するとは考えにくい立場なので、妻にしっかり家庭を守ってもらいたい
女性	46	今は子どもの教育費のために再就職(パート)したが、老後は可能ならば、今の土地にはいたくないので、実家の方に住みたい。必ずしも子どもの世話になろうとは思わない。
女性	40	今は子どもの進学や将来のことがわからない状態なのでどのような状態になっても応えてあげられるようにしてあげたいと思うだけです
女性	42	今は子育てや、生活で余裕がないが、少しずつ、老後のこと、自分自身について、設計をたてていきたい

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	42	今は子育て期なので、時間も経済的にも余裕がありません。老後はせめてゆったりと過ごしたいのですが、あまり見通しは明るくないです。子供を産んで育ててきた人よりも、子供を産まない選択をした人の方が豊かな生活を送れるのでは、少子化がますます進むようで不安です。
女性	40	今は子育てで真っ最中と言うこともあり子供が学校卒業程度くらいしか人生設計を立てていないでも何事においても充実したと思える人生を送りたいと考える
女性	34	今は子育てで中心だが少ししたら仕事を再開したりして社会に戻りたい
女性	36	今は子供がまだ小さいのともう一人子供が欲しいので仕事はしていませんが、ある程度子供が大きくなったら仕事を始めようと思っています。
女性	33	今は子供が小さいので専業主婦ですが、幼稚園に入り自分の時間ができれば趣味の習い事、またはパートに出たいです。
女性	44	今は子供が望んでいるので専業主婦をしていますが、近い将来、仕事に復帰しようと思っています。また、老後は子供に負担をかけたくないので、それなりの貯蓄と収入を得たいと思います。出来れば、生涯現役で…。
女性	41	今は子供を独立させるまでの事しか考えていないが、将来的には夫婦で余暇を過ごせる貯蓄もしたいと思っている。
女性	45	今は思いつきません
男性	46	今は時間がなくてできないことを楽しみたい。
男性	36	今は趣味の海外旅行を楽しむ。貯金をして早めにリタイア。海外ロングステイへ。
女性	30	今は親が病気なので家業をなんとかしないといけないので、先のことはわからない
女性	41	今は生活に追われているが、子ども達が一人前になったらゆっくりしたい。孫が産まれたら、色々してあげたい。その為には蓄えも少しは必要だと思う。
女性	41	今は先が不安なので仕事ができるうちはしたい。余暇は家族で年に1・2回旅行したい。老後は子供を当てにせず夫婦で趣味を楽しみながら暮らしたい。
女性	30	今は専業主婦だがまた働きたいと思い、今は仕事を探している。また、趣味のアクセサリ作りをもっと徹底的に取り組みたいと考えている。新しく革細工もやってみたい。そのために必要な資金は自分で稼ぎたいとかんがえている。
女性	49	今は専業主婦ですが、下の子が中学になったら何か仕事をしたいと思っていたのですが、年齢制限もあるし就職難でもあるので自分が望む仕事は難しいと思います。経済的には老後には少しは不安はありますが、親から譲り受けたものなどありあまり心配はしていません。それより主人が定年になり子供が巣立ってからの生活のほうがか心配です。そのためにももっと趣味を増やして有意義に暮らしていきたいと思っています。
女性	34	今は専業主婦ですが、近い将来は生き甲斐のある仕事を見つけて経済的にも社会的にも自立した生活を送るのが目標です。
女性	33	今は専業主婦なのでいずれは外に出て働きたい。人との付き合いを広げたい。金銭的にも少しは楽になりたい。死んでも義父母と同じお墓には入りたくない。子供たちが自分のような生活をしないように幸せに暮らし
男性	34	今は働くことに精一杯で先のことを考えていないが、すぐそこに迫っている現実問題なので話し合いながら先のことを決めていきたい
女性	41	今は働くだけで精一杯！まずは体力です！
女性	48	今は特に考えていない
女性	35	今は毎月ギリギリな収支のSOHOだが、少しずつ貯蓄ができるだけの技能を身につけて余暇も少しずつ増やしたい。そして人との出会いの場を増やし、気の合う人が見つかったら何歳ででも結婚したい。仕事も趣味の舞台活動もおばあちゃんになるまで続けて、配偶者とは死に別れるまでのんびりと気楽に過ごしたい。
女性	35	今は無職だが、近い将来は、勉強して、就職したい。余暇は、家族旅行などをしたい。老後までは、まだ考えていない。
女性	46	今まで、あまり将来設計とかせず、惰性で生きてきた所があります。50近くになって老後のことをもっと考える時期に来ていると思います。夫婦で健康で長生きというのが、まず目標です。
女性	42	今まであまりそうではなかったけれど最近では老後について少し気にするようになった
男性	45	今までのように、精神的にも肉体的にも安定した生活を送ることができれば願う。そのためには、まず自身の健康を維持し続けることが自分にとっても家族にとっても大切なこと。
女性	49	今まではある程度、家庭を優先する場面もあったが、これからは仕事最優先で行きたいと思う。それが、老後の生活の安定にも繋がると思うので。
女性	31	今までまったく無計画で過ごしてきたので・・・、ここ数年で将来の設計などを漠然と考え出したところ。今はいつかする結婚のために、少しずつでも貯蓄を考えていきたいと思っています。
男性	41	今まで失敗したと思うことを、やり直してみたい
女性	37	今も安定していないのに将来のことなんか考えられない
女性	31	今よりももうちょっと安定した職につきたい。静かにゆっくり過ごせたらひとりでもかまわない。
女性	47	今より安定した、楽しい暮らしそのためには今がんばる
男性	34	今をどう切り抜けるかで頭がいっぱい。将来には不安しかない。
女性	40	今を過ごすのに精一杯で余暇を考えることが難しい。
女性	49	今を楽しみたい。
女性	37	今を充実させながら、将来の充実も考えられるようなバランスで生活をしていきたい
男性	36	今を生きることに精一杯で、将来のことを考える余裕などない。
女性	31	今を生きるタイプなので、特に設計はしていない。生涯独身で生きていくために転職を考えている。
男性	40	今を生きるだけ
女性	41	今を生きるのに精一杯です。
男性	37	今を精一杯過ごす。
男性	46	今を精一杯生きる
女性	36	今月、第一子出産予定
女性	45	今現在が大変なので、将来のことまで考えていません。
女性	37	今現在の生活に精いっぱい、なかなか将来の事にまで気がまわらない。将来にはかなり不安があるので考えたくないだけかも…。
女性	42	今現在の生活を言うなら私達なりに頑張っています。将来のことを考える余裕がありませんが現状です。
男性	45	今現在は、とにかく、二人の子供が自立できるようになるまで、しっかり育てること！その後は、自分のために時間を使う事を考え、実行したい
男性	42	今後、どのように社会情勢が変わるか解らないので、自分の事は自分で面倒が見れるような資金の使い方をし

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	39	今後は出来るなら自分の好きな分野の資格を取って、それを生かした生活をしたい。子供たちとは別居して自分のペースで暮らしたいです。
男性	36	今考えている最中
女性	38	今仕事が忙しくあまり余暇を楽しめないで、もう少し余裕をもちたい。
女性	34	今子供が小さく専業主婦だけという働いてできればフルタイムで。家庭は穏やかな日々がづき老後は子供と孫にかこまれてしづかに過ごしたいです
女性	36	今親と同居していますが、一時でよいから主人と子供たちとの純粋な(?)家族だけの生活をしてみたい。
男性	33	今貯金を沢山して将来年金をもらいながら旅行などして遊んでいたい
女性	35	今年か来年ぐらいに子供が欲しい。産休&育休中に趣味の語学を深め、稼げるぐらいにしたい。現在の仕事はそのまま続けたい。
女性	35	今悩んでいて分かりません。
女性	33	再就職がしたいと思っている。老後はだんなとゆっくりしたい
男性	36	最悪。収入少なすぎ。倒産・リストラの恐怖。
女性	40	最低限生活できる収入があれば、自分のしたいことをして生活に潤いを得たい。
男性	30	最低限度の生活ができればOKだと思っている。
女性	33	妻として、母としてだけでなく、女として、社会人としてなど、いろいろな面を持って生活していきたい
男性	40	妻とのんびり
男性	31	在宅で仕事がしたい
男性	34	仕事、余暇生活をそれぞれ楽しみ、老後の事は今は考えていない
男性	42	仕事・家事の忙しさにかまけて、まったく考えていない
女性	44	仕事がしたくても、健康でなければ、望んだこともできず、これから歳をとると、段々そうなっていくのではないのでしょうか。その場合、仕事だけが生きがいで虚しくなるし、仕事とは関係ない分野で、家族や友達と、向上心を持って楽しみたい。
男性	38	仕事が体力的にきついで何か合う仕事があれば転職したい。(余暇の時間も少ないので気晴らしができない。)老後は、お金をかけずにできる趣味をして生活できればいいと思っている。
男性	46	仕事が忙しすぎて考える余裕がないので、まずはゆとりのある仕事に移った上で、将来を考えたい。老後の収入の問題はあるが、体が動く限りは旅行などで知識の幅を広げたい。離婚しない限り、老後も夫婦で生活。1人になって介護が必要になれば、施設で過ごしたい。
男性	31	仕事だけでなく、家庭生活を大切に過ごせる時間がある人生を送りたい。
女性	46	仕事で頑張り老後の蓄えを作る。出来れば子供には世話にならず老人施設で同年代の人達と暮らしたい。
男性	47	仕事で成功するとともに、家庭や友人を大事にしたい
男性	39	仕事で精一杯なので、もう少しゆとりをもって仕事をし、その分余暇にあてる時間を確保したい
女性	36	仕事と遊びの両立には、子供がもう少し大きくなり、夫の理解や協力が多大に必要!
男性	39	仕事については、出来れば良い経営者がいる会社に転職したいと考えている。余暇生活は現在の趣味を継続していきたい。また色んな方と知り合って自分を高めたいとも考えている。老後生活は子供には頼らずに、施設や自宅介護等を視野に入れていきたい
男性	33	仕事については常に現状に満足せず、機会があれば新しいものにチャレンジしたい。その時その時で自分は何がしたいのかを十分見極め、それをとことん突き詰めていく中で、最適な職場を見つけていきたい。家庭生活や余暇については、平凡でもつきなみに幸福であれば満足。平均的な結婚をし、平均的な家庭をもてれば良い。家族を幸せにすることを自分の幸せとして生きたい。
男性	41	仕事については転職を考えているが、まだ踏み切れていない。余暇、家庭生活はおおむね良好で不満はない。老後は何も考えていません。
男性	31	仕事に活かせる資格をとり、一生懸命働くとともに、趣味やレジャーも楽しみ、充実した人生をおくりたい。
男性	30	仕事に関しては、今年中に準備をして、来年開業する方向で進めてる。3年で軌道に乗せるつもりで、5年以内にマイホームを所有する(土地に関しては既に取得済み)
男性	38	仕事に追われていて、そんな事を考える時間すらない。
女性	38	仕事は、家でできるものならしたいが、出掛ける仕事はこどもが小さいので避けたい。将来的にも在宅で続けられる仕事がしたい。
女性	41	仕事はアルバイトで、もっと自分のやりたいことでもう少ししっかり働きたい。余暇は趣味、ボランティア活動をしているので、そのまま老後も続けて生きたい。
男性	41	仕事はいくら好きな仕事でも、収入が少なすぎるようであれば続けることも、困難ではないかと思えます。安定した収入を得て、初めて好きなことが出来るのではないかと私は考えます。金銭的に困ることのない様に、働けるうちは働き、老後は子供の世話にならないよう蓄えていくつもりです。派手なことはあまり好きではないので、細く長く生きていくつもりです。
女性	35	仕事はできれば転職したいが、将来が不安なので踏み切れないでいる状態です。老後はあまり考えないようにしています。
男性	30	仕事は安定した家庭になるための手段だと考えているが、今の仕事に対するの責任感もある。そのため、仕事と家庭がうまく両立できる今の職場は気に入っており、定年まで働いていたいと思っている。
女性	31	仕事は安定した職に就きたい。出来れば結婚して子供を儲け、子供が大きくなって手がかからなくなったら趣味を充実させ、老後は夫婦でのんびり過ごしたい。
女性	42	仕事は何歳になっても出来るものを選んでいて、家庭生活は夫婦が仲良く、適度な距離をもちつつ、お互いを束縛しないで過ごし、余暇はお互いの趣味に時間を割き、老後は落ちついた生活をしたい。
男性	37	仕事は何度か転職するとは思いますが、老後に関しては田舎でのんびり過ごしたいと考えています。
男性	33	仕事は今のところまあまあ満足している。子供はいないが欲しいわけでもないが嫌いな訳でもない。今後は妻とある程度旅行などの余暇を楽しみながら必要最低限のたくわえをして老後に望みたい。今はいました出来ないことを楽しむ
男性	37	仕事は今のまま、家庭も今のまま、老後はのんびりと生活する。
男性	32	仕事は今のまましかないという状況。家庭生活はもっと充実したいが、余暇が少なく不満である。出来れば子供をつくって老後はゆっくりすごしたいと思っているがいまのところどうなるか未定である。
女性	31	仕事は今の仕事のうちに妊娠し、出産。義理の母が定年退職になった後、職場復帰。できれば定年をすぎても働きたい。
男性	35	仕事は今後の方向性を考えながら転職をしていきたい
男性	34	仕事は趣味に必要な金銭を稼ぐ為と思っていたが、最近では家庭のために働くことを考えはじめた

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	30	仕事は重視しない。生きるための糧。家庭重視。
男性	39	仕事は条件が良ければ自分の得意分野の職につきたい生活に余裕があれば子供が欲しい趣味も同様で、金銭的に余裕があればもっと楽しみたい老後も同じで余裕があれば旅行など行きたい
女性	47	仕事は生活のためとわりきって、働ける限り働き、余暇に趣味を楽しむための経済的余裕をえる。老後は贅沢な生活は望まないが、精神的に余裕の無い生活はしたくない。
男性	30	仕事は必要な範囲できちんとこなし、余暇は自分の趣味に費やす。老後はゆっくりと趣味に没頭したい。
男性	35	仕事も大事であるが、第一に自分の趣味に没頭し、後悔の無い人生を送りたい。
女性	48	仕事や家事は、精神的に余裕を持ってほどほどにやりたい。老後は寝たきりにはなりたくないの、健康管理は今のうちから気を付けたい
女性	31	仕事や家庭をバランスよくがんばって、自分らしさを生かした生活をしていきたい。趣味を持ち、余暇生活や老後の生活を送ってきたい。
男性	37	仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活←すべてこれから。このアンケートはかなり立ち入った内容を含んでいますね。人に話す範囲を超えています。
男性	39	仕事をしながらも、自分の趣味を深めていきたい
男性	48	仕事をリタイヤしたら海外に住居を移し気分に暮らしたい。
男性	40	仕事を元気に続け、子供の進学を見守りたい。
男性	37	仕事を辞める。温泉付きの別荘で暮らす
男性	41	司法書士として収入を得つつのんびりとした老後をおくる。
女性	46	子どもがいないので夫婦ふたりで充実した人生を送りたいと思う。そのためには心身ともに健康であること、誠実であることが大切だと考えている。
女性	47	子どもがみんなちゃんと社会に出て行ったら、主人と二人の生活をじっくり見直して楽しい老後になるよう生活全般を丁寧生きていきたい
女性	40	子どもから手が離れて再就職する時のために、これから情報収集をしようと思っています。また、必要ならば、勉強や資格取得について検討したいと思います。
女性	39	子どもが成長した後に穴がぼっかりあいてしまわないように考えていきたい
女性	39	子どもが生まれる前までは、どこか刹那的に生きていましたが、4年前に出産をしてからは考え方がガラリと変わりました。まだ老後のことまでは具体的に考えられませんが、長期スパン（子どもが成人するまで等）で経済的なことを考える様になりました。まずは保険の見直しなどをしたところです。
女性	31	子どもたちが成人になったら、夫婦で色々旅行をしてノンビリ過ごしたい。今ある、家も売って部屋数の少ないマンションに住みたい。
女性	49	子どもには自分にあった職業について欲しいです。
女性	41	子どもの教育、親の介護などやるのが目の前に積み重なっているので、自分の将来設計にまでなかなか思いが及ばないというのが実感です。
女性	43	子どもの手が離れたら、のんびりしたい
女性	36	子どもの世話にならずに、主人と二人、穏やかに過ごしたい。
女性	45	子どもも高校から海外に行ってるし、自分も将来は（金銭的に目処がたったら）海外生活がしたい。
女性	46	子どもをきちんと育て上げて、そのあとは、できるだけ元気に老後を過ごしたい。もうじき仕事に就く予定なので、子どもの進学に備えてしっかり働きたい。
男性	46	子ども達をそれぞれ常識ある一人前の社会人に育てあげ、自分は身体が動く限り仕事を続け、家庭生活や人生を楽しみたい。
女性	34	子育てがひと段落したら自分の趣味や地域活動をもっとしてみたい
女性	43	子育てが終わったら好きなことをしたい
男性	44	子育てが終わるまでは、我慢すべきことに耐える。
女性	30	子育てが落ち着いたら職をもちたい
女性	49	子育ても、そろそろ終わるので、これから老後について考えたい
女性	38	子育てをしながら、納得のいく仕事をし、定年を迎える。その後、市民オーケストラに入って、新たな人間関係を築き、趣味の世界を広げる。
女性	34	子供が、まだ小さいので、もう少し子供が大きくなったら、再就職して、子供の進学について、老後の事など考えてみたいと思います。
女性	34	子供が2人共幼稚園、もしくは小学校に入ったら、以前の仕事に戻る予定。夫の単身赴任が終わったら、以前住んでいた吹田の自分達の家に戻る予定。その後のことは、未定です。今のところ老後は子供達とは独立した生活を望みます。
女性	46	子供が4人いてこの4月に末の子が1年生になる。自分の時間を持ちたい。全寮制の看護短大だったのでキャンパスのある大学にあこがれている。今からでも大学に行きたい。通信制の大学を調べている。
女性	48	子供がある程度の年齢になったら仕事をする65歳まで働いてあとはのんびり過ごす。
女性	46	子供がいなくて、夫とは年が離れているので、10年以上一人で生きる可能性が高いので、老後は元気なうちに施設に入っのんびり、悠々自適に暮らせれば良いと思う。
女性	34	子供がいなくていいかい？夫婦仲はとても良い。将来は二人で老人ホームにでも入るつもり。しかし、夫が自営業なので、収入が不安定で、まったく将来の設計が出来ないのが現状！！
女性	41	子供がいなくて、夫婦で今のまま仲良く過ごし、老後余裕があったら、海外にでも拠点を持って、旅行をすすごしたい。
女性	35	子供がいなくて、老後が不安である。
女性	44	子供がいなくて介護が必要になるまでには寿命がつきてほしい
女性	45	子供がいなくて財産を持たない。ハワイで夏と冬を過ごす。
女性	32	子供ができたら、在宅で今の仕事を続ける。
男性	33	子供ができるかどうかでまったく変わると思うが、現在は計画はない
女性	32	子供ができるまではとにかく今の仕事で生活していく。その間に自分の能力をもっと高めることができたいと思う。子供ができたら、現状では退職せざるを得ない状況なのだが、とても悩んでいる。なのでその先ことは具体的にあまり考えられない。ただ、余暇は自分のために充分満足できるよう、老後は困らない程度に貯金はしておきたいとだけは強く思っている。
女性	30	子供がまだ小さいので手が離れたら仕事につきたい。介護の仕事に再び戻りたい。子供には、好きな道を選んで進んでもらいた。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	31	子供がもう少し大きくなったら、正社員として働きたい。家庭生活を大事にしながら、生きていきたい。余裕があれば、もっと余暇を楽しみたい。老後は、不安のない生活をしたい。
女性	49	子供から解放されて夫婦2人で自由な生活を送りたい。
女性	41	子供から手が離れたら、人間関係が良い仕事（パートでもよい）に就いてある程度収入を得て住宅ローンや学資にあてて、金銭的に余裕のある暮らしがしたい。休みの日には家族で旅行に行ったりして楽しみたい。老後も子供達が近くに住んでくれて孫の面倒をたまに見たりしながら余裕ある生活がしたい。
女性	30	子供が一定の大きさになれば、仕事を再開したい。そして、老後は自分のしたい趣味をやりながら、静かに生活していきたい。
女性	34	子供が学校に通うようになったらパートでもいいので働きたい。そして、そのお給料を生活のためではなく、家族や友人達と楽しむための資金に使いたいと思っています
女性	31	子供が学校へ行き始めたらまた働きたい。老後が不安なので、余裕資金をためたい。
女性	43	子供が結婚したら、自分の趣味を広げたい。（パッチワークや英会話）それと主人とゆっくり旅行がしたい
女性	48	子供が結婚しても同居して、孫と一緒にみんなで仲良くにぎやかに暮らしたい
女性	33	子供が高学年になったら外に働きに行きたい。老後はまだ具体的に考えていません。
男性	47	子供が産まれることもあり、再設計中です。
女性	35	子供が自分の家庭を持って独立したら、母親の里である奄美大島に帰り、母の土地を有効利用したペンション（民宿）を経営し、のんびりと暮らしたい。
男性	47	子供が自立したら、外国語でも勉強し、老後をそちらで（但し、東南アジアとか南方系の諸島など）で暮らすのもいいかなと考える今日この頃である。
女性	45	子供が自立して、自分の経済基盤がある程度固まったら、離婚したい。
女性	46	子供が自立すれば、こちらも精神的、経済的にもたれないよう準備し、自分の時間を自分で楽しく使えるようにしたい（旅行したり、できるならボランティアなどに忙しくしていきたい。）
女性	32	子供が手が離れたら趣味を楽しみたい
男性	32	子供が就職し、住宅ローンが終了するまで働くのみ
女性	35	子供が出来なければ自分の趣味をやりとおしたい。
女性	41	子供が将来ちゃんと就職できるのかとても心配です。フリーターなら結婚生活もできないでしょう。近所にも離婚してる人や結婚しない人がたくさん居ます。老後は友達と温泉に行ったりしてのんびり過ごしたいです。
女性	39	子供が小さいうちは、やはり子供のことを第一に考えますが、開いた時間を活用して仕事をするなり趣味を充実させるなりのはしたい。老後は夫婦仲良く静かに暮らしたい。旅行なども行きたい。
女性	35	子供が小学生になったら、働きに出て、住宅ローンの繰り上げ返済をし、老後の生活資金をためる。
男性	30	子供が成人するまで困窮しない様に今の時期から預貯金を有る程度行なう。
女性	44	子供が成長しこれまで若いと思っていた両親が急に年をとってきたように感じている今日この頃です。今まで安定していた私の気持ちがそれと同時に不安を感じるようになってきました。守られていたものが崩れつつあり、しっかり守っていかなくてはならなくなってきてきました。しっかり自分の生活を守りながら家族でいられる時間を大事にして元気で楽しい老後が過ごせるようにそれに向かって自分の居場所になるところを今からたくさん作っておきたいと思います。
男性	49	子供が卒業したら考える。
女性	43	子供が大きくなったら、とりあえず何かの仕事をするつもりです。そんな中で、友達と旅行したり、趣味を見つけたらして、いつまでも若々しく過ごせたらいいと思っています。
女性	33	子供が大きくなったら、語学の勉強をもう少しして、教職を生かした仕事につきたい。
女性	30	子供が大きくなったら、夫婦で小さなお店を開きたい。そのために今出来る事は資金をためることだと思う。
女性	30	子供が大きくなったら学費などもかかるので仕事に復帰したい。少しでも自分の趣味に回せるお金も作り、毎日充実させていきたいと思っている。老後についてはまだ子供も小さく育てることや今のことで精一杯で考えていないが、少しずつ考えていかなければならないことだとは認識している。
女性	40	子供が大きくなったら自分の為の時間（仕事だったり趣味だったり社会貢献だったり）の時間をたくさんもちたい。
女性	37	子供が大きくなったら自分の趣味ややりたいことをして、老後は夫婦で仲良く暮らしたい
女性	46	子供が中学を卒業するまでは、なるべく目の届く位置にいたいと思っていたが、現在第2子が高校2年で、手が離れたので、自分の時間ができた。友人、その他の交友関係を広げ、夢としては、輸入雑貨の店を持ち、年を取っても現役で人の集まる場所にいたいと思っている。
女性	47	子供が独り立ちしたら、ゆっくりとした気持ちで、何者にもとらわれない自由を謳歌したい
男性	30	子供が独立したら、ボルシェのコンバーチブルにのっていつも二人で仲良く出かけるような老夫婦になりたいです。
女性	33	子供が独立したら、主人と二人でいろんな所に旅行したいと思っています。
女性	48	子供が独立したら自分の自由な時間を持ち、自分のために生きたい
女性	49	子供が独立したら自分の特技を生かした仕事をしたい。ボランティア活動もしたい
女性	42	子供が独立したら夫婦でゆっくりとすごして生きたい。
女性	45	子供が独立したら夫婦で共通の趣味を持ち、健康に過ごしたい。
女性	31	子供が独立したら夫婦で色々なところに旅行に行きたい。
女性	47	子供が独立後も自分の仕事を生きがいでして、意欲的積極的に暮らしていきたい
女性	35	子供が二人とも小学生になったら、もう一度外で働きたいと思います。
女性	31	子供が保育園に毎日入れるくらいになったら、だんたん職場復帰していきたい。そうして夫とためたお金で、家族で生活を楽しみ（旅行など）、老後は夫と楽しく過ごす
女性	30	子供が欲しい
女性	37	子供が欲しい。もうそろそろ産めない年齢になりつつあるので困っている。
男性	40	子供たちが独立するまでは、頑張って仕事をしなければならぬと思っている。独立後は、夫婦でのんびりとしていたいし、子供たちのつくる新たな家庭との仲良くしていきたい。でも、あまり頼り過ぎるのはよくないのかな、と思っている。
女性	33	子供たちを含め家族で世界旅行がしたい。
女性	34	子供とともに心身成長していき、家族明るく過ごす。
女性	42	子供とは最高にうまく行っていて将来がとても楽しみなのだが、夫とは離婚寸前なので、この先3人の子供が巣立ってから一人で生きていく人生設計を考えている。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	35	子供については、まだ小さいのでよくわかりません。一番心配なのは、今後いかに収入をふやし、長く働けるかと、自分にもしものことがあったときのこと
女性	46	子供には迷惑かけないで生活できればいいと思っている
女性	45	子供に恵まれなかったので、夫と余裕のある生活をしたい。旅行好きなので健康に注意して、できるだけ多くの場所を見られるようにしたい。
女性	41	子供に将来頼る事になるのはかわいそうなので、夫婦で生活していける基盤を作っておきたい。
女性	45	子供に早く自立してもらって老後の生活をのんびり暮らしたい
女性	43	子供に迷惑をかけずに、夫婦二人で共通の趣味を見つけ、たくさん会話をして最後まで他人に迷惑をかけずに死んでいきたい
女性	31	子供に迷惑をかけずに質素でも楽しい余生を過ごしたい
女性	35	子供に面倒を見てもらうことは考えず老後にも自立した生活できる準備をしていきたい。
女性	35	子供に頼らずのんびりした老後を過ごしたいが、そのためには今からかなりのガクの貯金が必要で不安を感じている。(自営業で国民年金の為)
女性	40	子供に頼らず夫婦二人でいけるところまで暮らしたい。静かに二人で趣味に生きていければいいと思います。
女性	42	子供に頼らなくても、夫婦二人でやっていける程度の貯蓄をしたい
女性	36	子供の頃からの夢だった職業につけて、それ以外の仕事はやったことがありません。結婚して仕事を減らしているものの、ずっとこのまま続けていきたいと思います。
女性	45	子供の自立を助け、その後夫と仲良く暮らす
女性	36	子供の手がある程度離れたら、自分が充実していると感じられる仕事をできるだけ長くしたい。老後は、働けるなら働いて、余暇を夫と楽しみたい。
女性	34	子供の手が離れたら、主人と二人で旅行したり、読書したりとのんびり過ごしたい。
女性	45	子供の手が離れたら仕事に就きたい。
女性	48	子供の進学や老親の問題などがあって、今将来設計をたてる余裕はありません。
男性	49	子供の世話にはならず、夫婦でゆったりと暮らしたい
男性	49	子供の成人まで育てる収入を得ること
女性	35	子供の成長に伴い、自分も何か熱中できることを見つけ、余暇を楽しみたい。
女性	31	子供はもう一人欲しい
女性	40	子供は今が小学生なので先は長いのですが、目的を持った進路を進んでほしいです。自分については生涯の仕事は主婦以外にないので不安はあります。趣味を広げて収入に結びつけばいいと考えていますが難しいです。老後は夫婦でいたいけれどどちらかがいなくなったときにどうすればよいかわかりません。
女性	30	子供は作らず、夫婦2人で仲良く暮らしたい。夫は作曲家で、私は洋裁家。東京の郊外に、中古平屋の一軒家を購入して、リフォームを楽しんだり、ガーデンングをしたりしてゆっくり暮らしたい。
女性	30	子供は子供。私は私。
女性	36	子供は子供で独立して、親は自分達のことは自分達でしたい。
女性	49	子供は是非結婚し孫を産んで欲しい。私自信はこれから臨床心理士の資格をとりたいと思うが大学に再入学しなければならず、続けられるか同かで迷っている。ボランティアを続け年に2回ほど好きな海外旅行に友達や夫と出かけられる健康体を維持したい。老後は子供の世話にならないように自分で出来る限り生活して生きたい。介護が必要になった時は施設に世話になろうとおもう。
女性	40	子供もいなくて夫婦2人だけの気楽な生活なので取り合えず生活していければいいという考えです。
女性	43	子供もおおきくなったので、フルタイムの仕事につきたい
女性	31	子供も欲しいし、仕事も欲しい。女性にもっと理解を
男性	33	子供や孫に囲まれた幸せな家庭。
女性	44	子供や夫との家庭生活は大事ですが、それぞれが充実していないと幸せとはいえないので各々自己を確立できるように生きていきたいです。
女性	48	子供を安定した職業に就けさせ、結婚させて、自分は有料の介護付き施設に入りたい。
女性	36	子供を育て上げて夫婦で昔のように仲良く余生を過ごしたい。
女性	37	子供を産めないで、高齢になったときのことを考え、施設入所をしたい。そのためにはお金も必要だが、それまで十分楽しむこともしたい。
女性	41	子供を持ち、家族と一緒にそれぞれの趣味を生かしながら老後を暮らしたい。
男性	44	子供を成人させるまではとにかくがんばる
男性	32	子供を無事に社会に送り出して、のんびりと暮らしたい。
男性	34	子供達が大きくなるまで、どんな事をしてでも働きます。65歳~70歳までは働くつもりですが、最悪働けなくなる可能性もあるので、ネットでの収入源確保の準備をしています。子供達には基本的に自分達の進みたい道を歩ませるつもりです。それに対してアドバイスを行ないたいと思っています。老後は子供達の世話になるつもりはありません。夫婦だけで生活していくつもりです。介護が必要になった場合、妻に世話をしてもらいたのですが、余りにも負担が大きくなるなら介護施設も考えざるをえないと思っています。
女性	46	子供達を好きな道にすすませたらあとは自分自身のために将来を考えたい
女性	43	子供中心から自分のことを考えて、能力を伸ばして、たくさんの人たちの中で気をひきしめつつ、楽しく生活したいです。老後はなるべく人様の世話にならないように健康に気をつけています。
女性	31	子供中心で考えているが、手が離れたらパートなどして、もっと社会と触れる時間を持ちたい。でも、本当は何か資格を取って達成感を感じられる仕事をしたい。何だかんだ言っても、程々が一番!!
女性	34	子供独立後はのんびり過ごしたい。
男性	48	思案中
男性	44	思案中
男性	45	死ぬまでほどほどに働いて、ほどほどに、遊べたら幸せだと思う。
男性	30	死ぬまで自分のしたいことをしたい。
男性	43	死ぬまで出来る趣味を持ち、それを生きがいに生きていきたい。
女性	41	死ぬ前までに身辺整理だけはしたい
女性	37	私の夫は転職が多く、収入も不安定で、退職金も望めないし、年金もどうなるかわからない為、将来設計を全く立てられずにいます。私個人で、個人年金を掛けていますが、たかが知れています。子供には申し訳ないのですが、子供を立派な人間に育て、老後は世話になるしかないと考えています。その為、今から子供と老後のことを話し合っています。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	49	私は、自分の仕事に満足しているし誇りにも思っている。それが、精神的な充実の他に、経済的にもゆとりを持てる要因にもなっているので、娘にも、ぜひ適職に就いてほしいと願っている。
女性	31	私自身は臨床検査技師という資格をもっています。結婚後は旦那の転勤が多く、専業主婦で我慢していますが、状況が許せばすぐにでも仕事をしたいと思っています。老後はあまり国があてにならないので自分達で老後の資金を用意しておこうと主人とも話しています。
男性	40	資格を取って2年以内に独立!
女性	49	資格を生かしたボランティアをしたい。
男性	40	資産を生かし、株などの趣味で暮らしていけるようになりたい。
男性	36	資産を築き、その中で社会の貢献したいと思っています。そのために何をしていけばよいか現在検討中です。
男性	37	資産運用する事により、時間を趣味の充実に充当できるようにしたい。
女性	33	事務のパートをしながらイラストレーター、グラフィックデザイナーの勉強中で少々その分野の仕事をしているところ。→近い将来子供も欲しいので、それまでにイラストの仕事ができるようにする。→育児をしながら在宅で仕事をする。→子供に手がかからなくなったら仕事を増やす。→旦那と優雅な老後を送る。イラストの仕事もマイペースで行ってる。・・・なんていう感じがいいです。
女性	38	時間に縛られない空間がほしい
男性	31	自営、しかも小企業はサラリーマンに比べ、あまりにも待遇が悪い。老後の蓄えができて、日銭を稼がなければならぬので休暇が取れない。ゆとりを持った生活なんて想像できないのが現状。
男性	45	自営で頑張りたい、死ぬまで働きたい。
男性	36	自営のため明日の我が身が不安である。老後の設計が出来る状況にない。
女性	49	自営業なので、将来について不安を感じます。ローンがあると20年以上あるので、仕事なくなることに不安で、まとまって休暇もとれない。
女性	48	自営業なので、定年がないため、区切りがなかなかつきにくい、子供が継いだ跡の家業が順調であれば、少しずつ自分の仕事を減らして行きたい。そして、老後は仕事も手伝いながら、趣味など自分の興味ある分野を深めていける生活を送りたいと考えている。
女性	40	自営業をやって一生働いていたい
男性	32	自己責任、受益者負担の成熟した社会になるべき。甘えた考えが蔓延しているし、生活保護者にはそれなりの社会奉仕を負荷すべき!私は自分が出来る範囲で過ごしたいし、誰かの世話になるくらいなら死んだ方がマ
男性	40	自然に満ちあふれた環境の中でゆっくりと暮らせるようになりたい。
男性	46	自然体であり無理をしない
女性	30	自宅で家族と穏やかに在宅SOHOで暮らしたいです体があまり丈夫ではないので、なかなか一般的な生活は難しいです母と妹を幸せに見守りつつ、できれば今恋愛している相手と老後を共にしたいと思っています
女性	36	自分がしたい仕事に就いて、生活も夫婦で協力しあって、何年かに一度海外旅行に行き、それなりに老後の資金も貯めておきたい
女性	41	自分がしている職業をとりあえず老後まで続け、子供が成長してから、自分の人生を考えてみたい。
女性	44	自分が後悔せず、家族に迷惑をかけなければ、有る程度好きに、自由に
女性	31	自分が幸せだと思う人生を送りたいです
男性	37	自分が老後と呼べる年齢になる頃には今の社会保障制度がどうなっているかわからないので自主的に老後も生活していけるように今から努力が必要だと思う。
女性	30	自分でできるくらいの、小さなお店を持ちたい。
男性	45	自分でもよく分かっていない
女性	44	自分で家でできる資格をとりたい
男性	45	自分で切り開いた仕事で成功して家族とハッピーになりたい。
男性	33	自分のことは自分で、が基本
男性	41	自分のことを考えるのは難しいが必要なことなので、これから考えたい
女性	39	自分のしたいことを見つけ、それが職業に結びつけられるのが一番よい
女性	38	自分のしたい事を我慢し続けていく人生でなければ、日々暮らすのに困らない程度のお金があれば、それは、それで良いと思う。
男性	47	自分のポリシーを持って楽しく過ごして生きたい
女性	31	自分のやりたいことが仕事になって、それで収入が安定すればよいと思う。
男性	42	自分のやりたいことをしながら、今の仕事を両立していきたい。
女性	46	自分のやりたいことをやっていく。
女性	36	自分のやりたい仕事で人に役立ち、生計を立てていく。
女性	37	自分の家を持って、自分の趣味を楽しみながら過ごす
女性	48	自分の好きなことをして過ごしたい
女性	32	自分の好きな仕事をしながら明るい家庭と収入を得て、落ち着いた生活がしたい。
女性	44	自分の子供達には、今の世の中簡単にはいかないと思いますが、少しでも手に職をつけて自分にあった道へ進んで行って欲しいと考えます。
男性	45	自分の思うとおりに生きてみたい
男性	47	自分の思うままに生きていければ最高
女性	37	自分の自由に暮らしてみたい。時間を気にせず人のためではなく自分の為に時間を使いたい。
女性	42	自分の趣味を楽しむために働き続けたい。
男性	45	自分の趣味を常に持ってストレスがかからないようなバランスのいい生活を続けたい
女性	40	自分の趣味を生かした職業につきたいです
女性	37	自分の趣味を生かし充実した生活
男性	30	自分の趣味を生かす
女性	39	自分の収入を得て、経済的に夫に頼りきった生活をしたくない。子供とは仲良くしていきたいが、老後の面倒は見てもらわなくていい
男性	36	自分の周りの人々を大事にする。おのずと道はひらける。
男性	34	自分の将来設計については、ある程度考えていてそれが実現するように努力していきたいが、日本の政治、経済といった社会情勢の大きな変化や自然災害などの障害が起こった場合について不安に思うことがある
女性	30	自分の職業が専門職で、とても好きな仕事なので、ずっと続けて行きたい。いずれは自分でお店を持つつもりで、今はたくさん勉強している。結婚して子供ができて、のんびりでも続けたい。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	46	自分の人生設計に沿って淡々とやり遂げていきたい。いつになっても、自己研鑽を忘れないで日々学習していきたい。
女性	45	自分の働いたお金で生活する、夫婦であってもヒフテイー、ヒフテイーで主人に老後を頼らず暮らしたい。そのためにはやはり長くできる仕事を持ちたい
男性	39	自分の病気といかに共存しながら、自己実現を図るかしあんちゅうです。
女性	39	自分の望む状況になってから(=結婚してから)配偶者と共に考えたい
男性	44	自分の余暇を利用しての趣味娯楽を老後になっても続けていきたい。
女性	30	自分の老後はまだまだ先なので、自分よりも親の老後が心配。自分が見てあげられれば良いけれど、自分に来るか不安。
男性	45	自分の老後を含めた設計は完了しているし、それに向かって進んでいる。子供の世話にはならないつもり。
女性	43	自分らしく楽しく仕事をしながらいつも前向きに生きたい。
女性	39	自分らしく生きたい
女性	33	自分らしく生き生きと生活をしていきたい。
男性	34	自分自身、何が必要かはっきりしていない。
女性	32	自分自身の努力如何で成果が得られる仕事や学業などと異なり、老後の生活についてはよほどの収入がない限り国策に左右される要素が大きいので、あまり真剣に考えても仕方ないような気がします。
男性	41	自分自身も現状色々悩みがあり、近い将来のことがまだ遠く感じる。
男性	43	自由きままな在宅の仕事。年金などはあてにならない。
女性	40	自由で笑っていたい。
女性	34	自由にする
女性	46	自由気ままに過ごせて、海外旅行などは、甥御などを引き連れて、遊びに行きたい。
男性	31	自律した生活を最後まで送りたい。
女性	36	自立した人間になり海外で生活したい。
女性	38	自立できる生活をしたい。
男性	42	質素節約
男性	49	写真やグラフィックなどの趣味を生かして生活したい。
男性	35	社会が不安定なので、老後のことは考えられないが、生活が困らないように準備はしたいと思う。
男性	36	社会で言う定年前にリタイアして介護の世話になるまでは自由に暮らしたい
男性	34	社会保障制度があてにできないので、自分である程度蓄えをしつつ、将来リタイアしても仕事ができるように自己研鑽する必要がある。
男性	32	若いうちにお金を貯めて、余裕のある生活を送りたい。
男性	43	若いときは、苦勞しても、老後は、安泰にすごしたい。
女性	47	若い時からずっと仕事してきて、今は専業主婦です。今の生活はそれなりに満足できる物ですが、自分でできる仕事(起業)して、老後のためにお金を貯めておきたいので、いろいろネットで模索しています。
女性	34	主人がとても仕事が忙しいので定年後はのんびり二人ですごしたい
女性	47	主人が後10年で退職します。その後は二人でのんびりと生活したいと思っています。
女性	38	主人が働ける間(定年まで)は都内で「時間有効」活用出来る生活をしてお金を貯める。その後は海外生活。
女性	49	主人と2人で苦勞なく生活していけたらいいと思う
女性	31	主人との年齢が離れているので、万が一1人になった場合のことを考えると今から自分のための貯金をしようと思っている。金額を設定するのではなく、困ったときに「あ、こんなところにもお金があった」と思える程度の貯金。将来的には、自宅で料理教室のようなものを開き、社会との交流を持っていけたらと思っている
女性	46	主人とふたり、仲良く暮らしていく
女性	39	主人に頼らず食べていけるくらいの収入を得れる職をみつけて、家庭の主婦のまま自立したい
女性	42	主人の仕事で行ったアメリカと日本で半々で暮らせたらと思っています。
女性	48	主人の定年まで頑張って貯金をする。
男性	48	手に職を着けた方が良い
男性	42	趣味、興味のために使うだけの経済力は身につけたい。
男性	43	趣味で心を落ち着けながら、仕事でできるだけ稼いで、とりあえず中レベルの家庭生活を送り、老後は海外に移住する。日本なんて国には何も期待していない。
女性	32	趣味にいきる
男性	37	趣味のスポーツの指導員として指導はしたいが、あまり責任のある役にはつきたくない
女性	43	趣味のバドミントンができるまで続けて、後は趣味のトールペイントをして、楽しく老後を過ごす。
男性	30	趣味のわくをひろげて、まわりの人と楽しめる場で和みたい。
女性	40	趣味や経験を生かして、老後にも生き生きと生きられる様に、常に学習意欲を持っていたい。
女性	47	趣味をいかして、人に教える仕事をしたい
男性	48	趣味を楽しみながら過ごしたい
男性	39	趣味を楽しむ時間を持ちながら仕事を続けたい。
女性	43	趣味を見つけ、楽しくすごしたい。
女性	34	趣味を広げ、いろんな人と交流を深めたい。
男性	45	趣味を広げ老後を楽しみたい
女性	41	趣味を充実させたい
男性	40	趣味を重視したい
男性	48	趣味を生かして好きな時間に好きなことで稼げるような身の丈にあった生活をしたい
男性	36	趣味を優先させたい
男性	40	収入のためでなく、ほんとうにしたいことをすること。サラリーマンでなく、自由に働きたい。
男性	36	周りの環境が不景気なので将来がとても不安です。でもこれから歳をとって行ったら、趣味を楽しみたいです。そうゆう老後を送りたい。
女性	36	周りの人に迷惑をかけない程度に生きて生きたい
男性	40	周りを気にせず好きなことを楽しみたい。
男性	35	就職して10年になろうとするが、変わり映えのしないひとり暮らしから脱却し、よりよい職業生活、家庭生活を送りたい。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	46	住宅ローンがまだまだ残っており、また、教育費がこれからさらにかかる一方なのに、給料が激減し、現在を乗り切るのが精一杯である。だからと言って、転職は考えていない。もちろん、将来のことをじっくり考える精神的余裕もない。
男性	35	住宅ローンは払い終えたあと、年金で気楽に老後を過ごしたい。
女性	35	充実した毎日を過ごしたいと思っています。趣味、友達などいろいろなところにアンテナをはってみたい。そのためには今から自分にあった趣味を見つけたいと思っているのですが、なかなかなくて困っています。あとは小さな仕事でもいいので、世間とかかわっていただける仕事があれば嬉しいです。男の子二人なので、同居よりはどこの老人ホームに入りたいです。
男性	33	出来るだけ、自分ひとりで生活が出来れば良いと思います・・・
男性	31	出来るだけ貯金をして老後は困らないようにする
女性	48	出来るだけ長く働きたいと思いますが、その前の元気なうちに主人と一緒に来るまでに本位集がしたいのでその間も出来る仕事を探したいと思っています。
女性	46	出来る限り仕事は続けて、音楽、映画、読書など楽しみたい。
男性	36	出来れば、妻と二人で自分たちの趣味に時間を費やしたい。
女性	48	出来れば海外で老後を送りたいです。
男性	43	出来れば今からでも社会に貢献できるような仕事で老後も継続して出来る仕事に就きたい。プランはあるが実現までタイミングを見てるところ。
女性	39	出来れば今から資格をとり、子どもが少し大きくなったら仕事をしたいと考えている
男性	45	出来れば体力的に余裕があるうちに仕事をリタイアして好きな事をしたい。(老後は、ある程度経済的に余裕をもっていたい)
男性	47	出来れば豊かな老後を過ごしたい
女性	34	女性が出産後も仕事をしていくのはとても大変な事です。それがまだわかってない人が大半です。もっともっと育児支援をしていく為に、そういった制度を皆に会社に浸透していくべきだと思います。
女性	31	女性でも大学まで出ている身なので積極的に仕事をしたと思う。母親はこどもといっしょにいてやるべきだ、という一部偏見もあり今回の転職で小さなこどもを持ちながら働くことに理解のない社会が本当に残っていると実感した。これでは少子化も当たり前のような気がする。なかなか主人とも意見の調整が難しいことありますが、こどもを含めた家族との生活、仕事の両立を大事に、こどもに夢を持ちながらも好きなように歩んでほしい、お金がかかるからダメ!ということだけはいいたくないと思っている。働く母親の背中を見て育ってほしい。私自身もそうだったので。
女性	47	将来、趣味やいろいろな楽しみを追求したい。子供の世話にならないような生活を送りたい。
女性	33	将来お金に困らないように、こつこつと貯金はしています。
男性	45	将来が潜在的に不安である。
男性	33	将来が読めないのだからわからない
女性	48	将来が不安です。とにかく貯蓄を頑張り、老人施設でのんびり暮らし死んでいけたらいいと思っています。
女性	31	将来が予測の付きにくいものになっているように感じるため、できるだけ自分で蓄えをもちたい。また、仕事はやりがいを見いだしたため、懸命に働きたいし、そのような姿を子に見せていきたい。
女性	33	将来だんなも仕事を引退したら沖縄など暖かいところの移住したい。
男性	38	将来については多分不安なんだろう、あまり考えないようにしている。
男性	40	将来については殆ど考えていません。日々の仕事、生活を淡々としているだけと言う感じです。
男性	31	将来のことなんて考えるだけ無駄。
男性	44	将来のことは、現在ほとんど考えていません。いまは、こどもの教育、生活でいっぱいです。
男性	36	将来のことはなんとも言えないが、今を生きてるって感じです
男性	36	将来のことは判らない
女性	38	将来のことまではあんまり考えていないのが現状です。
男性	38	将来のことをいくらくよくよ考えても仕方がないと思う。
女性	41	将来のことを考えると経済的に不安がある。再就職に適した年齢でもないが、やはり仕事を持っていた方がと思っている。しかし、ただ将来の安定のためだけに仕事はしたくない。やるからには生きがいを感じられる仕事に就きたいと現在模索中である。
女性	46	将来のことを設計してその通りに生きてゆけるとは考えられないので、細かなプランをたてない。現在を充実して、蓄えや備えもしていればそれで充分だと思う。
男性	30	将来の為に為お金はためておきたい。
男性	39	将来の為に個人年金や財テクで資産運用をしています。
女性	39	将来の生活を考えると不安です。祖母をみていて趣味をもちつづけることが私のささえになると確信しました
男性	43	将来の設計は全く立てていない。現在目の前にあることをやっていくだけで自ずと将来が形成されていく。
女性	45	将来は不動産収入で働かなくても食べていける余生を送りたい。
男性	34	将来は、ロバート・キヨサキがとなえる。ビジネス・オーナー、もしくは、投資家になる。
女性	35	将来は、金銭的に余裕を持ちたい。
女性	38	将来は、仕事をしていなくても何らかの形で社会と関わる活動をしていきたい。
男性	34	将来は、都会の喧騒をさけて自然の中で暮らしたい。可能であれば、海外のリゾートで。身体に不安が出てきたら、都市部に戻って生活したい
男性	31	将来はのんびり暮らしたい。
男性	40	将来は家を持ちたい。老後は妻と2人で暮らしたい。
女性	47	将来は国の保障制度をたよりにしなくても、やっていけたらと思っています。
女性	46	将来は今の趣味である手話をもっと勉強し、通訳の資格を取り役に立てたいと思っている
男性	31	将来は子供は2人ぐらいはほしい。また自分の個人スキルをみがいて、会社の看板がなくてもビジネスが展開できるようにになりたい。なるべくお金は堅実にためて、老後はのんびりしたい。
女性	30	将来は自分の家(庭付き)がほしいと考えている。やはり生きていくためにも、趣味をつづけるためにも仕事をすることは必要だし、張り合いにもなるのでこれからも続けていく予定です。
女性	41	将来は主人と二人仲良くこじんまりと暮らして生きたい
女性	46	将来は仲の良い友だちと一緒に住む予定
女性	34	将来は夫婦でのんびりと暮らしたい。
男性	33	将来は未定でとても不安です。
女性	31	将来もらえる年金が不確定なので今から備えて貯蓄をしている。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	37	将来何か資格をとって、長く働きたい。
女性	34	将来結婚して子供を持ちたいと思うが仕事は絶対に続けたい。専業主婦にだけはなりたくない。
男性	44	将来後悔しない生活を心がけている
女性	47	将来子供が独立した後、夫婦二人の生活がうまくいくかなど、金銭的なことを含めて、漠然と不安である。
女性	44	将来子供たちが独立したら海外で夫婦で暮らす
男性	43	将来設計というより、その時々自分の直面する環境から、何を得られるのかを十分に考えて行動することが大事だと思う。計画を立てても、そのとおりに人生が動いていくとは限らない。
男性	39	将来設計はあったほうが良いと思うが、それにこだわりすぎて、きゅうきゅうとするのはいやだ。お金が一番ではないが、大きなウエイトであることには間違いない。
女性	31	将来設計はしていない
男性	49	将来設計はとても難しい時代になってきました。70歳までは働こうと思っています。
女性	40	将来設計はまだなにも見えていないので、大変不安。はやく何とかしなければと思う。
女性	37	将来設計はまだ何も立てていません。子供が小学生で日々の生活に精一杯です。
男性	43	将来設計はまったくない
男性	40	将来設計は考えていない。予測不可能と思っている。貯蓄だけはしておいた方が良くと思う。
女性	35	将来設計よりも今が大切
女性	35	将来設計をしたくても国の制度（年金問題など）がいつ変わるかわからないと思うと不安だ。
男性	31	将来設計をしても計画通りには必ず行かないので、臨機応変に対応したい。
女性	48	将来設計をまだじっくり考えたことがない
男性	39	将来設計を立てていない
男性	30	将来的にいろいろ問題や不安を抱えています。あまり深く考えすぎず、「なるようになる。」という楽観的な気持ちで、ゆとりを持って生きていきたいです。
男性	30	将来的には自分の店を持ちたい道楽程度の
女性	48	将来的には趣味をいかして収入を得、老後は子供が面倒を見ないときは有料の老人ホームでもはいるつもり。
男性	38	将来的には両親のいる田舎に戻りたいが、自分の適性にあった仕事になかなか見つからないので、なかなか将来の状況がイメージしにくい。
男性	37	将来不安ではあるがまだ具体的なことは考えていない
女性	42	少しづつ貯蓄をしていって老後は気候のいい海外での生活が出来ればと思っています
男性	30	少子化が不安の種。政府も、国民も、もう少し頭を使ってほしい。
女性	38	常にだれかと関わりながら生活していければ幸せだと思っている。もちろん、健康第一。
男性	33	常に楽しく。
男性	34	常に相手に対し思いやりを持ち、日々の生活、周りの人々に感謝し、「信じ、待ち、許す。」を人生のモットーとして生きていけば不満の無い満たされた境遇で人生を送れるはずだ。
男性	48	常勤でなく、週3日ほどの仕事をしたい
男性	30	飾らずに生活し社会的に貢献する仕事につきながらよい家庭ができればいいが、無理をせず自分のところに正直に生活したい。
女性	45	心に余裕の持てるような人生を送りたい。
男性	43	心の平穏が得られれば特に何も望まない
男性	44	心穏やかに、仕事・生活等、社会に貢献できるようになりたいです。
女性	42	心音余裕をもってすごしたい
女性	36	心配するのになかなか行動に移せずそれがストレスになっている。
女性	34	慎ましやかにほがらかに生きたい
女性	39	新しいことに積極的にチャレンジしながら、早期に安定した収入を確保したい。
女性	46	深くは考えていない。生涯学習をして、ずっと何かを学んでいきたい。
女性	35	深く考えたことがない
男性	42	深く考えていない
女性	34	深く考えてない
男性	48	真我（アトマ）に委ねることが大切です。
女性	38	親が介護が必要で今非常に苦労している。仕事もできないし趣味も楽しむ余裕もない。自分は老後は誰にも迷惑をかけたくない
女性	40	親と違う分野に進んだので、何事も自分で切り開くという性格を身につけることができた。転勤族と結婚したので（今からも定住はないだろうし）将来のことはわからないが、どこでも臨機応変に対応していきたいと思っている。
女性	43	親の老後を充実させてあげたい。
男性	36	親子で経営したい
男性	32	身近な設計しかまだ、立てていないのが現実。もっと、前向きに大まかな設計ではなく、家族で話しあいたいですね。
男性	38	身体が動く間は働いていきたいが、時間的に余裕さえあれば経済的にはギリギリでも良い。
女性	41	人にあわせるのではなく、自分らしく生きてゆきたい。
女性	45	人に世話にならず気楽に行きたい。
女性	45	人に迷惑のかけない生活を送りたい
女性	41	人に迷惑のかけないよう細々と、のんびり暮らしたい
女性	31	人に迷惑をかけず、スキルアップしながら生活していきたい
男性	30	人に迷惑をかけるように自分たちのことは出来るように準備等して、老後も迎えたい。
女性	46	人に頼らず、自分の健康管理は自分でできるようにする。健康であれば自分のしたいことはできると思う。趣味やボランティアもしたい
女性	31	人に頼ることなく生活していくために、計画を立てながら生活していきたい
男性	38	人の迷惑にならないようにしたい
男性	33	人の役に立ち、贅沢ではないにしてもきちり家族を養っていければ、よい人生ではないでしょうか
女性	39	人を元気にさせる仕事に就いて、自分自身もいつまでも輝いていたいと思います。できれば人の世話にはならず最期まで元気でいたいです。
男性	45	人生（生きていること）を楽しみたいと思う。
女性	43	人生、何がどうなるか予測できない・・・と思う今日この頃

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	44	人生80年のうち、20歳までと60歳以上では人の世話になるのだから、20歳から60歳までは人の世話をする。
女性	36	人並みの生活が出来るように日々努力を惜しまず、若いうちに出来ることはしっかりやって置きたいと思う。老後はまだ先なのであまり考え過ぎては仕方ないのでお金だけはしっかりためておきたいと思っている。
女性	37	人並みの暮らしが出来ればよい
女性	34	数年のうちには結婚したいと思う。子供はいなくても良いが産んでも一人だけ。専業主婦にはなりたくないから仕事は定年まで続けたい。定年後でも在宅で何かできるように時代にあったものを身に付けておきたいと思う。余暇の楽しみ方は年齢によって変わってくるとは思うが押さえつけずにほどほどに楽しむ余裕は
女性	37	世の中が流動過ぎて先が見えない状態。人生設計を立てたいが見通しが利かない現代だと思う
男性	32	世の中の流れが読めないなので、個々に考えても対応しきれないと思う。
男性	33	世の中の流れに逆らわず、今出来る生活を楽しみたいと思います。
男性	45	世の中の流れに乗らず、自分なりに生きる。
女性	44	世界を自由に旅したい。
女性	30	世間体や周りの目を気にしなければ、人間どうとでも生きていけると思います
男性	41	成り行き任せ
男性	41	晴耕雨読
男性	47	晴耕雨読の生活がしたい
男性	46	正業だけにこだわらず収入増加を図りたい。
女性	41	正社員として働ける間ががんばって働き、ある程度の年齢(50から55くらい?)になったら、パートなどしながら趣味を広めたり、旅行など楽しみたい
女性	31	正直、何とかなるだろうくらいにしかかんがえていない。
男性	31	正直考え中。
女性	44	生きがいを持っていたい
女性	48	生きがいを持って暮らしたい。
男性	34	生きていく為にはやはりお金が必要なので今の内にどんどん稼いで、老後の心配をしなくてもいい様に貯金をしていきたい。
男性	33	生涯やりがいのある仕事をして社会に貢献したい。
男性	46	生涯現役で人の役に立つ仕事をしていきたい。
男性	44	生涯普通に暮らせる蓄えができれば仕事は辞めたい
女性	41	生活するのに困らなければ、いいと思います。
男性	46	生活できればそれでよい。
男性	36	生活に困らない財産を作り、死ぬまで自由に生きる。
男性	45	生活に困らない程度にはお金が欲しい。不必要に収入がある必要は無い。
男性	46	生活に困らない程度に年金が支給されるなら、65才位で引退し、老後は趣味などで楽しく過ごしたいと思いま
女性	35	生活に困らない程度の余裕があり、趣味などの生き甲斐を持ち、楽しく暮らせる。
男性	47	生活に困らなければこだわらない
男性	40	生活に余裕を持ちたい。
男性	42	生活資金があれば、何とかできるでしょう。
男性	46	生活費に加えて年金や医療費などを支払える最低限の賃金を確保できる仕事を見つけること。しかも病気療養中でも仕事をもらえる所を探すこと。その上でお金に余裕が生まれたら、好きなことをして余生を暮らしたい。結婚、家庭などにはこだわらない。
男性	37	精神的な自由を、常に優先する。
男性	45	精神的により充実した生活を送りたい。そのためには勿論ある程度の経済的余裕をふくめた安定性のようなものも必要かとも思うが、どんな場合でも「自分が納得しているか」その思いを最優先させたい。
女性	33	精神的に安定した楽しみのある老後を送りたいので健康を維持して仕事もできるところまでしたいと思う。
男性	35	静かな場所で夫婦で暮らしたい
女性	44	静かにささやかに暮らしたい
女性	49	設計は具体的にないが、もうすぐそこまで来ている老後のことを真剣に考えたい。
男性	34	先がぜんぜんみえないので、とても悩んでいる。
男性	43	先が見えない世の中ですが着実に進んでいきたい
男性	47	先に何が起こるか予想がつかないので、当面貯蓄を増やそうとしている。
男性	49	先のことはわからないのだけれど、お金は重要アイテムであると認識しています。ある程度のお金(資産)と健康な身体が一番大切であると思います。
女性	30	先のことはわからん。
女性	36	先のことは何も考えられない。自分の趣味に打ち込めてその時が楽しければいい。
女性	31	先のことは分からない、今を生きるが自分のモットー
男性	41	先の見えない時代になってしまった。時代の流れを的確につかみ対策を立てながら生きて行きたい。
女性	33	先の事を考えないといけないが、今は、そういう余裕がない。
女性	33	先行き不安
男性	42	先行き不透明
女性	49	専業主婦で家庭を守っていききたい子供の手が離れたら地域活動などをしたい
女性	39	専業主婦になって、夫と子供の世話、年寄りの世話をしたい。
女性	36	専業主婦のまま主人の定年を迎えたいが、主人に離職の希望があり現在不安定。将来の具体的な像が浮かばない。事が起こったら場当りのこなしでいだけ。
女性	40	専業主婦は続けていくと思うが、機会があれば働くことも考えてみたい。老後をただぼんやりと過ごすことなく、自分の趣味を極めたい。
女性	32	専業主婦も立派な仕事だと思うが、仕事を持つ事も社会と繋がるとゆう意味で大切だと思う。でも今の社会では子育てなどをしながらの仕事は難しい点が多い
男性	31	川のながれに身をまかせます
女性	30	船で世界一周したい
女性	47	選択肢は多く持たたいが将来設計はしたくない。思い道理に行かずがっかりするから。
男性	43	全く考えてない
男性	45	全く予定もなく不安である

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	39	全てが切り離せない問題なので、いつもいつも試行錯誤しながら、答えの出ない部分ですが、子供が独立するまでは何とか今の職場に居続けなければならないし、趣味も子供とともに出来ることを探しながら…。ゆくゆくは、子供が一人になってしまっても困らないだけの準備は！！と漠然と考えています。
男性	39	全てにおいてこれからも努力して行こうと思う。
女性	37	全てに於いて設計が立たず、気持ちばかり焦ります。
男性	38	早くいい人を見つけて結婚したい。
男性	47	早く安楽死したいです
女性	35	早く結婚したいですね。
女性	48	早く住宅ローンを返済して家賃収入と年金で老後を何とか生活したい。
男性	36	早く労働者を卒業したい。企業家になりたい
男性	45	早急にまとまった額の個人資産を作り、その運用益で安定した生活が出来るようにする。仕事は自分のやりたいことを体が動く限り続けていく。
女性	44	早目にフルタイムは退職し、余暇を楽しみながらパートをして、第2の人生を楽しみたい。そのためのお金のため今は頑張る。
女性	48	息子が結婚して、息子夫婦と同居しながら友人たちと趣味の活動などをして過ごしたい。
男性	45	束縛されることなく、自分自身が自由であることが大事。
男性	45	足るを知る生活ができればよいと思う
女性	34	孫との同居を望んでいます。
男性	38	孫と一緒に生活したい
男性	30	多くを望まず、普通の生活が出来ればいいのではと思っています。
男性	45	多少の預金はあるが将来設計は現在検討中。
女性	36	多分1人だと思う
女性	38	多忙すぎる主人がリタイヤしたらぜひのんびりと旅行や趣味を楽しみたい。私は必ずしも賃金を得られる仕事じゃなくてもいいので(ボランティアでも)地域社会に役に立てるようなことをしていきたいと思う。
男性	31	太く短くでもよいから楽しく生きたい。
女性	45	体が健康であれば年をとっても一日短時間でも仕事をしたい。(ヘルパーなど。)贅沢はしなくていいから、子供に迷惑をかけないで生活していけるだけのお金はほしい。
男性	46	体が丈夫なうちはずっと働きたいと思う。
女性	31	体が動くうちに全国をまわってみたい。
女性	47	体が動く間は働きたい。動かなくなったら、施設で人生をまっとうしたい。
男性	31	体力が続く限り、仕事に専念したいです。老後にある程度の生活をしていくための財テクをし、(年金+α)になるもの(基金や年金保険や401K等)にはできる限り、加入しています。
女性	49	体力などの要因もあるが、出来る限り働いて、家庭と友人関係を大事にしながら、趣味を楽しむ生活がした
男性	33	対照多すぎだ何を書いているんだかわからない
女性	31	退職して1年が経ったが今年中に子供を持って3年はしっかりと育て、その後は以前の仕事に契約社員という形で復職を考えている。老後については不安もあるが貯蓄も心がけ老後も夫婦共に健康で国内でも海外でも旅行に行ければいいと思っています。
男性	31	退職後はゴルフ三昧で過ごしたい。
男性	46	退職後は趣味の旅行と公募を思う存分やってみよう。
女性	45	大きな夢の実現人間存在の根底を知る
女性	36	大学に編入し、大卒の資格をとる。仕事のスキルアップと業界の枠を越えた勉強をする。趣味の世界を広げ、老後に繋がる友人づくりをする。
女性	45	大学の就職活動で何気なく入ったコンピュータ業界だったが、結局大学卒業以来ずっとその職種で働いている。でも、最近まったく違う職種でやってみたいことができた。年取ってしまう前になんとかその仕事をしたものだと思ってる。しかし、転職は、家庭の収入などにも影響を与えるのでなかなか一筋縄では行かないものだと思っている。
男性	33	沢山の子供が自由奔放に遊べて地域に活気があるような世の中になって欲しい次の世代がいなければ日本そのものが手詰まりになってしまうので
男性	37	只今、考え中
女性	47	誰にも邪魔されず自分のリズムでしたいようにして生きていける生活を送りたい。
女性	38	誰にも迷惑をかけず、夫婦でのんびり旅行でもしながらすごしたい。もしくは、一生の地と思えるようなところに住み、心豊かにすごしたい。
女性	37	旦那と二人でゆっくりと過ごしたい。同居は絶対しないで子供には迷惑掛けない老後を過ごしたい
女性	45	地域の人の関わりを沢山持ちたい
女性	37	地域の歴史について知識を深め、できれば民族資料館などで雑務でよいので働きたい。それも無理なら、ボランティアで博物資料、民俗資料の管理などに関わりたい。
男性	49	地域社会に溶け込みながら、ぼけないように、暮らして生きたい。
男性	41	地味でも良いので家族仲良く健康で暮らしたい。
男性	40	遅いかもかもしれませんが、将来設計はこれから考えます。
女性	40	蓄財をして、不慮の病気などに備えてあとは自然体でなるようにしていく。
女性	42	茶飲み友達と茶をし、出かけボランティア活動もし、忙しい日々を過ごしたい。毎日充実の日々を送りたい。
女性	32	貯金がしたい(ヘソクリ)
女性	31	貯蓄があれば老後は自分の好きな事をして楽しく過ごして生きたいが、実際はというと、今は生活のために仕事をしている感じ景気が良くなって好きな仕事も出ればいいのに。
男性	35	貯蓄は多めに
男性	31	超現実主義のため、考えたことがあまりない。
女性	38	長期休みは海外旅行
女性	48	長生きはしたいけれど、充実した人生のためのプランはない
男性	45	直接仕事の話でもないのに、よく庇を貸して母屋を取られるとの格言がありますが、そうならないように法律で企画設立部門で受けてたちます。
男性	39	釣りをしながらのんびりしたい
男性	45	定年がないので働けるうちは働きたい

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	39	定年になった後は趣味を生かした何かをしたい。私が定年になる頃は年金も期待できないので今から自分で老後の生活費を考えておかななくてはと思っています。
男性	43	定年の65歳まで働き、そのあとは海外で暮らす
男性	38	定年まで、今の仕事を続け、老後は生活に困らない程度に趣味に没頭できたら理想だと思う。
男性	31	定年までに老後の資金をなんとか確保する。定年後も仕事を持ちながら趣味にも没頭していきたい。
男性	36	定年までは現在の仕事を続けたい。定年後も出来れば何らかの仕事、もしくは経済的に余裕があればボランティアでもいいから、外に出る機会を設けたい。現在これといった趣味をもっていないので、長く続けられる趣味を持ち、余暇を有意義に過ごしたい。
男性	44	定年まで今の会社に勤め、定年後は中国で事業を行うことを計画中。
男性	41	定年まで今の仕事は続けたいと思う。家庭は子どもを1人前にして、結婚させるまでは見届けたい。できれば女の子1人は家に居て欲しいが本人の意思に任せる。老後は夫婦で気ままに暮らしていけたらよいと思う。
男性	41	定年まで働いて、その後も何か職についていたい。
男性	37	定年を過ぎても収入が必要であれば仕事をする。十分な貯蓄があれば、好きなようにいきる
男性	42	定年を迎えても楽しくできる仕事をしたい。また趣味などで充実した生活を送りたい。
男性	41	定年後の生活はすでに決まっている。やはりどんなに忙しくても夢はいつまでも追い続けたい。
男性	36	定年後は、余裕のある生活を送りたい。そのための準備を今している。
男性	44	定年後は海見える家に住み、キャンピングカーで全国を旅する
男性	38	定年後は海外でのんびり暮らしたい
男性	46	定年後は暖かい所に移住したい。
男性	47	定年後は夫婦、友人たちとで旅行や趣味を生かして就業中は出来なかった事をしたい。
男性	48	定年後は優雅に暮らしたい
女性	43	定年退職しても死ぬまで働けるようなスキルを身につけてできれば年金がなくとも生活できるようにしたい。
男性	38	定年退職後は、海外へ移住したい
男性	35	適度な仕事と趣味を深めたい
女性	48	天に宝を積むような生活をしたい
女性	39	転勤族なので、住宅購入ができず、定年後の住宅や生活設計が少し心配。FP資格を取得しているので、なんとか困らないように生活設計を立てていきたい。
男性	44	転職したいが地方都市なので求人が少なく転職できない
男性	42	転職して、まずは収入アップしたい。
男性	37	田舎でのんびり暮らしたい
男性	35	田舎でのんびり暮らしたい。
女性	34	田舎でのんびり暮らす
女性	44	田舎に帰りたい。
男性	48	田舎に住み、趣味(写真)を続けてのんびり過ごしたい。
女性	44	田舎の生活と都会の生活のどちらがいいのか、決められません。老後に海外旅行へいけるような経済的な余裕がほしいです。
女性	38	田舎暮らし
男性	43	都会でなく田舎に住みたい。
男性	44	都心から離れた所で家庭菜園で自分が食べる位の野菜を作って健康的な生活がしたい
男性	39	当面は家族重視。職場の中での経験を積み、将来は地域社会に貢献したい。
男性	40	頭を使ってお金を得たい。老後は暖かい所で1年の半分くらいを過ごしたい。
男性	45	働き、家庭を養い、社会に貢献するためにより良い仕事をする。そのためには十分な教育と多様な経験をつんで生きる力を身に付ける必要がある。現役が老人介護に頭を悩ませなければ子供による再生産がうまく回る。そういう社会の仕組みになってほしい
男性	44	働けなくなるまで働いて、後は田舎でのんびりと過ごす。
女性	33	働けるうちにもっと働いて老後に備えて貯金したいと思う。
男性	31	働けるうちに働いて貯金をして、早めに老後に設計をしないとイケないと思っている。老後は趣味を充実できればと思っています
女性	46	働けるうちはがんばって働きたい。子供はそれぞれの考えで自分の将来を決めて欲しい。子供との同居は必ずしもいたいとは思っていない。
女性	42	働けるだけ働いたら、気ままにのんびり暮らしたい。
女性	42	働けるだけ働いて老後はノンビリ暮らしたい
女性	45	特にありませんが、10年後20年後にゆとりのある暮らしができるようにと意識しながら暮らしています。
男性	31	特になにも考えていない
男性	35	特に決めていない。決めても、その通りの将来にはならないと思うから。
女性	31	特に考えていないが、いずれは結婚するのかな～??と漠然と思っている。老後は複数の趣味を持ち、それを楽しく続けられればいいな～と思う。
女性	36	特にまだ考えていない
女性	39	特にまだ考えれない。
男性	43	特に何も考えていない
男性	40	特に何も考えていない
男性	39	特に何も考えていない(現在考えられない)私の会社のような中小企業は、このような経済状況では、先のことを考えている余裕が無いのが現状、現在の仕事が続けられるか、と言った予想がつかない。
女性	36	特に何も考えていない。
女性	40	特に具体的には考えていないが、とにかく楽しいと感じられるように生きたい。
男性	30	特に決まっていらない
男性	43	特に決まっていらない。
男性	33	特に決めてない
女性	45	特に考えていない
女性	38	特に考えていない
女性	36	特に考えていない
女性	34	特に考えていない
男性	49	特に考えていない

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	47	特に考えていない
男性	43	特に考えていない
男性	38	特に考えていない
男性	37	特に考えていない
男性	35	特に考えていない
男性	32	特に考えていない
男性	34	特に考えていない
女性	46	特に考えていない。
女性	39	特に考えていない。
男性	44	特に考えていない。
女性	33	特に考えていないが、心豊かに過ごしたい。そのためにも、仕事だけが生きがいとか、家族だけがたよりだとか言う生活にはしたくない。家族一人一人が自立した上で、支えあえるような存在の家族でありたい。そのためにも、老後だろうが自分の人生を生きていることを楽しんでいきたい。
女性	35	特に考えていません
男性	47	特に考えていません
男性	39	特に考えている事はない、今を如何に生きるかを常日頃考えている
女性	31	特に考えてない
女性	46	特に考えてはいないが、老後は子供の迷惑にはならないように生活していきたいと思っている。
女性	36	特に考えてません
男性	47	特に考えてません。
男性	49	特に考えない
男性	48	特に細かく考えていないが、幸せに生きたい。
女性	33	特に将来については心配していないので、今がよければいい。
男性	44	特に将来の設計を考えていない。なり行くまま、なるようにしかならない。
男性	38	特に将来設計をしてないのでコメントできません。
男性	37	特に深く考えてない
女性	43	特に無い。ストレスの多い昨今なので心と体が健康であれば、どんな事でも出来ると思う。
女性	45	特別なことは望まないが、年をとってから苦勞を感じない生活をしたい。
女性	41	特別なことを望まなければ暮らせるほどの蓄えが必要だと思うが、医療費や不慮の被災を考えると、どの程度蓄えればいいのかわからなくなる。
女性	47	独身なので家庭生活というものは無い。現在、会社を経営しているため、死ぬまで現役で働くつもりである。
男性	36	独立したい。お店を開きたい。
男性	45	独立して仕事をする
男性	48	独立し会社をつくり老後も働きたい
男性	48	南の島で暮らしたい
女性	39	難しい社会なので、なかなか将来的なことを考えにくい。現在考えられる範囲で将来設計し、調整していく必要があると感じる。
女性	35	二本の政治に不信があるため、将来は外国で暮らそうと思っている。
女性	33	日本では社会保障が削減されようとしています。年金問題でも、必要としない経済状態の政治家が決めることなので、一般人がボーナスも無くなり、毎日食べていくのが精一杯の時代です。自分の老後がどうなるかなんて、はっきりいって想像したくありません。将来設計しても、社会保険料は上がる・もらう年金は下がる一方、どうやって生活していけばいいかわからないですよ。
男性	48	日本の今後がどうなるのか非常に不安です。
女性	39	年をとってからも続けられる仕事に就きたいし、趣味を満喫したいです。
男性	43	年をとるごとに、仕事の時間を減らして生きたい
女性	42	年金が心配
女性	35	年金だけで楽しく暮らせる社会だといいいのだが現状では難しい。
女性	34	年金で生活が可能なくらいの蓄えをすることを目標に考えています。
男性	48	年金で夫婦2人で生活
男性	45	年金と株式配当で海外で暮す。
女性	43	年金などきちんと生活ができるような金額をしっかりとほしいます。
男性	43	年金など将来の老後については不安が多い、出来る限り蓄えを持ちたい
女性	42	年金の貰える額が少なくなってしまったので、老後のお金の事が心配です。
女性	46	年金はあてにできないので自分で貯蓄しなくてはいけないと思う
男性	30	年金は実際貰えるかわからないし、貯金は必要だ。
男性	34	年金もあてにならないので、やはり子供に頼る状態にあるのかなでも現在4歳の長男は耳が聞こえないので雙学校通い今は自分の将来より子供の将来の方が心配
女性	41	年金も自分達の世代には、どの位貰えるのかもわからないし、今は自分の将来設計を色々考えている最中で
男性	42	年金を含め経済的な将来については不安が大きい。しかし内面的なこと、知的好奇心や倫理観の探求などについては、年を重ねるごとに多様な考えに接することができるので楽しみである。
女性	41	年金を満額受け取れるよう、しっかり25年掛ける事が目標です。我が家は子供が居ないので、老後の資金はしっかり蓄えるよう、努力したいと考えている。
女性	48	年金を貰える65歳までは仕事をしていきたい。
男性	35	年金以外にも収入を確保する
男性	47	年金以外の収入源を得て、夏は涼しいところ、冬はあったかいところで生活する。
男性	30	年金等、不安材料がおおい。国の墮落には頭に来る。
男性	36	年金保険に入ってる
女性	41	年金保険に入るべきか悩んでいます。入りたいけど、そのお金をどうしようかと悩みます。
男性	33	年収をとりあえず、ダブルワークをしないと生活出来ない状況から脱出したい。今のままでは生活がギリギリである。
女性	34	年内には結婚し仕事も安定させて結婚と同時に二世帯住宅を建築予定。老後は配偶者と生活に困らない程度のお金を貯めて生活したい。
女性	32	農業中心の生活をする

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
女性	43	配偶者がいないこともあり、老後のことを考えると、正直不安です。収入は、困らずも、余る程もなく貯金も出来ない状態です。でも、趣味を持ち、子供と共に楽しんだり、今のところは充実しています。また、子供は子供なりの人生を送って欲しいと考えています。
女性	48	配偶者との関係を大切にして人に迷惑をかけないように生き生き暮らしたい
女性	47	配偶者の定年後は、夫婦で共通の趣味や友人を通じて、精神的に豊かな老後を過ごしたい。健康が第一なので、老け込まないように予防を心がけたい
男性	36	博士号を取りたい。趣味の武術を極めたい。
男性	40	漠然としすぎた設問なので、何を書いているのかよく分からない。
男性	35	漠然とした不安があるが、深く考えたことがない。
男性	42	漠然とした未来しか考えていない。なぜなら誰も予想できないことだから。
女性	32	漠然としていて書き出すことができない
女性	32	漠然とだが、子供達がもう少し成長したらイヤでもお金が必要になり働かなくてはならないのではとは思っているが、実際のところは今のまま専業主婦でいたいという思いがある。
男性	46	漠然と考えているが、子供が独り立ちしてから深く考える。
女性	37	判らない
男性	35	必要に迫られて、家事と介護をしているが、自分自身の人生が疎かになってしまっているのが、早く何とかしたいと思っているところだ。
女性	32	病気で苦しみたくないです
女性	47	病氣療養中につき、将来の設計が立たない。今を生きるのが必死です。
男性	41	貧しくとも楽しく生活できる将来にしたい
男性	37	不安
女性	36	不安、展望が暗い
女性	47	不安がない生活を送りたい
男性	35	不安だらけ
男性	40	不安ばかりで設計できない。
男性	44	不安感がある
男性	30	不安感は結構ありますが、具体的なビジョンはないです。
男性	41	不景気なので、まずはお金の確保が先決…。
女性	41	不明
男性	40	不明
女性	38	夫が退職したら、夫婦2人で海外生活をする。
女性	35	夫が定年になったら海外で生活したい
女性	44	夫が定年退職するまでにお金を貯めて、老後は夫婦でのんびり過ごしたい。
女性	47	夫と今も同じ趣味を持っているが、継続して続けて行きたい。最終的には二人の暮らしになるだろうが、出来れば娘に近くに住んでもらいたい。仕事はパートだが、身体の続くかぎりは続けて、社会と関わりを持っていく
女性	46	夫と仲良く生活すること
女性	45	夫の転勤に伴う生活の変化と収入の兼ね合いを検討中なので、遠い将来はおぼろげにしか考えられず、不安の多いです。
女性	44	夫は今仕事が忙しく、ゆっくり2人でいる時間がないので一緒に旅行に行ったり2人の時間を大切にしたい
女性	45	夫も同じ考えですが、退職後はハワイ島に家を購入し、3ヶ月交替で暮らしたいと思っています。
女性	37	夫や友人と旅行したり、散歩したら、おいしいものを食べたりしてのんびり暮らしたい。
男性	47	夫婦2人食べていければ満足
男性	47	夫婦で楽しく暮らしたい
女性	41	夫婦で楽しみたい
男性	46	夫婦で子供に頼らず生きていきたい
男性	39	夫婦で老後も自立した生活を送る
女性	48	夫婦ともに健康でもう少し余暇があれば現状でも十分。
女性	31	夫婦仲が良く、生活に困らない程度のお金がある老後生活をしたい。子供には、自分のやりたい道を進んで欲しいと思う。
男性	41	夫婦仲良く
女性	47	夫婦仲良く、健康に注意して、精神的に豊かに暮らしていきたい。
男性	44	夫婦仲良く過ごしたい
男性	32	夫婦2人で生きていければ一番いい。もし子供が結婚し、子供をもって一緒に暮らそうと言われれば一緒に暮らすが、そうでなければ、無理に同居はしない。その時は2人で暖かい場所で暮らしたい
女性	45	夫婦2人で長生き
女性	39	夫婦老後2人で海外生活したい
女性	43	夫頼みの老後で、自分自身の年金や貯蓄がないに等しいので不安。日常生活も夫にかなり頼っているのが、先立たれたら不安。
女性	36	普通に幸せであれば多くは望まない
男性	39	普通に年2回くらい海外旅行が出来るくらいの余裕が欲しい
男性	46	風のふくままー。
男性	33	副業してでも働いて、少しだけゆとりのある生活をしたいと思っています
男性	31	副業をして、うまく道にのれば、独立したい
女性	49	平穏でいたい
女性	32	平凡でいいから、みんな元気で明るい家庭があればいい。
女性	35	平凡でいいから、安定した暮らしを送りたいです。
女性	41	平凡でいいので、健康で過ごしたいです
男性	45	平凡でもある程度安定した生活を送りたい。
女性	44	平凡でも楽しく毎日を送りたい
男性	42	平凡で良い
男性	38	平凡が良いが、寂しさを味わいたくはない。
男性	30	平和で過ごしたい。
女性	49	平和で安定した社会になって欲しい

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	38	別にない
女性	45	母子家庭なのであらゆる将来に不安があります。子供の将来も考えてあげたいですが、経済的に全てを受け入れる余裕がなく、悩んでいるところです。
男性	42	宝くじを当てて、老後生活を豊かにしたい。
女性	48	豊かでゆったりとした生活、旅行、自然とのふれあい、ボランティア、老後は健康で楽しく過ごしたい
女性	41	豊かな年金生活者で趣味や旅行などをしていきたい。
男性	36	堀衛門に負けないよう自立し起業いたします
男性	34	本当は50で死ぬのが理想だけど、65までは働いて、あとはのんびりしたい。
女性	36	毎日生きるのが精一杯で、老後のことなど考えられない、考えたくない。年金がもらえる可能性も低いので、今払っているのが馬鹿らしい。
女性	35	毎日楽しく暮らしたらそれで十分です
男性	34	満足のいく人生をおくるための経済基盤を確立したい
男性	30	未定
男性	36	夢をあきらめたくはない。夢を実現したい。大学院へ入学したい。
男性	32	無理してまで稼ぎたくはない
男性	41	無理せずのんびりと生活していけるだけでいいと思っています
男性	44	無理せずのんびり行きたい
女性	46	娘はやがて独立していくので夫婦二人で老後を迎える。その後の人生を有意義に過ごす為にお互いに趣味や活動の場を持っていきまきと過ごしたい。
男性	44	命ある限り仕事をしたい。
男性	40	明日は明日の風が吹く
男性	46	迷い、惑いの46才、全てのこと、特に健康に自信を失いかけている自分が悲しい・・・
男性	31	模索中
男性	36	目の前に霞がかかりどうすればよいのかわからない
女性	38	目の前のことで手一杯で何も考えていない。
女性	40	目先のことのとりわれ、子どもの成長に合わせた生活設計程度のことしか考えていませんでした。その後の老後の事など漠然としか思い浮かびません。健康で、多少の蓄えがあれば、いいと思っていますが、そのために今何をすべきか、真剣に考えていかななくてはならない時期に来ていると思います。
女性	41	目的を持った行き方をしていきたい
男性	36	目的意識を持ち週の半分だけ仕事をし残りは自由に過ごしたい。
男性	36	悠悠自適
女性	48	悠々自適
男性	34	悠々自適な
男性	44	悠々自適な生活
男性	32	悠々自適な生活
女性	36	裕福でなくても良いので、人並みの生活を送りたい
男性	43	裕福にくらいたい
女性	32	遊んで楽しく暮らしたいです
女性	45	余り決まっていない
男性	47	余暇は出来る限り若々しく過ごす。人生に楽しみを持って生きる。
女性	48	余暇を楽しみながら、有意義な生活をしたい。
女性	34	余暇生活したい、お金の困らないこと。
男性	45	余裕が出来たら海外に住みたい
男性	34	余裕のある生活が送れるようになりたい。
男性	30	余裕のある暮らしをしたい
男性	37	与えられた仕事は一生懸命にやるが、趣味の延長線にはない仕事なので、趣味などの生活の方が張り合いの種になっている。将来も生活の張り合いを求めつつ、何らかの貢献をしていきたい。
男性	46	来春に控えた娘の大学進学がどうなるかで老後もある程度決まってくる気がします
女性	42	落ち着いた、生活に困ることの無い生活
女性	32	理想的には子供が生まれてある程度の年齢になったら働き、同じ職場で出来るまで働きたい。そして子供が落ち着いたら友達と旅行に行きたい。
女性	35	理由があって子供が出来ないので、その分夫婦共通の友達を家に呼んでのホームパーティー(飲み会)をしたり、夫婦で旅行に行ったり、犬との生活を楽しんだりしています。女友達同士ではランチのサークルを作っているところです。老後は夫婦で共通の趣味を楽しみたい。もし主人が先に亡くなったら子供がいない女友達と一緒のアパート(部屋は別)に住むか、いなければ老人福祉施設などに入って楽しみたい!とにかく死ぬまで人生を楽しみたい。
男性	49	流れるままに
女性	49	両親と同居して面倒を見たいです。息子が進学して自分の目指す職業に就いてくれれば嬉しいです。家庭では皆が認め合って少しでも幸せに思えるような生活を送りたいですね。家を建て替えたり、あるいは故郷に戻って家を建てたいです。同時に生涯学習に挑戦して行きたいですね。
女性	48	両親もいなくなって、今これからの生活を考えているところです。趣味を持った楽しい老後になったらいいと願っています。
男性	49	老後が心配で設計が出来なく不安
女性	48	老後が不安
女性	36	老後などは今の段階ではわからないが、今は生活していくので精一杯だが将来的にはもう少し金銭的にも精神的にも余裕があるようにしたいとは思っている。
女性	44	老後にこまらないお金をためたい。
男性	31	老後については、土地の安い田舎の住居を探して暮らそうと考えている。
男性	39	老後についてはものすごく不安です年金はもらえるのでしょうか
女性	33	老後になって生活に窮しないように今から貯蓄をしたいと思っています。
女性	35	老後にのんびりできるだけの費用を貯めたいので、働きに出たい。
男性	36	老後には、大きな不安がある。
男性	41	老後には不安があるが、まだまだ現実には考えられない。

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	42	老後に苦勞しないくらい準備が出来たら仕事を辞めゆっくりしたい
男性	42	老後に困らないくらい貯金をしたい。
男性	32	老後に世界旅行に行きたいので、健康には気をつけています。
女性	45	老後のことは教育費がかからなくなってからゆっくり考えようと思っている。
男性	41	老後のことは心配だけど、その時になってみないと分からないのが本音
女性	39	老後のことを考えると、すごく暗い気分だが、色々夫婦で話し合っ、これからの生活設計を建てて生きたいと思っています。
男性	35	老後のため年金を当てにせず自分で稼いで貯金する。
女性	37	老後の為に今からコツコツ貯金しましょう。
男性	36	老後の為に貯蓄していく
男性	47	老後の海外移住が楽しみ
女性	43	老後の資金を早くためて老後は夫婦でのんびり趣味を楽しみたい。
女性	35	老後の事は心配だが具体的なプランはもっていない。子供がまだ小学生なので自分の先のことまでは考えられない。
女性	44	老後の事を考えるととても心配です。健康であって贅沢しない生活でいいのですが年金もどうなるかわからないですしどうなるかなって
女性	38	老後の事を考えるとやはり将来年金がどうなるのかが一番心配である。
男性	40	老後の社会情勢はどうなっているか？また、老後生活資金は社会保障を当てにするばかりでなく、自分で確保するぐらいでなければいけないと思うし、子供の養育資金など、貯蓄面で大いに不安をもっている。余裕のある生活（心身ともに）を送るには、老後を含めた生活資金の見通しがなければ、子供の事、家庭生活、余暇、社会貢献など十分に考える余裕が取れないのが現状である。
男性	48	老後の生活が経済的に苦しくならないように今のうちから設計を立てている。
男性	30	老後の生活については、少し考えているが、あまり将来設計と言えるほどの考えはまだない
男性	35	老後の生活にはかなり不安を持っている
男性	48	老後の生活に必要な最低限の資金の確保がもっとも重要
女性	36	老後の生活のことも今から考え貯蓄はしっかりして行きたいと考えていますが、今の生活にも楽しみや潤いが必要だと思うので使う時には思い切って使うといったメリハリのある生活がしたいです。
女性	46	老後の生活は、もうそこまで来て、将来の生活の安定にとっても不安でいてもただ、考えているだけで、なかなか実行できないでいる。
女性	42	老後の生活を考えても答えがでない
女性	31	老後の生活を考えるとゾッとするのであまり考えないようにしています。行き当たりばったりで人生を送っていくと思います。
女性	47	老後の生活設計を考え中です。まずは、住居の購入を計画しています。
男性	33	老後の対策を検討中
女性	40	老後の年金は期待できないし何時まで働けるか不安だ
女性	46	老後は、のんびり好きな事をしながら健康を維持しつつ、仲良しの友達同士で助け合っって暮らし「全くいい人生だった」と言っって逝きたい。
男性	44	老後は、海外で生活。
女性	48	老後は、金銭的にも余裕があり落ち着いた静かな生活をしたい。
女性	48	老後は、経済的にあまり不自由がなく、かつ、趣味に熱中できるようになればいいと思っています。仕事があればやりたいとは思いますが、今の家庭の状況では少し難しいので、これができるだけ早く好転するように願っています。
女性	47	老後は、自分の好きなことをやりながら、のんびりと暮らしたいです。
女性	46	老後は、南の島でのんびりと暮らしたい
男性	45	老後は、悠々自適に暮らしたい。
男性	44	老後はイギリスかニュージーランドでのんびり暮らしたい。
女性	32	老後はお金に困らない、趣味を満喫できる生活がしたい
女性	31	老後はお金を貯めて、元気なうちにたくさん旅行したい。
女性	49	老後はできるだけ子どもに負担をかけずに、公的なサービスを利用しながら、自立した生活を送りたい。退職後は趣味を持って、できるだけ地域社会に貢献できるような生活をしたい。現在は時間的な制約があっってなかなかできないことにも挑戦してみたい。
女性	46	老後はできれば一人で暮らしたい。体が動かなくなったら老人施設に入って誰の手も煩わさずあの世に行きたい。子供にはお金だけを何とか工面して欲しい（常々言い聞かせてはいる）
男性	32	老後はできれば働いて、会社というよりも社会の役に立ちたい。
男性	40	老後はなるべく迷惑をかけないように過させてもらおうと思っている。
男性	37	老後はハワイに住むのが夢である。
男性	44	老後はホームタウンに帰り趣味を満喫したい
女性	41	老後はまだ考えてない
女性	39	老後はゆったりと好きなこととして暮らしたい。あまり経済的不安は抱えたくない。
女性	46	老後は穏やかに、のんびり過ごしたい
女性	46	老後は嫁に見て貰うより、娘に見て貰いたい。仕事は出来る限り続けたい。
男性	45	老後は家族や友人達と楽しく豊かに過ごせる様にしたい
女性	45	老後は海外でのんびりしたい。（ハワイのコナ）
男性	31	老後は海外でゆっくり過ごしたい
男性	47	老後は海外で過ごしたい
男性	33	老後は海外で生活したい
男性	35	老後は海外で暮らしたい
男性	42	老後は海外に永住してみたい。
男性	48	老後は皆と暮らしたい。
女性	40	老後は犬を飼う
男性	47	老後は妻とゆっくりと国内を旅行したい。
男性	36	老後は妻と自然豊かな場所でゆっくりと過ごしたいですね。
女性	44	老後は山の中で田舎暮らしをしたい

将来設計に関する自由記述

性別	年齢	Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください
男性	32	老後は仕事をしながらほそぼそと暮らしたい
女性	48	老後は子供に頼らない
女性	40	老後は資産で過ごせる様にしたいです。
女性	41	老後は自分で好きに使えなお金があるといいな、そのぐらいのお金を作らなければならないと思っている。(年金には頼りませんから)
女性	36	老後は自分自身だけのために、趣味に生きたい。
男性	36	老後は社会福祉に頼ることなく生活できるだけの余裕を残せるよう、キャリアアップ等を図りたい。
女性	31	老後は主人とゆったりどこか別のところで暮らせるように今のうちに資産運用の能力を高めたい
女性	30	老後は主人と二人で静かにゆっくり孫に囲まれながら余生を過ごしたい。
男性	47	老後は趣味(人形芝居)を続けて、いろいろな場所で公演をしたい。
男性	46	老後は趣味の世界に生き甲斐を得たい。
女性	38	老後は少し不安があるが、現状にはだいたい満足している
男性	46	老後は生活資金が困らないように資金準備をする。
女性	34	老後は先のことなので全然考えていませんでしたが、考えた方がいいのかなと思いました。
男性	31	老後は全国ブラブラ旅したい
女性	46	老後は誰にも迷惑をかけないで、のんびり暮らしたい。
女性	42	老後は旦那とのんびり過ごしたい
女性	30	老後は猫と夫と過ごす
女性	31	老後は年に1度は海外旅行に行きたい
男性	42	老後は不安である。
女性	45	老後は夫婦だけで田舎に住みたい、畑を耕し、犬に囲まれのんびりと過ごしたい、子供に面倒を見て貰おうとは思わないので、心配を掛けないようにしっかり貯蓄をする。
女性	34	老後は夫婦で海外旅行に行きたいです。
女性	43	老後は夫婦で田舎で暮らしたいのですが、病院などの医療機関があるかどうか心配です。
男性	38	老後は普通に生活出来るのなら細々とのんびり暮らしたい
女性	44	老後は普通の性格が出来、主人と旅行が出来る程度の金銭があればいい、生活に困るのはいやだ
女性	36	老後は本当に不安。自分のときは、安楽死を認めて欲しいと思う。現状でもパンク状態なのに、これからどうなっていくのか。将来設計を立てようと思っても、なるようにしかならないや、と自暴自棄になってしまう。とりあえず、無駄遣いせずに、できるだけ貯蓄している状態。
女性	45	老後は余暇を充実させ、のんびりしたい。
女性	30	老後は余裕のある暮らしをするために、年金にだけ頼らず個人貯蓄をするように日ごろから努力したい
女性	39	老後は旅行に行きたい
男性	31	老後までにたくさんのお金をためて妻と世界中を旅行することが目標です
男性	42	老後まで生活出来る位の経済的余裕を早く作ってリタイアし、のんびり暮らしたい。
女性	38	老後まで付き合える友達がほしいです。
男性	44	老後も生活できるだけの収入を持つために仕事を続けたい。
女性	36	老後も友達と集まったりして楽器を演奏したりしたい
男性	46	老後ゆったりと生活できるように今一生懸命働く
女性	33	老後よりも今は子供たちと楽しく暮らしたい
男性	46	老後を楽しめるように今の内に準備をしたい
女性	33	老後を不安に思わない生活がしたい
女性	45	老後を豊かに暮らしたいと思うが、そのためにはまず健康でいたいと思うし、お金も必要だし、いろいろ考えると、あまり将来に希望をもてない。
女性	31	老後苦勞しないように、設計していきたい。
女性	47	老後資金を充分確保し、趣味やボランティアの生きがいを見つけて生活したい。
男性	37	老後旅行を楽しむような人生を設計したい。
女性	34	贅沢とはいかなくても、多少のゆとりのある生活を送りたい。
女性	42	贅沢な暮らしはしなくてもいいから静かに暮らしたい
女性	37	贅沢をしなければ生活には困らないのでこれからはゆとりや趣味を優先したい。老後に向けて長く続けられるものだとおおいいです。

3 質問紙調査票

職業意識に関するアンケート

まず、最初にあなたご自身のことを伺います

Q 1. あなたは男性ですか、女性ですか

- 1. 男性
- 2. 女性

Q 2. あなたの年齢は何歳ですか

- 30歳～34歳
- 35歳～39歳
- 40歳～44歳
- 45歳～49歳

Q 3. あなたは、つぎのどれに当たりますか

- 1. 常勤として働いている
- 2. パートタイマーとして働いている →Q 4へ
- 3. 非常勤・アルバイトとして働いている →Q 4へ
- 4. 専業主婦・主夫 →Q 4へ
- 5. その他 () →Q 4へ

■Q 3-1からQ 3-4はQ 3で「1.常勤として働いている」とお答えの方にお聞きします

Q 3-1. あなたの仕事は、つぎのどれに当たりますか

- 1. 専門的・技術的職業 →Q 3-1 SQの下位分類もお答えください
- 2. 管理的職業(管理的公務員、会社・団体の役員など)
- 3. 事務的職業(一般事務員、会計事務員、営業・販売関連事務員など)
- 4. 販売の職業(商品販売、販売類似(不動産仲介人)など)
- 5. サービスの職業(生活衛生(理容師、美容師)、飲食物調理、接客サービスなど)
- 6. 保安の職業(自衛官、警察官、消防員など)
- 7. 農林漁業の職業
- 8. 運輸・通信の職業(鉄道運転、自動車運転など)
- 9. 技能工、採掘・製造・建設の職業および労務の職業
- 10. 上記以外

■Q 3-1で「1.専門的・技術的職業」とお答えになった方にお聞きします

Q 3-1 SQ. あなたの仕事は、つぎのどれにあたりますか

- 1. 科学研究者
- 2. 医師、薬剤師
- 3. 保健医療の職業(看護師、栄養士、臨床検査技師、理学療法士)

- 4. 法務・財務の職業（裁判官、弁護士、公認会計士、税理士）
- 5. 教育の職業（幼稚園教員、小学校教員、中学校教員、高等学校教員等）
- 6. 高等教育の職業（大学教員、短大教員、高等専門学校教員）
- 7. その他（）

Q 3-2. あなたの現在の仕事の内容を具体的に書いてください

（例：保育士、警察官、小学校教諭）

--	--	--

Q 3-3. あなたの現在の仕事は、ご両親や親戚など身近な人と類似の仕事ですか

- 1. はい
- 2. いいえ →Q 3-4へ

■Q3-3で「1.はい」とお答えの方にお聞きします

Q 3-3 S Q. それはどなたですか（複数回答可）

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. 親戚
- 4. その他（）

Q 3-4. あなたは、現在の仕事にどのようにして就きましたか

	そうである	そうでない
1) かなり早くから関心を持ち努力して就いた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 仕事を選択するとき、悩みながら自分の意志で努力して就いた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 仕事があれば何でもよく、特定の仕事に深い関心はなかった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 就きたい仕事はわからなかったのでとりあえず就いた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 就きたい仕事に就けなかったのであきらめて就いた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

■全員の方にお聞きします

Q 4. あなたの現在の仕事（パートタイム、アルバイト、専業主婦・主夫を含む。以下同じ。）は、あなたが本当に就きたい理想の仕事でしたか

- 1. はい
- 2. いいえ

Q 5. あなたは、現在の仕事をもし変えることができたとしてもどうしますか

- 1. すぐに変える

- 2. しばらく考えてから変える
- 3. 変えない →Q 6へ
- 4. わからない →Q 6へ

■Q 5で「1.すぐに変える」「2.しばらく考えてから変える」とお答えの方にお聞きします

Q 5-1. なぜ変えたいと思うのですか。次の 1) ~14) について、あてはまるものをお選びください

	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
1) 賃金がよくない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 働く時間や休暇に不満がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 仕事の内容が単調すぎてつまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 仕事の内容がきつい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 仕事の内容が自分に合わない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 人間関係がうまくいかない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 男女差別がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) 将来が不安定である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9) 自分の意見が生かされない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10) 昇進に関して不満がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11) キャリアアップのため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12) 幅広い経験をするため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13) やりがいが感じられない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14) 結婚、育児、介護などに配慮がない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15) その他 (<input type="text"/>)				

■全員の方にお聞きします

Q6. あなたは、今までに離職や転職の経験がありますか

- 1. ある (その回数をお答えください → 回)
- 2. ない

Q7. あなたは、人が生きていくうえで、次のような資質や能力がどの程度必要だと思いますか

	とても必要である	まあ必要である	あまり必要でない	全然必要ではない
1) 読解力や計算などの基礎的知識や学力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 自分を理解する能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 他者への配慮や思いやり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

っていく能力

- | | | | | |
|----------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 5) 情報を収集、選択、活用する能力 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 6) 社会や職業について学ぶ能力 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 7) 多様な役割を知りそれを担う能力 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 8) 計画をたて実行する能力 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 9) 選択肢の中から主体的に判断する能力 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 10) 課題を設定し解決する能力 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 11) 基礎的体力 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 12) マナーや時間を守るなどの一般常識 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 13) 道徳心や公共心などの社会性 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 14) 交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 15) 論理的にものごとを考える能力 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 16) アイディアや新しいことを創造的に生み出していく能力 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 17) 状況の変化に柔軟に対応する能力 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 18) 常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする能力 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

Q7-1. それでは、それらの資質や能力を、特にどこで身に就けるべきだと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください(複数回答可)

	家庭	学校	職場	地域社会
1) 読解力や計算などの基礎的知識や学力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) 自分を理解する能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3) 他者への配慮や思いやり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4) 多様な集団や組織の中でコミュニケーションをはかっていく能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5) 情報を収集、選択、活用する能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6) 社会や職業について学ぶ能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7) 多様な役割を知りそれを担う能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8) 計画をたて実行する能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9) 選択肢の中から主体的に判断する能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10) 課題を設定し解決する能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11) 基礎的体力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- | | | | | |
|----------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 12) マナーや時間を守るなどの一般常識 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 13) 道徳心や公共心などの社会性 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 14) 交渉・異議申し立てするなどの自分の意見を的確に伝える能力 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 15) 論理的にものごとを考える能力 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 16) アイディアや新しいことを創造的に生み出していく能力 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 17) 状況の変化に柔軟に対応する能力 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 18) 常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする能力 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

Q8. あなたは、自分がどのような性格的な特徴をもっていると思いますか。次の1)～12)について、どの程度自分にあてはまるか判断して、あてはまるものをお選びください

	とても そうである	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない
1) 私は、自分の興味や関心の対象がかわらない方だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 私は、自分が楽観的だと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 私は、がまん強い方だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 私は、好奇心の強い方だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 私は、積極的な方だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 私は、失敗・成功を気にする方だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 私は、社会的習慣やしきたりを受け入れるのに、抵抗を感じる方だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) 私は、自分のやることに自信を持っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9) 私は、いつもはりつめた気持ちをもっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10) 私は、新しいグループに気楽に入れる方だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11) 私は、考え方や行動は理性的だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12) 私は、社交的であると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q9. あなたは、条件が整えば、何か学習したいこと(現在やっていることを含む)がありますか

1. ぜひやりたいことがある
2. できればやりたいことがある
3. 決まっていないが、何かやりたい
4. やりたいことは、特にない →Q10へ

■Q9で1~3とお答えの方にお聞きします

Q9-1. どのような内容の学習をしたいですか。次の1)~11)について、それぞれについて、あてはまるものをお選びください

	ぜひしたい	できれば したい	あまりし たくない	全然した くない
1) 俳句、手工芸、絵画など趣味的なもの	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 歴史・科学・芸術鑑賞など教養的なもの	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 政治・経済・環境・国際など時事的・社会的な問題	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 体育・スポーツ・レクリエーション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 健康管理や病気の予防	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 家庭生活に必要な知識や技能	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 子どもの教育や育児	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) ボランティアや地域・社会的な活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9) コンピュータに関する知識や技能	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10) 英会話やその他の外国語	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11) 職業上の知識や技能	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12) その他 (_____)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

■全員の方にお聞きします

Q10. あなたは、つぎのことに満足していますか、それとも不満がありますか。次の1)~12)について、あてはまるものをお選びください

	満足	やや 満足	やや 不満	不満
1) いまの収入(世帯全体)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 住んでいる住宅	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 家庭生活	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 住居のまわりの自然環境	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 地域の社会施設(学校、図書館、公民館等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

6) 余暇(レジャー)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 自分のこれまで受けた教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) 健康	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9) 暮らし向き	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10) 現在の社会情勢	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11) 人間関係や人づきあい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12) 生活全体	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q11. あなたは、仕事に関する次のような意見についてどのように思いますか。次の 1)～14)について、あてはまるものをお選びください

	とても そう 思う	まあ そう 思う	あまり そう 思わない	全然 そう 思わない
1) 仕事は人生における生きがいである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) たとえ、望む仕事につけなかったとしてもがまんして働くべきである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 経済的に困らなければ、わざわざ望まない仕事に就く必要はない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 就職は有力なコネで決まる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) キャリアアップのための転職は当然である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 仕事のやりがいよりも職場が安定している方が大事である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 会社のブランドよりも仕事の内容が重要である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) 業績をあげるためにはチームワークよりも個人プレーが必要である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9) 自分が就きたい職業を早く知ることが大事である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10) 仕事に役立つのは基礎的な学力である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11) いろいろな人との関係やつながりが大切である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12) 家庭のことよりも、自分の生き方を優先する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13) 仕事は自分の能力を活かすよい機会である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14) 地域や社会のために役立つことをしたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q12. あなたは、次の 1)~8)のそれぞれについて、生活やつきあいの場を「家庭」「職場」などいくつかの場に分けた場合、どこが一番あてはまりますか。もっともあてはまるものをお選びください

	家庭	友人とのつきあいの場	職場	学習サークル △研究会・趣味の団体など▽	地域社会	インターネット上のソサエティ	その他	どこにもない
1) 生活にはりあいや活力をもたらしてくれる場	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 心の安らぎや気晴らしを感じることの多い場	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 自分の生き方や価値観に影響を与えている場	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 人々との交流やふれあいを感じる場	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 自分人間性を豊かにしてくれる場	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 自分の可能性を実現したり、達成感を感じる場	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 自分が役立っていると感じたり、評価を得ている場	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) 今後つき合いを広げていきたい場	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q13. あなたは、次の 1)~4)について、現在人生設計を立てていると思いますか

	現在ほとんど設計ができていない	ある程度設計ができていない	現在考えているところである	気にはしているがあまり考えていない	まったく考えていない
1) 仕事	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 家庭生活	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 老後の生活	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 人生全般	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q14. あなたの最終学歴はつぎのどれですか

- 1. 中学校 →Q15へ
- 2. 高校 →Q15へ
- 3. 高等専門学校
- 4. 短期大学
- 5. 大学
- 6. 大学院
- 7. その他 ()

■Q14で3～7とお答えの方にお聞きします

Q14-1. あなたの最終学部・学科は次のどの分野ですか。あてはまるもの一つをお選びください

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 法学系 | <input type="radio"/> 11. 医学系 |
| <input type="radio"/> 2. 経済・商学系 | <input type="radio"/> 12. 歯学系 |
| <input type="radio"/> 3. 文学系 | <input type="radio"/> 13. 薬学系 |
| <input type="radio"/> 4. 社会学系 | <input type="radio"/> 14. 保健・看護学系 |
| <input type="radio"/> 5. 教育学系 | <input type="radio"/> 15. 介護・福祉学系 |
| <input type="radio"/> 6. 外国語学系 | <input type="radio"/> 16. 家政・生活科学系 |
| <input type="radio"/> 7. 教員養成学系 | <input type="radio"/> 17. 芸術学系 |
| <input type="radio"/> 8. 理学系 | <input type="radio"/> 18. 体育学系 |
| <input type="radio"/> 9. 工学系 | <input type="radio"/> 19. 情報学系 |
| <input type="radio"/> 10. 農・獣医・水産学系 | <input type="radio"/> 20. その他 () |

■全員の方にお聞きします

Q15. あなたは、進学する学校(最終学歴)を選ぶ時に次のことをどのくらい重視しましたか。次の1)～9)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください

	重視した	どちらともいえない	重視しなかった
1) 自分の学力にあっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 自分の興味・関心があった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 自分の得意教科・科目を生かせる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 希望する職業に結びつくことができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 親、家族のすすめ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 教師のすすめ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 自分が必要とする資格をとれる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) 専門的知識や技術を身につけることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9) 家庭の経済状況にあっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10) その他 ()			

Q16. あなたは、次の 1)～8) のような社会全体についての意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	全然そう思 わない
1) 女性は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 男性も、女性と同じように、家事や育児をするのは当然だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 女性は、もっと積極的に社会に進出すべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 今の社会は、高齢者に対する配慮が足りない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 結婚して子どもを育てることだけが幸せな人生ではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 今の社会は、貧富の差が大きい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 定職につかない人が増えると日本社会の将来はあぶない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) 社会保障制度は自分の将来の生活のために必要だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q17. ご自身の現在および将来のライフコースについて、次の 1)～5) の項目について、もっともあてはまるものをお選びください

1) 結婚	<input type="radio"/>	1. すでに結婚している
	<input type="radio"/>	2. 将来結婚したい
	<input type="radio"/>	3. 結婚しても結婚しなくてもよい
	<input type="radio"/>	4. ずっと独身でいたい
	<input type="radio"/>	5. わからない
2) 子ども	<input type="radio"/>	1. すでに子どもがいる
	<input type="radio"/>	2. 将来子どもがほしい
	<input type="radio"/>	3. 子どもはいらない
	<input type="radio"/>	4. わからない
3) 仕事	<input type="radio"/>	1. 現在の仕事をもち続ける
	<input type="radio"/>	2. 可能なら転職したい
	<input type="radio"/>	3. 結婚したら仕事をやめたい
	<input type="radio"/>	4. 子どもが生まれたら仕事をやめたい
	<input type="radio"/>	5. 子どもが一定の年齢になったら再び仕事につきたい
	<input type="radio"/>	6. 経済的に安定していれば専業主婦・主夫でいたい
	<input type="radio"/>	7. わからない
4) 70 歳以降の生活設計	<input type="radio"/>	1. できれば仕事をしたい
	<input type="radio"/>	2. 趣味を深めたい
	<input type="radio"/>	3. ボランティア活動をしたい
	<input type="radio"/>	4. ひとりで自由に過ごしたい

5) 介護を必要とする老後

- 5. 家族と静かに過ごしたい
- 6. 何もしたくない
- 7. わからない
- 1. 子どもの世話になりたい
- 2. 配偶者の世話になりたい
- 3. 在宅し公的サービスを受けたい
- 4. 高齢者施設に入りたい
- 5. 誰からも世話を受けたくない
- 6. わからない

Q18. あなたは、子どもがいますか

1. いる

2. いない →Q27へ

■Q18-1からQ26はQ18で「1.いる」とお答えの方にお聞きします

Q18-1. あなたは、子どもが何人いますか。人数を数字で記入し、次に出生順に子どもの性別と合計人数をお答えください

1.人数 人

2.出生順位(男女別: 例 男・男・女 合計3人

. . . . 合計 人

Q18-2. 第一子(一番最初に産まれた子ども)について、あてはまるものを選択、必要な箇所は記入ください

1) 性別 : 1. 男 2. 女

2) 生年月(西暦) : 年 月

3) 通学している(していた)学校の種類

小学校	中学校	高校	大学
<input type="radio"/> 1. 国立	<input type="radio"/> 1. 国立	<input type="radio"/> 1. 国立	<input type="radio"/> 1. 国立
<input type="radio"/> 2. 公立	<input type="radio"/> 2. 公立	<input type="radio"/> 2. 公立	<input type="radio"/> 2. 公立
<input type="radio"/> 3. 私立	<input type="radio"/> 3. 私立	<input type="radio"/> 3. 私立	<input type="radio"/> 3. 私立
		<input type="radio"/> 4. 進学せず	<input type="radio"/> 4. 浪人
			<input type="radio"/> 5. 進学せず

以下は第一子(一番最初に産まれた子ども)についてお答えください

Q19. あなたのお子さん(第一子)は、どのようなお子さんだと思いますか。次の1)~12)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください

	とてもそう である	まあそうで ある	あまりそう でない	全然そうで ない
1) 明るい子	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) かわい子	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 元気な子	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 勉強ができる子	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) やさしい子	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 頼りになる子	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 運動ができる子	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) 先生に好かれている子	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9) 人より優れたところがある子	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10) どんなことにも一生懸命である子	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11) 失敗してもくよくよしない子	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12) クラスの人気者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q20. あなたは、お子さん(第一子)について、どの学校まで進ませたいですか(すでに卒業している場合は最終学歴をお答えください)

- 1. 中学校
- 2. 高等学校
- 3. 高等専門学校
- 4. 短期大学
- 5. 大学
- 6. 大学院
- 7. その他 ()

Q21. あなたは、お子さん(第一子)がどんな仕事に就きたいか(就いている場合も含む)知っていますか

- 1. 知っている
- 2. 知らない →Q22へ

Q21で「1.知っている」とお答えの方にお聞きします

Q22. あなたは、お子さん（第一子）が何のために働くと考えてほしいですか。次の 1)～11)のそれぞれについて、あてはまるものをお選びください

	とてもそう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	ぜんぜんそ う思わない
1) 立身出世のため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 社会的評価を得るため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 経済的に豊かになるため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 自分の得意なことを生かすため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 自己実現のため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 人生を楽しむ金銭的余裕が必要なため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 生活を維持するため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) 社会と協調して生きるため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9) 社会に貢献するため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10) 働くのは当然だから	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11) 経済的に困窮しないため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12) その他 ()				

Q23. あなたは、お子さん（第一子）の進路・就職について、どのように考えていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

	とてもそう である	まあそうで ある	あまりそう でない	ぜんぜんそ うでない
1) 職業資格に結びつく勉強をしてほしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 有名大学に進学させたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 収入は少なくとも好きな仕事に就いてほしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) アルバイトやフリーターでよいから、とにかく働いてほしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 手に職をつけてほしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 親の希望する職業に就いてほしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 一流企業に勤めてほしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) 公務員になってほしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9) 専門職に就いてほしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q24. あなたは、お子さん(第一子)と次のことについてよく話をしますか。あてはまるものをお選びください

	よく話を する	ときどき話 をする	あまり話を しない	ぜんぜん話 をしない
1) 勉強や進学のこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 将来の仕事のこと(就職のこと)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) お金のこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 政治や社会のこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 結婚のこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 友人のこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q25. あなたは、お子さん(第一子)がどんな仕事に向いているかどのくらいわかっていますか

1. はっきりとわかっている
2. なんとなくわかっている
3. あまりわからない
4. ぜんぜんわからない

Q26. あなたのお子さん(第一子)への期待や希望について、1)~3)のそれぞれの項目について、もっともあてはまるものをお選びください

- 1) 仕事
- 1. 安定した職業に継続して就いてほしい
 - 2. 転職してでも適職に就いてほしい
 - 3. 結婚したら仕事をやめて家庭を守ってほしい
 - 4. 子どもが生まれたら仕事をやめて家庭を守ってほしい
 - 5. 仕事をやめても子どもが一定の年齢になったら再び仕事についてほしい
 - 6. 経済的に安定していれば専業主婦・主夫でいてもらいたい
 - 7. わからない
- 2) 結婚
- 1. 結婚してほしい
 - 2. 本人次第
 - 3. 必ずしも結婚しなくてもよい
 - 4. わからない
- 3) 子ども
- 1. 子ども(孫)を持ってほしい
 - 2. 本人次第
 - 3. 必ずしも子ども(孫)はいらない
 - 4. わからない

■全員の方にお聞きます

Q27. 仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活などを含んだ、あなたご自身の将来設計について自由に書いてください

生涯にわたるキャリア発達の形成過程に関する

総合的研究報告書（Ⅲ）

—成人のキャリア発達に関する質問紙調査・インタビュー調査—
平成15-17年度 国立教育政策研究所 政策研究課題リサーチ経費研究

研究代表者：山田 兼尚（国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部長）

連絡先：〒153-8681 東京都目黒区下目黒 6-5-22

国立教育政策研究所生涯学習政策研究部

電話：03-5721-5045 ファックス：03-5721-5173

印刷：株式会社プリカ

平成18年3月30日 印刷

平成18年3月31日 発行